



# 講義内容 2008

法学部

# 講 義 内 容

『講義内容』の見方 .....(2)  
 参 考 .....(4)

## 目次案内

### 法律学科フレックスA・政治学科

I 全学共通科目

1 宗教教育科目 .....(17)  
 2 教養教育科目 .....(18)  
 3 外国語科目 .....(22)  
 4 保健体育科目 .....(29)

II 専門教育科目

1 法律学科 .....(33)  
 2 政治学科 .....(37)

III 他学部履修科目 .....(41)  
 IV 「日本語」・「日本事情」科目 .....(42)  
 V 随意科目 .....(43)

### 法律学科フレックスB

I 全学共通科目

1 宗教教育科目 .....(44)  
 2 教養教育科目 .....(45)  
 3 外国語科目 .....(46)  
 4 保健体育科目 .....(48)

II 専門教育科目 .....(49)  
 III 他学部履修科目 .....(52)  
 IV 随意科目 .....(53)

全学共通科目	宗教教育
	教養教育
	外国語
	保健体育法
法律学科フレックスA・政治学科	専門教育科目
	履修科目
法律学科フレックスA・政治学科	日本語
	日本事情
法律学科フレックスA・政治学科	随意科目
	随意科目
全学教育	宗教教育
	教養教育
	外国語
	保健体育
法律学科教育	専門教育
	履修科目
法律学科教育	他学部
	随意科目

## 『講義内容』の見方

- 1、『講義内容』は、『履修要項』（別冊）、『授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
- 2、『講義内容』は、法学部で開講されている全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、所属する学科で開講されている科目のみです。  
（この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。）
- 3、履修できる科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）に掲載されている科目です。  
『授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 4、外国語科目の再履修クラスを履修する場合は、教務部①番窓口で『外国語再履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 5、他学部履修科目を履修する場合は、教務部①番窓口で『他学部履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 6、教職課程・資格講座に登録している場合は、教務部で『講義内容（教職課程・資格講座）』と『授業時間表（課程各講座授業時間表）』を受け取ってください。

### ※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時（事前登録・履修届登録）にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

## ～『講義内容』の利用手順～

①『履修要項』（別冊）を参照し、「授業科目の区分」や「履修できる科目」を調べる。

②『授業時間表』（別冊）を参照し、履修したい科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

曜日時限	科目名	担当者名	コード	備考	区分	教場名
月 1	仏教と人間	駒澤 太郎	111111	法A1必		玉-111

↑  
※履修コード

③『講義内容』の目次ページから、同様の履修コードを探し、ページを開く

（『講義内容』目次ページの記載例）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	駒澤 太郎	111111	1

↑  
※

④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認した上で、授業内容を閲覧する。

（『講義内容』科目枠の記載例）

履修コード	111111 ←※
科目名	仏教と人間
担当者名	こまざわ たろう 駒澤 太郎

## ～法律学科所属の学生へ～

◎「法律学科フレックスA」に所属の学生

フレックスB時間帯（月～金 6・7 時限、土 3～7 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『講義内容』の法律学科フレックスBのページ（冊子の後半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

◎「法律学科フレックスB」に所属の学生

フレックスA時間帯（月～金 1～5 時限、土 1～4 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『講義内容』の法律学科フレックスAのページ（冊子の前半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

# 参 考

## 外 国 語 科 目

法律学科フレックスA・政治学科

### 英 語 I A

#### 〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

### 英 語 I B

#### 〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

### 英 語 II A

#### 〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

### 英 語 II B

#### 〈英語 II Bの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

### 英 語 II D

#### 〈英語 II Dの授業内容と履修上の留意点〉

専門学部に応じた英語のテキストを用いおこなう講読の授業です。

## 英 会 話 I

### 〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

## 英 会 話 II

### 〈英会話 II の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話 I のレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準 1 級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

## 英 会 話 III

### 〈英会話 III の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話 II のレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検 1 級合格、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

## 英 語 L L I

### 〈英語 L L I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器 (1号館 3・4階 P C 教場) を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

## 英 語 L L II

### 〈英語 L L II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：L L I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準 1 級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

## 英 語 L L III

### 〈英語 L L III の授業内容と履修上の留意点〉

上級：L L II を修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が開き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

# 中 国 語

## 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA - ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA - ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

## 中国語ⅡA

ⅠA - ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

## 中国語ⅡB

ⅠA - ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA - ⅠBに準ずる。

### 【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円



より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

# ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

# 外国語科目

法律学科フレックスB

## 英語 I A

〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

## 英語 I B

〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

## 英語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段階から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

## 英語 II B

〈英語 II Bの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

## 英会話 I・II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコア 450点、TOEIC® のスコア 500点程度です。

## 英語 L L I・II

情報メディア機器 (1号館3・4階のPC教場) を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL® で450点、TOEIC® 500点、英検 2 級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

# 中 国 語

## 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA - ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA - ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

## 中国語ⅡA

ⅠA - ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

## 中国語ⅡB

ⅠA - ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのももちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA - ⅠBに準ずる。

### 【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』(2001年 三省堂) 4,000円／『小型版』(2004年) 2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円／『コンパクト版』(2004年) 2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

对外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』(2001年 岩波書店) 5,000円

# ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

# 保健体育科目

法律学科フレックスA・政治学科

## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1時限(政治)		2時限(法律)		3時限(法律)	
水曜日	※牧野	室内球技	※館岡	ゴルフ	※下谷内	ソフトボール
	大石	簡化太極拳	竹田	体操・トランポリン	末次	室内球技
	末次	キックボクササイズ	牧野	室内球技	大石	ミニサッカー
	下谷内	ソフトボール	大石	ミニサッカー	竹田	体操・トランポリン

※は、科目の主担当者

## 「健康・スポーツ実習(集中授業)」開講科目一覧

集中開講科目は、前期・後期の両方を受講する必要があります。

また、前期と後期で受講する科目が変わります。科目の選択を第1回目の授業で行いますので、必ず参加してください。

《日程》前期：7月13日(日)～17日(木) 後期：1月5日(月)～9日(金)

《時間》10:00～12:00・13:00～15:30

(於：玉川校舎)

前期		後期	
※山口	室内球技	鈴木	卓球
秋田	卓球	高橋	ソフトボール
大石	太極拳	光永	トレーニング&太極拳
牧野	バドミントン	村松	室内球技

※は、科目の主担当者

# 「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日					
1 時限										
2 時限	渡 辺	前期・基礎	大 石	前期・応用	田 中	前期・基礎	末 次	前期・応用	牧 野	前期・応用
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		ダブルダッチ		バスケットボール
		後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・応用	後期・応用				
		室内球技	ミニサッカー	フットサル	ダブルダッチ	バスケットボール				
3 時限	渡 辺	前期・応用	大 石	前期・基礎	田 中	前期・基礎	村 松	前期・基礎	牧 野	前期・基礎
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓 球		バスケットボール
		後期・応用	後期・基礎	後期・基礎	後期・基礎	後期・基礎				
		室内球技	簡化太極拳	フットサル	卓 球	バスケットボール				
4 時限	渡 辺	前期・応用				末 次	前期・応用		前期・応用	
		室内球技					室内球技			
		後期・応用					後期・応用			
		室内球技					室内球技			



# 保健体育科目

法律学科フレックスB

## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日
限6時				村 松 健康・スポーツ論*
7時	※秋田 バドミントン	三 幣 健康・スポーツ論*	※三幣 バドミントン	
時	大 石 ミニサッカー		村 松 卓球	
限				

※は、科目の主担当者。

\*時間表で教場を確認のこと。

# I. 全学共通科目

## 1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	晴山 俊英	204101	7
仏教と人間	岩永 正晴	204201	7
仏教と人間	佐藤 秀孝	204301	8
仏教と人間	石井 清純	204401	8
仏教と人間	菅原 壽清	204501	9
仏教と人間	渡部 正英	204601	9
仏教と人間	岡部 雅明	204701	10
仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宣英	205701	10
仏教と人間〔再クラス〕	下室 覚道	205801	11
仏教と人間〔再クラス〕	大谷 哲夫	205901	11
仏教と人間〔再クラス〕	晴山 俊英	206001	11

## 2. 教養教育科目

・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。

### (1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
文学〔日本文学「古典」〕	坂口 博規	206901	15
文学〔日本のことば〕	萩原 義雄	207201	16
歴史学〔西洋中世史〕	舟橋 倫子	208101	17
芸術学〔日本美術〕	北野 良枝	208401	17
芸術学〔西洋美術〕	矢野 陽子	208501	18
芸術学〔音楽〕	浦本 裕子	208601	18
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208801	19
哲学〔現代文明と人間〕	黒崎 剛	209301	20
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	河谷 淳	209801	20
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	21
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	21
科学史〔科学と技術〕	高橋 秀裕	210401	22
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	22
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701	23
倫理学〔価値観〕	久保 陽一	210801	23
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	24
倫理学〔制度とモラル〕	滝口 清栄	211001	24
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	25
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	211111	25
宗教学〔比較宗教文化〕	池上 良正	211201	26
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	26
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	27
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	27
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	28
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	星野 靖二	211521	28
人文地理学〔風土と文化〕	山口 太郎	211601	29
人文地理学〔風土と文化〕	坪井 壺太郎	211701	29
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 慎吾	211801	30
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 修一	211901	30
フレッシュマンセミナー	萩原 義雄	357101	31
フレッシュマンセミナー	佐原 作美	357201	32
フレッシュマンセミナー	鈴木 裕子	357301	32
フレッシュマンセミナー	坂口 博規	357401	32
フレッシュマンセミナー	藺部 幹生	357501	33
フレッシュマンセミナー	石割 透	357601	33
フレッシュマンセミナー	小林 治	357701	34
フレッシュマンセミナー	松田 直行	357801	34
日本文化基礎	佐原 作美	357901	35
日本文化基礎	鈴木 裕子	358001	35
日本文化基礎	坂口 博規	358101	35
日本文化基礎	藺部 幹生	358201	36
日本文化基礎	石割 透	358301	36
日本文化基礎	小林 治	358401	37
日本文化基礎	松田 直行	358501	37

日本語文化基礎	萩原 義雄	358901	38
日本語文化基礎	湯浅 陽子	358911	39
日本文化研究IA	坂口 博規	171101	40
日本文化研究IA	鈴木 裕子	171202	40
日本文化研究IA	菌部 幹生	172001	40
日本文化研究IA	佐原 作美	169702	41
日本文化研究IIA	佐原 作美	359001	41
日本文化研究IIA	鈴木 裕子	359101	41
日本文化研究IIA	坂口 博規	359201	42
日本文化研究IIA	菌部 幹生	359301	42
日本文化研究IB	石割 透	170201	43
日本文化研究IB	小林 治	175501	43
日本文化研究IB	松田 直行	215711	44
日本文化研究IIB	石割 透	359701	44
日本文化研究IIB	小林 治	359801	45
日本文化研究IIB	松田 直行	359901	45
日本語文化研究I	萩原 義雄	170901	46
日本語文化研究I	湯浅 陽子	215721	47
日本語文化研究II	萩原 義雄	360601	48
日本語文化研究II	湯浅 陽子	360701	49
実務表現	萩原 義雄	360901	50
実務表現	湯浅 陽子	361001	51
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168902	52
日本文化テーマ研究A	鈴木 裕子	168911	52
日本文化テーマ研究B	佐原 作美	169002	52
日本文化テーマ研究B	鈴木 裕子	169011	53
日本文化テーマ研究C	坂口 博規	169102	53
日本文化テーマ研究C	菌部 幹生	169111	53
日本文化テーマ研究D	坂口 博規	169202	54
日本文化テーマ研究D	菌部 幹生	169211	54
日本文化テーマ研究E	石割 透	169302	54
日本文化テーマ研究E	小林 治	169311	55
日本文化テーマ研究F	石割 透	169402	55
日本文化テーマ研究F	小林 治	169411	56
日本文化テーマ研究G (夏季集中)	松田 直行	169502	56
日本文化テーマ研究H	松田 直行	169602	57

## (2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔社会生活を考える〕	小畑 和	216201	58
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	216501	59
文化人類学〔文化と人間〕	森 雅文	216701	59
文化人類学〔文化と人間〕	加藤 之晴	216801	60
法学・憲法〔法と権利〕	茂野 隆晴	218501	60
法学・憲法〔法と権利〕	池田 実	218601	61
政治学〔政治システムと政治参加〕	富崎 隆	218801	61
経済学〔現代社会と市場経済〕	畠中 貴	219001	62
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石 雄爾	219401	62
教育学〔デス・エデュケーション〕	柳堀 素雅子	219501	63
教育心理〔大学生の心理〕	石橋 達也	219601	63

### (3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220201	64
地球科学〔地球システムと人間圏〕	澤口 隆	220701	64
自然環境論〔生命の環境〕	中村 敏枝	221701	65
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	222001	65
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 篠原 正雄 山縣 毅	222201	66
数学〔微積分学入門〕	小沢 誠	222401	67
数学〔線型代数学入門〕	小沢 誠	222501	68
数学〔現代数学入門〕	福田 賢一	222601	69
情報数学〔情報と論理〕	坂野井 和代	222701	69
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222901	70
化学〔衣食住の化学〕	牧岡 良和	223101	70
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223201	70
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223301	70
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	223401	71
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	223501	71
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	223601	72
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	223701	72
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	澤口 隆	223801	73
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	223901	73
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	224001	74
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	224101	74
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小沢 誠	224201	75
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	澤口 隆	224301	75
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	元木 光雄	224401	76
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	山本 博信	224601	76
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	長坂 浩史	224701	77
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224801	77
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224901	77
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	谷本 玲大	225001	78
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小沢 誠	225201	78
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225601	79
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225701	79
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225801	80
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225901	80
人類学〔人類の進化〕	篠田 謙一	226001	81
人類学〔人類の進化〕	篠田 謙一	226101	81
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤 博己	226301	82
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	杉山 雅美	226501	82
心理学〔心を科学する〕	深堀 友覚	227301	83

#### (4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合I〔仏教と社会〕	熊本 英人	228201	84
総合I〔仏教と芸術〕	村松 哲文	228301	84
総合II〔駒澤大学の歴史〕	熊本 史雄 大城 道則 小泉 雅弘 佐々木 真 杉山 清彦 廣瀬 良弘 皆川 義孝	228401	85
総合III〔人権と社会問題〕	ピアス、D. M.	228701	86
総合III〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 寿一郎	228801	87
総合III〔スペイン語圏の文化と社会〕	齋藤 明美	228901	87
総合IV〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	88
総合IV〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	89
総合V〔イギリスの歴史と文化〕	石原 孝哉	229301	89
総合VI〔民族とは何か〕	大野 祐二	229601	90
総合VI〔イスラム〕	吉田 京子	229701	90
総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕	早川 紀代	229801	91
総合VII〔トラブルと法的解決〕	中濱 義章 井上 健一 北野 かほる 佐藤 多美夫 中田 英幸 向田 正巳	229901	92
総合VII〔都市論〕	内海 麻利 饗庭 伸 早川 純貴 堀内 康史 村上 晁信	230001	93
総合VIII	休講	—	

### 3. 外国語科目

#### 《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA	笹倉 貞夫	238001	97
英語IA	岩原 康夫	238101	97
英語IA	熊沢 和明	238201	97
英語IA	飯沼 好永	238301	97
英語IA	依田 里花	238401	98
英語IA	山岸 二郎	238501	98
英語IA	西原 克政	238801	98
英語IA	手島 敬子	238901	98
英語IA	岡本 誠	239001	99
英語IA	田中 靖子	239101	99
英語IA	吉沢 栄治郎	239201	100
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	白鳥 義博	240211	100
英語IB	木元 喜久子	244701	100
英語IB	木元 喜久子	245501	100
英語IB	藤井 道行	244801	100
英語IB	海琳 泰子	244901	101
英語IB	亀田 三重子	245001	101
英語IB	亀田 三重子	245901	101
英語IB	海琳 泰子	245101	101
英語IB	藤井 道行	245201	101
英語IB	藤井 道行	245601	102
英語IB	海琳 泰子	245701	102
英語IB	濱口 真木	245801	102
英語IB〔基礎英語特別クラス〕	濱口 真木	246931	102
英語IIA	照山 雄彦	252201	103
英語IIA	西田 義和	252301	103
英語IIA	市川 仁	252401	103
英語IIA	塚本 利男	252411	104
英語IIA	堀 千和子	252501	104
英語IIA	尾上 典子	252601	104
英語IIA	加藤 佐和子	252701	105
英語IIA	風間 則比古	253001	105
英語IIA	依田 里花	253101	105
英語IIA	古富 猛	253201	106
英語IIA	岩永 祥恵	253301	106
英語IIA	永野 光一	253311	107
英語IIB	鈴木 美貴子	257801	107
英語IIB	鈴木 美貴子	258911	107
英語IIB	林 明人	257901	107
英語IIB	岡崎 寿一郎	258001	108
英語IIB	古富 猛	258011	108
英語IIB	太田 雅子	258101	108
英語IIB	安齋 薫	258201	109
英語IIB	池上 賀英子	258301	109

英語IIB	三幣 友行	258601	109
英語IIB	岸本 茂和	258701	110
英語IIB	塚本 利男	258801	110
英語IIB	足田 和人	258901	110
英語IID・英語IID〔再クラス〕	林 明人	260401	111
英語IID・英語IID〔再クラス〕	川崎 浩太郎	260501	111
英語IID・英語IID〔再クラス〕	真砂 久晃	260601	111
英語IID・英語IID〔再クラス〕	水崎 野里子	260701	112
英語IID・英語IID〔再クラス〕	岡本 誠	260801	112
英語IID・英語IID〔再クラス〕	西村 祐子	260901	113
英語IID・英語IID〔再クラス〕	岸本 茂和	261001	113
英語IID・英語IID〔再クラス〕	三芳 康義	261101	114
英語IID・英語IID〔再クラス〕	田中 靖子	261501	114
英語IID・英語IID〔再クラス〕	西原 克政	261601	115
英語IID・英語IID〔再クラス〕	広川 治	261701	115
英語IID・英語IID〔再クラス〕	笹倉 貞夫	261711	115
英語IID・英語IID〔再クラス〕	飯沼 好永	261801	115
英語IID・英語IID〔再クラス〕	山岸 二郎	261901	116
ドイツ語IA	河上 和史	266901	116
ドイツ語IB	松岡 晋	267801	116
ドイツ語IIA	松岡 晋	268101	117
ドイツ語IIA	飯塚 公夫	268111	117
ドイツ語IIA	薮下 紘一	268301	117
ドイツ語IIA	野島 利彰	268311	118
ドイツ語IIB	飯塚 公夫	268401	118
ドイツ語IIB	薮下 紘一	268501	118
ドイツ語IIB	森 公成	268511	118
ドイツ語IID・ドイツ語IID〔再クラス〕	志真 斗美恵	268701	119
フランス語IA	伊藤 なお	269901	119
フランス語IB	東 辰之介	270901	119
フランス語IIA	東 辰之介	271201	120
フランス語IIA	菅谷 暁	271211	120
フランス語IIA	小玉 齊夫	271301	120
フランス語IIA	沼倉 広子	271401	120
フランス語IIB	菅谷 暁	271501	121
フランス語IIB	畑中 千晶	271601	121
フランス語IIB	小玉 齊夫	271611	121
フランス語IID・フランス語IID〔再クラス〕	小玉 齊夫	271801	122
中国語IA	三田村 圭子	274301	122
中国語IB	李 雲	276701	122
中国語IA	児島 弘一郎	274401	122
中国語IB	児島 弘一郎	276801	122
中国語IIA	橋本 幸枝	277201	123
中国語IIA	岩崎 皇	277301	123
中国語IIA	児島 弘一郎	277401	123
中国語IIA	弘兼 加奈子	277501	123
中国語IIA	江林 英基	277511	123
中国語IIA	秋元 翼	277601	123
中国語IIA	佐藤 普美子	277701	123
中国語IIA	李 雲	277801	123
中国語IIA	岩崎 皇	277901	123



中国語II B	橋本 幸枝	278001	123
中国語II B	梅田 雅子	278101	123
中国語II B	弘兼 加奈子	278111	124
中国語II B	児島 弘一郎	278301	124
中国語II B	秋元 翼	278401	124
中国語II B	佐藤 普美子	278501	124
中国語IID・中国語IID〔再クラス〕	岩崎 皇	278801	125
中国語IID・中国語IID〔再クラス〕	天野 節	278901	125
スペイン語IA	佐藤 麻里乃	280501	125
スペイン語IA	齋藤 明美	280511	126
スペイン語IB	上野 勝広	281701	126
スペイン語IB	真下 祐一	281711	127
スペイン語IIA	真下 祐一	282101	127
スペイン語IIA	上野 勝広	282111	127
スペイン語IIA	大岩 功	282301	128
スペイン語IIA	真下 祐一	282401	128
スペイン語IIA	上野 勝広	282411	128
スペイン語IIB	大岩 功	282501	129
スペイン語IIB	大岩 功	282601	129
スペイン語IIB	真下 祐一	282611	129
スペイン語IID・スペイン語IID〔再クラス〕	亀山 晃一	282801	130
スペイン語IID・スペイン語IID〔再クラス〕	モラーレス ム ニョス, S	282811	130
ロシア語IA	大須賀 史和	283601	131
ロシア語IB	木村 英明	284001	131
ロシア語IIA	木村 英明	284201	132
ロシア語IIA	杉山 秀子	284301	132
ロシア語IIB	木村 英明	284401	132
ロシア語IIB	佐野 朝子	284501	133
ロシア語IID・ロシア語IID〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	284701	133

## 《再履修クラス》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	樋渡 俊光	291501	134
英語IA〔再クラス〕	松堂 啓子	291601	134
英語IA〔再クラス〕	岩井 洋美	291701	134
英語IA〔再クラス〕	樋渡 俊光	291801	135
英語IA〔再クラス〕	岩原 康夫	291901	135
英語IA〔再クラス〕	塙 美智子	292001	135
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	292301	136
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	292601	136
英語IA〔再クラス〕	岡本 誠	292701	137
英語IA〔再クラス〕	熊沢 和明	297002	137
英語IB〔再クラス〕	狩野 晃一	293201	137
英語IB〔再クラス〕	行廣 泰三	293401	138
英語IB〔再クラス〕	佐藤 江里子	293601	138
英語IB〔再クラス〕	落合 和昭	293901	139
英語IB〔再クラス〕	塚本利男	294001	140
英語IB〔再クラス〕	山岸 二郎	294101	140
英語IB〔再クラス〕	太田 由紀子	294201	140
英語IB〔再クラス〕	吉沢 栄治郎	294211	140

英語IIA〔再クラス〕	安齋 薫	294601	141
英語IIA〔再クラス〕	山口 晃	294801	141
英語IIA〔再クラス〕	三幣 友行	295001	141
英語IIA〔再クラス〕	芝田 興太郎	295101	142
英語IIA〔再クラス〕	前田 脩	295301	142
英語IIA〔再クラス〕	外池 一子	295401	142
英語IIA〔再クラス〕	古富 猛	295501	142
英語IIA〔再クラス〕	飯沼 好永	295601	143
英語IIB〔再クラス〕	高見 陽子	295801	143
英語IIB〔再クラス〕	大淵 利春	295901	143
英語IIB〔再クラス〕	安齋 薫	296201	144
英語IIB〔再クラス〕	落合 和昭	296301	145
英語IIB〔再クラス〕	矢島 直子	296501	146
英語IIB〔再クラス〕	相馬 美明	296601	146
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	296701	146
英語IIB〔再クラス〕	手島 敬子	296901	147
英語IID・英語IID〔再クラス〕	林 明人	260401	111
英語IID・英語IID〔再クラス〕	川崎 浩太郎	260501	111
英語IID・英語IID〔再クラス〕	真砂 久晃	260601	111
英語IID・英語IID〔再クラス〕	水崎 野里子	260701	112
英語IID・英語IID〔再クラス〕	岡本 誠	260801	112
英語IID・英語IID〔再クラス〕	西村 祐子	260901	113
英語IID・英語IID〔再クラス〕	岸本 茂和	261001	113
英語IID・英語IID〔再クラス〕	三芳 康義	261101	114
英語IID・英語IID〔再クラス〕	田中 靖子	261501	114
英語IID・英語IID〔再クラス〕	西原 克政	261601	115
英語IID・英語IID〔再クラス〕	広川 治	261701	115
英語IID・英語IID〔再クラス〕	笹倉 貞夫	261711	115
英語IID・英語IID〔再クラス〕	飯沼 好永	261801	115
英語IID・英語IID〔再クラス〕	山岸 二郎	261901	116
ドイツ語IA〔再クラス〕	本橋 右京	297101	147
ドイツ語IA〔再クラス〕	志真 斗美恵	297201	147
ドイツ語IA〔再クラス〕	岡本 時子	297401	148
ドイツ語IA〔再クラス〕	野島 利彰	298602	148
ドイツ語IB〔再クラス〕	飯塚 公夫	297501	148
ドイツ語IB〔再クラス〕	堀内 美江	297601	148
ドイツ語IB〔再クラス〕	本橋 右京	297801	149
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	297901	149
ドイツ語IIA〔再クラス〕	森 公成	298001	149
ドイツ語IIB〔再クラス〕	森 公成	298002	149
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	298101	149
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	298102	149
ドイツ語IIA〔再クラス〕	岡本 時子	298201	150
ドイツ語IIB〔再クラス〕	岡本 時子	298202	150
ドイツ語IID・ドイツ語IID〔再クラス〕	志真 斗美恵	268701	119
フランス語IA〔再クラス〕	芦原 眷	298801	150
フランス語IA〔再クラス〕	小玉 齊夫	298901	150
フランス語IA〔再クラス〕	菅原 猛	299001	150
フランス語IA〔再クラス〕	谷川 かおる	300202	151
フランス語IB〔再クラス〕	東 辰之介	299101	151
フランス語IB〔再クラス〕	今関 アン	299201	151

フランス語IB〔再クラス〕	伊藤 なお	299301	151
フランス語IB〔再クラス〕	谷川 かおる	299501	152
フランス語IIA〔再クラス〕	畑中 千晶	299601	152
フランス語IIB〔再クラス〕	畑中 千晶	299602	152
フランス語IIA〔再クラス〕	沼倉 広子	299701	152
フランス語IIB〔再クラス〕	沼倉 広子	299702	152
フランス語IIA〔再クラス〕	桑田 禮彰	299801	152
フランス語IIB〔再クラス〕	桑田 禮彰	299802	152
フランス語IID・フランス語IID〔再クラス〕	小玉 齊夫	271801	122
中国語IA〔再クラス〕	秋元 翼	300601	153
中国語IB〔再クラス〕	秋元 翼	300602	153
中国語IA〔再クラス〕	天野 節	301201	153
中国語IB〔再クラス〕	天野 節	301202	153
中国語IA〔再クラス〕	小川 隆	301301	153
中国語IB〔再クラス〕	小川 隆	301302	153
中国語IA〔再クラス〕	布施 直子	301401	153
中国語IB〔再クラス〕	布施 直子	301402	153
中国語IA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301501	153
中国語IB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301502	153
中国語IA〔再クラス〕	蘭 明	302302	154
中国語IB〔再クラス〕	蘭 明	302303	154
中国語IIA〔再クラス〕	梅田 雅子	301601	154
中国語IIA〔再クラス〕	宮本 厚子	301801	154
中国語IIA〔再クラス〕	大久保 明男	301901	154
中国語IIB〔再クラス〕	李 雲	302001	154
中国語IIB〔再クラス〕	李 雲	302101	155
中国語IIB〔再クラス〕	蘭 明	302201	155
中国語IID・中国語IID〔再クラス〕	岩崎 皇	278801	125
中国語IID・中国語IID〔再クラス〕	天野 節	278901	125
スペイン語IA〔再クラス〕	大岩 功	302601	155
スペイン語IB〔再クラス〕	大岩 功	302602	155
スペイン語IA〔再クラス〕	齋藤 明美	302701	156
スペイン語IB〔再クラス〕	齋藤 明美	302702	156
スペイン語IA〔再クラス〕	亀山 晃一	302801	156
スペイン語IB〔再クラス〕	亀山 晃一	302802	156
スペイン語IA〔再クラス〕	荻野 恵	303001	157
スペイン語IB〔再クラス〕	荻野 恵	303002	157
スペイン語IA〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303402	157
スペイン語IB〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303403	157
スペイン語IIA〔再クラス〕	齋藤 明美	303101	157
スペイン語IIB〔再クラス〕	齋藤 明美	303102	157
スペイン語IIA〔再クラス〕	大岩 功	303201	158
スペイン語IIB〔再クラス〕	大岩 功	303202	158
スペイン語IIA〔再クラス〕	亀山 晃一	303301	158
スペイン語IIB〔再クラス〕	亀山 晃一	303302	158
スペイン語IID・スペイン語IID〔再クラス〕	亀山 晃一	282801	130
スペイン語IID・スペイン語IID〔再クラス〕	モラーレス ム ニョス、S	282811	130
ロシア語IA〔再クラス〕	廣田 英靖	303501	159
ロシア語IB〔再クラス〕	廣田 英靖	303502	159
ロシア語IA〔再クラス〕	佐野 朝子	303601	159

ロシア語IB〔再クラス〕	佐野 朝子	303602	159
ロシア語IA〔再クラス〕	木村 英明	303701	159
ロシア語IB〔再クラス〕	木村 英明	303702	159
ロシア語IA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303801	160
ロシア語IB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303802	160
ロシア語IIA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303901	160
ロシア語IIB〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303902	160
ロシア語IIA〔再クラス〕	大須賀 史和	304001	160
ロシア語IIB〔再クラス〕	大須賀 史和	304002	160
ロシア語IIA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304101	160
ロシア語IIB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304102	160
ロシア語IID・ロシア語IID〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	284701	133

## 《選 択 科 目》

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英文講読	林 明人	284901	161
英文講読	矢島 直子	285001	161
英文講読	石原 孝哉	285101	161
時事英語研究	高野 秀夫	285701	162
時事英語研究	林 明人	285801	162
時事英語研究	岸本 茂和	285811	163
時事英語研究	落合 和昭	285901	164
時事英語研究	矢島 直子	285911	165
マルチ・メディア	落合 和昭	286501	166
マルチ・メディア	大庭 直樹	286601	167
マルチ・メディア	西村 祐子	286701	168
マルチ・メディア	大庭 直樹	286801	169
英会話I	ロビン、G. F.	264201	169
英会話I	ロビン、G. F.	264301	169
英会話I	ウェルズ、J. K.	264401	170
英会話I	ウェルズ、J. K.	264501	171
英会話I	ソルタ、P. N. F.	264601	172
英会話I	ソルタ、P. N. F.	264701	172
英会話I	レーン、C. M.	264801	173
英会話I	レーン、C. M.	264901	173
英会話I	ピアス、D. M.	265001	174
英会話I	ピアス、D. M.	265101	176
英会話I	レイン、R. V.	265201	177
英会話I	ロンゴ、T.	265301	178
英会話II	セイジ、K.	287401	179
英会話II	ロンゴ、T.	287501	180
英会話II	レイン、R. V.	287601	181
英会話III	ウェルズ、J. K.	287701	181
英会話III	ピアス、D. M.	287801	182
英語L LI	西村 祐子	265401	183
英語L LI	西村 祐子	265701	183

英語 L LI	塙 美智子	265501	183
英語 L LI	塙 美智子	265601	183
英語 L LI	外池 一子	265801	184
英語 L LI	外池 一子	265901	184
英語 L LI	甲斐 捷子	266001	184
英語 L LI	久保 ひさ子	266101	185
英語 L LII	セイジ、K	288501	185
英語 L LII	高橋 明子	288601	185
英語 L LII	甲斐 捷子	288701	186
英語 L LIII	甲斐 捷子	289301	186
英語 L LIII	白鳥 義博	289401	186
英語 L LIII	久保 ひさ子	289501	186
ドイツ語コミュニケーションI	小林 ゲアリン デ	288001	187
ドイツ語コミュニケーションII	小林 ゲアリン デ	288801	187
ドイツ語IA (選)	松岡 晋	289601	187
ドイツ語IB (選)	井村 行子	290201	188
ドイツ語II (選)	井村 行子	290801	188
フランス語コミュニケーションI	ラリア・三倉、 M.	288101	188
フランス語コミュニケーションII	ラリア・三倉、 M.	288901	188
フランス語IA (選)	出口 雅敏	289701	189
フランス語IA (選)	東 辰之介	289711	189
フランス語IB (選)	菅原 猛	290301	189
フランス語II (選)	桑田 禮彰	290901	189
中国語コミュニケーションI	陳 洲拳	288201	190
中国語コミュニケーションII	小川 隆	289001	190
中国語IA (選)	吉田 建一郎	289801	190
中国語IA (選)	岩崎 皇	289811	190
中国語IB (選)	蘭 明	290401	190
中国語II (選)	三田村 圭子	291001	191
スペイン語コミュニケーションI	モラーレス ム ニョス、S	288301	191
スペイン語コミュニケーションII	モラーレス ム ニョス、S	289101	191
スペイン語IA (選)	亀山 晃一	289901	192
スペイン語IB (選)	齋藤 明美	290501	192
スペイン語II (選)	佐藤 麻里乃	291101	193
ロシア語コミュニケーションI	安德 ニーナ	288401	193
ロシア語コミュニケーションII	安德 ニーナ	289201	193
ロシア語IA (選)	クロチコフ、Y.	290001	194
ロシア語IB (選)	木村 英明	290601	194
ロシア語II (選)	クロチコフ、Y.	291201	194
朝鮮語IA (選)	宋 美玲	290101	195
朝鮮語IB (選)	宋 美玲	290701	195
朝鮮語II (選)	宋 美玲	291211	195

## 4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	館岡 儀秋	195101	199
健康・スポーツ実習（ミニサッカー）	大石 武士	195101	199
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	195101	200
健康・スポーツ実習（室内球技）	牧野 茂	195101	201
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	下谷内 勝利	195201	201
健康・スポーツ実習（ミニサッカー）	大石 武士	195201	202
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	195201	202
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	末次 美樹	195201	203
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	下谷内 勝利	195301	203
健康・スポーツ実習（簡化太極拳）	大石 武士	195301	204
健康・スポーツ実習（室内球技）	牧野 茂	195301	204
健康・スポーツ実習（キックボクササイズ）	末次 美樹	195301	205
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）	高橋 俊介	196402	205
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（トレーニング&太極拳）	光永 吉輝	196402	206
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	山口 良博	196402	207
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	秋田 浩一	196402	207
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠	196402	208
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）	大石 武士	196402	209
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）	牧野 茂	196402	210
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	鈴木 淳平	196402	211
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196501	211
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196502	211
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196503	211
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196504	211
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196601	212
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196602	212
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196603	212
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196604	212
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196701	212
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196702	212
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196703	212
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196704	212
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196801	213
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196802	213
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196803	213
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196804	213
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196901	213
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196902	213
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196903	213
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196904	213
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197001	214
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197002	214
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197003	214
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197004	214
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197101	214
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197102	214
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197103	214

生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197104	214
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197201	215
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197202	215
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197203	215
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197204	215
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197301	215
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197302	215
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197303	215
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197304	215
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197401	216
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197402	216
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197403	216
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197404	216
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197501	216
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197502	216
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197503	216
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197504	216
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197601	217
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197602	217
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197603	217
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197604	217
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197701	217
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197702	217
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197703	217
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197704	217
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197801	218
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197802	218
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197803	218
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（フットサル）	田中 佳孝	197804	218
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	197901	218
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	197902	218
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	197903	218
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	197904	218
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198001	219
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198002	219
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198003	219
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198004	219
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（卓球）	村松 誠	198101	219
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（卓球）	村松 誠	198102	219
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（卓球）	村松 誠	198103	219
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（卓球）	村松 誠	198104	219
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（卓球）	村松 誠	198201	220
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（卓球）	村松 誠	198202	220
生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（卓球）	村松 誠	198203	220
生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（卓球）	村松 誠	198204	220
生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198301	220
生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198302	220
生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198303	220
生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198304	220
生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198401	221
生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198402	221

生涯スポーツ実習III (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198403	221
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (室内球技)	末次 美樹	198404	221
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198701	221
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198702	221
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198703	221
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198704	221
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198801	222
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198802	222
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198803	222
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (バスケットボール)	牧野 茂	198804	222
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198901	222
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198902	222
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198903	222
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198904	222
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199001	223
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199002	223
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199003	223
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199004	223
生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ)	光永 吉輝 下谷内 勝利 三幣 晴三 田中 佳孝 佐藤 政之 舘岡 儀秋 村松 誠 鈴木 淳平	199301	224
生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ)	光永 吉輝 下谷内 勝利 三幣 晴三 田中 佳孝 佐藤 政之 舘岡 儀秋 村松 誠 鈴木 淳平	199302	224
生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 江口 淳一 鈴木 淳平 竹田 幸夫 佐藤 政之 田中 佳孝 山口 良博 末次 美樹 秋田 浩一	199401	225
生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	下谷内 勝利 江口 淳一 鈴木 淳平 竹田 幸夫 佐藤 政之 田中 佳孝	199402	225



	山口 良博 末次 美樹 秋田 浩一		
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス）	江口 淳一	199501	226
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）	江口 淳一	199502	226
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ）	三幣 晴三	199701	227
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）	三幣 晴三	199702	227
健康・スポーツ論 1	舘岡 儀秋	200501	228
健康・スポーツ論 1	牧野 茂	200601	228
健康・スポーツ論 2	大石 武士	201201	229
健康・スポーツ論 2	三幣 晴三	201401	230
健康・スポーツ論 2	村松 誠	201601	230
健康・スポーツ論 2	牧野 茂	201801	231

## Ⅱ. 専門教育科目

- ・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスA生の科目ですが、フレックスB時間帯に開講しています。フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。

### (1) 法律学科フレックスA

科目名	担当者名	履修コード	ページ
法学概論	北野 かほる	114411	235
法学概論A	北野 かほる	114412	235
法学概論	高橋 洋城	114421	235
法学概論A	高橋 洋城	114422	235
公法入門	山口 邦夫	114511	235
	塩入 みほも		
法学概論B	山口 邦夫	114512	235
	塩入 みほも		
公法入門	松本 英俊	114521	235
	金子 昇平		
法学概論B	松本 英俊	114522	235
	金子 昇平		
私法入門	鶴井 俊吉	114531	236
法学概論B	鶴井 俊吉	114532	236
私法入門	中濱 義章	114541	236
法学概論B	中濱 義章	114542	236
憲法	高畑 英一郎	114601	237
憲法	西 修	114701	237
民法総則	向田 正巳	114801	238
民法総則	熊谷 芝青	114901	238
刑法総論	松村 格	115001	239
刑法総論	山口 邦夫	115101	240
会社法	荒木 正孝	115301	240
債権総論	中田 英幸	115701	241
物権法	鶴井 俊吉	115601	242
行政法	金子 昇平	115401	243
行政法総論	金子 昇平	115402	243
刑法各論	山口 邦夫	115801	243
裁判法	五百田 俊治	116001	244
国際法	王 志安	115501	244
有価証券法	中濱 義章	115901	245
商法総則・商行為法	川口 幸美	117101	245
担保物権法	鶴井 俊吉	116701	246
家族法	竹中 智香	117001	247
相続法	竹中 智香	117002	247
保険・海商法	井上 健一	116901	247
民事訴訟法	間淵 清史	116101	248
刑事訴訟法	松本 英俊	116201	248
労働法	藤本 茂	116801	249
社会保障法	橋爪 幸代	116301	250
行政救済法	金子 昇平	116501	250

行政法各論	金子 昇平	116502	250
国際紛争解決法	王 志安	116601	251
国際私法	佐々木 彩	116401	251
新入生演習	大宮 隆 王 志安	121651	252
新入生演習	藤本 茂 井上 健一	121611	252
新入生演習	川口 幸美 松村 格	121621	252
新入生演習	山口 邦夫 金子 昇平	121631	252
新入生演習	竹中 智香 荒木 正孝	121641	252
新入生演習	高橋 洋城 中濱 義章	121661	252
比較憲法	西 修	117701	252
法社会学	岡崎 修	118201	253
日本法制史	茂野 隆晴	117801	254
西洋法制史	北野 かほる	117901	255
政治学原論	大塚 桂	117301	256
政治史	村井 良太	117401	257
経済原論	村松 幹二	117501	257
行政学	児玉 博昭	127001	258
法律時事英語	牧野 和夫	118101	258
刑事政策	覚正 豊和	118001	259
法思想史	高橋 洋城	117601	260
債権各論	青野 博之	118701	261
英米法	北野 かほる	118401	262
仏法	上井 長久	118601	263
独法	山口 邦夫	118501	264
基礎演習	富井 幸雄	121701	264
基礎演習	池田 実	121801	265
基礎演習	池田 実	121901	265
基礎演習	今尾 真	122201	265
基礎演習	今尾 真	122301	265
基礎演習	覚正 豊和	122601	266
基礎演習	向田 正巳	122001	266
基礎演習	村木 保久	122401	267
基礎演習	村木 保久	122501	267
基礎演習	和知 恵一	122101	267
演習I	中田 英幸	122701	268
演習II	中田 英幸	122702	268
演習I	相田 敏彦	132201	268
演習II	相田 敏彦	132202	268
演習I	青野 博之	124201	269
演習II	青野 博之	124202	269
演習I	荒木 正孝	124701	269
演習II	荒木 正孝	124702	269
演習I	井上 健一	123401	269
演習II	井上 健一	123402	269
演習I	王 志安	124801	270

演習II	王 志安	124802	270
演習I	大塚 桂	133501	270
演習II	大塚 桂	133502	270
演習I	大宮 隆	124901	270
演習II	大宮 隆	124902	270
演習I	大山 礼子	132801	271
演習II	大山 礼子	132802	271
演習I	金子 昇平	123901	271
演習II	金子 昇平	123902	271
演習I	川口 幸美	123301	272
演習II	川口 幸美	123311	272
演習I	北野 かほる	124601	272
演習II	北野 かほる	124602	272
演習II	小林 弘人	123201	272
演習I	小堀 訓男	132101	273
演習II	小堀 訓男	132102	273
演習I	佐藤 多美夫	125001	273
演習II	佐藤 多美夫	125002	273
演習I	塩入 みほも	133101	274
演習II	塩入 みほも	133102	274
演習I	高橋 洋城	124501	274
演習II	高橋 洋城	124502	274
演習I	竹中 智香	124101	275
演習II	竹中 智香	124102	275
演習II	大塚 桂	133201	275
演習I	鶴井 俊吉	123801	275
演習II	鶴井 俊吉	123802	275
演習I	中濱 義章	124401	275
演習II	中濱 義章	124402	275
演習I	西 修	125701	276
演習II	西 修	125702	276
演習I	早川 純貴	132701	276
演習II	早川 純貴	133001	277
演習I	日笠 完治	125401	278
演習II	日笠 完治	125402	278
演習I	藤本 茂	123601	278
演習II	藤本 茂	123602	278
演習I	松村 格	125031	279
演習II	松村 格	125032	279
演習I	松本 英俊	123701	279
演習II	松本 英俊	123702	279
演習I	間瀬 清史	124301	280
演習II	間瀬 清史	124302	280
演習I	三竹 直哉	132401	280
演習II	三竹 直哉	132402	280
演習I	向田 正巳	124001	281
演習II	向田 正巳	124002	281
演習I	山口 邦夫	125601	281
演習II	山口 邦夫	125602	281
外書講読I (英書)	井上 健一	120401	281
外書講読II (英書)	井上 健一	120402	281

外書講読I (英書)	王 志安	120501	282
外書講読II (英書)	王 志安	120502	282
外書講読I (英書)	川口 幸美	120601	282
外書講読II (英書)	川口 幸美	120602	282
外書講読I (独書)	松村 格	120701	282
外書講読II (独書)	松村 格	120702	282
外書講読I (仏書)	中野 裕二	120801	283
外書講読II (仏書)	中野 裕二	120802	283
外書講読I (中国書)	江林 英基	120901	283
外書講読II (中国書)	江林 英基	120902	283
登記法	田沼 浩	118801	283
税法	中江 博行	118901	284
地方自治法	富井 幸雄	127501	284
環境法	仲田 孝仁	120301	285
経済法	若林 亜理砂	119701	285
消費者法	向田 正巳	120101	286
知的財産権法	盛岡 一夫	119601	286
民事執行・保全法	福永 清貴	119301	287
倒産処理法	鈴木 貴博	119501	287
法哲学	高橋 洋城	119401	288
法律学特殊講義	休講	120211	
財政学	塚本 正文	119001	288
国際関係論	三船 恵美	128101	289
経済政策	森岡 仁	119101	289
社会政策	脇野 幸太郎	119201	290
※ 実務演習I	中野 辰久	121411	490
※ 実務演習II	鶴井 俊吉 上野 雅祥 小林 覚 杉山 真一	121511	491
※ 実務演習III	木村 美隆	121521	491
現代企業論	猿山 義広	101202	291

## (2) 政治学 科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
政治学概論	三船 恵美 早川 純貴	125901	295
政治学概論	早川 純貴 三船 恵美	126001	295
政治学概論	三竹 直哉 中野 裕二	126011	296
憲法	高畑 英一郎	126101	297
政治学原論	大塚 桂	126201	298
現代政治理論	山崎 望	126401	299
日本政治論	大山 礼子	126301	299
政治思想史	清滝 仁志	127101	300
行政学	児玉 博昭	127001	301
国際政治学	小堀 訓男	126601	301
政治制度論	大山 礼子	126501	302
政治過程論	早川 純貴	126801	302
日本政治史	村井 良太	126901	303
ヨーロッパ政治史	土井 美穂	126701	303
地方行政	内海 麻利	127601	304
政策決定論	児玉 博昭	127701	304
行政法総論	塩入 みほも	127201	305
行政法各論	塩入 みほも	127401	305
地方自治法	富井 幸雄	127501	306
民法（総則・物権法）	須賀 昭徳	127801	306
刑法総論	佐藤 多美夫	127901	307
労働法	藤本 茂	116801	308
刑事政策	覚正 豊和	118001	309
社会政策	脇野 幸太郎	119201	310
環境政策	横田 匡紀	127301	311
国際関係論	三船 恵美	128101	312
比較政治学	三竹 直哉	128201	313
国際経済学	徳永 俊明	091202	314
国際法	齋藤 洋	128001	314
北米政治論（1）	小堀 訓男	128501	314
北米政治論（2）	小堀 訓男	128601	315
東南アジア政治論（1）	深尾 康夫	128701	315
東南アジア政治論（2）	深尾 康夫	128801	315
中国政治論（1）	休講	128901	316
中国政治論（2）	休講	129001	316
ヨーロッパ政治論（1）	中野 裕二	129101	317
ヨーロッパ政治論（2）	藤嶋 亮	129201	317
ヨーロッパ政治論（3）	浅見 政江	129301	318
ヨーロッパ政治論（4）	浅見 政江	129401	318
アラブ・イスラム政治論	中島 勇	129501	318
中南米政治論	岸川 毅	129601	319
比較都市論	内海 麻利	128401	319
マス・コミュニケーション論	相田 敏彦	129801	320
数量政治学	富崎 隆	130101	320
メディア社会論	相田 敏彦	130001	321

政治心理学	富崎 隆	129901	321
政治社会学	中野 裕二	129701	322
政治経済学	白鳥 浩	130301	322
比較メディア論	島中 誠 岩崎 宇雄	130201	323
基礎演習	相田 敏彦	131401	323
基礎演習	内海 麻利	131611	324
基礎演習	大山 礼子	131631	324
基礎演習	清滝 仁志	131641	325
基礎演習	小堀 訓男	131201	325
基礎演習	塩入 みほも	131001	325
基礎演習	富崎 隆	131501	326
基礎演習	中野 裕二	131301	326
基礎演習	早川 純貴	130801	327
基礎演習	三竹 直哉	130901	327
基礎演習	三船 恵美	131651	328
基礎演習	村井 良太	131621	328
基礎演習	山崎 望	131601	329
比較憲法	武市 周作	134001	329
現代国家論	大塚 桂	133801	330
国家安全保障論	小堀 訓男	133701	330
外交史	村井 良太	133601	331
日本法制史	茂野 隆晴	117801	331
西洋法制史	北野 かほる	117901	332
英米法	北野 かほる	118401	333
会社法	川口 幸美	134411	334
経済法	若林 亜理砂	119701	334
国際紛争解決法	王 志安	116601	335
刑法各論	山口 邦夫	115801	335
民法（債権）	上井 長久	143802	336
社会保障法	橋爪 幸代	116301	336
社会学原理	呉 炳三	133901	337
財政学	塚本 正文	119001	337
経済原論	村松 幹二	117501	338
経済政策	森岡 仁	119101	338
農業政策	溝手 芳計	093501	339
工業政策	奥山 雅之	093601	340
商業政策	番場 博之	091701	340
地方財政論	篠原 章	094101	341
交通論	休講	096401	
地域計画論	原 昭夫	038701	341
政治学特殊講義（1）	内海 麻利	134101	342
政治学特殊講義（2）	中野 裕二	134201	342
政治学特殊講義（3）	三船 恵美	134301	343
政治学特殊講義（4）	大山 礼子	134401	343
外書講読I（英書）	相田 敏彦	130701	344
外書講読II（英書）	相田 敏彦	130702	344
外書講読I（英書）	清滝 仁志	130601	344
外書講読II（英書）	清滝 仁志	130602	344
外書講読I（英書）	三竹 直哉	130501	345
外書講読II（英書）	三竹 直哉	130502	345

外書講読I (独書)	松村 格	120701	345
外書講読II (独書)	松村 格	120702	345
外書講読I (仏書)	中野 裕二	120801	345
外書講読II (仏書)	中野 裕二	120802	345
外書講読I (中国書)	江林 英基	120901	346
外書講読II (中国書)	江林 英基	120902	346
現代企業論	猿山 義広	101202	346
時事英語講座	横山 滋	133651	347
演習I	藤本 茂	123601	347
演習II	藤本 茂	123602	347
演習I	相田 敏彦	132201	347
演習II	相田 敏彦	132202	347
演習I	内海 麻利	131901	348
演習II	内海 麻利	131902	348
演習I	王 志安	124801	348
演習II	王 志安	124802	348
演習I	大塚 桂	133501	348
演習II	大塚 桂	133502	348
演習I	大山 礼子	132801	349
演習II	大山 礼子	132802	349
演習I	北野 かほる	124601	349
演習II	北野 かほる	124602	349
演習I	清滝 仁志	133301	350
演習II	清滝 仁志	133511	351
演習I	小堀 訓男	132101	352
演習II	小堀 訓男	132102	352
演習I	佐藤 多美夫	125001	352
演習II	佐藤 多美夫	125002	352
演習I	塩入 みほも	133101	353
演習II	塩入 みほも	133102	353
演習I	高橋 洋城	124501	353
演習II	高橋 洋城	124502	353
演習II	大塚 桂	133201	353
演習I	富崎 隆	132501	354
演習II	富崎 隆	133051	354
演習I	中野 裕二	132301	355
演習II	中野 裕二	132302	355
演習I	西 修	125701	355
演習II	西 修	125702	355
演習I	早川 純貴	132701	356
演習II	早川 純貴	133001	356
演習I	日笠 完治	125401	357
演習II	日笠 完治	125402	357
演習I	三竹 直哉	132401	357
演習II	三竹 直哉	132402	357
演習I	三船 恵美	133401	358
演習II	三船 恵美	133402	358
演習I	村井 良太	132601	358
演習II	村井 良太	132602	358
演習I	山口 邦夫	125601	358
演習II	山口 邦夫	125602	358



演習I	山崎 望	132211	359
演習II	山崎 望	132212	359
演習II	土井 美穂	131801	359

### Ⅲ. 他学部履修科目

・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本哲学史	久保 陽一	007411	363
産業・職業社会学	山田 信行	059701	363
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	364
日本経済論	小林 正人	091101	364
財務会計論	寺坪 修	092401	365
日本経済史	渡邊 恵一	093301	365
中国経済論	小杉 修二	094701	366
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801	367
E U統合論	工藤 芽衣	095001	367
現代西欧経済論	工藤 芽衣	095101	368
ロシア・東欧経済論	休講	095201	
会計監査論	森田 佳宏	097001	368
管理会計論 a	石川 祐二	097111	368
管理会計論 b	石川 祐二	097121	369
貿易論	古沢 紘造	097601	369
国際政治学	小堀 訓男	126601	370
ヨーロッパ政治史	土井 美德	126701	370
比較政治学	三竹 直哉	128201	371
現代国家論	大塚 桂	133801	372
経営労務論	鹿嶋 秀晃	140001	372
経営分析論	片桐 伸夫	141301	373
税務会計論	高木 克己	141901	373
経営学史	中川 淳平	139501	374
経営史	前田 和利	139601	374
国際経済論	永田 智則	141701	375
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	142351	375
消費者行動論	菅野 佐織	143231	376
マーケティング・コミュニケーション論	中野 香織	143241	376
マーケティング・チャネル論	青木 茂樹	143251	377
情報メディア産業論I	福家 秀紀	432001	378
比較メディア制度論	西岡 洋子	432401	378
都市とメディア	高 媛	432501	379
グローバルアート政策論	川崎 賢一	432601	379
グローバル創造都市論	川崎 賢一	432701	380
情報保護と社会	苗村 憲司	434301	381
映像コンテンツ論	手塚 義治	435001	381
メディアと知識論	齋藤 信男	437101	382

## IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語入門I a	歌代 礼子	230511	385
日本語入門I b	歌代 礼子	230521	385
日本語入門II a	歌代 礼子	230531	386
日本語入門II b	歌代 礼子	230541	386
日本語I a	佐野 典子	230611	386
日本語I b	佐野 典子	230621	387
日本語I a	多田羅 哲子	230631	387
日本語I b	多田羅 哲子	230641	387
日本語II a	佐野 典子	230711	387
日本語II b	佐野 典子	230811	387
日本語II a	多田羅 哲子	230721	388
日本語II b	多田羅 哲子	230821	388
日本語III a	多田羅 哲子	230911	388
日本語III b	多田羅 哲子	231011	388
日本語III a	湯村 礼子	230921	389
日本語III b	湯村 礼子	231021	389
日本語IV a	歌代 礼子	231111	389
日本語IV b	歌代 礼子	231211	390
日本語IV a	湯村 礼子	231121	390
日本語IV b	湯村 礼子	231221	390
日本語V a	石川 守	231311	391
日本語V b	石川 守	231411	391
日本語V a	多田羅 哲子	231321	391
日本語V b	多田羅 哲子	231421	391
日本語VI a	石川 守	231511	392
日本語VI b	石川 守	231611	392
日本語VI a	多田羅 哲子	231521	392
日本語VI b	多田羅 哲子	231621	392
日本事情I〔地理〕	須山 聡	231701	393
日本事情II〔自然〕	清水 善和	231801	393
日本事情III〔歴史〕	井上 桂子	231901	393
日本事情IV〔思想〕	佐藤 美奈子	232001	394
日本事情V〔社会〕	李 妍炎	232101	394
日本事情VI〔政治・法律〕	三竹 直哉	232201	395
日本事情VII〔文学〕	坂口 博規	232301	395
日本事情VIII〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232401	396
日本事情IX〔経済〕	渡邊 恵一	232501	396
日本事情X〔経営〕	高井 徹雄	232601	397

## V. 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	401
フランス語（海外演習）	—	—	401
中国語（海外演習）	—	—	401
比較思想特講	末木 恭彦	233501	402

# I. 全学共通科目

## 1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間・仏教と人間〔再クラス〕	池田 道浩	341601	409
仏教と人間・仏教と人間〔再クラス〕	松本 史朗	341801	409
仏教と人間・仏教と人間〔再クラス〕	四津谷 孝道	341901	410

## 2. 教養教育科目

・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの教養教育科目のページを参照してください。

### (1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	342401	413
文学〔日本文学「古典」〕	池田 大輔	342501	413
文学〔日本文学「近代」〕	中西 亮太	342601	414
文学〔日本文学「古典」〕	伊藤 達氏	342701	414
歴史学〔日本近代史〕	林 彰	342801	414
歴史学〔中国史概観〕	小林 惣八	342901	415
歴史学〔アジア史概観〕	山口 洋	343001	415
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之	343101	415
哲学〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	343201	416
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	343301	416
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	343401	416
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	343501	417
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	343601	417
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	343701	418

### (2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	阿部 真大	344201	419
社会学〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	344301	419
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	344401	419
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	344501	420
政治学〔政治システムと政治参加〕	真下 英二	344801	420
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	344901	421
経済学〔現代経済と人間〕	沼田 郷	345001	421
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	345101	422
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	345201	422

### (3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	345301	423
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	345401	424
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	345501	424
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	345601	425
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	澤口 隆	345701	425
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	谷本 玲大	345801	426
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	澤口 隆	345901	427
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	谷本 玲大	346001	428
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346101	428
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346201	429
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	346301	429
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	346401	429
情報数学〔情報と論理〕	小沢 誠	346501	430

### 3. 外国語科目

#### 《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA	吉川 直澄	347001	433
英語IA	萩野 一成	347101	433
英語IA	照山 雄彦	347201	433
英語IA	今井 夏彦	347211	433
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	樋渡 俊光	346901	434
英語IB	佐々木 隆	348101	434
英語IB	杉本 誠	348201	434
英語IB	林 孝憲	348301	435
英語IB	狩野 晃一	348401	435
英語IB〔基礎英語特別クラス〕	杉本 誠	348001	435
英語IA〔再クラス〕	狩野 晃一	354601	435
英語IB〔再クラス〕	狩野 晃一	354602	435
英語IA〔再クラス〕	近藤 真彰	354701	436
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彰	354702	436
英語IA〔再クラス〕	町田 成男	354901	436
英語IB〔再クラス〕	町田 成男	354902	436
英語IIA	照山 雄彦	349201	436
英語IIA	今井 夏彦	349301	436
英語IIA	吉川 直澄	349401	437
英語IIA	芝田 興太郎	349411	437
英語IIB	林 孝憲	350301	437
英語IIB	杉本 誠	350401	437
英語IIB	熊沢 和明	350501	438
英語IIB	落合 真裕	350511	438
英語IIA〔再クラス〕	川崎 浩太郎	355201	439
英語IIB〔再クラス〕	川崎 浩太郎	355202	439
英語IIA〔再クラス〕	岸本 茂和	355301	439
英語IIB〔再クラス〕	岸本 茂和	355302	439
英語IIA〔再クラス〕	笹倉 貞夫	355401	439
英語IIB〔再クラス〕	笹倉 貞夫	355402	439
英語IIA〔再クラス〕	本間 俊一	355501	440
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	355502	440
ドイツ語IA	清水 修	351401	440
ドイツ語IB	篠原 敏昭	351601	440
ドイツ語IIA	清水 修	351801	441
ドイツ語IIB	篠原 敏昭	351901	441
ドイツ語IA〔再クラス〕	南 はるつ	355601	441
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	355602	441
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	355701	441
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	355702	441
フランス語IA	高橋 明美	352001	442
フランス語IB	木下 雄介	352201	442
フランス語IIA	高橋 明美	352401	442
フランス語IIB	木下 雄介	352501	443

フランス語IA〔再クラス〕	長谷川 光明	355801	443
フランス語IB〔再クラス〕	長谷川 光明	355802	443
フランス語IIA〔再クラス〕	長谷川 光明	355901	443
フランス語IIB〔再クラス〕	長谷川 光明	355902	443
中国語IA	塩旗 伸一郎	352601	444
中国語IB	王 聡	352801	444
中国語IIA	秋元 翼	353001	444
中国語IIB	王 聡	353111	444
中国語IA〔再クラス〕	大久保 明男	356001	445
中国語IB〔再クラス〕	大久保 明男	356002	445
中国語IA〔再クラス〕	曹 泰和	356101	445
中国語IB〔再クラス〕	曹 泰和	356102	445
中国語IIA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356201	445
中国語IIB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356202	445
スペイン語IA	大岩 功	353401	445
スペイン語IB	中山 直次	353601	446
スペイン語IIA	大岩 功	353701	446
スペイン語IIB	中山 直次	353801	446
スペイン語IA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356401	447
スペイン語IB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356402	447
スペイン語IIA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356501	447
スペイン語IIB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356502	447
ロシア語IA	廣田 英靖	353901	447
ロシア語IB	廣田 英靖	354001	448
ロシア語IIA	廣田 英靖	354101	448
ロシア語IIB	廣田 英靖	354201	448
ロシア語IA〔再クラス〕	杉山 秀子	356601	449
ロシア語IB〔再クラス〕	杉山 秀子	356602	449
ロシア語IIA〔再クラス〕	杉山 秀子	356701	449
ロシア語IIB〔再クラス〕	杉山 秀子	356702	449

## 《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英会話I	ロビン、G. F.	351201	450
英会話II	ロビン、G. F.	354301	450
英語 L LI	川崎 浩太郎	351301	450
英語 L LII	林 明人	354401	451



## 4. 保健体育科目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ論	村松 誠	341201	455
健康・スポーツ論	三幣 晴三	341301	455
健康・スポーツ論	休講	341401	/
健康・スポーツ論	休講	341501	/
健康・スポーツ実習（バドミントン）	秋田 浩一	340301	456
健康・スポーツ実習（ミニサッカー）	大石 武士	340301	456
健康・スポーツ実習（卓球）	村松 誠	340501	457
健康・スポーツ実習（バドミントン）	三幣 晴三	340501	458
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	休講	—	/
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	休講	—	/
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	休講	—	/
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	休講	—	/
生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ）	光永 吉輝 ・佐藤 政之 ・下谷内 勝利 ・鈴木 淳平 ・館岡 儀秋 ・田中 佳孝 ・村松 誠 ・三幣 晴三	199301	224
生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ）	光永 吉輝 ・佐藤 政之 ・下谷内 勝利 ・鈴木 淳平 ・館岡 儀秋 ・田中 佳孝 ・村松 誠 ・三幣 晴三	199302	224
生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード）	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199401	225
生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード）	下谷内 勝利 ・江口 淳一 ・鈴木 淳平 ・竹田 幸夫 ・佐藤 政之 ・田中 佳孝 ・山口 良博 ・末次 美樹 ・秋田 浩一	199402	225

## Ⅱ. 専門教育科目

- ・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスB生の科目ですが、フレックスA時間帯に開講しています。フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。

### (1) 法律学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ
法学概論	北野 かほる	323031	461
法学概論A	北野 かほる	323032	461
公法入門	佐藤 多美夫 金子 昇平	323011	461
法学概論B	佐藤 多美夫 金子 昇平	323012	461
私法入門	竹中 智香	323021	462
法学概論B	竹中 智香	323022	462
憲法	武市 周作	323101	462
民法総則	大宮 隆	323201	463
刑法総論	山口 邦夫	323301	463
会社法	荒木 正孝	323501	464
行政法	塩入 みほも	323602	465
行政法総論	塩入 みほも	323601	465
裁判法	五百田 俊治	323701	465
国際法	王 志安	323401	466
※ 比較憲法	西 修	117701	252
新入生演習	鶴井 俊吉 中田 英幸	327031	467
新入生演習	向田 正巳 西 修	327011	467
新入生演習	佐藤 多美夫 北野 かほる	327021	467
債権総論	中田 英幸	325001	468
物権法	今尾 真	324601	468
※ 法社会学	岡寄 修	118201	253
日本法制史	茂野 隆晴	324001	469
西洋法制史	休講	324101	
政治学原論	大塚 桂	324301	470
※ 政治史	村井 良太	117401	257
経済原論	藤原 碩宣	324401	471
行政学	児玉 博昭	324501	471
※ 法律時事英語	牧野 和夫	118101	258
商法総則・商行為法	川口 幸美	325501	472
刑法各論	佐藤 多美夫	324701	472
刑事政策	寛正 豊和	323901	473
債権各論	須賀 昭徳	324801	474
※ 英米法	北野 かほる	118401	262
※ 仏法	上井 長久	118601	263
※ 独法	山口 邦夫	118501	264
法思想史	高橋 洋城	324201	475

演習I	荒木 正孝	327601	476
演習II	荒木 正孝	327602	476
演習I	大宮 隆	327901	476
演習II	大宮 隆	327902	476
演習I	金子 昇平	327201	476
演習II	金子 昇平	327202	476
演習I	北野 かほる	327701	477
演習II	北野 かほる	327702	477
演習I	中田 英幸	326901	477
演習II	中田 英幸	326902	477
演習I	西 修	327301	477
演習II	西 修	327302	477
演習I	藤本 茂	327101	478
演習II	藤本 茂	327102	478
演習I	向田 正巳	327911	478
演習II	向田 正巳	327912	478
演習I	松村 格	327501	478
演習II	松村 格	327502	478
※ 外書講読I (英書)	井上 健一	120401	281
※ 外書講読II (英書)	井上 健一	120402	281
※ 外書講読I (英書)	王 志安	120501	282
※ 外書講読II (英書)	王 志安	120502	282
※ 外書講読I (英書)	川口 幸美	120601	282
※ 外書講読II (英書)	川口 幸美	120602	282
※ 外書講読I (独書)	松村 格	120701	282
※ 外書講読II (独書)	松村 格	120702	282
※ 外書講読I (仏書)	中野 裕二	120801	283
※ 外書講読II (仏書)	中野 裕二	120802	283
※ 外書講読I (中国書)	江林 英基	120901	283
※ 外書講読II (中国書)	江林 英基	120902	283
担保物権法	熊谷 芝青	326301	479
家族法	竹中 智香	326411	479
有価証券法	中濱 義章	324901	480
※ 登記法	田沼 浩	118801	283
保険・海商法	井上 健一	326501	480
民事訴訟法	間瀬 清史	326601	481
刑事訴訟法	松本 英俊	327001	481
労働法	藤本 茂	325101	482
社会保障法	脇野 幸太郎	325301	483
行政救済法	仲田 孝二	326911	484
税法	中江 博行	325801	485
地方自治法	富井 幸雄	326001	485
国際紛争解決法	王 志安	326201	486
国際私法	佐々木 彩	325901	486
環境法	仲田 孝仁	325601	487
経済法	荒井 登志夫	325201	487
※ 消費者法	向田 正巳	120101	286
知的財産権法	盛岡 一夫	325701	488
民事執行・保全法	福永 清貴	326701	488
倒産処理法	鈴木 貴博	326801	488
※ 法哲学	高橋 洋城	119401	288

※ 法律学特殊講義	休講	120211	
財政学	速水 昇	333301	489
国際関係論	三船 恵美	325401	489
経済政策	休講	307201	
※ 社会政策	脇野 幸太郎	119201	290
実務演習I	中野 辰久	121411	490
実務演習II	鶴井 俊吉 上野 雅祥 小林 寛 杉山 真一	121511	491
実務演習III	木村 美隆	121521	491
※ 現代企業論	猿山 義広	101202	291
簿記論	鈴木 勝浩	307901	491
経営学総論	名取 修一	307601	492
会计学総論	休講	307101	

### Ⅲ. 他学部履修科目

・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの他学部履修科目のページを参照してください。

①フレックスA時間帯（月～金の1～5時限、土の1～4時限）に開講されている科目は、フレックスAの他学部履修科目を参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
商学総論	大吹 勝男	307501	495
国際経済論	休講	308901	/
商業政策	番場 博之	309301	496
アジア経済論	鄭 章淵	310001	497
マーケティング	休講	311101	/
中小企業論	休講	311311	/
中小企業政策論	休講	311401	/
人口論	休講	311701	/
人的資源管理論 a	休講	312211	/
人的資源管理論 b	休講	312221	/
社会思想史 a	休講	312611	/
社会思想史 b	休講	312621	/
法思想史	高橋 洋城	324201	498
倒産処理法	鈴木 貴博	326801	499
会計監査論	阿部 一人	331801	500
日本経済論	羽鳥 茂	332901	500

## IV. 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	503
フランス語（海外演習）	—	—	503
中国語（海外演習）	—	—	503

法律学科フレックスA

政 治 学 科

# I 全 学 共 通 科 目



# 1. 宗教教育科目

履修コード	204101
科目名	仏教と人間
担当者名	晴山 俊英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで -
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観 -
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘経典 -
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立 -
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代 -

履修上の留意点

上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。  
特になし。板書が中心となる。  
授業において適宜指示する。  
試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	204201
科目名	仏教と人間
担当者名	岩永 正晴

講義のねらい

駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の目的を達成するため、本講義では以下のことを行いたいと思います。  
①前期には、広く親しまれている『摩訶般若心経』を読み進めながら、仏教の教主である釈尊と仏教の歴史や教えを紹介する。  
②後期には、道元禅師のこたばを抄出して編纂された曹洞宗の読誦経典『修証義』を読みながら、禅宗および曹洞宗の歴史と教えを紹介する。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

必修科目であるので、積極的に参加して貰いたい。  
学年末の試験と出席点によって成績評価を行う。  
テキストはコピーしたものを配布する。  
中村元『ブツダ入門』（春秋社）、平川彰『仏教入門』（春秋社）、梶山雄一『空入門』（春秋社）、鏡島元隆『道元一正法眼蔵・永平広録 禅入門2』（講談社）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

履修コード	204301
科目名	仏教と人間
担当者名	佐藤 秀孝 <small>さとう しゅうこう</small>

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところであろう。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。

具体的には、前期に宗教一般の中における仏教の特徴、仏教の開祖ゴータマ・ブッタの生涯に触れ、さらに四諦八正道や三法印など仏教の基本的なものの見方について触れ、達磨（ダルマ）に始まる中国禅宗の特徴、中国・日本における人間観・修行観・自然観などについて論じる。

後期には仏教の中から特に禅宗について触れ、達磨（ダルマ）に始まる中国禅宗の特徴、中国・日本における禅宗の歴史の変遷について述べ、さらに仏教・禅宗における人間観・修行観・自然観などについて論じる。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書

廣澤隆之『図解雑学・仏教』（ナツメ社）1,400円、中尾良信『図解雑学・禅』（ナツメ社）1,400円を使用したい。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

履修コード	204401
科目名	仏教と人間
担当者名	石井 清純 <small>いしい きよずみ</small>

講義のねらい

仏教の思想と禅の中心思想について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

種々の経典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。また、鎌倉時代に成立した各宗派の内容を対比的に解説しつつ、現代社会と仏教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

(1)「仏教と人間」と建学の理念、(2)宗教の定義、(3)世界の宗教の特徴、(4)仏教の教えの特徴、(5)仏教の宇宙観、(6~8)釈尊伝、(10・11)仏教の展開と伝播(インドから中国へ)、(12~14)大乘仏教の特徴と主要経典、(15)仏像と菩薩像、(16・17)達磨さんの話(映像資料)、(18・19)日本仏教十三宗概観、(20)日本の神々(日本人の宗教観念)、(21~24)禅思想と道元禪師(曹洞宗の禅)、(25)禅の修行道場の一年(映像資料)、(26~28)中世の寺院機構と武家政権の宗教政策、(29)江戸幕府の「法度」について、(30)廃仏毀釈と明治期以降の仏教

履修上の留意点

出席は取らないが、講義中に数回のアンケートや感想文の提出を要求する。これも成績評価に加味されるので、夏休みのレポートとともに確実に提出すること。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。また、授業時間内で要求するレポートやアンケートなども加味して評価する。

教科書

適宜プリントを配布する。

履修コード	204501
科目名	仏教と人間
担当者名	菅原 壽清

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と宗教」という視点から、人間と宗教・仏教について、その営みをとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教をとらえてゆくための基礎的な講義を、後半では仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禪のころころなどの講義を、DVDやプロジェクターを用いてスライドを写すなど、ビジュアルな授業を進めて行きます。

講義の内容・授業スケジュール

〈宗教へのアプローチ〉

1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
  2. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉

3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈人びとの暮らしと仏教〉

5. 仏陀の教え（仏陀の生涯と教え）
6. 仏教の伝播と変容（中国・チベット仏教）
7. "（日本の仏教）
8. " ー神仏習合と分離ー
9. 禪のころころ（道元禅師の教え）

（海外調査などで撮影した多数の写真を、ホームページで公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。）

履修上の留意点  
成績評価の方法

必須科目なので、毎回出欠の確認を行います。

試験 +  $\alpha$  +  $\beta$ （詳細は、講義の時説明）

$\alpha$  = 座席点（ABCで、積極的な授業参加を評価します）

$\beta$  = レポート点（課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します）

教科書

特には指定しません。『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、なお可です。

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

また、講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です

参考書等  
その他の

講義中に紹介

特になし

履修コード	204601
科目名	仏教と人間
担当者名	渡部正英

講義のねらい

宗教教育としての仏教をさぐる。日本人に馴染み深い仏教を科学的な視点をもって、人々の生活に宗教としてどの様に関わってきたかを知る。前期は宗教学、仏教の歴史を通して話す。後期は仏教の実際の行事、儀礼などを参考に人々との関係を中心に話しをする。

講義の内容・授業スケジュール

（1～6）仏教と宗教学、（7～12）歴史から見た仏教（仏教史、世界宗教として等）、（13～19）

仏教と人生（年中行事、通過儀礼などから）、（20～25）仏教と祈り（仏像、巡礼などとの関わり）

成績評価の方法

各項目のまために授業内試験をする。更に最終講義の時に試験をして、総合評価をする。出席状況は考慮していく。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

履修コード	204701
科目名	仏教と人間
担当者名	岡部 雅明

**講義のねらい** 仏教は、教義としての仏教や、人びとが実際に信仰として行っている仏教などさまざまなレベルの仏教があります。また、信仰に基づいた仏教として行われている活動にも、地域によるバリエーションが存在します。このような多様性に富む仏教について、他の信仰との関連なども含め、仏教の教義や生活に根ざした仏教の理解、さらには宗教一般についての理解を深めることを目的としたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール** 【1～5】現代日本の仏教諸相(葬祭仏教・檀信徒制度・年中行事・祈禱など)【6～10】宗教現象の諸相(世界宗教・民俗宗教・シャーマニズムなど)【11～15】宗教学の基礎理論(宗教起源説・呪術・宗教論など)【16～20】初期仏教の歴史と教説(ブッタの生涯・教説など)【21～25】インド仏教の歴史と教説(部派仏教・大乘仏教など)【26～30】日本仏教の歴史と教説(仏教の受容・奈良仏教・平安仏教・鎌倉仏教など)

**成績評価の方法** 出席状況と学年末の筆記試験により評価しますが、場合によってはレポートを提出してもらい、総合的に評価します。

**教科書** 特に指定しない。  
**参考書等** 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	吉津 宣英

**講義のねらい** まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めたのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動(new spirituality movement)という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

**履修上の留意点** この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

**成績評価の方法** 毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

**教科書** 特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します  
**参考書等** 講義の中で随時参考図書を紹介します。

**その他** 私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>しもむろ かくだう</small> 下室 覚道

**講義のねらい** 日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯や基本的な教え、仏教各地への伝播状況などについて理解し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書にそって、釈尊の生涯とその教えを見ていく。次に釈尊亡き後の仏教の展開をたどり、各地域への仏教の伝播状況、その特色などについて学んでいく。特に伝播過程における日本曹洞宗の開祖である道元禪師については細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

**履修上の留意点** 仏教の基本的な知識を習得し、生きる指針にして欲しい。

**成績評価の方法** 授業の出席状況、年度末試験により評価する。

**教科書** 松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）  
尚、プリントを随時配布する。

**参考書等** 水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）  
奈良康明『ブッダ 知れば知るほど』（実業之日本社）など

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>おおたに てつと</small> 大谷 哲夫

**講義の内容・授業スケジュール** 釈尊の生涯とその教え。インド・中国・日本における仏教とくに禅仏教の流れ。特に本学の建学の理念の母胎を形作った禅の考え方を曹洞禅を中心に講義を進める。

**履修上の留意点** 日本文化の基礎の一面を担った仏教を理解し、現代における日本人としての自分自身の存在を常に意識してもらいたい。

**成績評価の方法** 出席状況とレポートを加味して評価する。

**教科書** 特になし。必要な資料は随時配布する。

**参考書等** 必要に応じて適宜指示する。

履修コード	206001
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>はれやま しゆんえい</small> 晴山 俊英

**講義のねらい** 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

**講義の内容・授業スケジュール** 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで-
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観-
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘經典-
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立-
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代-

**履修上の留意点** 上記、回数はいくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

**成績評価の方法** 期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

**教科書** 特になし。板書が中心となる。

**参考書等** 授業において必要があれば適宜指示する。

**その他** 試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

## 2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	206901
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	坂口 博規

講義のねらい

平安末期の歌人西行法師の作品を考察し、西行が中世精神の開拓者と評価される由縁を講じる。西行は真言僧であり、その宗教意識や宗教活動が和歌に如何に表現されているかを考え、また西行は「花月の歌人」と評されるが、その耽美的精神は日本の美意識の基調をなしている点も考えたい。あくまで西行という一人の歌人を「窓」にして、和歌・説話・無常観・漂泊の旅等々をキーワードに、日本文学の特質を多方面から考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに西行の生涯を概説（1～10）し、その宗教意識や活動を考察（11～18）、西行は後世の遁世者の理想と仰がれる由縁を考える（19～23）。また西行の花月への愛着、漂泊の旅人の精神や人間像は、後世芭蕉をはじめとして多くの歌人・俳人たちの傾倒するところであり、そこに日本文学の伝統を形成することにも言及する（24～30）。

履修上の留意点

授業は適宜配布するプリント教材により講義形式で行う。レポート作成の資料となるものであるから出席に努めてほしい。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、その成績に出席点を加味して評価する。

教科書

授業において適宜プリントを配布する。

参考書等

教授において適宜紹介する。



履修コード	207201
科目名	文学〔日本のことば〕
担当者名	萩原 義雄

**講義のねらい** 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に授業を進めていく。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明  
国語・国文学作品に於ける研究とその展開
- 02の講義内容 和語と漢語
- 03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)
- 04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)
- 05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』)
- 07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)
- 08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)
- 09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)
- 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
- 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
- 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
- 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
- 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
- 15の講義内容 絵本と言語
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
- 17の講義内容 書道と言語(唐顔真卿と明朝体文字)
- 18の講義内容 文字遊び(回文・逆きことば・しりとり等)
- 19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、欠字=『干禄字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)
- 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)
- 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
- 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
- 23の講義内容 音韻の響きと弾み
- 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
- 25の講義内容 日本語の系統
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
- 27の講義内容 愈々、独り立ち

**履修上の留意点**

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

**成績評価の方法**

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可とします。

(4) 成績評価方法

月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書  
参考書  
その他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/hagi/> を使用する。  
『紀田順一郎著作集』第6巻一知の職人たち/生涯を賭けた一冊―〔三一書房1997刊〕  
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。  
情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	208101
科目名	歴史学〔西洋中世史〕
担当者名	舟橋 倫子

**講義のねらい** ヨーロッパ史の基本的な流れを押えつつ、他者を理解し、歴史を学ぶ意義を共に考えることを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 1 ヨーロッパとは何か（風土の語るもの）（1～2） 2 古代地中海世界（ギリシャ）（3～5）  
 3 古代地中海世界（ローマ）（6～8） 4 キリスト教の発展と古代末期の世界（9～11） 5 ヨーロッパ中世社会の成立（12～14） 6 ヨーロッパ中世社会の発展（15～17） 7 ヨーロッパ中世社会の危機（18～20） 8 中世の文化（ロマネスクとゴシック）（21～22） 9 都市と農村（23～24） 10 修道院の世界（25～26） 11 宗教改革とは何か（26～27） 12 主権国家体制の成立（28） 13 宗教戦争（29～30）

**履修上の留意点** 受験で世界史を選択しなかった学生への配慮から、ある程度基礎的な説明もしますが、高校の歴史地図帳（年表と地図帳）を用意し各自で授業内容を復習するように心がけて下さい。日頃からヨーロッパに関するTV等の情報を収集するよう習慣づけて下さい。

**成績評価の方法** 学期末に行う試験によって評価を決定します。ノートの持ち込みを許可しますが、全て論述形式としますので、出席して自分なりにノートをとってまとめておかないと良い成績は期待できません。

**教科書** 教科書は特に指定しません。

**参考書等** 参考書は授業中に内容に応じて指示します。

**その他** 必要に応じてプリントを配布しますが、原則として講義形式で授業を行います。

履修コード	208401
科目名	芸術学〔日本美術〕
担当者名	北野 良枝

**講義のねらい** 室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 前期 室町から桃山時代の絵画  
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
 (3)～(7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派  
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派  
 (11)～(12) 狩野正信・元信 (13)～(15) 狩野永徳と桃山画壇  
 後期 江戸時代の絵画  
 (16) 江戸時代の狩野派 (17)～(20) 琳派  
 (21)～(22) 浮世絵 (23) 南蘋派  
 (24) 文人画 (25)～(26) 秋田蘭画と司馬江漢  
 (27) 円山四条派 (28) 伊藤若冲と曾我蕭白  
 (29)～(30) 江戸から明治へ

**履修上の留意点** 授業中の私語は厳禁。

**成績評価の方法** 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

**参考書等** 画像を映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒沢大学図書館に所蔵されている。  
 『原色日本の美術』（小学館）  
 『日本美術全集』（学習研究社）  
 『日本美術絵画全集』（集英社）  
 『日本美術全集』（講談社）

履修コード	208501
科目名	芸術学〔西洋美術〕
担当者名	矢野 陽子

**講義のねらい** ひつつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期 16世紀および17世紀のフランス美術

履修上の留意点 後期 18世紀のフランス美術

作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

**成績評価の方法** 夏休みの課題レポートを提出し、学年末の試験を受けた学生を評価の対象とします。レポートや試験の形式などは授業中に説明します。

**参考書等** 高階秀爾『フランス絵画史』講談社学術文庫  
大野芳材『フランス近世の美術』財務省印刷局  
その他、授業中に適宜紹介します。

履修コード	208601
科目名	芸術学〔音楽〕
担当者名	浦本 裕子

**講義のねらい** 音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のもので聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。

そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア

履修上の留意点 後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世

・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。  
・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

**成績評価の方法** 前期：試験またはレポート

後期：試験

**教科書** 柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

**参考書等** 藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）

久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）

岡田暁生 『西洋音楽史』

履修コード	208801
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	佐藤 暁 <small>さとう あきら</small>

講義のねらい

哲学という営みが世界史上初めて行われた古代ギリシャ及びその強い影響下にあった中世ヨーロッパで活躍した哲学者たちの議論に、なるべく具体的かつ多く触れることによって、哲学的な問題とはどのようなものであり、哲学的に何かを論じるとは一般にどのようなことであるか、の理解を得ることを目的とします。また、一見現代の我々のものと異なって見えることもあるそれらの問題設定を知ることによって、我々が何かを考える際に自明と見なしている枠組みの相対性と普遍性を、結果的に吟味することにもなります。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 概論：哲学とはどのような学問か (2) ソクラテス以前の哲学 (3)～(9) ソクラテス・プラトン (10)～(17) アリストテレス (18)～(20) ヘレニズム期の哲学 (21) (22) 教父思想とアラビア哲学 (23) (24) カロリング・ルネサンスと前期スコラ学 (25)～(27) 盛期スコラ学 (25)～(30) 後期スコラ学

成績評価の方法  
教科書

学期末にレポートを提出してもらいます。  
久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	黒崎 剛

講義のねらい	近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。
講義の内容・授業スケジュール	以下のテーマを取り上げる予定 1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか 2. 「知識」は何のためにあるのか 3. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか 4. 近代的自由の種類：自己決定と自律 5. 人間と自然：人はなぜ自然に生きることができないのか 6. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか 7. 歴史哲学
履修上の留意点	近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。
成績評価の方法 教科書	学年末試験を中心とし、受講態度および出席を加えて総合評価する。 教科書の代わりにプリントを配布。参考書は教場で紹介する。

履修コード	209801
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	河谷 淳

講義のねらい	ゼミ発表や就職活動において自分の考えを文章や口頭で表現するような場合、そこでは一定の「流れ」が要請されている。また、友人との何気ない会話にしてみても、反省してみるならば暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした前提から結論への妥当な「流れ」（推論の形式）とはどのようなものであるのかを考える学だと言える。この授業の目的は、「論理的である」とは一体どういうことなのかを考え、さらに、練習問題を解くことで様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつんでもらうところにある。
講義の内容・授業スケジュール	前期：伝統的論理 序論(1,2) (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）(3,4) (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）(5～9) (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）(10～12) (d) 虚偽論(13～15) 後期：現代論理（記号論理）入門 (d) 命題論理（日常言語の記号化と推論の証明）(16～22) (e) 述語論理（日常言語の記号化と推論の証明）(22～)
履修上の留意点	継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。
成績評価の方法	前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに出席状況との総合点によって評価する。

履修コード	210001
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1)(2)「論理的」とはどういうことか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など：期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等 その他の	そのつど指示する。 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	小島 優子 <small>こじま ゆうこ</small>

講義のねらい	論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや、論文を書くための力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス 論理学とは何か 2 さまざまな接続関係 3 接続の構造 4 議論の組み立て 5 論証の構造と評価 6 演繹と推測 7 価値評価 8 否定 9 条件構造 10 推論の技術 11 批判への視点 12 論文を書く
履修上の留意点	論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。
成績評価の方法	一回の定期試験(中間試験)と、一回の年度末レポート、および平常点(授業時に適宜与える課題)で評価する。定期試験とレポート、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。
教科書 参考書等	野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書) そのつど指示する。

履修コード	210401
科目名	科学史〔科学と技術〕
担当者名	高橋 秀裕 <small>たかはし しゅうゆう</small>

**講義のねらい** 今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけではなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期は、近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

**履修上の留意点** いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード(兼出席票)を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

**成績評価の方法** 出席・随時レポートによる平常点(40%)および定期試験(60%)の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

**教科書** 特に指定しない。  
**参考書等** 講義の際に適宜紹介する。  
**その他** 講義形式、随時プリント配布。

履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	古田 知章 <small>ふるた ともあき</small>

**講義のねらい** われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる(各項目ごとに、2～4回の講義を行い、Iを前期、IIを後期で扱う予定)。

- I. 人間観の形成の歴史とその伝統
  1. 人間と倫理 一人間であるために一
  2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
  3. 中世キリスト教思想における人間観
  4. 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革一
- II. 新しい時代の人間観
  1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
  2. 自己の内面性と他者の問題
  3. 人格 一ロックを手がかりに一
  4. 人間存在と自由

**成績評価の方法** 二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

**教科書** 『原典による哲学の歴史』(公論社)  
**参考書等** 講義の際にその都度紹介する。

履修コード	210701
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>

**講義のねらい** 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

**講義の内容・授業スケジュール** 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理—講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

**履修上の留意点** 課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

**成績評価の方法** レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。  
**教科書** 教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

**講義のねらい** 今日、例えば、自然環境保護をめぐって、生物に対して「固有の価値」を認めるか、人間にとって有益な「道具的価値」のみを認めるかが、議論されている。倫理思想では常に何が善で何が悪か、何が「価値」あるものかが問題とされている。そこで本講義では古今東西の倫理思想における価値観をとりあげ、その流れを捉えることにしたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1 仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教
- 2 近代哲学（カント、経験論・功利主義、ヘーゲルなど）の価値観
- 3 現代の環境倫理学など

**履修上の留意点** 私語をつつしみ、よくノートを取る。講義内容の疑問点は率直に問うこと（随時、質問表を配る）。

**成績評価の方法** 出席の割合、中間と期末の試験、レポート  
**教科書** 久保・河谷編「原典による哲学の歴史」（公論社）  
**参考書等** 授業中に紹介する。



履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	滝沢 正之

講義のねらい	倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。
講義の内容・授業スケジュール	[1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。） [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学史的位置づけなど。） [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。） [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。） [21回～25回] その他の諸問題（戦争における倫理、企業活動の倫理など。） （*残りは予備日。また、あくまで目安である。）
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。
教科書 参考書等	講義中に適宜指定する。 久保陽一、河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3、200円。 その他のものについては講義中に適宜指定する。

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	滝口 清栄

講義のねらい	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐらす思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。 こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法 教科書	中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	末木恭彦

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざまで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。

(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

履修上の留意点

ノートをしっかり取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

教科書

和辻哲郎『人間の学としての倫理学』(岩波文庫)(岩波全書版でも可)

参考書等

和辻哲郎『倫理学』(一)～(四)(岩波文庫)  
 湯浅泰雄『和辻哲郎——近代日本哲学の運命』(ちくま学芸文庫)  
 坂部恵『和辻哲郎——異文化共生の形』(岩波現代文庫)  
 苅部直『光の領国 和辻哲郎』(創文社)

履修コード	211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	<small>いけがみ よしまさ</small> 池上 良正

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。  
年度末に筆記試験を行なう。  
特に指定しない。

『岩波講座・宗教』(全10巻)(岩波書店)。『エリアーズ著作集』(せりか書房)。脇本平也『宗教学入門』(講談社学術文庫)。加藤隆『新約聖書の誕生』(講談社)。ランジュ『ユダヤ教とはなにか』(青土社)。板垣雄三『イスラーム誤認』(岩波書店)。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	<small>あなか かのこ</small> 田中 かの子

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類(例:「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」)から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期(1～15)は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期(16～30)は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
その他

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験(追試なし)。

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』(北樹出版)2007年、改版(第3刷発行)  
講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

**講義のねらい** 人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのではないでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

**講義の内容・授業スケジュール** まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。

**成績評価の方法** 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

**教科書** 原則として教科書は用いません。  
**参考書等** 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 秀武 <small>やの ひでたけ</small>

**講義のねらい** 宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教学人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に切り上げ、宗教学人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。

**成績評価の方法** レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

**教科書** なし  
**参考書等** 授業時に随時紹介する。

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	菅原 壽清 <small>すがわら じしきよ</small>

**講義のねらい** 人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教学人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教学人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. 宗教学・宗教学人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

**履修上の留意点**

(隔年で、後期の授業内容を変えています。昨年度は、農耕儀礼と人生儀礼から、私たちに身近な生活と宗教を見てきました。今年度は、呪術と宗教、シャーマニズム、妖術などから、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。勿論、宗教学の理論も押さえながら。)

**成績評価の方法**

講義では、調査で写した写真をプロジェクターなどを用いて映します。また、関連の写真をホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしに関心のある方は是非どうぞ。

**教科書参考書等**

試験+ $\alpha$ + $\beta$  (詳細は、講義の時説明)  
 $\alpha$  = 座席点 (ABCで、積極的な授業参加を評価します)  
 $\beta$  = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します)  
 特には、指定しません。

**その他**

『宗教学ハンドブック』(世界書院)  
 講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。  
 講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です。  
 授業の方法—講義、ビデオ・DVD、プロジェクターによるスライドの映写など、ビジュアルな授業を展開したいと思っています。調査 Field Work に関心のある方(社会・文化人類学、宗教学人類学)是非どうぞ。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	星野靖二 <small>ほしのせいじ</small>

**講義のねらい** 本講座では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることでもあり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思えます。

**講義の内容・授業スケジュール**

[01] はじめに。[02~06] 現代社会における宗教：今、どのような形で宗教が問題になっているのかについて検討します。[07~11] 宗教学の考え方について：宗教学の基本的な考え方について概説します。[12~15] 世界の宗教：様々な宗教とその実践についての基本的な知識を確認します。[16~21] 日本における宗教の歴史：現代までの日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。[22~29] 私たちと宗教：現代日本における宗教、特に民俗宗教の位置付けについて、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。[30] おわりに。

**履修上の留意点**

講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。  
 レポート(70点)とコメントカード(30点)によって評価します。また発言や質問など、積極的な授業参加は加点の対象とします。

**教科書参考書等**

特に使用しません。  
 棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005  
 関一敏・大塚和夫編『宗教学人類学入門』弘文堂、2004  
 島蘭進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006  
 末木文美士『日本宗教史』岩波書店、2006

**その他**

詳細については、初回講義時に説明します。

履修コード	211601
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	山口 太郎

**講義のねらい** 本講義では、都市、とりわけ東京を通じて、地理的想像力を磨くことを目的とする。今年度は都市の文化社会地理について、前期は総論を、後期はいくつかの場所を事例として紹介していく予定である。地理的想像力という教室で学習したことを、日常生活の中で振り返ることができれば理想的である。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (前期)
- 1: イントロダクション
  - 2: 東京の自然史
  - 3-4: 東京の歴史社会地理
  - 5: 横浜の歴史社会地理
  - 6: 大阪の歴史社会地理
  - 7: 東京の社会地図
  - 8-10: 都市の観察法
  - 11: 都市計画
  - 12: 都市空間と権力
  - 13: 都市空間とジェンダー
- (後期)
- 1-5: 東京の文化地理 (渋谷, 秋葉原, 池袋, 大久保, 新宿, 代官山, 下北沢など)
  - 6-9: 戦前の郊外の文化地理 (東京圏, 阪神間)
  - 10-12: 戦後の郊外の文化社会地理 (ニュータウン, 団地再生, 世代論など)
  - 13: 予備日
  - 14: テスト

**履修上の留意点  
成績評価の方法**

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行う試験、小レポート等の課題とで総合的に評価する。

**教科書  
参考書等  
その他**

特定の教科書は用いない。プリントを配布する。  
授業の中で紹介していく。  
講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろなところへ出かけたりすることを積極的に行なってほしい。

履修コード	211701
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	坪井 壱太郎

**講義のねらい** 本講義では、「風土」や「文化」といった抽象的な概念を、受講者自身がより身近に実感できる都市や環境に関するテーマを中心に国内外の地域統計データ等を利用することにより、変化や分布を理解し、解釈する方法を習得する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 事象把握のための理論的背景を踏まえ、それに基づくデータを用いた応用・作業と解釈を通した講義を行う。
- (1) 各種統計データの取得方法、作図・作表の方法、主題地図の作成方法
  - (2) 都市の構造と風土と文化
  - (3) 住環境における風土と文化
  - (4) 水利用における風土と文化
  - (5) 空間情報社会における風土と文化

**履修上の留意点**

本講義では、受講生自らがデータの集計・作図等の作業を通して解釈し記述することで理解を深めることを目指すものであり、任意または指定のデータに関する簡易な分析を行うため、毎講義時に必ず電卓を持参すること。

**成績評価の方法  
教科書  
参考書等**

前期(2回)と後期(2回)の課題レポートで総合的に評価する。  
特に指定しないが、講義内で適宜紹介をする  
浮田典良編『ジオ・パル21—地理学便利帖—』(海青社) 2625円  
菊池俊夫・若林芳樹・山根 拓・島津俊之『人間環境の地理学』(開成出版) 1860円

履修コード	211801
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 慎吾

講義のねらい	本講義は、身近な社会問題を取りあげ、地域的な差異の存在と、その要因について議論し、人文地理学の基礎的知識および社会問題への関心を深めることを目的とする。今年度は、昨今話題となっている大都市と地方との「格差」を中心テーマとし、地理学的な視点から、都市の形成過程、人口の移動について概説する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず既存の文献を紹介し、抽象的な概念である「空間」について、事例を紹介しながら概説する。つぎに、日常行動の発生について、通勤・通学行動を事例にその移動パターンや、それによって引き起こされる問題を取りあげる。 後期は、人生過程の中で生じる移動と、都市の形成・拡大について概観する。ここでは、大都市圏と地方での人口移動現象に着目し、なぜ大都市に人々が集まるのかをテーマとする予定である。詳細は初回授業時に説明する。
履修上の留意点	地理学の専門知識はかならずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。
成績評価の方法	学年末の試験によって評価する（追試験あり）。出欠は確認しないが、状況に応じて小レポートを課すこともある。
教科書 参考書等	とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。 荒井良雄・川口太郎・井上 孝2002、『日本人の人口移動－ライフコースと地域性－』古今書院、2,940円 ISBN：9784772260091

履修コード	211901
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 修一

講義のねらい	日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。 (1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知
履修上の留意点	講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。
成績評価の方法	原則として学年末の試験結果から評価する。なお、追試験は実施しない。
教科書 参考書等	高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。 北川建次編、『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編、『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN 4-7722-4027-6 ノックス、P.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0
その他	講義ではプリントを随時配布する。

履修コード	357101
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	萩原 <sup>はぎはら</sup> 義雄 <sup>よしお</sup>

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそうだ。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどのようなものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果  
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書  
参考書等  
その他の他

随時、講義の前後に報知します。

随時、講義の前後に報知します。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。



履修コード	357201
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	佐原 作美 <small>さきはら さくみ</small>

講義のねらい	広く文章を読んで理解し、思考力を高め、それを言語で適格に表現できる力を養うことは大切である。ここではその力を少しでも高めることを目的に進めていく。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、初めに日本の文字を学び、そのあと文章として代表的な古典の中から『古事記』の「国生み神話」や伝説。『万葉集』からは挽歌や生活苦を詠んだ歌。『風土記』からは「羽衣伝説」や『竹取物語』などを素材にそれらを進めていきたい。各作品とも3～4回の割で読んでいく予定。
履修上の留意点	古代文学を読むには先入観にとらわれないことが肝心。単純素朴な気持ちで味読することに心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物（作文）や定期試験（筆記またはレポート）を基本とし、出席状況を加えて評価する。
教科書 参考書等	プリントの配布をもって行う。 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	357301
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ゆまこ</small>

講義のねらい	—自己表現のためのレッスン—自分の考えをわかりやすく主張する力が不足していると思っている人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのために表現力を養う手助けをする。
講義の内容・授業スケジュール	いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。教材は、新聞記事、評論、手紙、歌詞、特に、今日的な問題を提起しているものを用意するが、受講生のニーズに柔軟に応じたい。 プログラム：(1) ガイダンス、(2～3) アイス・ブレイク、プレゼンテーションその1、(4～6) 身近な材料を読む・要約する・書く、(7～8) ディスカッションの方法と実践、(9～11) 調べて書く、プレゼンテーションその2、(12～14) 実用的な文章を書く、(15) 総括。
履修上の留意点	授業では文章を次々と読み、課題を書き、報告することを要求する。完全な講義形式を希望する受講生には不向きなので、履修の際にその点を留意のこと。また、人数は少数が望ましく、希望者は最初の授業から出席すること。
成績評価の方法	毎回書いてもらう短いコメント、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）、課題で60%、最後に提出してもらうレポートで40%。三分の一以上の欠席は不可。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書 参考書等	プリント教材。 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	357401
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろのり</small>

講義のねらい	殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的に立って、テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～3）。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について、自己表現の大切さを学んでほしい（4～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～15）。
履修上の留意点	「日本語表現」の知的理解をしてほしい。また言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出のレポートの成績評価。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、総合的に評価します。
教科書 参考書等	授業の折々にプリントを配布します。 授業において紹介します。

履修コード	357501
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>そのべ みきお</small> 菌部 幹生

講義のねらい	大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために、また将来社会に巣立って行くために、心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2～4 大学と大学生生活。5～8 キャリアデザインとライフスタイル。9～13 表現法とレポートの書き方。14 レポート提出。15 まとめ。 ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。
履修上の留意点	本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。
成績評価の方法	出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追・再試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。
教科書 参考書等	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	357601
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>いしわり とおろ</small> 石割 透

講義のねらい	映画の魅力とその本質 この時間は、19世紀末期にフランスとアメリカではほぼ同時に誕生し、たちまち20世紀の世界で多くの人に親しまれる娯楽、芸術となった映画の本質、中でも日本映画の特色をを考えていこうとするものです。
講義の内容・授業スケジュール	1、ルミエール兄弟製作の映画(2) 2、メリエス製作のSF映画の元祖「月世界旅行」(2)、3 アメリカ映画の誕生(1)、4、西部劇の元祖「大列車強盗」(1)、5 チャンバラ映画について(1) 6、溝口監督「浪華悲歌」「祇園雛子」「山椒大夫」をみる(4)、7、小津監督「東京物語」「浮草」を見る(4)
履修上の留意点	最近の日本映画も、アニメのみならず、国際的には非常に高い評価を得ており、すぐれた面白い映画は少なくありません。最近の映画も積極的に、これを機会に見てほしく、映画の魅力に取り憑かれてほしく思います。
成績評価の方法	1、作品ごとに簡単な感想文の提出と小津作品溝口作品から一つの作品を選んでレポートの提出。出席状況を重視し、成績評価に加味する。
教科書 参考書等 その他の他	授業時に指示する。 授業時に指示する。 講義形式で授業を進め、必要に応じてプリントなどを準備する。

履修コード	357701
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい	山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中であって、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	上記した映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。(1～2) 山田次・時代と人間を凝視する松竹出身映画監督の系譜、(3～5) 戦後高度経済成長の概要・その光と影、(6～7) 『家族』の分析、(8～9) 『故郷』の分析、(10～11) 『同胞』の分析、(12～13) 『幸福の黄色いハンカチ』の分析、(14～15) 『遙かなる山の呼び声』の分析
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法 教科書 参考書等	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。 適宜プリントを配布する。 授業時に指示する。

履修コード	357801
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい	大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学びの基本を身につけていただくことを目標とする。レポートの書き方や、図書館・パソコンの活用法など実務的な事項を確認しながら、教科書を使用して「教養とは何か」を考える。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、「共に学ぶ」ためのコミュニケーションを体験する機会も設けたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 論理的な思考と表現 (4) コミュニケーションについて (5) 図書館とパソコンの活用法 (6) レポートの書き方
履修上の留意点	大学生生活を始めるにあたって、授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、2/3よりは多い出席を必須とし、遅刻は認めない(途中入室を許可しない)。図書館でのガイダンス、パソコン教場の使用など、通常の教場以外で授業を行う場合がある。教科書は、範囲を指定するので各自で事前に読んでおき、読んであるかどうかを確認するための小テストを毎週行う。また各章の要旨を提出するレポートなどを課し、その提出ができない場合は単位の取得ができない。授業時間以外にも予習・復習の時間をとり、毎週十分な準備をして授業に望む必要がある。
成績評価の方法	前期定期試験期間中にレポートを提出していただく。そのレポートが50%、出席点が25%、授業中の小テストやレポート課題の点数が25%として評価する。出席が2/3に満たない場合、授業中の小テストやレポート課題の提出が2/3に満たない場合は、単位を取得できない。
教科書 その他	村上陽一郎『やりなおし教養講座』、NTT出版、1,680円。 初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。なお後期科目の「日本文化基礎(松田)」はこの授業とは別の科目であり、両方を履修する必要はない(してもよい)。

履修コード	357901
科目名	日本文化基礎
担当者名	佐原作美 <small>さばらさくみ</small>

**講義のねらい** 古代日本人の思想や精神生活の有り様を、奈良平安朝の古典文学の中に探っていくことを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業ではその方法として、  
 (1) 呪的信仰 (5～6回)  
 (2) 言霊信仰 (5～6回)  
 (3) 漂着物信仰 (2～3回)  
 の三つのテーマを設定し、『古事記』や『万葉集』や『風土記』あるいは『竹取物語』やいくつかの「説話集」などをもとに考察する。あわせそれらが現代人とどうかかわっているかも考えていきたい。

**履修上の留意点** 古代文学や古代人の心性に迫るにはまず先入観を捨て、単純素朴な気持ちで接することが肝要。

**成績評価の方法** 折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)を基本とし、出席状況を加えて評価する。

**教科書** プリントの配布をもって行う。

**参考書等** 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	358001
科目名	日本文化基礎
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>

**講義のねらい** テーマー〈家族〉の文学史・描かれた古代の女と男―古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻／悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母／慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典作品の一節を読みながら考える(現代語訳は用意する)。

**講義の内容・授業スケジュール** 説話や日記文学、物語などに描かれている家族像を読みながら現代につながる人間の問題を探ってみよう。併せて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。  
 プログラム：(1) ガイダンス、(2～4) 古代前期の家族、『万葉集』を中心に、(5～8) 8世紀の家族・『日本霊異記』を中心に、(9～11) 王朝貴族の家族・『蜻蛉日記』を中心に、(12～14) 『沙石集』『今昔物語集』などの説話に見る家族・家族像の変遷、(15) 総括。

**履修上の留意点** 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。  
 期末に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、授業態度(出席状況と毎回のコメントの内容)60%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

**教科書** プリント教材。

**参考書等** 服藤早苗『平安朝の母と子 貴族と庶民の家族生活史』中公新書、小嶋菜温子『源氏物語の性と生誕』立教大学出版会、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』角川書店、その他、参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	358101
科目名	日本文化基礎
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small>

**講義のねらい** 日本文学は社会や風土と深く関わり合い、複雑多様で豊かな展開を示している。時代時代において様々な思想や生活意識の推移において美意識の変遷が見られる。その全ては現代に至るまで日本文化に重層的に継承されており、長い伝統を形成している。それら各時代の文学に表われた美的理念をたどり、日本的な美意識の流れを考える。

**講義の内容・授業スケジュール** 古代から近世までの、主として古典文学に現れた美的理念を概説する。古代の「まこと(明・浄・直)」(1～3)、平安期の「あはれ」「をかし」「はかなし」(4～7)、中世の「無常」「幽玄」「妖艶」(8～10)、近世の「粋・通・意気」「滑稽」(11～15)等々を取り上げ解説する。

**履修上の留意点** 授業はプリント教材を用いて講義形式で行うので、出席に努めてほしい。

**成績評価の方法** 定期試験時のレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

**教科書** 適宜プリントを配布する。

**参考書等** 授業において適宜紹介する。

履修コード	358201
科目名	日本文化基礎
担当者名	<small>そのべ みきお</small> 蘭部 幹生

講義のねらい	真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的現象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4～5 自己認識の文化。6～9 衣食住の文化。10～11 宗教文化・スポーツ文化・原宿文化・テレビゲームの可能性と文化的展望。12～13 文化史としての日本文学と伝承芸文。14 教場試験。15 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、ノート・参考書等の持込可）。また、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当事・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書 参考書等	必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	358301
科目名	日本文化基礎
担当者名	<small>いしわり とおる</small> 石割 透

講義のねらい	ジャズ音楽の日本での受容について。ジャズは、大正時代にレコードの浸透、カフェ、ダンスホールの流行と共に移入され、特に戦後、猛烈なアメリカ文化の日本への進入と共に、日本で確固たる芸術として、文学者などにも影響を与えてきた。そうしたジャズの日本の受容のされ方を検討する。
講義の内容・授業スケジュール	1、大正時代までのレコード文化について（1）、2、大正から昭和にかけてのカフェ、ダンスホールの流行とジャズ（2） 3、二村定一のヒット曲「私の青空」など（2）、4、映画とジャズ、映画「マダムと女房」ミュージカル映画「鴛鴦歌合戦」など（3）5、戦前のジャズソング（2）6、戦後のジャズー昭和20年代（2）、7、「太陽の季節」などの文学作品、日活アクション映画とジャズ（3）8、ジャズ喫茶の流行（2）、9、アート・ブレイキーとジャズ・メッセンジャーズ来日公演の意義など（2）、10、ヌーベル・バーグの映画とジャズ（2）など。
履修上の留意点	ジャズの歴史的な展開を大体把握して、授業に臨んでいただきたいと思う。
成績評価の方法	出席を重視する。ジャズの受容についてのレポートを提出。それらを加味して評価する。
教科書 参考書等	特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。 マイク・モラスキイ「戦後日本のジャズ文化」（青土社）、倉田善弘「日本レコード文化史」（岩波書店）など。授業時に指示する。
その他	映画などは、ビデオなどで見ることを考えています。

履修コード	358401
科目名	日本文化基礎
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容・授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『氷河鼠の毛皮』、『シグナルとシグナレス』、およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。(1～3) 宮澤賢治の軌跡(4～6)『シグナルとシグナレス』の分析と読解(7～9)『氷河鼠の毛皮』の分析と読解(10～11)『どんぐりと山猫』の分析と読解(12～13)『水仙月の四月』の分析と読解(14～15)『グスコブドリの伝記』の分析と読解

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』(ちくま文庫)  
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

履修コード	358501
科目名	日本文化基礎
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい

講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした日本近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による近現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ

履修上の留意点

新入生と2年次生を対象として、各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としているので、基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。2/3以上の出席がなければ単位を取得できない。

成績評価の方法

音楽に関して、中学校の音楽の授業で学ぶ程度の基礎知識と楽譜の理解力を必要とする。定期試験期間中に筆記試験を行う。定期試験の点数を60%、出席状況と授業での提出物による評価を40%として採点する。

教科書

指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。

参考書等

佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。

履修コード	358901
科目名	日本語文化基礎
担当者名	秋原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用と実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果  
その研究領域の一般活用と手続き  
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)
- 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1 (中国と日本)
- 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2 (朝鮮半島と日本)
- 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3 (モンゴルと日本)
- 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4 (ベトナムと日本)
- 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5 (タイと日本)
- 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6 (インドネシアと日本)
- 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)
- 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1 (ギリシャ&トルコと日本)
- 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2 (イタリアと日本)
- 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3 (英国・米国・豪国と日本)
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である秋原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書  
参考書  
その他

随時、講義の前後にて報知します。

随時、講義の前後にて報知します。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	358911
科目名	日本語文化基礎
担当者名	湯浅 陽子

講義のねらい

現代の情報化社会において、情報を十分に活用する能力（情報利活用力）は、社会人としての必須能力です。本講座では、情報のインプットからアウトプットまでの流れー「情報収集」「情報管理」「情報分析」「情報創造」「情報表現」ーの5つの分野のうち、解決策を効果的に示す「情報表現」における様々な基礎的能力、すなわち、伝えたいことが伝わる国語力・文章力・図解力を身につけ、さらに情報を送受信する際に必要なモラルや知識を身につけることを目指します。

また、課題の入手から提出まで、全てパソコンで処理する中で、自然とPC操作能力が高まることも、ねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 授業の進め方： 「YeStudy」コース登録方法と課題の出し方の説明 【指定された大教場にて】
- 第2回 情報表現力とは 《確認小テスト》 【これ以降 e-learning】
- 第3回 文章表現力1-1（前半）「語彙をふやす：慣用句とことわざ」 《課題1-1、確認小テスト》
- 第4回 文章表現力1-2（後半）「語彙をふやす：敬語」 《課題1-1、確認小テスト》
- 第5回 Drill -1
- 第6回 文章表現力2 「文章を書く」 《課題 2-1&2-2、確認小テスト》
- 第7回 文章表現力3 「文章の構成」 《課題3、4-1&4-2、確認小テスト》
- 第8回 ビジネス文書 「社外文書と社内文書」 《課題 5-1&5-2、確認小テスト》
- 第9回 その他の文書 「ビジネスメール、小論文、エントリーシート」 《課題 5-3&5-4、6、7、確認小テスト》
- 第10回 Drill-2
- 第11回 ビジュアル表現力1 「色彩の基礎知識」 《課題 8-1&8-2、9-1&9-2、確認小テスト》
- 第12回 ビジュアル表現力2 「表、図解、グラフ」 《課題 10-1&10-2、11、確認小テスト》
- 第13回 Drill -3

履修上の留意点

この授業は E-education「YeStudy」を使用して行います。後期第1回目の授業で行う説明を受け、その後は全て自己管理の下に進めていく授業形態です。具体的には、例えば自宅のPCから駒澤大学総合情報センタートップページの「YeStudy」にアクセスしてこの科目に入り、最初に「教材」ファイルを読んだ上で課題をダウンロード後解答および保存し、それを期限内にアップロードして提出する、という流れになります。

各回に80点以上の取得が必要な「確認小テスト」と、全体の総まとめとして「Drill」が3つ用意されています。

2回目の授業からは、いつでも、どこからでも、設定されている授業時間割とは無関係に、課題やDrillを提出することによって、通常の授業に出席したのと同程度の評価を受けることができますが、提出物には全て提出期限が設けてあります。

自己管理できない人は、設定されている授業時間に指定教場に来て「対面授業」による指導を受けてください。対面授業では、PC操作が苦手な人向けに、個人指導型の授業を展開します。

受講するためには、教務部の履修登録の他に、大学のPCネットワークを使用するためのIDと「YeStudy」コース登録（後期第1回目の授業日～期間限定で登録）が必要です。また、授業に関する連絡は大学の Active Mail を通じて行いますので、頻りにメールチェックが必要です。「メールを見なかったのでもできませんでした」は理由になりません。それも含めて情報利活用力の養成です。

成績評価の方法

課題、確認小テスト、Drill の総合得点により評価します。各提出物には、それぞれに締切日時があり、期限を過ぎるとアップロードできなくなります。いかなる理由があろうとも、提出されなかったものは評価対象になりません。提出期限厳守です。

教科書  
参考書等

noa 出版 『伝える力がつけば変わる！情報表現力』 株式会社ワークアカデミー ¥1,766

課題を作成するには、パソコンに Word および PowerPoint が入っていることが必要です。ソフトの使い方が分からない場合は、毎週必要とする人に開講している「対面授業」に出席するか、書店に並んでいる操作説明書を参考にしてください。

その他

スポーツも芸ごとでも「基本が大切」とは、よく言われることですが、PC操作も実はスポーツと似ていて基本が大事です。PC操作の基本とは、手元を見ないで打つ「タッチタイピング」です。文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心に、基本が出来ているか否かで、仕事の処理能力にかなりの差がつくものです。空き時間を利用して、総合情報センター自習室のコンピュータに入っているタッチタイピングソフト「Type Quick」で入力スキルアップを図ってください。



履修コード	171101
科目名	日本文化研究IA
担当者名	<small>さかちひろみ</small> 坂口博規

**講義のねらい** 鎌倉時代に生きた二人の女性の人生を、それぞれの作品より考察する。一人は平安末期の平家全盛時代に、平清盛の娘建礼門院徳子の宮廷女房だった右京大夫という女性、もう一人は後深草上皇の宮廷に仕えた二条という女性である。それぞれの作品に語られた男性との恋愛交渉を通して、「契り」という女性の人生観を考えてもらう。即ち日本の古典文学に現れた「女性史」の一端を学んでほしい。

**講義の内容・授業スケジュール** 最初に女性の手になる自照文学の流れを概観し(1・2)、次いで前期として右京大夫の個人歌集『建礼門院右京大夫集』より作品を抜粋したものでその人生を考察(3～13)、後期は二条の日記『とはずがたり』より作品を抜粋したものでその人生を考察する(14～27)。特に後者は鎌倉時代において日本各地を旅した稀有の女性であり、その旅の意味を考える(28～30)。

**履修上の留意点** 半期にそれぞれの作者の作品を紹介するので全体を読解することが出来ない。是非関心を以て作品全体を読み味わってほしい。

**成績評価の方法** 前・後期のそれぞれの授業最終日に、作者あるいは作品についてのレポートを提出してもらい、その総合の成績に出欠状況を加味して評価する。

**教科書参考書等** 授業時にプリントを配布する。  
授業時に適宜紹介する。

履修コード	171202
科目名	日本文化研究IA
担当者名	<small>すずき ひろこ</small> 鈴木 裕子

**講義のねらい** テーマ：歌物語を楽しむ  
『伊勢物語』を中心に『大和物語』をも取り上げつつ、歌物語の本質について考える。併せて『伊勢物語絵巻』など視覚的の享受についても論じる。

**講義の内容・授業スケジュール** プログラム：(1) ガイダンス、(2～3)「一代記」の始まり・伊勢初段、(4～6)大和161段と伊勢3、76段、(7～11)伊勢5段、123段と大和157、158段、伊勢23段と大和149段(12～14)伊勢6・12段と大和155段、(15)前期総括、(16～19)伊勢24段と大和148段、伊勢60、62段、(20～21)伊勢63段と大和156段、(22～24)伊勢40段と大和64段、(25～27)伊勢65段、69段と源氏物語、(28～29)業平の終焉・伊勢124、125段と大和158段、(30)総括。

**履修上の留意点** 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。

**成績評価の方法** 期末毎に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、授業態度(出席状況と毎回のコメントの内容)60%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

**教科書参考書等** 徳原茂実・青木陽鶴子編『王朝歌物語選』(和泉書院)、その他プリント教材。  
参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	172001
科目名	日本文化研究IA
担当者名	<small>あおの すすむ</small> 蘭部 幹生

**講義のねらい** 日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6～12 宇治拾遺物語の特徴と問題。13～23 編者論。24～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。

**履修上の留意点** 毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

**成績評価の方法** 毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

**教科書参考書等** 中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫  
『駒澤短大国文』26号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	169702
科目名	日本文化研究IA
担当者名	佐原 <sup>さばら</sup> 作美 <sup>さくみ</sup>

**講義のねらい** 約4500首もの和歌を取める『万葉集』の中から、特に異色の歌人山上憶良の作品を読みながらその人間像や思想を探究することを目的に授業をすすめたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 憶良を理解するにはその全作品を精読することが第一であり、それに合わせその時代や社会などの背景も視野に入れる必要がある。授業では全77首の和歌のほか、漢詩などもふくめそれら全作品を年代順に読んでいく。とともに同時代の歌人との比較も試みながら進めたい。

**履修上の留意点** 古典文学は何度も繰り返し読むことが肝心。味読することに心掛けてほしい。

**成績評価の方法** 折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況をもって評価する。

**教科書** 土橋寛編『作者別万葉集』おうふう刊、定価2000円。

**参考書等** 必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	359001
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	佐原 <sup>さばら</sup> 作美 <sup>さくみ</sup>

**講義のねらい** 古代日本の人々は、日常生活の中で何を願い、何を信じ、何を恐れ、何を笑ったか等々、その感情や思想などについて、わが国最大の説話集『今昔物語集』を中心に考察する。あわせ現代人とのかかわりをも視野に入れ見ていくことが目的である。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期は、人々の願望や信仰の視点からその「仏法部」を対象に、観音・地藏・阿弥陀など、現代人にもなじみ深い諸仏信仰を内容とするものを各3～4回の割で見えていく。後期は、一転して人々の日常生活の面から「世俗部」を対象に、芸道や死霊や笑いあるいは古伝承や奇怪な話など、中広く取り上げ各2～3回の割で見えていく。怪しくもたくましく生きる人間模様が、科学文明と称する中に生きる現代人の目にどう映るかなども視野に入れて見ていきたい。

**履修上の留意点** 説話は短く内容も単純であるだけに、それらが発するメッセージを見逃さないことが肝要であろう。

**成績評価の方法** 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本とし、かつ出席状況を加えて評価する。

**教科書** プrintの配布をもって行う。

**参考書等** 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	359101
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	鈴木 <sup>すずき</sup> 裕子 <sup>ひろこ</sup>

**講義のねらい** 一和歌で読む『源氏物語』—  
古典の物語では和歌は重要な役割を果たす。『源氏物語』の精選した場面を原文で読み、和歌の機能について理解を深めたい。古典和歌になじみのない人も現代語訳の『源氏物語』で和歌がどう扱われているかを確認しつつ物語のおもしろさを発見して欲しい。

**講義の内容・授業スケジュール** プログラム：(1) ガイダンス、(2～8) 光源氏の青春の物語、(9～14) 和歌で読む紫の上の人生史、(15) 前期の総括、(16～18) 『源氏物語』の「主役」の和歌、「脇役」の和歌、(19～22) 薫と大君の物語、(23～27) 浮舟の歌を読む、(28～29) 『源氏物語』の和歌が後生に与えた影響、(30) 総括。

**履修上の留意点** ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。  
授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

**成績評価の方法** 期末毎に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

**教科書** プrint教材。

**参考書等** 参考書は、俵万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』（角川叢書・角川書店）その他、授業中に指示する。

履修コード	359201
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	<small>さかぐち ひろき</small> 坂口 博規

講義のねらい	古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7・8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って採用されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違いは『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～30）。
履修上の留意点	古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。
成績評価の方法 教科書 参考書等	定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。 授業時に適宜プリントを配布する。 授業時に適宜紹介する。

履修コード	359301
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	<small>そのべ みさお</small> 蘭部 幹生

講義のねらい	『宇治拾遺物語』の編者が文章・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3～4 編者論。5～14 作中人物論。15～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。
履修上の留意点	日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。 また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験間中の試験は行わない。
教科書 参考書等	中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫 『駒澤短大國文』25号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	170201
科目名	日本文化研究IB
担当者名	いしわり とおる 石割 透

講義のねらい	1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小说を読む。 主に大正時代の作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・菊池寛・江戸川乱歩ら——の作品を読み、それぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。
講義の内容・授業スケジュール	1 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「小僧の神様」、芥川龍之介「南京の基督」志賀直哉「焚火」(5)、 2、谷崎潤一郎「春琴抄」「小さな王国」「髻間」(6)、 3 菊池寛「入れ札」「身投げ救助業」,「真珠夫人」(4)、江戸川乱歩「人間椅子」,「屋根裏の散歩者」(4) 5 芥川龍之介「秋」「舞踏会」(2)など
履修上の留意点	授業に際して、各々の作品を前もって十分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館などで読んでほしい。いずれも短篇小说だから、すぐに読める筈である。
成績評価の方法 教科書	年度2、3回のレポート提出。更に出席状況を重視する。 特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集I~VI」(ちくま文庫)、谷崎潤一郎「痴人の愛」(新潮文庫)など。
参考書等 その他	年表の会編『近代文学年表(双文社出版)、他は授業時に指示する。 講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどをその都度準備、配布する。

履修コード	175501
科目名	日本文化研究IB
担当者名	こはやし おさむ 小林 治

講義のねらい	現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画制作に参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもネオリアリズム、シュールリアリズムなどの視点から取り上げる。
講義の内容・授業スケジュール	代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。(1~3) 安部公房・作家活動の軌跡(4~6) 安部公房の映画製作について(7~9) ネオリアリズムとの関わり(10~12) シュールリアリズムとの関わり(13~15) 映画「おとし穴」について(16~18) 映画「砂の女」について(19~21) 映画「他人の顔」について(22~24) SF的方法と小説「第四間水期」について(25~27) SFの歴史(28~30) SF文学と映画の比較
履修上の留意点	授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。
成績評価の方法 教科書	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。 安部公房『砂の女』(新潮文庫) 400円 安部公房『他人の顔』(新潮文庫) 450円 その他、適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に指示する。

履修コード	215711
科目名	日本文化研究IB
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行

講義のねらい	近代以降の日本における演劇と芸能の諸相を、多様な視点から考察する。西洋近代劇の移入に始まる演劇史を中心としながら、浅草オペラや宝塚、ミュージカルなどの音楽劇、寄席の芸能や大道芸に至るまでを広い視野でとらえ、ジャンルの枠を超えた発想から近代日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 芸能とは何か (2) 現代日本の芸能と演劇の実情 (3) 歌舞伎開化から新派へ (4) リアリズム演劇の理念 (5) 近代演劇の移入と新劇 (6) 帝劇と宝塚 (7) 浅草オペラとエノケン (8) 漫才と喜劇 (9) 大道芸と見世物 (10) 近代戯曲を読む－イブセン「人形の家」と岸田国士「紙風船」
履修上の留意点	できる限りの映像資料を使って芸能や演劇に触れてほしいと思っているが、それは単なる映像に過ぎないことも事実である。授業時間以外に自分で様々な芸能や演劇の場に足を運び、レポートとして報告する課題を出す。機会があれば希望者を募っての観劇会も企画したい。 2/3以上の出席がなければ単位は取得できない。遅刻の場合は出席とみなさないので注意すること。
成績評価の方法	出席点(授業での提出物の評価を含む)が30%、前期・後期のレポートがそれぞれ10%ずつ、学年末の定期試験期間中に行う筆記試験が50%とする。
教科書その他	指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。 この授業で扱う内容からさらに専門性を深め、自分の興味にしたがって各自が研究し発表する演習形式に近い形態を取り入れた「日本文化研究IIB(松田)」を開講している。希望者はこちらのIIBを先に履修してから、翌年度以降にさらに興味があればIIBを履修していただきたい。

履修コード	359701
科目名	日本文化研究IIB
担当者名	いしわり とおる 石割 透

講義のねらい	日本近代文学と〈京都〉——そうだ、京都。学ぼう。 京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な、東京を批評する性格をもつ都市として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪づれる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうした〈京都〉という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがわってきたか。この授業では、京都という都市の性格を概観し、それが特に日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。
講義の内容・授業スケジュール	1, 京都の歴史(2) 2、地理的条件(2) 3、生活習慣、行事など(2) 4、京都言葉の特徴(3)、5、家屋構造、路地など(2)、6 近代の京都、疎水工事、市内電車など(1)、7、川端康成「古都」の検討(3) 8、与謝野晶子「みだれ髪」、夏目漱石「虞美人草」(3)、9、東京下町趣味、長崎、祇園、吉井勇、長田幹彦、高浜虚子など(3) 10、近松秋江「黒髪」(3)、11 京都と映画、牧野省三、溝口健二など(1)
履修上の留意点	各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。
成績評価の方法	年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。
教科書	特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。
参考書	授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。
その他	講義を中心として進行する。

履修コード	359801
科目名	日本文化研究II B
担当者名	<small>こばやし おさむ</small> 小林 治

**講義のねらい** 戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをおぼろげにイメージして対象化して考える出発点としていきたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

第二次大戦直後の戦後文学の出発期から第三の新人が出揃った昭和三十年代に至るまでの戦後日本文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する予定。(1～3) 戦後文学の特色について (4～6) 『近代文学』の役割 (7～9) 野間宏の軌跡 (10～12) 『暗い絵』の分析 (13～15) 『顔の中の赤い月』の分析 (16～18) 島尾敏雄の軌跡 (19～21) 『出発は遂に訪れず』の分析 (22～24) 『死の棘』の分析 (25～27) 安部公房の軌跡 (28～30) 小島信夫の軌跡

**履修上の留意点**

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席すること。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

**成績評価の方法教科書**

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

野間宏『暗い絵・顔の中の赤い月』(講談社文芸文庫)

島尾敏雄『出発は遂に訪れず』(新潮文庫)

その他、適宜プリントを配布する。

**参考書等**

授業時に指示する。

履修コード	359901
科目名	日本文化研究II B
担当者名	<small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行

**講義のねらい** 昨年度の「日本文化研究IB (松田)」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、受講者が分担して調査研究した内容を発表する演習形式に近い要素を取り入れながら、より深い理解を目指す。

**講義の内容・授業スケジュール**

「日本文化研究IB (松田)」で触れた主なテーマとしては、(1) 演劇におけるリアルとは何か (2) 伝統芸能と現代演劇 (3) 浅草オペラとエノケン (4) 宝塚とミュージカル (5) 漫才と喜劇 (6) 大道芸と見世物、などがある。ほかに受講者の希望があれば、できる限り応じたい。

**履修上の留意点**

基本的には昨年度の「日本文化研究IB (松田)」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずIBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行い、履修に関する質問等を受けつけるので、必ず出席すること。

**成績評価の方法**

筆記試験は行わない。授業での発表が50%、出席状況や授業への参加姿勢による評価が50%として判定する。

**教科書**

「演劇におけるリアルとは何か」を考えるためのテキストとして、平田オリザ「演劇入門」講談社現代新書1422、¥735を使用する。

履修コード	170901
科目名	日本語文化研究I
担当者名	萩原 義雄

**講義のねらい** 音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する日本語資料の実態についてその保管現況を把握します。この資料をどう時代区分するのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化を研究する際、どのような重要性を有し、どのように研究発展させていくのかを各が認識していきます。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- 01の講義内容 日本文化の未来と古代をつなぐ
- 02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について  
文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語学資料へ
- 03の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たみにのうた」
- 04の講義内容 『伊勢物語』第九段 「東下り」を読む
- 05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』— PDF版
- 06の講義内容 「落書」PDF版
- 07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 08の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 「かな」について 貴族階級とことば教育 佛敎界とことば教育
- 09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について— 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一二〇六年寫—
- 10の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館蔵国宝、鈴鹿本)—
- 11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ—
- 12の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字 —  
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 13の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる疊字踊り字「／＼」 PDF版
- 15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 18の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版
- 19の講義内容 『太平記』について PDF版
- 20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』PDF版
- 25の講義内容 町人文化とことば…十返舎一九編『東海道中膝栗毛』PDF版
- 26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—  
冬季課題の提出

**履修上の留意点**

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

**成績評価の方法**

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時間閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し& FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

**教科書**

紀田順一郎著『日本の書物』〔勉誠出版、3000円(税別)〕  
インターネット公開型テキスト“国語史” [URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

- 参考書等 今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別) ISBN4-305-70307-6
- その他 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	215721
科目名	日本語文化研究I
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい Word と Excel の基本的な操作方法からその活用方法まで、操作実習と練習を繰り返しながら、文書作成スキルを身につけることを目的とします。授業内で完成しない課題は宿題として自習し、1週間以内に提出するという短期集中型で行う、効率の良い技能習得方法だけに、個々の地味な努力が求められますが、その分、大きな達成感を味わえることでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：
- 第1回 オリエンテーション・履修登録許可者の選別テスト
  - 第2回 「履修登録許可書」の発行・ Word を起動しましょう
  - 第3回 タッチタイピングをマスターしましょう
  - 第4回 文字を変換しましょう
  - 第5回 文章を入力しましょう
  - 第6回 文書を作成しましょう
  - 第7回 文字を装飾しましょう
  - 第8回 社外文書を作成しましょう
  - 第9回 文書の表現を整えましょう
  - 第10回 ページ設定を変更しましょう
  - 第11回 表を作成しましょう
  - 第12回 図形を描きましょう
  - 第13回 Drill-1 ・タッチタイピングテスト①

- 後期：
- 第14回 タッチタイピングテスト②・ Excel を起動しましょう
  - 第15回 文字や数値を入力しましょう
  - 第16回 表を作成しましょう
  - 第17回 ビジネスで使われる計算式・数式の入力・数式のコピー
  - 第18回 相対参照と絶対参照・関数の利用
  - 第19回 表を編集しましょう
  - 第20回 印刷しましょう
  - 第21回 グラフを作成しましょう
  - 第22回 図形を描きましょう
  - 第23回 Drill-2
  - 第24回 Word & Excel 総復習
  - 第25回 タッチタイピングテスト③
  - 第26回 予備日

履修上の留意点

コンピュータを使用します。第1回目の授業時に KOMAnet ユーザIDを取得していない人は受講できません。

第1回目の授業で履修登録許可者を決定するためのタッチタイピングテストを行い、結果を翌日当該教場ドアに掲載します。履修を許可された学生は、第2回目の授業に出席して、「履修登録許可書」を受領してください。

なお、第2回目に履修登録許可者が欠席した場合は権利を放棄したものとみなします。(定員60名)

成績評価の方法

出席を重視します。細かな課題提出が多数あります。出席点、課題提出点、タッチタイピングテスト点、Drill の点数の総合点で評価します。

教科書

noa 出版 『繰り返して慣れる！ Word & Excel2003』(但し2007バージョンになる可能性大) 株式会社ワークアカデミー ￥1,050

参考書等

適宜指示します。

その他の

初心者対象の授業ですので、経験者をご遠慮ください。



履修コード	360601
科目名	日本語文化研究II
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知頭集』、『神風知願正義集』、『伊勢物語惟清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』、『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究における国語資料としての位置づけについて探求することをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明  
古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは
- 02の講義内容 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』
- 03の講義内容 『古事記』の注釈書『古事記伝』
- 04の講義内容 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』
- 05の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 07の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 08の講義内容 『伊勢物語』の注釈書『和語知頭集』『神風知願正義集』『伊勢物語惟清抄』
- 09の講義内容 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』
- 10の講義内容 『枕草子』には『春曙抄』
- 11の講義内容 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』
- 12の講義内容 文献素材の入手及びデータ入力作業
- 13の講義内容 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』
- 14の講義内容 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』
- 15の講義内容 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』
- 16の講義内容 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』
- 17の講義内容 『庭訓往來』の注釈書『庭訓往來註』『庭訓往來抄』
- 18の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)
- 19の講義内容 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み
- 20の講義内容 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料
- 21の講義内容 注釈書類の引用文献その2 和歌資料
- 22の講義内容 注釈書類の引用文献その3 和文資料
- 23の講義内容 注釈書類の引用文献その4 記録類資料
- 24の講義内容 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料
- 25の講義内容 解説資料の整理記述(PPTの作成)
- 26の講義内容 資料公開とその注釈語の分析結果報告(PPTによる発表)

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

月毎に注釈書収載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書の他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	360701
科目名	日本語文化研究II
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい

あなたは自分の日本語による「表現力」に自信がありますか？近頃いろいろな場面で若者のコミュニケーション能力に不安があるという声を耳にします。コミュニケーション能力は、相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることで高めることができます。

本講義では、文章技法からプレゼンの実施までを体験しながら方法論を学び、総合的な表現力を身につける手助けをします。話すにしても書くにしても結局のところ正しく美しい日本語による表現力が求められます。「就職」を意識して、世の中の動きに即対応できる、日本語表現力を身につけることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 オリエンテーション（履修登録許可者決定のためのテスト）

- 第2回 自分を磨こう
- 第3回 知っているようで知らない日本語
- 第4回 美しい日本の言葉
- 第5回 会話の達人になろう
- 第6回 社会人としての会話
- 第7回 電話を使いこなす
- 第8回 面接試験を研究する
- 第9回 小論文を克服しよう
- 第10回 就職作文か小論文か
- 第11回 出題形式別的小論文
- 第12回 小論文の実例から学ぶ
- 第13回 小論文タブー集
- 第14回 履歴書・エントリーシート
- 第15回 実用文に慣れよう（手紙・はがき）
- 第16回 ビジネス文書表現（社内文書）
- 第17回 ビジネス文書表現（社外文書）
- 第18回 ビジネスメールの表現
- 第19回 スピーチも覚えよう
- 第20回 プレゼンテーション（スライド作成）
- 第21回 プレゼンテーション（スライド作成）
- 第22回 プレゼンテーション（発表会）
- 第23回 プレゼンテーション（発表会）
- 第24回 予備日

履修上の留意点

頭の中にあることがすぐ文字化できる程度のタイピング力を要します。第1回目の授業でタッチタイピングのテストをして、上位の学生から順に履修登録許可を与えます。許可された学生は第2回目の授業に必ず出席し、「履修登録許可書」を受領してください。（定員60名）

なお、第2回目の授業に履修登録許可者が欠席した場合は、その権利を放棄したものとみなします。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験の合計点により算出します。

教科書  
参考書等  
その他の

田上貞一郎 『就職に役立つ 日本語表現法』 萌文書林 ￥1,680 ISBN4-89347-047-7  
適宜指示します。

課題は Word を使って作成しますので、無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている入力練習ソフト Type Quick でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。

履修コード	360901
科目名	実務表現
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかないでいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明  
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
- 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰め原稿用紙を用いないのか?
- 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
- 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
- 05の講義内容 漢和辞典を繙く
- 07の講義内容 国語辞典を繙く
- 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
- 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
- 10の講義内容 人物はどのように描けるか
- 11の講義内容 自然景物をどう活写するか
- 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
- 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにおいているか
- 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
- 15の講義内容 絵本を書いてみよう
- 16の講義内容 漫画・アニメにみる「ことば表現」を使えるか
- 17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか? そのコツ!
- 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆さことば・しりとり等)を学ぼう
- 19の講義内容 かな文字だけの文章
- 20の講義内容 ローマ字だけの文章
- 21の講義内容 文法は、グラグラだ! どうすりゃいいの?
- 22の講義内容 文章の修辞法を知ろう
- 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶ「オノマトペ」の活用法
- 24の講義内容 生活に根ざした「方言」で書く文章
- 25の講義内容 「句読点」はどう用いてきたか
- 26の講義内容 言語生活からみた「新聞論評・コラム」
- 27の講義内容 愈々、独り立ち! 個性ある書き手をめざそう。(PPTの作成)

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう! また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めています。その仕上がりに度合いを許しに評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教 科 書  
そ の 他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/hagi> を使用する。

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2007」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	361001
科目名	実務表現
担当者名	湯浅 陽子

講義のねらい

情報検索、情報共有、文書作成、企画提案、プレゼンテーション、数値分析、デザイン、スケジュール管理…等々、実社会では、「情報を活かし、コミュニケーションする能力（ICT能力）=情報活用力」が日々、求められています。パソコンなど情報機器の普及とともに、多くの仕事で情報を取り扱う機会が増え、「情報活用力の優れた人材=仕事のできる人」という図式ができあがりつつあります。

この動きに対応できるよう、情報基礎教育や Office アプリケーション操作をひとつおとりマスターした学生にとっての「実社会で活躍する」スキル涵養のための授業です。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション（履修登録許可者決定のためのテスト）
- 第2回 「履修登録許可書」発行・文書表現1（良い文書・わかりやすい文章）
- 第3回 文書表現2（文書のレイアウト）
- 第4回 ビジネス文書作成1
- 第5回 ビジネス文書作成2（検定）
- 第6回 さまざまな機能の利用1\*
- 第7回 さまざまな機能の利用2
- 第8回 さまざまな機能の利用3
- 第9回 さまざまな機能の利用4
- 第10回 ビジュアル表現1
- 第11回 ビジュアル表現2\*\*
- 第12回 インターネットコミュニケーション（メール）
- 第13回 予備日
- 第14回 情報検索（インターネットを用いた情報検索）
- 第15回 情報運用（情報を正しく扱う・情報の安全性）
- 第16回 数値分析I-1（データの種類・データの加工・セル参照）
- 第17回 数値分析I-2（関数の利用\*）
- 第18回 数値分析II-1（データのグラフ化\*\*）
- 第19回 数値分析II-2（データの分析\*\*\*）
- 第20回 データベース1
- 第21回 データベース2（シートの管理\*\*\*\*）
- 第22回 ファイル・データ管理
- 第23回 予備日
- 第24回 予備日

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業時に履修登録許可者を決定するためにタッチタイピングテストを実施します。翌日当該教場のドアに決定者の学生番号を貼付してお知らせしますので、第2回目の授業時に「履修登録許可書」を受領してください。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を欠席した場合は、権利を放棄したものとみなします。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験の合計点により算出します。

教科書

本田直也監修 noa 出版編集 『考える、伝える、分かちあう、情報活用力』 株式会社ワークアカデミー ISBN978-4-9902420-4-6

参考書等

noa 出版 『繰り返して慣れる！完全マスター Word2003/2007』 株式会社ワークアカデミー \*pp.73～170、\*\*pp.190～208 ￥1,235  
noa 出版 『繰り返して慣れる！完全マスター Excel2003/2007』 株式会社ワークアカデミー \*pp.58～79、\*\*pp.132～159、\*\*\*pp.160～171、\*\*\*\*pp.172～189 ￥1,235

その他の

課題は Word や Excel を使って作成しますので、無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている入力練習ソフト Type Quick でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。

履修コード	168902
科目名	日本文化テーマ研究A
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	日本の神話や伝説をはじめとする伝承文学をもとに、古代日本人の心性や精神生活のありようを考察することを目的とする。あわせ現代人とのつながりについても見ていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	人々によく知られた「国生み神話」や「八俣の大蛇退治」などの『古事記』神話（4～5回）や、行路使者の歌をはじめ『万葉集』に見られる伝承歌（4～5回）、あるいは『竹取物語』に代表される「羽衣説話」（4～5回）、その他心ひかれる古伝承などを読みながら考察していきたい。
履修上の留意点	文学は味読することが大切。各自の感性を大切にし何度も繰り返し読んでほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本とし、出席状況と合わせ評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じて授業時に紹介する。

履修コード	168911
科目名	日本文化テーマ研究A
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	テーマ：日本古典文学と〈異界〉—神話・伝説を読む—古代の文学作品や歴史書、地誌などを取り上げて、古代の人々が〈異界〉をどのように考え、語っているかを解説する。また、実際に原文に触れて古典を読む楽しさを味わって欲しい。
講義の内容・授業スケジュール	どのような人が〈異界〉から訪れ、あるいは〈異界〉への旅をしたか、『古事記』や『日本書紀』、『風土記』などの神話や『万葉集』に歌われている伝説を読み解きながら、古代の人々の死生観や人間観について考える。 プログラム：（1～2）ガイダンス・異郷訪問説話について、（3～5）黄泉国神話、（6～8）海幸と山幸、（9～11）浦島子の物語、（12～14）すぐそこにある〈異界〉、（15）総括。 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法	期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	169002
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	佐原作美

講義のねらい	日本の古代文学の中で「夢」がどのように登場し、どのような役割を果し、どう位置づけられているかなど、「夢と古代文学」をテーマに考察する。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、『古事記』や『万葉集』や『風土記』のほか『日本霊異記』や『今昔物語集』などの説話集をも対象に、各作品とも約2～3回の割で見していきたい。
履修上の留意点	夢を素材とするだけに、内容は単純で類型的である。それだけにそれらが発するメッセージを受信できるよう味読することが大切である。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本に出席状況などを考慮して評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じて授業時に紹介する。

履修コード	169011
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	鈴木 裕子

**講義のねらい** テーマ：日本古典文学と〈空間〉—〈あづま・みちのく〉を中心に—主に古代から中世までの文学作品を取り上げて、平安京という都市空間を生きた古代の人々における〈あづま・みちのく〉の意味を考える。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを味わって欲しい。

**講義の内容・授業スケジュール** 『万葉集』におさめられている東国関係の歌や『伊勢物語』、『更級日記』、『宇治拾遺物語』などの文学作品の一節を読みながら、どのように〈あづま・みちのく〉という地域が古代の人々（貴族階級）に把握されてきたかを読み取り、併せて作品に内在する問題について考える。  
プログラム：(1) ガイダンス、(2～4) 古代前期における〈あづま・みちのく〉、(5～7) 王朝文学における〈あづま・みちのく〉、(8～11) 説話文学における〈あづま・みちのく〉、(12～14) 語り物における〈あづま・みちのく〉、(15) 総括。  
※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。

**履修上の留意点** 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。  
**成績評価の方法** 期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況とコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席するとレポート提出資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

**教科書** プリント教材。  
**参考書等** 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	169102
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	坂口 博規

**講義のねらい** 日本文化の一つとして、昔話・民謡と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。

**講義の内容・授業スケジュール** 異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説(1)、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく(2～6)。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する(7～13)。更にB・Cの系統についても言及したい(14・15)。

**履修上の留意点** 異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「テーマ研究Ⅳ・日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下されば幸いである。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、18年度「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくと幸いである。

**成績評価の方法** 授業の最終日に提出してもらったレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。  
**教科書** 授業において適宜プリント教材を配布する。  
**参考書等** 授業において適宜紹介する。

履修コード	169111
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	齋部 幹生

**講義のねらい** 日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他の文献における記事。7～10他の文献における受容。11～13実態と散佚に関する推定。14教場試験。15まとめ。

**履修上の留意点** 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

**成績評価の方法** 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

**教科書** プリントを配布する。  
**参考書等** 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169202
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small>

講義のねらい	室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらおう。
講義の内容・授業スケジュール	室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1・2）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（3～6）・『本幡狐』（7・8）・『蛤の草子』（9・10）を取り上げて読解する。最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～15）。
履修上の留意点	「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「テーマ研究III・日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、後期開講のこちらも受講して下さいと幸いである。
成績評価の方法	授業の最終日に提出してもらふレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。
教科書 参考書等	授業時にプリント教材を配布する。 授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

履修コード	169211
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	蘭部 幹生 <small>らんべ かんせい</small>

講義のねらい	日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを頭かにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 歌徳説話の意味。2～5 典型的な歌徳説話について。6～7 歌徳説話の形成。8～9 歌徳説話の精神的背景。10～13 垂流の歌徳説話。14 教場試験。15 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書 参考書等	プリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169302
科目名	日本文化テーマ研究E
担当者名	石割 透 <small>いしわり としろう</small>

講義のねらい	スポーツと文化・権力ー例えば<ボクシング>を例として。 スポーツは現在多くの人に、実際にプレーしたり、見ることを通して親しまれている。しかし、時代を超越して存在しているようなスポーツにも、権力や文化が深く介在し、時代状況と密接に関わっている。この授業では、スポーツが文学・映画・テレビ映像などによっていかに表象されてきたかを検討し、スポーツの時代における意味を考えて行きます。特に、ボクシングにこの時間では焦点を合わせて、その時代における意味を検討したいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	1 石原慎太郎「太陽の季節」（3）、2 三島由紀夫、大江健三郎と昭和三〇年代（2） 3 ボクシングの誕生と日本での歴史（2） 4 昭和三〇年代という時代、特に映画に表象されたボクシング（3） 5 政治の季節と暴力（3） 6 ちばてつや「あしたのジョー」について（3）
履修上の留意点	スポーツを愉しんだり、見たりする際にも、そのスポーツの歩んできた歴史を考えて臨んでほしい、また、いろいろなスポーツの特徴、文化的な性格などについても、この機会に考えてほしいと思います。例えば、日米の野球の相違など。
成績評価の方法	スポーツが芸術作品にいかにも表象され、それがいかなる意味をもっているのか、などについて、レポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。
教科書 参考書等 その他	特に指定しない。 授業時に指示する。 講義形式で授業を進行させる。プリントなど、必要に応じて配布する。

履修コード	169311
科目名	日本文化テーマ研究 E
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい

宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまでであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」(『注文の多い料理店』広告文)へ与えられるべき「すぎとほつたほんたうのたべもの」(『注文の多い料理店』序)であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」(『注文の多い料理店』広告文)「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『セロ弾きのゴーシュ』などの短編や、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など比較長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にみていく予定。(1～3)宮澤賢治の軌跡(4～6)『なめとこ山の熊』の分析と読解(7～9)『セロ弾きのゴーシュ』の分析と読解(10～12)『ポラーノの広場』の分析と読解(13～15)『風の又三郎』の分析と読解。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法  
教科書

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

参考書等

宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』(ちくま文庫)  
その他、適宜プリントも配布する。  
授業時に指示する。

履修コード	169402
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	石割 透 <small>いしわり とおる</small>

講義のねらい

日本近代美術に描かれてきた女性  
絵画の世界では、江戸時代においては、女性は美人画の分野でもっぱら扱われてきたようであるが、近代の西洋画の流入に伴ない、さまざまな女性の姿が描かれるようになった。その意味を時代の流れに即して検討していく。特に上村松園の日本画を基軸として考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

1 女性画家について、松園、モリゾー、カセットなど(2) 2 書物、手紙を読む女性(2)  
3 俯く女性、文学の挿絵をめぐって(2) 4、洋画の導入に伴う女性像の変容(2)、5 近世の美人画について(3) 6 立美人画と座す女性(2)など。

履修上の留意点

美術館の展示会に足を運んだり、美術の図録、書物などによって、主に明治期・大正期の絵画に注目しておくこと。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

1、7枚程度のレポート提出による。更に出席状況を重視する。  
特に定めない。  
授業時に指示する。  
講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。



履修コード	169411
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	<small>こばやし おさむ</small> 小林 治

講義のねらい	異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマンイズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したさぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマンイズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。
講義の内容・授業スケジュール	具体的には上記の深沢の作家としての特徴を、『榎山節考』、『笛吹川』、『甲州子守歌』などの代表的作品の読解によって明らかにしていきたい。（1～3）深沢七郎の軌跡（4～7）小説『榎山節考』の分析と読解（8～11）『榎山節考』原作と映画（二度の映画化）の比較考察（12～15）小説『笛吹川』、『甲州子守唄』の分析と読解。
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	深沢七郎『榎山節考』（新潮文庫）
参考書等	その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。

履修コード	169502
科目名	日本文化テーマ研究 G（夏季集中）
担当者名	<small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行

講義のねらい	「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素（表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など）を体験的に学ぶとともに、状況に応じて即座に、臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本のない即興でストーリーを生み出すことを目指す。コミュニケーション技術を学ぶとともに、本番で実力を発揮できる能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。
講義の内容・授業スケジュール	（1）基本講義：ワークショップとは何か？ （2）講義：心と体はつながっている （3）実技：シアターゲーム （4）実技：インプロの練習 （5）実技：インプロのグループ発表 （6）まとめとレポート試験
履修上の留意点	集中授業なので4日間すべてに出席しなければ単位を取得できない。軽い運動をすることができる服装（靴はスニーカーなど）で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。
成績評価の方法	授業への参加状況による評価が60%、「インプロ」のグループ発表の結果が20%、最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果が20%として算出する。
教科書	指定しない。
参考書等	絹川友梨『インプロゲームー身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであなたも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。
その他	授業日程：7月31日の3～5限、8月1日の2～5限、8月4日と5日のそれぞれ2～5限、合計4日間の15時限授業。予備日は8月6日の2～5限。台風による休講等で予備日に発表・レポート試験を行うことになる可能性もあるので注意すること。

履修コード	169602
科目名	日本文化テーマ研究H
担当者名	松田 <small>まつだ なおゆき</small> 直行

講義のねらい	講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考えながら、同時に映像作品によって語られた近代とはどのような時代なのかを考える。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論 (5) 日本のモダニズム映画 (6) シナリオの構造
履修上の留意点	実際に映像作品を授業で見させていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「マダムと女房」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。
成績評価の方法	出席状況と授業で適宜提出を求める小レポートによる評価が50%、定期試験期間中に行う筆記試験が50%として算出する。
教科書	ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。各自あらかじめ購入して、初回の授業に持ってくること。定期試験は教科書持込可とする。

履修コード	216201
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	小畑 和 <small>おぼた かず</small>

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切適切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いつながら次の7つの要因について講義する。

(1) マクロ的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)

(2) 誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)

(3) 幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)

(4) 家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)

(5) 消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)

(6) 会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)

(7) 老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

初回の講義で説明する。

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

初回の講義で説明する。

初回の講義で説明する。

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

履修コード	216501
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 康慈

**講義のねらい** 統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期  
 1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習Ⅰ  
 9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習Ⅱ  
 15まとめ・補足  
 後期  
 16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定  
 22-24その他の推定・検定 25演習Ⅲ 26散布図と相関係数 27-28回帰分析  
 29期末試験 30まとめ・補足

**履修上の留意点** 統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

**成績評価の方法** 以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。

- ①演習Ⅰ～Ⅲ：45%（各15%）＋期末試験55%
- ②期末試験：100%

**教科書参考書等** テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。  
 石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN4-489-00407-9  
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN4-534-03036-3  
 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN4-8171-0266-7  
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN4-13-042065-8

**その他** 配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。

履修コード	216701
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	森 雅文

**講義のねらい** 文化人類学は、諸社会の比較を通して人類文化の多様性に焦点をあてながら、人のあり方を規定する一方で人間に創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、異文化の珍奇な風習を見聞することではなく、世界のさまざまな人間性をめぐる表現についての理解を探り、そのまなざしを私たちの身近な諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。

「人類と文化」をテーマとする本講義では、人類にとって文化とは何かという大きく根本的な課題について、その代表的な題材とともに解説・考察します。異文化を発見して解釈して記すという学問的営為への現在的な問題意識も踏まえながら、文化人類学の基礎的な考え方や方法を学び、世界の様々な人々が生きるリアリティへの洞察力を養成します。

**講義の内容・授業スケジュール** 以下の内容を予定していますが、受講者の要望により変更する場合があります。詳細は各学期の初回に提示します。

<前期> 文化概念の基礎理解（人類と文化・人種と民族、通時的視座と共時的視座）、環境への適応（生業と社会、採集狩猟民・牧畜民・農耕民）、家族と親族の紐帯（親子、婚姻、祖先祭祀）、人の社会化（ライフサイクル、通過儀礼、ジェンダー）、  
 <後期> 共同性・同質性の構築（贈与と交換、境界と穢れ）、呪術・宗教の世界（妖術と邪術、呪術、シャーマニズムと王権、儀礼と神話）、人間と社会の存在様式（個人、身体、民族とエスニシティ）、文化の現在（土着・越境・混淆、グローバリズム・開発、異文化の理解と翻訳）

**履修上の留意点** 初回講義時に履修上の注意事項を伝達するので必ず確認してください。受講者のコメントや意見を講義に還元したいので、積極的な参加を期待します。

**成績評価の方法** 学期末（前期・後期）の筆記試験の成績が基本です。授業時の質疑応答やコメントペーパー等の内容は平常点として最大で10%まで加算します。

**教科書参考書等** 特定の教科書は指定しません。一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介します。

**その他** 授業は講述が中心ですが、ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	216801
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	加藤 <sup>かとう</sup> 之晴 <sup>ゆきはる</sup>

**講義のねらい** 文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そして「フィールドワーク」と呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか?」といった問いを立て、その答えを探し求めていくなかで、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに言語・身体・宗教・病い・食などのキーワードを挙げ、文化人類学の世界ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- I.文化人類学の「文化」とは?
  - II.文化人類学とフィールドワーク
  - III.食と文化
  - IV.人間と境界
  - V.人間と「病い」
  - VI.信仰と世界観

**履修上の留意点** 授業中・授業後の質問は大歓迎です。積極的な授業態度で臨んでくれると、こちらも張り合いが出ます。

**成績評価の方法** 基本的には年度末の筆記試験で評価しますが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とするかもしれません。

**教科書** 特定の教科書は用いません。毎回講義のトピックを記したプリント(レジュメ)を配布します。これに基づいて授業を進めてゆきます。

**参考書等** 授業時に必要に応じて紹介します。

履修コード	218501
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	茂野 <sup>しげの</sup> 隆晴 <sup>たかはる</sup>

**講義のねらい** 法を学ぶに当たって、最も肝要なことは、「法」というものがいかようなものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにある。

諸君は、いずれ社会の第一線に立って活躍する人達であるから、自分の立場をよく認識して、「在るべき法」の実現のためにも留意し進んでほしい。自己の使命を自覚され、年間の「法学」の内容の理解に取り組んでほしい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 法を学ぶに当たって
  2. 法と社会生活
  3. 法と他の社会規範
  4. 法の種類
  5. 6. 7. 法の生成 I・II・III
  8. 法の目的
  9. 法の効力
  10. 法と裁判
  11. 法の解釈
  12. 国家
  13. 14. 憲法とその原理 I・II
  15. 16. 17. 基本的人権の保障 I・II・III
  18. 統治機構 I(権力分立制)
  19. 20. 21. 統治機構 II・III・IV(国会)
  22. 23. 統治機構 V・VI(内閣)
  24. 25. 統治機構 VII・VIII(裁判所)
  26. 各論 I(民法・商法)
  27. 各論 II(刑法・社会法)
  28. 各論 III(行政法)
  29. まとめ

**成績評価の方法** 学期末試験に加えて平常点としての出席状況を勘案して総合的に評価します。

**教科書** 茂野隆晴編著『プライマリー法学—日本法のシステム—』2008年刊(芦書房)2000円(予定)

**参考書等** 茂野隆晴・新田浩司・和知恵一ほか代表編集『法学資料集』2008年刊(八千代出版)2000円(予定)

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	池田 実 <small>いけだ みのる</small>

講義のねらい

家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。

政治の法である憲法にかかわる問題には、「唯一絶対の正解」というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにしていれば、と思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念  
 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党  
 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政  
 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)  
 (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)  
 (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)  
 (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)  
 (30) 憲法改正

成績評価の方法  
教科書

出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。  
 野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院) 2,700円+税  
 ISBN978-4-7823-0424-2

その他

授業日程：7/31、8/1、8/4～7 1時限～5時限

履修コード	218801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	富崎 隆 <small>とみさき たかし</small>

講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロの境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性がはっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起る事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここにあります。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思います。講義全体としては、現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとします。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化の意味についても検討します。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1～2) 講義のねらいと政治を学ぶ意義  
 (3～15) マクロ政治学—国家と自由民主主義体制の枠組み；政治・権力・国家の意味、望ましい国家のあり方(国家の仕事の範囲・国家の運営方法)、自由民主主義体制の意味、国家の展開・民主化と体制変動、自由民主主義体制の比較枠組み  
 (16～24) ミクロ政治学—自由民主主義体制の作動メカニズム；政権形態、政党と政党制、有権者の投票行動と選挙、官僚制と議会、利益集団とマスメディア、日本の民主政治  
 (25～30) 国際政治学；国際政治の意味、国際政治の主要理論潮流、日本の外交政策、冷戦後の世界政治をみる視点

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

テスト及びレポート・出席など総合的に評価  
 堀江湛編『政治学・行政学の基礎知識編』一藝社 2625円 ISBN-10: 4901253913  
 講義時、適時指示

履修コード	219001
科目名	経済学〔現代社会と市場経済〕
担当者名	はたなか たかし 畠中 貴

講義のねらい	諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。
講義の内容・授業スケジュール	経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業がやっている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。 後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース（市場の失敗）、政府が行っている経済活動、国内総生産（GDP）、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。
履修上の留意点	講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。
成績評価の方法	基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。
教科書	第一回目の授業で指示する。

履修コード	219401
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義のねらい	私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく長期不況から抜け出していますが、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も安定的とはいえません。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域には戦闘の火だねが残っています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。 人々は、人種や信条のちがいを問わず、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。
講義の内容・授業スケジュール	1 社会科学を始めるにあたって 2～3 思考する楽しみ 4～5 社会科学とは何か 6～12 社会の歴史的発展と社会思想 13～14 社会科学の生誕：ホップスとロック 15～17 資本主義経済の把握：スミスとリスト 18～20 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー 21～24 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス 25 現代社会の思想的諸潮流
履修上の留意点	なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。選抜方法については教務部掲示板でお知らせします。1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。
成績評価の方法	授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。
教科書 参考書等	特に指定しない。 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書） 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店） 大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

履修コード	219501
科目名	教育学〔デス・エデュケーション〕
担当者名	柳堀 素雅子

講義のねらい	「医療と倫理」の問題を中心に考えていく。近代医学の成立期からナチスの人体実験の時期を経過して、第二次世界大戦後のバイオエシックスの登場の時期と現代までの世界の状況と日本の状況を比較しながら分析していく。医学は何のためにあるのか、医学の使命とそれが墮落していく危険性はどこにあるのか、患者側の求めるものと生への無限の欲望などを探り出し、人類の現代と未来にとっての理想的な医学、医療のあり方はどのような方向へ向かうべきかを追求していく。
講義の内容・授業スケジュール	1回～3回—医学と医師の倫理 4回～7回—近代医学の成立とナチスの人体実験に至るまで 8回～14回—第二次世界大戦後の医学の発展と医学倫理の破綻 15回～19回—バイオエシックスの誕生とその意味 20回～25回—現代の先端医療の個別状況とバイオエシックスにおける各国の取り組み 26回～30回—バイオエシックスの将来的展望と日本の医療とバイオエシックスにおける問題点
履修上の留意点	講義の中だけで講義の内容についてじゅうぶんに理解することは不可能である。レポート課題も含めて、講義の内容について自分で調べて、理解の不十分な点を補うようにすることが必要である。講義の中で紹介した本は、講義の内容を理解するために必要となる本なので読みこなす努力をすること。
成績評価の方法	授業内に提出したレポート課題の内容を調べる。(テーマごとにレポート課題を要求する。提出されたレポートの内容には必ず点数をつけるので、講義内容を理解できていない場合には不可になる。)出席状況を調べる。前期4回以上、後期4回以上欠席した場合は不可にする。
教科書 参考書等	使用しない。 クリスチアン・プロス、ゲッツ・アリ編 林功三訳『人間の価値』(風行社)2136円+税 ISBN 4-938662-12-4 COO22 星野一正『医療の倫理』(岩波書店)780円+税 ISBN 4-00-430201-3

履修コード	219601
科目名	教育心理〔大学生の心理〕
担当者名	石橋 達也

講義のねらい	本授業では今日の社会的状況における、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその課題について、教育心理学や教育臨床の立場を中心に探っていきます。前期の授業では、生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題について学び、現代社会における青年期の延長の様子やアイデンティティの問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴やその社会的な背景要因などについて検討していきます。
講義の内容・授業スケジュール	主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。 ・人の生涯と発達区分 ・青年期とその発達課題 ・アイデンティティとモラトリアム ・現代社会と青年期の延長 ・青年期の心の問題とその要因 ・大学生の学業と学生生活 ・大学生の就職と将来設計 ・大学生の人間関係と恋愛 など。
履修上の留意点	履修する学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。
成績評価の方法	成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。
教科書 参考書等 その他	使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。 受講学生には「学ぶ意欲」をしっかりと持って、積極的に取り組むことを望みます。



履修コード	220201
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和

講義のねらい	地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続した進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。
講義の内容・授業スケジュール	1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化（4-6回）、3章：系統と分類（7,8回）、4章：行動と進化（9,10回）、5章：動物の人口論（11,12回）、6章：共生と競争（13,14回）、7章：人類の進化（15-17回）、8章：進化論（18,19回）、9章：生態系（20,21回）、10章：物質の循環（22-24回）、11章：植生遷移（25,26回）、12章：生物多様性（27,28回）、13章：人為と生物（29,30回）
成績評価の方法	前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。
教科書	講義内容を文章化した「web 版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。
参考書等その他	上記「web 版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。 講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	220701
科目名	地球科学〔地球システムと人間圏〕
担当者名	澤口 隆

講義のねらい	宇宙形成から137億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのだろうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。
講義の内容・授業スケジュール	まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。
履修上の留意点	1. イントロダクション、2. 空間と時間のスケール、3. NHKスペシャル地球大進化、4. 太陽系形成の標準モデル1、5. 太陽系形成の標準モデル2、6. 火星と地球、7. 宇宙開発の歴史、8. 地球と月の始まり、9. 地球の歴史と全球凍結、10. 地球上の生命の誕生、11. 元素の誕生、12. 地球システム、13. 地球温暖化、14. オゾン層の破壊、15. エルニーニョ、16. 火山、17. 地震、18. 地震予知、19. 南極大陸、20. 地球資源問題と環境破壊、21. 原子力発電、22. 放射性廃棄物の地層処分、23. 地熱発電、24. 複雑系、25. 総まとめ
成績評価の方法	毎回独立したトピックについての講義を行う。
教科書	それに関連した内容の課題レポートが半期に3 - 5回程度課される。
参考書等その他	提出された課題レポートを評価し、その総合点と出席率で成績評価を行う。 使用しない。適宜プリントを配布。 『岩波講座・地球惑星科学』（全14巻） 毎回出席を取ります。遅刻・途中退席は認めません。

履修コード	221701
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	なかむら としえ 中村 敏枝

講義のねらい	私たちは今後ますます環境に配慮した行動をとることを要求されるだろう。そのためには、生態系におけるヒトの位置と、生物としての限界を正しく認識して、生活活動、経済活動、経済利益と効率などを長期的な視野で考えることが肝要である。これを本講義のねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)自然環境の改変 (1-6)自然のしくみ (7-12)自然の改変食をめぐる問題 (後期)人間の活動と地球環境 (13-18)農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物 (19-22)畜産—肉食とは何か・BSE・クローン動物 (23-25)漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書 参考書等	使用しません。 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社)2,700円
その他	その他については授業時間内に随時紹介します。 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	222001
科目名	自然環境論〔生物の集団と環境〕
担当者名	さかまき よしあき 坂巻 義章

講義のねらい	地球環境の変化は現代の重要な問題の一つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1)ガイダンス (2)地球 (3)気圏と水圏 (4)環境とは何か (5)生物とは何か (6)生物界の構造 (7)地球生物の歴史と環境① (8)地球生物の歴史と環境② (9)地球生物の歴史と環境③ (10)生物の進化 (11)進化説 (12)環境への適応① (13)環境への適応② (14)生物の分布 (15)前期のまとめと試験 後期 (16)食物連鎖 (17)エネルギー流 (18)生態ピラミッド (19)個体群 (20)出生と死亡 (21)競争と住み分け (22)捕食 (23)共生と寄生 (24)土壌と分解者 (25)物質循環 (26)里山の生態系 (27)人口問題と環境問題① (28)環境問題② (29)環境問題③ (30)まとめと試験
履修上の留意点	スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。
成績評価の方法	出席点と筆記試験(前、後期の最終回を予定)で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。
教科書 参考書等 その他	指定しない 指定しない。必要な場合にプリントを配布する。 講義形式の授業とする。

履修コード	222201
科目名	自然誌〔現代の自然像〕
担当者名	清水 善和・篠原 正雄・山縣 毅

講義のねらい	本講義では自然科学部門の3人の教員(天文学、地質学、生物学)がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、それらを通じて総合的、統一的、現代的な自然観を養う。
講義の内容・授業スケジュール	オリエンテーション(1回)；第1講 宇宙の進化と地球の起源(篠原正雄)(1)宇宙の構造と起源(2-4回)、(2)宇宙の進化と物質の進化(5-7回)、(3)太陽系の起源と進化(8-10回)；第2講 地球の進化(山縣毅)(1)大陸と海洋の形成(11-13回)、(2)大陸の漂流(14-16回)、(3)変動する地球(17,18回)、(4)地球と生命の共進化(19,20回)；第3講 生命の起源と進化(清水善和)(1)生命の起源(21-24回)、(2)生物の進化と進化論(25,26回)、(3)人類の進化(27回)、(4)生物多様性(28,29回)、(5)地球環境問題(30回)
履修上の留意点	本科目は1年を通して総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計3回の評価(テストやレポート等)を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。
成績評価の方法	各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。
教科書 参考書等	特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。 各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。

履修コード	222401
科目名	数学〔微積分学入門〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。各節を4～6回かけて授業を行う。

第1章 1変数関数の微積分

§1 1変数関数

- 1.1 1変数関数
- 1.2 今までに学んだ1変数関数
- 1.3 三角関数
- 1.4 逆三角関数
- 1.5 指数関数
- 1.6 対数関数

§2 1変数関数の微分

- 2.1 微分
- 2.2 微分公式
- 2.3 初等関数の導関数
- 2.4 n 次導関数
- 2.5 平均値の定理と不定形の極限
- 2.6 マクローリン展開
- 2.7 関数の増減とグラフの凹凸

§3 1変数関数の積分

- 3.1 不定積分
- 3.2 初等関数の不定積分
- 3.3 置換積分
- 3.4 部分積分
- 3.5 有理関数の積分
- 3.6 定積分
- 3.7 面積と回転体の体積

第2章 2変数関数の微積分

§1 2変数関数

- 1.1 2変数関数
- 1.2 2変数関数の例

§2 2変数関数の微分

- 2.1 偏導関数
- 2.2 高次偏導関数
- 2.3 全微分と接平面
- 2.4 合成関数の微分
- 2.5 2変数関数の極値

§3 2変数関数の積分

- 3.1 累次積分
- 3.2 重積分
- 3.3 極座標への変数変換
- 3.4 立体の体積

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。前期と後期の試験の結果で評価する。

石村園子著『やさしく学べる微積分』共立出版  
2,100円（税込）ISBN4-320-01633-5

参考書等  
その他

適宜紹介する。  
講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

履修コード	222501
科目名	数学〔線形代数学入門〕
担当者名	小沢 誠

**講義のねらい** 数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書に従って以下の項目を解説する。各節を4～6回かけて授業を行う。

第1章 行列と行列式

§1 行列

- 1.1 行列の定義
- 1.2 行列の演算
- 1.3 正方行列と逆行列

§2 連立1次方程式

- 2.1 連立1次方程式
- 2.2 行基本変形
- 2.3 行列の階数
- 2.4 連立1次方程式の解
- 2.5 逆行列の求め方

§3 行列式

- 3.1 行列式の定義
- 3.2 行列式の性質
- 3.3 逆行列の存在条件
- 3.4 クラメールの公式

第2章 線形空間

§1 空間ベクトル

- 1.1 ベクトル
- 1.2 内積

§2 線形空間

- 2.1 線形空間の定義
- 2.2  $n$  項列ベクトル空間
- 2.3 線形独立と線形従属
- 2.4 部分空間
- 2.5 基底と次元
- 2.6 線形写像

§3 内積空間

- 3.1 内積空間
- 3.2 正規直交基底
- 3.3 固有値と固有ベクトル
- 3.4 行列の対角化
- 3.5 2次曲線の標準形

**履修上の留意点** 毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

**成績評価の方法** 前期と後期の試験の結果で評価する。

**教科書**

石村 園子著『やさしく学べる線形代数』（共立出版）

2,100円（税込）ISBN4-320-01660-2

**参考書等**

適宜紹介する。

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

履修コード	222601
科目名	数学〔現代数学入門〕
担当者名	福田 賢一

**講義のねらい** 現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。特に、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 前期：4回 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、  
 3回 論理設計・論理回路、  
 1回 情報。通信機器の理解と理解と数理  
 2回 まとめと演習  
 ～前期最終、線型代数とその応用。  
 後期：3回 線型計画法、  
 3回 確率現象と社会現象、保険の数理  
 2回 微積分とその応用、交通・運輸の数理基礎  
 2回 まとめと演習  
 ～最終。社会・経済現象の数理トピックス

**履修上の留意点** 予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要がある。

**成績評価の方法** 前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。  
**教科書** 使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。  
 内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。

**参考書等その他** 必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に明示する。  
 教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的にを行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

履修コード	222701
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	坂野井 和代

**講義のねらい** 情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。  
**講義の内容・授業スケジュール** 前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れてもらう講義をめざしている。

1. ガイダンス（1回）
2. 記数法とコンピュータにおける情報の表現（5回）
3. 集合と論理（7回）
4. 順列・組み合わせ（2回）
5. 確率・統計（13回）
6. 数学のトピックス（2回）

**履修上の留意点** 予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。数学は積み重ねが大切な分野です、講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解くこと。レポートは講義に出席して、例題や課題を解いていないと解答することは難しい。

**成績評価の方法** 評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。また、講義時間中の発言も評価に含める。

**教科書** 使用しない。適宜資料を配付する。  
**参考書等その他** 野々山隆幸監修、石原光/小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（美教出版）2,200円  
 コンピュータ応用の講義と連携して受講すると、さらに理解が深まると思います。  
 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	222901
科目名	物理学〔光と物質〕
担当者名	篠原 正雄

**講義のねらい** 「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール** (1-8)「光は波である 1」(光線 影 鏡 屈折 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色) (9-15)「光は波である 2」(波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色) (16-25)「光は電磁波である」(電気と磁気 電場と磁場 電磁波 きまざまな電磁波) (26-30)「現代物理学と光」(原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光は宇宙を駆け巡る)

**履修上の留意点** 十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学・物理の予備知識はいらない。

**成績評価の方法** 期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、この点と成績とは一致しない。

**教科書等その他** 藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社)1,800円+税  
講義の中で適宜紹介する。  
理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

履修コード	223101
科目名	化学〔衣食住の化学〕
担当者名	牧岡 良和

**講義のねらい** 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説していきます。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とします。講義では、はじめに、化学物質の生体・環境への作用を理解するために必要な化学の基礎について解説します。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定です。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期 (1) 化学の導入-物質・分子・原子 (2) 元素の周期律表 (3-6) 化学結合とその種類 (7-13) 有機化学の基礎-製品との関連を含めて  
後期 (14・15) 高分子 (16・17) アミノ酸・タンパク質 (18-20) 糖-食品の原材料表示を読む (21・22) 界面活性剤-界面とは? 何を活性化? (23・24) 化学物質のリスクの知り方 (25・26) だまされない化学

**履修上の留意点** 上記のようなスケジュールを基本としますが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックを取り上げるなど、柔軟に進めていきます。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進みますので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修して下さい。なお、授業中の私語・飲食・講義と無関係な用途での携帯電話の使用は禁止です。

**成績評価の方法** 出席点(55点満点)と筆記試験(45点満点)の合計で評価します。諸事情で講義を欠席する場合には、事前に連絡してください。

**教科書等その他** なし  
プリントを配布します。Wikipedia等のインターネット上のコンテンツも参考にしながら講義を行います(Wikipedia等の記述の誤りについても解説します)。

履修コード	223201・223301
科目名	宇宙科学〔星と銀河〕
担当者名	篠原 正雄

**講義のねらい** 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期は恒星を取り上げる。(1) イントロダクション (2~4) 観測:望遠鏡 スペクトル (5~7) 太陽: 構造, エネルギー源 (6~15) 恒星: 年周視差と距離, 分類, 連星と星の質量, 変光星, 星の進化  
後期は銀河をとりあげる。(16~17) 銀河系の発見 (18~23) 銀河系: 星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質 (24~26) 銀河: 銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造 (27~30) 宇宙: 宇宙膨張, 暗黒エネルギー, ビッグ・バン

**成績評価の方法** 中間試験および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

**教科書等その他** 使用しない。  
講義の中で適宜紹介する。  
講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

履修コード	223401
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小沢 誠

講義のねらい	ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。 この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。
成績評価の方法	レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。
教科書	<a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html">http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html</a> を教科書として使用します。
参考書等	<a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html">http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html</a> を参照して下さい。
その他	<a href="http://www.yahoo.co.jp/">http://www.yahoo.co.jp/</a> 、 <a href="http://www.google.co.jp/">http://www.google.co.jp/</a> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

履修コード	223501
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	山本 博信

講義のねらい	現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、学生の習熟度合いに応じて学びます。
講義の内容・授業スケジュール	パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成
履修上の留意点	本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。
成績評価の方法	以下の比率で総合的に評価します。 ・課題 10% ・授業最終日に実施する確認試験 25% ・定期試験 35% ・質問書および出席状況 30%
教科書	『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4 407301147）、『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7 / 8 / 9』¥800（ISBN978440 7307733）
参考書等	『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717 220）
その他	パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアカウントの取得が必須です。いっとうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。



履修コード	223601
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>

**講義のねらい** インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成

**履修上の留意点** 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

**成績評価の方法その他** 評価は授業時間中に出題する課題によって行う。  
実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

履修コード	223701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

**講義のねらい** ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

**講義の内容・授業スケジュール** 第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

**履修上の留意点** パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。  
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

**成績評価の方法** レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

**教科書参考書その他** <http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html> を参照して下さい。  
<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

履修コード	223801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	澤口 隆

**講義のねらい** DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

**講義の内容・授業スケジュール** 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ロゴマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作

**履修上の留意点** コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

**成績評価の方法** 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

**教科書** 使用しない。適宜資料を配付する。

**参考書等** 同上

**その他** 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	223901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小沢 誠

**講義のねらい** ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

**講義の内容・授業スケジュール** 第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

**履修上の留意点** パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

**成績評価の方法** レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

**教科書** <http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

**参考書等** <http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html> を参照して下さい。

**その他** <http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

履修コード	224001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	山本 博信

講義のねらい	現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、学生の習熟度合いに応じて学びます。
講義の内容・授業スケジュール	パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成
履修上の留意点	本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。
成績評価の方法	以下の比率で総合的に評価します。 ・課題 10% ・授業最終日に実施する確認試験 25% ・定期試験 35% ・質問書および出席状況 30%
教科書	『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4 407301147）、『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7/8/9』¥800（ISBN9784407307733）
参考書等	『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717220）
その他	パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	224101
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	（1～3）ガイダンス、PCの基本操作（4～6）インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー（7～15）HTML文書の作成
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

履修コード	224201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

**講義のねらい**

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

**講義の内容・授業スケジュール**

第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

**履修上の留意点**

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

**成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他**

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html> を参照して下さい。  
<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

履修コード	224301
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	澤口 隆 <small>さわぐち たかし</small>

**講義のねらい**

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。  
 Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ロゴマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作

**履修上の留意点**

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

**成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他**

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。  
 使用しない。適宜資料を配付する。  
 同上。  
 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	224401
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	元木 光雄

講義のねらい	コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスや、インターネットを使う上で留意しなければならないことなどを実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。 また、Web ページを記述する HTML の基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。 講義スケジュール (1～3) コンピュータの基本構造と Windows の基本操作 (3回) (4～9) インターネットの原理と実際の利用 (6回) (10～15) 8/5,6論理的構造を持った文書の HTML による記述 (6回)
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題されたレポートを必ず提出するものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。
成績評価の方法	評価は授業時間中に課題するレポートによって行う予定である。
教科書	とくに指定するものはない。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する予定である。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：7月31日、8月1日、8月4日～6日の1～3限 予備日：8月7日の1～3限

履修コード	224601
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	山本 博信

講義のねらい	問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。なお、情報の作成および発信に焦点を合わせて授業を行います。
講義の内容・授業スケジュール	パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集(コーディングについて)・インターネットのしくみ・ホームページビルダーによる Web ページの作成。
履修上の留意点	本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含みます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。
成績評価の方法	・課題 30% ・授業最終日に実施する確認試験 40% ・出席状況 30%
教科書	『XP対応 新基礎コンピュータ演習』、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890) ISBN4 407301147
参考書等	『30時間でマスター ホームページ・ビルダー』 実教出版 (¥800)ISBN978-4-407-30773-3 『ITリテラシーへの招待』、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、ISBN4894 717220
その他	パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアカウントの取得が必須です。いっとうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。必要に応じてプリントを配布します。 授業日程：7月31日、8月1日、8月4日～6日 1時限～3時限 予備日：8月7日(木)の1～3時限

履修コード	224701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>ながさか ひろみ</small> 長坂 浩史

講義のねらい	Web ページ作成 (HTML、CSS入門) と、表計算ソフトを用いた基本的な統計処理 (統計量についての入門) の2つを中心に学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	最終提出課題の説明… (1) (Web ページ) Word、Excel の基本操作… (2、3) Excel を用いた簡単な統計処理 (さまざまな特性値について) … (4～6) HTML、CSS入門… (7～9) 自由課題 (Web ページ) 作成… (10～15)
履修上の留意点	初心者を対象にしていますが、Windows の基本操作や、テキストファイルの扱いについては軽く触れる程度です。
成績評価の方法	提出課題 (自由テーマによる Web ページ&指定された様式のファイル) を見て評価します。ただし、欠席が1日でもあると、課題を全部こなすのは困難になると思いますので、特別な事情がない限り5日間の全時限に出席すること。
参考書等その他	簡単な説明ファイルを配布します。 授業日程: 7/31、8/1、8/4～8/6 1時限～3時限 予備日: 8/7 1時限～3時限

履修コード	224801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程: 7/31、8/1、8/4～8/6 1時限～3時限 予備日: 8/7 1時限～3時限

履修コード	224901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程: 7/31、8/1、8/4～8/6 4時限～6時限 予備日: 8/7 4時限～6時限

履修コード	225001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	谷本 玲大
講義のねらい	課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。 前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進捗に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。
講義の内容・授業スケジュール	7/31 4限 ガイダンス、起動～終了 5限 情報検索 6限 電子メールとタイピング練習 8/1 日本語入力と Word 演習 8/4 Word 演習・画像処理 8/5～8/6 Excel 演習
履修上の留意点	※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。 ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。 初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。 教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。 各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。
成績評価の方法	初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点 (40%)、課題・レポート (60%)。総講義時間数の 3 分の 1 以上の欠席は評価対象外。遅刻は 30 分まで。その遅刻も 3 回で 1 欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。
教科書	小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 (講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN:4-061496034
その他の	授業日程:7月31日～8月1日、8月4日～8月6日(いずれも4～6時限) 予備日:8月7日の4～6時限
	本学の建学の理念は行学一如である。曹洞禅に於いて、行とは只管打坐にある。学もそれと一つの如く、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。 履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

履修コード	225201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	小沢 誠
講義のねらい	ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	第1回から第7回にHTMLを、第9回から第15回にCSSを学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、第8回に無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。 この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。
成績評価の方法	レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。
教科書	<a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html">http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html</a> を教科書として使用します。
参考書等	<a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html">http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/link.html</a> を参照して下さい。
その他の	<a href="http://www.yahoo.co.jp/">http://www.yahoo.co.jp/</a> 、 <a href="http://www.google.co.jp/">http://www.google.co.jp/</a> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。 授業日程:7月31日～8月3日、6日4～6時限(土、日は除く) 予備日:8月7日の4～6時限

履修コード	225601
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	坂野井 和代

**講義のねらい** 主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回)
2. 総合情報センターの利用方法 (2回)  
(ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、Windows PCの基本操作)
3. タイプ練習&日本語入力 (3回)
4. 電子メール (Active ! mail の使い方、公用メールの書き方) (2回)
5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回)
6. WWW ウェブサイト作成 (6回)

**履修上の留意点**

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet ID の取得は必須です。

**成績評価の方法**  
教科書  
参考書等  
その他

評価は授業時間中に課題する2～3回程度の課題によって行う。  
使用しない。適宜資料を配付する。  
参考書は必要に応じて紹介する。  
実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。  
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	225701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	坂野井 和代

**講義のねらい** 主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回)
2. 総合情報センターの利用方法 (2回)  
(ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、Windows PCの基本操作)
3. タイプ練習&日本語入力 (3回)
4. 電子メール (Active ! mail の使い方、公用メールの書き方) (2回)
5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回)
6. WWW ウェブサイト作成 (6回)

**履修上の留意点**

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet ID の取得は必須です。

**成績評価の方法**  
教科書  
参考書等  
その他

評価は授業時間中に課題する2～3回程度の課題によって行う。  
使用しない。適宜資料を配付する。  
参考書は必要に応じて紹介する。  
実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。  
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>



履修コード	225801
科目名	コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい	主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス (1回)</li> <li>2. KOMAnet の使い方、タイピングについて (2回)</li> <li>3. 公用電子メールの書き方 (2回)</li> <li>4. コンピュータの動作原理とプログラミングについて (3回)</li> <li>5. Visual Basic によるプログラミング (7回)</li> <li>6. Excel のマクロについて Visual Basic for Application (2回)</li> <li>7. Excel VBA の実習 (13回)</li> </ol>
履修上の留意点	プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作 (ファイル、ウィンドウ操作、電子メール、ウェブの利用など) はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。
成績評価の方法 教科書 参考書等	<p>評価は授業時間中に出題する3回程度の課題によって行う。</p> <p>使用しない。適宜資料を配付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』(翔泳社) 1,900円 ISBN4-88135-718-2</li> <li>・Michael Halvorson 著・(株)日本ユニテック訳『VisualBasic.NET 実践講座 Vol.1 基礎編』(日経BPソフトプレス) 2,480円 ISBN4-89100-257-3</li> <li>・瀬戸遥著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』(翔泳社) 2,800円 ISBN4-7981-0773-5</li> </ul>
その他	<p>実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。</p> <p>講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。  <a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html">http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html</a></p>

履修コード	225901
科目名	コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい	主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス (1回)</li> <li>2. KOMAnet の使い方、タイピングについて (2回)</li> <li>3. 公用電子メールの書き方 (2回)</li> <li>4. コンピュータの動作原理とプログラミングについて (3回)</li> <li>5. Visual Basic によるプログラミング (7回)</li> <li>6. Excel のマクロについて Visual Basic for Application (2回)</li> <li>7. Excel VBA の実習 (13回)</li> </ol>
履修上の留意点	プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作 (ファイル、ウィンドウ操作、電子メール、ウェブの利用など) はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。
成績評価の方法 教科書 参考書等	<p>評価は授業時間中に出題する3回程度の課題によって行う。</p> <p>使用しない。適宜資料を配付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』(翔泳社) 1,900円 ISBN4-88135-718-2</li> <li>・Michael Halvorson 著・(株)日本ユニテック訳『VisualBasic.NET 実践講座 Vol.1 基礎編』(日経BPソフトプレス) 2,480円 ISBN4-89100-257-3</li> <li>・瀬戸遥著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』(翔泳社) 2,800円 ISBN4-7981-0773-5</li> </ul>
その他	<p>実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。</p> <p>講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。  <a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html">http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html</a></p>

履修コード	226001
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	<small>しのだ けんいち</small> 篠田 謙一

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

履修コード	226101
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	<small>しのだ けんいち</small> 篠田 謙一

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

履修コード	226301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	加藤 博己

**講義のねらい** この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、約130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期：オリエンテーション（講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等）、  
**【記憶】** 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由  
**【学習・思考】** 1.レスポナント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習  
**【パーソナリティ】** 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定、3.パーソナリティ検査、4.知能  
**【動機づけ】** 1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス  
**【情動】** 1.感情の生起、2.感情の測定  
 後期：**【発達】** 1.発達段階、2.発達要因、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法  
**【感覚・知覚・認知】** 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（アフォーダンス、ストループ）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）  
**【社会】** 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用（リーダーシップ論）  
**【臨床】** 1.査定、2.心理療法  
**【心理学論】** 1.心理学の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史。

**履修上の留意点** 履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。

**成績評価の方法** 前期授業の最終日（7月）に前期試験を、定期試験期間内に、定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

**教科書** 鹿取廣人・杉本敏夫 2004年 『心理学 第2版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-7

**参考書等その他** 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。  
 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確保するためのワークの実施や、授業内容についての積極的なコメントが毎回求められる。

履修コード	226501
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	杉山 雅美

**講義のねらい** 書籍や雑誌、テレビ番組等を通じて、とりわけ心理テストやカウンセリングなどの側面から、心理学に対する何らかのイメージを既にもっていたり、興味を抱いていたりする人も多いことであろう。一方、高校までの履修科目には「心理学」がないこともあってか、みなさんのイメージするその内容と、学問としての「心理学」との間には、少なからず違いもあるものと思います。本講義では、学問としての「心理学」の概論的内容について、身近な具体例などを通して紹介していきます。それにより、人間の心まつわる諸現象に対する、科学的視点からの理解を深めることを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義の内容と具体的な授業スケジュールは、実際の進捗状況等により変更することもあります。概ね以下のように進めていく予定です。

(1) ガイダンス (1回)、(2) 心理学とは何か (2～3回)、(3) 感覚・知覚 (4～6回)、(4) 学習 (7～9回)、(5) 記憶 (10～12回)、(6) 思考・言語 (13～15回)、(7) 情動・動機づけ (16～18回)、(8) パーソナリティ (19～21回)、(9) 発達 (22～24回)、(10) 臨床 (25～27回)、(11) 社会 (28～30回)

**履修上の留意点** 履修するうえでとくに予習は求めませんが、そのぶん履修者は講義中集中し、私語を極力慎んで臨んで下さい。

**成績評価の方法** 年度末に行われる筆記試験の成績と出席状況により、総合的に評価します。

**教科書** 講義の中で紹介します。

**参考書等** 講義の中で適宜紹介していきます。

履修コード	227301
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	<small>ふかばり</small> 深堀 <small>ともなり</small> 友寛

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール  
履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にし  
か参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率（3分の2以上）による総合評価。

特に指定しない。授業内にプリントを配布する。

重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年

中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限（土、日は除く）

履修コード	228201
科目名	総合Ⅰ〔仏教と社会〕
担当者名	熊本 英人

講義のねらい	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 はじめに 2～5 仏教と戦争 6～13 仏教と差別 14～17 仏教と女性 18～21 仏教と家族 22～29 仏教と生命倫理 30 おわりに
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	出席を重視する。 適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。 適宜プリントで配布する。 末木文美子編『現代と仏教』(佼成出版社、2006年)2,625円 その他、講義の中で随時紹介する。

履修コード	228301
科目名	総合Ⅰ〔仏教と芸術〕
担当者名	村松 哲文

講義のねらい	本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	〔前期〕 仏教美術の世界(1～2) インドの仏教美術(3～5) 西域の仏教美術(6～8) 初期の敦煌石窟(9～11) 後期の敦煌石窟(12～15)  〔後期〕 炳靈寺石窟(16～17) 麦積山石窟(18～20) 雲岡石窟(21～23) 龍門石窟(24～27) 朝鮮三国の仏教美術(28～30)
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	以上は予定で、講義の合間に特定の意匠(仏像の胸飾・宝冠・袈裟など)についても考察する。 博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。 出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。 プリントを配布する。 講義中に適宜参考書を紹介する。

履修コード	228401
科目名	総合II〔駒澤大学の歴史〕
担当者名	熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘・皆川 義孝

講義のねらい

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。

駒澤大学は、平成19年（2007）に「開学125周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年（1882）を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年（1592）にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に416年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

また後期には、「世界の大学との比較」というテーマでも後述します。時代や地域によって、それぞれに求められた「教養のあり方」の差異も学び取って欲しいと思います。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに“駒澤スピリット”を感じ取り、受講生それぞれが“駒澤アイデンティティ”を形成してもらえよう願っています。

講義の内容・授業スケジュール

前期：1. 授業計画とガイダンス

2. 道元と曹洞宗

3. 永平寺と総持寺

4. 吉祥寺施檀林の誕生

5. 学寮での厳しい修行

6. 学寮から学校へ

7. 明治政府の宗教・教育政策

8. 曹洞宗大学の発足

9. 日々窪から駒沢へ

10. 大学令と「駒澤大学」の誕生

11. 「大正教養主義」と駒大生

12. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～

13. 戦時下の駒大①

14. 戦時下の駒大②

15. 「禅文化歴史博物館」の見学

後期：16. ビデオ鑑賞 ～『シリーズ映像の世紀 第11集 Japan』～

17. 世界の大学との比較① ～古代エジプトの教育～

18. 世界の大学との比較② ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～

19. 世界の大学との比較③ ～中国における科举制度～

20. 世界の大学との比較④ ～中国の近代化構想と教育～

21. 占領政策と新制大学の設立

22. 文系総合大学への道とマンモス校化

23. 東京オリンピックと駒大

24. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～

25. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学術交流～

26. 駒大建築物話

27. 駒大の名物教授／駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本

28. 学生生活今昔物語

29. 駒澤大学のいまとこれから

30. まとめ

履修上の留意点

4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

成績評価の方法

学年末の期末試験（70％）と出席状況および授業への取り組み（30％）。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

履修コード	228701
科目名	総合Ⅲ〔人権と社会問題〕
担当者名	ピアス, D. M.

講義のねらい	(22870)SOGOⅢ: PURPOSE:Essentially preparation for study abroad, this course provides an impression of what it is like to attend an academic course in a foreign country. Study is not of English but of something else in English. Concentration will be on topics such as human rights, war, feminism, etc.Topics in the history of sociological, economic and political thought may be used as lecture material. There will be intensive speaking practice every period on quotidian, controversial, and intellectual levels, with emphasis on learning how to communicate thought in spoken language.
講義の内容・ 授業スケジュール	CLASS SCHEDULE:FIRST SEMESTER 1 Abortion 2 Currency Fluctuation 3 Organic Solidarity 4 Fetus 5 Racism 6 Market Prices 7 Class Formation 8 Say's Law 9 Suicide 10 Law of Accumulation 11 Law of Population 12 Self - Esteem 13 War 14 Law of Wages 15 Marginal Value 16 Consumer Anxiety SECOND SEMESTER 1 Human Rights 2 Effective Demand 3 Business Cycle 4 Overproduction 5 Feminism 6 Capital Formation 7 Market Glut 8 Status Consumption 9 Economic Justice 10 Wage and Profit Rates 11 Population and Productivity 12 Division of Labor 13 Euthanasia 14 The Wage Fund 15 Unionization 16 Myth of Success
成績評価の方法	ATTENDANCE:The student may miss three classes per semester;the final grade will be one letter-grade less if absences are excessive. EXANINATIONS:Frequent unannounced small essay exams.Exams are not disciplinary, but didactic. All exam questions will be questions that have been treated in class.
教科書	TEXTBOOK:Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class;do not buy the text until after the first class.

履修コード	228801
科目名	総合III〔欧米の教育と日本の教育〕
担当者名	<small>おかざき としちろう</small> 岡崎 寿一郎

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約800校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・48校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 入試の背後にある日本の社会構造 (2) 西欧の教育 (3) (4) 中世の大学 (5) 中国の教育 (科挙) (6) 日本の教育史 (7) (8) 西欧の教育史 (9) (10) (11) (12) アメリカの教育 (13) (14) (15) フランスの教育 (16) (17) ドイツの教育 (18) (19) イギリスの教育 (20) (21) (22) (23) 日本の戦前・戦後教育（エリート教育の問題）

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

履修コード	228901
科目名	総合III〔スペイン語圏の文化と社会〕
担当者名	<small>さいとう あけみ</small> 齋藤 明美

講義のねらい

今世紀に入り世界各地でボーダレス化、グローバル化が進んでいます。わが国でも異なる文化背景を持つ外国人が近年増加、相互理解に基づいた多文化共生社会の実現が叫ばれています。本講義ではスペイン語圏の文化と社会をテーマに、日本との相違点・共通点を考察させボーダレス社会を生き抜くために必要な理解力と寛容な心を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) オリエンテーション：スペインと私(異文化との出会い) (1)
- (2) スペインの生活（衣食住、コミュニケーション、冠婚葬祭、年中行事など）(2-6)
- (3) スペインの社会1（風土、歴史、若者像、信仰、政治・経済、地方自治など）(7-12)
- (4) スペインの社会2（ジェンダー、移民、ロマ民族（ジプシー）など）(13-15)
- (5) スペインの文化（音楽、芸術・伝統芸能、スポーツ、映画など）(16-19)
- (6) ラテンアメリカ諸国の生活・文化・社会 (20-24)
- (7) 日本に住むスペイン語圏の人々、スペイン語圏に住む日本人 (25-27)
- (8) 日本から見たスペイン語圏の文化・社会、スペイン語圏から見た日本の文化・社会 (28-30)

履修上の留意点

スペイン語の知識は全く必要ありませんので、スペイン語受講生以外の学生の参加も大歓迎します。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、前後期の定期試験（またはレポート）を総合的に評価します。

教科書  
参考書等

随時資料を配布します。

野々山 真輝帆『スペインを知るための60章』明石書店など  
各テーマについての参考文献等は随時推薦します。

その他

日ごろから国内、国外のインターネットや新聞などの情報媒体に親しみ、複眼的に物事を考える習慣をつけましょう。



履修コード	229001
科目名	総合Ⅳ〔現代アメリカ事情〕
担当者名	林 明人

講義の内容・  
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

- |    |                       |    |                         |
|----|-----------------------|----|-------------------------|
| 1  | 世界史の中のアメリカ（1）         | 16 | Brady bill（1）           |
| 2  | 世界史の中のアメリカ（2）         | 17 | Brady bill（2）           |
| 3  | 世界史の中のアメリカ（3）         | 18 | Brady bill（3）           |
| 4  | 世界史の中のアメリカ（4）         | 19 | official English law（1） |
| 5  | 世界史の中のアメリカ（5）         | 20 | official English law（2） |
| 6  | 世界史の中のアメリカ（6）         | 21 | official English law（3） |
| 7  | 世界史の中のアメリカ小テスト        | 22 | euthanasia（1）           |
| 8  | abortion（1）           | 23 | euthanasia（2）           |
| 9  | abortion（2）           | 24 | euthanasia（3）           |
| 10 | abortion（3）           | 25 | hate crime（1）           |
| 11 | affirmative action（1） | 26 | hate crime（2）           |
| 12 | affirmative action（2） | 27 | hate crime（3）           |
| 13 | affirmative action（3） | 28 | multiculturalism（1）     |
| 14 | political correctness | 29 | multiculturalism（2）     |
| 15 | 前期試験                  | 30 | 後期試験                    |

履修上の留意点  
成績評価の方法

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

①試験（40％）②レポート（30％）③出席（30％）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書

プリントを配布します。

履修コード	229101
科目名	総合Ⅳ〔新市民社会論〕
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 前期は市民社会と人権、NGO、NPO、まちづくり、コミュニティ開発、などをキータームとして日米の比較により、授業を行う。後期は日本とインドを比較しつつインドの市民セクターと人権、NGOの役割などを学ぶ。JICAと協力して草の根国際援助プロジェクトの実際について学ぶ。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 前期：
1. 市民社会、NGO、NPOとはなにか。アメリカと日本の比較
  2. アメリカにおける市民セクターの進展
  3. 日本の非営利セクターの歴史と現状
  4. コミュニティ開発とNPOの役割：シアトルのまちづくり
  5. シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
  6. アメリカにおけるマイノリティとNPO
  7. 日本のNPOとまちづくり：神戸市・横浜市、川崎市事例研究
  8. 被差別部落のまちづくり（1）
  9. 被差別部落のまちづくり（2）
  10. 被差別部落のまちづくり（3）
  11. 日本のマイノリティとNPO（1）
  12. 日本のマイノリティとNPO（2）
  13. 前期まとめと日本の市民セクターの現状、課題

- 後期：
1. インド社会の基礎知識
  2. クラスとカースト
  3. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
  4. インドの市民社会とNGO
  5. インド地縁組織とコミュニティ開発
  6. 被差別カーストとコミュニティ開発
  7. 行政とNPO、NGO
  8. 草の根自立支援と市民セクター：MSSRF研究
  9. 日本の海外支援と市民参加：JICAの役割
  10. プロジェクトマネジメント研究（1）
  11. プロジェクトマネジメント研究（2）
  12. グローバル化、人権と市民社会、自立支援と草の根組織
  13. まとめと課題

履修上の留意点 インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。コンピュータ教場なので人数制限あり。

成績評価の方法 出席（25%）、毎回の小レポート内容（30%）、前期、後期それぞれのレポート（45%）。試験はない。

教科書等その他 『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。教場で指定（インターネットサイトなど。）外部講師を数回招聘する。

履修コード	229301
科目名	総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。

講義の内容・授業スケジュール 日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。

履修上の留意点 毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にするのでコンピューターが使えると便利です。

成績評価の方法 レポート、期末試験により評価します。

履修コード	229601
科目名	総合VI〔民族とは何か〕
担当者名	<small>おのの ゆうじ</small> 大野 祐二

講義のねらい	この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。 後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。
履修上の留意点	講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。
成績評価の方法 教科書 参考書等	前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。 詳細については授業中にプリントで伝える予定です。 原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

履修コード	229701
科目名	総合VI〔イスラム〕
担当者名	<small>よしだ きょうこ</small> 吉田 京子

講義のねらい	本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、ユダヤ教、キリスト教との関係性を確認しつつ概論的講義を行い、イスラームの知識を通じセム系一神教の世界観理解を促すことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	①セム系一神教 ②預言者ムハンマド ③神のことば ④イスラームの世界観 ④イスラームの実践 ⑤イスラームの分派 ⑥イスラーム神秘主義 これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。
履修上の留意点	授業中の疑問点やコメントを毎回提出。
成績評価の方法	毎回提出のコメント用紙を出席確認に使用。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

履修コード	229801
科目名	総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕
担当者名	早川 <sup>はやかわ</sup> 紀代 <sup>のりよ</sup>

講義のねらい

男性と女性、あるいは女性と男性との関係は、個人的にも、また社会的にも、この二〇年のあいだに大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時期である。どのように変り、これからどのように変わっていくのか、また変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間の在りかたを考える場にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？

私たちが当たり前と思っていること、たとえば女はやさしい、男はたくましいといった考えは本当なのか、どうかということにメスをいれたのが1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。このジェンダーという理論がどのようにして誕生したかをとりあげ、女性学と男性学と人間学の関係を考える。

b 労働とジェンダー

男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげる。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者の運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、どのようにしたら誰でも、働きかつ家族生活を楽しむ、人間としてバランスのとれた生活を送ることができるか考える。

後期 c 家族とジェンダー

私たちが無意識にすごしている家族は形も親子や夫婦の人間関係も家族ひとりひとりの生き方も大きく変化している。恋愛時代の男女、結婚後の夫と妻の関係はジェンダーが深く影響している。またいろいろな人間関係でつられている家族のかたちもあらわれている。現代の日本社会では家族をめぐる現象は暗いことが多い。家族を共同生活ととらえて将来の家族のあり方を模索する。

b セクシュアリティ

この20年間の変化のなかでもっとも深くて大きなものが、人間の性にかんする考え方です。買春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい人びとの間の暴力などをとりあげて、性にかんする固定観念から脱出する道を考える。

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁

前期試験にかわる夏休みの課題レポート 30%、後期試験 40%、講義内容やビデオ内容に関する意見、感想・出席 30%  
使用しない。参考資料を配布する。

履修上の留意点  
成績評価の方法

教科書

履修コード	229901
科目名	総合VII〔トラブルと法的解決〕
担当者名	中濱 義章・井上 健一・北野 かほる・佐藤 多美夫・中田 英幸・向田 正巳
講義のねらい	日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。 法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。
講義の内容・授業スケジュール	第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。 担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。 中濱 義章 消費生活と法 井上 健一 現代社会と商法 北野 かほる トラブルが法の問題になるとき 佐藤 多美夫 犯罪とは何か 中田 英幸 信託と法 向田 正巳 契約と不法行為
履修上の留意点	各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。 私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。
成績評価の方法	各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。 担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。 追試験は、講義の形態上、行わない。 特に指定しない。 各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。 六法は毎回忘れずに、持参すること。
教科書 参考書等	

履修コード	230001
科目名	総合VII〔都市論〕
担当者名	内海 <sup>うちうみ</sup> 麻利 <sup>まり</sup> ・饗庭 <sup>あいば</sup> 伸 <sup>しん</sup> ・早川 <sup>はやかわ</sup> 純貴 <sup>よしき</sup> ・堀内 <sup>ほりうち</sup> 康史 <sup>やすし</sup> ・村上 <sup>むらかみ</sup> 暁信 <sup>あきのぶ</sup>

講義のねらい

都市は多様な可能性と問題が集積する場である。過密化と空洞化、国際化、環境問題、犯罪、失業、市街地整備や開発競争など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す社会の表象にほかならない。本講義では、都市の現状を政治学あるいは社会学や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々4回～6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利ほか 総合VII『都市論』ガイダンス（4月）

内海 麻利「都市計画制度とその動向」（4月・5月）

都市計画制度には、土地利用や道路、公園等の都市施設整備、市街地開発事業など、都市を形成するための様々なルールや仕組みがある。本講義では、社会情勢を踏まえ目指すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川 純貴「まちづくりと住民参加」（5月・6月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

堀内 康史「都市とコミュニティ」（6月・7月）

都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心にみていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。

村上 暁信「都市のランドスケープ」（9月・10月）

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

饗庭 伸「市街地整備とアーバンデザイン」（11月・12月）

都市のフィジカルな空間を改善するために市街地整備やアーバンデザインが行われる。首都圏を対象に、近年の都市空間の課題を概観したうえで、それぞれの課題に対する取り組み、方法を論じる。

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

履修上の留意点  
成績評価の方法

### 3. 外 国 語 科 目

履修コード	238001
科目名	英語IA
担当者名	笹倉 貞夫

**講義のねらい** 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～5) AMAZING ANIMALS、(6～10) YOUR AMAZING BODY、(11～14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16～20) AMAZING FIRSTS、(21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26～29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト

**履修上の留意点** 予習・復習重視、辞書持参。

**成績評価の方法** 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

**教科書** M.Vogel 『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

履修コード	238101
科目名	英語IA
担当者名	岩原 康夫

**講義のねらい** ライティングによる日常的なコミュニケーション能力を高め、少しでも纏まった意思伝達ができるようになることを目標にする。

**講義の内容・授業スケジュール** クラスは一定の基本的な動詞と構文と用法を学習し、まずセンテンス・レベルでの表現力を向上させる練習を行う。前期は、“be” “go” “come” “take” “put” “make” などを中心に学び、後期は“have” “get” “give” “stay” “keep” “lose” “find” “do” の順で練習し、最後にパラグラフの構成を学んで、一つのテーマで纏まった文章を書いてもらう。

**履修上の留意点** 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。

**成績評価の方法** 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。

**教科書** Cultivating Writing Skills (朝日出版) 2000円 ISBN4-255-15280-2

**その他** パソコンを使用できるようにすること。

履修コード	238201
科目名	英語IA
担当者名	熊沢 和明

**講義のねらい** 口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。

**講義の内容・授業スケジュール** 平易な口語英作文の教科書を使い、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。

**履修上の留意点** 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

**成績評価の方法** 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

**教科書** 『Enjoy Expressing Yourself』(金星堂)

**その他** PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

履修コード	238301
科目名	英語IA
担当者名	飯沼 好永

**講義のねらい** 入学時の英語力を基礎とし、より正確な英語表現を身に付けることを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 大学生の日常生活に基づいた例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現の修得も目指します。テキストの各単元とプリントを2週単位で進みます。

**履修上の留意点** 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

**成績評価の方法** 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

**教科書** 山村三郎、木下裕昭、小峰和子『Expanding Your Writing Skills』(朝日出版) 1,600円 ISBN4-255-15269-1



履修コード	238401
科目名	英語IA
担当者名	依田 <sup>よだ</sup> 里花 <sup>りか</sup>

講義のねらい この授業では、文法や構文の基礎を徹底させるとともに、英語特有の言い回しや、日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語表現の細かい部分に磨きをかけていきます。TOEIC対策にもなります。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、1ユニットごとに進みます。

履修上の留意点 必ず、英和・和英辞書を持参のこと。(電子辞書も可)

成績評価の方法 授業での姿勢を重視し、定期試験(7月と12月)等の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書 『Get It Write 一コーパス活用英文ライティング入門』(桐原書店) ¥1,800

ISBN 4-342-54780-5C1082

履修コード	238501
科目名	英語IA
担当者名	山岸 <sup>やまがし</sup> 二郎 <sup>じろう</sup>

講義のねらい 英文に依る基本的な表現力の定着と運用能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 英文法を整理しつつ、英語独特の発想法に慣れる。テキストの豊富な練習問題、応用問題をこなして、基本動詞の活用に習熟する。授業は One Lesson 2 回の進度で学ぶことを目安とする。自由作文を数回取り入れたい。

履修上の留意点 予習を怠らない。演習科目なので、3分の2以上の出席が必要である。

成績評価の方法 平常の学習を重視する。レポート、小テスト、テスト等総合して評価する。

教科書 *Discover English Grammar*

『日英語対照：楽しく覚える英文法——ショート・リーディングと英作文——』(朝日出版社)

履修コード	238801
科目名	英語IA
担当者名	西原 <sup>にしはら</sup> 克政 <sup>かつまさ</sup>

講義のねらい 英語の基本動詞を活用して、日常生活のこまごまとした表現の可能性を探りながら、作文と会話とを近づけて、英文を頭の中で即座に組み立てる力をつける。

Introduction(1), Lesson1 ~ Lesson14(2-15), Lesson15 ~ Lesson29(16-30)

講義の内容・授業スケジュール 語学は予習が全てといえるので、こつこつと継続してゆく忍耐力が必要である。予習を励行することを義務づけ、それを評価の対象とする。

履修上の留意点 授業回数の3分の2以上の出席が評価の対象基準となる。平常授業が全てであるので、授業内でのプレゼンテーションをその都度評価して、その平均値を成績とする。

成績評価の方法 教科書 牧雅夫『英語表現トレーニング』北星堂書店 1100円

履修コード	238901
科目名	英語IA
担当者名	手島 <sup>てしま</sup> 敬子 <sup>けいこ</sup>

講義のねらい 日常生活において実際に活用できる「ライティング」能力を習得することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 前期 第1回 ガイダンス(授業説明)

第2回~第14回 Chapter 1~7

第15回 前期試験

後期 第16回~第29回 Chapter 8~20の中から7~8章を取りあげます

第30回 後期試験

履修上の留意点 原則として3分の2以上、授業に出席。年間5~6回の課題、小テスト。英和辞書を必ず持参。

成績評価の方法 前期・後期試験、小テスト、課題を8割程度、授業への参加度、出席状況を2割程度で評価します。

教科書 安達一美、*English Writing for Global Communication* 金星堂、2100円 978-4-7647-3851-5

履修コード	239001
科目名	英語IA
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>

**講義のねらい** Writing and Speaking を主眼とする。この講義をとおして英語の実的な運用力を高めるようにしていきたい。その結果は社会に出たときに問われることになるわけだから、受講者もそのつもりで取り組んでほしい。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストに従って進める。いずれは訪れるであろう海外へ旅発つときに便利な状況が設定してある。

- 1.English and the World
- 2.Time Zones
- 3.Driving Abroad
- 4.Postal Services
- 5.Eating Out
- 6.Shopping
- 7.Meeting People
- 8.Accommodation
- 9.Public Transportation
- 10.Different Sports
- 11.Etiquette
- 12.Entertainment

**履修上の留意点** テキストにCDが付属しているので、予習してくる。予習してあるという前提で進めていく。

**成績評価の方法** 前期・後期の試験。発表状況等の受講態度。出席・遅刻状況。

**教科書** What Are Your Travel Plans? 『海外旅行を充実させる12のエッセンス』  
松柏社出版 ¥1,900

履修コード	239101
科目名	英語IA
担当者名	田中 靖子 <small>たなか やすこ</small>

**講義のねらい** 本講義では始めに基本的なライティングによって口語英語表現に慣れながら、次第に実践的な英語運用力（スピーキング力）を高めていくことをねらいとします。

**講義の内容・授業スケジュール** 本講義では pair-work, role play, presentation などのスピーキング演習により、実践で役立つ会話を養成します。基礎的な文法事項や語法の復習をしながら、表現力を高めていけるように授業を構成していきます。

前期

第1回	クラス	オリエンテーション	第2回	unit 1
第3回	unit 2	第4回	unit3	
第5回	unit 4	第6回	unit5	
第7回	unit 6	第8回	review	
第9回	unit 7	第10回	unit8	
第11回	unit 9	第12回	consolidation	
第13回	テスト			

後期

第1回	クラス	オリエンテーション	第2回	unit 10
第3回	unit 11	第4回	unit12	
第5回	unit 13	第6回	unit14	
第7回	unit 15	第8回	review	
第9回	unit 16	第10回	unit17	
第11回	review	第12回	consolidation	
第13回	テスト			

**履修上の留意点** 本授業は事前に課題を出しそれを基に授業を展開します。

**成績評価の方法** この授業では休まずに出席して activities に参加することが求められます。前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。さらに授業中の積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

**教科書** 教場にて指示します。

履修コード	239201
科目名	英語IA
担当者名	吉沢 栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>

講義のねらい 一般的な日本文の英訳をできるだけ多く試みる予定です。  
 講義の内容・授業スケジュール 英作文の技術の習得の為、第1回から第27回にかけて担当教員の板書にしたがって、練習を行ないます。  
 履修上の留意点 辞典を必ず持参するようにして下さい。  
 成績評価の方法 ペーパーテスト、課題提出物、出席状況をみて、評価します。  
 教科書 使用しない。

履修コード	240211
科目名	英語IA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	白鳥 義博 <small>しらとり よしひろ</small>

講義のねらい 中学英語の教材を使って、英語の基礎を徹底的に勉強します。「大学に入ってどうして中学英語なの？」と疑問に思う人もいるでしょう。しかし、音読や暗誦と書き取りを中心とした練習によって中学校で習う英語を完全にマスターすれば、単語・会話・読解・聞き取りすべての応用力が着実につくはずで。 (担当講師本人も、いまだに中学時代の教科書の音読を続けています。)  
 講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2~10) 中学1年の英語 (11~14) 中学2年の英語 (15) 前期末試験、後期：(15~18) 中学2年の英語 (続) (19~27) 中学3年の英語 (28・29) 総復習 (30) 後期末試験  
 成績評価の方法 平常点と出席状況、および定期試験の結果などから総合的に評価する。  
 教科書 未定。

履修コード	244701・245501
科目名	英語IB
担当者名	木元 喜久子 <small>きもと きくこ</small>

講義のねらい 環境、教育、経済、健康・医療など様々な分野のエッセイを読みながら、実践的な英文読解スキルの修得だけでなく、国際的視野や感覚を磨くと共に、世界情勢への理解を深めることを目的とする。  
 講義の内容・授業スケジュール 様々なエッセイの速読と精読を通して英文読解力の向上をめざす。内容把握、概要、語いやりリスニングの練習問題を通して英語の総合的・実践的な力を養成する。  
 履修上の留意点 十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。  
 成績評価の方法 成績は出席率(全授業の2/3以上)、授業中の課題や発表と前・後期試験の結果を総合して評価する。  
 教科書 David Peaty・及川正博編著 『Good News Book 2』(『続・グッドニュースで読む世界の動き』(桐原書店) ISBN 978-4-342-54960-1

履修コード	244801
科目名	英語IB
担当者名	藤井 道行 <small>ふじい みちゆき</small>

講義のねらい 英文を受身的でなく、アクティブに読むコツを多様な素材から身につけることを目的としたテキストに取り組みます。とにかく、たくさん英文を読みます。  
 講義の内容・授業スケジュール 1回目：ガイダンス 2~6回目：UNIT1&2 7回目：試験(1) 8~14回目：UNIT3&4 15回目：試験(2) 16~22回目：UNIT5&6 23回目：試験(3) 24~29回目：UNIT7&8 30回目：試験(4)  
 成績評価の方法 前・後期各2回実施する4回の試験が、評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。  
 教科書 Karen Blanchard 著 “For Your Information 2” (ピアソン ロングマン) 2,400円 ISBN 0-13-199182-5

履修コード	244901
科目名	英語I B
担当者名	海琳 泰子

講義の内容・授業スケジュール Reading-VOA Special English 番組をもとにして作られたテキストで、天文、物理学、宇宙工学の発展に貢献した12名の生涯と業績を学ぶ。①②コペルニクス③④ガリレオ⑤⑥ニュートン⑦⑧⑨⑩アインシュタイン⑪⑫ライト兄弟⑬⑭リンドバーグ⑮⑯エアハート⑰⑱コ克蘭⑲⑳ゴダード㉑㉒フォン・ブラウン㉓㉔シュルスキー (29) (30) ハッブル Listening-BBCWorld のニュースの聞き取り。

成績評価の方法 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%

教科書 中畑繁 Joseph Beuson 編著 VOA *Space and Man* 「偉人たちの空」(南雲堂) 1900円 ISBN 4-523-17285-4 C0082

履修コード	245001・245901
科目名	英語I B
担当者名	亀田 三重子

講義のねらい 英語の reading と特に listning に力点を置いてビデオで学びます。今回は英国の古代から現代に至るまでの歴史を画面を通じて学んでゆきます。時々新聞や会話も取り入れ、実用的な英語も身につける事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール 前期- Chap.1-5 Celtic Britain, Roman Britain, Anglo-Saxon Britain, The Norman Conguest, Medieval Britain.  
後期- Chap.6-12 The coming of Christianity to Britain, Church and State and the Dissolution of the Monasteries, The Industrial Revolution, Legends and Stories, The English Love of Nature, Churchill, Chartwell and Blenheim, Preserving the Past.

履修上の留意点 語学の授業ですから予習が必要です。辞書は必携の事。課題は必ず提出の事。

成績評価の方法 前期、中後期の試験と提出物。授業への取り組み方、出席状況も考慮に入れます。

教科書 “Facets of Britain” Ian Dennis, 斎藤公江、三宅律子 (朝日出版社) ¥1800

履修コード	245101
科目名	英語I B
担当者名	海琳 泰子

講義の内容・授業スケジュール Reading オーストラリアのポピュラーサイエンスの “Dr.Karl” の著書より20トピック選んで作られたテキストを読む、①医学的真実②テレビと体重③時差ぼけ④⑤発熱⑥⑦うじ虫を使った治療⑧土星⑨⑩心肺機能蘇生法⑪⑫光⑬コーヒー⑭⑮メラトニン⑯重力⑰カフェイン⑱⑲体温⑳㉑テレビと㉒ブロッコリー㉓㉔どちらが重い㉕㉖テレビと攻撃性㉗㉘雨㉙㉚姓 Listening-BBCWorld のニュースの聞き取り。

成績評価の方法 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%

教科書 Karl Kruszelnicki 小中秀彦著 *New Moments in Science* 「やさしい生活科学」(成美堂) 1800円 ISBN 4-7919-4073-3

履修コード	245201
科目名	英語I B
担当者名	藤井 道行

講義のねらい 平易な英文の伝える内容を、速く、正確にキャッチする力を養います。テキストには、知名度抜群のマンガを素材とした、文法の整理に役立つ総合教材を授業の前半に使います。後半は、口語的な英文で書かれた親しみのもてるエッセイ集に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール 1回目: ガイダンス 2~6回目: “Snoopy” Unit 1-4 Essay 3篇 7回目: 試験(1) 8~14回目: “Snoopy” Unit 5-10 Essay 3篇 15回目: 試験(2) 16~22回目: “Snoopy” Unit 11-15 エッセイ3篇 23回目: 試験(3) 23~29回目: “Snoopy” Unit 16-20 エッセイ3篇 30回目: 試験(4)

成績評価の方法 前・後期各2回実施する4回の試験が、評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書 (1) 小中秀彦 著 「スヌーピーと覚える日常表現」 (朝日出版社: 1,700円) ISBN978-4-255-15444-2  
(2) Kay Hetherly 著 “American Pie” (NHK出版: 750円) ISBN4-14-035057-1

履修コード	245601
科目名	英語IB
担当者名	藤井 道行

講義のねらい 平易な英文の伝える内容を、速く、正確にキャッチする力を養います。テキストは、基礎的な聞き取りの問題集と、日本の現状を考察する上でキーワードとなるものを英語で簡潔に解説したテキストの2冊を使います。

講義の内容・授業スケジュール  
 1回目：ガイダンス 2～6回目：“Listening” Lesson 1～5 “Japan” Chapter 1～3  
 7回目：試験(1) 8～14回目：“Listening” Lesson 6～10 “Japan” Chapter 4～6  
 15回目：試験(2) 16～22回目：“Listening” Lesson 11～16 “Japan” Chapter 7～9  
 23回目：試験(3) 23～29回目：“Listening” Lesson 17～22 “Japan” Chapter 10～12  
 30回目：試験(4)

成績評価の方法 前・後期各2回実施する4回の試験が、評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書  
 (a) David A. Trevil 著 “Starting Out on the TOEIC Test Listening” (成美堂：900円)  
 ISBN-7919-4584-0  
 (b) Paul Stapleton 著 “Keywords for Japan Today” (センゲージ ラーニング：1,700円)  
 ISBN978-4-86312-043-3

履修コード	245701
科目名	英語IB
担当者名	海琳 泰子

講義の内容・授業スケジュール Reading -2007年8月。私は16年ぶりのドイツ。Munchen, Berlin, Dresden, Potsdam を訪れた。東方拡大で進化しつつあるEU、ヨーロッパに注目しよう。①②街の基本構造③④イタリアと日本⑤⑥君主制⑦⑧美⑨⑩食事⑪⑫ワイン⑬～⑭工業⑮～⑯家族⑰⑱福祉⑲⑳クリスマス㉑㉒迷信㉓㉔個人㉕㉖教育㉗㉘未来。私の15回のヨーロッパ旅行の体験談と写真で情報を補う。Listening-BBC-World のニュースの聞き取り。

成績評価の方法 前後期末試験60% (欠試は不可) ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%

教科書 Joan Mc Connell 辻昌宏 著 *Appreciating European Culture* 「生まれ変わるヨーロッパ」成美堂 1800円 ISBN4-7919-1280-2

履修コード	245801
科目名	英語IB
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 英語の基本的な文法、構文をチェックしつつ、テキストの内容を正確に読みとる力をつける。

講義の内容・授業スケジュール The Pink Nose Project, The Tree Lady, Is it A Fad? The Anime Boom in America (1-6) Strawberries, How to Improve Your Memory, One Cool job (7-12) History Textbooks, Some Conversational Do's and Don'ts, Machu Picchu (13-18) The Nose Knows, No More Hollywood!, Visitors from Outer Space? (19-24) Manners Matter!, Summer Camps, Detecting True Art (25-30)

履修上の留意点 平常点重視。予習をしてくること。

成績評価の方法 出席・発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価とする。

教科書 『Essential Interactive Reader』(金星堂) 2000円 ISBN978-4-7647-3848-5

履修コード	246931
科目名	英語IB [基礎英語特別クラス]
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 英語の基礎的な文法、構文の強化を図り、読解力や表現力のさらなる向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール Greetings, Introductions, Asking Questions, Requests, Thanks, Appointment (1-6) Apologies, Suggestions, Permissions, Invitations, Agreement, Disagreement (7-12) Reduction (音の弱化), Contraction (音の短縮)

Elision (音の消失), Assimilation (音の同化) (13-18) Assimilation(2), Liaison (音の連結), Conjugation of Sound (音声変化) (19-30)

履修上の留意点 平常点重視。予習をしてくること。

成績評価の方法 出席・発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価とする。

教科書 『Focus on Communication ①』、『Focus on Communication ②』(朝日出版社) 各1400円  
 ISBN978-4-255-15442-8, ISBN978-4-255-15443-5

履修コード	252201
科目名	英語IIA
担当者名	<small>てるやま ゆうひこ</small> 照山 雄彦

**講義のねらい** 平易な英語表現の整理と確認を行ないながら、より高度な英語の運用能力を目指した授業を行う。できるかぎり英文で思考し、発音し、そしてライティングへと向かうことが必要である。そのため多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英語の表現方法を習得して行く。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) 講義の内容説明(2～25)対話、主語、時制、述部、法助動詞、比較、仮定表現、形容詞、副詞節、非定形動詞と実践。(26～30)まとめ、応用表現

**履修上の留意点** 表現力を養うために辞書は必ず持参すること。予習、復習は必ずすること。

**成績評価の方法** 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。

**教科書** 『文法から攻める英作文のための15章』(英宝社) 山内信幸著 1890円(税込み)

**参考書等** 授業中にお知らせします。

履修コード	252301
科目名	英語IIA
担当者名	<small>にしだ よしかず</small> 西田 義和

**講義のねらい** 英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。

第1回と2回は文の攻略法(文の構造、文の種類その他練習問題等)

第3回と4回は動詞の攻略法(動詞の活用、自動詞と他動詞その他練習問題等)

第5回と6回は時制の攻略法(現在時制、過去時制、未来時制その他練習問題等)

第7回と8回は仮定法の構文攻略法(仮定法過去、仮定法過去完了その他練習問題等)

第9回と10回は態の構文攻略法(能動態と受動態、受動態の時制その他練習問題等)

第11回と12回は不定詞の構文攻略法(各用法とその他練習問題等)

第13回と14回は動名詞の構文攻略法(動名詞の基本用法その他練習問題等)

第15回は前期テスト(前期最終回の授業)

第16回と17回は分詞、分詞構文の攻略法および練習問題等。

第18回と19回は助動詞の構文攻略法(助動詞の用法と練習問題等)

第20回と21回は名詞の構文攻略法(様々な名詞の用法と練習問題等)

第22回と23回は冠詞の構文攻略法(定冠詞、不定冠詞とその他練習問題等)

第24回と25回は代名詞の構文攻略法(様々な代名詞とその他練習問題等)

第26回と27回は形容詞の構文攻略法(様々な形容詞とその他練習問題等)

第28回と29回は副詞の構文攻略法(様々な副詞とその他練習問題等)

第30回前期 後期テスト、(後期最終回の授業)

**履修上の留意点** 予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

**成績評価の方法** 出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

**教科書** 現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

履修コード	252401
科目名	英語IIA
担当者名	<small>いちかわ ひとし</small> 市川 仁

**講義のねらい** 和文英訳を数多くこなすことでさまざまな英語表現を学んでいきます。学生の皆さんの口頭発表と板書による発表を中心にして授業を進めていきます。

**講義の内容・授業スケジュール** 必ず予習をして授業に出席してください。

**履修上の留意点** 授業中の発表と前期・後期の試験を総合して評価します。原則として全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。

**成績評価の方法**

**教科書** 岸野英治『コミュニケーションのための英文法・英作文』(英宝社) 1,900円 ISBN4-269-32018-4

履修コード	252411
科目名	英語IIA
担当者名	塚本 利男

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につけます。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、社会問題や環境問題などについて自分の意見が書けるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフの書き方として、「列举」、「原因と結果」、「比較」など（2～14）、さらに「定義」、「意見」、「類推」など（16～25）の展開方法を学び、最後に、パラグラフから発展してエッセイの書き方を学ぶ。（26～29）前・後期のテストを実施する。（15と30）授業の総仕上げとして毎回授業の最後に小論文を書き提出してもらいます。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する小論文、前・後期の試験に基づく。

教科書 『大学生の英語ライティング—センテンスからパラグラフへ』  
山村三郎・兼頭満里子他（株）金星堂、1,950円＋税 ISBN978-4-7647-3835-5

履修コード	252501
科目名	英語IIA
担当者名	堀 千和子

講義のねらい 身の回りのことをどのように英語で表現するかを学び、自分の意見を明確に書く技術を習得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール 前期では、センテンス・レベルで自分の伝えたいことを正確に英語で表現することを、また、有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。後期ではいろいろなパターンで書かれたエッセイを勉強し、学年末には5～6段落からなるエッセイ（主題は自由）を提出してもらう予定です。

履修上の留意点 授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。毎回、簡単な課題をして提出してもらいますので、辞書を持参することが望ましい。

成績評価の方法 成績は、前・後期の試験、授業中の自主的な発言などの貢献度、提出物、休暇中の課題から総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。試験は前期・後期のいずれかに欠席した場合は単位取得の意志がないものと見なされるので、両試験とも必ず出席すること。

教科書 追って指示します。

履修コード	252601
科目名	英語IIA
担当者名	尾上 典子

講義のねらい 現代アメリカの文化に決定的役割を演じた幾つかのビジネス活動を英語で学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 教科書・視聴覚教材・プリントを使用。

- 1) Coca-Cola: The Symbol of America 約5回
- 2) Disneyland and other theme parks 約5回
- 3) The Automobile Industry 約5回
- 4) McDonald's Global Strategy 約5回
- 5) Mail-order Shopping 約5回
- 6) ヴィデオ・DVD使用授業 約3回
- 7) テスト 2回

履修上の留意点 予習をしておくこと。授業中は静粛に。

成績評価の方法 受講態度・2/3以上の出席・テストの成績などにより、総合的に評価を行なう。

教科書 廣原真由子・Blake Baxter 共著 *Big Business in America* (成美堂)

履修コード	252701
科目名	英語IIA
担当者名	加藤 佐和子

講義のねらい	現代社会が抱える様々な問題に関するエッセイを読み英文読解力つける。同時に、それらの社会問題を議論し、英語の伝達能力をつける。更に、オフィスなどで実際に使われる英語表現を覚え、実生活に役立つ英語のスキルを伸ばしていく。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに、アメリカのABC放送のテレビニュース番組から録画、編集した「ABC World News」を使用する。 一回の授業で、1章ずつ進む。ビデオで番組を見た後、まず、内容を把握し、そのトピックに関するディスカッションをする。
履修上の留意点	予習・復習を必ずすること。
成績評価の方法	授業参加度50% まとめテスト50%
教科書	ABC World News 10 (金星堂)

履修コード	253001
科目名	英語IIA
担当者名	風間 則比古

講義のねらい	英語の総合的な習得には聞く、話す、読む、書くの4つが必須であるが、ここでの授業は主に読解力を中心に行ない、練習問題で総合的な学習ができるようにした。
講義の内容・授業スケジュール	第1週：授業の概要説明 第2週～第3週：Reminiscences of Childhood Readings 第4週～第5週：Metabolism : The Key to Energy 第6週～第7週：Vegetables from the Sea 第8週～第9週：Weight and Health 第10週～第11週：Frozen Foods 第12週～第13週：Milk : Nature's Miracle Food 第14週：Food Additives 第15週：前期試験 第16週～第17週：Bacteria : Friend or Fiend? 第18週～第19週：Stress and Aromatherapy 第20週～第21週：Fears of Aging 第22週～第23週：Big Bang 第24週～第25週：The Backbone of the Japanese Economy 第26週～第27週：Better Rice and Blue Flowers : Genetic Engineering 第28週～第29週：Local Beer 第30週：後期試験
履修上の留意点	英文を正確に理解するためには文法の勉強も不可欠です。最低限の説明は授業で行ないませんが、自分でも、もう一度勉強しておいて下さい。
成績評価の方法	成績は前、後期1度ずつの試験の結果と、平常点(出席数や授業態度など)を総合して評価します。
教科書	千葉 剛、'Prosperous Life' (『豊かな生活』)、南雲堂

履修コード	253101
科目名	英語IIA
担当者名	依田 里花

講義のねらい	この授業では、文法や構文の確実な定着をはかるとともに、英語特有の言い回しや、日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語表現の細かい部分に磨きをかけていきます。TOEIC対策にもなります。 毎回、1ユニットずつ進みます。
講義の内容・授業スケジュール	
履修上の留意点	必ず、英和・和英辞書を持参のこと(電子辞書も可)
成績評価の方法	授業内の姿勢を重視するとともに、定期テスト(7月・12月)等の結果と合わせて、総合的に評価します。
教科書	『Get It Write -コーパス活用英文ライティング入門-』(桐原書店) ¥1,800 ISBN 4-342-54780-5C1082



外国語

履修コード	253201
科目名	英語IIA
担当者名	古富 猛

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
アメリカ・イギリスの国民性と文化を理解する手がかりをつかむ。  
大学入学までの学習において、格差が広がる傾向にあるので、(1)～(4)までは高校の複習(文法事項など)に費す。その後、外国語の会話力に劣っている日本人にとって、最良と思われるアプローチを説明する。それはストーリー性のあるものをリーディングし、応用できるセンテンスのパターンプラクティスである。そのため(5)～(30)までは各時間、3人程の学生に予習発表をしてもらい、そのトレーニングとする。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
語学は繰り返しの反復練習なので、日々音楽・映画などでヒヤリングに努めてもらいたい。  
前・後期筆記試験を実施し、予習発表におけるトレーニングの程度によって、平常点をつけます。よってペーパーテストのみが評価の基準ではないので、毎時間質問に答える準備をしておく事。

教科書  
前期と後期  
『アメリカの民話と伝説』金星堂  
プリント使用あり。

履修コード	253301
科目名	英語IIA
担当者名	岩永 祥恵

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
本講義では内容を把握しながらパラグラフライティングの基礎を高めることを目的とする。  
テキストにしたがってライティングの基礎を固めていく。各回のスケジュールは以下のとおり。

- 1, 2 授業説明、第1章 節とは何だろう
- 3, 4 第2章 単重複文、関係詞節とは何だろう
- 5, 6 第2章の展開
- 7, 8 第3章 書き始める前にすべきことは何だろう
- 9, 10 第3章の展開
- 11, 12 第4章 パラグラフとは何だろう
- 13, 14 第4章の展開
- 15 前期試験
- 16, 17 答案返却 第5章 校正読み、訂正、書き直しとは何だろう
- 18, 19 第5章の展開
- 20, 21 第6章 例示パラグラフとは何だろう
- 22, 23 第6章の展開
- 24, 25 第7章 説明パラグラフとは何だろう
- 26, 27 第7章の展開
- 28, 29 第8章 分類パラグラフとは何だろう
- 30 後期試験

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。  
出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に説明する。  
KELLY KENNEDY-ISERN他 KEYS TO BETTER PARAGRAPH WRITING 松柏社  
1900円 4-88198-564-7

参考書等  
開講時に指示する。

履修コード	253311
科目名	英語IIA
担当者名	<small>ながの こういち</small> 永野 光一

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

IAを基礎として、より高度な英語による意志伝達（ライティングとスピーキング）の力を養成。  
Q&A やペア/グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、パラグラフやより長い作文を書く活動を行う。(1) Orientation (2-8) Course Registration, Part-time Jobs, Comparative Culture, Passage to Canada, Aging Society, Reflection & Writing 1, Oral Presentation 1, (9-15) Sports, Endangered Languages, Carp Streamers, Global Warming, E-mail, Reflection & Writing 2, Oral Presentation 2 (16) Summer Vacation (17-23) Globalism & War, Japanese Cuisine, Educational Reform, Movie or Music, Smoking, Reflection & Writing 3, Oral Presentation 3 (24-30) Christmas, Exams & Papers, Hot Spring, Recommendation, Job Interview, Reflection & Writing 4, Oral Presentation 4

履修上の留意点  
成績評価の方法

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。  
出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。小テストとライティングや発表などの課題の成績を入れて総合的に評価。

教科書

Aoki, Nobukazu and Erikawa, Haruo. (2005), "Let's Talk and Communicate!" (金星堂) 1900円 ISBN4-7647-3802-3 C1082

履修コード	257801・258911
科目名	英語IIB
担当者名	<small>すずき みきこ</small> 鈴木 美貴子

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

英文読解力を高める。  
テキストに従って英文を読む。随時こちらで用意したTOEIC練習問題や英字新聞記事を読む。

予習必須。必ず辞書持参。  
前・後期試験、発表、提出物、出席状況により総合的に評価する。  
『WISH』(研究社、1900円)、ISBN978-4-327-42174-8 C1082

履修コード	257901
科目名	英語IIB
担当者名	<small>はやし あきと</small> 林 明人

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業は精読を通し、未知の語を含んだ長文であっても辞書を用いながら何とか文の要素を把握できるようになることを目的とします。自らの英語の知識を駆使し、長文を解読することが、まるで推理小説を読むようにスリリングだと実感できるようになります。あらかじめ各ユニットの訳を皆さんに提出してもらい、質問をしながら授業を進めます。

1回目	年間スケジュール説明	16回目	レッスン7
2回目		17回目	
3回目	レッスン1	18回目	レッスン8
4回目		19回目	
5回目	レッスン2	20回目	レッスン9
6回目		21回目	
7回目	レッスン3	22回目	レッスン10
8回目		23回目	
9回目	レッスン4	24回目	レッスン11
10回目		25回目	
11回目	レッスン5	26回目	レッスン12
12回目		27回目	
13回目	レッスン6	29回目	小テスト
14回目	小テスト	30回目	後期テスト
15回目	前期テスト		

履修上の留意点  
成績評価の方法

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。  
①試訳（40%）②試験（30%）③出席（30%）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書

4月に教場で指示します。

外国語

履修コード	258001
科目名	英語II B
担当者名	<small>おかざき としいちろう</small> 岡崎 寿一郎

講義のねらい 語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 前半15週 (1)～(68) 後半15週 (69)～(135)

履修上の留意点 テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法 平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書 柳瀬正人編註『イギリスの諺、さまざま』太陽社 ¥1,200。

履修コード	258011
科目名	英語II B
担当者名	<small>ことみ たけし</small> 古富 猛

講義のねらい アメリカ社会の原点を考え、世界に影響力を有するアメリカ人の性格を考える。

講義の内容・授業スケジュール 語学は常に基礎的理解力を必要とするのだが、学生間の格差は広がるばかりである。まず、(1)～(4)で高校までの文法事項(今後の理解に不可欠のもの)を復習する。その後日本人の苦手な会話力の足がかりとして、ストーリー性のあるものを読み、応用できるセンテンスを選び、パターンプラクティスをするのがベストと考えている。そのため(5)～(30)は各時間ごとに3人ぐらいの学生に予習発表をもらいトレーニングのひとつとする。

履修上の留意点 語学は繰り返しなので、中・高校習った事項の復習に努める事。

成績評価の方法 前・後期筆記試験を実施し、予習発表におけるトレーニングの程度によって、平常点をつけます。その両方の成績で評価を出します。

教科書 前・後期 『アメリカの民話と伝説』金星堂  
プリントの併用あり。

履修コード	258101
科目名	英語II B
担当者名	<small>おわた まさこ</small> 太田 雅子

講義のねらい 英文を上から順に理解していく訓練を行なう。

講義の内容・授業スケジュール 最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。原則1回の授業でテキストの1章進む。

履修上の留意点 予習は必須。

成績評価の方法 平常点と前期・後期試験

教科書 未定

履修コード	258201
科目名	英語II B
担当者名	安齋 薫 <small>あんさい かおる</small>

講義のねらい	これまでに学んだ基礎を生かしながら、さらに多くの量を読めるようにする。同時に Listening 能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	第1回 Introduction 2.3 Kabuki 4.5 Hideki Matsui 6.7 The Beauty of Taiwan 8.9 Plant-based Plastics 10.11 Diet and Well-being 12.13 Natto 14.15 Shoyu 16.17 Instant Ramen 18.19 Genetic Engineering 20.21 Carlos Ghosn 22.23 Blue LED 24.25 CSR 26.27 Piracy 28.29.30 Ubiquitous
履修上の留意点	予習をしていくこと。
成績評価の方法	出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前後期試験、レポートで評価する。
教科書	『Dynamic Business and the Environment』（南雲堂）¥1900 ISBN978-4-523-17532-2

履修コード	258301
科目名	英語II B
担当者名	池上 賀英子 <small>いけがみ かつこ</small>

講義のねらい	英語IBの学習の延長上において、英語への認識と、日本人としての自覚と大学生としての教養を、英語学習の座標軸として、英文の文意把握能力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを演習中心に講義・質疑応答等を組み合わせて、体系的に進行させる。テープレコーダー、ビデオ（VHS,DVD）等を活用する。具体的な授業内容・スケジュールについては開講時に指示する。
履修上の留意点	授業は予習を第一義とすること。3分の2以上を出席し、発表・課題提出等演習を旨とする授業に、積極的に参加すること。
成績評価の方法	平常における個人の努力と成長を重視しつつ、前後期の試験の結果を加えて、総合的に評価をする。
教科書	未定
参考書等	開講時に指示する。

履修コード	258601
科目名	英語II B
担当者名	三幣 友行 <small>みねが ともゆき</small>

講義のねらい	英語IBで学んだ事を基礎として、英語を正しく読む力のさらなる向上を目指す
講義の内容・授業スケジュール	予習を前提として授業をすすめる。
履修上の留意点	欠席が全体の3分の1を超えたら単位を認めない。 予習を前提として授業をすすめる。
成績評価の方法	出席点、平常点、小テスト点、定期テストを総合的に評価する。
教科書	未定
その他	その他詳しい事は授業開始時に説明する。

履修コード	258701
科目名	英語ⅡB
担当者名	岸本 茂和

**講義のねらい** Back-to-Basics! ー基本に帰るーことをこのクラスの標語としたい。短い文章をよみながら、英語学習の Basics であるところの「5文型」を徹底してゆきたい。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) Orientation (2～7) Chapter 1～3 (8)《遊び時間》英語固有名詞について<プリント配布>(9～14) Chapter 4～6 (15) 中間試験 (16～21) Chapter 7～9 (22～23)《遊び時間》英語慣用句について<プリント配布> (24～29) Chapter 10～12 (30) 最終試験

**履修上の留意点** 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上の欠席は不可。授業には英語辞書をかならず携帯のここと。電子辞書も可。

**成績評価の方法** 中間試験、最終試験、出席状況を基本に評価する。

**教科書** 『異文化の衝突ー摩擦・理解・受容ー』(英宝社) 1,800円

履修コード	258801
科目名	英語ⅡB
担当者名	塚本 利男

**講義のねらい** 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目指す。

**講義の内容・授業スケジュール** 簡潔明瞭な本文を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。  
ブログ、スフィンクス、左利きは天才など(2～14)。メジャーリーグ、砂丘を歩こう、芸術は爆発だなどの内容の英文を読む(16～29)。前期・後期のテストを実施する(15と30)。

**履修上の留意点** 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

**成績評価の方法** 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。

**教科書** 『速読の発展演習』, Casey Malarcher・森田彰・原田慎一 (株)成美堂  
1,700円+税 ISBN978-4-7919-4625-9

履修コード	258901
科目名	英語ⅡB
担当者名	足田 和人

**講義のねらい** 新聞などの英文を、すばやく的確に理解できるように読解能力を高める。また可能な場合、コンピュータを使用し、Webなどを素材とし速読できる力を身につける。

**講義の内容・授業スケジュール** 1 イントロダクション(1) 2 英語の速読法(2～12) 3 前期のまとめ(13～14) 4 前期試験(15) 5 様々な英文読解(16～27) 6 後期のまとめ(28～29) 7 後期試験(30)

**履修上の留意点** 日頃から、英字新聞や Web など多種多様な英文を読むことを習慣にすること。

**成績評価の方法** 出席態度及び毎回授業中に課する小レポート、2回の学期末試験、その他の課題を総合的に判断し成績評価を行う。

**教科書** 初回の授業で指示する。

履修コード	260401
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	林 明人

講義の内容・授業スケジュール 社会科学系のテキストを読む。英文を正確に読むことを目指します。

1	pp.1-2	プリント(1)配布	16	pp.1-2	プリント(2)配布
2	pp.3-4	(試訳提出)	17	pp.3-4	(試訳提出)
3	pp.5-6		18	pp.5-6	
4	pp.7-8		19	pp.7-8	
5	pp.9-10		20	pp.9-10	
6	pp.11-12	(試訳提出)	21	pp.11-12	(試訳提出)
7	pp.13-14		22	pp.13-14	
8	pp.15-16		23	pp.15-16	
9	pp.17-18		24	pp.17-18	
10	pp.19-20		25	pp.19-20	
11	pp.21-22	(試訳提出)	26	pp.21-22	(試訳提出)
12	pp.23-24		27	pp.23-24	
13	pp.25-26		28	pp.25-26	
14	pp.27-28		29	pp.27-28	
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。

成績評価の方法

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。  
①試訳(40%) ②試験(30%) ③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数 $\frac{3}{2}$ 以下の場合は評価の対象にしない。

教科書

4月に教場で指示します。

外国語

履修コード	260501
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい 本講義においては、ここ数年の新聞記事等を読むことを通して、広範な分野にまたがる語彙力を増強し、より早く多く、かつ正確に読めるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

(1)オリエンテーション (2～15) Unit1～7 (15～29) Unit8～15 (30)小テスト

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点50%、レポートおよび小テスト50%の割合で評価する。全授業日数のうち $\frac{3}{1}$ 以上欠席したものは不可とする。

教科書

松尾秀樹『Reading Forerunner』金星堂 ¥1800(税別)、ISBN978-4-7647-3866-9

履修コード	260601
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	真砂 久晃

講義のねらい 法学部2年次生の講読授業。社会科学系の英語の読解力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(1)初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。(2)～(14)Unit 1から順番に授業を行う。授業の進捗は限定しない。(15)前期試験(16)～(29)前期に引き続き、授業を行う。(30)後期試験

履修上の留意点

出席が $\frac{3}{2}$ 未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2

前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20～30%) + テスト(70～80%)となる。

教科書

『A Complete College English Program BOOK 3』(金星堂)1,900円 税別  
ISBN4-7647-3813-9 C1082

外国語

履修コード	260701
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	水崎 野里子

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

法学を含む社会科学系の英語の文章を読み、内容を正確に把握出来ること。  
授業はテキストを使用する。一授業一課を予定しているが、進度は学生の方々の状況に応じて決める。進行に応じて、文法、英語文の構造、英語の語彙などの説明を加えて行く。一テキストで通年を予定しているが、折に応じてサブ・テキストを使用する。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

授業には積極的に参加して欲しい。平常点を総合的に加味する。  
前期後期二度の試験に平常点を加えて総合評価する。  
『構造で読む社会科学エッセイ』(Out Look On Society) 南雲堂、1785円  
とくになし

履修コード	260801
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	岡本 誠

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを用意するので、自分の Reading の力をあらためて認識・養成するようにしてほしい。  
次のようなニューヨーク・タイムズからの面白そうな記事を読んでいく。内容確認の設問に答え、さらにリスニングの設問にも答えるようになっている。

1. A Five-Year-Old's Wild Ride
2. A Dog's Life
3. Reading at Eight Months? That Was Just the Start
4. Riding to Fame and Fortune
5. Another Day, Another 89 Miles to School
6. The Dentist on the Corner
7. Apostrophes
8. Life in an Airport
9. Shop till Eggs, Diapers and Toothpaste Drop
10. An Old Language Lives
11. Finally, an Integrated Georgia Prom
12. Friends Who Met on the Street

履修上の留意点

予習してあることを前提に進めていくことは言うまでもない。語学力を高めていくにはこの方法しかない。辞書は携帯のこと。ケータイは不要。

成績評価の方法  
教科書

前期・後期の試験。発表・プレゼンテーション力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。  
Real-Life Stories from The New York Times  
「ほんとうに面白い『ニューヨーク・タイムズ』総合英語」  
松柏社出版 ¥1,900

履修コード	260901
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 英字新聞を読みながら時事的なテーマをとりあげ英語で読み論じられる力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1.小テスト(必須)
  - 2.英字新聞記事講読(1)
  - 3.英字新聞記事講読(2)
  - 4.英字新聞記事講読(3)
  - 5.英字新聞記事講読(4)
  - 6.まとめ
  - 7.英字新聞記事講読(5)
  - 8.英字新聞記事講読(6)
  - 9.英字新聞記事講読(7)
  - 10.まとめ
  - 11.英字新聞記事講読(8)
  - 12.英字新聞記事講読(9)
  - 13.小テスト
- 後期
1. 小テスト
  2. 復習
  3. 英字新聞記事講読(10)
  4. 英字新聞記事講読(11)
  5. 英字新聞記事講読(12)
  6. まとめ
  7. 英字新聞記事講読(13)
  8. 英字新聞記事講読(14)
  9. 英字新聞記事講読(15)
  10. まとめ
  11. 英字新聞記事講読(16)
  12. 英字新聞記事講読(17)
  13. 小テスト

履修上の留意点

新聞記事の選択は後期は学生が選択し発表する。記事選出の課題はかならず一人2-3回は担当する。語彙、用法のまとめテストがある。

成績評価の方法  
教科書

出席25%、課題提出25%、小テスト50%  
インターネットで得られる英字新聞、週刊誌、および配布資料。  
小テストはTOEIC形式(3000円程度)。

外国語

履修コード	261001
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい

Back-to-Basics! --基本に帰る--ことをこのクラスの標語としたい。短い文章をよみながら、英語学習の Basics であるところの「5文型」を徹底してゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1) Orientation (2~7) Chapter 1~4 (8)《遊び時間》英語固有名詞について<プリント配布>(9~14) Chapter 5~7 (15) 中間試験 (16~21) Chapter 7~10 (22~23)《遊び時間》英語慣用句について<プリント配布> (24~29) Chapter 11~15 (30) 最終試験

履修上の留意点

予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上の欠席は不可。授業には英語辞書をかならず携帯のこと。電子辞書も可。

成績評価の方法  
教科書

中間試験、最終試験、出席状況にもとづき評価する。  
『地球環境の変化と未来』(センゲージラーニング社)1,700円



外国語

履修コード	261101
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	三芳 康義

**講義のねらい** TOEFLなどのような英文（勿論社会科学系も含めて）の読解力の向上をはかることを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期の授業では、American accent の発音とイントネーションを実際に口頭練習を繰り返し、慣れることを重視します。その後、基本的な英文を多読し、後期には、専門的な長文をじっくり読みます。詳細は、Understanding Details(1-5), Identifying Topics(6-10), Understanding Details (11-18), Recognizing Coherence(19-30) です。

**履修上の留意点** 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとります。

**成績評価の方法** 授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

**教科書** Patrick Yancey 他著「Advanced: Reading: Mastering Skills for the TOEFL iBT」, Compass Publishing. ISBN1-59966-008-3

履修コード	261501
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	田中 靖子

**講義のねらい** 本授業では、社会科学系の英文を理解できるように、語彙力、文法力、背景知識の習得をめざしていくことをねらいとします。

**講義の内容・授業スケジュール** 基礎的な文法事項や語法を丁寧に確認しながら、英文の構造を理解し、読解力を高めていけるように授業を構成してきます。学力の定着を図るために、小テストを定期的に行います。さらに、発展させて読解で得た知識と今までの経験とをもち、自分の考えをまとめて表現できるような機会も設けます。

前期

第1回	クラス	オリエンテーション
第2回	unit	1
第3回	unit	2
第4回	unit	3 小テスト
第5回	unit	4
第6回	unit	5
第7回	unit	6
第8回	テスト	
第9回	unit	7
第10回	unit	8
第11回	unit	9
第12回	総括	レポート提出
第13回	テスト	

後期

第1回	クラス	オリエンテーション
第2回	unit	10
第3回	unit	11
第4回	unit	12
第5回	unit	13
第6回	unit	14
第7回	unit	15
第8回	テスト	
第9回	unit	16
第10回	unit	17
第11回	review	
第12回	総括	レポート提出
第13回	テスト	

**履修上の留意点** 本授業は事前の予習を前提として進めていきます。

**成績評価の方法** この授業では休まずに出席して activities に参加することが求められます。前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要としています。授業中の課題への取り組みや発表などが、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

**教科書** 教場にて指示します。

履修コード	261601
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	にしはら かつまさ 西原 克政

講義のねらい	熟語表現を含む会話体の英語と、その内容を文語体で表現するときの文体を区別しながら、英語表現の幅を広げてゆく。
講義の内容・授業スケジュール	Sharing Wisdom(2-3), Growing Up(4-6), The Power of Love(7-9), Communication Skills(10-14), Goals for the Future(15-18), Learning from Mistakes(19-23), Challenges of Change(24-27), Positive Attitude(28-29)
履修上の留意点	語学は予習が全てともいえるので、こつこつと継続してゆく忍耐力が必要である。予習を励行することを義務づけ、それを評価の対象とする。
成績評価の方法	授業回数の3分の2以上の出席が評価の対象基準となる。平常授業が全てであるので、授業内でのプレゼンテーションをその都度評価して、その平均値を成績とします。
教科書	Joan McConnell, <i>Lessons on Life</i> , Kinseido 1890円

履修コード	261701
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	ひろかわ おさむ 広川 治

講義のねらい	映画のシナリオや関連記事をテキストとし、文法や表現を確認しながら、リスニング、単語力、読解力を高めていくことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	初回の授業で説明する。
履修上の留意点	遅刻は欠席扱いとする。授業中の居眠り、私語などは厳しくチェックする。
成績評価の方法	前・後期のテストと平常点で評価する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	授業内で紹介の予定。

履修コード	261711
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	よこくわ ことあき 世倉 貞夫

講義のねらい	近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	(1~5) AMAZING ANIMALS、(6~10) YOUR AMAZING BODY、(11~14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16~20) AMAZING FIRSTS、(21~25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26~29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト
履修上の留意点	予習・復習重視、辞書持参。
成績評価の方法	前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。
教科書	M. Vogel 『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

履修コード	261801
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	いらいぬま よしなが 飯沼 好永

講義のねらい	アメリカの政治学者の論文を読みながら、論文レベルの英語を正確に理解する力を身に付けることを目指します。また、日本語と英語では文章構造だけでなく、パラグラフ(段落)の構成も異なるので、英語の文章を読む上で必要とされる基本的事項も併せて学習していきます。
講義の内容・授業スケジュール	1つの章を2から3週単位で進んでいきます。
履修上の留意点	受け身の姿勢ではなく、予習を通し自己の英語力の現状を把握し、向上させることを心がけて下さい。
成績評価の方法	成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。
教科書	開講時に指示します。

履修コード	261901
科目名	英語IID 英語IID〔再クラス〕
担当者名	山岸 二郎 <small>やまがし じろう</small>

**講義のねらい** 構文の理解と大意把握に努める。  
**講義の内容・授業スケジュール** 20世紀末の世界各国の話題を扱う英文を精読し、Exercises A-E に取り組む。2 ページ1 ユニット構成の各ユニットを一回の授業で学習する。20世紀を振り返り、その多くの問題が現代の私たちの当面する課題であることを知ると共に、国際社会の理解に役立つであろう。  
**履修上の留意点** 予習を怠らない。出席重視、3分の2以上の出席が必要。  
**成績評価の方法** 平常の学習、レポート、小テスト、テスト等総合して評価する。  
**教科書** *The World Today: the Good, the Bad, the Ugly*  
『数が語る世界』(南雲堂)

履修コード	266901
科目名	ドイツ語IA
担当者名	河上 和史 <small>かわかみ かずひと</small>

**講義の内容・授業スケジュール** 近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずで、知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。  
**成績評価の方法** 授業と試験を総合して判断する。  
**教科書** 「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

履修コード	267801
科目名	ドイツ語IB
担当者名	松岡 晋 <small>まつおか すすむ</small>

**講義のねらい** 文法事項の説明はできるだけ簡略に行い、実際のドイツ語の文章により多く触れることによってドイツ語理解の基礎を築くことを、この授業の目標とします。  
**講義の内容・授業スケジュール** (1~2) 文字と発音の原則の説明 (3~4) 第1課[あいさつI~II、人称代名詞・動詞の現在人称変化] (5~6) 第2課[紹介と人名、名詞の性と冠詞など] (7~9) 第3課[値段、数字、冠詞類の格変化] (10~12) 第4課[空腹・渇きなどの表現、複数名詞・前置詞] (13~14) 第5課[道を尋ねる、語法の助動詞、非人称主語] (15~17) 第6課[曜日・月・季節、接続詞・zu 不定詞・否定疑問文] (18~20) 第7課[チケット・オペラ・レストラン、過去時制と現在完了時制] (21~22) 第8課[旅行と時刻、分離動詞・非分離動詞] (23~25) 第9課[序数と日付、形容詞] (26~27) 第10課[薬局で、再帰動詞、受動態] (28~29) 第11課[ディスカッション、接続法] (30) 第12課[別れのあいさつ、手紙、関係代名詞、過去完了]  
**履修上の留意点** 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。  
**成績評価の方法** 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。  
**教科書** 河合節子ほか『はじめてのドイツ—使えるドイツ語表現(三訂版)』、三修社、2200円  
ISBN978-4-384-12255-8  
**参考書等** 特に指定はいたしません。

履修コード	268101
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	まつおか すなむ 松岡 晋

**講義のねらい** これまでに学んだ初等文法の知識を駆使して、やや長めのドイツ語の文章を読む練習を行います。また、必要な限りで文法上の説明もいたします。

**講義の内容・授業スケジュール** (1~2) 第1課(「ドイツ人は家族の間でなんと呼び合うか?」、語順、形容詞) (3~4) 第2課(「マンションの掃除は当番制で!」、枠構造、慣用句) (5~7) 第3課(「ドイツ人は風呂が嫌い?」、接続法、前置詞) (8~10) 第4課(「開店法」、zu 不定詞、分詞構文) (11~13) 第5課(「シュワルツネッカー」、不定関係代名詞、冠飾句) (14~16) 第6課(「サッカー」、受動表現、関係副詞) (17~19) 第7課(「オクトーバーフェスト」、枠外配置、不定代名詞の名詞的用法) (20~23) 第8課(「大学授業料」、機能動詞) (24~26) 第9課(「ドイツ人の友達」、命令的表現) (27) 第10課(「ドイツの離婚」、語法の助動詞) (28) 第11課(「シュタイナー学校」、es の用法) (29~30) 第12課(「ドイツ留学」、相関的接続詞)

**履修上の留意点** 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

**成績評価の方法** 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

**教科書** 橋本政義ほか『グレードアップドイツ語—初級から中級へ[新訂版]』、郁文堂、2400円 ISBN 978-4-261-01225-5

**参考書等その他** 特になし。  
教科書が予定より早く終わった場合には、他のドイツ語の文章をコピーで配布して講読いたします。

履修コード	268111
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	いづづか きみお 飯塚 公夫

**講義のねらい** 一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。

**講義の内容・授業スケジュール** おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習(コピー練習問題中心)②前期後半：練習問題と平行して、映画を見ながらテキストのその部分に相当する部分を抜粋して読んでいきます。③後期：映画を見ながらテキストのその部分に相当する部分を抜粋して読んでいきます。(映画は『チェックポイント・チャーリーの女』という2006年製作のTV映画です。テキストは Ines Veith:Die Frau vom Checkpoint Charlie。ドイツが東西に分かれていた時代に、東に残された娘たちに会おうとする母親の物語です。「Checkpoint Charlie」とは当時あった東西ベルリンの検問所の一つです。)

**履修上の留意点** 辞書を毎回持ってくること(完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

**成績評価の方法** 前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)。

**教科書** Ines Veith:Die Frau am Checkpoint Charlie(ISBN:3-426-77832-7)。こちらでプリントを用意しますが、自分で入手したければ洋書店で注文してください。

履修コード	268301
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	やおした こういち 数下 絃一

**講義のねらい** 辞書を引いて中級ドイツ語文を読み、訳してもらおう。毎回そのくり返し。出席簿の順にやってもらおう。上級への橋わたし。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストにそって上記の事が1年間うまず、たゆまず続く。

**履修上の留意点** 毎回2~3頁を読むので予習をすること。(指名して答えてもらう。)

**成績評価の方法** 7月及び12月に各50点満点の試験を実施する。それに平常点を加味して最終評価がなされる。

**教科書** A. ラープ、T. 石井：ドイツ人の一生：朝日出版、1900円+税、4-255-25233-5

履修コード	268311
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	野島 利彰

講義のねらい 1年次に学んだ文法的知識を使いながらより内容ある文章を学びます。  
 講義の内容・授業スケジュール 前期はやさしい読み物、後期にはやや論文的な文を読みます。  
 履修上の留意点 辞書を引き、予習をし、「分からない」点をたくさん出しておくことが大事です。授業に出てそれを解決しなければ進歩はありません。  
 成績評価の方法 七月と一月の試験の成績、および授業中、どれだけ訳を発表したかが評価の基準になります。  
 教科書 未定  
 その他 1年次の文法教科書を授業に持参してください。

履修コード	268401
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	飯塚 公夫

講義のねらい 一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら会話を聞く一方、そのせりふを読んで理解することで、せりふと文章がともに生きてくることを体験すること。  
 講義の内容・授業スケジュール おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）②前期後半：練習問題と平行してテキストの読解③後期：テキストの読解（テキストはアメリカ映画『サウンド・オブ・ミュージック』のもととなったドイツ映画『菩提樹』（原題「Die Trapp-Familie(トラップ・ファミリー)」(1956年作品)の会話部分。  
 履修上の留意点 辞書を毎回持つてくること（完全に予習をしている人は持つてこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。  
 成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）  
 教科書 プリントを用意します。

履修コード	268501
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	藪下 紘一

講義のねらい 辞書を引いて中級ドイツ語文を読み、訳してもらおう。一年間それぞれのくりかえし。出席簿の順番に従ってやってもらおう。上級への橋わたし。  
 講義の内容・授業スケジュール テキストにそって上記の事がくりかえされる。一年間。  
 履修上の留意点 毎回2～3ページを読むので予習が欠かせない。  
 成績評価の方法 7月及び12月の各50点満点の試験を行い、それに平常点を加味して最終評価がなされる。  
 教科書 A. ラープ、T. 石井：こんにちは！ドイツです：朝日出版：1900+税、4-255-25190-8

履修コード	268511
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	森 公成

講義のねらい ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。  
 講義の内容・授業スケジュール 用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。  
 履修上の留意点 最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます）、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。  
 成績評価の方法 定期試験（年2回）、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。  
 教科書 テキストはこちらで用意します。

履修コード	268701
科目名	ドイツ語IID ドイツ語IID〔再クラス〕
担当者名	志真 <sup>しま</sup> 斗美恵 <sup>とみえ</sup>

**講義のねらい** 1年次に学習したドイツ語の知識を丁寧に総復習しながら、さらにワンランク上の、読む・聞く・話す・書く能力を深めていくことを目標としています。テキストをつうじて、ドイツの日常生活や文化にも触れていきたいと思っています。

**講義の内容・授業スケジュール** 初級文法を復習しながら、現代ドイツの状況をさまざまな側面から取り上げた文章を読んでいきます。またCDを用いて生きたドイツ語に触れながら、聞き取りや発音練習をおこない、発信するためのドイツ語の表現力を身につけていきます。

**履修上の留意点** 聞き取り、書き、声に出して言うことを、一人ひとりが、積極的に取り組む授業にしたいと思っています。わかる範囲でよいので、かならず予習をしたうえで、辞書を持って授業に臨んでください。

**成績評価の方法** 前期・後期の試験および平常点で総合的に評価します。

**教科書**

- 1) 橋本政義 Bernhart Neuberger 橋本淑恵
- 2) グレードアップドイツ語 ―初級から中級へ[新訂版]
- 3) 郁文堂
- 4) 2400円＋税
- 5) ISBN978-4-261-01225-5C1084

履修コード	269901
科目名	フランス語IA
担当者名	伊藤 <sup>いとう</sup> なお <sup>なお</sup>

**講義のねらい** 一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

**講義の内容・授業スケジュール** 1)～3) 受講上の諸注意 / Alphabet と発音の基礎 4)～15) 文法の基礎 (名詞の性と数/冠詞 / 形容詞/動詞の現在形/近接未来・近接過去/命令形/疑問代名詞など) 16)～29) 文法の発展 (比較級/目的語人称代名詞/動詞の過去形・未来形/関係代名詞など) 30) 復習と今後のフランス語学習について (中級に向けて)

**履修上の留意点** ※毎回、発音練習・聴き取り練習問題・文法練習問題に取り組みます。授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる課題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

**成績評価の方法** 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

**教科書** 富田正二他著『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法―』(朝日出版社 2100円＋税)

履修コード	270901
科目名	フランス語IB
担当者名	東 <sup>あづま</sup> 辰之介 <sup>たつゆきのすけ</sup>

**講義のねらい** フランス語初級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(3) 発音の基礎 (4)～(15) 基本的表現 (挨拶/自己紹介/好きなものを言う/尋ねる/時間、天候を言うなど) (16)～(29) 発展的表現 (一日を語る/頼む、命令する/未来のことを語る/過去のことを語るなど) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

**履修上の留意点** 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

**成績評価の方法** 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

**教科書** 藤田裕二他著『新・東京一パリ、初飛行』(駿河台出版社) 2,200円＋税 ISBN978-4-411-01097-1

**参考書等** 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	271201
科目名	フランス語II A
担当者名	あづま たつおのり 東 辰之介

**講義のねらい** 短い対話文や説明的文章の読解等によって、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。

**講義の内容・授業スケジュール** (1)～(10)初級文法の復習と未習事項の説明(複合過去、半過去、単純未来、条件法、接続法など) (11)～(20)対話文の読解(自己紹介、意見を言う、昨日したことを話す、予定、理由、意見を尋ねるなど) (21)～(30)説明的文章の読解(パリ、カフェ、学生生活、プロヴァンス、政治など)

**履修上の留意点** 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

**成績評価の方法** 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

**教科書** 澤田直之他著『アミカルマン』(駿河台出版社)2,500円+税 ISBN978-4-411-01093-3

履修コード	271211
科目名	フランス語II A
担当者名	すがや さとる 菅谷 暁

**講義のねらい** フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化についての理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

**成績評価の方法** 前期末と後期末の試験によります。

**教科書** ボームルー著『セレクション・時事フランス語III』(朝日出版社)1,890円

履修コード	271301
科目名	フランス語II A
担当者名	こだま なるお 小玉 齊夫

**講義のねらい** フランスの、経済、歴史、地理、教育、文化等、さまざまな分野での基礎的な知識を読み取っていく授業です。より深くフランスを知るためのきっかけとなれば、と思っています。

**講義の内容・授業スケジュール** 30回あると想定される授業時間内で、教科書では10課にまとめられたフランスの現況を、1課あたり2・3回かけて読み進んでいきます。練習問題は宿題として提出してもらいます。(1・3)地理と人口、(4・6)歴史その1、(7・9)歴史その2、(10・12)政治制度、(13・15)教育制度、(16・18)経済、(19・21)美術および文学、(22・24)社会、(25・27)生活様式、(28・30)フランスの位置

**履修上の留意点** 予習・復習を必ずしてから、出席すること。授業には初級文法の教科書ならびに辞書(仏和)を持ってくること。「分からないこと」は授業中に「分かったこと」に変えるよう努めること。

**成績評価の方法** ふだんの授業への参加の度合い、それと、前期ならびに後期の試験で判定します。

**教科書** トザン著『現代フランスの基礎知識』(改訂版) (白水社、1900円)  
ISBN978-4-560-01175-3 C3085

履修コード	271401
科目名	フランス語II A
担当者名	なまくら ひろこ 沼倉 広子

**講義のねらい** 日常生活で使われる身近な表現を通して基礎的な文法を復習する。文章も読めるようにする。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期(1)基本動詞・複合過去(2)代名動詞(3)中性代名詞(4)単純未来(5)半過去(6)関係代名詞(7)文章読解  
後期(8)話法(9)接続詞(10)条件法(11)接続法(12)現在分詞と過去分詞(13)単純過去(14)文章読解

**履修上の留意点** 毎回練習問題を提出させる。

**成績評価の方法** 前後期とも定期試験を行うが、平常点も重視する。

**教科書** 『カジュアルにフランス語2』沼田五十六(他)著  
朝日出版社 ISBN4-255-35177-5 C1085 ¥2200

履修コード	271501
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	<small>すがや まどろ</small> 菅谷 暁

**講義のねらい** フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化についての理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

**成績評価の方法** 前期末と後期末の試験によります。

**教科書** ポームルー著『セレクション・時事フランス語1997-2002』(朝日出版社) 1,890円

履修コード	271601
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	<small>はたなか ちあき</small> 畑中 千晶

**講義のねらい** 繰り返しLCDを聞くことで、語彙や表現を増やし、聞き取り能力を次第に上げていくことを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) ガイダンス/詩の暗唱 (2)～(8) 1-1～3-2 (9) 復習、ビデオ視聴 (10)～(12) 4-1/4-2 (13) 会話 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出 (17)～(21) 5-1～7-2 (22) 復習 (23)～(27) 8-1～9-2 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

**履修上の留意点** 毎回課題を出すので、必ず取り組んでください。課題は提出した分がすべて得点になります(内容を点数化することはありません。参加することに意義がある、というものです)。締切厳守(欠席した場合のみ、次回提出可)。

**成績評価の方法** 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%

**教科書** 中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』1998年刊(白水社) 1,800円+税

履修コード	271611
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	<small>こだま ちかお</small> 小玉 齊夫

**講義のねらい** 既に初級文法をある程度マスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するよう希望します。

**講義の内容・授業スケジュール** 個々の場面に応じた実際のフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されます。教科書の1と2を合わせて10課を、それぞれ、年30時間の授業で、おおよそ以下のように進めていきます。(1-3)発音と綴り、基礎的なフランス語表現、(4-6)1-第1課 (7-9)1-第2課、(10-12)1-第3課、(13-15)1-第4課、(16-18)2-第1課、(19-21)2-第2課、(22-24)2-第3課、(25-27)2-第4課、(28-30)2-第5課

**履修上の留意点** 初級文法の教科書はつねに授業に持ってくる。「分からないこと」は、授業時間中に理解できるように努めること。それだけでなく早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

**成績評価の方法** ふだんの授業への参加の度合い、前期および学年末の試験で判定します。

**教科書** 高橋 他著 『エクスペリエンス1』(第三書房、1500円) ISBN978-4-8086-2165-0 C1085  
および 同 『エクスペリエンス2』(第三書房、1500円) ISBN978-4-8086-2166-7 C1085

**参考書等** 『和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。



履修コード	271801
科目名	フランス語II D フランス語II D〔再クラス〕
担当者名	<small>こども なりお</small> 小玉 齊夫

**講義のねらい** 文法の基礎的な事項を再確認しつつ、ディクテを中心に実際のフランス語能力（聞く、言う）を少しでも高めていくこと、フランス語じたいの広がりや、さらにいっそう広めていくこと、を目標とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書は、文法項目と文化的事項によって、一課が構成されています。1年間に30授業時間があるとして、大略、以下のような進度で授業を進めていきます。(1~2)名詞・形容詞(3)フランスの祭り(4)動詞(5)フランスにおける日本文化(6~7)冠詞(8)フランスの家族(9)前置詞(10)ヴァカンス(11~12)複合過去(13)悪い食べ物(14)疑問詞・否定(15)スト(16~17)目的語・人称代名詞(18)新しいテクノロジー(19)動詞の未来形(20)教育制度(21)量の表現、目的、義務(22)食文化(23~24)比較級・最上級(25)結婚と離婚(26~27)受動態・非人称構文(28)タバコについて(29)条件法・分詞構文(30)アルコールについて

**履修上の留意点** 内容的には（文法など）既知のことも多いと思いますが、習得している単語数などあまりにも少ない現状からすれば、かなり覚え込むことがらが多い授業となるはずですが、ただし、その覚え方を、単なる詰め込みではなく、可能なかぎり、実際の生活の場面から、しぜんに覚えていくように努めてほしいと思います。

**成績評価の方法** 平常の授業における参加度を重視します。提出物なども多くなるとは思いますが、かならず提出すること。それらと、前期末および学年末の筆記試験によって総合的に評価します。

**教科書** 中里 他著 『シヴィ・ラング——ディクテ中心に学ぶフランス語と文化』（駿河台出版社、2625円）ISBN978-4-441-01105-3C1085

履修コード	274301・276701
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	<small>みたむら けいこ</small> 三田村 圭子・李 雲

**講義のねらい** 発音（ピンイン＝中国語の表音ローマ字発音法）と基本文法を覚え、会話や文章の基本表現を習得する。

**講義の内容・授業スケジュール** ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。

②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。  
③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

**履修上の留意点** 出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。  
**成績評価の方法** 前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

**教科書** 『中国語ポイント55』本間史・孟広学著（白水社）2300円  
**参考書等** 授業開始時に説明する。

**その他** 李雲先生（IB）とのペアであることに注意すること。

履修コード	274401・276801
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	<small>こども こしむら</small> 児島 弘一郎

**講義のねらい** 外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む・書く・話す・聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないませんが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

**講義の内容・授業スケジュール** 開講後5月上旬までは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、テキストに沿って基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、標準的な発音を身につけることが最も重要な課題です。学習者の状況を見つつ、全8ユニットから成るテキストを、大体3~4回に1ユニットずつ進めます。

**履修上の留意点** 4分の3以上の出席を求めます。初級は音声の習得が第一なので、恥ずかしがらずに大きな声で発音することが大事です。

**成績評価の方法** 出席状況と年間4回実施する試験によって総合的に評価します。  
**教科書** 董燕・遠藤光暁『北京物語』朝日出版社、2500円（税別）。

履修コード	277201・277301・277401・277501・277511・277601・277701・277801・277901
科目名	中国語IIA
担当者名	橋本 幸枝・岩崎 皇・児島 弘一郎・弘兼 加奈子・秋本 翼・李 雲・江林 英基・佐藤 普美子

**講義のねらい** 一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール** 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

**履修上の留意点** 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

**成績評価の方法** 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

**教科書** 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

履修コード	278001
科目名	中国語IIB
担当者名	橋本 幸枝

**講義のねらい** いろいろな場面における基本的な会話ができるようになること。平易な中国語を聞いて理解できるようになること。正確な発音がしっかり定着すると。

**講義の内容・授業スケジュール** まず発音が更に定着するよう本文の音読をする。教科書の会話文を覚え、生徒同士会話するチャンスをもっと設ける。また、教科書の練習問題に添ってリスニングの練習をする。2週間に1課の目安で進めていく。

**履修上の留意点** 4分の3以上出席するように。課題をしっかりとやってくること。

**成績評価の方法** 出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。

**教科書** 陳浩・梁月軍『中国語会話ステップアップ』（郁文堂）2,415円

履修コード	278101
科目名	中国語IIB
担当者名	梅田 雅子

**講義のねらい** 一年時に学習した文法内容を整理・復習しながら、聞き取り能力と会話能力の向上を重点的に行う。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 新出単語の確認  
(日本語が書いてありません。予習してきましょう)
- 文法ポイントの確認
- 本文の確認と発音練習
- 文法ポイントを本文を踏まえて応用会話練習  
(Q&Aなどペアワーク)

**履修上の留意点**

- 3/4以上の出席が必要。
- 予習復習必須。
- 辞書(日中・中日)持参。
- 添付のCDを何度も聞くこと。
- 会話中に何か問題が起きても、とにかく何か言う。

**成績評価の方法** 前期・後期試験70パーセント  
平常点(出席・小テストなど)30パーセント

**教科書** 『たのしい中国語』金星堂 ISBN978-4-7647-0673-6

**参考書等** 日中・中日辞典を持ってくこと。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

**その他** この授業では、会話能力の向上を目的とします。

履修コード	278111
科目名	中国語ⅡB
担当者名	弘兼 加奈子

講義の内容・授業スケジュール  
 テキストは聞き取り中心の実践的な内容となっている。後半は作文にも力を入れていきたい。  
 第1回 一年の復習、発音確認 他  
 第2回～14回 本文、練習問題等  
 (うち1回は中間テスト)  
 第15回 期末テストの予定  
 第16回～29回 本文、練習問題等  
 (うち1回は中間テスト)  
 第30回 学年末テストの予定  
 なお、5月連休明けに授業進行予定表を配布予定。  
 成績評価の方法  
 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。  
 教科書  
 相原茂 玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』(朝日出版社)2300円

履修コード	278301
科目名	中国語ⅡB
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい  
 1年次に学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。中国語の音声面に重点を置いた授業です。  
 講義の内容・授業スケジュール  
 会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正・単語の解説・文法事項の整理・聴き取り・ペアによる対話の実践などを行いません。全12課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。  
 履修上の留意点  
 4分の3以上の出席を求めます。  
 成績評価の方法  
 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。  
 教科書  
 塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社、2200円、CD付)。  
 参考書等  
 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。  
 その他  
 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	278401
科目名	中国語ⅡB
担当者名	秋元 翼

講義のねらい  
 IAIBで学んだ知識を音声面でもより実践的に応用できるようにします。  
 講義の内容・授業スケジュール  
 前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで学びます。2回で1課の割合で進みます。3課に1回テストをする予定です。  
 履修上の留意点  
 4分の3以上の出席を要します。  
 成績評価の方法  
 平常授業での学習態度・理解度及びテストの成績で評価します。  
 教科書  
 塚本慶一・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社)2200円+税

履修コード	278501
科目名	中国語ⅡB
担当者名	佐藤 普美子

講義のねらい  
 1年次に学んだ基礎的文法事項を復習しながら新しい表現を学び、反復練習を通してより充実したコミュニケーションができるようになることをめざします。  
 講義の内容・授業スケジュール  
 北京に留学した際、遭遇しそうな場面を設定した全12課のテキストを用い、各課平均2回(授業)のペースで進めていきます。前後期合わせて4回の口頭表現の小テストを行います。  
 履修上の留意点  
 授業に出席して、耳と口のトレーニングを受けることが不可欠ですので、出席を重視します。やむを得ない場合以外の欠席は認めません。  
 成績評価の方法  
 4分の3以上の出席を前提に、口頭小テスト及び学期末試験で総合的に評価します。  
 教科書  
 劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』2007年(白水社)2200円

履修コード	278801
科目名	中国語IID 中国語IID〔再クラス〕
担当者名	<sup>いわさき ひろし</sup> 岩崎 皇

講義のねらい	中国語文の読み取りに必要な語彙、文法知識を学びます。その際、単に意味を読み取るばかりでなく、音読し原文を覚えることも目標となります。
講義の内容・授業スケジュール	テキスト(全12課)に沿って、ほぼ授業2回で1課進む予定です。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以内の者を成績評価の対象とします。
成績評価の方法	上記の出席を前提とした上で、年間4回行う試験で判断します。
教科書	山下輝彦、蘇英霞『中国を語る～文化と生活～』（金星堂）2,000円（本体）

履修コード	278901
科目名	中国語IID 中国語IID〔再クラス〕
担当者名	<sup>あまの せつ</sup> 天野 節

講義の内容・授業スケジュール	北京五輪、カウントダウン開始、“新人類”の消費性向、農民労働者の子弟に光を、誰の責任？中国制品信用失墜、“ブタ年”考、ダンスと青少年の“健全”、立ち退き問題話し合でどう決着など。
履修上の留意点	遅刻早退欠席せず、授業の予習復習を欠かさない。
成績評価の方法	授業内テスト+出席+課題及び授業態度の総合評価。
教科書	三濤・陳『2008年版時事中国語の教科書』2008年刊（朝日出版社）1900円+税

履修コード	280501
科目名	スペイン語IA
担当者名	<sup>さとう まりの</sup> 佐藤 麻里乃

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。
成績評価の方法	主として前期・後期各1回の試験による。
教科書	立岩礼子他『アベントゥーラ』同出版社 辞書については初回授業で指示する。

履修コード	280511
科目名	スペイン語IA
担当者名	<sup>さいとう あけみ</sup> 齋藤 明美

**講義のねらい** 基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。文法に関しては直接法現在の学習を中心に基本を固めます。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1) オリエンテーション スペイン語に親しもう (1)
- (2) ホテルに泊まる (発音、アクセント、あいさつ、ser 動詞など) (2-4)
- (3) 入学手続き (estar 動詞の現在形、名詞、冠詞・形容詞、数字0-10など) (4-7)
- (4) 自己紹介 (規則動詞 (ar,er,ir 動詞)、現在形の働き) (8-10)
- (5) 学校での会話 (tener, ir,venir, 基数詞 (11-100)、時刻、接続詞、前置詞 (11-100) (11-14)
- (6) 友人との会話(母音変化動詞、いろいろな不規則動詞、目的語の人称代名詞、gustar 動詞など) (15-18)
- (7) サッカーのテレビ観戦 (所有詞、指示詞、比較、最上級など) (19-21)
- (8) 過去のことを語る (点過去) (22-25)
- (9) 過去のことを語る、買い物 (線過去、文の連結など) (26-29)
- (10) まとめ (30)

**履修上の留意点**

スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

**成績評価の方法**  
教科書  
参考書等  
その他

毎回の出席、授業参加 (態度、発言等) や各期末の定期試験 (年 2 回) を総合的に評価します。福嶋 (ふくしま) 『Español Dinámico 動く! スペイン語』朝日出版社、2600円  
講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。  
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	281701
科目名	スペイン語IB
担当者名	<sup>うえの かつひろ</sup> 上野 勝広

**講義のねらい** スペイン語の基礎 (発音・文法・語彙) を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

**講義の内容・授業スケジュール**

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

前期 (1) 導入、アルファベート (2～5) 文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など (6～10) 動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など (11～15) 疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など

後期 (16～20) 語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など (21～25) 比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など (26～30) 100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

**履修上の留意点**

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

**成績評価の方法**  
教科書  
参考書等

年間4回のテストの結果 (70%) に平常点 (30%) を合わせて評価します。  
上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社) 2,500円  
初回の授業で紹介いたします。

履修コード	281711
科目名	スペイン語IB
担当者名	眞下 祐一

講義のねらい	世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1~3)スペイン語圏について、文字と発音 (4・5)動詞SER (6・7)動詞ESTAR (8・9)動詞HABER (10・11)指示詞、疑問詞 (12~14)規則動詞 (15)前期試験 (16・17)不規則動詞① (18・19)不規則動詞② (20・21)不規則動詞③ (22・23)所有詞 (24・25)目的語代名詞 (26・27)GUSTAR (28・29)再帰動詞 (30)後期試験
履修上の留意点	初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を育てるよう平日頃スペイン語圏のニュースに注意していきましょう。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあります。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果などで評価します。
教科書 参考書等	山道佳子・他 『スペイン語でお願いします!』(同学社) 西和辞典を一冊。

履修コード	282101
科目名	スペイン語IIA
担当者名	眞下 祐一

講義のねらい	一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。
講義の内容・授業スケジュール	(1~3)一年次の復習 (4~9)線過去、点過去 (10~12)完了形、関係詞 (13・14)前期の復習 (15)前期試験 (16~19)未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20~22)過去未来形 (23・24)接続法現在 (25・26)命令 (27~29)接続法過去 (30)後期試験
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。
教科書	東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』(朝日出版社)

履修コード	282111
科目名	スペイン語IIA
担当者名	上野 勝広

講義のねらい	スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課~7課まで、後期は8課~14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半の対話を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。
履修上の留意点	前期(1)オリエンテーション (2~5)動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など (6~10)重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など (11~15)再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など 後期(16~20)線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など (21~25)接続法の用法、使役および受動構文、など (26~30)直説法未来完了の用法、条件文、など 休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法	年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。
教科書	西川 喬 / Ceferino Puebla 『バモス』(同学社) 2,600円

履修コード	282301
科目名	スペイン語IIA
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

**講義のねらい** スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期14回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。  
後期14回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。  
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

**履修上の留意点** 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

**成績評価の方法** 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

**教科書** 『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社) 他に長文読解用のプリント教材を使用します。

**参考書等** 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282401
科目名	スペイン語IIA
担当者名	ましも ゆい 真下 祐一

**講義のねらい** 一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

**講義の内容・授業スケジュール** (1~3)一年次の復習 (4~9)線過去、点過去 (10~12)完了形、関係詞 (13・14)前期の復習 (15)前期試験 (16~19)未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20~22)過去未来形 (23・24)接続法現在 (25・26)命令 (27~29)接続法過去 (30)後期試験

**履修上の留意点** 予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

**成績評価の方法** 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

**教科書** 東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』(朝日出版社)

履修コード	282411
科目名	スペイン語IIA
担当者名	うまの ひろひろ 上野 勝広

**講義のねらい** スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

**講義の内容・授業スケジュール** 下記のテキストを用いて、前期は1課~7課まで、後期は8課~14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。  
またテキスト後半の対話を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。

**履修上の留意点** 前期(1)オリエンテーション (2~5)動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など (6~10)重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など (11~15)再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など  
後期(16~20)線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など (21~25)接続法の用法、使役および受動構文、など (26~30)直説法未来完了の用法、条件文、など

**履修上の留意点** 休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

**成績評価の方法** 年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。

**教科書** 西川 喬/ Ceferino Puebla 『バモス』(同学社) 2,600円

履修コード	282501
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい	スペイン語Iで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期14回 1つの記事を2回～3回の授業で読み進めます。点過去・線過去の形と用法を学習することが文法を中心となります。 後期14回 記事を読み進める速度は徐々に速くなります。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (上記スケジュールは場合により変動することがある)
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書 参考書等	国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)

履修コード	282601
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい	スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期14回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。 後期14回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (上記スケジュールは場合により変動することがある)
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書 参考書等	大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社) 長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282611
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	ましむら ゆういち 真下 祐一

講義のねらい	初級文法の習得を終え、さらにスペイン語に親しんでもらう。語学の勉強を通して、スペイン語圏文化の特異性・多様性、日本との違いについても理解する。
講義の内容・授業スケジュール	(1・2)スペインに着いて (3・4)日本で (5・6)スペインでの体験 (7・8)体育の日 (9・10)スペインの地方 (11・12)何年か前は (13・14)マドリッドで (15)前期試験 (16・17)鎌倉へ (18・19)サラマンカで (20・21)春の到来 (22・23)火祭り (24・25)日本の教育 (26・27)歴史の授業 (28・29)日本の結婚式 (30)後期試験
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。
成績評価の方法	出席と授業参加を40%、二回の試験の結果を60%で評価します。
教科書	エデルミラ・アマット他『文化の違いを超えて』白水社



履修コード	282801
科目名	スペイン語IID スペイン語IID〔再クラス〕
担当者名	<small>かみやま こういち</small> 亀山 晃一

講義のねらい	基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。
講義の内容・授業スケジュール	<p>I. Alfabeto, Letras y pronunciación (1～3 H)</p> <p>II. Saludos/En la cafetería 名詞の性と数、冠詞、存在文 hay (4～6 H) 前期中間テスト (7 H)</p> <p>III. En la parada de autobús 主語人称代名詞、スペイン語の動詞、直接・間接目的語 (8～10)</p> <p>IV. En la universidad 直説法現在形一規則・不規則活用動詞 ser, estar, hay (11～13)</p> <p>V. De donde eres? 形容詞の性と数そして用法、lo + 形容詞、指示形容詞 (14～15) 前期期末テスト (16)</p> <p>VI. En el bar 語根母音変化動詞、不定詞の用法、日付・曜日の表現 (17～18)</p> <p>VII. Planes para las vacaciones de verano (19～20) 従属節の作り方、指示代名詞、数詞 (0～199) 後期中間テスト (21)</p> <p>VIII. En el aeropuerto 時間の表現、その他の不規則動詞、前置詞格人称代名詞 (22～24)</p> <p>IX. Fiesta de “bienvenida” gustar 型動詞、自動詞と他動詞 (25～26)</p> <p>X. En Teotihuacán 間接、直接目的格人称代名詞、疑問詞 (27～29) 後期期末テスト (30)</p>
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	<p>決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。 開講時、指示します。</p>

履修コード	282811
科目名	スペイン語IID スペイン語IID〔再クラス〕
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい	スペイン語で場面に応じて満足のいく程度の会話ができるよう、一年次で学んだ基礎文法に関する知識を拡大し、これを実際の言語活動で活かすための訓練を行う。
講義の内容・授業スケジュール	<p>(1～2) 導入 初年度の復習(習熟度の確認) (3～4) 計画の言い表し方と義務表現(直説法現在) (5～7) 経験の表現(直説法現在完了) (8～10) 進行中の行為の表現・買い物・価格 (11～12) 人物の描写・人々、事物、生活方法などを較べて言い表す (13～14) 伝記などを読む(点過去) (15) 前期試験 (16～18) 許可を求める表現 (19～20) 命令の表現 (21～23) 過去の習慣(線過去)・幼少年期を振り返る。(24～26) 現在と過去の習慣の比較・G USTAR型動詞 (27～29) 未来の事柄(未来形) (30) 後期試験</p>
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	<p>スペイン語で積極的に話すこと。 出席(20%)、短い作文、発話(30%)、2回の口頭試験(50%)。 Virgilio Borobio 『Curso de español para extranjeros. NURVO ELE inicial 2. (Libro del alumno)』 (Editorial S.M.)</p>

履修コード	283601
科目名	ロシア語IA
担当者名	<small>おおすか ふみかず</small> 大須賀 史和

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4-7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

講義の内容・  
授業スケジュール  
成績評価の方法

教科書  
参考書等

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税  
『露和辞典』

外国語

履修コード	284001
科目名	ロシア語IB
担当者名	<small>きむら ひであき</small> 木村 英明

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

講義の内容・  
授業スケジュール  
成績評価の方法

教科書  
参考書等

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税  
『露和辞典』

履修コード	284201
科目名	ロシア語IIA
担当者名	木村 英明

**講義のねらい** 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。  
ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

**講義の内容・授業スケジュール**

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。出席と平常点を重視します。

**成績評価の方法** 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

**教科書その他** プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284301
科目名	ロシア語IIA
担当者名	杉山 秀子

**講義のねらい** 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 4月-7月
- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- 9月-12月
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

**成績評価の方法** 出席と平常点を重視します。

**教科書等その他** 『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次に渡した文法表。露和辞典  
プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284401
科目名	ロシア語IIB
担当者名	木村 英明

**講義のねらい** 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

**講義の内容・授業スケジュール**

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。
- ・4月-7月 基礎文法の復習。9月-12月 中等文法の学習、講読力を高める。平常点で評価します。

**成績評価の方法** 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

**教科書その他** プリント配布。

履修コード	284501
科目名	ロシア語II B
担当者名	佐野 朝子

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。  
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

- 講義の内容・授業スケジュール
- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
  - 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
  - やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
  - かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
  - 中等文法のエッセンスを勉強をします。
  - 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、読解力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価する。  
教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。  
その他 プリント配布。

外国語

履修コード	284701
科目名	ロシア語IID ロシア語IID〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

- 講義の内容・授業スケジュール
- ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
  - 4-7月 発音、イントネーション
  - 9-12月 文法と会話に力を入れる
- 成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
- 教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)
- その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	291501
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	樋渡 俊光

講義のねらい これからの学生は社会人になった時に、外国人と英語を通して意志疎通をはかるための十分な英語運用能力をもっておくことが不可欠である。この講座を通して、徹底的に英語の四技能の向上をはかりたい。

講義の内容・授業スケジュール 教材を中心に授業が進められるが、3回に1回は、Japan Times, Business English, 等学生の興味ある話題の英文抜粋教材を利用する。(E:副教材)  
 第1期 五文型の習得・音声指導  
 Lesson 1-2  
 第2期 Lesson 3-5,E  
 第3期 Lesson 6-8,E  
 第4期 Lesson 9-10,E  
 第5期 Lesson 11-13,E  
 第6期 Lesson 14-16,E

履修上の留意点 毎回予習を必要とし、予習が行われているかの確認調査有り。辞書必携。  
 成績評価の方法 前後期2回の試験、夏休みレポートの提出により評価する。又欠席5回以上は認めない。

教科書 1) Richard Best  
 2) *The World at a Glance*  
 3) 南雲堂  
 4) ¥1,500  
 5) ISBN4-523-17525-X C0082

履修コード	291601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	松堂 啓子

講義のねらい 基本的な文法を確認しながら、語彙・表現力を固め、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス 2 手紙、ファックス 3 電子メール、電話 4 面会の申し入れ、ホテルの予約 5 オフィスの移転通知、支店の開設案内 6 レセプションへの招待  
 7 アンケートの回答依頼、資料の送付依頼 8 慶弔、会議の通知 9 議事録 10 物品の購入、社内研修の案内 11 社内研修の報告 12 日程の中間報告 13 前期試験 14 引き合い(1) 15 引き合い(2) 16 注文 17 代金の回収 18 クレームと調整 19 履歴書 20 応募の手紙 21 推薦状 22 面接 23 面接の結果の通知、退職願 24 後期試験

履修上の留意点 単位取得には三分の二以上の出席が必要である。  
 成績評価の方法 試験の結果(7割)、課題等(3割)。

教科書 豊田暁、*Essentials of Global Business English*、南雲堂、¥2100、ISBN978-4-523-17605-3

履修コード	291701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美

講義のねらい 会話表現をもとに、文法、発音を確認していきます。また語彙を増やし、表現の幅を広げ基本的なことを言えるようにします。

講義の内容・授業スケジュール 毎回テキストを1課ずつ進めながら文法事項、発音のポイント、テーマに沿った単語や表現を学びます。また授業内でスピーキングや復習テストを随時行う予定です。

履修上の留意点 欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、3回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法 出席、授業態度の平常点25%、前・後期試験50%、スピーキングテスト復習テスト25%で評価。追再試験は実施しません。

教科書 大谷麻美、村田和代、CORNERSTONE、マクミランランゲージハウス、1890円

履修コード	291801
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	樋渡 俊光

**講義のねらい** 英語を通して学生が将来国際人となれるように、英語の四技能の向上をはかることを目的とするものである。

**講義の内容・授業スケジュール** 教材を通して、日米の大学生のことに關して、その違いを学ぶことになるが、時々、Japan Times からの抜粋記事、基礎的 Business English を交えながら行こなわれる授業である。

第1期 英語の五文型の完全なる習得  
発話に関する音声指導

Lesson 1-2

第2期 Lesson 3-5 副教材

第3期 Lesson 6-8 副教材

第4期 Lesson 9-10 副・レポート課題

第5期 Lesson 11-12 副教材

第6期 Lesson 13-15 副教材

(副教材は自主教材)

**履修上の留意点** 毎回予習を必要とし、予習が確実に行われているかの確認調査有り。辞書必携

**成績評価の方法** 前後期2回の試験結果、夏休みレポート提出の内容により評価する。又欠席5回以上は認めない。

**教科書**

1) Clayton Naff

2) *A Short course in Reading*

(5分間リーディング)

3) 南雲堂

4) ¥900-

5) 044540 B-161

履修コード	291901
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岩原 康夫

**講義のねらい** ライティングによる日常的なコミュニケーション能力を高め、少しでも纏まった意思伝達ができるようになることを目標にする。

**講義の内容・授業スケジュール** クラスは一定の基本的な動詞の構文と用法を学習し、まずセンテンス・レベルでの表現力を向上させる練習を行う。前期は、“be” “go” “come” “take” “put” “make” などを中心に学び、後期は“have” “get” “give” “stay” “keep” “lose” “find” “do” の順で練習する。

**履修上の留意点** 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。なおこのクラスは再履修であるので、必要な場合には個々の学生に対応した個別指導を行う。

**成績評価の方法** 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価する。

**教科書**

*Cultivating Writing Skills* (朝日出版) 2000円 ISBN4-255-15280-2

履修コード	292001
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	埜 美智子

**講義のねらい** 英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

**履修上の留意点** 辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

**成績評価の方法** 日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

**教科書**

『Appreciating European Culture 一生まれ変わるヨーロッパー』

(成美堂) 1,800円

**参考書等**

その都度黒板に板書し案内する。

**その他**

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

履修コード	292301
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	大瀨 利春

講義のねらい 英作文の演習を通して、英語表現力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに15分程度のリスニング練習を行い、その後テキストに取り組む。テキストは2時間で一課のスピードで進める。具体的には、Unit 1 Unusual Weather(2,3), Unit 2 Terrorism (4,5), Unit 3 Vacation Abroad (6,7), Unit 4 Fame and Fortune (8,9), Unit 5 Hosting the Olympics (10,11), Unit 6 Convenient Gadgets and Sustainable Lifestyles (12,13), Unit 7 The Perfect Export (16,17), Unit 8 Still Addicted to Junk Food (18,19), Unit 9 A Graying Society (20,21), Unit 10 Waiting for “Mr. Right” (22,23), Unit 11 Manners Make Us Brighter (24,25), Unit 12 Seeing What Isn’t There (26,27), Unit 13 Cybercrime (28,29), Review (30)

履修上の留意点 予習をしてくること。辞書をもってくること。

成績評価の方法 前、後期2回の試験の結果をベースとしながら、平常点（出席状況、授業態度など）も考慮に入れて、総合的に評価する。

教科書 *Writing Updates* 金星堂 1800円 ISBN 978-4-7647-3859-1

履修コード	292601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	大瀨 利春

講義のねらい 英作文の演習を通して、英語表現力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに15分程度のリスニング練習を行い、その後テキストに取り組む。テキストは2時間で一課のスピードで進める。具体的には、Unit 1 Unusual Weather(2,3), Unit 2 Terrorism (4,5), Unit 3 Vacation Abroad (6,7), Unit 4 Fame and Fortune (8,9), Unit 5 Hosting the Olympics (10,11), Unit 6 Convenient Gadgets and Sustainable Lifestyles (12,13), Unit 7 The Perfect Export (16,17), Unit 8 Still Addicted to Junk (18,19), Unit 9 A Graying Society (20,21), Unit 10 Waiting for “Mr. Right (22,23), Unit 11 Manners Make Us Brighter (24,25), Unit 12 Seeing What Isn’t There (26,27), Unit 13 Cybercrime (28,29), Review (30)

履修上の留意点 予習をしてくること。辞書をもってくること。

成績評価の方法 前、後期2回の試験の結果をベースとしながら、平常点（出席率、授業態度など）も考慮に入れ、総合的に評価する。

教科書 *Writing Updates* 金星堂 1800円 ISBN 978-4-7647-3859-1

履修コード	292701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岡本 誠

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

Writing and Speaking を主眼とするが、読解力も平行して見直していきたい。  
下記に示したテキストを用意すること。テキストは日米両国の懸け橋になった以下のような人物をとりあげている。これらの人物の業績を読み、まず知識を深めてほしい。内容を確認したところで、設問に答えることになる。設問はリスニングの形式もある。また、作文、つまり英語での表現力をも試すようになっている。

1. Douglas MacArthur
2. Edwin O. Reischauer
3. William Smith Clark
4. Matthew Calbraith Perry
5. Elvis Presley
6. Yukichi Fukuzawa
7. Donald Keene
8. Hayao Miyazaki
9. Momofuku Ando
10. Umeko Tsuda
11. Steve Jobs
12. Haruki Murakami
13. Soichiro Honda
14. Clarence Saunders
15. The McDonald Brothers and Ray Kroc
16. Shigeru Yoshida
17. John Manjiro
18. Hideo Nomo
19. Kyu Sakamoto
20. William Adams (Miura Anjin)

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

予習しておくことは必須。その前提で進める。語学力の養成はこれにつきる。  
前期・後期の試験。発表あるいはプレゼンテーションの力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。  
Across the Pacific Ocean 『日米の懸け橋になった人々』、成美堂出版 ¥1,800

履修コード	297002
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	熊沢 和明

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。  
平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。  
英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。  
出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。  
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

Why Is That? 金星堂

履修コード	293201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	狩野 晃一

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール  
履修上の留意点

基礎的な英語の力を取り戻す。英語を読むことに慣れてゆく。  
はじめは必要と思われる単語・フレーズの習得に努める。同時に簡単な文章からレベルを上げてゆき、簡単な物語や論評などを通読する。  
必ず辞書を携帯すること。予習はもちろんであるが、復習に力を入れてほしい。とにかく出席をすることが必要。

成績評価の方法

全授業の3分の2以上が成績評価の対象となる。年2回の試験と授業態度で判断する。試験は60点以上が合格基準。

教科書

教場にて指示する。



履修コード	293401
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	行廣 泰三

講義のねらい 英語がさまざまな場面で求められ、その必要性が増していることは言うまでもありません。そこで、この授業では、英語を苦手としている学生に短い英文を通して読解力を伸ばすことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. Food (How is our food produced and transported today?)(GM Crops)
3. Population (A crowded world)(Debates about population)
4. Poverty (what is poverty?)(poverty in the past)
5. Health and Disease (Impacts of world health patterns 1)(Impacts of world health patterns 2)
6. Pollution (Water pollution)(Land pollution)
7. Animals under Threat (Animals under threat 1)(Animals under threat 2)

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

復習と予習をする習慣をつけて下さい。  
出席点30% 小テスト40% 期末30%  
竹内・池田・佐々木共編『Talk with Our Planet: Intensive Reading 地球の今』2008年  
(株)松柏社 2000円+税

履修コード	293601
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)小テスト、(2～3)Unit1、(4～5)Unit2、(6～7)Unit3、(8～9)Unit4、(10～11)Unit5、(12～13)Unit6、(14～15)Unit7、(16～17)Unit8、(18～19)Unit9、(20～21)Unit10、(22～23)Unit11、(24～25)Unit12、(26～27)Unit13、(28～29)Unit14、(30)Unit15

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。

成績評価の方法

定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書

『A Complete College English Program 一大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編(BOOK3)一』、(金星堂) ¥1900+税

履修コード	293901
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>おちあい かずみき</small> 落合 和昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

外国語

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『大学』(UNIT 1)
- 第三回 『日常』(UNIT 1)
- 第四回 『大学』(UNIT 2)
- 第五回 『日常』(UNIT 2)
- 第六回 『大学』(UNIT 3)
- 第七回 『日常』(UNIT 3)
- 第八回 『大学』(UNIT 4)
- 第九回 『日常』(UNIT 4)
- 第十回 『大学』(UNIT 5)
- 第十一回 『日常』(UNIT 5)
- 第十二回 『大学』(UNIT 6)
- 第十三回 『日常』(UNIT 6)
- 第十四回 『大学』(UNIT 7)
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『日常』(UNIT 7)
- 第十七回 『大学』(UNIT 8)
- 第十八回 『日常』(UNIT 8)
- 第十九回 『大学』(UNIT 9)
- 第二十回 『日常』(UNIT 9)
- 第二十一回 『大学』(UNIT 10)
- 第二十二回 『日常』(UNIT 10)
- 第二十三回 『大学』(UNIT 11)
- 第二十四回 『日常』(UNIT 11)
- 第二十五回 『大学』(UNIT 12)
- 第二十六回 『日常』(UNIT 12)
- 第二十七回 『大学』(UNIT 13)
- 第二十八回 『日常』(UNIT 14)
- 第二十九回 『大学』(UNIT 14)

第三十回 後期試験

※『大学英語デイクテーションのエッセンス』（上記では、『大学』）

『日常必須語彙のリスニング練習』（上記では、『日常』）

なお、ヒヤリング及び発音練習は毎日行う。

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は、一回の量は少ないが、ほぼ毎回提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

履修上の留意点  
成績評価の方法

教科書

- 1) 『大学英語デイクテーションのエッセンス』 朝日出版社 900円  
ISBN4-255-15282-9 C1082
- 2) 『日常必須語彙のリスニング練習』 金星堂 950円  
ISBN4-7647-3653-5 C1082
- 3) プリント

履修コード	294001
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	塚本 利男

**講義のねらい** 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。

**講義の内容・授業スケジュール** 基本的な語彙1500語レベルの記事を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。  
1部として健康に関して1章精神(2~4)、2章身体(5~7)、3章治療法(8~10)、新しい解決法(11~14)、2部として環境に関して5章自然現象(16~19)、6章自然の恵み(20~24)、7章新しい科学技術(25~29)を読む。前期・後期のテストを実施する(15と30)。

**履修上の留意点** 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

**成績評価の方法** 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。

**教科書** 『かけがえのない健康と環境』  
Shawn M. Clankie・小林敏彦(株)成美堂  
1,900円+税 ISBN978-4-7919-4624-2

履修コード	294101
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	山岸 二郎

**講義のねらい** 英文の構造を理解し、精読に心掛ける。

**講義の内容・授業スケジュール** 英文法を整理しつつ、その独特の発想法に慣れる。テキストの練習問題をやり、応用問題は選択して行なう。また巻末の Reading Passages を適時取り入れて、One Lesson を2回の授業ですゝめる。

**履修上の留意点** 予習を必ずやる。出席を重視する。3分の2以上の出席必要。

**成績評価の方法** 平常の学習、レポート、小テスト、テスト等総合して評価する。

**教科書** Discover English Grammar 『日英対照：楽しく覚える英文法—ショート・リーディングと英作文—』(朝日出版)

履修コード	294201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	太田 由紀子

**講義のねらい** 聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

**講義の内容・授業スケジュール** アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋(英文)も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

**履修上の留意点** 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

**成績評価の方法** 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

**教科書** 随時、プリントを配布する。

**参考書等** 安井稔『英文法総覧』(開拓社)、江川泰一郎『英文法解説』(金子書房)  
Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)  
チャールズ・チャップリン『チャップリン自伝』中野好夫訳(新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版)

履修コード	294211
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	吉沢 栄治郎

**講義のねらい** 小説をよんでゆきます。原文を板書したものをノートし、作品をじっくりよみながら、心理描写の展開を味わってほしいとおもいます。原文の翻訳も同時に板書しますので参考にして下さい。

**講義の内容・授業スケジュール** 第一週から第二十七週にかけて作品の第1頁から筆写(原文)とその和訳板書を行ないます。

**履修上の留意点** 辞典を必ず携帯することが望ましい。

**成績評価の方法** ペーパーテスト、課題提出物、出席状況を見て、評価します。

**教科書** 未定

履修コード	294601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	安齊 薫 <small>あんざい かおる</small>

講義のねらい Writing を中心に、総合的な英語運用能力の向上を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1回 Introduction  
2.3 Takeshi Kitano  
4.5 Tadahiro Iguchi  
6.7 Tadao Ando  
8.9 kaguya  
10.11 Two Museums  
12.13 Agriculture  
14.15 まとめ  
16.17 Lactic Acid  
18.19 Millet  
20.21 Yacon  
22.23 Black Vinegar  
24.25 MOS  
26.27 Kitakami  
28.29.30 まとめ

履修上の留意点 予習をしてくること。  
成績評価の方法 出席状況（2/3以上の出席が原則）、前後期試験、レポートで評価する。  
教科書 *Sustainable Life and Economics* 南雲堂 ¥1995

履修コード	294801
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義のねらい 英IAで身につけた英語の力を土台にして、発音、英語の表現力をさらに高める。  
講義の内容・  
授業スケジュール 毎回、プリントを配布する。それをテキストとして練習を行なう。ただしこのプリントは断片的なものではなく、一年間であるまとまった流れが理解できるようになっているので、ぜひその全体像を把握してほしい。

履修上の留意点 英語の辞書は毎回もってくる。  
教室での思考、表現を非常に重視するので、欠席・遅刻のないように。  
成績評価の方法 授業で表現された思考、発表、出欠席・遅刻、レポートによって総合的に評価する。  
教科書 プリント。  
参考書等 授業の中で随時紹介する。

履修コード	295001
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	三幣 友行 <small>みねさ とむゆき</small>

講義のねらい 英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。  
講義の内容・  
授業スケジュール 教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。

履修上の留意点 予習を前提として授業をすすめる。  
欠席数が授業全体の3分の1をこえたら単位は認めない。  
成績評価の方法 前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。  
教科書 未定  
その他 詳しいことは初回の授業で説明する。

履修コード	295101
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	芝田 興太郎

講義のねらい 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら 基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく

講義の内容・授業スケジュール a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課。  
b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表。

履修上の留意点 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。

成績評価の方法 エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。

教科書 *Simply Grammar* 南雲一範著 南雲堂 1890円

履修コード	295301
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	前田 脩

講義のねらい 英語表現を学び、言語の基本的違いを知り、英語表現により日本語とは別の思考方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 授業の進め方を説明します。 英文による自己紹介をします。 (2~7) 2頁~17頁の読解、文法、英作文 (8) テーマによる英文表現 (9~12) 18頁~29頁 (13) テスト (14) テーマによる英文表現 (15~20) 30頁~49頁 (21) テーマによる英文表現 (22~27) 50頁~65頁 (28, 29) テーマによる英文表現 (30) テスト 随時小テストを行います。

履修上の留意点 語学なので予習は必須事項です。 日常より英字新聞等に接し、授業に積極的に参加してください。

成績評価の方法 小テスト10% 前期テスト20% 日常評価30% 後期テスト40%の配分で評価します。 日常点には出席状況も入ります。

教科書 *English for You* (英語総合教本) 朝日出版 1,300円 ISBN4-255-15284-5 C1082

履修コード	295401
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	外池 一子

講義のねらい アメリカ文化を幅広く紹介するテキストを使って、アメリカ文化に対する理解を深めます。再履修コースですから、テキストは比較的やさしいものを使って、英語で読んだり書いたりすることに抵抗をなくし、最終的には英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は基礎的な英語の力(読む・書く)があることを確認します。(e-learning 教材を使用する場合があります。) 後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。

履修上の留意点 コンピューター教室を使用する場合があるのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。

成績評価の方法 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書 開講時に指示します。(e-learning 教材使用の場合、教材費4,000円)

その他の 日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

履修コード	295501
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	古富 猛

講義のねらい アメリカ社会の原点を考え、世界に影響力を有するアメリカ人性を推察する手がかりをつかむ。

講義の内容・授業スケジュール 語学は常に基礎的理解が必要なのだが、このところ学生間の格差は広がるばかりである。まず(1)~(4)で高校の文法事項(今後の理解に不可欠のもの)を復習する。その後日本人の苦手な会話力への足がかりとして、ストーリー性のあるものを読み、応用できるセンテンスを選び、パターンプラクティスをするのがベストと考えている。そのため(5)~(30)は各時間ごとに3人程の学生に予習発表をしてもらいトレーニングのひとつとする。

履修上の留意点 語学は繰り返しのので、中・高校で習った事項の復習に努める事。

成績評価の方法 前・後期筆記試験を実施し、予習発表におけるトレーニングの程度によって、平常点をつけます。よってペーパーテストのみが評価の基準ではないので、毎時間質問に答える準備をしておく事。

教科書 前期はプリント使用。  
後期『日本人と欧米人』マクミラン・ランゲージハウス社

履修コード	295601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	飯沼 好永

講義のねらい 英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けること目指します。

講義の内容・授業スケジュール 1つの単元を2週単位で進んでいきます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法 出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書 開講時に指示します

履修コード	295801
科目名	英語IIB〔再クラス〕
担当者名	高見 陽子

講義のねらい 英文を読む速度を上げ、より多くの情報を短時間で得る力を伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。速読のスキルについて(1~3)、テキスト中心(4~11)、リスニング・TOEIC等の副教材の導入(12~15)、テキスト+副教材(16~30)。

履修上の留意点 必ず辞書を持参すること。授業では、速読のあと内容を確認するための精読も行うので、各自復習して理解を深めてください。同時に、文法事項の確認にも力を入れてください。

成績評価の方法 前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を考慮して総合的に評価します。また、全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。

教科書 「未定」

履修コード	295901
科目名	英語IIB〔再クラス〕
担当者名	大淵 利春

講義のねらい 英語のリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 授業のはじめに15分程度のリスニング練習を行い、その後テキストに取り組む。テキストは2時間で1 Unit のペースで読み進んでいく。

具体的には、Chapter 1 Freeters and NEETs (2,3),  
Chapter 2 Low Birth Rate (4,5),  
Chapter 3 Working Poor (6,7),  
Chapter 4 Net Cafe Refugee (8,9),  
Chapter 5 Loser Dog (10,11)  
Chapter 6 False Accusation (12,13)  
Review, test (14,15)  
Chapter 7 Hikikomori (16,17)  
Chapter 8 Cults (18,19)  
Chapter 9 Baby Boomers Retire (20,21)  
Chapter 10 Immigration (22,23)  
Chapter 11 Telecommuting (24,25)  
Chapter 12 Buying Organs (26,27)  
Chapter 13 Surrogate Mothers (28,29)  
Review, test (30)

履修上の留意点 予習をしてくること。辞書をもってくること。

成績評価の方法 前、後期2回の試験の結果をベースとしながら、平常点(出席状況、授業態度など)も考慮に入れて、総合的に評価する。

教科書 *Keywords for Japan Today*  
センゲージャーニング(1700円)  
ISBN 978-4-86312-043-3

履修コード	296201
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	<small>あんどう かおる</small> 安齋 薫

外国語

講義のねらい	Listening 能力の向上とともに、さらに多くの量を読めるようにする
講義の内容・ 授業スケジュール	第1回 Introduction 2. 3 My Heart Will Go On 4. 5 Open Arms 6. 7 Don't Look Back In Anger 8. 9 A Whole New World 10. 11 Livin' La Vida Loca 12. 13 Kiss of Life 14. 15 まとめ 16. 17 I Don't Want to Miss A Thing 18. 19 Every Time I Close My Eyes 20. 21 Life 22. 23 The Stranger 24. 25 All I Want For Christmas Is You 26. 27 Hey Now 28. 29. 30 まとめ
履修上の留意点	予習をしてくること。
成績評価の方法	出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前期後期試験、レポートで評価する。
教科書	<i>English with Hit Songs</i> 成美堂 ¥1700 ISBN4-7919-4581-6

履修コード	296301
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	おちあひ かづあき 落合 和昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を、ヒアリングを通して、学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒアリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒアリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある）。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『20』(UNIT 1,2)
- 第三回 『TOEIC』(UNIT 1)
- 第四回 『20』(UNIT 3,4)
- 第五回 『TOEIC』(UNIT 2)
- 第六回 『20』(UNIT 5,6)
- 第七回 『TOEIC』(UNIT 3)
- 第八回 『20』(UNIT 7,8)
- 第九回 『TOEIC』(UNIT 4)
- 第十回 『20』(UNIT 9,10)
- 第十一回 『TOEIC』(UNIT 5)
- 第十二回 『20』(UNIT 11,12)
- 第十三回 『TOEIC』(UNIT 6)
- 第十四回 『20』(UNIT 13,14)
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『TOEIC』(UNIT 7)
- 第十七回 『20』(UNIT 15,16)
- 第十八回 『TOEIC』(UNIT 8)
- 第十九回 『20』(UNIT 17,18)
- 第二十回 『TOEIC』(UNIT 9)
- 第二十一回 『20』(UNIT 19,20)
- 第二十二回 『TOEIC』(UNIT 10)
- 第二十三回 『TOEIC』(UNIT 11)
- 第二十四回 『TOEIC』(UNIT 12)
- 第二十五回 『TOEIC』(UNIT 13)
- 第二十六回 『TOEIC』(UNIT 14)
- 第二十七回 『TOEIC』(UNIT 15)
- 第二十八回 『TOEIC』(UNIT 16)
- 第二十九回 『TOEIC』(UNIT 17)
- 第三十回 後期試験

※『20リスニング・キーポイント』（上記では『20』）

『TOEIC ポキャブラリー プラクティス 一ターゲットは600点一』（上記では、『TOEIC』）

なお、ヒアリング及び発音練習は毎回行う。

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は、一回の量は少ないが、ほぼ毎回提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

履修上の留意点  
成績評価の方法

教科書

- 1) 『20リスニング・キーポイント』 弓プレス 1000円  
ISBN4-8034-1149-2 C1082
- 2) 『TOEIC ポキャブラリー プラクティス 一ターゲットは600点一』 1600円  
ISBN4-269-66017-1 C3582
- 3) プリント



履修コード	296501
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	矢島 <sup>やじま なほこ</sup> 直子

**講義のねらい** 大学中級程度の英文を読み、構文、内容が理解できるようにすること。  
**講義の内容・授業スケジュール** (1回目) ガイダンス (2-4) 1章 (5-7) 2章 (8-10) 3章 (11, 12) 5章 (13, 14) 6章 (15) 前期末試験 (16) 試験解説 (17-19) 7章 (20-22) 8章 (23-25) 9章 (26, 27) 10章 (28, 29) 12章 (30) 後期末試験  
**履修上の留意点** 毎回どんだん当ててやってもらいますから、必ず意味が分かるまで予習すること。1回目の授業から出席して下さい。  
**成績評価の方法** 平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。  
**教科書** 竹下裕子、他、「世界の多様な英語 2」、(松柏社)、¥1,900+税、ISBN 4-88198-600-7

履修コード	296601
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	相馬 <sup>さうま よしあき</sup> 美明

**講義の内容・授業スケジュール** IBの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC・TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めていく。  
**前期**  
 ・TOEFL QUESTIONS EX.1~10  
 ・映画 1~10場面  
 ・音楽など他  
**後期**  
 ・TOEFL QUESTIONS EX.13~21  
 ・映画 1~10場面  
 ・個人発表(プレゼンテーション)他  
**成績評価の方法** 出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート：また授業態度などを総合的に評価する。  
**教科書** 開講時に指示する。

履修コード	296701
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	本間 <sup>ほんま としかず</sup> 俊一

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。  
**履修上の留意点** 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。  
**成績評価の方法** 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。  
**教科書** Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円  
 ISBN4-7647-3717-5

履修コード	296901
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	手島 敬子

**講義のねらい** 「英文読解力向上」をテーマに、短時間に効率よく、また的確に英語で書かれた文章を読み取る力を養っていきます。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期 第1回ガイダンス（授業説明）  
第2回～第14回 1～5の中から3、4章を取り上げて読んでいきます。  
第15回前期試験  
後期 第16回～第29回 6～12の中から3、4章を取り上げて読んでいきます。  
第30回後期試験

**履修上の留意点** 原則として3分の2以上の授業出席が必要となります。必要に応じて課題が課されるので必ず提出して下さい。授業には毎回辞書を持参して下さい。

**成績評価の方法** 前期・後期試験、課題を8割程度、授業への参加度、出席状況を2割程度で評価します。

**教科書** Basil Lechatt *People Are Funny* マクミランランゲージハウス 1800円 978-4-89585-406-1

外国語

履修コード	297101
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

**講義のねらい** 伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

**講義の内容・授業スケジュール** 文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものにします。

**履修上の留意点** 予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

**成績評価の方法** 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

**教科書** 諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2004年刊 2300円＋税  
ISBN8102-0839-7

履修コード	297201
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	志真 斗美恵

**講義のねらい** さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。

**講義の内容・授業スケジュール** ABCからはじめて、ドイツ語の初級文法を学習します。文法だけでなく、CDを使い、聞き取りや簡単な会話の練習もしながら、初級ドイツ語を習得していきます。

**履修上の留意点** 欠席をするとわからなくなるのは当然ですが、とりわけドイツ語の文法は、積み重ねが大事です。必ず出席して下さい。

**成績評価の方法** 前期・後期試験および平常点で総合的に評価します。

**教科書**

- 1) 中村浩平・塚田真幸
- 2) ハロー！ ドイツ語を話してみようか[新訂版]
- 3) 三修社
- 4) 2400円＋税
- 5) ISBN978-4-12250-3C1084

外国語

履修コード	297401
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	岡本 時子

**講義のねらい** 平易なドイツ語を理解するのに必要な初歩的なドイツ文法事項を概観しながら、英語や日本語と比較しドイツ語のことばの仕組みを考えていきます。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期はまずドイツ語の簡単な歴史と文法の特徴・全体像を把握した後、名詞・代名詞の理解を中心とした文法項目の理解に努め、次に簡単な文を作る練習をします。後期は動詞に関連する諸項目をしっかりと理解することを主眼点にしなが、単文だけでなく複文の構造が理解できるようになることも目指します。

**履修上の留意点** 前にやったことの上に知識を積み重ねていくことになりますから、途中休まず続けて出席することが大切です。

**成績評価の方法** 成績は年間を通しての出席と前期・後期2回の試験の結果を総合して評価しますが、授業中の意欲・態度も併せて考慮します。

**教科書** 未定

履修コード	298602
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	野島 利彰

**講義のねらい** ドイツ語はどのようにして意味を伝えるのか、文法を手掛かりにその組み立て方を学びます。

**講義の内容・授業スケジュール** 発音、動詞の変化、格変化など基本的な文法事項を練習問題を中心に学んでいきます。

**履修上の留意点** 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

**成績評価の方法** 出席回数、七月と一月の試験の成績および、授業中、質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

**教科書** 未定

履修コード	297501
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	飯塚 公夫

**講義のねらい** 正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。日独交流に関わる知られた、あるいは知られざれエピソードに興味を持ってもらえればと思っています。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきます。

**履修上の留意点** 語学の勉強は大変日常的な事柄と密着していますが、未知の外国語である以上、自己の日常べったりでは、理解に至りません。辞書の引き方からして、ただ持っていればことばがわかると思っいる人が多いようですが、引き方を知らなければ目的の単語に到達しませんし、また到達しても、考えなければ、意味のわかることばにはなりません。大変な作業です。「暗記物」ではありませんので、心してください。辞書必携。

**成績評価の方法** 前期後期各一回の筆記試験と平常点(=発表点)。

**教科書** 杉谷恭一他著「日独交流400年」(白水社)2,200円

履修コード	297601
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	堀内 美江

**講義のねらい** ドイツ語の基礎を養いながら、さらにドイツという国そのものを知ってもらうことがこの授業の目標です。適宜ビデオや資料などを用いながら、新しい知識を得て、新しいことを学ぶ醍醐味を味わってもらいたいと思っています。

**講義の内容・授業スケジュール** 発音や挨拶、基本語いの学習からゆっくりとはじめましょう。次に文法の復習をし、それを踏まえて簡単な会話や短い文章を読んでいます。皆さんの様子を見ながら、授業を進めていきます。

**履修上の留意点** とにかく授業に来ましょう。また、授業中は答えが間違っいてもいっこうにかまいません。積極的な姿勢が何より大切です。

**成績評価の方法** 出席と前後期のテストおよび平常点の総合評価となります。また、少しですが小さな課題を出してもらおう予定です。

**教科書** 小野寿美子他著『ドイツ語 プファァーヴォ! プラスアルファ』(朝日出版社)2400円

**参考書等** 辞書や参考書などは初回の授業時にご案内します。

履修コード	297801
科目名	ドイツ語I B〔再クラス〕
担当者名	もとほし うきよう 本橋 右京

**講義のねらい** 初級文法の配列に則って、簡単な会話表現を学びます。その中で、ドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

**講義の内容・授業スケジュール** 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本的な語彙や基本表現はできるだけ覚えましょう。

**履修上の留意点** テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

**成績評価の方法** 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

**教科書** 在間進 『話すぞドイツ語! V2 新版』(朝日出版社) 2008年刊 2800円+税  
ISBN978-4-255-25317-6

履修コード	297901
科目名	ドイツ語I B〔再クラス〕
担当者名	みなみ 南 はるつ

**講義のねらい** 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞  
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞

**履修上の留意点** 出席を重視します。

**成績評価の方法** 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

**教科書** 高橋泰雄・城間宏明著「おしゃれなドイツ語」朝日出版社

**参考書** 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	298001・298002
科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕
担当者名	もり こうせい 森 公成

**講義のねらい** 文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

**講義の内容・授業スケジュール** 一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

**履修上の留意点** 授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は(遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます)、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

**成績評価の方法** 定期試験(年2回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

**教科書** 小塩節著 『ドイツ こころの旅』(朝日出版社) 2,200円

履修コード	298101・298102
科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕
担当者名	もとほし うきよう 本橋 右京

**講義のねらい** ドイツの首都ベルリンをテーマとする読章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

**講義の内容・授業スケジュール** 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

**履修上の留意点** テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

**成績評価の方法** 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

**教科書** P.Buchholz・他『ベルリンは今』(郁文堂) 2008年刊 2500円+税, ISBN978-4-261-01228-6

外国語

履修コード	298201・298202
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	岡本 時子

講義のねらい	ドイツ語Iでやったことを復習しながらドイツ語力を伸ばし、併せてドイツ語圏の文化・歴史についても学んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	前期はドイツ語の各文法項目の復習をしながら、ドイツ語圏の歴史・文化・地理等に関する資料を読んでいきます。後期は簡単な物語を読みながら、特にクリスマスを中心としたドイツの慣習や行事等について学ぶ予定です。一年間を通して語彙力の拡充にも力を入れます。
履修上の留意点	ことばを学ぶことは、単語や文法事項を暗記するだけではないことを忘れずに授業に臨んで下さい。辞書を持参することも忘れないで下さい。
成績評価の方法	成績は前期・後期2回の試験の結果と年間出席や授業中の意欲等を総合して評価します。出席は最重要視します。
教科書	未定

履修コード	298801
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	芦原 春

講義のねらい	1年かけて、仏語のやさしい文章(おもに会話の多い文章)が読めて(発音)、その内容が理解(読解力)できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を進展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
履修上の留意点	教科書と同時に辞書を持参して下さい。
成績評価の方法	毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
教科書	中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』(白水社)

履修コード	298901
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	小玉 齊夫

講義のねらい	フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	30回の授業として、教科書の指定にしたがいながら、大略、以下のような進度によって、進めていく。細部の変更はあり得る。(1・3)発音と綴り、(4・6)冠詞と名詞、(7・9)形容詞、主語人称代名詞、基礎的な動詞とその表現(avoir, être)、(10・13) -er 動詞、-ir 動詞の基礎とその表現、(14・16)疑問代名詞、命令法、(17・19)動詞(aller, venir, faire等)とその表現、(20・23)動詞(connaitre, voir等)とその表現、(24・26)複合過去の形態とその表現、(27・30)半過去形、未来、代名動詞。関係代名詞等の形態とその表現
履修上の留意点	特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。
成績評価の方法	上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。
教科書	甲斐基文『メピウス』(第三書房、2200円)、ISBN978-4-8086-2160-5

履修コード	299001
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール	かつて習ったフランス語の初歩をもう一度基礎から学習しなおすクラス。かぎられた授業時間内で毎時間先へ先へと進んでゆきます。
履修上の留意点	再履修クラスですから出席状況が重視されます。
成績評価の方法	年2回の定期試験の成績を中心に、毎時間行なう練習問題の結果も評価の対象にします。
教科書	石上亜紀子他『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法』2007年刊(朝日出版社)2100円+税

履修コード	300202
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	<sup>たにかわ</sup> 谷川 かおる

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他の他

フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。  
(1-2) 発音とあいさつ (3-8) フランス語で自己紹介する (9-30) 基礎的な会話。

毎回、暗唱テストを行う。

前期・後期の期末試験の点数を基本にし、小テストの点数を加算し、60点以上を合格点とする。

伊勢晃、谷口千賀子『Ça va? サヴァ?』早美出版社、2400円  
授業中に指示する。

出席重視。

履修コード	299101
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	<sup>あづま たつゆき</sup> 東 辰之介

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

フランス語初級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。

(1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)~(3) 発音の基礎 (4)~(15) 基本的表現 (挨拶/自己紹介/趣味を語る/尋ねる/住んでいる所を言うなど) (16)~(29) 発展的表現 (時刻を言う/紹介する/天候を言う/過去のことを語る/未来のことを語るなど) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

学期末試験の結果と平常点によって評価します。

藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税, ISBN978-4-560-06083-4  
仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	299201
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	<sup>いまざき</sup> 今関 アン

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス旅行で困らない最低限のコミュニケーション能力を身につける。

CDの聞き取り、単語調べ、その場での会話練習、練習問題など。

2/3の出席は最低条件である。なお教科書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出をもって初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

2/3以上の出席 (25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』(白水社) の実力テスト (25%) + 前・後期定期試験 (50%)

内村瑠美子著『フランス語でサバイバル!』(白水社) 2,000円  
仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社) (7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)  
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

履修コード	299301
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	<sup>いとう</sup> 伊藤 なお

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。

1)~3) 受講上の諸注意 / Alphabet と発音の基礎 4)~15) 文法の基礎 (名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去/命令形など) と会話練習 (自分と家族の紹介、何をやる? など) および読解 16)~29) 文法の発展 (補語人称代名詞/比較級/疑問代名詞/動詞過去形・未来形など) と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について (中級に向けて)

積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

フランソワ・ルーセル、丸川誠司著 『トーム・アン』(第三書房) 本体2,000円

履修コード	299501
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	谷川 かおる

講義のねらい 講義の内容・授業スケジュール  
 フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。  
 (1) フランス語の歴史(2-3) 発音(4-8) あいさつ、自己紹介(9-30) 旅行に便利な表現など。  
 履修上の留意点 毎回暗記小テストを行う。  
 成績評価の方法 前期・後期の期末テストを基本とし、小テストを加算し、60点以上を合格点とする。  
 教科書 田辺保子他著、『サリュ』駿河台出版社、2500円  
 参考書等 参考書は授業中に指示する  
 その他 出席重視。

履修コード	299601・299602
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	畑中 千晶

講義のねらい やさしいフランス語で書かれたお話を読みます。日本語に訳す必要はありません。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。  
 講義の内容・授業スケジュール (1) ガイドンス/L1 (2)~(6) L2-4 (7) 復習 (8)~(13) L5-7 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出/L8 (17)~(21) L9-11 (22) 復習 (23)~(27) L12-14 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験  
 履修上の留意点 ①毎回、辞書を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わりに宿題を出します(平常点としてカウント)。  
 成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%  
 教科書 リリアンス・ラタンジオ/村松定史『続・小さなコント―読解からコミュニケーションへー(CD付)』2004年刊(駿河台出版社)2,500円+税

履修コード	299701・299702
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	沼倉 広子

講義のねらい 文法、読解、文化、コミュニケーションの4つの要素を採り入れフランス語と文化に触れる  
 講義の内容・授業スケジュール (1) 名詞・冠詞(2) 基本動詞・形容詞(3) 規則動詞(4) 不規則動詞・非人称動詞(5) 人称代名詞・比較級・最上級(6) 代名動詞・疑問形容詞(7) 複合過去(8) 半過去・関係代名詞(9) 単純未来・中性代名詞(10) 条件法・接続法 各章にフランス、パリ、学生生活、ブルターニュ、プロヴァンス、アルザスなどについての文章を読む  
 履修上の留意点 毎回練習問題、あるいは読解などを提出させる  
 成績評価の方法 前後定期試験を行うが、平常点も重視する  
 教科書 野村二郎『フランス、言葉と文化の旅』(第三書房)2,500円 ISBN4-8086-2099-5 C1085

履修コード	299801・299802
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級  
 講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと復習した上で、初級文法を再確認しながら簡単なフランス語の短編小説をゆっくり読んでいきます。できるかぎり分かりやすい解説を心がけます。  
 (1) 受講上の諸注意(2) 発音の基本の復習(3)~(15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解(16)~(29) 中級文法解説を中心としたテキスト読解(30) 復習と今後のフランス語学習について  
 履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。  
 成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。  
 教科書 ビエール・グリパリ著『ランゲンドルフの城』(朝日出版社)951円+税 ISBN4-255-35024-8  
 参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	300601・300602
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	秋元 翼

講義のねらい 中国語に対する苦手意識を取り除き、途中挫折せず初級をマスターするようにします。  
 講義の内容・授業スケジュール 前期は発音4回のあと7課まで進みます。後期は8課から15課まで3回で2課の割合で進みます。4課に1回テストをする予定です。  
 履修上の留意点 4分の3以上の出席を要します。  
 成績評価の方法 平常授業での学習態度・理解度及びテストの成績で評価します。  
 教科書 榎本英雄『おもしろスキット初級中国語』（同学社）2500円＋税

履修コード	301201・301202
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	天野 節

講義の内容・授業スケジュール ピンインに基づく発音の基本（1～4）主な品詞と使い方（5～14）動作と時間（15～16）完了と変化（17～18）助動詞（19～20）その他の動態（21～22）補語（23～26）疑問詞（27～28）  
 履修上の留意点 遅刻早退欠席をしない。授業の予習復習を必ず行う。  
 成績評価の方法 授業内テスト＋出席＋課題及び授業態度の総合評価  
 教科書 荒川清秀『簡明中文システム15』2007年刊（同学社）2200円

履修コード	301301・301302
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	小川 隆

講義の内容・授業スケジュール 発音と文法をゼロからていねいに勉強してゆく。  
 成績評価の方法 年間4～5回のテスト、出席点、その他の平常点を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が全授業回数の4分の1を超えた人などは、その時点で受講をやめてもらう。卒業年次生も特別扱いではないので要注意！必ず初回から出席すること。  
 教科書 楊凱栄・張麗群『新・中国語への船出』（朝日出版社）2200円＋税  
 ISBN 978-4-255-45155-8

履修コード	301401・301402
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	布施 直子

講義のねらい 入門初級段階をていねいにゆっくり学習。  
 講義の内容・授業スケジュール 授業開始から4週は発音。5週から前期終了まで、人称代詞、「是、不是」と基本的動詞。後期に入り、経験、完了、助動詞を用いる表現、前置詞、受身、比較の表現を学習。  
 履修上の留意点 欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。  
 成績評価の方法 出席状況、テスト、授業への積極性を評価。  
 教科書 邵秀・湯海鵬著『ゆうゆう中国語』郁文堂。価格2500円＋税。ISBN978-4-261-01821-9

履修コード	301501・301502
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子

講義の内容・授業スケジュール 当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは会話を中心とした本文、文法、練習問題から成っており、バランスの取れた学力向上を目指す。  
 （1～2）発音、声調確認 他  
 （3～14）本文、練習問題等  
 （15） 期末テスト  
 （16～29）本文、練習問題等  
 （30） 学年末テスト  
 なお、5月連休明けに授業進行予定表を配布予定。  
 成績評価の方法 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。出席状況も考慮する。  
 教科書 武信彰・李鴻谷『中国語カレッジ』（郁文堂）2500円



履修コード	302302・302303
科目名	中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕
担当者名	蘭 明

講義の内容・授業スケジュール 前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法 出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2835円

履修コード	301601・301801
科目名	中国語IIA〔再クラス〕 中国語IIA〔再クラス〕
担当者名	梅田 雅子・宮本 厚子

講義のねらい 一年次の学習を基礎に、簡単な文章を読む練習をする。それを通じて、更なる語彙・基礎文法・読解力の向上を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1：本文の発音と、意味の確認。
- 2：本文中の文法項目の確認。
- 3：練習問題の答え合わせ。
- 4：短文朗読

★文法項目は本文にあわせて、適宜復習する。

★2回で1課進む予定

履修上の留意点 ■3/4以上の出席が必要

■予習復習必須

■辞書持参

成績評価の方法 平常点（出席・授業態度・小テスト）30%、前期試験・後期試験：70%

教科書 石慧敏・金子真也『上海びより』好文出版、2000円（税別）

参考書等 中日辞典を教室に持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

その他 講義の授業ですが、一年次の学習を踏まえて、聞き取りや発音の練習もあります。CDを活用してください。

履修コード	301901
科目名	中国語IIA〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男

講義のねらい 中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関するを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点 積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書 石慧敏・金子真也『上海びより』（好文出版）2000円

履修コード	302001
科目名	中国語IIB〔再クラス〕
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 相原茂等『えんぴつで覚える中国語』朝日出版社 2300円

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

水曜4時限

履修コード	302101
科目名	中国語II B〔再クラス〕
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 相原茂等『えんぴつで覚える中国語』朝日出版社 2300円

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。  
水曜5時限

履修コード	302201
科目名	中国語II B〔再クラス〕
担当者名	蘭 明

講義のねらい 基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点 授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法 出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』（朝日出版社）2835円

履修コード	302601・302602
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	大岩 功

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期14回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。  
後期14回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。  
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。  
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社

参考書 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)  
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』(三修社)

履修コード	302701・302702
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい	直接法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます
講義の内容・授業スケジュール	(1) オリエンテーション(文字、数字、簡単な挨拶など) (1) (2) 1課：こんにちは、私はマリアです(名詞の性・数、冠詞、ser 動詞)、2課：私の母です(estar 動詞の用法)、3課：このあたりに銀行ありますか(存在文、前置詞)(2-8) (3) 4課：君は学生ですか(直説法現在、疑問文、否定文)(9-11) (4) 5課：私のめがねを探しています(所有形容詞、指示形容詞、6課：一緒に出かける?(直説法現在2、天候の表現)(12-15) (5) 7課：何にしますか(語根母音変化動詞、関係詞)、8課：ああ残念!(直説法現在3)(16-20) (6) 9課：病院で(目的格人称代名詞、gustar 型動詞)、10課：映画スターへのインタビュー(再帰動詞、時間の表現)、11課：バックツアーを探しています(不定語、否定語、疑問詞)(21-26) (7) 12課：トルティージャを食べたことある?(過去分詞、現在完了、現在分詞、現在進行形)(27-30)
履修上の留意点	遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。
成績評価の方法	出席状況、授業参加、各期末の定期試験によります。
教科書	内田/尾尻/稻森『Mucho gusto 初めてのスペイン語』同学社 2500円
参考書等	講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。
その他	学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	302801・302802
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	亀山 晃一

講義のねらい	基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。
講義の内容・授業スケジュール	I. Alfabeto, Letras y pronunciación (1~3H) II. Saludos/En la cafetería 名詞の性と数、冠詞、存在文 hay (4~6H) 前期中間テスト(7H) III. En la parada de autobús 主語人称代名詞、スペイン語の動詞、直接・間接目的語(8~10) IV. En la universidad 直説法現在形一規則・不規則活用動詞 ser, estar, hay (11~13) V. ¿De donde eres? 形容詞の性と数そして用法、lo +形容詞、指示形容詞(14~15) 前期期末テスト(16) VI. En el bar 語根母音変化動詞、不定詞の用法、日付・曜日の表現(17~18) VII. Planes para las vacaciones de verano (19~20) 従属節の作り方、指示代名詞、数詞(0~199) 後期中間テスト(21) VIII. En el aeropuerto 時間の表現、その他の不規則動詞、前置詞格人称代名詞(22~24) IX. Fiesta de "bienvenida" gustar 型動詞、自動詞と他動詞(25~26) X. En Teotihuacán 間接、直接目的格人称代名詞、疑問詞(27~29) 後期期末テスト(30)
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

履修コード	303001・303002
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	荻野 恵

**講義のねらい** スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストにそって、文法の説明と練習を進める。  
前期：名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。  
後期：不規則動詞、再帰動詞など。

**成績評価の方法** 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

**教科書** 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

履修コード	303402・303403
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	佐藤 麻里乃

**講義のねらい** 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

**履修上の留意点** テキストと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。

**成績評価の方法** 試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。

**教科書** 未定（プリント配布の場合もあり）

履修コード	303101・303102
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	齋藤 明美

**講義のねらい** 直説法現在など基礎文法を復習しながら、過去形や過去完了および日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1) 1課 スペイン語に親しむ、2課 スペイン語の音とつづりに慣れる（1-2）
- (2) 3課 動詞の人称変化を理解する、4課 名詞と冠詞の性数一致を理解する（3-5）
- (3) 5課 疑問詞を使って質問する、6課 前置詞を使って文章を作る、7課 総合練習（5-9）
- (4) 8課 ser 動詞と形容詞の性数一致を理解する、9課 ser 動詞を使って表現を広げる、10課 状態・感情・所在・存在の表現を学ぶ、11課 総合練習2（10-16）
- (5) 12課 頻度が高い不規則動詞を覚える、13課 gustar 動詞の仕組みを理解する（16-21）
- (6) 14課 再帰動詞に親しむ、15課、総合練習（22-24）
- (7) 16課 経験を伝える、17課 過去の出来事を説明する（25-30）

**履修上の留意点** 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

**成績評価の方法** 毎回の出席、授業参加と各期末の定期試験（年2回）を総合的に判断します。

**教科書** 立岩、ゴンザレス・ムニョス『Aventura アベントゥーラ』同学社、2500円

**参考書等その他** 授業時に推薦する辞書の中から自分に合うものを探し、活用しましょう。  
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

外国語

履修コード	303201・303202
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>

**講義のねらい** スペイン語Iで学習した内容を発展させ、文法知識と読解力とを深化させることをねらいとします。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期14回 不規則動詞と目的語代名詞の形と用法を復習した後、点過去時制の規則活用、不規則活用を学習。  
後期14回 点過去時制の復習の後、線過去時制、完了時制、未来時制、過去未来時制等を学習。  
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。  
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

**履修上の留意点** 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

**成績評価の方法** 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

**教科書** 『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社  
**参考書等** 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)  
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)

履修コード	303301・303302
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	龜山 晃一 <small>かめやま こういち</small>

**講義のねらい** 基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

**講義の内容・授業スケジュール**

- I. Alfabeto Letras y pronunciación (1~3H)
- II. Saludos/En la cafetería  
名詞の性と数、冠詞、存在文 hay (4~6H)  
前期中間テスト(7H)
- III. En la parada de autobús  
主語人称代名詞、スペイン語の動詞、直接・間接目的語(8~10)
- IV. En la universidad  
直説法現在形-規則・不規則活用動詞 ser, estar, hay (11~13)
- V. ¿De dónde eres?  
形容詞の性と数そして用法、lo+ 形容詞、指示形容詞(14~15)  
前期期末テスト(16)
- VI. En el bar  
語根母音変化動詞、不定詞の用法、日付・曜日の表現(17~18)
- VII. Planes para las vacaciones de verano (19~20)  
従属節の作り方、指示代名詞、数詞(0~199)  
後期中間テスト(21)
- VIII. En el aeropuerto  
時間の表現、その他の不規則動詞、前置詞格人称代名詞(22~24)
- IX. Fiesta de "bienvenida"  
gustar 型動詞、自動詞と他動詞(25~26)
- X. En Teotihuacán  
間接・直接目的格人称代名詞、疑問詞(27~29)  
後期期末テスト(30)

**履修上の留意点** 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。  
**成績評価の方法** 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。  
**教科書** 開講時、指示します。

履修コード	303501・303502
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

講義のねらい	<p>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。</p> <p>2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。</p> <p>3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。</p> <p>4) 基礎的な初等文法を学びます。</p> <p>5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。</p> <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。</p> <p>4-7月はイントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	
成績評価の方法	試験は行わず、平常点で評価します。
教科書	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円
参考書等	『露和辞典』

外国語

履修コード	303601・303602
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	佐野 朝子 <small>さの あさこ</small>

講義のねらい	<p>発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。</p> <p>会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。</p> <p>4-7月は、イントネーション、発音に力を入れる。</p> <p>9-12月は、やさしい短文のききとり、初級文法を学ぶ</p> <p>予習はまずいらなと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	
履修上の留意点	平常点を重視します。
成績評価の方法	絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。
教科書	

履修コード	303701・303702
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい	<p>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。</p> <p>2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。</p> <p>3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。</p> <p>4) 基礎的な初等文法を学びます。</p> <p>5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。</p> <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。</p> <p>6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。</p> <p>2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	
成績評価の方法	何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
教科書	『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税
参考書等	『露和辞典』

外国語

履修コード	303801・303802
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	<sup>あんどく</sup> 安徳 ニーナ

講義のねらい 基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。  
 講義の内容・ 教科書に基づいて講義を進める。  
 授業スケジュール 4-7月 発音、イントネーション。  
 9-12月 読み書きを学ぶ。  
 履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。  
 成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。  
 教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)  
 参考書等 必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	303901・303902
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。  
 講義の内容・ 4-7月 発音、会話を学ぶ。  
 授業スケジュール 9-12月 会話力を一層高める。  
 成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。  
 教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)  
 その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304001・304002
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<sup>おほすか ふみかず</sup> 大須賀 史和

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。  
 講義の内容・ 4-7月 基礎文法の復習。  
 授業スケジュール 9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。  
 成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。  
 教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)  
 その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304101・304102
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<sup>あんどく</sup> 安徳 ニーナ

講義のねらい 一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。  
 講義の内容・ 教科書に基づいて講義を進める。  
 授業スケジュール 4-7月 基礎文法の復習。  
 9-12月 会話と読解に重点をおく。  
 履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。  
 成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。  
 教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)  
 参考書等 必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	林 明人

講義の内容・授業スケジュール 現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

1	pp.1-2	プリント (1) 配布	16	pp.1-2	プリント (2) 配布
2	pp.3-4	(試訳提出)	17	pp.3-4	(試訳提出)
3	pp.5-6		18	pp.5-6	
4	pp.7-8		19	pp.7-8	
5	pp.9-10		20	pp.9-10	
6	pp.11-12	(試訳提出)	21	pp.11-12	(試訳提出)
7	pp.13-14		22	pp.13-14	
8	pp.15-16		23	pp.15-16	
9	pp.17-18		24	pp.17-18	
10	pp.19-20		25	pp.19-20	
11	pp.21-22	(試訳提出)	26	pp.21-22	(試訳提出)
12	pp.23-24		27	pp.23-24	
13	pp.25-26		28	pp.25-26	
14	pp.27-28		29	pp.27-28	
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価がいつでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書

教員が作成したものを uses。

外国語

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 辞書を駆使して、現在イギリスで日常使われている英語を学びます。2004年エディンバラ国際演劇祭で初演された戯曲 *The Wonderful World of Dissocia* を読みます。芝居は見えていません。

講義の内容・授業スケジュール

本を読み、意味を取っていきます。その際、どういう事を伝えようとしているのか、想像力を働かせて読み取る。現代のチャキチャキの言葉で書かれているため、見た目は易しくても、内容を理解するのは難しいです。(1回目)ガイダンス(2-10)2ページずつ(11-14)3ページずつ(15)前期試験(16)試験解説(17-20)2ページずつ(21-29)3ページずつ(残りは翻訳します)

履修上の留意点

ほとんど毎回当てて、読んで意味を言ってもらいますから、必ず1回の授業の全範囲を予習してくる。辞書の文例まで読まない、意味が分からないことがあります。1回目の授業から必ず出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。

教科書

Anthony Neilson, *The Wonderful World of Dissocia / Realism*, Methuen/drama, £ 9.99, ISBN978-0-7136-8715-6 (初回の授業の時に説明します)。

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい

英語の総合的な読解力向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

やさしい英文で書かれたイギリスの歴史の、正史には無い赤裸々な真実にスポットをあてます。内容把握、速読といった読解力のアップが目標です。

履修上の留意点

教材にDVDが付いていて、副読本、補助教材になっているので、コンピューターがあると便利です。

成績評価の方法

前・後期末試験のほか、レポート、出席を重視します。

教科書

*Horrible Histories: England*, 南雲堂, 2, 000円, ISBN978-4-523-17578-0



履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	高野 秀夫

外国語

**講義のねらい** 今や、日常生活のなかに real time で入って来る世界のニュースを捉える学修は欠かせない。この時事英語の授業では、できるだけ新しい英語ニュースの教材で、時々刻々と変わる国内外の動向を異文化の視点で捉え、国際社会の理解に努め、英語力増強を目指す。平易な英文の作成にも努める。

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書（毎回1章の2/3ぐらい進む予定）では、時事英語（Current English）の特徴“最初の部分で全文の内容が捉えられるように書かれている”を読み込んで生きた英語の理解に努める。また毎回時事英語のプリントで読解力と英語表現能力の増強を図る。

**履修上の留意点** 毎時間、英語での質疑応答があるので予習は欠かせないこと。  
英語で世界の動きを捉える習慣を身に付けること。

**成績評価の方法** 前、後期末テスト、平常点（出席点、レポート等）

**教科書** ・ An Introduction to Media English（北星堂）  
・プリント

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	林 明人

**講義の内容・授業スケジュール** web 上の CNN, Herald Tribune, ASAHI などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。  
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。  
遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の退席は認めない。なるべく多く試験を実施するつもりである。

1	プリント	1	16	プリント	7
2	プリント	1	17	プリント	8
3	プリント	2	18	プリント	8
4	プリント	2	19	小テスト	
5	プリント	3	20	プリント	9
6	プリント	3	21	プリント	9
7	プリント	4	22	プリント	10
8	プリント	4	23	プリント	10
9	小テスト		24	プリント	11
10	プリント	5	25	プリント	11
11	プリント	5	26	プリント	12
12	プリント	6	27	プリント	12
13	プリント	6	28	小テスト	
14	プリント	7	29	社説を読む	
15	前期試験		30	後期試験	

**履修上の留意点** 遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

**成績評価の方法** ①試験（40%）②小テスト（30%）③出席（30%）で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

**教科書** 教員が作成したものを用います。

**参考書等** Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	岸本 <sup>きしもと</sup> 茂和 <sup>しげかず</sup>

講義のねらい	Back-to-Basics!—基本に帰る—ことをこのクラスの標語とする。困難な現代的課題—地球温暖化—をやさしい英語で読んでみたい。副読本として A Clean Sea: The Rachel Carson Story (Cascade Pass) を並行して読んでゆく。
講義の内容・授業スケジュール	(1) Orientation (2~7) p.1~p.8 (8)《遊び時間》英語固有名詞について〈プリント配布〉(9~14) p.9~p.15 (15) 中間試験 (16~21) p.16~p.23 (22~23)《遊び時間》英語慣用句について〈プリント配布〉(24~29) p.24~p.44 (30) 最終試験
履修上の留意点	予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可とする。授業には英語辞書をかならず携帯のこと。電子辞書も可。
成績評価の方法	中間試験、最終試験、出席状況を基本に評価する。
教科書	1. Robin C. Friend and Judith Love Cohen.-A Clean Sky: The Global Warming Story. (Cascade Pass). \$ 7.00 (Amazon. com jp で購入できる。約850円)

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

外国語

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級から上級(英検二級、準一級、一級)程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることを目標とする。講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングで聞いたニュースの意味を、文字を通して、確認する。第四段階は、その英文を、ヒヤリングで聞いたように、できるだけ忠実に再生する。  
年間の授業計画は次の通りである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『新版』(UNIT 1)
- 第三回 『新版』(UNIT 2-4)
- 第四回 『新版』(UNIT 5-10)
- 第五回 『新版』(UNIT 11-13)
- 第六回 『新版』(UNIT 14-16)
- 第七回 『新版』(UNIT 17,18)
- 第八回 『新版』(UNIT 19,20)
- 第九回 『英語ニュース』(UNIT 1)
- 第十回 『英語ニュース』(UNIT 2)
- 第十一回 『英語ニュース』(UNIT 3)
- 第十二回 『英語ニュース』(UNIT 4)
- 第十三回 『英語ニュース』(UNIT 5)
- 第十四回 『英語ニュース』(UNIT 6)
- 第十五回 後期試験  
『英語ニュース』(UNIT 7-9)
- 第十六回 『英語ニュース』(UNIT 10)
- 第十七回 『英語ニュース』(UNIT 11)
- 第十八回 『英語ニュース』(UNIT 12)
- 第十九回 『英語ニュース』(UNIT 13)
- 第二十回 『英語ニュース』(UNIT 14)
- 第二十一回 『英語ニュース』(UNIT 15)
- 第二十二回 『CNN』(UNIT 1)
- 第二十三回 『CNN』(UNIT 2)
- 第二十四回 『CNN』(UNIT 3)
- 第二十五回 『CNN』(UNIT 4)
- 第二十六回 『CNN』(UNIT 5)
- 第二十七回 『CNN』(UNIT 6)
- 第二十八回 『CNN』(UNIT 7)
- 第二十九回 『CNN』(UNIT 8)
- 第三十回 後期試験:  
『CNN』(UNIT 9-12)

※『「新版」カプセル・ニュース英語を聞く』(上記では、『新版』)  
『英語ニュースで読む現代社会 2008』(上記では、『英語ニュース』)  
『CNN:ビデオで見る世界のニュース』(上記では、『CNN』)  
なお、ヒヤリングは毎回行う。

履修上の留意点  
成績評価の方法

授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を求める。前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『「新版」カプセル・ニュース英語を聞く』 三修社 1,300円  
ISBN 4-384-33368-4-C1082
- 2) 『英語ニュースで読む現代社会 2008』 金星堂 1,800円  
ISBN978-4-7647-3868-3 C1082
- 3) 『CNN:ビデオで見る世界のニュース』 朝日出版社  
ISBN978-4-255-15450-3 C1082
- 4) プリント

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	<sup>やじま なおこ</sup> 矢島 直子

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

イギリスの新聞を読めるようになってもらいたいです。  
イギリスの大衆紙、高級紙の記事を集めた教科書を読んで、意味を取ってもらいます。  
(1回目) ガイダンス (2) 1課 (3-14) 2-9課 (15) 前期末試験 (16) 試験解説 (17-29)  
10-16課 (30) 後期末試験

履修上の留意点

毎回どんどん当てて読んでいってもらいますから、辞書を引いて意味が分るまで予習してこること。必ず1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法  
教科書

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に評価します。  
越 朋彦『イギリスの新聞を読む』 研究社、1, 900円+税、ISBN978-4-327-42171-7

外国語

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>おちまい かずあき</small> 落合 和昭

外国語

講義のねらい

このクラスに副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級（二級、準一級、一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『5分間』(UNIT 1～4)、『口語』1-1、UK、BT
- 第三回 『5分間』(UNIT 5～8)、『口語』1-1 WP、SP
- 第四回 『5分間』(UNIT 9～12) 『口語』1-2 UE、BT
- 第五回 『5分間』(UNIT 13～16)、『口語』1-2 WP、SP
- 第六回 『5分間』(UNIT 17～20)、『口語』1-3 UE、BT
- 第七回 『5分間』(UNIT 21～24)、『口語』1-3 WP、SP
- 第八回 『5分間』(UNIT 25～28)、『口語』1-4 UE、BT
- 第九回 『5分間』(UNIT 29～32)、『口語』1-4 WP、SP
- 第十回 『5分間』(UNIT 33～36)、『口語』1-5 UE、BT
- 第十一回 『5分間』(UNIT 37～40)、『口語』1-5 WP、SP
- 第十二回 『口語』1-6 UE、BT 映画台本の読み方
- 第十三回 『口語』1-6 WP、SP 映画台本の読み方
- 第十四回 『口語』1-7 UE、BT 映画台本の読み方
- 第十五回 前期試験：『5分間』(UNIT 37～40)
- 第十六回 『口語』1-7 WP、SP 映画台本の読み方
- 第十七回 『口語』2-8 UE、BT、WP、SP
- 第十八回 『口語』1-9 UE、BT、WP、SP
- 第十九回 『口語』1-10 UE、BT、WP、SP、
- 第二十回 『口語』2-1 UE、BT、WP、SP
- 第二十一回 『口語』2-2 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 1)
- 第二十二回 『口語』2-3 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 2)
- 第二十三回 『口語』2-4 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 3)
- 第二十四回 『口語』2-5 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 4)
- 第二十五回 『口語』2-6 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 5)
- 第二十六回 『口語』2-7 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 6)
- 第二十七回 『口語』2-8 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 7)
- 第二十八回 『口語』2-9 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 8)
- 第二十九回 『口語』2-10 UE、BT、WP、SP、『恋人』(UNIT 9)
- 第三十回 後期試験：『恋人』(UNIT 10、11、12)

※ 『5分間口語英語表現』(上記では、『5分間』)

『コミュニケーションのための口語英作文』(上記では、『口語』)

Useful Expression →UE、Basic Training →BT、Writing Practice →WP、Speaking practice →SP

『恋人たちの予感』(上記では、『恋人』)

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験は20%、その他（課題、小テスト、授業中の発表等）は60%とする。出席率は前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

教科書

- 1) 『恋人たちの予感』 松柏社 1850円  
ISBN4-88198-411-X C3083
- 2) 『5分間口語英語表現』 南雲堂 700円  
ISBN4-523-17216-1
- 3) 『コミュニケーションのための口語英作文』 成美堂 1600円  
ISBN4-7919-5026-7 C1082
- 4) プリント

履修コード	286601
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>おおば なおき</small> 大庭 直樹

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。

第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。

第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。

第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	西村 祐子

外国語

講義のねらい

前期は米国シアトル市のワシントン大学とテレビ会議でつなぎ、ネイティブアメリカンのNPO代表を中心に、世界のマイノリティ・被差別文化について英語文献を読み、話し合う。後期はインターネットなどを利用して各地のマイノリティ文化、被差別文化についての英語情報を得、それを英語でまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 小テスト、授業についての説明
2. 北米のマイノリティ：ネイティブアメリカンについて
3. ワシントン大学とのテレビ会議（1）
4. ワシントン大学とのテレビ会議（2）
5. 日本のマイノリティ：被差別部落の文化
6. 日本のマイノリティ：アイヌの文化
7. 日本のマイノリティ：沖縄の文化
8. ワシントン大学とのテレビ会議（3）
9. ワシントン大学とのテレビ会議（4）
10. 日本のマイノリティ：在日社会
11. 日本のマイノリティ：日系社会
12. 前期内容の英語でのまとめ（1）
13. 前期内容の英語でのまとめ、レポート作成（2）

後期

1. ネイティブアメリカンの思想研究
2. アジアのマイノリティ研究（1）
3. アジアのマイノリティ研究（2）
4. アジアのマイノリティ研究（3）
5. まとめと英語レポート作成（インターネットによる調査）
6. ヨーロッパのマイノリティ研究（1）
7. ヨーロッパのマイノリティ研究（2）
8. まとめと英語レポート作成
9. ワシントン大学とのテレビ会議（5）
10. ワシントン大学とのテレビ会議（6）
11. ワシントン大学とのテレビ会議（7）
12. まとめと英語レポート作成
13. 英語による研究プレゼンテーション（各自）

履修上の留意点

受講者は知識を英語で習得しそれをテレビ会議で発信するためのプレゼンテーション能力が必要となる。会議に参加できるだけの英語力がもとめられる。英語で内容を理解するための知識をインターネットなどを利用して渉猟するので読む力が必要。英語レポート作成もあるので書く力も磨かれる。

成績評価の方法  
教科書等  
その他の

平常点（出席点、発表、レポート、会議での発表力など）で評価。定期試験は行わない。教場にて指定。

授業で指定。

本クラスは英語上級者用のクラスなので、少人数クラスとする。基礎的な英語力を査定するために第一回目にスクリーニングを行う(小テスト)。

履修コード	286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	大庭 直樹

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。  
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。  
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。  
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。  
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。  
 後期からは、パワーポイントを使って、テーマを決めてプレゼンテーションをしよう。

講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらおう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	264201・264301
科目名	英会話
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1 WARREN WILSON ROGER BARNARD  
 ISBN-10 9620056655 10 digit



履修コード	264401
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

外国語

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・  
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please do not take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

履修上の留意点

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

The first class is very important, so please do not be absent!

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

履修コード	264501
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・  
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

The first class is very important, so please do not be absent!

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

外  
国  
語

履修コード	264601・264701
科目名	英会話I
担当者名	ソルタ, P. N. F.

外国語

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice communicating in natural spoken English about topics of interest to them. This enables students to build up their speaking and listening skills, and to improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using natural spoken English.

講義の内容・  
授業スケジュール

The instructor will provide the students with the classroom materials. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

The structures / functions to be covered are: Introductions / Classroom Language, Likes and Dislikes / Adjectives, Locations / Telephone Language, There is ... There are ... / Quantities, Have ... , Want ... , Would like ... / Shopping, Uncountable nouns / At a Restaurant, Present Continuous for arrangements, Fashion/Clothing, Present Simple / Occupations, Adverbs of frequency/Routines, Transportation / Work & School, The Present Tenses / Frequency,

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60 % ), and a mark based on a student's attitude in class and class performance throughout the year (40 % ). The end-of-year exam will contain listening and written exercises. In making a final evaluation, bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence ( +10 % ) or two absences ( +5 % ) throughout the year.

教科書

No textbook will be used in this course.

履修コード	264801・264901
科目名	英会話
担当者名	レーン, C. M.

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can.

成績評価の方法

If a student is too shy then they might find this class difficult.

- (ア) Attendance 20 %
- (イ) Participation during class 50 %
- (ウ) Individual presentation 10 %
- (エ) Group presentation 20%

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

- A good dictionary
- A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265001
科目名	英会話I
担当者名	ピアス, D. M.

外国語

講義のねらい

(26500)ENGLISH CONVERSATION I

COURSE CONTENT AND PURPOSE: Each class session will concentrate on diversified practice of speaking and listening. Improved English fluency should raise scores in standard English tests and lead to better employment.

講義の内容・  
授業スケジュール

METHOD OF INSTRUCTION: During most of the class period you will be talking to each other in groups. If it embarrasses you to speak English loudly, you should not take this class. The textbook will be used intensively, guiding you through every detail of English conversation. Practice in aural comprehension, grammar, reading and composition will advance through simultaneous self-testing. Each class meeting will comprise a contrastive sociological analysis of a typical social interaction.

- 1 Self-introductions
  - 2 Addressing People
  - 3 Social Hierarchy
  - 4 Professional Titles
  - 5 Self assertion and Conformity
  - 6 Identity in a Group
  - 7 Motives of Gift Giving
  - 8 Social Cohesion
  - 9 Informal Communication
  - 10 The Sense of Modesty
  - 11 Styles of News Presentation
  - 12 Coverage of Scandal
  - 13 Personal Freedom
  - 14 Group Harmony
  - 15 The Consumer Society
  - 16 Corporate Philanthropy
- SECOND SEMESTER
- 1 Social Classes
  - 2 The Idea of Success
  - 3 Candor
  - 4 Favoritism
  - 5 Authority
  - 6 Arrogance and Compassion
  - 7 The Employment System
  - 8 Company Loyalty
  - 9 Political Prestige
  - 10 Business Wealth
  - 11 Family Loyalty
  - 12 Democracy in Family Attitudes
  - 13 Courtship
  - 14 The Marriage Partner
  - 15 Teenage Employment
  - 16 Adolescent Development

履修上の留意点

ATTENDANCE: The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received. Weddings, funerals, seminars, sports activities, etc. do not form exceptions to the 6-absence rule.

成績評価の方法

EXAMINATIONS: There will be frequent small exams. Such exams are didactic, not disciplinary. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook. Exams are not announced beforehand.

TESTS AND GRADING: Exams are didactic, not disciplinary. Tests will be frequent, brief, and unannounced. There are no make-up tests. All of test questions will be taken from the textbook, as practiced in class. Anything covered in class may appear in a quiz. Attendance: The student may miss three classes in the semester, but if absences are excessive the final evaluation will be one letter-gradeless. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not form exemptions from the allowed number of absences. Grading: Instead of final exams, final grades will be calculated from ordinary class performance.

教科書

TEXTBOOK:Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting a diagnostic test will determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. EXAMINATIONS:There will be frequent unannounced, small exams. Such exams are didactic, not disciplinary. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

外国語

履修コード	265101
科目名	英会話
担当者名	ピアス、D. M.

外国語

講義のねらい

COURSE CONTENT AND PURPOSE: Each class session will concentrate on diversified practice of speaking and listening. Concentration will be upon communication rather than simple expressions; rather than to learn English, emphasis is on learning to use what you already know. Improved English fluency should raise scores in standard international English tests and lead to better employment.

講義の内容・授業スケジュール

METHOD OF INSTRUCTION: During most of the class period you will be talking to each other in groups. If it embarrasses you to speak English loudly, you should not take this class. The textbook will be used intensively, guiding you through every detail of English conversation. Practice in aural comprehension, grammar, reading and composition will advance through simultaneous self-testing. Each class meeting will comprise a contrastive sociological analysis of a typical social interaction.

CLASS SCHEDULE: FIRST SEMESTER

- 1 Self-introductions
- 2 Addressing People
- 3 Social Hierarchy
- 4 Professional Titles
- 5 Self assertion and Conformity
- 6 Identity in a Group
- 7 Motives of Gift Giving
- 8 Social Cohesion
- 9 Informal Communication
- 10 The Sense of Modesty
- 11 Styles of News Presentation
- 12 Coverage of Scandal
- 13 Personal Freedom
- 14 Group Harmony
- 15 The Consumer Society
- 16 Corporate Philanthropy

SECOND SEMESTER

- 1 Social Classes
- 2 The Idea of Success
- 3 Candor
- 4 Favoritism
- 5 Authority
- 6 Arrogance and Compassion
- 7 The Employment System
- 8 Company Loyalty
- 9 Political Prestige
- 10 Business Wealth
- 11 Family Loyalty
- 12 Democracy in Family Attitudes
- 13 Courtship
- 14 The Marriage Partner
- 15 Teenage Employment
- 16 Adolescent Development

履修上の留意点

ATTENDANCE: The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received. Weddings, funerals, sickness, sports events, seminars, etc. do not form exceptions to the 6-absence rule.

EXAMINATIONS: There will be frequent small exams. Such exams are didactic, not disciplinary. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook. Exams are not announced beforehand.

成績評価の方法

TESTS AND GRADING: Exams are didactic, not disciplinary. Tests will be frequent, brief, and unannounced. There are no make-up tests. All of the test questions will be taken from the textbook, as practiced in class. Anything covered in class may appear in a quiz. Attendance: The student may miss three classes in the semester, but if absences are excessive the final evaluation will be one letter-grade less. Weddings, funerals, sickness, seminars, etc. do not from exemptions from the allowed number of absences. Grading: Instead of final exams, final grades will be calculated from ordinary class performance.

教科書

TEXTBOOK: Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group. In the first class meeting a diagnostic test will determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. EXAMINATIONS: There will be frequent unannounced, small exams. Such exams are didactic, not disciplinary. All exam questions will be questions that have been practiced in class, and are printed in the textbook.

その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

履修コード	265201
科目名	英会話I
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい

This course enables students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容・授業スケジュール

[1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams on selected textbook activities.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence of 1/3 of classes will result in a failing grade.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss  
 title: *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4*  
 publisher: Longman  
 date: 2003  
 ISBN 0-13-183937-3



履修コード	265301
科目名	英会話
担当者名	ロンゴ, T.

外国語

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when ... ? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of ... ? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

*Fifty-fifty* Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5  
Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287401
科目名	英会話II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい

This is an elective course which aims to improve your English conversation skills. So, rather than use one textbook, study materials will draw from a variety of resources, which will include textbooks, DVDs, internet articles and etcetera. The teacher's role will be a facilitator in this class and students will be expected to take on responsibility for leveling up their English spoken skills. This course is for the students who are really interested in advancing their all round English conversation skills.

講義の内容・授業スケジュール

Due to the conversation focus of this class, you must be prepared to come to every class ready to speak English. Although the teacher will provide stimulus and models, students are expected to spend some of their own time following up on in class topics. This will help you be prepared to participate in class activities. Plus your individual contribution will be a high part of your grade.

履修上の留意点

Although this course may be difficult at the start, you will improve your speaking if you participate regularly and actively in class.

成績評価の方法

1. PERFORMANCE ASESMENT:

You will be assessed on multiple individual, pair and small group performances. These will include formats such as: interviews, role plays, small dramas, individual presentations, conducting small group discussions and etcetera.

2. ATTENDANCE:

Attendance, participation and attitude essential!

教科書  
参考書等

Given in class

Bring notepaper and some kind of English electronic dictionary to class.

履修コード	287501
科目名	英会話II
担当者名	ロンゴ, T.

外国語

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when ... ?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because ...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書

*English Firsthand 2* ISBN 962-00-5347-8

Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287601
科目名	英会話II
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい	This course will enable students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class..
講義の内容・授業スケジュール	[1]Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams on selected textbook activities.
履修上の留意点	Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence of 1/3 of the scheduled classes will result in a failing grade.
成績評価の方法	Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.
教科書	author: Steven Molinsky and Bill Bliss title: <i>Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4</i> publisher: Longman date: 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	287701
科目名	英会話III
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい	English Conversation III Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.
講義の内容・授業スケジュール	First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important! Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance.
履修上の留意点	ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also. * It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time. The first class is very important, so please do not be absent! Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.
成績評価の方法	Attendance : 50% Grading: Class participation evaluation and attendance
教科書	There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used. Notebooks will be checked in the second class.
その他	I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

履修コード	287801
科目名	英会話III
担当者名	ピアス, D. M.

外国語

講義のねらい	PURPOSE: Dedicated to raising English proficiency for the examinations in the shushoku katusudo process. This is the highest level of English conversation practice offered by the university; intense practice will be in more difficult levels of English.
講義の内容・授業スケジュール	PROGRAM: Practice dialogues will introduce topics concerning commerce, economics, and politics; you will practice in dialogue or group. There will be oral exchange of opinions about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, such as you are already capable of conducting. 2) Exchange of opinion on a semi-abstract level, through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation.
履修上の留意点	REGULATIONS: Three absences per semester permitted. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence. Tests are didactic, not disciplinary; they are not announced beforehand.
成績評価の方法	GRADING: Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others; you will be speaking English all the time. Final grade depends 70% on your class performance; examinations have minor effect on the final grade.

履修コード	265401・265701
科目名	英語 L L I
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

1. 小テスト(1)実施(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う)
2. 聞き取り、書き取り訓練(1)
3. 聞き取り、書き取り訓練(2)
4. 聞き取り、書き取り訓練(3)
5. 聞き取り、書き取り訓練(4)
6. 小テスト(2)
7. 英語での自己紹介(1)
8. 英語での自己紹介(2)
9. 英語での自己紹介(3)
10. 聞き取り、書き取り訓練(5)
11. 聞き取り、書き取り訓練(6)
12. 聞き取り、書き取り訓練(7)
13. 小テスト(3)

後期

1. 小テスト(4)
2. 聞き取り、書き取り訓練(8)
3. 聞き取り、書き取り訓練(9)
4. 聞き取り、書き取り訓練(10)
5. 聞き取り、書き取り訓練(11)
6. 小テスト(5)
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語(1)
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語(2)
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語(3)
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語(4)
11. 小テスト(6)
12. 復習とまとめ(1)
13. 復習とまとめ(2)

履修上の留意点  
成績評価の方法

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。  
出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書  
参考書等

配布資料。小テストはTOEIC形式のものを使う(3000円程度)。  
授業中に提示する。

履修コード	265501・265601
科目名	英語 L L I
担当者名	埜 美智子

講義のねらい PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点  
成績評価の方法

表現について研究したり、ことばの広がりを自分なりに探す習慣をつける。  
日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書  
参考書等  
その他

'Discover Great Britain and Ireland', (金星堂) ¥2,200

その都度黒板に板書し、案内する。

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

履修コード	265801・265901
科目名	英語LLI
担当者名	外池 一子

**講義のねらい** リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノログやダイアログなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. 前期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。

- (a) 個音（母音、子音）の識別
- (b) 連結
- (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
- (d) 脱落・同化
- (e) リズム、イントネーション

2. 後期は実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。

- (a) ニュース
- (b) ドキュメンタリー
- (c) 映画、ドラマ
- (d) インターネット

**履修上の留意点**

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

**成績評価の方法**

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

**教科書**

開講時に指示します。

**その他**

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

履修コード	266001
科目名	英語LLI
担当者名	甲斐 捷子

**講義のねらい** 外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

**講義の内容・授業スケジュール**

テキスト各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期後半にはビデオ2本を終了し、American Accent Trainingへ進み、アメリカ英語の特色であるリエゾンの訓練を通して、リスニング力、スピーキング力の飛躍的なレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

**履修上の留意点**

発音の訓練は早いほど良いので、1、2年次での履修が望ましいと思います。

**成績評価の方法**

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

**教科書**

*Sounds Right! Sounds Good!* マクミランランゲージハウス 2,000円

**参考書等**

*American Accent Training 2nd ed. Barrons.* \$39.95

履修コード	266101
科目名	英語 L L I
担当者名	久保 <sup>くぼ</sup> ひさ子

講義のねらい 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。

履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようにお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点

教科書 マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

履修コード	288501
科目名	英語 L L II
担当者名	セイジ、 K

講義のねらい This is an elective course which will be conducted in the LL classroom. So, we will not use a textbook; instead, use the resources of the LL classroom. The teacher and students will both be expected to contribute to this class. This course is for the students who are really interested in English and advancing their English skills considerably.

講義の内容・授業スケジュール Due to the access of abundant resources, expect this class to be more intensive in terms of how much English and the variety of formats that you will be exposed to. Plus your individual contribution will be a high part of your grade.

履修上の留意点 Although this course will be heavy, it is going to be interesting and will advance your English skills.

成績評価の方法 1. INTERACTIVE PRESENTATIONS:  
Multiple individual and pair INTERACTIVE presentations  
2. SMALL GROUP or CLASS DISCUSSIONS:  
Opportunity to conduct small group or class discussions  
3. ATTENDANCE:  
Attendance, participation and attitude essential!

教科書 LL classroom resources

参考書等 LL classroom resources

履修コード	288601
科目名	英語 L L II
担当者名	高橋 <sup>たかはし</sup> 明子 <sup>あきこ</sup>

講義のねらい ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じて映画などの教材やTOEICのリスニング・セクションの問題も取り入れます。テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進め、前期に Unit6 まで、後期に Unit12 までを学びます。

履修上の留意点 毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法 平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書 『CNN：ビデオをで見る世界のニュース（9）』（朝日出版社）2,000円＋税  
ISBN978-4-255-15450-3



外国語

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	甲斐 捷子

**講義のねらい** ABC放送のアメリカ国内向けニュース番組、“World News Tonight”をビデオで学び、英語の運用能力をさらに高めることがこの授業の目的です。ストーリー性の高いニュースを、臨場感を楽しみながら、正確に聞き取り、読み、内容についても話せるように訓練します。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業のはじめに、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握し、さらに語句の解説を英語で行いながら内容を読み進み、同時に内容についても話せるように訓練します。単元の復習の後、小テストを行い、終了とします。テキスト全15章のうち、前期7章、後期8章を終了できる予定です。

**履修上の留意点** 遅刻に気をつけて下さい。授業の冒頭の部分が欠けると、その後の理解に支障が出ます。

**成績評価の方法** 一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、前期試験30%、後期試験30%とします。

**教科書** ABC World News 10 山根繁 /Kathleen Yamane 著 金星堂 2,000円

履修コード	289301
科目名	英語 L L III
担当者名	甲斐 捷子

**講義のねらい** TVニュース英語のインテンシブ・コースです。ABC放送とケーブル・テレビのニュースを同時に並行して学び、学習量を倍にすることで英語力をさらに高め、定着させることがこの授業の目的です。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業のはじめに、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握し、さらに語句の解説を英語で行いながら内容を読み進み、同時に内容についても話せるように訓練します。語句の解説はハンドアウトで配布し、簡単な復習も含めて、1回の授業で1単元を終了します。

**履修上の留意点** インテンシブ・コースですから、遅刻・欠席があると単位取得に支障が出ます。

**成績評価の方法** 一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、前期試験30%、後期試験30%とします。

**教科書** ABC World News 10 山根繁 /Kathleen Yamane 著 金星堂 2,000円  
English for the Global Age with CNN 9 Kansai University ELT Research Group 著 朝日出版社 2,000円

履修コード	289401
科目名	英語 L L III
担当者名	白鳥 義博

**講義のねらい** 2006年から新しく始められた TOEFL iBT テストのリスニングおよびスピーキング・セクション対策のための問題集を使い、たとえば大学での英語の講義を正しく理解したり、講義への質問や意見を適切な英語で述べる練習を行います。北米への留学のためにTOEFL受験を目指す学生だけではなく、たとえば英語による面接試験を受ける準備をしたい学生など、ハイレベルな英語の聞き取りと応答の力を身につけたい学生の受講を広く歓迎します。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期：(1) ガイダンス (2~14) リスニング・セクション対策演習 (15) 前期末試験、後期：(15~28) スピーキング・セクション対策演習 (29) 総復習 (30) 後期末試験

**成績評価の方法** 平常点と出席状況、および定期試験の結果などから総合的に評価する。

**教科書** 前期：喜田慶文、『TOEFLテストリスニング問題350』改訂新版(旺文社、2006年) ¥2,600+税 ISBN978-4-01-093498-2  
後期：追って指示する。

履修コード	289501
科目名	英語 L L III
担当者名	久保 ひさ子

**講義のねらい** 英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストを再生、聞きとり、書きとり、解答し、再生し反復練習する。授業後半は、ABC or BBC ニュースのビデオ or DVD、あるいは、TOEFLの試験問題を使用します。

**履修上の留意点** 実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

**成績評価の方法** 前期試験と授業実習の合計点

**教科書** World Times of Japan, Michigan Action English Step 6

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションI
担当者名	小林 ゲアリンデ

**講義のねらい** ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。  
 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～4) LektionI 今日は私の名前は (5～8) LektionII 家族と友だち (9～12) LektionIII 食物と飲食 (13～16) LektionIV 私の家 (17～20) LektionV 私の一日 (21～24) LektionVI くつろぎの時 (25～29) LektionVII 生涯学習 (30) テスト

**成績評価の方法** 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

**教科書その他** Kursbuch + Arbeitsbuer “Schritte international I” (Huber)  
 ビデオ、カセットを使用する。

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションII
担当者名	小林 ゲアリンデ

**講義のねらい** ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。  
 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～3) LektionI お互いに知り合う (4～6) LektionII 電話での会話 (7～9) LektionIII コーヒーショップで (10～12) LektionIV ヨーロッパ旅行 (16～19) LektionV 買い物 (16～19) LektionVI 自由時間 (20～23) LektionVII 家族と親戚 (24～28) LektionVIII 衣服・百貨店 (29) 復習 (30) テスト

**成績評価の方法** 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

**教科書その他** Neue Ausgabe Teilland 1 “Eurolingua Dutsch 1” (Cornelsen)  
 ビデオを使用する。

履修コード	289601
科目名	ドイツ語IA (選)
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋

**講義のねらい** ドイツ語の勉強のスタートとして初級文法を一年間で学ぶことが、この授業の目的です。ドイツ語の基礎としてどうしても知っておかなければならない事項のみが記載されたコンパクトな教科書を用いますので、まずそこに記された事柄を徹底的に覚えてください。

**講義の内容・授業スケジュール** (1～3) 独和辞典の紹介、文字と発音の基礎の説明 (4～5) 第1課[人称代名詞と動詞の現在人称変化] (6～8) 第2～3課[名詞の性と格] (9～10) 第4課[定冠詞類・不定冠詞類] (11～12) 第5課[語幹の変わる動詞] (13～14) 第6課[前置詞の格支配] (15～17) 第7課[分離動詞・非分離動詞・再帰動詞] (18～20) 第8課[話法の助動詞・未来時制] (21～22) 第9課[動詞の三基本形、過去時制] (23～24) 第10課[完了時制] (25～26) 第11課[形容詞について] (27～28) 第12課[関係文] (29～30) 付録1～2[受動態、接続法]

**履修上の留意点** 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

**成績評価の方法** 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

**教科書** 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

**その他** 実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

履修コード	290201
科目名	ドイツ語IB (選)
担当者名	井村 行子

講義のねらい 講義の内容・授業スケジュール 成績評価の方法 教科書

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。教科書に沿って進めます。少なくとも4課までは終わらせる予定です。

前期と後期の筆記試験の成績によります。  
『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	290801
科目名	ドイツ語II (選)
担当者名	井村 行子

講義のねらい 講義の内容・授業スケジュール 成績評価の方法 教科書

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。第5課から第8課まで教科書後半をやる予定です。

前期と後期の筆記試験の成績によります。  
『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーションI
担当者名	ラリア・三倉, M.

講義のねらい 講義の内容・授業スケジュール

教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。

あくまで全くの初心者にフランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になります。

(1) Alphabet /興味を持たせるための簡単な会話と表現/フランス語発音練習 (2) ~ (4) Leçon 1 (5) ~ (7) L2 (8) ~ (10) L3 (11) ~ (13) L4 (14) ~ (16) L5 (17) ~ (19) L6 (20) ~ (22) L7 (23) ~ (25) L8 (26) ~ (28) L9 (29) ~ (30) L10

履修上の留意点 成績評価の方法 教科書

授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房 ISBN 4-8086-2136-3

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションII
担当者名	ラリア・三倉, M.

講義のねらい 講義の内容・授業スケジュール

フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。

(1) 受講上の諸注意 / à l' Aéroport の1回目 (2) ~ (4) à l' Aéroport (5) ~ (7) à l' hôtel (8) ~ (10) Paris, la nuit (11) ~ (13) Au café (14) ~ (16) Le train (17) ~ (19) Le téléphone (20) ~ (22) invitations (23) ~ (25) les courses (26) ~ (28) Au Restaurant (29) ~ (30) まとめと復習

履修上の留意点 成績評価の方法 教科書

授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。試験はいたしません。通常評価で採点します。教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

履修コード	289701
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	出口 雅敏

講義のねらい フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意/ Alphabet (2) ~ (4) 発音の基礎 (5) ~ (15) 文法の基礎 (名詞の性・数/主語人称代名詞/冠詞/疑問文・否定文・命令文/形容詞/縮約/動詞の現在時制など) (16) ~ (29) 文法の発展 (目的語人称代名詞/中性代名詞/比較/代名動詞/関係代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。\*但し、電子辞書やポケット版辞典は不可です。  
成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点 (出席状況・小テストなど) によって評価します。  
教科書 金子・猪口・松浦・白石・佐久間『プチポワソン』2008年刊 (白水社) 2, 300円+税

履修コード	289711
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	東 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得を目的とします。  
講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意/ Alphabet (2) ~ (3) 発音の基礎 (4) ~ (15) 文法の基礎 (主語人称代名詞/動詞の直説法現在/形容詞の性・数/名詞/冠詞など) (16) ~ (29) 文法の発展 (疑問代名詞/縮約/補語人称代名詞/比較/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。  
教科書 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税, ISBN978-4-560-06083-4  
参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	290301
科目名	フランス語IB (選)
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール 既得の英語力を応用してフランス語の初歩を学びながら外国語で書かれた文章の構造を分析して読解力を高めてゆく。その作業は日本語の文章作法を見直すことにも通じてゆくと思われる。

履修上の留意点 履修した以上、できるだけ最後まで学習する意欲をもちつづけて欲しい。  
成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、各課ごとに行なう練習問題の結果も平常試験として評価の対象にします。

教科書 鈴木隆芳・中野茂『フランス語文法の単位』2007年刊 (駿河台出版社) 2,625円 (税込)

履修コード	290901
科目名	フランス語II (選)
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。  
講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

(1) 受講上の諸注意 (2) (3) 新フランスペット事情 (4) (5) 路面電車の復権 (6) (7) 名前とグローバリゼーション (8) (9) 60回目を迎えたカンヌ映画祭 (10) ~ (29) 夢の職業、他 (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。  
教科書 クリスチャン・ボームルー、荒木善太著『ヴァリエテ・フランセーズ2008』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35192-6  
参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーションI
担当者名	陳 洲拳

講義のねらい 中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話の初歩的な表現を口でスムーズに  
 応答できるように習得する。  
 講義の内容・ 割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そし  
 授業スケジュール て今まで憶えた単語や文型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話を行う。  
 履修上の留意点 学んだ課の本文の録音をよく聞き、まねをして読み、正確に言えるように練習すること。  
 成績評価の方法 後期のテストの成績によって評価する。  
 教科書 陳洲拳他著『中国語耳留学』（隆美出版）2600円（CD2枚付き）

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションII
担当者名	小川 隆

講義の内容・ 「II」とあるが、レベルは「I」と同じ。大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から  
 授業スケジュール 復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもら  
 う。かつて中国語I A・I Bを履修した、でも内容が身につけているわけではない、という現状の受講生  
 を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。  
 成績評価の方法 成績は平常点評価。  
 教科書 楊凱栄『もったのばせる中国語』（金星堂）1900円+税 ISBN 978-4-7647-0671-2

履修コード	289801
科目名	中国語IA（選）
担当者名	吉田 建一郎

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける  
 講義の内容・ (1～6) 四声とピンイン (7～14) 代名詞、「是」と「不是」、名前・月日・曜日の言い方、疑  
 授業スケジュール 問詞疑問文など (15～19) 形容詞述語文、比較文、「在」と「有」、「了」など (20～28) 助動詞、補  
 語、存現文、使役文、受身文など  
 履修上の留意点 積極的に練習に参加し、自主的に努力する意志のある方のみ歓迎。  
 成績評価の方法 平常点（出席状況、積極性）と定期試験をもとに総合的に評価。  
 教科書 内田慶市等『中国語への道一近きより遠きへー』金星堂、2380円（税別）、978-4-7647-0659-0

履修コード	289811
科目名	中国語IA（選）
担当者名	岩崎 皇

講義のねらい 中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、  
 繰り返し練習します。  
 講義の内容・ テキスト(全12課)に沿って日常会話を練習していきます。5月の連休までに発音の練習をし、その  
 授業スケジュール 後はほぼ授業2回で1課進む予定です。  
 履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた  
 場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以  
 内の者を成績評価の対象とします。  
 成績評価の方法 上記の出席を前提とした上で、年間4回行う試験で判断します。  
 教科書 劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円（本体）

履修コード	290401
科目名	中国語IB（選）
担当者名	蘭 明

講義のねらい 発音と聴力の基本訓練を中心とする。  
 講義の内容・ 前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを認めるように集中的練習をする。その  
 授業スケジュール 後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。  
 履修上の留意点 暗誦と実演などがあり、積極性が求められる。  
 成績評価の方法 出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。  
 教科書 董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

履修コード	291001
科目名	中国語II (選)
担当者名	三田村 圭子

講義のねらい 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

講義の内容・授業スケジュール ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。  
②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。  
欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。  
本文の暗記も点数に加算する。

教科書等 董燕・遠藤光暁著『話す中国語北京篇2』(朝日出版社)2500円  
授業開始時に説明する。

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションI
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、必須の語彙を覚えさせ、基礎文法の習得を促す。同時にスペイン語圏についての知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール (1)世界の中のスペイン語・発音とアルファベット(2)自己紹介をする・動詞SERとESTAR(3)自己紹介における形容詞の用い方・所有形容詞(4)場所と位置関係の表現(5)直説法現在規則活用の動詞(6~7)曜日と月・数詞(8~9)再帰動詞(10)直説法現在不規則活用動詞(11) HABERとESTAR(12)動詞GUSTAR(13)食事について(14)天候の表現(15)前期試験(16)命令法(規則活用)(17)依頼の表現(18)現在進行形(19)約束をするときの表現(20)点過去規則活用(21)買い物をする(22)目的語代名詞(23~24)身体各部の名称・病院で・動詞DO LER(25~26)点過去不規則活用(27)線過去(28~29)現在および過去の習慣について(30)後期試験

履修上の留意点 積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法 出席(20%)、短い作文、発話(30%)、2回の口頭試験(50%)。

教科書 Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1,A1. (Libro del alumno)』(S.G.E.L.)

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションII
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい スペイン語のやさしい言い回しで心情などが表現できるようにする。過去の出来事の語り方や、未来の計画の立て方を学ぶ。現代のテーマについてスペイン語で意見を述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール (1~3)自分について話す(4から6)評伝を読む(7から9)習慣と行事(10~12)未来の事柄(13~14)過去と現在(15)前期試験(16~18)比較(19~21)広告文・求人・買い物(22~24)助言をする(25~27)自由時間・世界のお祭り(28~29)未来の計画(30)後期試験

履修上の留意点 以前に学んだ文法の復習をしっかりとっておくこと。積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法 出席(20%)、短い作文、発話(30%)、2回の口頭試験(50%)。

教科書 Francisca Castro Viúdez 『Español en marcha 2,A2. (Libro del alumno)』(S.G.E.L.)

外国語

履修コード	289901
科目名	スペイン語IA (選)
担当者名	亀山 晃一

講義のねらい	初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	<p>I. 発音、アクセント、音節 (1~3)</p> <p>II. 名詞の性と数、冠詞、主格人称代名詞 (4~6)</p> <p>— 前期中間テスト (7) —</p> <p>III. 規則動詞、疑問文、否定文 (8~10)</p> <p>IV. 形容詞の性と数、動詞 ser と estar (11~13)</p> <p>V. hay と estar、指示形容詞、指示代名詞、所有形容詞 (14~15)</p> <p>— 前期末テスト (16) —</p> <p>VI. 時刻の表現、基数 (0~29)、直接目的格人称代名詞 (17~18)</p> <p>VII. 1人称単数が不規則活用する動詞、天候の表現、疑問詞 (19~20)</p> <p>— 後期中間テスト (21) —</p> <p>VIII. 語根母音変化動詞、不定詞の用法、序数 (22~24)</p> <p>IX. gustar 型動詞、基数 (30~100) (25~26)</p> <p>X. 曜日、月、季節 不規則活用の動詞 (27~29)</p> <p>— 後期末テスト (30) —</p>
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	<p>決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。</p> <p>数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。</p> <p>開講時、指示します。</p>

履修コード	290501
科目名	スペイン語IB (選)
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい	基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏を安心して旅行できるコミュニケーション能力習得を目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	<p>(1) コースの説明、アルファベット、簡単な挨拶(1)</p> <p>(2) 1課：あいさつ、カフェで(発音、アクセント、挨拶、数、名詞の性・数、冠詞など)、3課：大学で (ser 動詞と estar 動詞(不規則動詞1)) (2-5)</p> <p>(3) 2課：バス停にて(直説法現在,規則動詞) 4課：どこ出身？(形容詞の性質と用法) (6-9)</p> <p>(4) 5-7課：バルにて、夏休みの計画、空港にて(直説法現在,不規則動詞) (10-15)</p> <p>(5) 8、9課：歓迎会にて、メキシコにて (gustar 型動詞,目的格を使った構文) (16-19)</p> <p>(6) 10課：海にて、太陽の下で(再帰動詞) (20-21)</p> <p>(7) 11、12課： エレーナをを思いながら、マラガの散歩 (現在分詞、進行形、過去分詞、完了形) (22-25)</p> <p>(8) 13課：ロベルトへのメール(比較級、最上級、命令形) (26-30)</p>
履修上の留意点	文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。
成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	<p>毎回の出席、授業参加や各期末の達成度チェック(年二回)によります。</p> <p>菊田/丹波『Entre dos mundos 二つの世界で』同学社 2700円</p> <p>授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。</p> <p>学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。</p>

履修コード	291101
科目名	スペイン語II (選)
担当者名	佐藤 麻里乃

**講義のねらい** スペイン語Iで修得した事項の定着をはかり、また新出事項を習得することによりスペイン語力の向上を目指す。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期(教科書前半)は主にスペイン語Iの復習として、直説法現在形を用いた聞き取りや作文の練習を行う。後期(教科書後半)は同様の練習を通して過去形、未来形などを習得する。

**履修上の留意点** 受講者自身の参加度が重要になるので、できるかぎり欠席をせず、課題には積極的に取り組むこと。

**成績評価の方法** 授業への取り組み姿勢、課題の出来具合、および前期末・後期末の試験(もしくはレポート)を総合して評価する。

**教科書** 大森洋子他『Punto y seguido』朝日出版社  
辞書も持参のこと。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションI
担当者名	安徳 ニーナ

**講義のねらい** ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

**履修上の留意点** 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

**成績評価の方法** 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

**教科書** 安徳ニーナ他著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)、「21世紀のロシア語」(大学書林)

**参考書等** 必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションII
担当者名	安徳 ニーナ

**講義のねらい** 日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

**講義の内容・授業スケジュール** 資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

**履修上の留意点** 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

**成績評価の方法** 新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)学生のレベルにあわせて、その他の資料を用います。

**教科書**

**その他** 講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。



履修コード	290001
科目名	ロシア語I A (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

**講義のねらい** 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。  
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディークラウドを含む)を身につけます。  
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。  
 4) 基礎的な初等文法を学びます。  
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。  
 4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

**講義の内容・授業スケジュール**  
**成績評価の方法**  
**教科書**  
**参考書等**

テストは行わず、平常点で評価。  
 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。  
 ビデオ、オーディオ等を使用します。  
 『露和辞典』

履修コード	290601
科目名	ロシア語I B (選)
担当者名	木村 英明

**講義のねらい** アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的に大変混迷しましたが、今世紀に入ってからは再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール** この授業では、4-7月では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。9-12月ではビデオ等の映像資料も利用する予定です。

**履修上の留意点** 外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出えるような能動的な参加を望みます。

**成績評価の方法** 試験は行わず、平常点で評価します。

**教科書** 桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

**参考書等** 学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。  
 辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	291201
科目名	ロシア語II (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

**講義のねらい** 以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

**講義の内容・授業スケジュール** ロシア語を通して世界を広げていきましょう。  
 4-7月 発音・会話を学ぶ。  
 9-12月 会話力を一層高める。

**成績評価の方法** 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

**教科書** 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

**参考書等** ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	290101
科目名	朝鮮語IA (選)
担当者名	宋 美玲

**講義のねらい** 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

**講義の内容・授業スケジュール** 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

**履修上の留意点** 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

**成績評価の方法** 出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

**教科書** IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,800円＋税

**参考書等** 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

履修コード	290701
科目名	朝鮮語IB (選)
担当者名	宋 美玲

**講義のねらい** 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

**講義の内容・授業スケジュール** 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

**履修上の留意点** 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

**成績評価の方法** 出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

**教科書** IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

**参考書等** 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

履修コード	291211
科目名	朝鮮語II (選)
担当者名	宋 美玲

**講義のねらい** 基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。プリント資料による読解・作文の練習とドラマなどの聞き取り練習を通して実践的な習得を目指す。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、表現力を強化していく。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

**履修上の留意点** 韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。

**成績評価の方法** 受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

**教科書** 授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

**参考書等** 放送大学教材 生越直樹・根本理恵著『韓国語II('02)』（放送大学教育振興会）2,200円＋税  
野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円  
金美仙著『韓国語用言 活用と用言』（三修社）2,500円＋税

## 4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	<small>たておか よしあき</small> 館岡 儀秋

**講義のねらい** ゴルフゲームは、より豊かな余暇時間の体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、楽しくゴルフのラウンドプレーする為の基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3時限目：打撃練習（9I）
- 4時限目：打撃練習（PW・9I）
- 5時限目：打撃練習（PW・9I）
- 6時限目：打撃練習（9I・7I）
- 7時限目：打撃練習（7I・1W）
- 8時限目：打撃練習（7I・1W）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説）
- 12時限目：パッティングラウンド（マナー、エチケットの解説）
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

**履修上の留意点**

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

**成績評価の方法**

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

**その他の**

雨天時及び強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

**講義のねらい**

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめ

**履修上の留意点**

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

**成績評価の方法**

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	竹田 <small>たけだ</small> 幸夫 <small>ゆきお</small>

保健体育

講義のねらい	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2時限目：健康体操とストレッチ体操 3時限目：〃 4時限目：マッサージ法 5時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン 6時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン 7時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台 8時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン 9時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒 10時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン 11時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒 12時限目：発展技の練習 13時限目：自主練習 14時限目：自主練習 15時限目：まとめと評価
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。
成績評価の方法	健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見い出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。
その他	授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

履修コード	195101
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	牧野 <sup>まさの</sup> 茂 <sup>しげの</sup>

講義のねらい バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール  
 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明  
 （バスケットボール）  
 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け  
 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）  
 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）  
 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ）  
 6時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ）  
 7時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ）  
 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）  
 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ）  
 （バドミントン）  
 10時限目：ラケットイング、ストロークの基本技術、ドライブ  
 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム  
 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム  
 13時限目：サービス、ロブ、ブッシュ、シングルスゲーム  
 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム  
 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。  
 成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

保健体育

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	下谷内 <sup>しもやま</sup> 勝利 <sup>かつとし</sup>

講義のねらい ボールの捕球の仕方や打撃練習などのソフトボールの基本技術を習得し、ゲームを行うことによりソフトボールの楽しさを知ってもらいたい。また、授業を通して生涯スポーツとしての基盤を築くことを目的としたい。

講義の内容・授業スケジュール  
 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明  
 2時限目：基本練習①（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）  
 3時限目：基本練習②（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）  
 4時限目：練習試合①（個人記録用紙の記入）  
 5時限目：練習試合②  
 6時限目：練習試合③  
 7時限目：公式試合①  
 8時限目：公式試合②  
 9時限目：公式試合③  
 10時限目：審判の方法（球審、1・3塁審）チームの再編成  
 11時限目：チームの再編成  
 12時限目：公式試合①（個人記録用紙の記入）  
 13時限目：公式試合②  
 14時限目：公式試合③  
 15時限目：まとめ

履修上の留意点 用具：貸与  
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。  
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。  
 成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。出席点に加え、試合毎の個人の記録を実技点、平常点として加算し評価する。

その他 雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。  
 チームを編成してゲームを行うことから、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）
担当者名	おおい たけし 大石 武士

**講義のねらい** ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 講義の内容・授業スケジュール  
 1時限目：オリエンテーション  
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム  
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム  
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム  
 10時限目～14時限目：ゲーム  
 15時限目：まとめ

**履修上の留意点** 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。  
**成績評価の方法** 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	たけだ ゆきお 竹田 幸夫

**講義のねらい** 「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
 2時限目：健康体操とストレッチ体操  
 3時限目：〃  
 4時限目：マッサージ法  
 5時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン  
 6時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン  
 7時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台  
 8時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン  
 9時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒  
 10時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン  
 11時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒  
 12時限目：発展技の練習  
 13時限目：自主練習  
 14時限目：自主練習  
 15時限目：まとめと評価

**履修上の留意点** 服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

**成績評価の方法** 健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

**その他** 授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

履修コード	195201
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	末次 美樹 <small>すえつぐ みき</small>

講義のねらい	室内で行う球技（バスケットボール・ドッジボール）を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時間目：オリエンテーション 2時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術 3時間目：ハーフコート3対3、ゲーム 4時間目：ゲーム（リーグ戦） 5時間目：ゲーム（リーグ戦） 6時間目：ゲーム（リーグ戦） 7時間目：ゲーム（リーグ戦） 8時間目＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術 9時間目：ボールコントロール、ゲーム 10時間目：ゲーム（リーグ戦） 11時間目：ゲーム（リーグ戦） 12時間目：ゲーム（リーグ戦） 13時間目：ゲーム（リーグ戦） 14時間目：ゲーム（リーグ戦） 15時間目：まとめと評価
履修上の留意点	実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。
成績評価の方法	出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	下谷内 勝利 <small>しもやま かつとし</small>

講義のねらい	ボールの捕球の仕方や打撃練習などのソフトボールの基本技術を習得し、ゲームを行うことによりソフトボールの楽しさを知ってもらいたい。また、授業を通して生涯スポーツとしての基盤を築くことを目的としたい。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2時限目：基本練習①（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他） 3時限目：基本練習②（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他） 4時限目：練習試合①（個人記録用紙の記入） 5時限目：練習試合② 6時限目：練習試合③ 7時限目：公式試合① 8時限目：公式試合② 9時限目：公式試合③ 10時限目：審判の方法（球審、1・3塁審）チームの再編成 11時限目：チームの再編成 12時限目：公式試合①（個人記録用紙の記入） 13時限目：公式試合② 14時限目：公式試合③ 15時限目：まとめ
履修上の留意点	用具：貸与 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。出席点に加え、試合毎の個人の記録を実技点、平常点として加算し評価する。
その他	雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。 チームを編成してゲームを行うことから、30分以上の遅刻は認めないものとする。



履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（簡化太極拳）
担当者名	大石 武士

**講義のねらい** 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・軀身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 軀身搬ラン捶・如封似閉・十字手・取勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

**履修上の留意点** 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。  
**成績評価の方法** 出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	牧野 茂

**講義のねらい** バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明  
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ）
- 6時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ）
- 7時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ）
- 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ）  
(バドミントン)
- 10時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

**履修上の留意点** 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。  
**成績評価の方法** 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	195301
科目名	健康・スポーツ実習（キックボクササイズ）
担当者名	末次 美樹

**講義のねらい**

キックボクササイズとは、キックボクシング・ボクシング・空手道・ムエタイ・マーシャルアーツなどの動きを取り入れ、アップスピードな曲と動きを一体化する運動である。持久力強化・腹筋強化・シェイプアップなどに効果があり、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：拳の握り方、基本姿勢の説明
- 3時限目：ストレート、フック、アッパーの練習
- 4時限目：キックの練習
- 5時限目：コンビネーション
- 6時限目：フットワークの練習
- 7時限目：コンビネーション（音楽に合わせる）
- 8～14時限目：総合
- 15時限目：まとめ

**履修上の留意点**

服装：上下とも動きやすいものが良い。裸足でも良いが、なるべくシューズ（室内専用）があったほうが良い。

**成績評価の方法**

出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）
担当者名	高橋 俊介

**講義のねらい**

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 第1日目  
 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）  
 午後：同上
- 第2日目  
 午前：ゲーム  
 午後：〃
- 第3日目  
 午前：〃  
 午後：審判法・ゲーム
- 第4日目  
 午前：〃  
 午後：〃
- 第5日目  
 午前：〃  
 午後：〃

**履修上の留意点**

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

**成績評価の方法**

出席を重視し、総合的に評価する。

**その他**

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）  
 （後期）1月5日（月）～1月9日（金）  
 7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
  - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川校舎
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。  
 該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（トレーニング&太極拳）
担当者名	光永 <sup>みつなが</sup> 吉輝 <sup>よしかる</sup>

**講義のねらい** この講義では午前に、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組（24式）あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2～4式となっているが、ここでは、第一組から第四組（11式）までを学ぶねらいとする。

**講義の内容・授業スケジュール**

1日目

午前：オリエンテーション・体力測定

午後：オリエンテーション・基本動作・第一組（3式）

2日目

午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定

午後：第一組、第二組（3式）

3日目

午前：トレーニング

午後：第一組、第二組、第三組（2式）

4日目

午前：トレーニング

午後：第一組、第二組、第三組、第四組（3式）、総合

5日目

午前：体力測定

午後：総合（1～11式）、テスト

**履修上の留意点**

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

**成績評価の方法**

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

**そ の 他**

尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～17日（木）、（後期）1月5日（月）～9日（金）  
7月13日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。

(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）
担当者名	<small>やまぐち よしひろ</small> 山口 良博

講義のねらい	室内で行われるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	バスケットボール、バレーボール、フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は、主にゲームを通じて技術の習得、体力の向上を図る。 1 時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
その他	再クラス 集中授業コース実施について （1）実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木） （後期）1月5日（月）～1月9日（金） 7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。 （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30 （3）実施場所：玉川校舎 （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。 （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。 該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）
担当者名	<small>あきた こういち</small> 秋田 浩一

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9 時限目：シングルスゲーム 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11～14 時限目：ダブルスゲーム 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の实技テストは行なわない。
その他	30分以上の遅刻は認めない。 再クラス 集中授業コース実施について （1）実施期間：（前期）7月13日（日）～17日（木）、（後期）1月5日（月）～9日（金）7月13日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。 （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30 （3）実施場所：玉川校舎 （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。 （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。 該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

履修コード	196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）
担当者名	村松 誠

講義のねらい バスケットボール、バレーボール、バトミントン教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

：オリエンテーション、授業内容の説明  
（バスケットボール）  
：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け  
：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）  
：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）  
：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）  
：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）  
：ゲーム（2次リーグ）  
（バレーボール）  
：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）  
：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）  
：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）  
：ゲーム（トーナメント）  
（バトミントン）  
：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット  
：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール  
：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム  
：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法  
その他

出席を70%で評価する。残りは30%は、受講態度、ゲーム成果、貢献度を加味して評価する。

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）  
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）  
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。  
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）
担当者名	おおいし なげし 大石 武士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスをとり、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点  
成績評価の方法  
その他

- 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。  
出席率70%、総合評価30%で行う。
- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）  
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）  
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
  - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川校舎
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。  
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

保  
健  
体  
育

履修コード	196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）
担当者名	<sup>まさの</sup> <sup>しげる</sup> 牧野 茂

講義のねらい ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基礎的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットिंग、ストロークの基本（回内・回外）  
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク（1）（スマッシュ、ドロップ）  
コート半面のシングルス・ゲーム  
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）  
サービス、コート半面のシングルス・ゲーム  
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）  
サービス、シングルス・ゲーム  
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク（2）（ロブ、クロス・ネットショット）  
シングルス・ゲーム  
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）  
サービス、シングルス・ゲーム  
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（3）（カット、プッシュ）  
総合練習、ダブルス・ゲーム  
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

ラケットは貸与する。  
服装は、一般的な運動服装とする。  
体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

成績は、出席（70点）と服装・授業態度等（30点）で評価し、60点以上を合格とする。出欠は、午前・午後の二回確認する。

その他の

再クラス 集中授業コース実施について

- （1）実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）  
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）  
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。  
（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30  
（3）実施場所：玉川校舎 体育館およびグラウンド  
（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。  
（5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。  
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）
担当者名	<small>すずき じゅんぺい</small> 鈴木 淳平

講義のねらい 1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。  
技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技術を身につける。  
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム  
2日目：サーブとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム  
3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム  
4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦  
5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点 1. スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。  
成績評価の方法 出席を重視し、評点の80%とします。  
出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。  
その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

その他の 再クラス 集中授業コース実施について  
(1) 実施期間：（前期）7月13日（日）～7月17日（木）  
（後期）1月5日（月）～1月9日（金）  
7月13日および1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。  
(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30  
(3) 実施場所：玉川校舎  
(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。  
(5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。  
該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。  
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

保健体育

履修コード	196501・196502・196503・196504
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション  
2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）  
3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）  
5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）  
6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム  
9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）  
10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム  
13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）  
14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点 1. 本校第一体育館で行う。  
2. 定員は40名とする。  
3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点



履修コード	196601・196602・196603・196604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等) 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス) 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等) 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196701・196702・196703・196704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等) 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス) 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等) 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196801・196802・196803・196804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

**講義のねらい** 半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 3 時限目～4 時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
- 5 時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
- 6 時限目～8 時限目：総合練習、ゲーム
- 9 時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 10 時限目～12 時限目：総合練習、ゲーム
- 13 時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 14 時限目～15 時限目：総合練習、ゲーム

**履修上の留意点**

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

**成績評価の方法**

出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196901・196902・196903・196904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

**講義のねらい** 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 3 時限目～4 時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
- 5 時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
- 6 時限目～8 時限目：総合練習、ゲーム
- 9 時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 10 時限目～12 時限目：総合練習、ゲーム
- 13 時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 14 時限目～15 時限目：総合練習、ゲーム

**履修上の留意点**

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

**成績評価の方法**

出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197001・197002・197003・197004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等) 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス) 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等) 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的なスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197101・197102・197103・197104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい	ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	講義の内容・授業スケジュール 1時限目：オリエンテーション 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム 10時限目～14時限目：ゲーム 15時限目：まとめ
履修上の留意点	(1) 定員：35名 (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。 (3) 教場：体育館
成績評価の方法	評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197201・197202・197203・197204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール  
1時限目:オリエンテーション  
2時限目:ゲームの進め方、練習ゲーム  
3時限目:ゲームの攻め方、守り方、ゲーム  
4時限目～9時限目:基礎技術の応用練習、ゲーム  
10時限目～14時限目:ゲーム  
15時限目:まとめ

履修上の留意点

- (1) 定員:35名
- (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- (3) 教場:体育館

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197301・197302・197303・197304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳)
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMANet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目:オリエンテーション  
2時限目:重心の移動・腹式呼吸運動  
3時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅  
4時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷腿  
5時限目:第三組 左攪雀尾・右攪雀尾  
6時限目:第四組 単鞭・雲手・単鞭  
7時限目:第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚  
8時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立  
9時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂  
10時限目:第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢  
11時限目:総合  
12時限目:総合  
13時限目:総合  
14時限目:総合  
15時限目:テスト

履修上の留意点

- 1) 定員:45名
- 2) 服装:一般的な運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場:体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197401・197402・197403・197404		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（簡化太極拳）
担当者名	おおいし たけし 大石 武士		

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet ・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197501・197502・197503・197504		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）
担当者名	たなか よしたか 田中 佳孝		

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

そ の 他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197601・197602・197603・197604		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル）
担当者名	田中 佳孝		

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
  - 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
  - 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
  - 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
  - 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
  - 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
  - 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
  - 8 時限目～14時限目：ゲーム
  - 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法 基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他 定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197701・197702・197703・197704		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（フットサル）
担当者名	田中 佳孝		

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
  - 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
  - 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
  - 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
  - 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
  - 6 時限目：ゲーム
  - 7 時限目：ゲーム
  - 8 時限目～14時限目：ゲーム
  - 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受けるためには2/3の出席日数が必要。

その他 定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197801・197802・197803・197804		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（フットサル）	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（フットサル）
担当者名	田中 佳孝		

講義のねらい 室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール  
 1時限目：オリエンテーション、ルール説明  
 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム  
 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム  
 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム  
 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム  
 6時限目：ゲーム  
 7時限目：ゲーム  
 8時限目～14時限目：ゲーム  
 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受ける為には2/3の出席日数が必要。

その他 定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

履修コード	197901・197902・197903・197904		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（ダブルダッチ）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（ダブルダッチ）	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹		

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動ある。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール  
 1時限目：オリエンテーション  
 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習  
 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習  
 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認  
 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い  
 6時限目：5回跳び・10回跳び  
 7時限目：ターナーの回転・スピード  
 8時限目：ビデオ学習  
 9時限目：連続跳び  
 10時限目：応用  
 11時限目：応用  
 13時限目：応用  
 14時限目：応用  
 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	198001・198002・198003・198004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ダブルダッチ)
担当者名	<small>すゑつひ みき</small> 末次 美樹

**講義のねらい** ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動ある。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目：オリエンテーション
  - 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
  - 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
  - 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
  - 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
  - 6 時限目：5回跳び・10回跳び
  - 7 時限目：ターナーの回転・スピード
  - 8 時限目：ビデオ学習
  - 9 時限目：連続跳び
  - 10 時限目：応用
  - 11 時限目：応用
  - 13 時限目：応用
  - 14 時限目：応用
  - 15 時限目：応用

**履修上の留意点** 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。  
**成績評価の方法** 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	198101・198102・198103・198104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(卓球)
担当者名	<small>むらまつ まこと</small> 村松 誠

**講義のねらい** 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
  - 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
  - 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
  - 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
  - 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
  - 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
  - 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
  - 8 時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
  - 9 時限目：シングルスゲーム
  - 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
  - 11 時限目：ダブルスゲーム
  - 12 時限目：ダブルスゲーム
  - 13 時限目：ダブルスゲーム
  - 14 時限目：ダブルスゲーム
  - 15 時限目：まとめ

**履修上の留意点** 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

**成績評価の方法** 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の实技テストは行なわない。



履修コード	198201・198202・198203・198204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(卓球)
担当者名	むらまつ めいこと 村松 誠

**講義のねらい** 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットिंग、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

**履修上の留意点** 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

**成績評価の方法** 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198301・198302・198303・198304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	すゑつぐ みさ 末次 美樹

**講義のねらい** 室内で行う球技(バスケットボール・ドッジボール)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時間目：オリエンテーション
- 2時間目：<バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術
- 3時間目：ハーフコート3対3、ゲーム
- 4時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 5時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 6時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 7時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 8時間目<ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
- 9時間目：ボールコントロール、ゲーム
- 10時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 11時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 12時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 13時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 14時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 15時間目：まとめと評価

**履修上の留意点** 実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。

**成績評価の方法** 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198401・198402・198403・198404
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	<sup>すえつぐ みさ</sup> 末次 美樹

**講義のねらい** 室内で行う球技(バスケットボール・ドッジボール)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

1時間目: オリエンテーション  
 2時間目: <バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術  
 3時間目: ハーフコート3対3、ゲーム  
 4時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 5時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 6時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 7時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 8時間目: <ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術  
 9時間目: ボールコントロール、ゲーム  
 10時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 11時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 12時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 13時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 14時間目: ゲーム(リーグ戦)  
 15時間目: まとめと評価

**履修上の留意点** 実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。

**成績評価の方法** 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198701・198702・198703・198704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(バスケットボール)
担当者名	<sup>まさの しげる</sup> 牧野 茂

**講義のねらい** バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

1時限目: オリエンテーション  
 2時限目: ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1  
 3時限目: 2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム  
 4時限目: 2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム  
 5時限目: 3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)  
 6時限目: 4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)  
 7時限目: マンツーマン・オフense(1) ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)  
 8時限目: マンツーマン・オフense(2) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)  
 9時限目: マンツーマン・オフense(3) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)  
 10時限目: モーション・オフense(1) ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)  
 11時限目: モーション・オフense(2) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)  
 12時限目: モーション・オフense(3) ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)  
 13時限目: 総合練習、ゲーム  
 14時限目: 総合練習、ゲーム  
 15時限目: 実技テスト、ゲーム

**履修上の留意点** (1) 定員は50名とする。

(2) 駅沢キャンパス第1体育館で実施する。

(3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

**成績評価の方法** 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198801・198802・198803・198804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(バスケットボール)
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂

**講義のねらい** バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：マンツーマン・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：マンツーマン・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：マンツーマン・オフフェンス(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフフェンス(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

**履修上の留意点**

- (1) 定員は50名とする。
  - (2) 駅沢キャンパス第1体育館で実施する。
  - (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198901・198902・198903・198904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂

**講義のねらい** バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：マンツーマン・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：マンツーマン・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：マンツーマン・オフフェンス(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフフェンス(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフフェンス(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフフェンス(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

**履修上の留意点**

- (1) 定員は50名とする。
  - (2) 駅沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
  - (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199001・199002・199003・199004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（バスケットボール）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：マンツーマン・オフフェンス（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：マンツーマン・オフフェンス（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9時限目：マンツーマン・オフフェンス（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：モーション・オフフェンス（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：モーション・オフフェンス（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：モーション・オフフェンス（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- （1）定員は50名とする。
  - （2）駅沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
  - （3）服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
- 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

成績評価の方法

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ）
担当者名	<small>みづなが よしてる</small> 光永 吉輝他

保健体育

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1回目 4月5日(土) 12:20~12:40 2研-209教場

2回目 4月12日(土) 12:20~12:40 2研-209教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業: 7月14日(月) 13:00~16:10 2研-209教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 9月8日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎

実技: 13:00~17:30 打撃練習

※注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。

2日目 9月9日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他

3日目 9月10日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II

4日目 9月11日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5日目 9月12日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習I(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成20年9月8日(玉川校舎)・9月9日~12日(現地: 3泊4日)

2. 場所:

宿泊: マロウドインターナショナルホテル成田

286-0121 千葉県成田駒井野763-1

電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース: ダイナミックゴルフ成田

289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040

電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員: 40名

4. 集合解散:

(1) 集合 9月8日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場

9月9日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田

(2) 解散 9月12日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田

5. 受講料: 35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成20年5月19日(月)~5月31日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

7. 服装・用具

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法  
その他

出席状況、ゴルフの技術的向上、受講態度を総合的に判断して評価する。

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード）
担当者名	<small>しもやち かつとし</small> 下谷内 勝利他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月5日（土）12：20～12：40 2研—209教場  
2回目 4月12日（土）12：20～12：40 2研—209教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月9日（金）13：00～16：00 2研—209教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義  
1日目 1月29日（木）  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」  
2日目 1月30日（金）  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」  
3日目 1月31日（土）  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」  
4日目 2月1日（日）  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」  
5日目 2月2日（月）  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成21年1月29日（木）～2月2日（月）の4泊5日（現地集合解散）
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話（0195）73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名  
スノーボード 30名（但し、初心者に限る）
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書を保健体育部（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成20年5月19日（月）～5月31日（土）
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能（有料）。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階保健体育部資料室）に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

履修コード	199501・199502
科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）
担当者名	<small>えぐち じゆんいち</small> 江口 淳一

保健体育

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自立的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）

3日目午後： ” ” （戦術と応用）

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

（1）履修者の技術レベルは問わない。

（2）服装は一般的な運動服装とする。

（3）テニスシューズを必ず用意すること。

（4）ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

（1）実施期間：7月13日（日）～17日（木）

7月13日更衣の上、午前10時にテニスコート集合

（2）実施時間：午前10：00～12：00

午後13：00～15：30

（3）実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

（4）定 員：40名とする。

（5）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』

は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限（前期）

履修コード	199701・199702
科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士のコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）

講義：スイングの基本

2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）

講義：マナーとエチケット

3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）

講義：ゴルフルール

4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）

講義：ゴルフコースとラウンドについて

5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

（1）服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）

（2）グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

成績評価の方法その他

（1）実施期間：1月5日（月）～9日（金）

1月7日午前10時に玉川校舎集合

（2）実施時間：10：00～12：00

13：00～15：30

（3）実施場所：玉川校舎グラウンド

（4）費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。

（5）定員：40名

（6）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。



履修コード	200501
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋

保健体育

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願望にはかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者・エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときには、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：人間と健康（体力と健康）
- 3 時限目： " （寿命と健康）
- 4 時限目： " （生活習慣病）
- 5 時限目： " （健康管理法）
- 6 時限目：献血と血液製剤
- 7 時限目：エイズ（エイズの現状と推移）
- 8 時限目： " （エイズの予防・検査・治療）
- 9 時限目： " （人権と差別）
- 10 時限目：体力とトレーニング（トレーニングの方法・運動処方）
- 11 時限目：救命救急（一次救命処置）
- 12 時限目： " （一次救命処置）
- 13 時限目： " （一次救命処置）
- 14 時限目： " （応急処置）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- 授業時間内に次のことを発表するので注意すること。
- (1) 「小テスト」の期日（1、2回実施する予定）
  - (2) 「レポート」の提出期日（1、2回）

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教科書その他

特に指定しない。  
授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

履修コード	200601
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、生涯にわたって、健康寿命をのばすための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1）
- 3 時限目：健康とは何か（2）
- 4 時限目：恒常性と適応、ストレス学説
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：健康の保持増進（1）
- 7 時限目：健康の保持増進（2）
- 8 時限目：WHOの総合健康指標
- 9 時限目：運動と健康
- 10 時限目：栄養と健康
- 11 時限目：睡眠と健康
- 12 時限目：嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1）
- 14 時限目：感染症について（2）
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

講義のなかで紹介する。

履修コード	201201
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	<small>おおし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点  
成績評価の方法  
参考書等

日頃から新聞・雑誌等の応急手当に関連する記事に目を通しておくこと。  
出席・実習および学期末試験で評価する。

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急—応急手当の手引き—』（小学館）700円

その他の

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

履修コード	201401
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい 健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何かI
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何かI
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論I
- 10 時限目：同 II
- 11 時限目：同 III
- 12 時限目：同 IV
- 13 時限目：同 V
- 14 時限目：健康のまとめ
- 15 時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

毎時限配布するプリントを重視して進める。  
出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。  
特に指定するものはない。

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）  
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。

履修コード	201601
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	村松 誠

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法  
教科書

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。  
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	201801
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2） 身体的健康、精神的健康
- 4 時限目：健康とは何か（3） 社会的健康
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養
- 11 時限目：日常生活と健康（2） 休養・睡眠
- 12 時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。  
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

教科書

参考書等

「健康科学－知っておきたい予防医学－」（丸善）  
「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版）  
他は、講義のなかで紹介する。

## Ⅱ 専 門 教 育 科 目

### 1 法律学科フレックスA

履修コード	114411・114412・114421・114422
科目名	法学概論 法学概論A
担当者名	北野 かほる 高橋 ひろき 洋城

講義のねらい

法学部に入っはじめて法学を学ぶひとに、法学科履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

- 法のイメージと法学部の講義科目
  - 法とは何か
  - 法学部ではどう学ぶか
- 法の一般的分類
  - 法の分類
  - 法令の種類
- 近代日本法とその社会
  - 国家と社会
  - 近代日本が受け継いだ法
  - 近代法の変容
- 立法の角度からの法
  - 制定法主義とその法源
  - 法の体系性
- 司法の角度からの法
  - 紛争解決の仕組みと機構
  - 紛争の類型と解決の類型
- 法令の解釈
  - 事実の法的再構成
  - 事実への法令のあてはめ

法  
律

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教科書  
参考書等

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣双書52）有斐閣  
竹下・福井編『はじめての法学』成文堂

その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

履修コード	114511・114512・114521・114522
科目名	公法入門 法学概論B
担当者名	山口 邦夫 塩入 みほも 松本 英俊 金子 昇平

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 前半(刑法入門)
- 刑法とはどのような法律か(国家法体系の中での位置づけ)
  - 刑罰について(国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判)
  - 犯罪が成立するための要件(なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利)
  - いわゆる罪刑法定主義について(事後法の禁止と法の適正手続)
  - まとめと質疑応答
  - 試験
- 後半(行政法入門)
- 行政法とは何か
  - 行政法の法源
  - 行政法の領域
  - 法治行政
  - 行政作用と法
  - 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもないと試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする(計2回)。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教科書  
参考書等

前半・後半ともに教科書は使用しない。  
参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

履修コード	114531・114532・114541・114542
科目名	私法入門 法学概論 B
担当者名	鶴井 俊吉 中濱 義章

講義のねらい

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野ではあるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味を持てるように講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義

(1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域

2. 私法の基本原理

(1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正

3. 私法の法源

(1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条理

4. 私法の効力

(1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力

5. 私法の適用と解釈

(1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈

6. 私法上の権利

(1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性

7. 財産法と家族法

半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教 科 書  
参 考 書 等

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

履修コード	114601
科目名	憲法
担当者名	高畑 英一郎

講義のねらい

すでに中学の「公民」や高等学校の「現代社会」「政治・経済」などで学んできたように、憲法は国家の基本原則、すなわち国家の統治組織・統治作用や権利保障のあり方について定めた基本となる法である。憲法をよく理解した上で、よりよい社会を作り出していくことは、国民としての必須の事柄と思う。

この講義は、立憲主義という近代国家に不可欠な視点から、日本国憲法の意義や内容その問題点などについて、判例・学説を素材に平易かつ具体的に解説していくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1 オリエンテーション、2 国家について・憲法とは何か、立憲主義、3 国民主権、4 天皇制、5 平和主義、6 人権総論(人権の享有主体・人権制約原理)、7 私人間効力、8 法の下での平等、9 幸福追求権、10 思想良心の自由、11 信教の自由、12 学問の自由、13 表現の自由、14 表現の自由の限界、集会・結社の自由、16 身体の自由・適正手続、17 刑事手続の保障、18 職業選択の自由、19 財産権、20 社会権一般・生存権、21 教育を受ける権利、労働権、22 国務請求権・参政権、23 統治の原理、24 立法権(国会)、25 行政権(内閣)、26、司法権(裁判所)、27 違憲審査制、28 地方自治、29 財政、30 憲法史

履修上の留意点

憲法の問題は、案外身近に起こる出来事と関係することが多いので、つね日頃から新聞やニュースの政治問題、社会問題に関心を持つようにすること。

成績評価の方法

学年末試験による。なお受講態度も考慮の対象とする場合がある。

配布プリントにそって講義を行うため、教科書は指定しない。ただ、参考書にあげる判例集と憲法概説書の1冊は必要である。

参考書等

(判例集)

戸松秀典・初宿正典『憲法判例〔第5版〕』有斐閣、2900円、ISBN:9784641130227

(憲法概説書)

【初級者用】

渋谷・赤坂『憲法1・2〔第3版〕』有斐閣、2000円・2100円、ISBN:9784641123083/9784641123090

【中級者用】

松井茂記『日本国憲法〔第2版〕』有斐閣、4200円、ISBN:9784641129096

高橋和之『立憲主義と日本国憲法』有斐閣、2900円、ISBN:9784641129827

【上級者用】

大石真『憲法講義Ⅰ・Ⅱ』有斐閣、各2000円、ISBN:9784641129568/9784641130135

法  
律

履修コード	114701
科目名	憲法
担当者名	西 修

講義のねらい

憲法はいうまでもなく国の最高法規であり、かつ基本法である。憲法に関する基礎的知識を養い、さらに理解を深めるよう、ビデオ、書画カメラ、コピーの配布など、さまざまな工夫をこらして講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| (1) 日本国憲法の制定過程  | (9) 社会権          |
| (2) 憲法の改正と限界    | (10) 身体の自由       |
| (3) 国民主権と象徴天皇制  | (11) 国会の組織と機能    |
| (4) 基本的人権の歴史と意義 | (12) 内閣の機能、議院内閣制 |
| (5) 日本国憲法と平和主義  | (13) 司法の構造と権限    |
| (6) 法の下での平等     | (14) 憲法の保障       |
| (7) 精神的自由権      | (15) 財政・地方自治     |
| (8) 経済的自由権      |                  |

履修上の留意点

履修上の留意点 あらかじめ次週の講義内容を告知するので、予習をしておくように。また講義中に配布した資料についてじっくり復習すること。

成績評価の方法

試験結果にもとづき評価する。授業中試験をする可能性があるので注意すること。とくに授業中試験は追試験を実施しないので要注意。

教科書

西 修編著『エレメンタリ憲法』(成文堂)2008年(価格は未定)

参考書等

(1)西 修著『日本国憲法成立過程の研究』(成文堂)2004年 6,000円+税

(2)各種六法全書など最新の法令集。

その他

私語、途中からの入退室は厳禁。



履修コード	114801
科目名	民法総則
担当者名	向田 正巳

**講義のねらい** 本講義では民法典第1編総則編についての解説を行います。民法とはいかなる法律か、その概要を述べた後、総則に関わる制定法と判例について具体的に検討を行います。

**講義の内容・授業スケジュール** 本講義ではまず私法の体系のなかで、民法の占める位置について検討します。次に民法の体系について検討し、近代市民社会における商品交換法としての民法の性質について考えます。これらの基礎的作業を経た後、総則の各条文と関連する制定法、判例について検討することになります。検討の中心となるのは第5章の法律行為の規定と、第2章、第3章の人、法人についての規定です。

**履修上の留意点** 民法総則は必修科目とされており、法学部で開設されている科目のなかでも特に重要な科目です。授業の無断欠席や私語などは厳に慎み、これからの4年間の法律学習の基礎を作ってください。

**成績評価の方法** 小テスト、期末テストにより評価します。

**教科書** 我妻栄ほか『民法1 総則・物権法(第2版)』勁草書房

**参考書等** 『民法判例百選I 総則・物権 第5版新法対応補正版』有斐閣

法  
律

履修コード	114901
科目名	民法総則
担当者名	熊谷 芝青

**講義のねらい** 市民生活と密接な民法全体の総論的講義を行う。民法の基本的な原理や原則を基礎にした体系的知識が得られることを目的とする。民法典の条文を中心とした規範が実際の事案に適用されることを念頭に置きながら講義を進めていく。学修後、判例でどのように実際の法条文が適用されているかを理解し、発展的学習のための基礎固めができるようにしたい。併せて民法総則を学ぶことで、法律学の考え方を習得することを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1: 民法学の基礎  
法的三段論法と民法の適用・法律解釈の種類
- 2: 私的自治の原則  
私的自治の原則・意思能力・無効
- 3: 行為能力制度  
制限行為能力者・制限能力者の行為・取消
- 4: 法律行為  
成立要件・有効要件(公序良俗違反・強行法規違反)
- 5: 意思の不存在  
心裡留保・虚偽表示・錯誤
- 6: 意思の瑕疵  
詐欺・強迫・消費者契約法
- 7: 代理と代理権濫用
- 8: 表見代理  
110条の表見代理・109条の表見代理・112条の表見代理・表見代理の重畳適用
- 9: 無権代理  
無権代理と相続・利益相反行為
- 10: 時効総則  
時効の援用・時効の利益の放棄・時効の中断
- 11: 取得時効
- 12: 消滅時効

**履修上の留意点** 教科書と六法は必ず持参すること。出席を毎回とることはしないが、数回不定期にとるので注意されたい。また当然のことであるが、受講中の飲食・携帯電話の使用は禁止であり、それに違反した場合、その時点で落第とする場合がある。また板書を多用するので、ノートと筆記道具は必携である。

**成績評価の方法** 期末試験の成績を中心にして行う。出席点を加味する。また飲食・携帯電話使用の場合にはその時点で落第とする場合がある

**教科書** 近江幸治『民法講義I総則(第5版)』(成文堂、2005)

履修コード	115001
科目名	刑法総論
担当者名	松村 格

講義のねらい

刑法総論は、犯罪論・刑罰論・罪数論から成りますが、時間数の都合上、犯罪論に絞って講義します。刑法ないし刑法学を支えている基本原理（罪刑法定主義・責任主義・謙抑主義）および刑法の使命（人権保障・法益保護・秩序維持）については、公法入門の刑法部門で学習したので、その知識を前提として講義を進めます。しかし、刑法の基本原理と使命を理解していないと刑法総論を理解することは不可能なので、今一度、充分に復習して講義に臨んでほしい。その上で、構成要件論、違法論・責任論・未遂論・共犯論について講義します。通説・判例を中心にしながらも、私の考え方も主張します。学生諸君は、どの見解を採用してもかまわないが、すべての問題点について一貫した論理を展開するように学習してください。そして、自分の考えで犯罪論上の諸問題を解決することができるようになってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

①構成要件論・②違法論・③責任論・④未遂論・⑤共犯論の順序で講義します。  
 ①構成要件の意義と機能・不真正不作為犯・故意と過失・構成要件の錯誤・因果関係。②違法性の本質と実質・違法性阻却事由・可罰的違法性・正当防衛・緊急避難・超法規的違法性阻却事由。③責任の本質・責任能力・原因において自由な行為・違法性の錯誤・誤想過剰防衛・期待可能性。④未遂の処罰根拠・実行の着手・中止未遂・不能未遂。⑤正犯と共犯・正犯の正犯性・共犯の従属性・共犯形式・共犯の諸問題・共犯と身分。

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、厳密な理論構成が必要です。そのためには、緻密な論理の展開が必要です。その点が、私法と異なります。したがって、授業に欠席すると、論理の一貫性を習得することができず、結局、刑法を理解することができなくなりますので、欠席しないようにしてください。また、教科書や参考書を読むだけでは、「なぜか」ということが理解できません。「なぜ」有罪になるのか、「なぜ」無罪になるのか、その理由づけがなければ意味がありません。その点について全てを教科書や参考書に記述することは不可能です。黒板に書いて補充説明しますが、黒板に書いたことだけをノートに写しても意味はありません。講義中の先生の話をよく聞いて自分でノートをとる必要があります。そして、納得するまで教科書を何度も読んでください。また、六法全書は、語学における辞書と同じですから、授業には必需書です。判例解説書を参考にすることも必要です。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをしてGPA評価に算入します。年度末試験は論文式です。1度しかありませんので、日々の予習・復習が大切です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要ですので、作文力を養ってください。

教科書等

松村格著『日本刑法総論教科書』（八千代出版）3，500円  
 指定図書・松村格著『刑法学への誘い』八千代出版  
 松村他著『刑法総論』ミネルヴァ書房  
 斉藤誠二編『演習ノート刑法総論』法学書院  
 参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ・総論（第五版）』（有斐閣）  
 曽根/日高編『刑法判例 5 刑法総論』法学書院

その他

教科書と六法全書およびノートは必携のこと。参考書については、刑法の基本的理解が不足している者は指定図書①を、詳細な学習を欲する者は指定図書②を、万偏なく簡潔に理解したい者は指定図書③を購入するとよい。授業では具体的な判例を勉強するために、参考文献②を使用するので購入することを勧める。司法試験目的の者は、参考文献②の購入を勧める。

法  
律

履修コード	115101
科目名	刑法総論
担当者名	山口 邦夫

法  
律

**講義のねらい** 一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生としての自覚をもち、講義や読書を通じて、みづから積極的に学ぶ態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

**講義の内容・授業スケジュール** 次の2期に分けて講義をする。Ⅰ期(9・10月)、Ⅱ期(11・12月)。  
Ⅰ期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。  
刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。  
Ⅱ期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。  
犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の争いを考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

**履修上の留意点** 原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。  
質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質問が可能である。

**成績評価の方法** 上記の小テストが実行できれば、その結果と、学年末試験の成績とを総合して評価し、単位を認定する。

**教科書** 教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、そのつど参考書を紹介する。

履修コード	115301
科目名	会社法
担当者名	荒木 正孝

**講義のねらい** この講義では、会社法(株式会社、持分会社<合名会社、合資会社、合同会社>)の重要かつ基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

**講義の内容・授業スケジュール** 大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、また実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

**履修上の留意点** 平成18年5月1日に「会社法」が施行された。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われてきた法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものである。今年、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関係者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

**成績評価の方法** 会社法は、民法の財産法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法=財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。ただし、教場には、必ず最新の六法を持参する必要がある。

**教科書** 年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。  
教科書は、授業の初めに指示します。  
江頭・岩原・神作・藤田編『会社法判例百選(別冊ジュリストNO.180)』(有斐閣)

履修コード	115701
科目名	債権総論
担当者名	中田 英幸

講義のねらい 本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1)序論(1)  
 (①債権総論とは何か②債権とは何か)  
 (2)債権の「目的」(2-3)  
 (①債権の「目的」の意味②債権の種類)  
 (3)債権の効力(4-13)  
 (①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者遅滞)  
 (4)債権債務の移転(14-18)  
 (①債権譲渡②債務引受)  
 (5)債権の消滅(19-24)  
 (①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同)  
 (6)多数当事者の債権関係(25-30)  
 (①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務)

履修上の留意点

債権総論と債権各論が合わさって債権法を構成するので、債権各論も同時に履修することが望ましい。  
 最新の六法は必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

期末試験により評価する。  
 野村豊弘ほか著『民法III－債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）  
 星野英一ほか編『民法判例百選II債権（第5版新法対応版）』（有斐閣、2005年）  
 他の文献は講義中に指示する。

法  
律

履修コード	115601
科目名	物権法
担当者名	鶴井 俊吉

講義のねらい

物権法の分野について基本的な理解ができるように、できるだけ各制度についての具体的事例をあげて解説する。そして個々の制度や条文が、現実社会で起きるどのような場合を想定して設けられたものであるかを理解できるように講義を進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

物権法は、民法典の第二編「物権」のうち、第1章「総則」、第2章「占有権」、第3章「所有権」、第4章「地上権」、第5章「永小作権」、第6章「地役権」までを対象とする。第7章以降は、3年次以降の「担保物権法」の領域である。

講義スケジュールとしては、ほぼこの順序で解説するが、物権法において、重要であって複雑な問題がある。不動産売買をめぐるトラブルなどにみられるように、契約による物権変動において、物権の移転はいつ生ずるのか、また物権変動に関して、第三者が生じたとき、どのように解決されているか、理論的にもわかりづらい領域であるため、多くの時間を割くつもりである。

(前期(1)～(3)の前半、後期(3)の後半から(6))

(1) 物権法序論

(2) 物権の効力

(①物権の一般的効力②優先的効力③物件的請求権)

(3) 物権の変動

(①序説②物権変動を生ずる法律行為③不動産物権変動の公示④動産物権変動の公示⑤明認方法⑥物権の消滅)

(4) 占有権

(①意義②占有の成立と態様③占有権の承継④効力⑤消滅)

(5) 所有権

(①意義②相隣関係③所有権の取得④共有)

(6) 地上権・永小作権・入会権等

履修上の留意点

物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味を持たないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

なお、民法現代語化や不動産登記法の改正(平成16年)にともない、必ず最新版の六法を持って講義に出席してください。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価する。

「民法2物件」第2版(有斐閣アルマ)を予定している。

講義の最初に指示する。

履修コード	115401・115402
科目名	行政法 行政法総論
担当者名	金子 昇平

講義のねらい 現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に掲示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1) 行政法の基礎 (1~5)  
①行政と法の一般的関係(行政の概念と分類、行政法の成立、行政法の特性) ②日本行政法の基本構造(公法・私法二元論とその有用性、行政法学のあり方) ③行政法の法源(成文法源、不文法源、行政法の効力) ④日本行政法の基本原理(法律による行政の原理、法治主義、行政のコントロール・システムの充実、法の一般原理)

2) 行政過程論 (6~15)  
①行政の行為形成論(行政立法・法規命令と行政規則) ②行政行為(行政行為の意義、行政行為と法の拘束、行政行為の種類、行政行為と裁量、行政行為の効力、行政行為の瑕疵と法律関係、行政行為の附款) ③行政上の契約(問題の所在、行政上の契約の問題点) ④行政指導(意義、行政指導と法の拘束、行政指導と救済制度) ⑤行政計画(意義、計画と法の拘束、計画と救済制度)

3) 行政上の一般的制度 (16~25)  
①行政上の義務履行確保(行政上の強制執行、行政代執行、直接強制、執行罰) ②即時強制 ③行政調査(行政調査の意義及び問題点) ④行政手続(行政手続の意義と機能、適正手続の基本的内容、行政手続法の法源、行政手続法、命令・計画策定手続、手続の瑕疵と処分の効力) ⑤行政情報管理(情報公開、情報公開の理念・意義・展開、情報公開法、行政機関個人情報保護、行政スタイルの変革)

4) 行政過程における私人 (26~30)  
①行政過程における私人の地位 ②行政過程における私人の行為  
行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。  
期末試験の成績により評価する。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

塩野宏『行政法I』(行政法総論)〔第四版〕有斐閣  
塩野宏他編『行政判例百選I、II』(第五版)(有斐閣)

法  
律

履修コード	115801
科目名	刑法各論
担当者名	山口 邦夫

講義のねらい この科目を履修する以前に、刑法総論の単位を取得済みであることを希望する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間を次の4期に分けて講義する。  
I期(4・5月)、II期(6・7月)、III期(9・10月)、IV期(11・12月)。  
I期 犯罪の分類について。犯罪の分類は何のためにするのか、何を基準にして分類するのか、などいろいろな犯罪について一般論を検討する。犯罪の分類は、犯罪学や刑事政策にとっては有用であっても、解釈学にとっては直接の影響はないと思われる。それよりも、各犯罪類型を厳格に解釈することの方が重要であることを指摘する。

II期 通説ともいえる3分類の意義についてふれたあと、いわゆる個人法益に対する罪について検討する。

III期 いわゆる社会法益に対する罪について。

IV期 いわゆる国家法益に対する罪について。

なお、II期、III期、IV期と順次検討する予定であるが、場合によっては、II期の対象を中心に一年間を終り、II・III期の対象は、そのつど関連する個所で、加味してやることになるかもしれない。履修者が30名以内であれば、年間を通じて出席をとりたい。出席カードをもとに、毎回数名の人の問答を中心としたコロキウム方式で授業を進めたい。

履修上の留意点

成績評価の方法  
教科書

少人数の時は、平常点を重視して、期末試験を省略して単位を認定する。  
特に教科書として指定しないが、刑法総論の知識が不十分な人のために参考書として、大塚仁著『刑法入門 第四版』(有斐閣)

履修コード	116001
科目名	裁判法
担当者名	<small>いばたとしはる</small> 五百田俊治

講義の内容・授業スケジュール 民事・刑事・行政裁判手続について、基本理念・概念を示しつつ、実務家の観点から、実際の手続の特色・流れを講義します。

民事・刑事・行政裁判手続の授業割合は、民事6割、刑事3割、行政1割を目安にしています。希望者に、講義中質問し、解答を求めることにより、講義にアクセントをつけることを実施する予定です。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

講義中の私語や携帯電話の使用は厳禁します。講義開始時の遅刻も極力避けて下さい。学年末試験のみで評価します。持ち込みは一切不可で、追試も行いません。  
五百田俊治「裁判法」2007年刊 DTP出版 3300円

法  
律

履修コード	115501
科目名	国際法
担当者名	<small>おうしあん</small> 王志安

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。  
国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

履修上の留意点

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規則、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

成績評価の方法

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのぼすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

教科書  
参考書等

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

その他の

王志安・飯田順三『国際法への誘い』(八千代出版)2006年  
大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(上)(東信堂)2002年 2,800円  
市販されている国際条約集  
授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、power point を利用した講義を行ないます。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

履修コード	115901
科目名	有価証券法
担当者名	なかほま よしあき 中濱 義章

講義のねらい	手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 手形・小切手の意義および性質</li> <li>2 手形法・小切手法の意義および役割</li> <li>3 手形行為の意義・特色</li> <li>4 手形行為の成立時期</li> <li>5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則</li> <li>6 代理人・代表者による手形行為</li> <li>7 無償代理と偽造</li> <li>8 手形関係と手形の実質関係</li> <li>9 手形の振出</li> <li>10 白地手形</li> <li>11 手形の裏書</li> <li>12 為替手形の引受、手形保証</li> <li>13 手形上の権利の取得と善意取得制度</li> <li>14 手形上の権利と手形抗弁</li> <li>15 手形上の権利の消滅</li> <li>16 支払・不渡・遡及</li> <li>17 小切手特有の法制度</li> <li>18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題</li> </ol>
履修上の留意点	六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『ディリー六法』（三省堂）など。 民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。 期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。
成績評価の方法 教科書 参考書等	濱田惟道『手形法小切手法』（文眞堂） 開講時に指示します。 『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣） 山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第2版）』（有斐閣）

法  
律

履修コード	117101
科目名	商法総則・商行為法
担当者名	かわぐち ゆきみ 川口 幸美

講義のねらい	民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	①-⑥は商法総則、⑦-⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①商法総則（商法の意義）</li> <li>②商法の適用（商行為概念・商人概念）</li> <li>③営業譲渡（商号の保護）</li> <li>④商号</li> <li>⑤商業使用人（支配人・その他）</li> <li>⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力）</li> <li>⑦商事売買取引（国際売買取引契約）</li> <li>⑧運送契約</li> <li>⑨仲立人・取次人・商事代理</li> <li>⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ）</li> <li>⑪交互計算</li> </ol>
履修上の留意点	教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権）を同時履修するか、履修済みであることが望ましい。
成績評価の方法 教科書 参考書等	試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。 開講時に指示する。 鴻常夫著「商法総則」（弘文堂） 江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂） 別冊ジュリスト 商法総則・商行為法判例百選（第4版） 小塚莊一郎「ケース商行為法」（商事法務）
その他の	（当然のことですが）授業中に私語・携帯の使用は厳しく注意します。場合によっては退室を命ずる。



履修コード	116701
科目名	担保物権法
担当者名	鶴井 俊吉

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定である。

(前期(1)～(3)の前半、後期(3)の後半から(6))

(1)序論

(①担保物権の役割②種類・概念③効力・性質)

(2)質権

(①序説②動産質③不動産質④権利質)

(3)抵当権

(①序説②抵当権の設定③効力の及ぶ範囲④優先弁済的効力⑤侵害に対する効力等⑥共同抵当⑦根抵当⑧抵当権の消滅)

(4)非典型担保

(①仮登録担保②譲渡担保③所有権留保等)

(5)留置権

(①序説②成立要件③効力④消滅)

(6)先取特権

(①序説②種類③効力④消滅)

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味を持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

なお、民法現代語化や不動産登記法が改正(平成16年)されたので、必ず最新版の六法をもって講義に出席してください。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

「民法3担保物権」第2版(有斐閣アルマ)を予定している。

講義の最初に指示する。

履修コード	117001・117002
科目名	家族法 相続法
担当者名	竹中 智香

**講義のねらい** 民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

**講義の内容・授業スケジュール**

- [前期]
- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
  - (2) 氏と戸籍、親族
  - (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
  - (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
  - (7) 婚姻解消
  - (8・9) 親子：実親子関係
  - (10・11) 親子：養親子関係
  - (12) 後見・保佐・補助、扶養
- [後期]
- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
  - (2) 相続人
  - (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
  - (6) 相続の効力：相続分
  - (7) 相続の効力：遺産の共有
  - (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
  - (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
  - (11・12) 遺言と遺留分

法  
律

**履修上の留意点** 身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

**成績評価の方法** 学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

**教科書** 有斐閣双書『民法(8) 親族 [第4版増補補訂版]』(有斐閣) 1,600円  
有斐閣双書『民法(9) 相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

**参考書等** 六法  
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』(有斐閣) 2,200円  
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

履修コード	116901
科目名	保険・海商法
担当者名	井上 健一

**講義のねらい** 商法のうち、保険取引および海商を含めた国際取引に関する法規整を概観する。この分野は、商法典の条文、もしくは判例の理解のみならず、約款や条約、あるいは商慣習なども含めた実務慣行に注意を払う必要がある。いわば実務との関係で「生きている法」を扱うという意味で、意欲を持って取り組めば非常に面白い内容である。前期は保険法を、特に保険契約法を中心に扱い、後期は海商法およびそれに関連した国際取引に関する契約に対する法規整を扱う。保険会社や商社などの実務に興味がある者は是非参加してほしい。

**講義の内容・授業スケジュール**

- I 保険法
  1. 保険法総論・保険契約法総論
  2. 損害保険契約
  3. 生命保険契約
  4. 傷害保険
- II 海商法・国際取引法
  1. 海商法・国際取引法総論
  2. 海上企業者
  3. 海上運送契約・国際取引契約
  4. 海上危険・海上保険
  5. 国際取引における紛争解決

**履修上の留意点** 民法(総則・債権各論)および商法総則・商行為法を履修済か、履修中であることが望ましい。

**成績評価の方法** 原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で対話式のケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

**教科書** 山下・竹濱・洲崎・山本「保険法」(第2版)(有斐閣) 1900円 4-641-12233-4

**参考書等** レジュメで随時紹介する。

**その他** 授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

履修コード	116101
科目名	民事訴訟法
担当者名	間瀬 清史

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続のみならず、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民事手続の全体像と民事理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

(1～2) 民事紛争の解決制度、(3) 民事訴訟制度の現代的課題、(4) 訴え、(5) 裁判所、(6) 当事者、(7) 第三者による訴訟追行、(8～9) 本案と訴訟要件、(10～11) 当事者と裁判所の役割、(12) 口頭弁論の諸原則、(13) 口頭弁論の準備、(14) 証明と証拠、(15) 証明責任、(16) 当事者の行為による訴訟の終了、(17～19) 終局判決とその効力、(20～21) 複数請求、(22～24) 共同訴訟、(25～26) 訴訟参加、(27) 当事者の変動、(28～29) 上訴・再審、(30) 簡略な手続

履修上の留意点  
成績評価の方法

民事実体法の基本事項について一応の理解を有することが履修の前提となります。日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

名津井吉裕ほか著『民事訴訟法』(法学書院)2007年、3200円(税別)。

参考書等

小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』(悠々社)2001年。  
小林秀之編『法学講義 民事訴訟法』(悠々社)2006年。  
青山善充・伊藤眞編『民事訴訟法の争点〔第3版〕』(有斐閣)1998年。

法  
律

履修コード	116201
科目名	刑事訴訟法
担当者名	松本 英俊

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

前期

- (1・2) 刑事手続の概観・基本原理
- (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒
- (5・6) 任意捜査と強制捜査
- (7・8) 証拠の収集
- (9・10) 逮捕・勾留
- (11・12) 被疑者取調べ
- (13) 被疑者の防御

後期

- (14・15) 公訴・検察官制度
- (16・17・18) 訴因を巡る諸問題
- (19・20) 公判手続
- (21) 証拠の基本原則
- (22) 排除法則
- (23) 自白法則
- (24・25) 伝聞法則
- (26) 上訴・再審

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

追試験は実施しない。

参考書等

参考書等を授業で紹介します。

その他の

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選(第八版)』(有斐閣)2,200円  
授業は講義形式で行う

履修コード	116801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。特に、労働時間法、労働契約法、雇用平等法などです。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。

以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方, (2) 日本の雇用システムの変容と労働法, (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合, (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴, (5) 雇用における男女平等, (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約, (7) 労働条件の変更, (8) 雇用の入りロー採用、採用内定、試用期間, (9) 人事異動－配転、出向、転籍, (10) 賃金、賞与、退職金, (11) 労働時間、時間外労働, (12) 休憩、休日、休暇, (13) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇, (14) 労働災害など

講義の内容・  
授業スケジュール

履修上の留意点

出席は当然のことと考えています。そして、授業のマナーは守ること。途中での退席は認めません。非常の場合は申し出ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましいと考えています。

成績評価の方法

学年末試験（論述式）がメインで、受験をしていないと評価は出しません。気をつけてください。また、確認テストやレポート、中間試験や出席も評価対象です。これらを総合的に評価して、成績を決めます。

追試験は実施します。

教科書

教科書は、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）、入門労働法（金子征史ほか著・有斐閣双書）が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

なお、ただいま教科書（共著・エイデル研究所）を作成中です（準備中）。

参考書等

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが必要です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

履修コード	116301
科目名	社会保障法
担当者名	橋爪 幸代

講義のねらい 社会保障制度の成り立ち、概要について学習した上で、その法的理解を深めることを目的とする。社会保障は、私たちの生活と密接に関わっている。身近な素材を用いて、個別の制度と課題について見解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障法の概念と体系
- II 社会保障法制度の歴史
- III 社会保障法の理論と課題
- IV 医療保障
- V 介護保障
- VI 年金保険
- VII 労災保険
- VIII 雇用保険
- IX 公的扶助
- X 社会福祉
- XI 社会手当

成績評価の方法  
筆記試験によって、評価する。

教科書  
・本沢已代子編著 『トピック社会保障法』不磨書房、2400円、978-4-7972-8542-0  
・労働調査会出版局編、『社会保障法令便覧』、労働調査会、1470円、978-4-897829784

法  
律

履修コード	116501・116502
科目名	行政救済法 行政法各論
担当者名	金子昇平

講義のねらい 現代の行政法は、従来、対象とされていなかった、新たな法分野が統出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。

また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。講義は、行政紛争解決の手段として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような行政上の不服申立て、行政事件、国家賠償事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政救済法の観念(1)
  - 2) 行政争訟法(2~16)
    - ①行政過程における行政争訟(行政上の不服申立て、行政不服審査法、行政審判・苦情処理、オンブズマン)
    - ②行政事件訴訟法(行政事件訴訟法の特徴、抗告訴訟、取消訴訟、取消訴訟の審理、取消訴訟の終了、取消訴訟における仮の救済、無効確認訴訟、争点訴訟、当事者訴訟、不作為の違法確認訴訟、義務付け訴訟、差止訴訟、法定外抗告訴訟、民衆訴訟、機関訴訟、司法審査権の限界)
    - 3) 国家賠償法(17~25)
 

国家賠償(国家賠償法の位置づけと概要、公権力の行使にかかる賠償責任――国家賠償法一条、営造物の設置管理にかかる賠償責任――国家賠償法二条、賠償責任者、民法の通用)
    - 4) 損失補償(26~30)
      - ①意義(損失補償の要否)
      - ②憲法上の補償請求権の要否(補償の内容、財産に対する補償、その他の補償項目)
      - ③国家補償の谷間(違法、無過失の場合、設置・管理無瑕疵の場合、正当行為の結果に関する責任、危険状態にかかる責任)
- 行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。期末試験の成績により評価する。
- 塩野宏『行政法II』(行政救済法)〔第四版〕有斐閣  
塩野宏他編『行政判例百選I・II』第五版(有斐閣)

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
その他

履修コード	116601
科目名	国際紛争解決法
担当者名	王 志安

講義のねらい 国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール 国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点 参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかりとり取ってもらいたい。

power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法 学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書 大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円  
 参考書等 市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。  
 その他 授業は Power Point を使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

法  
律

履修コード	116401
科目名	国際私法
担当者名	佐々木彩

講義のねらい 法律関係の構成要素に外国に関連する要素が一つでも含まれる場合を、一般に渉外的法律関係と呼ぶ。そして、渉外的法律関係に適用すべき法律を指定する規定を定めているのが国際私法である。国際私法は、渉外的法律関係によって生じる紛争を円滑に解決に導く手段のみならず、予めどの国の法律を適用することとなるのか等の予測可能性を高めてくれることにも役立つ。わが国では、「法の適用に関する通則法」という法律を中心に国際私法が形成されている。国際私法は、民法や商法のような実質法のように私法問題の判断基準となる法律とは規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範等と呼ばれることがある。このような他の分野と異なる国際私法的センスを習得できるように講義を進めたいと考えている。国際私法は時として難解な科目であると捉えられがちであるが、国際結婚・離婚、国際養子縁組、国際契約等に関する身近な問題を具体例として取り上げ、できる限り分かり易いものとなるように工夫を試みたい。

講義の内容・授業スケジュール ガイダンス（1）総説（2～3）国際私法の構造（4～5）準拠法の指定（6～7）準拠法の適用（8～9）総論まとめ（10）婚姻の成立（11～12）婚姻の効果（13）離婚（14～15）親子関係の成立（16～17）親子間の法律関係（18～19）後見及び補佐（20）扶養（21）氏名（22）相続（23～24）遺言（25）不法行為（26）物権（27）国際裁判管轄権（28～29）1年間のまとめ（30）

履修上の留意点 基礎となる他の科目（特に家族法）について基礎知識を有することが望ましい。

成績評価の方法 原則として学年末の筆記試験による。

教科書 笠原俊宏著『国際私法要説』文真堂

参考書等 いずれかの六法を常に携帯すること。

その他 授業は講義によって進行するが、随時、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

履修コード	121611・121621・121631・121641・121651・121661
科目名	新入生演習
担当者名	藤本 茂・井上 健一・川口 幸美・松村 格・山口 邦夫・金子 昇平・竹中 智香・荒木 正孝・ 大宮 隆・王 志安・高橋 洋城・中濱 義章

法 律

**講義のねらい** この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新入生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を習得することを期待します。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業は、一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していったと願っています。

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせて、全体としてこれらの基本的なスキルが身につけていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
  - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
  - ・教室での講義の受け方とノートの取り方
2. 基本的な書籍の利用方法
  - ・六法全書の読み方と使い方
  - ・法学用語集や辞書の活用方法
  - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
  - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
  - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
  - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
  - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
  - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

**履修上の留意点** 一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。

**成績評価の方法** 出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

**教科書** 指定教科書はありません。

**参考書** 参考書、課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

履修コード	117701
科目名	比較憲法
担当者名	にし おさむ 西 修

**講義のねらい** 比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効果をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

**講義の内容・授業スケジュール** おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは(研究の意義、比較の対象、方法、限界など)(2) 欧米主要諸国の憲法(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアなど)の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法(中国、韓国、北朝鮮、タイ、カンボジアなど)の概要、(4) 項目別の比較(平和主義、家族条項など)。

**履修上の留意点** 毎回配布するであろう資料を熟読すること。何回か出席をとるかもしれない。

**成績評価の方法** 試験結果にもとづき評価する。授業中試験の可能性あり。授業中試験の場合は追試験をおこなわないのでとくに要注意。

**教科書** 特に指定しない。コピーなどを配付する。

**参考書** (1) 西修著『憲法体系の類型的研究』(成文堂)1997年  
(2) 取り扱う内容に応じて指定する。

**その他** 私語、途中からの入退室は厳禁。

履修コード	118201
科目名	法社会学
担当者名	岡寄 修

講義のねらい

法社会学は、自然科学の領域で成功を収めた近代科学の手法を基礎に、19世紀には心理学、社会学などの個別科学が次々と成立する中で、解釈法学とは異なる新たな法律学を目指して誕生した学問です。講義では、学問の変遷や知識の歴史を振り返り、法社会学誕生に到る経緯を辿ります。

次いで、今日の学問の主流を成す科学的思考と、今日の社会のモデルを成す市民社会との間には、知識と社会における個人主義とデモクラシーを成し遂げた点で、重要な関連性があることを論じ、この観点から今日の日本の分析も試みてみます。

後期に法解釈論を採り上げる場面では、20世紀初めのアメリカにおいて、市場経済と契約自由の堅持を求める自由放任経済陣営と、それを修正しより平等な社会の実現を求めた革新主義陣営との価値の対立を視野に入れ、法解釈とは何かを論じる予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期

序：日本の訪問販売被害：欧米と法制度は同じでも...

- I. 常識と科学：見る以上のことを知る
- II. 科学と超能力：知のデモクラシーと個人主義
- III. エールリッヒの法社会学：観察による法則の発見
- IV. 近代市民社会：身分制度の崩壊と利得追求の容認
- V. 日本とアメリカに見る社会の相違

後期

- VI. 法の概念と解釈：「論理」を装う経験的判断
- VII. 19世紀アメリカ産業社会の到来
- VIII. レッセ・フェールと革新主義：自由競争とその抑制
- IX. 自由主義と福祉社会：個人主義と父権主義
- X. ダーウィンが変えた知の世界：プラグマティズム法学
- XI. リアリズム法学による古典的法思想への批判

履修上の留意点

法学への関心の他に、知識論や歴史、また日本社会の構造などにまで、多くの方面に幅広い関心を持ってほしいと思います。

成績評価の方法

①レポート提出：前期の終りまでに課題を出し、夏休み中にレポートを作成してもらい、提出は後期の講義が始まってからとします。〆切の期限は、課題を出す段階で表示 [例年10月初め]。これに遅れた場合は、満点を70%に減点します。但し、病気やクラブ活動あるいは留学など、公式の証明ができる場合は除外します。

②学年末の論述試験：昨年度までと同様、持ち込みは禁止とします。参照が必要と思われる講義資料は、参考資料として、試験問題に添付します。

①と② [いずれも100点満点] を合計し、これを1/2にして成績を決めることにします。

教科書

講義内容をおを一冊でカバーできる書物はないので、私個人のホームページで講義資料を公開し、これを講義のテキストとします。毎回の講義で、その日の分を配布します。

参考書等

講義資料には、数多くの文献を引用・紹介していますので、それらの原典を、随時、参考図書として活用してください。

その他

私個人のホームページ・アドレスは <http://www7b.biglobe.ne.jp/~lawsociety/index.html> です。

講義で使うプリント [講義資料] は、1年分をまとめてHPに掲載しておきますので、手に入れそなった講義資料は、ここからプリントアウトしてください。

大学の講義で、すべてを伝授することはとてもできません。講義は、受講者に知的刺激を与えることにより、各人に自分の持っている知的関心を発展させてもらうことが狙いです。さまざまな関心を持って、講義に臨んでください。

法  
律



履修コード	117801
科目名	日本法制史
担当者名	<small>しげのたからる</small> 茂野隆晴

講義のねらい 全ての学問には史学がある。法を学ぶものにとって、もっとも身近にある史学が法制史である。われわれは来し方を回想するときのみならず、未来に進もうとするとき、何らかの形で過去の知識(歴史)を知ろうとしよう。

現代の社会知識を知ろうとするとき、その手がかりを過去の社会生活に求めるのは自然であるといつてよい。そうした意味からも、日本法の歴史の本質的なものを身につけてほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 日本法制史とその時代区分
2. 上古(氏族法時代) I
3. 上古(氏族法時代) II
4. 中古(律令法時代) I
5. 中古(律令法時代) II
6. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代) I
7. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代) II
8. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編 I
9. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編 II
10. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編 III
11. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 私法・民事編 I
12. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 私法・民事編 II
13. 近代(含む幕末) I
14. 近代(含む幕末) II
15. 婚姻関係(ことわざと川柳等による)

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

上記は1.と15.を除き、それぞれの項目ごとに2週を割当てることを目安としています。学期末試験と平常点としての出席状況を総合して評価す。

大久保治男・茂野隆晴『日本法制史史料60選-史資料へのいざない-』1998年刊(芦書房)2,300円

履修コード	117901
科目名	西洋法制史
担当者名	北野 <small>きたの</small> かほる

講義のねらい イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般の特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造と法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書等  
参考書等  
その他

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。  
論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）  
特に指定しない。  
年度当初に指示する。  
一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

法  
律

履修コード	117301
科目名	政治学原論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義のねらい I自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならずひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A政治学の課題と対象、ならびに方法（1）

B政治の原理的究明

（1）政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

（2）共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

（3）イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）（2～15）

C政治の実体論的究明

（1）制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制（16～22）

（2）機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化（23～30）

成績評価の方法

V成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。教科書、授業の理解度を重視し採点します。

なお、追試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にある参考文献を参照のこと。

その他の

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」「政治学へのいぎない」（成文堂）、大塚編『日本の政治学』（法律文化社）等を参考にしてください。

履修コード	117401
科目名	政治史
担当者名	村井 良太

講義のねらい 政治は広く私達の生活に関係しており、また私達は主に選挙を通じて政治を形作っていく立場にもあります。したがって政治を知ることは社会人の大事なたしなみといえます。本講義は、法律学科の1・2年生を対象としていますので、社会人の素養としての活きた政治史を心がけ、政治史上の基本的な知識を修めるとともに、歴史的な分析を通じて現在への政治的理解を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール 本年度の「政治史」では、戦前・戦中の遺産を踏まえた上で、戦後日本の歩みを振り返ります。講義内容は、以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。  
前期：(1～3)「帝国」日本の遺産 (4～6)敗戦と占領 (7～9)占領改革 (10～12)吉田政権と講和 (13～15)鳩山政権と五五年体制の成立  
後期：(16～18)岸政権と日米安保条約の改定 (19～21)池田政権と高度経済成長 (22～24)佐藤政権と沖繩返還 (25～27)危機の七〇年代 (28～30)八〇年代からの日本

履修上の留意点 履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。  
成績評価の方法 成績は、随時おこなう出席調査と、中間レポート(受講生が50人を超える場合には中間試験)、学年末試験によって評価します。追試験は実施する予定です。初回の授業で詳しい説明を受けてください。

教科書 特に指定しません。  
参考書等 五百頭旗真編『新版』戦後日本外交史』有斐閣、税込2,100円、ISBN:464112258X。その他、講義のなかで随時紹介していきます。

法  
律

履修コード	117501
科目名	経済原論
担当者名	村松 幹二

講義のねらい 経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、ミクロ経済学について、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割を解説する。  
1. ミクロ経済学とは：需要と供給(1～2)  
2. 消費者行動の理論(3～5)  
3. 企業行動の理論(6～8)  
4. 市場競争(9～10)  
5. 市場の失敗と政府の役割(11～13)  
6. 不完全情報の経済学(14～15)  
後期は、マクロ経済学について、マクロ経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。

1. マクロ経済学とは：国民経済計算(1～2)  
2. 有効需要と乗数メカニズム(3～4)  
3. 貨幣の機能(5～6)  
4. インフレと失業(7～8)  
5. マクロ経済政策とIS=LM分析(9～11)  
6. 経済成長(12～13)  
7. 国際マクロ経済学(14～15)  
成績評価の方法 成績評価は、期末試験による。  
教科書 「入門経済学」伊藤元重、日本評論社

履修コード	127001
科目名	行政学
担当者名	児玉 博昭 <small>こたま ひろあき</small>

講義のねらい 行政学は、現代における行政の諸現象を、社会管理と政治行政関係の両観点から、制度・組織・活動の各要素について考察する学問である。この講義は、行政学の全体像を把握し、基礎を理解することを目標とする。

この講義では、はじめに、行政学の対象である行政とは何か、現代の行政国家がどのように成立し、それを受けて行政学がどのように発展してきたかを見る。次いで、制度論として現在の政府体系、政治と行政の関係、中央政府と地方政府の関係を明らかにする。組織論では官僚制の理論と現代組織論をふまえ行政組織の特徴と公務員制度の仕組みを述べる。活動論からは政策の決定・執行・評価の過程、行政責任と民主的統制のあり方を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目を予定している。

1. 行政とは何か
2. 行政国家の成立
3. 行政学的发展
4. 行政改革
5. 現代の政府体系
6. 内閣制度と政官関係
7. 地方自治と分権改革
8. 官僚制の理論
9. 現代組織論
10. 日本の行政組織と行政改革
11. 公務員制度と人事システム
12. 行政活動と政策
13. 政策過程
14. 政策の執行と評価
15. 行政責任と参加

履修上の留意点

行政の現象は広範囲に及び、日常生活とも密接に関わる。行政学の学習にあたっては社会生活全般に関心を持つことが大切である。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

中間試験（30％）と期末試験（70％）によって相対的に評価する。

森田朗『現代の行政（改訂版）』（放送大学教育振興会）2,000円  
授業内に適宜指示するか、印刷して配布する。

履修コード	118101
科目名	法律時事英語
担当者名	牧野和夫 <small>まきのかずお</small>

講義のねらい 国際取引やビジネスの場で実際に使用されている法律英語のキーワードを分かり易く解説することにより「法律英語」の実際を学習することをねらいとしています。社会に出てからも直ちに役立つように、実戦的、実務的な内容で、具体例を挙げつつ講義を進めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の順序で進める予定です。

- ①英米法の考え方 ②英文契約の基礎 ③国際ビジネスにおける法律英語キーワード ④インターネット上の取引におけるキーワード  
(前期)

第1回 オリエンテーション、第2回 法律英語の勉強の仕方、なぜアメリカ法が重要か、第3回 アメリカ法の成り立ち、連邦制度、第4回 英米法の基本概念、判例法主義・コモンローとエクイティ、第5回 アメリカ法の概念（六法）（1）、第6回 アメリカ法の概念（六法）（2）、第7回 アメリカ法律事情（1）、第8回 アメリカの法律事情（2）、第9回 アメリカの法律事情（3）、第10回 アメリカの法律事情（4）、第11回 前期のまとめ、  
(後期)

第1回 国際取引と英文契約（1）第2回 国際取引と英文契約（2）第3回 製造物責任法（PL法）（1）、第4回 製造物責任法（PL法）（2）、第5回 陪審制度と司法改革（1）、第6回 陪審制度と司法改革（2）、第7回 セクハラ訴訟の現状（1）、第8回 セクハラ訴訟の現状（2）、第9回 知的財産法、第10回 インターネット法（1）、第11回 インターネット法（2）、第12回 後期のまとめ

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

講義を中心に進めますので、出来る限り講義へ出席することを要望します。  
学年末筆記試験1回（論文式。但し、教科書・ノート 持ち込み可とする）  
牧野和夫著「ビジネス法律英語」入門（仮）税務経理協会

履修コード	118001
科目名	刑事政策
担当者名	覚正 豊和

講義のねらい 犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法政策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもつとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- | 回数   | 授業の内容   |
|------|---|
| 第1回  | 受講のガイダンス<br>刑事政策の意義と課題<br>刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。      |
| 第2回  | 犯罪学の歴史と展開<br>その起源から近代学説までを学ぶ。                         |
| 第3回  | 現代犯罪学の課題<br>ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。        |
| 第4回  | 犯罪の理念<br>犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。         |
| 第5回  | 刑事政策と暗数<br>犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。            |
| 第6回  | 犯罪の原因(1)<br>身体的・生理的要因について学ぶ。                          |
| 第7回  | 犯罪の原因(2)<br>個人環境的要因について学ぶ。                            |
| 第8回  | 犯罪の原因(3)<br>社会環境的要因について学ぶ。                            |
| 第9回  | 刑罰の意義・機能・沿革<br>意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。 |
| 第10回 | 死刑<br>憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。                            |
| 第11回 | 自由刑<br>意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。                   |
| 第12回 | 財産刑<br>罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。                        |
| 第13回 | 保安処分<br>意義、種類、要件などについて学ぶ。                             |
| 第14回 | 少年保護手続<br>家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。                   |
| 第15回 | 定期試験(予定)  |
| 第16回 | 犯罪者の処遇<br>意義、原則、動向について学ぶ。                             |
| 第17回 | 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察<br>微罪処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。            |
| 第18回 | 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察<br>起訴猶予などについて学ぶ。                     |
| 第19回 | 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判<br>量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。     |
| 第20回 | 矯正の意義・目的<br>矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。            |
| 第21回 | 受刑者の処遇<br>法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。            |
| 第22回 | 犯罪の予防<br>意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。                   |
| 第23回 | 更生保護<br>意義、措置、概況などについて学ぶ。                             |
| 第24回 | 恩赦・資格制度<br>恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。                     |
| 第25回 | 被害者補償<br>意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。                      |
| 第26回 | 各犯罪と対策<br>少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。                          |
| 第27回 | 各種犯罪と対策<br>組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。                    |
| 第28回 | 各種犯罪と対策<br>薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。                        |
| 第29回 | まとめ<br>討論及び質疑   |
| 第30回 | 定期試験  |

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

初回の授業において指示する。  
定期試験および平常点  
斎藤・覚正「刑事政策論(2007年)」(八千代出版) 3,500円 ISBN978-4-8429-1421-3

法  
律

参 考 書 等 授業において指示する。

履修コード	117601
科目名	法思想史
担当者名	高橋 洋城

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として  
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。  
 ・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

履修コード	118701
科目名	債権各論
担当者名	青野 <sup>あおの ひろゆき</sup> 博之

講義のねらい 債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償を求めることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

講義の内容・授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）  
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）  
 契約の解除  
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）  
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、質貸借）  
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）  
 その他の契約  
 事務管理  
 不当利得  
 不法行為の要件  
 不法行為の効果  
 特殊な不法行為

履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教科書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論（第3版）』（法律文化社）2005年 2,700円（税別）、ISBN4-589-02876-X

教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書その他

講義に際して紹介する。

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

法  
律



履修コード	118401
科目名	英米法
担当者名	北野 <sup>きたの</sup> かほる

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1章 法系

第1節 近代法の法系

- (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系  
(4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系

第2節 イギリス法の特徴

- (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴

第3節 英米法の分類

- (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー

第2章 英米法の特徴

第1節 法内客の歴史性

- (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴

第2節 法観念の社会性

- (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利

第3節 法思考の実務性

- (1) 総論 (2) 法曹一元

第3章 判例法の理論

第1節 判例法

- (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察

第2節 判例法の理論

- (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断

第3節 制定法の解釈

- (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論

第4章 裁判所制度

第1節 イギリスの裁判所制度

第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

特に指定しない。

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55

その他の参考書：年度当初に指示する。

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

法  
律

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

その他

履修コード	118601
科目名	仏法
担当者名	上井 <sup>うえい</sup> 長久 <sup>たけひさ</sup>

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一的な成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわゆるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料（法文、判例、学説、一般論述等）により理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

法  
律

I. 革命期および近現代の私法の基本的問題……（前期）

1. 人権宣言と自由の確立

- (1) 人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢
- (2) 人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の原理（国民主権、権力分立）
- (3) 公的自由と私的自由

2. 法典編纂とその後の私法の変遷

- (1) 法典化の意義・目的 (2) ナポレオンの5法典と王令・中間法
- (3) 法典編纂の経緯と問題点 (4) 近現代における私法の変遷

3. 判例の効力

- (1) 判決の構造と判例 (2) 判例観の変遷（古法、中間法）
- (3) 判決の既判力、判例の拘束力と創造力
- (4) 法律の解釈と法学の法律学化（注釈学派、科学学派）

II. 私法の歴史……（後期）

1. フランク王国の法

- (1) 法源（法の属人性） (2) 社会経済制度—一人の身分、土地（個人、共同）所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産（相続、贈与、遺贈）、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 (3) 訴訟制度

2. 高期中世（制限王政期）の法

- (1) 法源（法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法） (2) 社会経済制度—階級制、封建的土地所有（分割所有権）と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度（教会婚、自由処分分と家族遺留分、夫婦財産共有制）
- (3) 都市の社会経済制度—ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約

3. 絶対君主制（旧体制）の法

- (1) 法源（慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令）
- (2) 社会経済制度—階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえます。

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

上井長久著プリント版「Introduction au droit privé」、*「Introduction au droit public」*及び「Histoire du droit privé」（最初の講義の時に配付する予定）

参考書等

ジャン・アンベール著三井哲夫＝菅野一彦訳『フランス法制史』（白水社文庫クセジュ）、山口俊夫『概説フランス法 上』（東大出版会）、滝沢正「フランス法」（三省堂）

履修コード	118501
科目名	独法
担当者名	山口 邦夫

**講義のねらい** 外国法の一種類としてドイツ法全般について一年間で講義をすることは不可能なので、日本が明治以降、政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたなかで、ドイツ法のはたした役割が大きかったので、その点を中心に講義をする。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けたドイツの法律を中心とする。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

**講義の内容・授業スケジュール**

一年を次の4期に分けて講義をする。

I期 4/5月、II期 6/7月、III期 9/10月、IV期 11/12月。

I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連、特に Kaiser と天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。

II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。

III期 刑法及び手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野において、ドイツ法が日本法に与えた影響について。

IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

**履修上の留意点** 当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不相当と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

**成績評価の方法**

毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。

**参考書等**

Gerd Kleinheyer/Jan Schroder, Deutsche und Europäische Juristen aus neun Jahrhunderten. 4. Aufl. 1996. (初版の和訳あり)

法  
律

履修コード	121701
科目名	基礎演習
担当者名	富井 幸雄

**講義のねらい** 憲法の基本事項を習得するとともに、憲法判例の読み方を会得する。教科書の熟読、判例の熟読、報告と討論を通じて、難解な憲法の理論を自分の肉とするとともに、公務員試験等の憲法の問題を解けるまでの実力を養成することをめざす。

**講義の内容・授業スケジュール**

教科書等のあらかじめ指定した箇所と判例を熟読した上で、受講生間で順番に報告し、それをもとに討論する。受講生主体で授業は運営され、教員は時々質問をしてささやかに演習に参加する。

教科書の理論を受講生同士の討論で確認し、関連する判例を検討して、憲法の理解を深めていく。

前期は、憲法の基本原理と統治機構（国会、内閣、裁判所）について勉強する。後期は人権（自由権、社会権、平等権、国務請求権、新しい人権）をカバーする。前後期それぞれ最終授業時に試験を行う。

**履修上の留意点**

演習なので出席しなければ意味がない。通年で5回欠席すれば、その時点で単位認定の資格を失うものとする。遅刻の扱いについては開講時に決める。十分な事前の準備と予習をし、演習には積極的に参加する。演習での発言の内容は問わないので臆することなく議論に参加してほしい。ただし、明らかに予習してこなかったと認められるときは減点の対象となる。

**成績評価の方法**

平常点（出席と演習での Academic Performance（演習での積極性））と、前期と後期のテストで評価する。割合は平常点が50%、前期テストが20%、後期テストが30%とする。

**教科書**

教科書として、芦部信喜・高橋和之補訂『憲法』（岩波書店）と、憲法判例百選I・II（第5版）を使用する。

**その他**

公務員や法科大学院進学希望者を主な対象とするが、そうでなくても憲法に関心がある者も歓迎する。1年間ゼミに参加しつづける強固な意志を持ち続けること。

履修コード	121801・121901
科目名	基礎演習
担当者名	池田 実 <small>いけだ みのる</small>

講義のねらい	文献・判例の調べ方、レポート・論文作成のルールなど、法学研究の方法を習得するとともに、3年次からの演習に備え、憲法に関するさまざまな問題への関心を高めることを目的としています。前期は、教科書を講読しながら、関連法令や学説・判例にも広く接し、日本国憲法の基礎的理解を深めることに重点を置きます。後期は、前期から引き続く内容に加え、担当教員の与える課題や学生から提起された問題について、全員が調べ、まとめ、報告し、討論することを通じて、憲法に対する多角的な視点と広い問題関心を育てていきます。
講義の内容・授業スケジュール	[前期] (1)～(4) 憲法の入門的講義、法学研究の方法、文献・判例の調べ方(図書館ガイダンス)、(5)～(13) 日本国憲法に定める統治機構に関する演習 [後期] (14)～(20) 日本国憲法に定める基本的人権に関する演習、(21)～(26) 自由課題演習
履修上の留意点	演習は、教員と学生が一体となってつくりあげる授業ですから、遅刻や無断欠席は厳に慎んでください。
成績評価の方法	出席、研究報告、発言、レポート等を総合的に評価します。
教科書	野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院)2,700円+税 ISBN978-4-7823-0424-2
その他	法令や判例を緻密にフォローする生真面目さと、若者らしい柔軟かつ大胆な発想で憲法を科学する遊び心とを兼ね備えた、バイタリティあふれる学生諸君の履修を期待します。

法  
律

履修コード	122201・122301
科目名	基礎演習
担当者名	今尾 真 <small>いまお まこと</small>

講義のねらい	具体的事例(判例・教室説例)を素材として、民法の知識および経験則を総動員して、紛争を解決する際の法的なものの考え方(法的思考法)を身につけ、その考え方を実際に紛争に当てはめ妥当な結論を導く(法解釈学の技術的訓練)という能力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	本演習は、これから法律学、特に民法を本格的に学習するための基礎学力を習得することを目的とする。具体的には、民法総則の法律問題を素材として、民法の考え方、文献の読み方、討論の仕方、文章の書き方の訓練を行う。参加者は、教科書の指定されたテーマに関する諸文献を検索・熟読すること(読む)、法的争点を抽出してこれをめぐる判例・学説の解決策の当否を自分の頭で考えること(考える)、自分の考えを明快に展開して他人と討論できること(論ずる)等が要求される。また、随時、重要で基本的な問題について、レポート作成(書く)を義務づけ、その一部のものを講評して、法律の文章・論文の書き方をもあわせて指導する。前期は民法総則の重要判例を、後期は物権法および債権法の重要判例を学習する予定である。なお、授業スケジュールについては詳細情報を確認のこと。
履修上の留意点	①無断欠席は厳禁。小生とゼミ員との高度な信頼関係を忘れずに。②サブゼミは自覚と責任感をもって行うこと。これができない者は単位認定が困難である。③毎回のゼミで必ず発言することを心がける。④高い理想をもって、日々精進すること。
成績評価の方法	出席点・レポート・演習での発言内容等を総合評価。特に、判例報告における質の高いプレゼンや予習や普段の勉強に裏打ちされたレベルの高い発言を重視する。
教科書 参考書等	川井健・鎌田薫・平野裕の編『新判例マニュアル民法I〔総則〕』(三省堂)2000年 (1) 星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I総則・物権〔第五版〕』(有斐閣)別冊ジュリスト159号2001年 (2) 内田貴、大村敦志/編『民法の争点I(総則・物権・親族・相続)』(有斐閣)ジュリスト増刊2007年
その他	各種国家試験・資格試験等を受験する者には、任意提出によるレポート・答案添削も行う。また、前期・後期の最終授業では、4時限と5時限の合同ゼミ発表会(対抗ゼミ)を行う予定である。とにかく、積極的・主体的にゼミに臨みたいと思う学生は参加されたし。

履修コード	122601
科目名	基礎演習
担当者名	覚正 豊和

**講義のねらい** この演習は刑事法における基礎的な問題の考察を通じて、法的知識を修得するとともに法的思考を形成することを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任についての基本的な問題は勿論、死刑、保安処分、児童虐待、家庭内暴力、ストーカー、少年犯罪や各種犯罪および犯罪被害者補償などについて扱っていきたいと思っている。おおむね以下のような進行予定である。

- (1) ガイダンス
- (2) 演習の運営について
- (3) 刑事法学の研究手法、文献、判例の調べ方
- (4) ～ (10) 各自発表テーマの設定と準備の仕方 (レジメの書き方)

・テーマ設定の理由、・テーマの関する争点や問題点、・テーマの関する学説の検討、・テーマの関する判例の検討、・テーマの関する諸外国の実態、・テーマの関する自分の意見

- (11) ～ (25) 個別報告

- (26) 総括

演習は講義科目と異なり、ゼミナリス滕の主体的、積極的な参加により成り立つものであることを心がけて欲しい。

**履修上の留意点**

**成績評価の方法  
教科書**

出席状況と平常点で総合評価する。

斎藤・覚正「刑法への招待(総論)2007年」(創成社)800円 ISBN978-4-7944-5015-9

斎藤・覚正「刑法への招待(各論)2007年」(創成社)800円 ISBN978-4-7944-5016-6

**参考書等  
その他**

参考書は授業時に適宜指示する

時間の許す限りにおいて、刑事裁判の傍聴や刑事施設の見学等を行いたい。

法  
律

履修コード	122001
科目名	基礎演習
担当者名	向田 正巳

**講義のねらい**

この基礎演習では、3年次以降に民法や憲法などの専門演習に参加することを希望する学生を念頭において、私の専門である民法を中心に、民法、憲法などの近代法の基礎を学び、さらに近代法成立の基礎となった近代市民社会がいかに成立したかを検討していきます。民法、憲法などの近代法の基礎を学んで3年次以降の専門演習に備えること、さらにそれらの法律が生まれる基礎となった近代市民社会の政治的、経済的、思想的な特質を理解することが目標です。

**講義の内容・授業スケジュール**

まず演習参加者全員で民法の基礎について書かれた文献などをあらかじめ読み、報告者を決めてその内容について発表をしてもらい、それをもとに全員で議論をします。これらの課程を通じて文献の探し方、レポートの作り方、発表や議論の仕方を学びます。これが基本となりますが、さらに演習中には高校時代に学んだ日本史、世界史などの社会科の知識を確認したり、大学に入ってから学ぶ経済学や政治学などの法律学以外の社会科学にも言及したりして、法と歴史、法と経済、法と政治などの関係について基礎的な理解を深めたいと思います。これにより大学の法学部における学習の体系化を図り、より実り豊かなものにしていければと思います。

**履修上の留意点**

民法など法律学の基礎をしっかり学び、法律学の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

**成績評価の方法  
教科書**

出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。

**その他**

演習の始めに指示します。

コンパ、合宿を予定しています。

履修コード	122401・122501
科目名	基礎演習
担当者名	村木 保久

講義のねらい	<p>教えてもらう勉強ではなく、自分でする勉強の方法を学ぶ。</p> <p>刑法だけでなく法律一般の基本的な知識を確認しつつ、専門ゼミに備えた、基本的な研究方法—文献や判例の調べ方・読み方、レジュメの作成方法—および法的・論理的な思考方法を、報告と議論を通じて学びます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>刑法総論の基本的なについて報告・質疑を行います。</p> <p>第1回授業にあたっての注意を述べ、課題の分配などを予定しています。</p> <p>第2回学派の争い（レジュメおよび報告の例を示しゼミの進め方を学ぶ）</p> <p>第3回以降のテーマ（予定）：因果関係、行為と不作為犯、正当防衛の要件、緊急避難の法的性格、被害者の承諾、安楽死、結果的加重犯、責任能力、原因において自由な行為、故意の内容、過失の構造、事実の錯誤と法律の錯誤、未遂と中止、共犯の概要、共謀共同正犯</p>
履修上の留意点	<p>演習なので報告者以外の者も積極的に参加することを期待します。</p> <p>報告者は報告1週間前にレジュメを作成し提出すること。</p>
成績評価の方法	<p>平常点で評価します。</p> <p>出席および演習への参加の態度—レジュメ、報告内容および講義時間における質疑—などにより評価します。</p>
教科書 参考書等 その他	<p>とくに指定しません。</p> <p>講義時間内に必要に応じて指示します。</p> <p>ゼミ形式でレジュメを配付します。</p>

法  
律

履修コード	122101
科目名	基礎演習
担当者名	和知 恵一

講義のねらい	<p>本演習は、三年次以降における民法の専門演習に参加するために必要な基礎知識を整理・確認し、より高度な研究に対する準備を行うことを目的とする。判例や関連文献の収集方法および利用の仕方、レポート・論文の作成方法、報告・討論の仕方などの修得に努める。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前半は、民法総則に関する基本的な事例問題をテーマとして、参加者全員にレポートを作成してもらい、割り当てられた数名のグループが報告を行う。その報告を基に、全員で議論する。</p> <p>後半は、各人（グループ）が興味・関心を持った具体的事件について、それぞれがレポートし、全員で議論する。</p>
履修上の留意点	<p>全員がレポート作成・発表・討論に参加することが義務付けられる。したがって、自主性・積極性・責任感を持った、意欲有る学生の参加を期待する。又コンピューターを利用して、インターネットにアクセスし、判例や文献の検索を行うことも考えており、多少のコンピューターの知識があることが望ましい。受講前に学内コンピューター使用のIDを取得しておくこと。</p>
成績評価の方法	<p>受講態度、提出レポートおよび報告内容を総合的に評価する。（出席することは当たり前のことであり欠席は減点とする。）</p>
教科書 その他	<p>法令集（六法）を必ず持参すること。その他については、授業中に適宜指示します。</p> <p>理由のない欠席があった場合は退ゼミしていただきます。</p>

履修コード	122701・122702
科目名	演習I 演習II
担当者名	中田 英幸 <small>なみた ひでゆき</small>

講義のねらい	本演習の目的は、財産法(民法総則・物権・債権)に関する判例を素材として、民法の解釈を学習することにある。紛争が発生した経緯を理解し、望ましい結論(法的判断)を考えることにより、法の運用を学び、法的思考を養う。
講義の内容・授業スケジュール	(3年生)前期は、財産法に関する基本判例を演習の素材とする。演習参加者は、初回到報告する判例を選び、報告前にレジユメの配布・参考文献の指定をすること。後期は、最近の判例を演習の素材として前期と同じく報告をする。演習の進め方は前期と同様である。なお、報告者は、演習での質疑応答を踏まえたレポートを作成する。 前期・後期ともに、適宜基礎知識の確認を行う。 (4年生) 卒業レポートの作成を目標とする。自ら法的課題を見出し、検討を加え、結論を導く。演習において卒業レポートの中間報告を行う。 以上の内容は、演習参加者の希望や参加人数によって変更することがある。
履修上の留意点	民法に興味を持ち、勉強する意欲があることが大前提である。
成績評価の方法	必ず毎回出席し、積極的に発言すること。 報告内容、演習での発言、レポートにより評価する。発言は、結論よりも、結論に至るまでの理由づけや思考過程を重視する。
参考書等	演習にて適時指示する。

法  
律

履修コード	132201・132202
科目名	演習I 演習II
担当者名	相田 敏彦 <small>あいだ としひこ</small>

講義のねらい	一言でいえば、マスコミ、広告・広報、情報化がゼミのテーマである。 マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。 テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。 パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。 メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。 合宿やふだんの授業で友人との親しきが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高め(ゆったり・楽しく・着実に)進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろさプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。 <基礎演習>に記載の内容を参照。それをいっそう高度化したい。 前期:レポートを書く力、口頭発表力を2年次以上のレベルにまで高める(3年生)。ゼミ論文のテーマを決める(4年生)。後期:ロール・プレイングにもウェイト(3年生)。ゼミ論文の書き方を学び、執筆・完成して1冊のゼミ論文集を作る(4年生)。
成績評価の方法	平常点。

履修コード	124201・124202
科目名	演習I 演習II
担当者名	あおの ひろゆき 青野 博之

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	民法に関する判例や事例を用いて、具体的な判断能力を養うことを目的とする。 演習受講者をグループに分けて、そのグループ毎に、テーマを自由に選択する。テーマは民法に関するものであれば、分野は問わない。テーマは、判例から取り上げられることが多いが、マス・メディアで報道されたばかりのものでもよい。
履修上の留意点	担当グループは、テーマに関する資料の要旨（レジュメ）を少なくとも1週間前に配布すること。 演習をどのように進めていくかは、それぞれの担当グループにゆだねる。担当者が報告し、（指名しながら？）質疑応答する場合、担当者が裁判官の役割を果たし、他の者を原告・被告に分けて議論する場合などが考えられる。
成績評価の方法	出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。
教科書 参考書等 その他	指定しない。 判例を扱うときは、民集（最高裁判所民事判例集）などの判例集を丁寧に読んでくること。 議論に積極的に参加し、たくさん発言する学生であってほしい。 希望者は、できれば、事前に先輩または私に演習の内容や進行方法を聞いておくとよい。その意味でも、履修前の見学はよい機会である。見学を歓迎する。

法  
律

履修コード	124701・124702
科目名	演習I 演習II
担当者名	あらい まさたか 荒木 正孝

講義のねらい	会社法や手形・小切手法の講義、またはこれらを理解するのに必要な民法総則、物権法および債権法など各種の講義で聞いた個々の知識や考え方が本当に学生諸君の血となり肉となったかどうかは、実際に具体的な問題に取り組み、多くの人々が納得するような妥当な解決を導き出すことができるか否かにかかっている。この演習では、講義で修得した個別の知識を総合し、それをより深く理解し、十分に応用できる力をつけることを目的とします。
講義の内容・ 授業スケジュール	この演習では、基礎的知識を確認する作業を常に心掛けながら、具体的には、会社法に関する裁判例の中から参加者が希望するテーマや課題について発表してもらい、そのレポートを中心に活発な議論を展開するという方法で進めます。
履修上の留意点	参加者は、自分が発表を担当しないときでも毎時限必ず質問したり、問題提起をするつもりで予習し、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席と発表を重視します。夏季と冬季（学年末試験終了後）に合宿を予定しています。必ず参加して教場では望めない参加者間の全人格的な触れ合いを実現したいと思っています。
成績評価の方法 参考書等	出席と平常の発言やゼミでの活動を考慮して評価します。 神作・藤田・江頭・岩原編『会社法判例百選』（有斐閣）などを予定していますが、その他については必要な都度指示します。

履修コード	123401・123402
科目名	演習I・演習II
担当者名	いのうえ けんいち 井上 健一

講義のねらい	条文や判例あるいは学説の理解のみならず、紛争解決のために具体的な事実をどのように法律の議論にあてはめるかという観点から、商法判例のうち、特に実際の取引実態が判決・決定の結論に影響を及ぼしている——言い換えれば事実から離れた法律論だけでは勝負がつかない——ものを選んで報告・議論する。会社法・商行為法・保険法・証券取引法を主として取り上げる。いわゆるビジネスローに興味がある学生諸君の参加を希望する。
講義の内容・ 授業スケジュール	指定教科書に掲げられた判例を演習参加者の人数に応じてピックアップし、報告者に紹介してもらおう。その際、参考文献として掲げられている判例評釈および参照論文を各1本ずつ読んだ上で、どのような論点が報告判例にはあるのかを明らかにすることが報告者の義務である。報告者はレジュメを作成し、報告後の議論をやりやすいようにすること。
履修上の留意点	会社法、商法総則・商行為法、保険・海商法を履修済か、履修中であることが望ましい。最低限、会社法だけは履修済であること。
成績評価の方法	出席、報告、議論への参加・貢献によって評価する。出席点は基本的に減点法（欠席・遅刻の都度、点数をマイナスしていく）による。
教科書 参考書等 その他	山下友信・神田秀樹編『商法判例集』（第2版）（有斐閣）2900円 4-641-13445-6 教科書に記載されているもの他は適宜紹介する。 授業情報は <a href="http://homepage3.nifty.com/inoue-k/">http://homepage3.nifty.com/inoue-k/</a> も参照のこと。アフターゼミは必要に応じて。



履修コード	124801・124802
科目名	演習I 演習II
担当者名	王 志安 <small>おう しあん</small>

講義のねらい 国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていききたい。また、夏休みでは、原文(英文)の国際判例を読み解くための合宿を行う。

履修上の留意点 出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。  
成績評価の方法 演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。  
教科書 『判例百選国際法』(有斐閣)2001年  
その他 ゼミに関する情報などは、下記のホームページから入手できる。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

法  
律

履修コード	133501・133502
科目名	演習I 演習II
担当者名	大塚 桂 <small>おおつか かつ</small>

講義のねらい 政治学における基礎的的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール I政治学の基本文献を輪読する。  
II共通テーマを設定し、共同研究をおこなう(例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜)。  
IIIゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点 一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしゃい!

成績評価の方法 平常点  
教科書 教員が準備し提供します。  
参考書等 参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』(成文堂)、同『ラスキとホップハウス』(勁草書房)、同『多元的国家論の展開』(法律文化社)、同『多元的国家論の周辺』(信山社)、同『近代日本の政治学者群像』(勁草書房)、同『明治国家と岩倉具視』(信山社)、同『明治維新の思想』(成文堂)、同『ヨーロッパ政治理念の展開』(信山社)、『大東亜戦争期の政治学』(成文堂)。

その他 4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担(OB会・合宿等)、規則、束縛は一切ありません。年1~2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

履修コード	124901・124902
科目名	演習I 演習II
担当者名	大宮 隆 <small>おおみや たかし</small>

講義のねらい 家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点 予習が必要である。  
成績評価の方法 年間を通して、総合的に評価する。  
教科書 泉久雄他編『家族法基本判例32選』(信山社)2,500円

履修コード	132801・132802
科目名	演習I 演習II
担当者名	おおやま れいこ 大山 礼子

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としています。文献やインターネットを活用した調査の方法、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方などを学習します。

講義の内容・授業スケジュール

3年次演習Iの後期に各自のテーマで5千字程度の論文をまとめ、4年次の演習IIではそれを発展させて2万字程度のゼミ論文執筆に挑戦します。最後までやり遂げてください。

3年次の前期は政治関係の基礎的文献を講読し、基礎知識を確認します。後期には学生が選択したテーマで報告を行ってもらい、4年次でのゼミ論文執筆につながるようにします。学生の希望によって、グループ研究や討論なども実施します。

4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定です。なお、個人研究のテーマは政治制度に限らず、広く政治に関わることであれば自由に選択可能です。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
その他

希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを行います。

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

無断欠席、遅刻厳禁。周回の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。

ゼミのイベント時は原則として禁煙。

法  
律

履修コード	123901・123902
科目名	演習I 演習II
担当者名	かねこ しやうへい 金子 昇平

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究及び、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

①環境の問題

東京大気汚染事件、熊本水俣病事件、田子の浦ヘドロ事件、大阪空港事件、名古屋新幹線事件、横田基地・厚木基地事件、国道43号線事件、武蔵野マンション事件、国立マンション事件

②教育の問題

学問の自由と学生の自活、ポポロ事件、教育を受ける権利と教育権、私立大学における学生の思想、表現の自由、校則の問題、いじめ事件、学生処分と教育的裁量権、学校事件

③公務員の問題

公務員関係の法的性質、公務員における不利益処分と救済、職員の措置要求権、職員の財産上の権利、安全配慮義務、公務傷病等に対する補償を受ける権利、服務・職務命令と服従義務、職務上の秘密の意義、公務員の労働基本権

④地方自治の問題

地方公共団体の情報公開・直接請求、住民投票、青少年保護育成条例、公安条例、要綱による開発負担金、公営住宅の使用関係、議会と政務調査費、議員の研修旅行、教育委員会の公開原則、住民監査請求、住民訴訟、国民健康保険

⑤租税の問題

租税法主義の意義、サラリーマン税金訴訟、租税回避行為の否認、所得控除の意義、固定資産税訴訟、消費税、輸入禁止措置と検閲、租税訴訟における文書の提出の申立て

⑥医療の問題

診療記録閲覧請求、予防接種事件、ハンセン病事件、健康食品と医薬品の意義

⑦高齢者の問題

高齢者虐待防止法、高齢者の在宅介護、特別養護老人ホーム、老人保健施設

⑧福祉の問題

生存権と生活保護基準、福祉法にかかる問題

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。

年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。

判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に出席して、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法  
教科書  
その他

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

適宜指示する。

発表者は、レジュメを作成し、論点及び、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

履修コード	123301
科目名	演習I
担当者名	川口 幸美

**講義のねらい** 会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討することで、会社法制度についての基本的な理解を深めると同時に、事実から法的問題を発見し、問題を法的に分析して法的論理を展開する基礎的な力を身につけることを目的とします。そのため、判例研究と事例研究を取り混ぜながら、研究する予定です。

**講義の内容・授業スケジュール** 演習の内容とスケジュールは学期開始時に学生と相談します。基本的には、前期は、会社法総論、株式会社の設立、株式を、後期には、株主総会、取締役・取締役会を研究する予定です。夏は、合宿を行い、株式会社法に関する法律討論会や、最新判例の研究を行います。そして、2月にはゼミ会誌(昇山会誌一最新号は、7号です)を刊行します。

**履修上の留意点** ゼミの議論に積極的に参加して下さい。また、裁判所見学も行います。

**成績評価の方法** 報告内容と質疑応答の状況を見て、平常点で評価します。

**教科書** 江頭憲治郎・岩原伸作・神作裕之・藤田友敏編「会社判例百選」(有斐閣)  
江頭憲治郎・山下友信編「商法総則・商行為法判例百選」〔第4編〕(有斐閣)  
小塚荘一郎「ケース商行為法」(商事法務)

履修コード	123311
科目名	演習II
担当者名	川口 幸美

**講義のねらい** 演習Iと基本的に同じ。ただし、ゼミ論を作成してもらい、それを通じて演習Iで培った会社法の知識をさらに深めることを目的としています。

**講義の内容・授業スケジュール** 夏休みにゼミ論のテーマを決めてもらい、後期はその中間報告が主となります。1月中旬に完成原稿を提出してもらいます。

**成績評価の方法** ゼミ論で評価します。提出できなければ単位は認定しません。

履修コード	124601・124602
科目名	演習I 演習II
担当者名	北野 かほる

**講義のねらい** 英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

**講義の内容・授業スケジュール** ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

**成績評価の方法** 演習I(三年次生)はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。  
演習II(四年次生)は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

**教科書** 提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

**参考書等** 随時適宜紹介する。

**その他** 十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。  
英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される(単位は修得していなくても構わない)。

履修コード	123201
科目名	演習II
担当者名	小林弘人

**講義のねらい** 行政法のより専門的な知識を深める。

**講義の内容・授業スケジュール** 演習Iで使用した文献の残った項目を3年次同様の方式で行う。すなわち、事前に報告者を決めておき、その報告にもとづいて討論を行う。

**履修上の留意点** とくに事前の予習と演習時間内の活発な発言が必要である。

**成績評価の方法** 演習の出席状況および演習時間内の発言を重視して、評価する。

**教科書** 3年次に使用文献を使う  
新山一雄著『新版ゼミナール行政法』法学書院刊, ISBN4-587-52501-4

履修コード	132101・132102
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	小堀 訓男 <small>こぼりのりお</small>

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなリアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないか、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法  
参考書等  
その他の

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

授業中に適宜紹介する。

ゼミ生は、テーマ別の研究班に分かれて研究会をおこないます。(例)アメリカ研究班、中東研究班、東南アジア研究班、EU研究班、理論研究班等。よって、積極的に参加する者の応募を望みます。

法  
律

履修コード	125001・125002
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	佐藤 多美夫 <small>さとう たみお</small>

講義のねらい

刑法を知るためには、犯罪について刑法総論及び各論で修得した基礎的知識を具体的に当てはめてみるのが有用である。しかし具体的事実を刑法の立場から眺めてみることは意外と難しいと思われるので、ひとつ一つ、理解を得ながら進めることにする。

本演習の目標は結局のところ、具体的な事実<sup>に</sup>刑法を適用して解決することにある。この目標を達成するためには、事実に含まれている刑法上の論点を抽出してその論点について自己の立場から態度決定して結論を提示することが必要である。一般的に結論には多角的・多面的な見方があり得るので相手の立場・考え方にも耳を傾けそれに対して自己の見解を論理的に主張し説得力のある反批判ができることが必要である。これにより自らの結論の妥当性を検証することができる。

講義の内容・授業スケジュール

判例、事例を素材にして罪刑法定主義、因果関係、不作為犯、違法性、正当防衛、緊急避難、故意と事実の錯誤、過失犯、違法性の意識、責任能力、未遂、共犯、傷害罪、窃盗罪、強盗罪、詐欺罪などを扱う。

履修上の留意点

刑法に興味がある。

刑法がわかりたい。

刑法が知りたい。

刑法が使いたい。

成績評価の方法  
教科書  
その他の

レポート、発言、出席等を総合評価

刑法の基本書・判例集等 演習時間に適宜紹介する。

「見えざる刑法」が見えてくれば幸いである。

履修コード	133101・133102
科目名	演習I 演習II
担当者名	塩入 <small>しほいり</small> みほも

**講義のねらい** 行政法上の諸問題をとり上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 当演習は、学生諸君の主体性を重視し、基本的には、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていきます。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てます。

**履修上の留意点** 公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

**成績評価の方法** 平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。

**教科書** 未定

**参考書等** 初回授業の際に紹介します。

履修コード	124501・124502
科目名	演習I 演習II
担当者名	高橋 <small>たかはし</small> ひろき 洋城

**講義のねらい** この演習は、法律の解釈論や政策論の基礎となる原理的な議論に関心を持つ学生のために「法哲学演習」として開講するものである。「法学の学習の中で培った知見を応用する」と同時に、それを「哲学や社会科学その他を含む広い文脈のなかで捉えなおすこと」、この両方が本演習の目標であるが、さらに社会科学的文章の扱い方に慣れることや、報告や討論の中で問題を掘り下げる能力の養成も本演習の中で心がけたい。

**講義の内容・授業スケジュール** <基本方針> 1年間を通じて扱う統一テーマを設定して演習を進めていく。とりあげる内容は、現代の法的問題をいくつかあえらんで検討していく場合と、古典的文献精読を中心に進める場合と、年度ごとに重点の置き方を変えていく。2008年度は前者の方針をとる予定である。

本年度の具体的なテーマは演習開始時に相談の上決定するので未定であるが、参考までに過去にとりあげた題材やテーマを紹介しておく。

テーマの一例：配分的正義と福祉国家 公正の概念 平等論 格差社会 所有権論  
民主主義 私法の意義

購読文献の一例：ミル『自由論』、ロック『統治論』、ドゥオーキン『権利論』  
ルソー『社会契約論』

<年間スケジュール> 前期は、選定した文献についての報告を軸にし、テーマに関する議論を参加者全員が共有することを目指す。後半は、そこから発展したテーマやさらに議論を深めるための文献を割り当て、より各参加者の関心に引きつけた報告を行なってもらう予定。

<運営方法> 毎回の演習は、報告・質疑・討論の形式で運営する。報告者の他、あらかじめコメントーターを指定する。

**履修上の留意点** 常に積極的に発言すること、おそれずに聞くこと、調べる手間を厭わないことを、演習参加者の姿勢として求める。

**成績評価の方法** 平常点（出席、報告および討論における発言を勘案して評価）と全日程終了後提出のレポートにより総合評価する。

**教科書** 特に指定しない。

履修コード	124101・124102
科目名	演習I 演習II
担当者名	竹中 智香

**講義のねらい** 民法第4編の「親族」と第5編の「相続」は私たちの生活に最も身近な家族生活を規制する法律です。私たちの家庭生活を取り巻く環境は、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、少子化・超高齢化、女性の社会進出、戦前の家督相続から庶子均分共同相続への変遷、近年増加してきた遺言制度の利用等々に対して、日々刻々と変化しつつあります。このような変化に対して親族法、相続法がどのように対応しているか、どのような限界があり、どのように改善を図るべきなのかについて、判例を題材にして、毎回学生諸君に報告をしてもらい、その報告をもとに参加者全員で検討・考察します。こうした作業を通して報告の仕方、議論の仕方、法的考察力等の取得を目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** [前期] 親族法における問題点  
[後期] 相続法における問題点

**履修上の留意点** 講義とは違い、少人数で行う演習は、ゼミ生同士あるいはゼミ生と教員との議論が可能です。こうした議論をするためには、十分な準備とともに、毎回の出席することが大変重要となります。報告の内容の評価以外に、毎回の出席と、出席時の参加の様子等を考慮して評価します。

**成績評価の方法** 『家族法判例百選 [第6版]』(有斐閣) 2,200円  
**教科書** 内田 貴『民法IV 親族・相続』(東京大学出版会) 3,500円  
**参考書等**

法律

履修コード	133201
科目名	演習II
担当者名	大塚 桂

**講義のねらい** 世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

**講義の内容・授業スケジュール** 各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

**履修上の留意点** ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

**成績評価の方法** 出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

**参考書等** 必要に応じて適宜紹介する。

**その他** 個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

履修コード	123801・123802
科目名	演習I 演習II
担当者名	鶴井 俊吉

**講義のねらい** 本演習は、金融取引において重要な役割を担う担保制度に関する問題を検討する。

**講義の内容・授業スケジュール** 本年度は、担保制度を理解するうえで必要な財産法の基礎的な問題を扱う。その方法は、具体的な事案を解決するにあたって、今まで学んできた民法の基本的な原理・原則をどのように活用し、法律構成として妥当な結論に導くかという、問題把握の仕方を重視する。単なる知識をつめこむというゼミではなく、柔軟な物の考え方でできる頭の訓練をしたい。

**履修上の留意点** 各自がテーマを設定し、個別報告を行い、それに対する質疑という形式で進めるので、積極的に討論に参加できる意欲ある学生を希望する。

**成績評価の方法** 課題に対するレポートとゼミでの平常点で評価する。

履修コード	124401・124402
科目名	演習I 演習II
担当者名	中濱 義章

**講義のねらい** 商法の重要問題を検討することを通じて、法制度の理解を深めると同時に、社会的事実から法的問題を抽出し、法的に分析し論理展開するための基礎的な力を身につけることを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 商法、会社法、手形法・小切手法に関する重要判例研究または事例研究として毎回一つのテーマを取り上げ、報告者による報告の後、全員で討議します。

**履修上の留意点** なお、参加者の希望によっては、前期に基礎的理解のための簡単な問題演習を行います。参加者は、自分が発表を担当しないときでも、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。

**成績評価の方法** 出席と議論への参加態度、報告の内容で評価します。

**教科書** 必要に応じて資料を配付するほか、適宜指示します。

履修コード	125701・125702
科目名	演習I 演習II
担当者名	西 修

**講義のねらい** 私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉学ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけ出す場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

**講義の内容・授業スケジュール**

前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1) 日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2) 憲法第9条をめぐる諸問題、(3) 世界の憲法トレンド、(4) 人権の現代的意味などを考えています。その他、年に1回は合宿を行います。

**履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書  
その他**

「講義のねらい」で記述した方針でのぞみますので毎回出席すること。

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

開講時に指示する。

適宜紹介する。

合宿中に私の落語を聴かされることがあります。

法  
律

履修コード	132701
科目名	演習I
担当者名	早川 純貴

**講義のねらい** 当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

**講義の内容・授業スケジュール**

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成20年度の前期・統一テーマは「なぜ問題は先送りされたのか」である。重大な社会問題（あるいは経済問題）がすべて政治問題化し、問題解決のための国の法律や地方自治体の条例などに帰着するわけではない。ある問題は全く政治課題にならず、そのまま放置され、あるいは社会の表面から消されてしまう。なぜその様なことが生じるのだろうか。事例研究を通じて、「問題先送り」や「立法の不作为」の背景（原因）やプロセスを探り、ある問題が政治課題にならずに放置されるメカニズムを考えてみたい。さらには、どうしたら政治家、政党、行政などを動かし、問題解決に彼らを向かわせることが可能になるのか、という政治課題形成の戦略も併せて考察したい。

**履修上の留意点**

長期にわたって放置され、政治解決が遅れた具体的事例としては、葉害エイズ問題、女性の就職、昇進差別問題、北朝鮮との国交正常化問題、アスベスト問題、学校での「いじめ」問題、東京大気汚染訴訟問題、東京外郭環状道路建設問題など多数挙げられる。こうした問題のいくつかを取り上げてみたい。

**成績評価の方法  
教科書**

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではイベントやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

個人々の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

履修コード	133001
科目名	演習II
担当者名	早川 純貴

**講義のねらい** 当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

**講義の内容・授業スケジュール** 当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成20年度の前期・統一テーマは「なぜ問題は先送りされたのか」である。重大な社会問題（あるいは経済問題）がすべて政治問題化し、問題解決のための国の法律や地方自治体の条例などに帰着するわけではない。ある問題は全く政治課題にならず、そのまま放置され、あるいは社会の表面から消されてしまう。なぜその様なことが生じるのだろうか。事例研究を通じて、「問題先送り」や「立法の不作为」の背景（原因）やプロセスを探り、ある問題が政治課題にならずに放置されるメカニズムを考えてみたい。さらには、どうしたら政治家、政党、行政などを動かし、問題解決に彼らに向かわせることが可能になるのか、という政治課題形成の戦略も併せて考察したい。長期にわたって放置され、政治解決が遅れた具体的事例としては、葉害エイズ問題、女性の就職、昇進差別問題、北朝鮮との国交正常化問題、アスベスト問題、学校での「いじめ」問題、東京大気汚染訴訟問題、東京外郭環状道路建設問題など多数挙げられる。こうした問題のいくつかを取り上げてみたい。

**履修上の留意点** 当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

**成績評価の方法教科書** 個人々の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。



履修コード	125401・125402
科目名	演習I 演習II
担当者名	日笠 <small>ひがさ</small> 完治 <small>かんじ</small>

**講義のねらい** 研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講者各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。担当としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

**講義の内容・授業スケジュール** 第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。

**履修上の留意点** 積極的に責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Iと演習IIは続けて履修してもらいたい。

**成績評価の方法** 3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。  
4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。  
3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などに基づき評価する。  
4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。

**教科書** 特に指定しない。前提としては、1年次学習した日笠完治『憲法がわかった』（法学書院）は、復習をしておいてほしい。

**参考書等** 近年利用したものとしては、  
①赤坂・大沢・井上・工藤『ファーストステップ憲法』（有斐閣）  
②大沢秀介『はじめての憲法』  
③小林孝輔『憲法演習自習セレクト50』（一粒社）  
④高橋・大石『憲法の争点』（有斐閣）  
⑤芦部信喜先生、佐藤幸治先生、樋口陽一先生など大家の教科書などがある。

**その他** ゼミの年間行事としては、  
①新入ゼミ生歓迎会（4月）  
②前期打ち上げ（7月）  
③夏合宿（9月）  
④バーベキュー大会（11月）  
⑤後期打ち上げ（1月）  
⑥ゼミ論集『自由と権利』発行（2月）  
⑦卒業論文集完成（2月）  
⑧春合宿・4年生の歓送会を兼ねる（2月か3月）などがある。

履修コード	123601・123602
科目名	演習I 演習II
担当者名	ふじもと <small>しげる</small> 茂 <small>しげる</small>

**講義のねらい** わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

**講義の内容・授業スケジュール** 本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。夏季には研究合宿を行ないます。

**履修上の留意点** 演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。  
ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。  
講義科目として、労働法はもとよりのこと、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

**成績評価の方法** 出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追試はありません。

**教科書** 開講時に話をします。

**参考書等** 必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探すことが勉強の第一歩と思っています。

履修コード	125031・125032
科目名	演習I 演習II
担当者名	松村 格

講義のねらい 刑法総論の講義で学習したことを基礎にして、具体的な事例をどのように解決すれば、刑法の基本原則に反することなく刑法の使命（法益保護・人権保障・秩序維持）に適うかを考えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 前期の前半に、刑法総論の基本的事項について総復習します。毎回全員に質問することによって、刑法総論の理解度を確認します。前期の後半以降は、各人が最も関心のある問題点ないし争点を選び、それについて研究したことを発表し、各人の質疑応答によって研究を深めていきます。

履修上の留意点 刑法総論の単位を取得していなければ履修することはできません。毎週、基本書・参考書・判例解説書・六法全書・ノートを携帯して出席してください。参加することが不可欠ですから、理由なき欠席は許しません。毎回必ず何らかの意見を（その是非・妥当性は別として）主張することを義務とします。

成績評価の方法 普段の授業における予習・復習の内容、質疑応答回数と内容、研究発表の内容によって評価します。試験はしません。

教科書 松村ほか『刑法総論』ミネルヴァ書房（3800円）

参考書等 別冊ジュリスト『刑法判例百選I総論【第五版】』有斐閣

参考書は予定しない。

法  
律

履修コード	123701・123702
科目名	演習I 演習II
担当者名	松本 英俊

講義のねらい 演習I・IIでは、刑事手続全体を概観した上で、捜査および公判段階における問題を扱う。判例を中心に具体的事例に則して、捜査・公判段階の主要な論点について、問題の所在や学説などを検討し、解決の展望を探る。

講義の内容・授業スケジュール テキストや基本書の輪読を中心に行い、刑事訴訟法の基礎的な知識を身につける。判例百選や判例集掲載の主要判例や比較的最近の判例を素材に、事例を作成し、討論形式で事例研究を行う。

履修上の留意点 刑事訴訟法、刑法、刑事法関連科目を履修していることが望ましい。

グループ分けをして、全員で議論するので、自分の見解を持った上で参加し、議論に際しては積極的に発言すること。

成績評価の方法 授業での報告および発言などにより、総合的に評価する。適宜、レポートを課し、その結果も参考とする。

教科書 未定

参考書等 松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

その他 授業では、報告者の報告に基づいて、全員で討論を行う。

履修コード	124301・124302
科目名	演習I 演習II
担当者名	間瀬 <sup>まぶち</sup> 清史 <sup>きよし</sup>

**講義のねらい** この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で修得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさを体得してもらいたいと考えています。

**講義の内容・授業スケジュール** 民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告者による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。検討の対象とされる判例は各報告者の希望を尊重したうえで決定されることとなります。例えば、(1)当事者能力、(2)法律上の争訟、(3～4)当事者適格、(5)土地管轄と移送、(6)国際裁判管轄、(7)外国判決の承認・執行、(8)重複訴訟の禁止、(9)国際的重複訴訟、(10～11)訴えの利益、(12)処分権主義、(13～14)弁論主義、(15～17)裁判上の自由、(18～19)証明責任、(20～21)既判力の時的限界、(22～23)既判力の客観的範囲および争点効、(24～25)既判力の主観的範囲、(26～27)共同訴訟、(28～30)参加および訴訟告知等が考えられます。

**履修上の留意点** また、実際の法廷見学にも行きたいと考えています。演習参加者には、毎回予習のうえ出席すること、主体的に演習に参加すること、および積極的に発言することを期待します。

**成績評価の方法** 演習参加度(出席態度、報告内容、主体性、積極性等)に基づいて行います。

**教科書** 小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』(悠々社)2001年  
名津井吉裕ほか著『民事訴訟法』(法学書院)2007年、3200円(税別)

**その他** この演習を履修しようとする者は、民事訴訟法の講義をすでに履修した者であるか、または並行的に履修する者であることが望ましいです。

また、民事実体法、とりわけ民法についてある程度の理解に達していることが履修の前提となります。

履修コード	132401・132402
科目名	演習I 演習II
担当者名	三竹 <sup>みたけ</sup> 直哉 <sup>なおや</sup>

**講義のねらい** 比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。せっかく大学に来たのだから、中学校や高校の自由研究レベルのものではなく、自分の問題意識で本格的に卒業研究をやってみたいという人向けです。小学校以来受けてきた教育の集大成であり、自分の〈作品〉となる卒業論文を作成します。たくさん書き、本や論文にたくさん接し、いろいろな人に会い、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

**講義の内容・授業スケジュール** お互いに助け合いながら個人研究を行います。やり方や内容は年によって参加者によってかなり異なります。卒業してからどんな分野に進んでも役に立つよう、知的な仕事をする上での基本的な訓練、練習は三年次に必ず行います。簡潔で論理的な文章の書き方のトレーニング、ノートの取り方、自己分析、プレゼンテーションのしかた、スケジュール管理のしかた等々を、かなり細かくやります。原則として、研究テーマは、比較政治学やその他三竹担当の授業内容に関連したものを自分で設定することになります。

**履修上の留意点** 応募する前に必ずメールで相談してください。向いていないゼミに応募してしまうと、ゼミを履修するチャンスを失ってしまう可能性があります。

4年次にも必ず履修登録し就職活動と両立させ、最後までゼミを続けることを条件のひとつにしています。その他にも条件がありますので、必ず事前に相談してください。法律学科から応募する方は特に注意してください。

**成績評価の方法** 自己評価を基本とします。

**教科書** たくさんあります。その都度、指示します。(買わなければいけないものは多くありません。)

**その他** mitake@komazawa-u.ac.jp

履修コード	124001・124002
科目名	演習I 演習II
担当者名	向田 正巳 <small>むかいた まさみ</small>

講義のねらい	本演習では、判例研究を通じて、民法を基礎から学びます。民法の基本判例を読みながら民法における基本的なものの考え方、法的思考の基本を学び、演習参加者が裁判実務、ビジネス法務実務、行政実務等それぞれの進路においてその知識を活かす術を学ぶことが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	まず判例百選等でとりあげられるような基本判例を読みながら民法の基礎的な論点を学習し、それを通して判例の読み方、教科書のまとめ方、本文などの資料調査と研究報告の方法について学びます。次に10月くらいからになるとは思いますが、最高裁判所民事判例集等から最新の判例をゼミのグループ単位で選び、判例のなかから民法解釈論上の論点を抽出し、従来の学説、判例に照らし合わせながら検討するという作業を行います。最後に時間があれば参加者が各自、関心のあるテーマにつき個別に報告、レポートを提出してもらいます。
履修上の留意点	民法の基礎をしっかりと学び、民法の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。
成績評価の方法	出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。
教科書その他	演習の始めに指示します。 コンパ、合宿を予定しています。

法  
律

履修コード	125601・125602
科目名	演習I 演習II
担当者名	山口 邦夫 <small>やまぐち くにお</small>

講義のねらい	1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。
講義の内容・授業スケジュール	1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。 第I期(4・5月) 罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。 第II期(6・7月) 刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。 第III期(9・10月) 生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。 第IV期(11・12月) いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。
履修上の留意点	毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。
成績評価の方法	演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。
教科書	判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

履修コード	120401・120402
科目名	外書講読I(英書) 外書講読II(英書)
担当者名	井上 健一 <small>いのうえ けんいち</small>

講義のねらい	そもそも「法的」な議論とか、「法的」責任というものはどのような意味で他の議論(たとえば「経済学的」な議論)、他の責任(たとえば「倫理的」責任)と区別されるのだろうか。法学部にいるから、なんとなく「法的」なものかどこかにあるかと思っているかも知れないが、その実体は何なのだろうか。英米法の観点からという点で偏りがあることは否めないが、英文で書かれた法哲学の論考を数点選んで読んでいく。「『法的』なもの」をわかったつもりで法学部を卒業するのに若干戸惑いがあるような諸君の参加を強く希望する。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書からセレクトした文献の輪読。前後期通じて、特に発表者は指定せず、ランダムに授業内で指名した者に翻訳をせよ。よって、参加者は常に準備が必要である。英語の習熟レベルは英検2級以上あることが望ましいが、ただ、熱意でカバーは十分可能である。法的な知識、特に法哲学や法思想史の知識は前提としないが、あるに越したことはない。英語のトレーニングである以上に、「法」を理解することが最大の目的であることをお互い(履修者も私も)忘れないようにしたい。
履修上の留意点	深く物事を考えたいという意欲を持つこと。単位合わせのための履修というスタンスでの参加はご遠慮願いたい。
成績評価の方法	出席と授業での翻訳・議論への貢献による。レポート等は課さない。
教科書	Keith Culver(eds.), <i>Readings in the Philosophy of Law (1st. ed.)</i> より適宜コピー配布。現行の2nd.ed. は若干内容が薄い。他にも適宜教材を「拾って」くる予定。
参考書等その他	適宜紹介する 授業情報は <a href="http://homepage3.nifty.com/inoue-k/">http://homepage3.nifty.com/inoue-k/</a> も参照のこと。

履修コード	120501・120502
科目名	外書講読I (英書) 外書講読II (英書)
担当者名	王 志安

講義のねらい	国際法にかかわる入門的英文教科書、国内・国際裁判の判決原文を講読することを通して、法律文書によく使われる基礎的な表現法、専門用語および英米や国際裁判判例の基本構造を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	前期では主に入門的教科書を中心に、専門知識を表現する英文になれることに重点を置き、文書の翻訳、解説を通して英語と専門知識を習得してゆく。後半では前期の勉学を踏まえて、英米の国内裁判の判決および国際司法裁判所の判決を選定し、翻訳を通して判決文の基本構造、専門用語および特徴を勉強する。
履修上の留意点	国際法にかかわる外書の購読となるので、国際法の講義を習得したことが不可欠です。また、英文の新聞紙をだいたい読める程度のレベル英語能力をもつことが望ましい。
成績評価の方法	尚、少人数の教育となるので、興味をもって必ず参加するという積極性をもつ学生が期待される。講義への出席状況、担当された翻訳作業の完成度、講義における参加の積極性を中心に、総合的に判断する。
教科書 参考書等	開講時にプリントを配布する。 開講時に指定する。

履修コード	120601・120602
科目名	外書講読I (英書) 外書講読II (英書)
担当者名	川口 幸美

講義のねらい	この講義では、まずは法律に関する英文に慣れ、法律用語等の基礎知識の習得から始めて、最終的には初歩的な英語の学術論文を読みこなすことを目的とする。また、法と経済学の視点から見た日本の法制度の矛盾や問題点について議論し、それを通じて日本の法制度について理解を深めることも期待する。
講義の内容・授業スケジュール	複数の著書あるいは論文から、受講者の希望を参考に、いくつかのテーマをとりあげて、毎回担当者を決めて、翻訳と解説をしてもらう。
履修上の留意点	基礎的な英文読解力に加え、報告担当者は担当部分の全訳と内容について補足説明できるよう下調べをしてくる。報告内容が不十分であればやり直しさせることもあるので気をつけること。また他の受講生も内容について必ず予習をし、質問および感想を提示できるよう準備しておくこと。
成績評価の方法	出席と報告内容および質問・意見等、平常時の受講態度で評価する。2/3以上の出席がないと、単位は認定しません。
教科書	Curtis J. Milhaupt & Mark D. West, Economic Organizations and Corporate Governance in Japan (Oxford, 2004). Ramseyer, J. Mark/ Nakazato, Minoru, Corporate Governance in Japan Japanese Law: An Economic Approach (University of Chicago Press, 2001).
参考書等 その他	辞書、参考書、辞典等については随時指示する。 受講生の希望が多ければ、時事英語のテキストも読みます。受講生が多い場合は、初回に簡単な読解テストを行い、選抜することも予定しています。

履修コード	120701・120702
科目名	外書講読I (独書) 外書講読II (独書)
担当者名	松村 格

講義のねらい	ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することになります。
履修上の留意点	そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。 毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。
成績評価の方法	普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。
教科書 参考書等	未定。第1回目の授業に配布します。 未定。

履修コード	120801・120802
科目名	外書講読I (仏書) 外書講読II (仏書)
担当者名	中野 裕二

**講義のねらい** 比較的平易なフランス語で書かれた文献を読むことで、フランスの法律・政治に関する知識を深めることを目的とします。フランス語の授業ではありませんので、初級程度のフランス語ができることを前提に授業を進めます。

**講義の内容・授業スケジュール** この講義は、法律学科・政治学科に同時に開講されているので、フランスの共和制の原則、統治機構、人権などに関する文献を読んでいきます。まず、フランス語を正しい日本語に翻訳し、文法などを確認し、次にその内容について確認していきます。受講生が初級程度のフランス語が理解できているかどうかを確かめるため、第1回目の授業では簡単なテスト (仏語検定4級程度) を行います。

**履修上の留意点** 初級程度のフランス語を理解していること。

**成績評価の方法** 期末試験を実施します。期末試験を6割、出席状況、発表内容を4割の比率で成績評価とします。

**教科書** 受講生の読解力によって教材を選びますので、現在は未定です。

法  
律

履修コード	120901・120902
科目名	外書講読I (中国書) 外書講読II (中国書)
担当者名	江林 英基

**講義のねらい** 現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後数回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基づき、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

**講義の内容・授業スケジュール** この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

**履修上の留意点** 授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造 (文型) を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

**成績評価の方法** 出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

**教科書** コピーを配布する。

**参考書等その他** 江英居著『中国憲法』(大学書林) 3,500円、『中華人民共和国法律匯編』(北京人民出版社) 学生への要望：授業中私語禁止。

履修コード	118801
科目名	登記法
担当者名	田沼 浩

**講義のねらい** 初めて登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・会社法・商法の手続法としての「不動産登記法・商業登記法」が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、両法のより深い理解を図ります。また、登記簿等のオンライン閲覧や今後予想されるオンライン登記申請に伴う情報リテラシー (活用) 能力を養います。

**講義の内容・授業スケジュール** (前期) (1・2) 登記法概論 (3) 不動産登記法総則・商業登記法総則 (4~6) 民法典物権編総則にかかる不動産登記 (7) 所有権にかかる不動産登記 (8~10) 民法典相続編にかかる不動産登記 (11~13) 担保物権にかかる不動産登記 (後期) (14~16) 会社法第四章登記、商法第三章商業登記 (17~25) 会社法にかかる商業登記 (26) まとめ

**履修上の留意点** 不動産に関する取引全体の流れに対して、情報として重要な役割を果たす不動産登記を理解することを旨とし、会社法と関連させることによって会社の起業や取引先の情報収集に役立つ商業登記法の知識を最低限習得できるように努めます。受講者は民法典第二編物権、第三編債権、第五編相続、会社法の履修を望みます。また、この講義を受講することが望ましい者として、将来、企業の法務部・総務部に配属されることを考えている者、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者など、広く対象とします。

**成績評価の方法** 学年末試験の結果と提出物 (前期レポート) の内容に依拠して行います。問題作成及び成績評価にあたっては、教科書等から問題を作成し、講義に積極的に参加した人が有利になるように成績評価を配慮します。

**教科書** 『窓口の相談事例にみる事項別不動産登記の Q&A180 選』(日本法令 不動産登記研究会編) 2,200円 『定款の実務』(オンブック 田沼浩著) なお、アマゾン及び指定書店で購入可能。

**参考書等** 法務省民事局編『不動産登記実務 [5訂版]』(法曹会) 4,000円 判例六法 有斐閣 5,250円

履修コード	118901
科目名	税法
担当者名	中江 博行 <small>なかえ ひろゆき</small>

**講義のねらい** 現代生活においては、我々は租税に無関心であることはできない。なぜならば、日常生活では取引・契約は必ず発生し、そこには、通常、課税関係が生じる。  
そこで、本講義では、租税の機能・役割から、租税法上の考え方を身につけてもらう。

**講義の内容・授業スケジュール** (前期)  
1. 租税の目的・意義 2. 租税法主義の原則と租税回避について 3. 所得概念と所得税の基本構造 4. 消費税法のしくみ  
(後期)  
1. 相続税法の基本構造 2. 法人税の課税根拠と企業利益 3. 財務調査(質問検査権)

**履修上の留意点** 会計学、財政学、簿記学等の科目の履修が望ましい。また小テスト及びレポートの提出を随時求めるが、提出がない場合には期末試験の受験資格を失うこともあるので注意すること。

**成績評価の方法** 講義中に課す小テスト、レポート及び期末試験の結果を総合して評価する。(定期試験80%、レポート10%、講義の参加態度10%)

**教科書等その他** 中江博行『法人税法講座三訂版』(税務経理協会)  
六法(税法掲載のもの)、別冊ジュリスト『租税判例百選』第4版(有斐閣)  
毎回の講義時の連絡事項及びレジュメは、本学サイト内“YeStudy”にアップしておくので講義開始時には、プリントアウトして持参すること。質問は、原則、講義終了時に行うが、E-mail(p5@p-five.com)でも受け付ける。  
教員プロフィール  
中江博行  
税理士、富士大学客員教授、関東学院大学講師  
研究分野 法人税法・組織再編税制

法  
律

履修コード	127501
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small>

**講義のねらい** 日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをくみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

**成績評価の方法** 前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

**教科書等その他** 富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定(内外出版)  
『地方自治判例百選(第3版)』(別冊ジュリスト)。  
講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履修コード	120301
科目名	環境法
担当者名	<small>なかつ たかひと</small> 仲田 孝仁

講義のねらい	本講義の目的は、受講者に広く環境問題に関心を持たせることは言うまでもなく、「環境法」の法的枠組みを理解させ、「法」という道具を用いることで、各人が環境問題への具体的解決策を導くための糸口を与えることにある。履修者諸君には、本講義の履修後に、環境問題を一步踏み込んで解釈・分析する視点を持つことが期待される。
講義の内容・ 授業スケジュール	環境法に係る共通的な法理論・原則を概説した後に、個別的な実定環境法へと講義内容を展開する。1. 開講の辞、2. 環境法の歴史、3. 環境法の諸原則、4～5. 公害対策基本法から環境基本法へ、6～9. 廃棄物・リサイクルと法 ((1)～(4))、10. 化学物質管理と法、11～13. 大気・水・土壌環境保全と法 ((1)～(3))、14～15. 自然環境保全と法、16～17. 環境影響評価と法、18～20. 環境紛争と司法的・行政的解決 ((1)～(3))、21. 道路公害訴訟の現状と課題、22. 環境行政組織/公害紛争処理と環境ADR、23～24. 地球温暖化対策と法、25. 環境法における市民の役割、26. 最終講—環境法の未来
履修上の留意点	学生諸君との対話を重視し、頻繁に発言やメモの提出を求める。講義自体はパワーポイントやビデオ等を用い、視覚に訴えることで分かりやすさを心がけたい。講義内容は基礎的な事項を中心に進めるが、最新判例や理論の動向も加味していく。また、具体的な事例を取り上げ、それらの問題の所存や解決策を諸君とともに模索していく。
成績評価の方法	期末試験の成績(80%)及び平常点(出席点・発言点・レポート、20%)を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。
教科書	使用しない。
参考書等	別冊ジュリスト『環境法判例百選』(有斐閣)2004年等。 その他は授業時に指示する。
その他	講義においては、レジュメを配布する。

法  
律

履修コード	119701
科目名	経済法
担当者名	<small>わかひばやし ありさ</small> 若林 亜理紗

講義のねらい	経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。
講義の内容・ 授業スケジュール	以下のトピックについて講義を行う予定である。 1 独占禁止法の基礎概念 2 不当な取引制限 3 私的独占 4 一般集中規制 5 市場集中規制 6 不公正な取引方法 7 公正取引委員会 8 私的エンフォースメント・刑事罰
成績評価の方法	期末試験により評価を行う。
教科書	丹宗・厚谷編『新現代経済法入門(第2版)』(法律文化社)
参考書等	別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選(第六版)』(有斐閣)
その他	授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする(基本的には教科書に沿ったものとなる予定である)。



履修コード	120101
科目名	消費者法
担当者名	<small>むかいだ まさみ</small> 向田 正巳

講義のねらい

本講義では、民法の特別法としての消費者法についての概説を行います。消費者法という法典があるわけではありませんが、消費者を保護し、その権利を守るための法としてはさまざまなものがあります。私たちは消費者として生活に必要な商品を購入しながら暮らしていく中で、さまざまな法的トラブルに直線します。消費者を保護する法として、どのようなものがあるかを知ることが、健全な社会生活をおくる上で、とても大切なことです。本講義では民法についての基本的な知識を確認しながら、商品を買うときにだまされたとき、欠陥商品を買ってしまったときなど、消費生活上のさまざまな法的トラブルにいかに対処すべきか、事例を用いながら学んでいくことにします。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では前期に主に製造物責任法を、後期に主に消費者契約法を検討します。基本的な授業の進め方は以下の通りです。

前期：製造物責任法について

- 1 民法と製造物責任法
- 2 民法における不法行為責任についての確認
- 3 製造物責任法についての各論点の検討

後期：消費者契約法について

- 1 民法と消費者契約法
- 2 民法における契約責任についての確認
- 3 消費者契約法についての各論点の検討

履修上の留意点

消費者法は民法の特別法ですから、本講義の履修者には当然のことながら民法の基礎知識が必要となります。履修者は消費者法の各論点を検討する際には、必ず民法の体系を念頭においた考察をするように心がけてください。

成績評価の方法  
教科書

期末試験と小テストによって評価します。  
未定。授業の始めに指示します。

法  
律

履修コード	119601
科目名	知的財産権法
担当者名	<small>もりおか のぶ</small> 盛岡 一夫

講義のねらい

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるようになることを目的とし、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関連する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

知的財産権法概説（1～3）、特許要件、職務発明（4～6）、特許権の効力・救済方法、実施契約、審決取消訴訟（7～12）、実用新案法、意匠法、商標法（16～19）、不正競争防止法（20～23）、著作物、著作人格権、著作権、著作権の制限（24～30）

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。  
盛岡一夫『知的財産法概説〔第4版〕』（法学書院）2,600円＋税  
中山・相沢・大淵編『特許判例百選〔第3版〕』（有斐閣） 齊藤・半田編『著作権判例百選〔第3版〕』（有斐閣）

履修コード	119301
科目名	民事執行・保全法
担当者名	福永 清貴 <small>ふくなが きよたか</small>

講義のねらい	本講義では、民事執行・民事保全の両手続のうち、とくに民事執行手続を中心に、その解釈上の重要問題と全体構造の理解を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず総論として、判決手続・執行手続・保全手続の概要や執行手続の種類・態様、民事執行手続の理念・基本構造等について説明する。その後、各論として、強制執行手続（債務名義・執行文・執行関係訴訟等）と担保権実行手続とを比較しながら講義する。後期後半には、民事保全手続（保全命令の発令手続・保全執行手続）について講義する予定である。
履修上の留意点 成績評価の方法	民法（特に債権法・担保物権法）および民事訴訟法を履修していることが望ましい。 後期の期末試験の成績によって評価する。受講生が少ない場合は、出席状況を評価に加えることもある。
教科書	『わかりやすい民事執行法・民事保全法』生熊長幸 著 成文堂 3,300円＋税 ISBN4-7923-2500-5
参考書等 その他	「民事執行法判例百選」。その他適宜紹介する。 授業方法は、講義形式である。但し、受講生が少数の場合は、ゼミ形式で行うこともある。適宜、プリントや資料を配布し、毎回具体的な事例を題材として講義する予定である。

法  
律

履修コード	119501
科目名	倒産処理法
担当者名	鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small>

講義のねらい	破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。
履修上の留意点	1. 倒産法制の概観 2. 破産原因・破産能力 3. 破産申立てと破産宣告手続 4. 別除権・相殺権 5. 破産財団をめぐる法律関係 6. 財団再建・取戻権 7. 破産手続の主体 8. 否認権・配当 9. 免責・破産犯罪
成績評価の方法	民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。
教科書	簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。
参考書等	徳田和幸『ブレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円 山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円 伊藤眞『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円 青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円

履修コード	119401
科目名	法哲学
担当者名	高橋 <small>たかはし</small> 洋城 <small>ひろき</small>

講義のねらい

本講義では、近現代法の仕組・思考方法の基礎について検討するために必要な様々な分析枠組、原理や概念等々を学び、批判的思考のツールとして、他の法律学の学習や日常的な法との関わりの中で使えるものにしていくことを第一の目標とする。その過程では、しばしば「当然だと思っていたことがかえってわからなくなる」こともある。しかし「あらためて考え直してみる」という過程で、様々な思想や思考法に触れ理解を深めることは、将来、自らの力であらためて根本的な問題を考えてゆくための手がかり・突破口を得ることにもつながるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

法理論史において繰り返し論じられてきた諸トピックの中からいくつかの論点をとりあげ、それぞれの項目ごとに、理論的分析、思想史的背景、さらに現代の具体的な諸問題を念頭に置いた検討を加えていく。項目によって扱いは異なるが、できるだけ具体的な諸問題と法哲学的問題の関連が理解できるように授業の進行を心がけるつもりである。

授業で扱う具体的なテーマは、おおむね以下を予定しているが、受講者の反応・理解に応じて修正する可能性もある。

- 1 自然法論と法実証主義
  - ・古典的自然法論を中心とした自然法論の基礎的理解
  - ・近代自然法論、および18世紀以降の自然法論の展開についての概観
  - ・法実証主義の基礎的理解、およびその現代における展開の概観
  - ・法と道徳の問題等、自然法論と法実証主義にかかわる諸問題の批判的検討
- 2 正義論
  - ・アリストテレスの正義論を軸に、法と正義の問題の基礎的理解
  - ・平等と自由の問題
  - ・正義論の現代的展開および、現代の諸問題との関連
- 3 法解釈と法の客観性
  - ・法解釈の性質について
  - ・概念法学とそれに対する批判的諸潮流の検討
  - ・日本における戦後法解釈学論争の意義
  - ・法解釈に関する諸理論の現代的展開

履修上の留意点

講義に際しては、受講者において、少なくとも本講義履修対象年次までの必修科目についてその基本的・原理的部分の理解があることを前提に進める。その点に不安がある場合には、受講にあたって十分な自助努力が必要となることを了解しておいてほしい。

成績評価の方法

年度末の定期試験を主とし、平常点を加味して評価する。平常点は、授業時間内の小テスト・レポートを予定しているが、その他、受講者の人数によっては出席点を加味する場合もある。以上についての詳細やその他の評価基準・方針は第1回の講義において伝えるので、必ず出席すること。

教科書

深田三徳・濱真一郎(編)『よくわかる法哲学・法思想』(ミネルヴァ書房)、¥2,730 講義の資料としても、また自習・予習の指示のためにも用いるので、必ず授業に持参すること。

参考書等

開講時に紹介する。

履修コード	119001
科目名	財政学
担当者名	塚本 <small>つかもと</small> 正文 <small>まさふみ</small>

講義のねらい

私たちは、様々なサービスなどを国や地方自治体から受け、反対に租税を納めている。これだけ身近な問題でありながら、その仕組みは複雑で専門用語だらけのように見える。そこで、私たちはなぜ租税を納めなければならないのか、納めた租税はどのように用途が決定されるのか、どのような租税や公共サービスが存在するのかなど生活に密着した話題をテーマに、財政の仕組みや問題点を学び、税や政府について理解を深めることを目的として講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

(第1～2回目) 財政の枠組みとはどういうものなのか、(第3～4回目) 政府のお金の使い道はどの様に決まるのか～予算について～、(第5～7回目) 政府が集めたお金は何に使っているのか～政府支出について～、(第8～11回目) 政府はどの様にお金を集めているのか～租税について～、(第12～14回目) 政府の借金とは何か～公債について～、(第15回目) 前期の総括、(第16～18回目) まちと財政問題～地方財政について～、(第19回目) 財政のもつ機能について、(第20～22回目) 資源配分～財政の機能Ⅰ～、(第23～25回目) 所得再分配～財政の機能Ⅱ～、(第26～28回目) 景気政策～財政の機能Ⅲ～、(第29回目) 地球環境と財政、(第30回目) 後期の総括

履修上の留意点

できるだけ指定した教科書に沿ってすすめるので、当日の講義内容を予め読んでおくこと。また、日頃から新聞の政治および経済欄を読んでおくこと。

成績評価の方法

学期末試験の結果をもとに成績を決定する。ただし、授業時に指示する提出物(レポート)の提出状況も考慮に入れる。

教科書

里中恒志・八巻節夫編著『新財政学』文真堂 ¥3,300 ISBN:4-8309-4546-X

履修コード	128101
科目名	国際関係論
担当者名	三船 <sup>みふね</sup> 恵美 <sup>えみ</sup>

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを本講義の目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 国際関係論という学問
2. 国際関係論の4つの理論的視角
3. 国際関係のアクター
4. 国益とパワー
5. 勢力均衡とバンドワゴン
6. 同盟の力学
7. 覇権による安定
8. リベラリズムの考え方
9. ネオ・リベラリズムの考え方
10. ゲーム理論と国際関係
11. 南北問題と構造的暴力
12. コンストラクティヴィズム
13. 平和学の誕生と展開
14. 前期講義のクイズ (quiz = 小テスト)
15. クイズの解説
16. 安全保障の概念と類型
17. 人道的介入
18. 大量破壊兵器の拡散
19. 平和構築と国際機関・国際NGO
20. 日本の領域と日韓関係
21. 日本の領域と日中関係
22. 「人間の安全保障」と人権
23. 「人間の安全保障」と日本のODA外交
24. グローバル化と地域統合
25. 地球環境問題
26. 後期講義のクイズ
27. クイズの解説
28. 総括

法  
律

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

試験 (100%)。  
山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。  
授業中に紹介します。

履修コード	119101
科目名	経済政策
担当者名	森岡 <sup>もりおか</sup> 仁 <sup>じん</sup>

講義のねらい

市場を中心とした自由主義経済の中に、国が運営する経済政策を導入するようになってかなりの時間が経過したが、今や国民は経済政策を抜きに安定した経済生活を送ることはできない。本講義では経済政策の基礎を構成する諸概念の理解を深めることによって、日々展開される実践的経済政策を的確に判断する力を高めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1～4) 経済政策の概念、経済政策の目標、経済政策の手段、経済政策学、(5～8) 重商主義の経済政策思想、自由主義の経済政策思想、価値判断論争と経済政策学、現代経済政策学の方向、(9～12) 政策課題としての福祉問題、政策課題としての秩序問題、政策課題としての社会問題、現代政策課題の総括、(13～16) 経済成長の意義、古典派の経済成長論、完全雇用と現代の成長政策、経済成長と資本・労働、(17～20) 安定と成長の問題、経済変動とその安定政策、物価変動のメカニズム、現代インフレーションの対策、(21～24) 経済均衡と市場機構、独占と寡占、寡占の本質と作用、産業組織政策の展開、(25～28) 社会的公正と社会均衡化政策、国民所得の分配と再分配、公害問題の発生、福祉国家への道、(28～30) 現代の人口問題、人口政策の課題、経済政策と人口政策。

履修上の留意点

経済政策の根底には経済理論があるが、少しでも経済理論に触れておくことが好ましい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

学年末の定期試験。追試験も実施する。  
森岡他著『現代経済政策』(千倉書房)1975年 2, 520円。4-8051-0842-8  
特に指定せず。  
授業方法は講義。

履修コード	119201
科目名	社会政策
担当者名	<small>おきの こうたろう</small> 脇野 幸太郎

**講義のねらい** 社会政策は、資本主義社会における市場経済がもたらす弊害から人びとを保護するとともに、その生活水準を高め、私たちが安心して日々の生活を送れるようにするために行われるさまざまな政策の集合体です。それは、それぞれの時代状況に対応すべく、変遷を重ねながら発展してきており、その意味で非常に幅広く、多岐にわたる学際的な学問領域です。

本講義では、社会政策について、その歴史の変遷・発展の過程を踏まえつつ基本的な理論的理解を行い、その上で現代の社会政策における中心的課題である労働政策および社会保障政策について、法学・社会学・経済学・政治学といった社会科学の諸分野とのかかわりを意識しながら多角的視点で検討することを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1 社会政策の基本的理解
  - ① 社会政策とは――その対象と範囲
  - ② 社会政策の歴史的展開過程
  - ③ わが国における社会政策とその特徴
- 2 現代における社会政策
  - ① 労働政策の諸問題（労働時間・賃金・雇用と失業・ニート・フリーター・外国人労働者・団塊の世代と労働市場等）
  - ② 社会保障政策の諸問題（年金・医療・介護・少子化と社会保障・公的扶助等）
  - 3 社会政策の展望

**履修上の留意点**

本講義では、内容理解の前提となる労働法や社会保障法についての説明は、時間の都合上最小限にとどめざるを得ません。従って本講義の受講者は少なくとも労働法・社会保障法については履修済み、もしくは履修中であることが望ましい。

**成績評価の方法**

原則として筆記試験の成績により評価しますが、状況に応じて行う小テストの結果や出席も考慮します。

**教科書  
参考書等  
その他**

開講時に指定します。その他毎回レジュメを配布します。  
講義の中で随時紹介します。  
授業の進め方等については、初回の講義で説明しますので、受講希望者は初回の講義には必ず出席してください。

法  
律

履修コード	101202
科目名	現代企業論
担当者名	<small>ざるやま よしひろ</small> 猿山 義広

講義のねらい

野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認していくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 経済情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターン
- 第4回 ポートフォリオ・マネジメント
- 第5回 企業とCSR
- 第6回 債券市場の役割と投資の基礎知識
- 第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識(1)
- 第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識(2)
- 第9回 投資信託の役割とその仕組み
- 第10回 日本の株式市場の歴史
- 第11回 経済成長と金融資本市場
- 第12回 資本市場における投資家心理
- 第13回 資産運用とライフ・プランニング
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書等

参考書等

その他の

定期試験および追試験は実施しない。

出席点とレポート点で評価する。

毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。

野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。

氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

法  
律

## II 專 門 教 育 科 目

### 2 政 治 学 科

政  
治

履修コード	125901
科目名	政治学概論
担当者名	三船 恵美・早川 純貴

講義のねらい 本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①行動論政治学とその批判(2回)
- ②権力と影響力(3回)
- ③多元主義論と権力エリート論(2回)
- ④イデオロギーについて(4回)
- ⑤政治参加と民主主義について(3~4回)

【後期】

- ①「国内政治」と「国際政治」・「国際関係」：つながっている内外政治(2回)
- ②政治体制(3回)
- ③政治変動(2回、視聴覚教材を用いる)
- ④現代の国際関係・国際政治(6回)
- ⑤「地域研究」という学問(1回)

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法  
教科書

前後期に試験(各50点)を実施する。その合計点で成績評価を行う。

前期は、早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2004年、2,600円。

後期は、加茂・大西・石田・伊藤『新版：現代政治学』(有斐閣)、2003年、1,800円。

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

政  
治

履修コード	126001
科目名	政治学概論
担当者名	早川 純貴・三船 恵美

講義のねらい 本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①「国内政治」と「国外政治」・「国際関係」：つながっている内外政治(2回)
- ②政治体制(3回)
- ③政治変動(2回、視聴覚教材を用いる)
- ④現代の国際関係・国際政治(6回)
- ⑤「地域研究」という学問(1回)

【後期】

- ①行動論政治学とその批判(2回)
- ②権力と影響力(3回)
- ③多元主義論と権力エリート論(2回)
- ④イデオロギーについて(4回)
- ⑤政治参加と民主主義について(3~4回)

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法  
教科書

前後期に試験(各50点)を実施する。その合計点で成績評価を行う。

前期は、加茂・大西・石田・伊藤『新版：現代政治学』(有斐閣)、2003年、1,800円。

後期は、早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2004年、2,600円。

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。



履修コード	126011
科目名	政治学概論
担当者名	三竹 直哉・中野 裕二

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 【前期】  
指定したテキストの内容にそって、政治学の全体を概観する。
- 序 政治学を勉強してみませんか——政治学の視点
- 1 えっ!! 投票するの? 誰に投票するの?——選挙を科学する、投票行動の研究
  - 2 テレビが政治をつくる?——マスメディアと政治意識
  - 3 政治家ってどんな人?——野心と理念
  - 4 思想と理念の絡み合い——政党、自民党長期政権の終わり
  - 5 官僚ってどんな人?——官僚制
  - 6 変わる「コネ」社会 日本——ネットワーク社会の政治と利益団体
  - 7 政策のつくられ方——政策過程
  - 8 目立たない最高権力者——孤独な首相
  - 9 自立の気概——日本に地方自治はあるの?
  - 10 世界はどこへ行く?——国際政治
  - 11 役に立つ(?)内政干渉——相互依存下の国際関係
  - 12 21世紀の試練——政治改革と構造改革

【後期】

YeStudy の利用を前提とする(使い方は総合情報センターに問い合わせること)。

前期の政治学概論や一年次に取り上げることができる政治学科の授業ではあまり扱われないいくつかのトピックをとりあげる。可能なかぎり多くの授業内活動を行うことによって、社会科学的な思考能力を訓練する。映像教材を多く使用する予定。ただし、教場の条件、参加者の人数や「やる気」などによって、授業のやり方は変わってくる。また、取りあげるトピックは、日本の政治状況や世界情勢の変化にあわせて決めるので、下記のトピックはあくまで例である。

トピック例: 女性と政治、君主制(日本の天皇制を含む)、民族問題、マイノリティ、移民政策、国際協力、生命倫理と政治

履修上の留意点

- ・前後期を通じてきちんと出席すること。
- ・出された課題は必ずやること。
- ・新聞を読むこと。

成績評価の方法

前期と後期の得点を、前期50%後期50%の割合で合計して素点とする。  
【前期】前期の最終回に中間試験を実施する。その他、授業時間中に実施するミニテストと夏休みの課題レポートなどを総合的に評価する。

【後期】平常点と期末テストによる。

教科書

前期は教科書を使用する。伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め(新版)』(有斐閣) 2003年 1,900円+税 ISBN:4641086958

履修コード	126101
科目名	憲法
担当者名	たかほた えいいちろう 高畑 英一郎

講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の存在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのようにして存在するにいたったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の存在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

講義の内容・  
授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

第一章 憲法概念と歴史

(一) 憲法とは (二) 憲法の種類 (三) 憲法の歴史

第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

(一) 日本国憲法成立の経緯 (二) 日本国憲法成立の法理

第三章 日本国憲法の特質

(一) 日本国憲法の基本原理 (二) 日本国憲法の特異性

各章節の内容は、それぞれの表題からはば明らかなものと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展をとげて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の主な内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスをへて成立するにいたったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐる争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章103カ条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりあえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法の性格と特色が理解できるような講義としたい。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題をとり上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、できるだけ講義に出席することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤りは大幅な減点となる）などをチェックする。

教科書  
参考書等  
その他

授業内で指示する。

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心を持ち、憲法問題を積極的に考えていくようすがとなるような講義を心がけるつもりである。

履修コード	126201
科目名	政治学原論
担当者名	大塚 桂

講義のねらい I自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A政治学の課題と対象、ならびに方法（1）

B政治の原理的究明

（1） 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

（2） 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

（3） イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）（2～15）

C政治の実体論的究明

（1） 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制（16～22）

（2） 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化（23～30）

成績評価の方法

V成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は、

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。教科書、授業の理解度を重視し採点します。

なお、追試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

その他の

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）、大塚編『日本の政治学』（法律文化社）等を参考にしてください。

履修コード	126401
科目名	現代政治理論
担当者名	山崎 望

講義のねらい	わたしたちが生きている現代社会がはらむ様々な問題について、現代政治理論の観点から把握し、どのようにそれらの問題に対峙していくのか、それを考える習慣を身につけることが目的です。
講義の内容・授業スケジュール	概ね、以下の論点について順次、講義をしていきます <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代政治理論の基礎概念（政治、権力、自由、グローバル化、リスク社会）</li> <li>・格差社会、「フリーター」、「ニート」、「勝ち組・負け組」</li> <li>・国民国家、多文化主義、フェミニズム、移民、ナショナリズム</li> <li>・テロ、人道的介入、民族・宗教紛争、内戦、治安・監視社会</li> <li>・自由民主主義、民主主義の変容、市民社会、国境を越える民主主義</li> </ul>
履修上の留意点	自分が生きてく上で直面せざるを得ないであろう問題について、考える習慣を身につけることが目的なので、毎回出席することを勧める。
成績評価の方法	学年末の試験。
教科書	杉田敦・川崎修編2006『現代政治理論』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12269-5
参考書等	有賀誠・伊藤恭彦・松井暁編2004『現代規範理論入門－ポストリベラリズムの新展開』ナカニシヤ出版 ISBN 4-88848-850-9
その他	講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定。 講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。

政  
治

履修コード	126301
科目名	日本政治論
担当者名	大山 礼子

講義のねらい	この講義の目的は、日本の政治のどこが問題なのか、歴史的視点や国際比較の観点から検討し、今後の改革の方向を探ることにあります。たくさん「目からうろこが落ちる」経験をし、いろいろな角度から物事を見られるようになってください。
講義の内容・授業スケジュール	(1～15) 日本の近代政治史を学習し、次の5つの問題を考えます。大日本帝国憲法の起草者たちはどんな国を造ろうとしたのか？戦前の政党政治はなぜ崩壊したのか？戦前と戦後の政治はどう変わったのか？高度成長期に貧富の差が拡大しなかったのはなぜか？自民党優位はなぜ続いたのか？ (6～30) 国会、内閣、官僚、地方分権、公共事業という5つの切り口から、現代日本の政策決定とその問題点を考察します。
履修上の留意点	途中で出入りする者、私語する者には、座席の変更や退場を求める場合があります。 現代日本の政治が講義の対象となるので、毎日、新聞の政治面に目をおす習慣をつけること。
成績評価の方法	年度末の定期試験によります。ただし、夏休みの課題や授業内で実施する小テストの結果、質問感想票の提出状況によって、持ち点を加算します。
参考書等	参考になりそうな新聞記事等はコピーを配布します。参考文献も適宜紹介しますので、積極的に読んでください。
その他	総合情報センターの YeStudy というシステムを利用し、毎回の講義の内容等や参考情報をアップロードする予定です。自宅からもインターネット経由でアクセスできるので、必ず参照すること。

履修コード	127101
科目名	政治思想史
担当者名	清滝 仁志

政治

講義のねらい

この講義では、ヨーロッパの政治思想史を歴史上の出来事との関連から著述家の視点を通して、具体的に論じます。変動期に生きた人々が同時代をどのように眺め、いかなる心配をし、解決策を考えていったかを明らかにします。

この授業で論じる「思想」とは抽象的概念でなく、現実の政治状況に対応して生まれ、実際の制度・政策と結びつく性格のものであります。講義では、代表的人物の考えを題材に、

- (1) 現在の政治現象を自分で判断する知的能力を身につけていく、
- (2) 欧米の政治・社会・文化を基礎づける知的背景を理解する、ことを目的にします。

講義の内容・授業スケジュール

前期

政治思想史入門 (1)、プラトンとアリストテレス (2)、マキアヴェッリと近代政治学の誕生 (3～5)、モアのユートピア (6)、宗教改革とルター (7)、カルヴァンとプロテスタンティズム (8・9)、ホブズとリヴァイアサン (10～12)、ロックと市民社会 (13～15)

後期

ルソーと平等社会 (1～3)、アダム・スミスにおける経済と政治 (4)、バークと保守主義 (5)、トクヴィルのアメリカ・デモクラシー (6～8)、シュンペーターのエリート主義民主主義 (9)、ダーネルの大衆民主主義 (10)、ハイエクと自由社会 (11)、バーリンの二つの自由 (12)、ロールズにおける正義 (13)、アーレントの全体主義批判 (14)、戦後日本の政治思想研究 (15)

履修上の留意点

本講義では次のことをおこないます。

- 1 授業に関する時事問題を取り上げながら、そのポイントを解説
- 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答えて、復習
- 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習

さらに公務員試験やその他の資格試験の関係箇所にも配慮します。

成績評価の方法

授業にきちんと出席し、課題をこなすことで自分の考える力が身についたかを重視します。

- ① 定期試験 (25%) 2009年1月実施
- ② 3回の課題レポート (35%), 6月 (10%)・9月 (15%)・11月 (10%)
- ③ コメント・ペーパー (40%) 授業での意見・質問等を5段階評価

\*評価のポイント

- ・授業で取り上げた基礎的知識を理解しているか?
- ・授業で取り上げた話題を自発的・積極的に考え、自分で判断できるか?
- ・自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現できるか?

なお、欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。

教科書  
参考書等

文献は講義・Yestudyを通じて随時紹介。

毎回、レジュメと資料を配布。レジュメはYestudyを通じて入手可。

講義で取り上げる古典の解説については、佐々木毅『政治学の名著30』(ちくま新書)を参照してください。

全般的な入門書として、佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』(ちくま新書)をお勧めします。

その他

授業その他の質問は、Eメール (kiyotaki@komazawa-u.ac.jp) でも受け付けます。

Yestudy (<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>) に授業ページを設置します。パスワードは授業で連絡します。

履修コード	127001
科目名	行政学
担当者名	児玉 博昭 <small>こだま ひろあき</small>

**講義のねらい** 行政学は、現代における行政の諸現象を、社会管理と政治行政関係の両観点から、制度・組織・活動の各要素について考察する学問である。この講義は、行政学の全体像を把握し、基礎を理解することを目標とする。

この講義では、はじめに、行政学の対象である行政とは何か、現代の行政国家がどのように成立し、それを受けて行政学がどのように発展してきたかを見る。次いで、制度論として現在の政府体系、政治と行政の関係、中央政府と地方政府の関係を明らかにする。組織論では官僚制の理論と現代組織論をふまえ行政組織の特徴と公務員制度の仕組みを述べる。活動論からは政策の決定・執行・評価の過程、行政責任と民主的統制のあり方を考える。

**講義の内容・授業スケジュール**

以下の項目を予定している。

1. 行政とは何か
2. 行政国家の成立
3. 行政学の発展
4. 行政改革
5. 現代の政府体系
6. 内閣制度と政官関係
7. 地方自治と分権改革
8. 官僚制の理論
9. 現代組織論
10. 日本の行政組織と行政改革
11. 公務員制度と人事システム
12. 行政活動と政策
13. 政策過程
14. 政策の執行と評価
15. 行政責任と参加

**履修上の留意点**

行政の現象は広範囲に及び、日常生活とも密接に関わる。行政学の学習にあたっては社会生活全般に関心を持つことが大切である。

**成績評価の方法  
教科書  
参考書等**

中間試験（30%）と期末試験（70%）によって相対的に評価する。  
森田朗『現代の行政（改訂版）』（放送大学教育振興会）2,000円  
授業内に適宜指示するか、印刷して配布する。

政  
治

履修コード	126601
科目名	国際政治学
担当者名	小堀訓男 <small>こぼりのりお</small>

**講義のねらい** 国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。

後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。

授業スケジュールは、（1～5）政治学の基礎的知識の整理、（6～8）国家、権力、民族、階級、（9～11）近代国家の特質、（12～15）国際社会の特質、（16～17）国際政治と国内政治、（18～22）国際政治の本質、（23～26）国家の行動基準、（27～30）冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。

**履修上の留意点**

授業中に読むべき本を紹介するので本を読むことと、TV・新聞・雑誌の報導に日頃から留意すること。

**成績評価の方法**

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

**教科書  
参考書等**

使用しません  
必要に応じて講義のなかで紹介します。

履修コード	126501
科目名	政治制度論
担当者名	<small>おおやま りいこ</small> 大山 礼子

**講義のねらい** 民主主義国家においては、政治制度の究極の目的は、いかにして国民の民意を正確に反映する政治を実現するかにあると見てよいでしょう。この講義では、政治制度の発展史を辿り、さまざまな制度のもつ意味を検討していきます。

**講義の内容・授業スケジュール**

以下の順序を考えていますが、時事問題の解説を織り込むため、変更する場合があります。  
 (1) 政治制度とは (2~3) デモクラシーとは何か (4) 議院内閣制と大統領制 (5~15) 政治制度の発展：イギリス、フランス、ドイツ、日本、アメリカ (16~17) 政党 (18~22) 選挙制度 (23) 政治資金 (24~25) 議会と政策決定過程 (26~28) 中央地方関係 (29) 司法審査制 (30) まとめ

**履修上の留意点  
成績評価の方法**

途中で出入りする者、私語する者には、座席の変更や退場を求める場合があります。  
 年度末の定期試験によります。ただし、夏休みの課題や授業内で実施する小テストの結果、質問感想票の提出状況によって、持ち点を加算します。

**参考書等**

参考になりそうな新聞記事等はコピーを配布します。参考文献は適宜紹介しますので、積極的に読んでください。

**その他**

総合情報センターの YeStudy というシステムを利用し、毎回の講義の内容等や参考情報をアップロードする予定です。自宅からもインターネット経由でアクセスできるので、必ず参照すること。

政

治

履修コード	126801
科目名	政治過程論
担当者名	<small>はやかわ としむ</small> 早川 純貴

**講義のねらい** 本年度の政治過程論は、政党についての基本概念から最近の理論研究までを検討する。講義では、その時々の政策事例を織り交ぜながら、政党に関する研究とその意義について論じていきたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 前期《政党の理論》15回                | 後期《日本の政党政治》15回        |
| 1 政党の概念について (2回)            | 1 自民党Ⅰ ―― 通説の再検討 (2回) |
| 2 政党の発生と展開 (2回)             | 2 自民党Ⅱ (4回)           |
| ―― ロッキン・テーゼ                 | ―― 最近の研究動向と事例研究       |
| 3 包括政党から選挙政党へ (3回)          | 3 野党について (2回)         |
| ―― ダウンズの理論と福祉国家             | ―― 国会における野党の強さ        |
| 4 政党システムについて (2回)           | 4 (旧) 社会党について (3回)    |
| ―― サルトーリの政党システム             | ―― なぜ衰滅したのか           |
| 5 一党優位政党制と多党制 (3回)          | 5 公明党について (2回)        |
| ―― 多党制は不安定?                 | ―― その宗教性と現実主義         |
| 6 政党組織の研究 (3回)              | 6 民主党について (2回)        |
| ―― パネビアンコの理論と<br>キッチェルト・モデル | ―― 政権奪取の可能性           |

**履修上の留意点**

講義では理論の解説に多くの時間をかける。理論の話は継続して聞かないと理解できない。きちんと出席することが肝要である。分からないときは遠慮せず質問すること。質問は学生の権利であり、教員はそれに答える義務がある。

**成績評価の方法**

中間試験と定期試験、および数回実施する小テストの合計点数により評価する。

**教科書**

使用しない。

**参考書等**

講義の中で随時紹介する。

履修コード	126901
科目名	日本政治史
担当者名	村井 良太

**講義のねらい** 政治を理解するには、思想分析、比較、一般化など様々な方法がありますが、歴史という経験に学ぶのが政治史です。本講義の目的は、日本政治史を学ぶことを通じて、日本の置かれてきた立場、選択とその結果について基本的な理解と知識を得ることです。さらに、歴史を学ぶことを通じて、政治を知り、現代を相対化してみる視点を養ってもらいたいと思います。

本年度の「日本政治史」では、現代日本に息づいている民主政の政治的伝統を、明治維新から第二次世界大戦後の1955年までの政治的経験に求め、なかでも1920年代の政党政治を中心に論じます。

**講義の内容・授業スケジュール**

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。  
 前期：(1)はじめに (2～3)日本政治の戦前と戦後 (4～6)開国と維新 (7～9)日清・日露戦争 (10～11)相次ぐ動乱と日本 (12～13)原内閣と憲政会 (14～15)原以後の試行錯誤  
 後期：(16～17)1924年憲政危機と西園寺 (18～19)憲政会の体制内化 (20～21)政党内閣制の成立 (22～24)政党内閣制の展開 (25～27)危機と戦争の時代の政党政治 (28～29)戦後政党政治の出發 (30)おわりに

**履修上の留意点  
成績評価の方法**

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。  
 成績は、随時おこなう出席調査と、中間試験、学年末試験によって評価します。追試験は実施する予定です。初回の講義で詳しい説明を受けてください。

**教科書**

村井良太『政党内閣制の成立』有斐閣、税込6,300円、ISBN:464107688X。教科書の利用については、必ず初回の授業で説明を受けてください。

**参考書等**

参考図書は、講義の中で随時紹介していきます。

政  
治

履修コード	126701
科目名	ヨーロッパ政治史
担当者名	土井 美德

**講義のねらい** 近・現代ヨーロッパの政治史・国際関係史を概説する。今日の欧州統合という展開をふまえながら、ヨーロッパが近代において提示したものの、さらに20世紀末以降に、ヨーロッパが提起しているものとは何かを考察する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- I 近代ヨーロッパの成立と展開
- ①西欧国家体系の誕生と展開
  - ②絶対主義国家の台頭と覇権闘争
  - ③国民国家の誕生
  - ④18世紀のヨーロッパの国際社会
  - ⑤19世紀ヨーロッパ協調とナショナリズム
  - ⑥自由主義社会の変容
  - ⑦両大戦間期のヨーロッパ
- II 現代ヨーロッパの形成と変容
- ①戦後ヨーロッパの形成
  - ②冷戦体制とヨーロッパ分断
  - ③ヨーロッパ統合の理想と現実
  - ④米欧関係の新展開
  - ⑤世界経済の多極化とヨーロッパ統合
  - ⑥米ソのデタントとヨーロッパのデタント
  - ⑦米ソ「新冷戦」とレーガンの対ソ政策
  - ⑧ソ連・東欧ブロック崩壊の始まり
  - ⑨冷戦の終焉とヨーロッパ新秩序の胎動
  - ⑩統一ドイツと欧州統合
  - ⑪ポスト冷戦期のヨーロッパの安全保障
  - ⑫EU条約とヨーロッパ統合の新展開
  - ⑬ヨーロッパ統合の東方拡大

**成績評価の方法**

・定期試験の結果を中心に、出席状況を加味して総合的に判断する。



履修コード	127601
科目名	地方行政
担当者名	内海 <sup>うちうみ</sup> 麻利 <sup>まき</sup>

**講義のねらい** わが国の地方自治体は、国際化、情報化、高齢化など社会経済の急激な変化にさらされる一方、規制緩和、行政改革、地方分権の推進などの行政システム改革の強い要請のもとで、21世紀の地方自治のあり方を探究する変革期にある。本講義は私たちにとって身近な地方自治体における行政の仕組みや政策課題について、そのあり方を生活者市民の視点から明らかにし、学生諸君の地方自治についての専門知識と理解を深めることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業では、地方自治体の政策・制度・管理を中心として多角的に地方行政のあり方を具体的な事例を参照しながら考察し、地方自治に対する主体的な取り組みや可能性またその課題を実践的観点から考えることとしたい。なお、主として地方行政に関する以下のテーマを中心に講義する。詳しい授業スケジュールについては、第1回目のガイダンスで提示。

**【前期】**

- ・ガイダンス（1）
- ・地方自治制度の移り変わりとその特徴（2・3）
- ・地方分権と地方自治のしくみ（4－9）
- ・住民の権利と住民意思の反映（9－11）
- ・住民参加と市民主体のまちづくり（12－15）

**【後期】**

- ・地方自治体と政策形成（16－19）
  - ・政策過程と政策実現手法（20－24）
  - ・分野別の政策形成（25－30）
- 都市政策、環境政策、少子高齢化対策など

**履修上の留意点** 地方自治体に関する報道記事や関連の専門誌などに目を配り、地方行政について理解を深めるよう努力を払ってほしい。

**成績評価の方法** 授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

**教科書  
参考書等**

早川・内海・田丸・大山『政策過程論』（学陽書房）2004年

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

履修コード	127701
科目名	政策決定論
担当者名	児玉 <sup>こだま</sup> 博昭 <sup>ひろあき</sup>

**講義のねらい** 政策学は、政策の決定・実施・評価のメカニズムを考察する学問であり、政治学・行政学・経済学・経営学など諸科学が関係する学際的で実践的な学問である。この講義は、政策決定及び政策分析に関する基礎概念を整理することを目標とする。

この講義では、はじめに、政策学の対象である政策決定とは何か、政策志向がどのように生成され、それを受けて政策学がどのように発展してきたかを見る。次いで、政策決定をとりまく環境と社会構造、政策決定の参加者を明らかにする。そして、政策決定や政策プロセスのモデルについて論じていく。

以下の項目を予定している。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. 政策過程の実際
2. 政策志向の生成
3. 政策科学の発展
4. 政策科学とは何か
5. 政策科学と伝統的諸科学
6. 公共政策とは何か
7. 政策決定の環境
8. 政策決定の社会構造
9. 政策決定の参加者
10. 政策決定
11. 政策過程
12. 政策分析
13. 政策参加
14. 政策実施
15. 政策評価

**履修上の留意点**

実際の政策決定は決して機械仕掛けではなく雲のように捉えがたい。政策学の学習にあたっては現実の社会をきちんと見据えて、視野や方法が断片的にならないように心がけることが大切である。課題レポート（30％）と期末試験（70％）によって相対的に評価する。

**成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他**

宮川公男『政策科学入門（第2版）』（東洋経済新報社）2,800円

授業内に適宜指示するか、印刷して配布する。

教科書の内容に沿って講義を進めるが、政策プロセスを取り上げた映画なども見ていきたい。

履修コード	127201
科目名	行政法総論
担当者名	塩入 みほも

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組と理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なっており、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法／違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なのがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)～(2)行政法とは何か：行政法の成立、行政の定義、行政法の領域
- (3)～(5)行政法の基本構造：現代日本行政法の特徴、法治行政の原理
- (6)～(8)行政法の法源：成文法源、不文法源
- (9)～(11)行政作用の様々な分類論
- (12)行政立法
- (13)行政計画
- (14)行政指導
- (15)行政契約
- (16)～(20)行政行為論：特徴、成立と消滅、効力、行為類型論
- (21)～(22)行政裁量論
- (23)～(24)行政行為の瑕疵
- (25)～(26)職権取消しと撤回
- (27)～(29)行政上の強制制度
- (30)まとめ

政  
治

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題はその都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

教科書  
参考書等

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。最初の講義の際に紹介します。

履修コード	127401
科目名	行政法各論
担当者名	塩入 みほも

講義のねらい

行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度（＝行政救済法）について講義します。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 行政救済法総説
- (2)～(4) 損失補償制度
- (5)～(9) 国家賠償制度
- (10)～(12) 行政不服申立制度：意義と特徴、不服申立手続の種類・具体的要件・原理等、「公権力の行使」と「処分」の概念
- (13)～(14) 行政事件訴訟法総説：意義と特徴、行政事件と民事事件の区別基準、司法審査の要件と限界（法律上の争訟・紛争成熟性・統治行為論）等
- (15)～(19) 抗告訴訟論：処分及び裁決の取消訴訟・不作為の違法確認訴訟・無効等確認訴訟・義務付け訴訟・差止訴訟
- (20)～(26)取消訴訟の訴訟要件論：処分性、原告適格、狭義の訴えの利益、被告適格、裁判管轄、出訴期間、不服申立前置主義、その他の形式要件
- (27)取消訴訟の本案審理：訴訟物と本案要件、違法判断の基準時、違法の主張制限、実質的証拠法則等
- (28)取消判決の効力
- (29)～(30)仮の権利保護制度

履修上の留意点

行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましいです。ただし、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能です。特に公務員、行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題、論点についてはその都度指摘します。

成績評価の方法

定期試験（年度末一回）及び不定期に確認する出欠の総合判断により評価します。

教科書  
参考書等

特定の教科書は使用しません。初回講義の際に紹介します。

履修コード	127501
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄

**講義のねらい** 日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

**成績評価の方法** 前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

**教科書** 富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）

**参考書等** 『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

**その他** 講義では頻りに法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

政  
治

履修コード	127801
科目名	民法（総則・物権法）
担当者名	須賀 昭徳

**講義のねらい** われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひととおりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面（これを規律する法が財産法）と種族保存を目的とする保族生活の面（これを規律する法が家族法）とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひととおりの知識を持てるようにしていきたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期（民法総則）

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体（自然人） ④未成年者 ⑤成事被後見人・被保佐人・被補助人 ⑥法人（1） ⑦法人（2） ⑧権利の客体（物とは） ⑨法律行為（1）（意思の欠缺） ⑩法律行為（2）（瑕疵ある意思表示） ⑪代理（1） ⑫代理（2） ⑬無効と取消 ⑭条件 ⑮期限・期間

後期（物権法）

①時効（1） ②時効（2） ③時効（3） ④物権の意義、種類 ⑤物権の効力 ⑥物権の変動 ⑦占有権 ⑧所有権（1） ⑨所有権（2） ⑩用益物権（1） ⑪用益物権（2） ⑫担保物権（法定担保物権） ⑬約定担保物権 ⑭非典型担保（譲渡担保、仮登記担保） ⑮まとめ

**履修上の留意点** 講義にはかならず六法を持参すること。

**成績評価の方法** 期末試験の成績により評価する。

**教科書** 甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説（1）総則・物権』（第4版）（有斐閣）2,000円

**参考書等** 講義の中で指示する。

履修コード	127901
科目名	刑法総論
担当者名	佐藤 <small>さとう</small> 多美夫 <small>たみお</small>

講義のねらい

本講義では刑法総論の分野を扱います。刑法総論は刑法各論のように殺人罪、窃盗罪といった個々の犯罪を扱うのではなく、それらの犯罪の共通にもっている性格を明らかにしようとする。そこで、犯罪の基本的、重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめ、体系的に刑法総論を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

I 序説

- 1 はじめに
- 2 犯罪論の基礎
- 3 罪刑法定主義と刑法の解釈

II 構成要件

- 1 総説
- 2 結果
- 3 実行行為
- 4 因果関係

III 違法性

- 1 総説
- 2 正当業務行為
- 3 正当防衛
- 4 緊急避難

IV 責任

- 1 総説
- 2 責任能力
- 3 故意
- 4 過失
- 5 期待可能性

V 共犯

- 1 総説
- 2 共同正犯、共謀共同正犯、承継的共同正犯、過失の共同正犯
- 3 教唆犯
- 4 幫助犯

VI 共犯の諸問題

- 1 共犯と身分
- 2 不作為と共犯
- 3 共犯と錯誤
- 4 共犯の中止、離脱

VII 罪数と刑罰

筆記試験とその他総合評価とする。  
学内指定書店の指示を受けて下さい。  
適宜紹介します。  
予習復習をして下さい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

政  
治

履修コード	116801
科目名	労働法
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。特に、労働時間法、労働契約法、雇用平等法などです。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。

以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方、(2) 日本的雇用システムの変容と労働法、(3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合、(4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特色、(5) 雇用における男女平等、(6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約、(7) 労働条件の変更、(8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、(9) 人事異動－配転、出向、転籍、(10) 賞金、賞与、退職金、(11) 労働時間、時間外労働、(12) 休憩、休日、休暇、(13) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇、(14) 労働災害など

履修上の留意点

出席は当然のことと考えています。そして、授業のマナーは守ること。途中での退席は認めません。非常の場合は申し出ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

成績評価の方法

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましいと考えています。

学年末試験（論述式）がメインで、受験をしていないと評価は出しません。気をつけてください。また、確認テストやレポート、中間試験や出席も評価対象です。これらを総合的に評価して、成績を決めます。

教科書

追試験は実施します。

教科書は、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）、入門労働法（金子征史ほか著・有斐閣双書）が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

参考書等

なお、ただいま教科書(共著・エイデル研究所)を作成中です(準備中)。

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものがが必要です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

履修コード	118001
科目名	刑事政策
担当者名	覚正 豊和

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- | 回数   | 授業の内容   |
|------|---|
| 第1回  | 受講のガイダンス<br>刑事政策の意義と課題<br>刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。      |
| 第2回  | 犯罪学の歴史と展開<br>その起源から近代学説までを学ぶ。                         |
| 第3回  | 現代犯罪学の課題<br>ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。        |
| 第4回  | 犯罪の理念<br>犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。         |
| 第5回  | 刑事政策と暗数<br>犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。            |
| 第6回  | 犯罪の原因(1)<br>身体的・生理的要因について学ぶ。                          |
| 第7回  | 犯罪の原因(2)<br>個人環境的要因について学ぶ。                            |
| 第8回  | 犯罪の原因(3)<br>社会環境的要因について学ぶ。                            |
| 第9回  | 刑罰の意義・機能・沿革<br>意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。 |
| 第10回 | 死刑<br>憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。                            |
| 第11回 | 自由刑<br>意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。                   |
| 第12回 | 財産刑<br>罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。                        |
| 第13回 | 保安処分<br>意義、種類、要件などについて学ぶ。                             |
| 第14回 | 少年保護手続<br>家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。                   |
| 第15回 | 定期試験(予定)  |
| 第16回 | 犯罪者の処遇<br>意義、原則、動向について学ぶ。                             |
| 第17回 | 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察<br>微罪処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。            |
| 第18回 | 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察<br>起訴猶予などについて学ぶ。                     |
| 第19回 | 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判<br>量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。     |
| 第20回 | 矯正の意義・目的<br>矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。            |
| 第21回 | 受刑者の処遇<br>法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。            |
| 第22回 | 犯罪の予防<br>意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。                   |
| 第23回 | 更生保護<br>意義、措置、概況などについて学ぶ。                             |
| 第24回 | 恩赦・資格制度<br>恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。                     |
| 第25回 | 被害者補償<br>意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。                      |
| 第26回 | 各犯罪と対策<br>少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。                          |
| 第27回 | 各種犯罪と対策<br>組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。                    |
| 第28回 | 各種犯罪と対策<br>薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。                        |
| 第29回 | まとめ<br>討論及び質疑   |
| 第30回 | 定期試験  |

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

初回の授業において指示する。  
定期試験および平常点  
斎藤・覚正「刑事政策論(2007年)」(八千代出版)3,500円 ISBN978-4-8429-1421-3

参 考 書 等 授業において指示する。

履修コード	119201
科目名	社会政策
担当者名	脇野 幸太郎 <small>わきの こうたろう</small>

**講義のねらい** 社会政策は、資本主義社会における市場経済がもたらす弊害から人びとを保護するとともに、その生活水準を高め、私たちが安心して日々の生活を送れるようにするために行われるさまざまな政策の集合体です。それは、それぞれの時代状況に対応すべく、変遷を重ねながら発展してきており、その意味で非常に幅広く、多岐にわたる学際的な学問領域です。

本講義では、社会政策について、その歴史的変遷・発展の過程を踏まえつつ基本的な理論的理解を行い、その上で現代の社会政策における中心的課題である労働政策および社会保障政策について、法学・社会学・経済学・政治学といった社会科学の諸分野とのかかわりを意識しながら多角的視点で検討することを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1 社会政策の基本的理解
  - ① 社会政策とは――その対象と範囲
  - ② 社会政策の歴史的展開過程
  - ③ わが国における社会政策とその特徴
- 2 現代における社会政策
  - ① 労働政策の諸問題（労働時間・賃金・雇用と失業・ニート・フリーター・外国人労働者・団塊の世代と労働市場等）
  - ② 社会保障政策の諸問題（年金・医療・介護・少子化と社会保障・公的扶助等）
  - 3 社会政策の展望

**履修上の留意点** 本講義では、内容理解の前提となる労働法や社会保障法についての説明は、時間の都合上最小限にとどめざるを得ません。従って本講義の受講者は少なくとも労働法・社会保障法については履修済み、もしくは履修中であることが望ましい。

**成績評価の方法** 原則として筆記試験の成績により評価しますが、状況に応じて行う小テストの結果や出席も考慮します。

**教科書** 開講時に指定します。その他毎回レジュメを配布します。

**参 考 書 等** 講義の中で随時紹介します。

**そ の 他** 授業の進め方等については、初回の講義で説明しますので、受講希望者は初回の講義には必ず出席してください。

政  
治

履修コード	127301
科目名	環境政策
担当者名	横田 匡紀

講義のねらい

環境問題は現代世界の将来にかかわります。従って環境政策は将来の世代の生活にかかわる選択をする営みといえましょう。この講義では、多様化、複雑化、グローバル化している環境問題の状況を踏まえて、環境政策のメカニズムを理解していきます。日本、世界各国、国際社会における環境政策の具体例に言及しながら、行政の視点、企業の視点、市民の視点が交錯する諸相を明らかにします。公務員志望者、マスコミや民間企業志望者あるいは環境問題関連の資格試験なども念頭に置き、有益な情報の提供をところがたい。また現代社会の一市民として環境政策をみる視座、問題解決への視座を育成することが期待されます。

講義の内容・授業スケジュール

\*前期は「グローバリゼーションと環境問題への対応」と題して、環境政策がグローバルな性質を持つことを理解します。後期は「持続可能な社会のガバナンス」と題して環境問題に対応する社会のあり方を考えます。

前期テーマ「グローバリゼーションと環境問題への対応」

序―将来の世代のための選択：政策科学の視点(2-4)

- ・環境政策の射程と担い手―ローカルからグローバルへ
- ・環境政策のキーワード

1. 持続可能な発展 予防原則 共通だが差異のある責任原則 等  
 1. ストックホルムからヨハネスブルクへ(5-9)  
 ―持続可能な発展をめぐるガバナンスの軌跡  
 ・環境のグローバリゼーション  
 ・国連人間環境会議と地球サミット  
 ・ヨハネスブルク・サミットと制度改革
2. 新しい政策課題(10-15)  
 ・「人間の安全保障」と環境問題  
 ・淡水資源のガバナンス  
 ・ジェンダー/人権と環境問題  
 ・反グローバリゼーションと環境問題

後期テーマ「持続可能な社会のガバナンス」

序―持続可能な社会のキーワード(16-18)

ガバナンス コモンズ 社会関係資本と環境 政策手法の変質 等

1. 持続可能な社会の政策課題(19-22)  
 オゾン層保護  
 再生可能エネルギー 等
2. 政策統合の諸相(23-26)  
 環境経営  
 貿易と環境  
 エコツーリズム  
 持続可能な交通政策 等
3. 京都議定書と日本の課題(27-30)  
 地球温暖化のメカニズム  
 京都議定書の国際制度  
 京都メカニズム  
 環境政策の展望

\*受講生の関心や授業の進行度に応じて優先順位を変更したり、トピックを選別することがある。

\*時事問題を随時とりあげる予定である。

\*新聞記事やビデオなどを多用し、理解の深化に努める予定である。

履修上の留意点

講義中は私語厳禁とする。

出席点はないが、出席しないことで生じる不利益は各自の責任となることに注意してください。

KOMSYの詳細情報にも講義情報のエッセンス、試験情報を掲載する予定であり、出席できなかった学生は確認するように心がけてください。

成績評価の方法

定期試験の点数を基本とし、成績を評価します。ただし任意のレポートや平常点なども考慮します。

参考書等

宮脇・庄司編『グローバル公共政策』(晃洋書房)

横田匡紀『地球環境政策過程』(ミネルヴァ書房)(第2刷)

その他

環境問題に少しでも関心を持つ学生の履修を歓迎します。



履修コード	128101
科目名	国際関係論
担当者名	<small>みかね えみ</small> 三船 恵美

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを本講義の目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 国際関係論という学問
2. 国際関係論の4つの理論的視角
3. 国際関係のアクター
4. 国益とパワー
5. 勢力均衡とバンドワゴン
6. 同盟の力学
7. 覇権による安定
8. リベラリズムの考え方
9. ネオ・リベラリズムの考え方
10. ゲーム理論と国際関係
11. 南北問題と構造的暴力
12. コンストラクティヴィズム
13. 平和学の誕生と展開
14. 前期講義のクイズ (quiz =小テスト)
15. クイズの解説
16. 安全保障の概念と類型
17. 人道的介入
18. 大量破壊兵器の拡散
19. 平和構築と国際機関・国際NGO
20. 日本の領域と日韓関係
21. 日本の領域と日中関係
22. 「人間の安全保障」と人権
23. 「人間の安全保障」と日本のODA外交
24. グローバル化と地域統合
25. 地球環境問題
26. 後期講義のクイズ
27. クイズの解説
28. 総括

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

試験 (100%)。

山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。  
授業中に紹介します。

履修コード	128201
科目名	比較政治学
担当者名	三竹 直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。  
「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2007年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2007年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2008年度も2007年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。下記に2007年度のスケジュールを掲載してありますので、参考にしてください。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

前期

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 民主化を考える：ビルマ1
- 第3回 民主化を考える：ビルマ2
- 第4回 民主化を考える：ウクライナ1
- 第5回 民主化を考える：ウクライナ2と民主化支援
- 第6回 民主化を考える：サウジアラビア
- 第7回 民族対立を考える：ルワンダ
- 第8回 民族対立を考える：クルディスタン
- 第9回 移民政策を考える：アメリカとヨーロッパ
- 第10回 移民政策を考える：日本(1)
- 第11回 移民政策を考える：日本(2)
- 第12回 移民政策を考える：日本(3)
- 第13回 前期のまとめ

後期

- 第14回 先住民族政策を考える(1)：ハワイ
- 第15回 先住民族政策を考える(2)：アイヌ民族
- 第16回 先住民族政策を考える(3)：オーストラリアのアボリジニー
- 第17回 先住民族政策を考える(4)：グループ作業討論と全体討論
- 第18回 日本の難民政策を考える
- 第19・20回 『創造の方法学』
- 第21回 「比較政治学の方法論」：事例選択のバイアス
- 第22回 質的比較分析：ブール代数の練習
- 第23回 質的比較分析：西欧の民族言語運動
- 第24回 ブール代数による仮説の検証の練習
- 第25回 ブール代数による仮説の検証の練習（続き）
- 第26回 質的比較分析の実際

履修上の留意点

YeStudy の利用を前提とします。

ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。教室には必ず課題を読んでくることが条件です。毎週こつこつやると興味深く感じるが増えていきます。

また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞（特に国際面）をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。（病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。）

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。

その都度紹介します。

この文章は2007年12月時点に書いています。変更もあり得ます。

履修コード	091202
科目名	国際経済学
担当者名	徳永 俊明

講義のねらい 世界経済は、今日、世界社会・日本社会のあり方の〈土台〉をなしているものです。世界の姿・日本の姿を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。

講義の内容・授業スケジュール [前期]  
(1・2) 講義のテーマ・趣旨の説明、(3・4) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制、(5・6) 産業革命と自由貿易植民地体制、(7) 小括、(8・9) 帝国主義植民地体制、(10・11) 第1次世界大戦と世界経済、(12・13) 戦間期の世界経済、(14) 小括、(15) 予備日

[後期]  
(1・2) 第2次世界大戦と世界経済、(3・4) 「アメリカ中心体制」、(5) 貿易：GATT/WTO、(6) 国際通貨制度：IMF、(7・8) 「援助」、(9・10) 多国籍企業、(11) 小括、(12・13) 〈南北問題〉、(14) 新国際経済秩序、(15) 小括

成績評価の方法 ミニ・レポート(2回予定、各20点)と学年末レポート(60点)で評価します。世界経済の”枝葉”ではなく、”幹”の理解度を重視します。(追試験は行いません。)

教科書 とくにありません。講義の中で適宜紹介します。

政 治

履修コード	128001
科目名	国際法
担当者名	齋藤 洋

講義のねらい 国際社会の共通ルールである国際法について、その基礎知識および現代国際法を支える基本原理を明らかにし、わが国の将来の活動を規制する法的諸要素を理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 授業の説明と国際法総論(2～4) 条約と慣習法(5～7) 戦争観念の変遷(8～10) 国家主権観念の変遷(11～13) 承認論(14～15) 国家の権利義務・国際機関(16～23) 地的管轄権(主に海洋法：内水・領海・接続水域・排他的経済水域・大陸棚・深海底開発)(24～27) 人的管轄権(国籍の取得等・犯罪人引渡と例外・難民など)(28～30) 紛争の解決・その他。この間に、具体的問題を取り上げて、各項目の応用力を養う予定。

履修上の留意点 教科書を事前に読み、新聞・TVなどを通して国際社会に出来事に常に関心を払うようにしてください。

成績評価の方法 原則として定期試験によって評価します。

教科書 齋藤洋『国際法講義ノート・資料2008』(虹有社) 予価2500円

その他 担当者のHP：「齋藤@連絡」< <http://www.kirakuryu.com> >

履修コード	128501
科目名	北米政治論(1)
担当者名	小堀訓男

講義のねらい この講義は、“不思議な国アメリカ”を理解することが目的である。アメリカは、世界中から集まった、多種多様な人種によって形成された国家である。その不思議な国家を理解するためには、たった一度の戦争(アメリカ革命)で国家が成立してしまった様子、アメリカの国家理念、アメリカの政党と政治を理解する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール (1～5) 市民革命と近代国家の成立(イギリス、フランス、アメリカの比較)、(6～8) アメリカ国家の成立過程、(9～10) ピューリタンとアメリカ政治、(11～12) アメリカの国家理念、(13～15) アメリカ政治の特質

履修上の留意点 この講義では、アメリカ政治の総論を概説するが、政治学の基礎的な知識を必要とする。基本的な事項は、その都度明示し解説するが、理解出来ない点は積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法 定期試験70%、授業中の小テスト30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とします。

教科書 特定のテキストは使用しない。

参考書等 読むべき本、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介します。

履修コード	128601
科目名	北米政治論（2）
担当者名	小堀訓男 <small>こほりのりお</small>

講義のねらい この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、ルーズベルト大統領のニューディール政策からブッシュ大統領のイラク戦争までの歴代の大統領の内政と外交を概観する。

講義の内容・授業スケジュール  
 (1～3) ニューディール体制（ニューディール政策の内容を理解し、政策前と政策後のアメリカの政治の変化を考える。）  
 (4～5) 第2次大戦後の政治と社会（軍産複合体と人種差別問題を考える。）  
 (6～7) 激動の1960年代（ベトナム戦争とアメリカの行動基準を考える。）  
 (8) 社会変動と政治の対応（反戦運動とアメリカの国家理念、共和党ニクソン政権の成立を考える。）  
 (9) 1970年代後半の保守化への動き、(ウォーター事件とか Carter 政権の外交を考える。)  
 (10～11) レーガン政権、Ⅰ期、Ⅱ期（レーガノミクスと共和党のソ連政策を考える。）  
 (12) ブッシュ政権と社会主義諸国との関係（冷戦の終結と国際政治の構造的変化について考える）  
 (13～15) 冷戦終結後のアメリカと国際政治（湾岸戦争からイラク戦争までのアメリカの外交と新保守主義を考える）

履修上の留意点 上記のテーマのなかから受講生は各自好きなテーマを選択し研究をおこなう。希望者があれば授業中に研究発表をおこない、全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に発表に参加することを望みます。

成績評価の方法 定期試験70%、研究発表30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とします。

教科書 特定のテキストは使用しない。

参考書等 参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介します。

政  
治

履修コード	128701
科目名	東南アジア政治論（1）
担当者名	深尾 康夫 <small>ふかお やすお</small>

講義のねらい 東南アジアの特徴として域内各国における民族、宗教、言語、文化などの多様性が指摘されます。本講義では、このような多様性が東南アジア諸国の政治にどのように影響しているのかという側面を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 講義の前半では東南アジアの歴史をさかのぼり、この地域に多様な文化、宗教が域外から流入した背景とそのプロセスを見るとともに、欧米諸国による植民地化を経て第二次大戦後、多くの新興国家が誕生した経緯について学びます。授業の後半ではインドネシア、マレーシア、シンガポールなどを主な事例として、どのような政治システムが構築され、機能してきたかを学びます。

履修上の留意点 東南アジア関連のニュース報道に注意してください。

成績評価の方法 期末試験ないし最終レポート60%、小レポート30%、出欠10%に基づいて評価します。

教科書 教科書は特に指定しません。

参考書等 毎回授業時に参考文献リストを配布します。

履修コード	128801
科目名	東南アジア政治論（2）
担当者名	深尾 康夫 <small>ふかお やすお</small>

講義のねらい 東南アジアは古来文化的・民族的に多様な社会を発展させてきました。第2次大戦後独立を果たし、国造りを始めた大部分の国にとって、国内の多様性を尊重しながらいかに統一国家を維持するのかという問題は、今日に至るまで大きな政治的課題です。本講義では海域部の大国インドネシアを中心に、中央・地方関係の視点からこの課題への対応を探ります。

講義の内容・授業スケジュール 先ず集権化・分権化など基本的認識について確認後、1970年代以降、今日までの中央・地方関係を事務（仕事）、財政（カネ）、人事（ポスト）における権限がどう変化してきたのかという文脈から学びます。さらにスマトラ島アチェ、ニューギニア島パプア、東ティモール（2002年独立）など国際化してきた国内の分離独立運動との関連からも見ていきます。

履修上の留意点 インドネシアを中心とする東南アジア関連のニュース報道に注意してください。

成績評価の方法 期末試験ないし最終レポート60%、小レポート30%、出欠10%に基づいて評価します。

教科書 教科書は特に指定しません。

参考書等 毎回授業時に参考文献リストを配布します。

履修コード	128901
科目名	中国政治論（1）
担当者名	休講

講義のねらい	当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。
講義の内容・授業スケジュール	授業内容は、辛亥革命以後の中国の政治制度と政治事情の変遷が中心になるが、とくに中華人民共和国建設後は、そうした変遷が、国家の最高法規であるはずの憲法の上に、どのように反映しているかについて詳述する。恐らく、プロレタリア文化大革命から75年憲法の採択あたりまでの講義になるものと思う。
履修上の留意点	時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。
成績評価の方法	成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。 前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。
教科書 参考書等	授業内で指示する。 参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。
その他	中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただけであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

履修コード	129001
科目名	中国政治論（2）
担当者名	休講

講義のねらい	当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。
講義の内容・授業スケジュール	後期においては、78年憲法から現行83年憲法の採択、その後の四度にわたる部分改正について述べることになるが、そこでは、いわゆる「中国の特色をもった社会主義」、すなわち社会主義市場経済体制の特色、並びに問題点についても論及する予定である。
履修上の留意点	時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。
成績評価の方法	成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。 前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。
教科書 参考書等	授業内で指示する。 参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。
その他	中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただけであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

履修コード	129101
科目名	ヨーロッパ政治論（1）
担当者名	中野 裕二

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論（1）」は「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。基礎となる学問的傾向は政治社会学です。フランスは人種、文化、宗教の面で多様な人々をどのような理念・制度に基づいて社会に統合し、彼らと共存しようとしているのか。実際に移民・外国人の抱える困難は何か。政府や政治勢力は移民・外国人問題にどのように対応しているのか。こうした点の検討をとおして「国民とは何か?」、「多様な人々との共存はどのように可能か?」を考えます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- イントロダクション（1）
1. 社会編成原理としてのフランスの「共和制モデル」（2～4）
  2. 外国人労働者から市民へ（5・6）
  3. 移民・外国人の直面する問題（7～9）
  4. 移民・外国人排斥の論理（10・11）
  5. 移民・外国人に対する施策（12～14）
- おわりに 「共和制モデル」は有効か?（15）

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」「日本の共存理念は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストなどを総合的に評価します（ただし、受講生が少ない場合は期末試験に代えてレポートを課します。第1回目の授業でいずれかに決めます）。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書  
参考書等

教科書は用いません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。  
宮島喬『移民社会フランスの危機』岩波書店、2006年  
宮島喬・若松邦弘・小森宏美編『地域のヨーロッパ』人文書院、2007年  
大山礼子『フランスの政治制度』東信堂、2006年  
田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年  
中野裕二『フランス国家とマイノリティ』国際書院、1996年

政  
治

履修コード	129201
科目名	ヨーロッパ政治論（2）
担当者名	藤嶋 亮

講義のねらい

1989年の体制転換以降、中・東欧諸国は、民主化と市場経済化を軸とした政治的・経済的・社会的な大変動を経験しましたが、それは2007年のルーマニア・ブルガリアのEU加盟によって一つの区切りを迎えました。本講義では、戦間期・社会主義期という歴史的背景や、他地域との比較を踏まえて、中・東欧諸国の現在の政治や今後の展望について考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 歴史的背景としての戦間期
2. 社会主義体制とその類型
3. 1989年の体制転換と民主化論
4. デモクラシーの固定化と政党システム
5. EU拡大と国内政治
6. 「ヨーロッパ化」と地域の多様性

履修上の留意点

自分なりの問題関心をもって取り組むことが大切なので、できるだけ新聞や、テレビ、インターネットなどを通じて、最新の情報に触れるように心がけてください。

成績評価の方法

学期末の筆記試験によって、成績を評価します。

教科書  
参考書等  
その他

特に指定しません。  
参考文献は、講義中に適宜紹介します。  
レジュメを配布し、それに基づいて講義を進めます。

履修コード	129301
科目名	ヨーロッパ政治論（3）
担当者名	浅見 政江

**講義のねらい** 今期は欧州連合（EU:European Union）の政治について講義します。周知のように2007年1月にブルガリアとルーマニアがEUに加盟を果たし、EUの構成国は27カ国となりました。欧州のほとんどの国がEUに加盟しています。現代欧州の政治を語る時、このEUの存在抜きには語り尽くせなくなりました。つまり、EUの権限がここ半世紀の間の徐々に強化され、特に通商政策や農業政策においては、構成国の主権が一部制限され、EUが独占的に権限を行使することができます。もちろん、構成国の主権がすべてに優先される政策領域も当然のことながら存在します。EUとは、複雑怪奇、摩訶不思議な存在だといえます。講義では、このEUの起源を歴史的に遡り、現在のEUの政治のダイナミズムを検証することにします。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 第1クール：ガイダンス+欧州とはなにか？（2回）
- 第2クール：EUの歴史 その起源～現代（4回）
- 第3クール：EUとはなにか？ 政治構造と政策領域（4回）
- 第4クール：EUの構成国（2回）
- 第5クール：総括

**成績評価の方法**  
**教科書**

学期末の試験と日常点（出席他）  
特定のテキストは使用しませんが、毎回レジュメを用意します。参考文献講義中適宜紹介します。

政  
治

履修コード	129401
科目名	ヨーロッパ政治論（4）
担当者名	浅見 政江

**講義のねらい** 本講座ではドイツ連邦共和国を素材に欧州の政治に関する理解を深めていきます。周知のように「ドイツ」は欧州を代表する主要国のひとつです。その「ドイツ」の誕生から現在に至る歴史を概観し、現在のドイツの政治制度、社会、経済について解説します。さらに欧州連合（EU）の中核的存在である「ドイツ」を欧州統合の文脈で評価してみたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 第1クール：「ドイツ」とは何か・「ドイツ」歴史（5回）
- 第2クール：現代ドイツの政治制度（4回）
- 第3クール：現代ドイツの課題（3回）

**履修上の留意点**

ドイツを対象に講義を行いますが、特段ドイツ語の知識は必要ありません。ただ、講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考文献の手助けが必要です。講義に欠かさず出席することももちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある人の履修を期待します。

**成績評価の方法**

平常点で評価します。3つのクールの最終回に小テストを実施し、その合計点と出席点で成績評価を行います。

**教科書**

特定のテキストは使用しませんが、講義中適宜参考文献を提示します。また、随時講義内容に関連するレジュメを配布する予定です。

履修コード	129501
科目名	アラブ・イスラム政治論
担当者名	中島 勇

**講義のねらい** 現代中東の政治問題を中心に扱う。開講中に発生する事件や紛争を手がかりに、その背景にある民族問題、宗教問題を整理する。中心的テーマは、アラブ・イスラエル紛争、イラク問題、イスラム系組織のテロ問題となる。また一神教の成立など、現在の事件の背景を理解するために必要な歴史にもふれる。

**講義の内容・授業スケジュール**

1回-7回は、中東の基礎を扱う。地理、気候、言語、宗教、歴史などを整理する。8回-15回は、第一次世界大戦ころから現在までの時間枠で、政治的な流れを整理する。大枠では、オスマン・トルコ帝国の解体後におきた政治的な変化を中心に、2008年までの動きにふれる。

**履修上の留意点**

ニュースを扱うので、国際報道に関心があることが望ましい。

**成績評価の方法**

評価は、レポートの提出で行う。

**その他**

講義では、映像資料（ニュース、記録映像、映画）などを多様化する。中東に関する映画も紹介したい。

履修コード	129601
科目名	中南米政治論
担当者名	岸川 毅

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

中南米諸国の政治体制の基本構造と変動のメカニズムを、比較政治学的観点から解説する。独立後の政治史を概観したのち、軍、政党、労組、市民社会、ゲリラ組織など主要アクターの役割に焦点を当てながら、中南米地域一般にみられる政治過程の特徴や各国の独自性を明らかにしていく。さらに、民主化後に各国が直面している新たな課題について検討する。  
(1～2) 中南米政治の歴史的背景、(3～6) 主要なアクター、(7～9) 革命、(10～11) 民主化、(12～14) 民主化後の新たな課題、(15) まとめ

履修上の留意点

積極的な質問を期待する。本講義は概説的性格のものであるが、さらに知識を深めたい学生に対しては個別に専門文献や研究方法を紹介する。

成績評価の方法

学期末に実施する論述式の試験によって評価する(追試験は実施しない)。出席点も若干加味する。

教科書

松下洋・乗浩子編『ラテンアメリカ 政治と社会 [全面改訂版]』(新評論) 3,200円、ISBN4-7948-0631-0

履修コード	128401
科目名	比較都市論
担当者名	内海 麻利

講義のねらい

経済成長を目的に都市開発を進めた時代から、地域管理や経営という視点を含む持続的発展を目指した都市づくりが要請される時代へと移行しつつある。このような変化に対し今日の都市づくりは、経済のグローバル化に伴い国内外にわたる地域間競争にさらされ、持続可能性をもって地域ポテンシャルを高めることが期待されている。一方、地方分権改革により各都市独自の政策に基づき、固有の環境や景観、歴史や文化・産業などの資源を活かした個性豊かな都市のあり方が問われている。本講義では持続可能で個性豊かな都市づくりという観点から、諸外国と日本、日本における各都市について比較し、また、先進的な事例をとおして今後の都市政策における学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では、各回毎に今日的なテーマを設定し、様々な都市のデータ及び都市づくりに関する計画や政策、実践的な取り組み等を提示しながら下記のテーマを中心に講義を行う。詳しい授業スケジュールについては、第1回目のガイダンスで提示する。

【前期】

- ・ガイダンス(1)
- ・景観・風景町並み(2-4)
- ・環境と共生した都市づくり(5-10)
- ・中心市街地の活性化と都市再生(11-15)

【後期】

- ・都市づくりの仕組みと都市計画制度(16-23)
- ・都市づくりと政策課題(24-27)
- ・協働によるまちづくり(27-30)

履修上の留意点

授業時に紹介する教科書や参考書を読み理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席及びレポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。



履修コード	129801
科目名	マス・コミュニケーション論
担当者名	相田 敏彦

講義のねらい

マス・メディア、とりわけテレビは、いわば空気のように、身近で、かつ、なくてはならないものというのが、私達大部分の実感かと思えます。しかしその身近さやおもしろさ、有用性などによって、メディアは実は気づかれない形で私達のものの方や考え方を、さらには感じ方までも形づくる大きな力の一つになっています。

講義の内容・授業スケジュール

この問題を掘り下げて考えていきます。  
前期：「カメラはウソをつかない」か。  
新聞記者の「ペンにはウソをつき得る」が、報道のカメラは事実をありのままに伝えてくれるのかどうか。

(1) 原理的検討 (1~7)

記号論やカルチュラル・スタディーズに基づいて、この問題を掘り下げます。

(2) 具体的検討 (8~15)

新聞の具体的写真によって考えてゆきます。

後期：テレビニュースやドラマをめぐって。

(1) ニュースによる「よびかけ」(16~18)

私達はニュースによって「よびかけ」られて、気がつかないうちに「国民」や「消費者」に仕立てられます。このことを具体的にかつ論理的に追求します。

(2) 視覚的・言語的言説としてのテレビ (19~21)

「現実性効果」、'埋めこまれた前提' について、構造主義の方法を参考に検討します。

(3) メディアと権力 (22~26)

権力についての新しいとらえ方を学びます。

(4) ドラマの視聴者への影響 (27~30)

テレビドラマの深い影響力を調べます。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

レポートと学年末試験の成績を中心に評価します。

使用しません。

U. エーコ『記号論』I、II (岩波書店)

児島和人『マス・コミュニケーション受容理論の展開』(東京大学出版会)

履修コード	130101
科目名	数量政治学
担当者名	富崎 隆

講義のねらい

「数字」と聞くだけで怖がる学生諸君も多いかもしれませんが、数量的手法は今日の政治学において大変重要かつ不可欠の分析ツールとなっています。本講義では、数量的政治的分析が政治学全般にその適用範囲を広げてきたことに注目し、それを「マクロ政治学」「ミクロ政治学」「国際政治学」に分けて議論し、それが政治的現実をどのように明らかにしたか、またその可能性をもつかについて検討します。本講義を受講する際、特別な数学素養は必要ありません。政治現象を論理一貫した形で「説明」し、政治現象が「そうである」ことを実証することの面白さと難しさを追体験し、理解することによって、受講生自らが政治を分析し、理解することへ進む足がかりを提供することが本講義の主要な目的です。

講義の内容・授業スケジュール

(1~2) 講義のねらいと数量的分析の基礎

(3~12) 「マクロ政治学 (国家と自由民主主義体制のマクロ動態解明)」における数量分析；政治・権力・国家の意味、近代国家システムの展開、自由民主主義体制・民主化、自由民主主義体制の比較枠組み、政治と経済のマクロ的運動関係

(13~23) 「ミクロ政治学 (自由民主主義体制の作動メカニズム解明)」における数量分析；政党と有権者の投票行動、政権形成、議会立法過程、官僚制と政策決定、利益集団政治、中央地方関係 (24~30) 「国際政治学」における数量分析；国際政治の意味、国際政治の主要理論潮流、戦争・紛争の数量分析

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

テスト及びレポート・出席などを総合的に評価

特に指定しない

河野勝『制度』東京大学出版会 2940円 ISBN-10: 4130341421

D. ウィットマン『デモクラシーの経済学』東洋経済新報社 3465円 ISBN-10: 4492313133

小林良彰編『叢書・社会科学の理論とモデル (全 II 巻)』東京大学出版会

増山 幹高他『計量政治分析入門』東京大学出版会 2520円 ISBN-10: 4130322095

河野勝他『社会科学の実験アプローチ』勁草書房 3150円 ISBN-10: 4326502924

履修コード	130001
科目名	メディア社会論
担当者名	相田 <small>あいだ としひこ</small> 敏彦

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

記号論、情報理論、メディア・コミュニケーション論からメディア社会を論じる。

1. 記号論  
ことばや映像はいうまでもなく、世の中の森羅万象が記号たり得るとというのが、現代記号論の基本的視角の一つである。常識的な記号の考え方をくつがえすこの視角について述べ（1～7）、記号論の基本的タームにも言及する（8～15）。
2. 情報理論  
通信理論における情報概念は、日常の用語法とはかなり異なる。そこでは情報は確率的な量として定義される（16～18）。
3. 媒介的関係性・コミュニケーション  
情報社会の基本的特性は、ケータイ、パソコンなどさまざまな情報メディア（機器）によって媒介された（mediated）関係性・コミュニケーションである。多角的にこの問題を論じる。（19～24）。
4. 「メディアはメッセージ」  
マクルーハンのこの命題を理解かつ批判し（25～27）、さらに、オングの声の文化論に注目する（28～30）。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

課題レポートと学年末試験の予定だが、受講者の人数により、最終的に決定したい。  
池上嘉彦『記号論への招待』（岩波書店）、780円  
兄島和人（編著）『講座社会学8・社会情報』（東京大学出版会）  
竹内郁郎（編著）『メディア・コミュニケーション論』（北樹出版）  
ラッシュ『情報批判論』（NTT出版）  
その他、授業中に指示する。

政  
治

履修コード	129901
科目名	政治心理学
担当者名	富崎 <small>とみさき たかし</small> 隆

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

民主政治において、国民がどのように政治に参加するかは決定的に重要です。そして、政治心理学は、政治に参加・関与する人々の心理と行動様式を、個々の市民（や政治家）のミクロ的視点から体系的にとらえようとする研究アプローチです。本講義では、政治心理学の中でも、特に投票行動に関する理論と実証を中心に検討します。有権者の投票行動や政治意識を検討していくことを通じ、現代における政治・社会変動を視野にいれつつ、自由民主主義体制の作動メカニズムの重要な側面を明らかにしていくことを目指したいと思います。

- (1) 講義のねらいと政治心理学・投票行動
- (2～15) 投票行動の理論モデルと研究の展開；投票行動理論の全体像、社会的属性、政党帰属意識、争点態度、イデオロギー、政府業績評価、党首評価、個人投票の理論と実証、政治参加
- (16～24) 現代日本における選挙と投票行動・政治意識
- (25～29) 政治心理学の諸アプローチの理論と実証；政治文化論、社会関係資本論、テロリズムの政治心理、インターネットと政治空間

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

テスト及びレポート・出席などを総合的に評価  
小林良彰『選挙・投票行動』東京大学出版会 2625円 ISBN-10: 4130341316  
蒲島郁夫『戦後政治の軌跡』岩波書店 3990円 ISBN-10: 400023644X  
加藤秀治郎 他編『政治社会学』一藝社 2415円 ISBN-10: 490125345X  
オフエル フェルドマン『政治心理学』ミネルヴァ書房 3360円 ISBN-10: 4623044998

履修コード	129701
科目名	政治社会学
担当者名	中野 裕二

**講義のねらい** 本年度の「政治社会学」の長期的目標は次の二点にあります。第一に、現代社会を分析し、理解し、説明する力を身につけること、第二に、現代社会の諸問題を解決する理論を模索することです。しかし、直ちに現代社会の現状分析を行うことは不可能です。それは、分析道具である概念や理論を持たないからです。そこで、この講義では、19世紀の社会学者たちが、19世紀社会をいかに分析し、理解し、説明したか？彼らが19世紀社会の諸問題をいかに理論的に解決し、乗り越えようとしたのか？を学びます。

それでは、なぜ19世紀なのか？理由は二つあります。第一に、19世紀社会は、産業革命と市民革命を経た大変動期であり、われわれの現代社会が抱える問題が初期形態として登場した時代であるからです。第二に、それゆえ、19世紀の社会学者たちの理論的営みは、現代政治学の基礎になっているからです。彼らを抜きにして現代政治学を理解することはできません。

**講義の内容・授業スケジュール**

- イントロダクション(1)
1. 政治社会学について(2~5)
  2. トクヴィル(6~9)
  3. マルクス(10~13)
  4. コント(14・15)
  5. デュルケム(16~20)
  6. ヴェーバー(21~25)
  7. 20世紀の政治社会学(26~30)

**履修上の留意点**

上記のように、社会学者ごとに項目を設けて講義を進めます。しかし、この講義は「学説史」に重点を置くものではありません。それぞれの社会学者たちが、自分の生きた時代の何を問題視し、それをいかに理論的に乗り越えようとしたのか、という知的営みに焦点を当てます。受講生はつねに、現代社会への応用を念頭に置いて、「自分ならばこういう理論を立てる」という心構えをもって望んで欲しいと思います。

**成績評価の方法**

期末試験と授業時間中の小テストなどを総合的に評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

**教科書**

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

政  
治

履修コード	130301
科目名	政治経済学
担当者名	白鳥 浩

**講義のねらい** 政治と経済は、現代においては社会の両輪にも例えられています。また、積極政治の進展とともに、政治と経済をマクロに理解する視座の重要性が叫ばれています。本講義においては、政治経済学の全体像を学んでもらいます。特に、先進国におけるデモクテシーのあり方は、政治と経済に関する政策的なスタンスの違いに起因することを検討することを目的とします。最終的には、国民国家の発展の到達点といわれる福祉国家を理解することにつなげていきたいと考えています。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。
1. 政治と経済(1~4)
  2. 戦後政治経済(5~8)
  3. システム論とレジーム論(9~12)
  4. コーポラティズム(13~15)
  5. 福祉国家論「白鳥・ローズの混合福祉論」(16~18)
  6. 福祉国家論「福祉国家の三つの世界論」(19~22)
  7. 経済と文化の間の政治「ヨーロッパの福祉国家」(23~25)
  8. 北欧の福祉国家の変容(26~27)
  9. 福祉国家としての日本(28~29)
  10. 脱工業化社会に向かうのか？(30)

**履修上の留意点**

関心を持って、講義に出席してください。

**成績評価の方法**

試験を中心とするが、総合的に判断する。

**教科書**

新川・井戸・宮元・真柄『比較政治経済学』(有斐閣)2004年

**参考書等**

井戸『経済危機の比較政治学』(新評論)1998年

真柄『体制移行の政治学』(早稲田大学出版部)1998年

白鳥編『福祉国家の再検討』(新評論)2000年

授業内で適宜、指示します。

履修コード	130201
科目名	比較メディア論
担当者名	島中 誠・岩崎 宇雄

講義のねらい (前期) 現代のメディアが置かれている状況と現代社会との関わりについて、広範囲な視点から、最近のITの発展と情報ネットワーク社会化が既存のメディア構造をどう変化させるか、その社会へのインパクトについて日本、欧米、アジアのモデルを比較し、考察する。(後期) 新聞業界の現況、多種多様なメディアが抱える諸問題、職業としての新聞記者のあり方などを、実体験したエピソードをまじえつつ紹介する。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 現代メディアの構造、IT革命とメディア、メディアと政治システム、メディアとグローバリズム、テレビ・メディア論、メディアと文化摩擦、電子メディアと選挙システム。(後期) (1-2) 新聞の歴史と将来 (3-4) ニュースの定義・分類 (5-7) 記者の資質・職業倫理・心得 (8) 記事の発掘・取材から紙面掲載まで (9) 誤報とスクープ (10) 国際報道と国際記者の哀歓 (11) 新聞ジャーナリズムへの批判 (12) 活字メディアと映像メディア (13) 戦争報道などを予定している。

履修上の留意点 (前期) 自分自身のメディア・リテラシー度を採点してみる。(後期) 日ごろ、一定の時間を新聞熟読にあてること。一つのテーマを連続してしつこく追いかける姿勢が必要。

成績評価の方法 (前・後期) 試験・レポート内容で総合的に評価する。

教科書 (前・後期) 教科書は使わない。毎回プリント・資料を配布する。

その他 (後期) 毎回出席を取る。出席回数が三分の二以下だと成績評価の対象にならないので要注意。

政  
治

履修コード	131401
科目名	基礎演習
担当者名	相田 敏彦

講義のねらい マスコミ、広告、パソコン・インターネット普及などの情報化をめぐる広い領域から各自好きな内容を選んでテーマとする。どの領域も研究の蓄積がなされていると同時に、広告・広報や情報化は、非常に多くの仕事・企業とかかわりをもつ意味で、実践性・実用性が一層顕著になりつつある。テーマの実践性に加え、卒業後も射程に入れて、人前での発言・発表力、報告書・レポートを書く力などの基礎体力のABCからはじめる。討論、ディベート、合宿などゼミ生同士の交流も深め、大学生活の真の燃焼の場としてくゆったり・楽しく・着実に活動する出発点としたい。

講義の内容・授業スケジュール 1. テレビニュース・ドキュメンタリー、2. テレビドラマ、3. ケータイ・パソコン、4. 広告・広報、5. メディアと政治、6. その他、の中から、各自が一番興味の持てるテーマを選び、卒業後の進路も一部考慮に入れながら、自主的に(個々に、あるいはグループで)勉強を進めよう。資料としては、図書、雑誌のほかに、テレビ、ラジオ、映画、ビデオ・DVD・ネット資料等々を駆使して、アピール力のある発表(プレゼンテーション)をめざそう。興味を持って調べたことを人前で発表し、かつ、議論することに徐々になれよう(その力をやがて就活にも生かせるよう指導もしたい)。

履修上の留意点 調整がつけば、ドラマ撮影の見学、プロデューサー・アナウンサー(経験者)(できれば駒大出身の)との接触もはかりたい。前期:上記の基礎体力のABCを中心とする。後期:討論(ディベート)にもウェイト。

成績評価の方法 ゼミの主役はゼミ生自身であり、運営も大幅に任せられる。

平常点

履修コード	131611
科目名	基礎演習
担当者名	内海 麻利

講義のねらい

本基礎演習は、3年次からの演習に向けて、都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関する基礎的な知識を養い、受講者が持つ問題意識を喚起するとともに、問題を研究する手法、分析力、報告・発表する能力を身につけることを主な目的としている。特にその演習方法は、図書や資料で知識を広げるとともに、3・4年次生との交流や、ワークショップ、フィールドワークなど人との対話や実践的な活動を通して知見を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、研究の方法や進め方、テーマ毎に異なる課題への解決策を理解するため、主に4年次生等が行ってきた研究報告に対してワークショップなどの手法を活用しながら議論する。また、受講者の興味に応じて、参考図書や資料、事例などを紹介し、基礎的な知識を養う。

後期では、前期の基礎的な知見を踏まえて、演習期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・研究方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、とりまとめ方法など）を自ら作成し、各人の問題意識に対する解決策を検討・報告する。

例えば、これまでの研究テーマには次のようなものがある。

密集市街地の狭隘道路整備、自治体の財政状況、自治体税制の可能性、地方都市の合併問題、地方及び中心市街地の活性化、景観問題、市民参加手法、介護・医療保険制度、年金制度、人口安定地域の実態調査、環境問題などである。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
参考書等

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。出席状況、個人での発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。個人での研究テーマに応じて適宜紹介する。

政  
治

履修コード	131631
科目名	基礎演習
担当者名	大山 礼子

講義のねらい

3年次からの演習に向けての準備過程として、常識的な政治学の知識を確認すること、自分で調べる能力を養うこと、論理的に考え、発表する力をつけることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）新聞記事を出発点として、時事的問題の背景や政治学的な意味を考えていきます。ゼミ生全員に毎週、興味を惹かれた新聞記事の切抜きを作ってきてもらいますので、まず、新聞の政治面を読む習慣をつけることが必要です。

（後期）少し読み応えのある本をみんなで読む予定です。前期で培った土台をもとに、さらに読解力や論理的思考力を向上させるのが目標です。レジュメ（要約）の作り方、図書館の資料やインターネット上の情報の利用の仕方についても学習します。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
その他

講義課日と違って演習は学生が作っていくものですから、積極的・主体的に参加すること。平常点によります。

教科書は使用しませんが、参考書は適宜紹介するので、なるべく多くの文献に挑戦してください。無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

履修コード	131641
科目名	基礎演習
担当者名	清滝 仁志

講義のねらい	本演習では、政治学科の諸科目を履修するのに必要な政治学の基礎知識を学ぶとともに、自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を身につけることを目的にしています。
講義の内容・授業スケジュール	1年をかけて、「多数の前で話す」ことに慣れてもらいます。 前期・「文書で自分の意見を発表できるようにする」 政治学の文献を担当者が報告し、議論をする方式をとります。これによって、テキストを論理的にまとめ、報告する能力をつけます。 後期・「いろいろな話題について意見をすぐに発言できるようにする」 毎回テーマを設定して、グループで討論し(通称・ポストイット・ツリー)、全体で報告する方式をとります。就職面接等での集団討論を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得していきます。
履修上の留意点	演習での課題は次のとおり。 ①資料等を毎回熟読 ②口頭発表 ③レポート、ゼミ論文集の作成 ④グループ討論(議論するだけでなく、司会、報告等の技術も練習)
成績評価の方法	出席状況、演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度、ゼミ論文 なお、欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。
教科書	前期…政治学関係の文庫、新書を選択 後期…資料を適宜配布
その他	ゼミの行事…BBQ、合宿(夏)、都内の諸施設見学(新聞社、日本銀行、皇居、東証など) 質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。 Yestudy ( <a href="https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/">https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/</a> ) に基礎演習のページを設置

政  
治

履修コード	131201
科目名	基礎演習
担当者名	小堀 訓男

講義のねらい	政治学と国際政治学の基礎的な知識を整理しながら理解すると同時に、受講者各自が興味をもっている問題を研究する方法と、発表する能力を訓練する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、政治学と国際政治学の基礎的な知識を受講者全員で討議しながら、講義形式で授業をおこなう。同時に並行して、受講者各自に自分が興味をもっているテーマを提出させ、それをもとに、各自に研究資料や研究方法を指導する。 後期は、それまで指導を受けた各自の研究テーマを各自が発表し、その内容について全員で討論する。討論することによって、研究発表の方法や研究内容・問題点の所在を明らかにし、本格的な演習を受講する能力を身につけたい。
履修上の留意点	問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。研究したい、ということ、研究出来るということとは別であるが、まず、研究テーマを明確にして研究したいという情熱をもつことが先決である。あとは、この講座で研究するための方法や能力を身につける訓練をしてほしい。
成績評価の方法	講義中の発言、研究発表の内容で評価する。
参考書等	授業中に適宜紹介する。
その他	活発な授業参加と発言を求める。講義に関連したビデオ(各種の国際事象の実録など)を見る予定である。

履修コード	131001
科目名	基礎演習
担当者名	塩入 みほも

講義のねらい	三、四年次においていずれかのゼミに所属を希望する者の為に、演習を行える基礎的能力を修得させることを狙いとします。
講義の内容・授業スケジュール	毎回各自に特定のテーマについて研究・報告をしてもらい、報告後には全員でディスカッションを行います。テーマは、主として行政法(国家と国民の関係を規制する法)に関する問題と取り上げます。具体的テーマの割り当ては、学生各自の希望を踏まえて決定する予定です。
履修上の留意点	公務員、行政書士等の国家試験の受験を考えている学生には、特に有意義であると思われます。
成績評価の方法	成績評価は、平常点(出席・報告・発言回数等)により行います。
参考書等	適宜必要により指示します。
その他	授業はゼミナール形式で行います。研究・調査方法、報告の仕方、レジュメの書き方等のノウハウは、初回に指導すると共に、その都度必要に応じて教示します。

履修コード	131501
科目名	基礎演習
担当者名	富崎 隆 <small>とみさき たかし</small>

講義のねらい

3年次からの演習に向け、様々な政治課題に関する問題意識、政治学的分析をおこなうための資料収集能力、論理構築能力、プレゼンテーション能力等を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、前期にグループ対抗のディベートを中心におこない、後期に班毎の共同研究リサーチとプレゼンテーションを中心におこなっていききたいと思います

日本および世界で議論されている具体的政策課題をディベートのテーマとして取り上げます。ディベートとは、ある問題を取り上げ、是非の2チームに分かれ一定の形式に沿って、一種のゲームのように（勝敗を決める形で）討論をおこなうものです。基礎演習での、ディベート実施の目的は、具体的政策課題を探りあげることで、広く政治問題への問題意識をもつと同時に、ディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらいたいと思います。

前期議論した政策問題を中心に統一テーマを決め、後期に班毎にリサーチを行い、プレゼンテーションをおこなってもらいます。さらに、全体で論集をつくることを目標としたいと思います。

受講生の希望や場合によっては、3・4年の演習にも参加してもらいたいと思います。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

積極的・主体的参加を期待したいと思います。

受講生と相談の上、総合的に評価します。

特に定めません

特に定めません

政  
治

履修コード	131301
科目名	基礎演習
担当者名	中野 裕二 <small>なかの ゆうじ</small>

講義のねらい

- 基礎演習の目標
- ・本を読むことに慣れる
  - ・自らの主張を説得的に述べる方法を身につける
  - ・報告の仕方、討論の仕方を身につける

2007年（平成19年）度の基礎演習では、政治学またはひろく社会科学に関連する本を読みます。事前に分担を決め、報告者は、担当章を自分なりに要約・再構成し、皆の前で発表します。発表とその後質疑応答を通して、その部分を読んでいない人にも、内容の要点が理解できるようにすることが報告者の目標となります。

前期では、日本の政治を扱った本を読みます。日本の政治において、今日、何が中心的に議論されているのか、その論点は何か、などを議論します。日本の政治に詳しくなるだけでなく、筆者が自分の主張をより説得的に表現する手法として、どのような「道具立て」をしているのかを読み取ることが、さらなる目標としたいと思います。

後期では、私の研究フィールドであるヨーロッパに関する本を読みます。より具体的には、ヨーロッパの移民問題、民族問題、地域主義などに関する本を読みたいと考えています。ヨーロッパの諸問題に関する知識を身につけるだけでなく、日本と比較したとき何が見えてくるのか、という問題関心から読み進めたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような本を読もうと考えていますが、あくまでも予定です。受講生が読みたい本があれば紹介してもらうなどして、何を読むかは全員で決めます。

（前期）

首藤信彦『政治参加で未来をまもろう』（岩波ジュニア新書）

新藤宗幸『行政ってなんだろう』（岩波ジュニア新書）

新藤宗幸『政治とは、なんだろうか』（岩波書店）

（後期）

宮島喬『ヨーロッパ市民の誕生——開かれたシティズンシップへ』（岩波新書）

内藤正典『ヨーロッパとイスラーム——共生は可能か』（岩波新書）

履修上の留意点

本を読むゼミです。グループ研究やディベートはやりません。

読書に関して、私と同じ考えを持つ人の言葉を書いておきます。この考えに賛同する人の受講を期待します。

「インターネットなどによる情報収集と読書とはまるで性格の違うことなのである。私たちは偉大な作家や思想家の書いた一冊の本を読み通すことによって、深く感じることを学ぶのであって、情報を収集しているだけではないのだ」（木田元『猿飛佐助からハイデガーへ』岩波書店、2003年、「はじめに」より）

成績評価の方法

毎回の出席、報告内容、発言回数・内容などを総合的に判断し、評価します。

履修コード	130801
科目名	基礎演習
担当者名	早川 <sup>はやかわ よしき</sup> 純貴

講義のねらい 基礎演習は3年次からの演習に向け、政治学の基礎的知識を養い、多面的な観察力と深い分析力、さらには資料収集方法を身につけることを目的としている。とりわけ当演習ではこうした能力を、グループ対抗のディベートおよび班毎のリサーチ（フィールドワークを含む）を通して涵養していきたい。

講義の内容・授業スケジュール ディベートで扱うテーマは日本の政治・社会・経済の諸問題（特に賛否両論が際立つ問題）に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが是側・非側の立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の目標であり総括でもある。リサーチは地方政治が抱えるさまざまな課題について、それぞれ担当の班がフィールドワークを行い、その成果を発表する。また担当したリサーチについてはレポートを提出をしてもらう。ディベートは前・後期それぞれ2回ずつ行う。

履修上の留意点 当基礎演習で鍛えて欲しいのは、自分の考えをきちんと言葉で表現できる力、あるいは自分たちの主張を効果的に相手（聞き手）に伝え、十分に納得させる力である。そのためには学生諸君の議論とフィールドワークへの積極的参加を求めたい。

成績評価の方法 議論や調査への参加度、発表の充実度、レポートの内容などを総合して評価する。  
教科書 教科書は用いない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

履修コード	130901
科目名	基礎演習
担当者名	三竹 <sup>みたけ なおや</sup> 直哉

講義のねらい やる気がある少人数の参加者で、政治学科らしい大学レベルの勉強をするための授業です。

講義の内容・授業スケジュール 2008年度の基礎演習のやり方は、2007年度までのやり方とはまったく違うものにします。（2007年度まで基礎演習で行ってきた内容は、2008年度からは演習の3年次で行います。）基本的には、比較政治学とほぼ同じやり方になります。比較政治学は講義科目ですが、参加している学生さんたちからは「ゼミのようだ」とよく言われます。指定文献を読んだうえで教室に来て、映像資料をたくさん見て、授業は討論を中心に進めます。

内容的には、前期と後期に一冊ずつ、比較政治学関連の本を読むことになります。やり方やテーマの具体例は、YeStudy の比較政治学のコーナーで確認してください。なるべく新しい文献を使いたいと思いますので、具体的な書名は未定です。どんなものを読みたいかリクエストがあれば参考にします。

履修上の留意点 履修が決定してから翌年4月の基礎演習開始までかなり時間があります。その間に、新聞を読む習慣をつける課題を出します。一週間に記事を二つ選び、それぞれに数百字のコメントをつけ、ファイルに整理する—それだけの課題です。ここ数年、たったこれだけの課題を出されるだけで辞退する人が8割以上になります。昨年も12人中10人が、1月までに辞めていきました。それぞれに「資格試験を勉強したい」「公務員試験に挑戦することにした」などと言いつていますが、この課題ができないでいったいどういう試験に通るのでしょうか?? 今年からはここにあらかじめこの課題を書いております。この程度の課題を「面倒だ」と思う人には、この基礎演習は向いていないだろうと思います。。。。。

成績評価の方法 平常点と期末テストによります。  
教科書 その都度指示します。一冊から二冊は買うものがあると思います。



履修コード	131651
科目名	基礎演習
担当者名	三船 恵美

**講義のねらい** 現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲良し関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところは対立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異質なものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期：各ゼミ生の関心によって選定する領域についての「2分間スピーチ」を全員が毎回行います。そのためには、日頃から関連文献や新聞の国際面をよく読むことを習慣にしましょう。また、各自が設定したテーマについて、個人研究報告を行い、それに対する質疑応答を行います。後期：グループ研究報告、ディベート、個人研究報告など。

**履修上の留意点** 欠席する場合は、必ず連絡して下さい（ゼミ生を通じての連絡でもかまいません）。無断欠席3回で単位を与えません。

国際関係論ゼミの受講生には「国際関係論」の履修を勧めます。

**成績評価の方法**

出席や発言などの総合評価です。

座っているだけで全く発言をしない学生を出席とは認めません。講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう。

**教科書**

共通の教科書はありません。各ゼミ生の研究関心に沿った専門書を紹介していきます。

政  
治

履修コード	131621
科目名	基礎演習
担当者名	村井 良太

**講義のねらい** この講義は、政治学を学び、政治への理解を深める上での基礎的な技術を身につけることをねらいとしています。教材を読み、レジュメをまとめ、報告し、議論し、レポートを書くなど一通りのことをします。教材には、日本政治史を始め、現代政治、さらにアメリカやアジアなど他の国々のものも使って、「世界のなかの日本」という広い視座を身につけてもらいたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期は、図書館ツアーや、簡単な論文や新書などを使って教材の読み方やレジュメのまとめ方、報告やコメントの仕方、レポートの書き方などを広範に学びます。後期は、輪読とともにレポート発表などを行い、最終的に簡単なゼミ・レポートを提出してもらいます。なお受講生と相談しながら、合宿やディベートなど様々なことに挑戦していきたいと思っています。

**履修上の留意点**

演習は他の講義以上に、教員、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。積極的な参加を求めます。

**成績評価の方法**

成績は、授業への出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断します。

**教科書その他**

テキストはこちらから指定するものもありますが、おおむね話し合いながら決めていきます。

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつくって報告します。それ以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。他にもいろいろと取り入れていきたいと思っていますので、一緒にゼミを創りあげていきましょう。

履修コード	131601
科目名	基礎演習
担当者名	山崎 望 <small>いまだき のぞし</small>

**講義のねらい** 三年次からの演習に向けて、基礎的な知識の習得・問題意識の形成と同時に、文献や資料の収集・分析方法、報告（プレゼンテーション）の技術、レジュメ（要約）の作り方など実践的なスキルの習得を目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** 現代世界の変容を多角的に分析し、世界秩序の変容が生み出す問題にどのように対応するのか、考えていきます。国内政治／国際政治、公／私の区別など既存の区別が揺らぐ中で噴出している多様な問題について考えます。

具体的には前期は国内／国際的な格差、フリーター、貧困、福祉、新自由主義的グローバル化をめぐる問題と代替的な社会構想の模索を、後期はナショナリズム、多文化主義、グローバルテロリズムをめぐる問題、および民主主義や市民社会をめぐる問題を中心に扱います。課題文献の報告・発表と討論、加えて履修者の問題意識に照らして、グループを作り、年に数回のグループ討論を行いたいと思います。

**履修上の留意点** 文献や資料が指定された場合は、課題文献・資料を読んでからゼミに臨んでください。討論においては積極的に発言してください。詳細は初回に説明するので、履修希望者は必ず出席してください。「現代政治理論」を履修していることが望ましいです。

**成績評価の方法** 基本的には平常点で評価します。（出席・報告・討論への貢献など総合的に評価）。

**教科書** 特に指定しませんが、文献については、履修者と相談の上指定します。

**参考書等** 特に無し。

**その他** 新書や論文の輪読と議論という、ゼミ形式を予定しています。

毎回報告者を指名するので、報告者は自分の関心のあるテーマに即した課題文献（こちらからも提示します）を要約・報告し、自分で調べたことを付け加え、私見を述べ論点を提起してください。その後参加者全員で討論します。参加者が多い場合は、特定のテーマについてグループ研究や集団毎での討論を行います。

政  
治

履修コード	134001
科目名	比較憲法
担当者名	武市 周作 <small>たけいち しゅうさく</small>

**講義のねらい** 科学としての憲法学にとって「比較」考察は、自然科学における実験室にも当り、客観性を担保する最も重要な考察方法の一つであることを示す。

**講義の内容・授業スケジュール**

1.総論

- イ、比較憲法とは。
- ロ、比較憲法の効用。

2.各論

主要国における「憲法改正の手續と実際」をケース・スタディとして考察を行う。それを通じて、比較憲法とは何か、さらには、その効用について、より具体的な理解を得る。

3.その他

主要国憲法については、アメリカ、フランス、ドイツ、中国を中心に、可能かぎり個別考察も行いたい。

**履修上の留意点** 教科書を読むような講義では全くない。立法例を示すだけでなく憲法現実に留意した講義内容となるので、できるかぎり出席が望まれる。

年一回、定期試験の時間割により、ペーパー・テスト方式で行う。

**成績評価の方法** 授業内で指示する。

**教科書** 講義の中で、必要に応じ紹介する。

**参考書等** 毎回ではないが、学生諸君の勉学意欲を刺激する目的で（成績評価にプラスに活用することがあるかもしれない）、時として出欠をとる予定である。

履修コード	133801
科目名	現代国家論
担当者名	おわつかかつら 大塚桂

**講義のねらい** 本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造（前期）であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題（後期）をとりあげます。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 I 前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験  
 II 後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験

**成績評価の方法** 授業内における中間試験(50%)と期末試験(50%)により評価します。  
**教科書** 大塚桂『明治国家の基本構造』(法律文化社) 3200円  
 大塚桂『政治文化論入門(仮題)』(勁草書房) 未定 ※2008年夏に刊行予定  
**参考書等その他** 上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。  
 私の研究室は、第二研究館八階(2835)です。電話は、3418-9377(直)です。

政治

履修コード	133701
科目名	国家安全保障論
担当者名	こぼりのりお 小堀 訓男

**講義のねらい** カントがその著、『永遠平和のために』において「相共に生活する人々間の平和状態は、けっして自然状態なのではない。自然状態はむしろ戦争状態である。すなわち、たとえつねに敵対行為が勃発してはならないにしても、絶えずそれによって脅かされているのである。だから平和状態は樹立されなければならない」と述べているごとく、人間が、その長い歴史のうちで不断に希求してきたものは永遠平和であって、戦争それではなかったのである。カントによって提起された「永遠平和」という、この哲学的命題は、皮肉にも彼の夢想曲に終始してきたのが現実の歴史過程の常態である。本講では、「人は何故集団社会を形成するのか、集団を単位とした闘争と、個人レベルでの闘争は何処がどのように違うのか」をテーマに、国家の安全保障を考える。

**講義の内容・授業スケジュール** 国家の究極的利益は確実な生存である。個人の究極的利益も同様に確実に生存しつづけることである。国家は、国民の社会的生存権を保障している。しかし、国家は、国家の生存のために国民に戦うことを命令することもある。この論理が何故成立するのかを、以下のテーマで考察する。  
 (1～2) 人は何故集団社会を形成するのか、(3～5) 近代国家の特質、(6～8) 国家安全保障の意味、(9～15) 国家安全保障の機能、(16～23) 国家安全保障の手段、(24～26) 国家安全保障に関する諸見解、(27～30) 国家安全保障に関する理念と現代的課題

**履修上の留意点** 「人はなぜ闘争するのか」ということに興味をもっている学生への積極的な参加を望む。  
**成績評価の方法** 定期試験70%、授業中の小テスト30%授業中の積極的な発言も評価の対象とします。  
**教科書** 特定のテキストは使用しない。  
**参考書等** 授業中にその都度紹介しますので、出きるだけ本を買って読むこと。

履修コード	133601
科目名	外交史
担当者名	村井 良太

講義のねらい

現在の国際政治は混迷と模索の中にあります。そのような中で、過去の経験から学び、未来への糧としようとするのが、外交史です。日本のような民主主義国家では、外交は国民を離れては成り立ちません。また、相互依存の時代にあつて、外交は生活の中にまで深い影響を及ぼしています。本講義を通じて、社会人の一つの素養としての外交理解を身につけてほしいと思います。

本年度の「外交史」では、現代日本にとって大変重要である日米関係の来歴を軸に講義を進めます。ペリー来航から冷戦後までの日米関係史を中心に、世界が、日本がどのように変化してきたのか、また変わらない要素は何か、対アジア外交、経済外交、国際組織などの関係も含めながら幅広く学びます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。

前期：(1)はじめに (2～3)外交基礎知識 (4～5)日米の遭遇と世界史への登場 (6～8)日露戦争と日米台頭の時代 (9～11)第一次世界大戦と日米関係の再調整 (12～13)ワシントン体制 (14～15)日本の戦争と米国の不承認

後期：(16～18)日米戦争と日本占領 (19～21)パクス・アメリカーナの中の戦後日本 (22～23)日米協調の果実 (24～25)危機の中の日米関係 (26～27)新自由主義の時代 (28～29)冷戦後、9. 11以後の日本と米国 (30)おわりに

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績は、随時行う出席調査と、中間レポート(受講生が50人を超える場合には中間試験)、学年末試験によって評価します。追試験は実施する予定です。初回の説明を必ず聞いてください。

五百頭旗真編『日米関係史』有斐閣、税込2625円、ISBN:9784641183575。

参考図書は講義の中で随時紹介していきます。

履修上の留意点  
成績評価の方法

教科書  
参考書等

政  
治

履修コード	117801
科目名	日本法制史
担当者名	茂野隆晴

講義のねらい

全ての学問には史学がある。法を学ぶものにとって、もっとも身近にある史学が法制史である。われわれは来し方を回想するときのみならず、未来に進もうとするとき、何らかの形で過去の知識(歴史)を知ろうとしよう。

現代の社会知識を知ろうとするとき、その手がかりを過去の社会生活に求めるのは自然であるといつてよい。そうした意味からも、日本法の歴史の本質的なものを身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 日本法制史とその時代区分
2. 上古(氏族法時代)Ⅰ
3. 上古(氏族法時代)Ⅱ
4. 中古(律令法時代)Ⅰ
5. 中古(律令法時代)Ⅱ
6. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代)Ⅰ
7. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代)Ⅱ
8. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅰ
9. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅱ
10. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅲ
11. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)私法・民事編Ⅰ
12. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)私法・民事編Ⅱ
13. 近代(含む幕末)Ⅰ
14. 近代(含む幕末)Ⅱ
15. 婚姻関係(ことわざと川柳等による)

履修上の留意点  
成績評価の方法

上記は1. と15. を除き、それぞれの項目ごとに2週を割当ててをを目安としています。

学期末試験と平常点としての出席状況を総合して評価す。

教科書

大久保治男・茂野隆晴『日本法制史史料60選-史資料へのいざない-』1998年刊(芦書房)2,300円

履修コード	117901
科目名	西洋法制史
担当者名	北野 <small>きたの</small> かほる

講義のねらい イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造と法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書等  
その他

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。  
論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）  
特に指定しない。  
年度当初に指示する。  
一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

政  
治

履修コード	118401
科目名	英米法
担当者名	北野 <small>きたの</small> かほる

**講義のねらい** 近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 第1章 法系
  - 第1節 近代法の法系
    - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
    - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
  - 第2節 イギリス法の特徴
    - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
  - 第3節 英米法の分類
    - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
  - 第1節 法内容の歴史性
    - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
  - 第2節 法観念の社会性
    - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
  - 第3節 法思考の実務性
    - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
  - 第1節 判例法
    - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
  - 第2節 判例法の理論
    - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
  - 第3節 制定法の解釈
    - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
  - 第1節 イギリスの裁判所制度
  - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

**履修上の留意点**  
**成績評価の方法**  
**教科書**  
**参考書等**  
**その他**

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。  
 論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）  
 特に指定しない。  
 望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55  
 その他の参考書：年度当初に指示する。  
 試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

政  
治

履修コード	134411
科目名	会社法
担当者名	かわぐち ゆきみ 川口 幸美

**講義のねらい** 新会社法においては、従来の理念が通用せず、発想が転換している部分も多数見られる。本講義では、新法における会社のうち特に株式会社を中心に、旧商法と比較しながら、その体系的・基礎的理解を得ることを目的とする。具体的には組織管理機構に関する法規制を概観し、事件の分析を通じてその法的問題を検討する。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. 会社の種類 (LLCとLLP)
2. 会社の設立
3. 組織と会計 (機関設計と会計参与)
4. 組織と会計 (リスク管理と内部統制)
5. 会社の計算 (配当・持分変動計算書)
6. 企業の計算 (役員賞与の扱い)
7. 企業買収・再編 (三角合併)
8. 企業買収・再編 (新株予約権の強制償却)
9. 企業買収・再編 (黄金株と譲渡制限)
10. その他

**履修上の留意点**

会社法を体系的により深く理解するために、他の商法科目 (商法総則・商行為法) および民法科目 (特に民法総則・債権法) を現在履修しているか、既履修であることが望ましい。

**成績評価の方法**

試験の点数による。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しないものと考えてください。つまり、就職活動・部活動および病欠等についても、これらの者を優遇することはありません。受講者が少ない場合、期末試験は授業内で行いますので注意してください。

政  
治

**教科書  
参考書等**

開講時に指定する。  
神田秀樹 「会社法 (第8版)」 (弘文堂)  
江頭憲治郎・岩原紳作・藤田友敬/編  
別冊ジュリスト 「会社法判例百選」

**その他**

(当然のことですが) 授業中に私語・携帯の使用を厳しく注意します。場合によっては退室を命じます。

履修コード	119701
科目名	経済法
担当者名	わかばやし ありさ 若林 亜理砂

**講義のねらい** 経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持になうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

**講義の内容・授業スケジュール**

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

**成績評価の方法**

期末試験により評価を行う。

**教科書  
参考書等**

丹宗・厚谷編 『新現代経済法入門 (第2版)』 (法律文化社)  
別冊ジュリスト 『独禁法審決・判例百選 (第六版)』 (有斐閣)

**その他**

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする (基本的には教科書に沿ったものとなる予定である)。

履修コード	116601
科目名	国際紛争解決法
担当者名	王 <sup>おう</sup> 志安 <sup>しあん</sup>

講義のねらい	国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。
講義の内容・授業スケジュール	国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。
履修上の留意点	参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取り取ってもらいたい。 power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。 <a href="http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm">http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm</a>
成績評価の方法	学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。
教科書 参考書等 その他	大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円 市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。 授業は Power Point を使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

政  
治

履修コード	115801
科目名	刑法各論
担当者名	山口 <sup>やまぐち</sup> 邦夫 <sup>くにお</sup>

講義のねらい	この科目を履修する以前に、刑法総論の単位を取得済みであることを希望する。
講義の内容・授業スケジュール	1年間を次の4期に分けて講義する。 Ⅰ期（4・5月）、Ⅱ期（6・7月）、Ⅲ期（9・10月）、Ⅳ期（11・12月）。 Ⅰ期 犯罪の分類について。犯罪の分類は何のためにするのか、何を基準にして分類するのか、などいろいろな犯罪についての一般論を検討する。犯罪の分類は、犯罪学や刑事政策にとっては有用であっても、解釈学にとっては直接の影響はないと思われる。それよりも、各犯罪類型を厳格に解釈することの方が重要であることを指摘する。 Ⅱ期 通説ともいえる3分類の意義についてふれたあと、いわゆる個人法益に対する罪について検討する。 Ⅲ期 いわゆる社会法益に対する罪について。 Ⅳ期 いわゆる国家法益に対する罪について。 なお、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期と順次検討する予定であるが、場合によっては、Ⅱ期の対象を中心に1年間が終り、Ⅱ・Ⅲ期の対象は、そのつど関連する個所で、加味してやることになるかもしれない。
履修上の留意点	履修者が30名以内であれば、年間を通じて出席をとりたい。出席カードをもとに、毎回数名の人の問答を中心としたコロキウム方式で授業を進めたい。
成績評価の方法	少人数の時は、平常点を重視して、期末試験を省略して単位を認定する。
教科書	特に教科書として指定しないが、刑法総論の知識が不十分な人のために参考書として、大塚仁著『刑法入門 第四版』（有斐閣）



履修コード	143802
科目名	民法（債権）
担当者名	上井 長久

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条のかつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

(1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）、(2) 債権の目的・内容（第2回）、(3) 債権の効力——債務と責任、履行強制（第3回）、(4) 債務不履行責任（第4、5回）、(5) 債権の対外的効力——債権者代位権（第6回）、(6) 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）、(7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権（第8回）、(8) 連帯債務、保証債務（第9、10回）、(9) 債権の譲渡、債務の引受（第11、12回）、(10) 債権の消滅（第13、14回）、(11) 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第15回）、(12) 契約の成立（第16回）、(13) 契約の効力——同時履行の抗弁権（第17回）、(14) 危険負担、(第18回)、(15) 第三者のためにする契約（第19回）、(16) 契約の解除（第20回）、(17) 贈与、売買、交換（第21、22回）、(18) 消費貸借、使用貸借、質貸借（第23回）、(19) 雇傭、請負、委任等の契約（第24回）、(20) 事務管理、不当利得（第25回）、(21) 不法行為（第26、27、28回）

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

学年末の定期試験で行う。

我妻栄・有泉亨・川井健著『民法2 債権法』（勁草書房）

遠藤浩・川井健他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』（有斐閣大学双書）

履修コード	116301
科目名	社会保障法
担当者名	橋爪 幸代

講義のねらい

社会保障制度の成り立ち、概要について学習した上で、その法的理解を深めることを目的とする。社会保障は、私たちの生活と密接に関わっている。身近な素材を用いて、個別の制度と課題について見解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障法 の概念と体系
- II 社会保障法制度の歴史
- III 社会保障法の理論と課題
- IV 医療保障
- V 介護保障
- VI 年金保険
- VII 労災保険
- VIII 雇用保険
- IX 公的扶助
- X 社会福祉
- XI 社会手当

成績評価の方法  
教科書

筆記試験によって、評価する。

・本沢巳代子編著『トピック社会保障法』不磨書房、2400円、978-4-7972-8542-0

・労働調査会出版局編、『社会保障法令便覧』、労働調査会、1470円、978-4-897829784

履修コード	133901
科目名	社会学原理
担当者名	おひょうさん 呉 炳三

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす社会問題を分析する手法として、社会学の基礎的な概念や理論の使い方を学ぶこと。またはその身近な社会問題を認識、理解することを通じて、現代社会を展望する視点を養ってもらうことを本講義の目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は以下の内容について概念や理論を中心に講義を行う。  
 (1)はじめに、(2)社会学とは、(3~4)個人と社会（社会的行為、社会化と人間形成、パーソナリティ・社会的自我）、(5~6)現代家族論（配偶者選択、結婚、家族の構造と機能、家族の現代的課題）、(7~8)組織論、官僚制（専門職）、(9~10)職業、労働（職場や人間関係、就職・転職・リストラ、フリーター・ニート）、(11~12)若者の犯罪（ラベリング理論、加害者と被害者の関係、犯罪の原因）、(13~14)自殺と社会（自殺の歴史、自殺の背景、自殺の最近の情報）、(15)社会階層など  
 後期は以下のテーマについて受講生の発表およびディベートを行う。

(1) 教員免許更新制度、(2) 教育基本法の改正、(3) 少年法改正、(4) メタボ（医療化社会）、(5) 自殺といじめ、(6) 家族の変容、(7) 高齢者虐待、(8) 格差社会、(9) 特殊法人の存続、(10) 消えた年金の責任（個人か組織か）、(11) ペットは家族の一員か、(12) 個人の銃所持許可制度、(13~15) まとめ

以上、講義を予定しているが、受講生の人数などによっては、講義内容を変更することがある。積極的にノートをとること。

履修上の留意点  
成績評価の方法

出席状況（遅刻厳禁）、発表やディベートの内容と態度、簡単なレポートなどを総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書  
参考書等

特に指定しない。  
講義中に、その都度紹介する。

政  
治

履修コード	119001
科目名	財政学
担当者名	つかもと まさみ 塚本 正文

講義のねらい

私たちは、様々なサービスなどを国や地方自治体から受け、反対に租税を納めている。これだけ身近な問題でありながら、その仕組みは複雑で専門用語だらけのように見える。そこで、私たちはなぜ租税を納めなければならないのか、納めた租税はどのように用途が決定されるのか、どのような租税や公共サービスが存在するのかなど生活に密着した話題をテーマに、財政の仕組みや問題点を学び、税や政府について理解を深めることを目的として講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

(第1~2回目) 財政の枠組みとはどのようなものなのか、(第3~4回目) 政府のお金の使い道はどの様に決まるのか~予算について~、(第5~7回目) 政府が集めたお金は何に使っているのか~政府支出について~、(第8~11回目) 政府はどの様にお金を集めているのか~租税について~、(第12~14回目) 政府の借金とは何か~公債について~、(第15回目) 前期の総括、(第16~18回目) まちと財政問題~地方財政について~、(第19回目) 財政のもつ機能について、(第20~22回目) 資源配分~財政の機能Ⅰ~、(第23~25回目) 所得再分配~財政の機能Ⅱ~、(第26~28回目) 景気政策~財政の機能Ⅲ~、(第29回目) 地球環境と財政、(第30回目) 後期の総括

履修上の留意点

できるだけ指定した教科書に沿ってすすめるので、当日の講義内容を予め読んでおくこと。また、日頃から新聞の政治および経済欄を読んでおくこと。

成績評価の方法

学期末試験の結果をもとに成績を決定する。ただし、授業時に指示する提出物（レポート）の提出状況も考慮に入れる。

教科書

里中恒志・八巻節夫編著『新財政学』文真堂 ￥3,300 ISBN:4-8309-4546-X

履修コード	117501
科目名	経済原論
担当者名	村松 幹二

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。  
前期は、ミクロ経済学について、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割を解説する。  
1. ミクロ経済学とは：需要と供給（1～2）  
2. 消費者行動の理論（3～5）  
3. 企業行動の理論（6～8）  
4. 市場競争（9～10）  
5. 市場の失敗と政府の役割（11～13）  
6. 不完全情報の経済学（14～15）  
後期は、マクロ経済学について、マクロ経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。  
1. マクロ経済学とは：国民経済計算（1～2）  
2. 有効需要と乗数メカニズム（3～4）  
3. 貨幣の機能（5～6）  
4. インフレと失業（7～8）  
5. マクロ経済政策とIS=LM分析（9～11）  
6. 経済成長（12～13）  
7. 国際マクロ経済学（14～15）

成績評価の方法  
教科書

成績評価は、期末試験による。  
「入門経済学」伊藤元重、日本評論社

政  
治

履修コード	119101
科目名	経済政策
担当者名	森岡 仁

講義のねらい

市場を中心とした自由主義経済の中に、国が運営する経済政策を導入するようになってかなりの時間が経過したが、今や国民は経済政策を抜きに安定した経済生活を送ることはできない。本講義では経済政策の基礎を構成する諸概念の理解を深めることによって、日々展開される実践的経済政策を的確に判断する力を高めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1～4) 経済政策の概念、経済政策の目標、経済政策の手段、経済政策学、(5～8) 重商主義の経済政策思想、自由主義の経済政策思想、価値判断論争と経済政策学、現代経済政策学の方向、(9～12) 政策課題としての福祉問題、政策課題としての秩序問題、政策課題としての社会問題、現代政策課題の総括、(13～16) 経済成長の意義、古典派の経済成長論、完全雇用と現代の成長政策、経済成長と資本・労働、(17～20) 安定と成長の問題、経済変動とその安定政策、物価変動のメカニズム、現代インフレーションの対策、(21～24) 経済均衡と市場機構、独占と寡占、寡占の本質と作用、産業組織政策の展開、(25～28) 社会的公正と社会均衡化政策、国民所得の分配と再分配、公害問題の発生、福祉国家への道、(28～30) 現代の人口問題、人口政策の課題、経済政策と人口政策。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

経済政策の根底には経済理論があるが、少しでも経済理論に触れておくことが好ましい。  
学年末の定期試験。追試験も実施する。  
森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年 2, 520円。4-8051-0842-8  
特に指定せず。  
授業方法は講義。

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	溝手 <sup>みぞて</sup> 芳計 <sup>よしけい</sup>

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農業の特質と現代農業（4回程度）
4. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策（6回程度）
6. グローバリゼーション下における世界の農業（8回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本としますが、授業中に行う小テストを20点の範囲で加点して採点します。追試有り。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6  
 中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参考書等

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。  
 大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0  
 F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章、大月書店、2940円、ISBN978-4-272-15035-9  
 橋本卓爾<sup>はしもと</sup>ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

政  
治

履修コード	093601
科目名	工業政策
担当者名	おくやま まさゆき 奥山 雅之

**講義のねらい** 日本の工業（「ものづくり」産業）は、その技術力を背景に高い国際競争力を有しており、日本の産業全体を支える重要な存在です。

この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、ものづくり産業の特徴を確認しながら、産業の「過去」「現在」そして「将来」を考察します。また、ものづくり産業に対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性についても検討を加えていきます。

前期では、ものづくり産業の現状をさまざまな角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、産学連携、知的財産、環境問題、CSR（企業の社会的責任）など、ものづくり産業をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 前期（1～3）わが国の工業の役割と特徴  
 （4～6）戦後における工業の発展と工業政策  
 （7～10）工場立地の変化と工業集積の効果  
 （11～15）生産のグローバル化と国際競争  
 後期（16～19）工業の業種別課題（自動車産業、繊維産業ほか）  
 （20・21）「ソフトなものづくり」産業（映画産業、アニメーション産業ほか）  
 （22～24）イノベーションと産学連携  
 （25）知的財産の創造・保護・活用  
 （26・27）工業の環境調和とCSR（企業の社会的責任）  
 （28・29）ものづくり産業を支える人材の確保・育成  
 （30）まとめ

**履修上の留意点**

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することを望みます。

**成績評価の方法**

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

**教科書  
参考書等**

特に指定しません。配布する資料によって講義を実施します。  
 加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

政  
治

履修コード	091701
科目名	商業政策
担当者名	ばんば ひろゆき 番場 博之

**講義のねらい**

「クイズ番組の賞金はなぜ1,000万円までしかないのか?」。それは、そのように規定するルールがあるからである。このような流通や商業に関わるルール（公共政策）のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- （1）流通・商業問題と流通・商業政策の考え方  
 （2～5）流通・商業の基礎知識  
 （6～9）流通・商業政策の枠組み  
 （10～15）競争政策  
 （16～21）振興政策と調整政策  
 （22～27）まちづくり政策  
 （28～30）海外における商業に関わる政策

**履修上の留意点**

詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

**成績評価の方法**

定期試験によって評価する。ただし、履修者数によってはレポート等を課すこともある。

**教科書**

加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編『現代流通入門』有斐閣 2400円  
 ISBN978-4-641-18351-3

**参考書等**

番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房  
 岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店  
 日本流通学会編『現代流通事典』白桃書房  
 渡辺達朗『流通政策入門』中央経済社

**その他**

現在注目されている流通に関わる新しいトピックをテーマとした「テーマ講義」を何回かおこなう予定である。「テーマ講義」では、ゲストを講師にお願いすることも検討している。

履修コード	094101
科目名	地方財政論
担当者名	篠原 章

講義のねらい	地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。
講義の内容・授業スケジュール	年間を通じて以下の項目を講義する予定である。 [基礎編] (主として前期) 1. 地方財政論とは何か 2. 財政の機能と地方公共支出の役割 3. 地方公共支出の現状 4. 地方公共支出と公共財供給 5. 租税体系と地方税 6. 地方税制度の歴史と現状 7. 負担と受益 8. 地方債の基礎知識 [応用編] (主として後期) 1. 分権と集権 2. 地方財政調整の実態 3. ケーススタディ：沖縄 4. 地方財政と都市計画・地域開発 5. 地方財政制度の国際比較 6. ケーススタディ：「東京」
履修上の留意点	初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。
成績評価の方法	学期末の筆記試験と授業時の課題(レポート)等によって総合評価する。
参考書等その他	片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『新版 地方財政論』(税務経理協会刊) 2,800円(本体価格) 参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メールでも受けつける。また、篠原ホームページにも講義関連の情報を掲示する予定。

政治

履修コード	038701
科目名	地域計画論
担当者名	原 昭夫

講義のねらい	地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多様な課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。
講義の内容・授業スケジュール	1) 前期： i) 4～5月/地域を知る：地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。 ii) 6～7月/課題を発見する：地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。 2) 後期： i) 9～10月/課題を考える：それらの課題がどのような原因を持つか考える。 ii) 11～12月/地域を計画する：地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。
履修上の留意点	現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。
成績評価の方法	出席(授業への積極性の評価)およびレポート(年数回、折々の社会や環境について自己の意見・論評・提案等の独自性の評価)。
教科書参考書等	原昭夫著『自治体まちづくり』(学芸出版社) 2,800円+税 『都市計画』(共立出版) 3,800円+税 『都市計画論』(NHK出版) 2,400円+税 その他授業の都度提示する。
その他	講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習(「地域計画作成ワークショップ」)なども考えたい。(前年度は実施した。)

履修コード	134101
科目名	政治学特殊講義(1)
担当者名	内海 麻利

**講義のねらい** 近年、社会情勢の変化の中で、市民参加・市民活動が注目されている。特に前者は、政策形成プロセスにおける参加を意味する場合が多く、これは行政が主として担う「公共性」と市民が望む「公共性」との乖離をうめようとするものである。他方、市民活動においては、自治に対する自主的な取り組みやNPO等による公益活動の急速な展開により、地域社会が育て担う「新しい公共」の存在が顕在化している。しかし、こうした市民を中心とした政策形成プロセスや公益活動等には、合意形成や一定の秩序を生み出す政治システムが必要とされる。本講義は全国の事例を通じて市民と公共性との関係を政治という観点からとらえ、その体系と理論、実践手法について学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 授業では、主として市民参加や市民活動に関する概論を示した上で、事例紹介に基づきワークショップ方式を用いた議論を重ねた後、受講者の考えを発表する機会を設ける。なお、詳しい授業スケジュールについては、第1回目のガイダンスで提示する。

- ・ガイダンス(1)
- ・市民と公共性(2)
- ・政策形成プロセスにおける市民参加(3)
- ・合意形成とその手法(4)
- ・事例紹介に基づくワークショップ(5-12)
- ・事例の考察を発表(13-15)

**履修上の留意点** 受講期間に身近な地域の市民参加や市民活動に参加、見学されることが望ましい。

**成績評価の方法** 授業への出席、発表の充実度などを中心に評価する。

**教科書** 特に教科書は指定しない。

**参考書等** 授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

政  
治

履修コード	134201
科目名	政治学特殊講義(2)
担当者名	中野 裕二

**講義のねらい** 近代以降の政治は、「政治の領域」を限定して議論されてきました。そのひとつが、政治が展開する「公的領域」と非政治的領域たる「私的領域」の区分です。

「公的領域」と「私的領域」はあらかじめ存在するのではなく、人間が概念的に作り上げた領域です。それは、出自や宗教などを理由に人権が侵害されたり、差別されたり、政治から排除されたりしていた不平等な時代から、人間の平等な権利を保障するために作り出された区別なのです。出自や宗教を「私的な事柄」と位置づけることで、逆に出自や宗教にかかわらない市民を見だし、市民の平等を実現しようとする試みという意義をもちます。

しかし、ある事柄を「私的領域」に位置づけることは、今日幾つかの問題を提起しています。例えば、ドメスティック・バイオレンス(DV)です。妻が夫に暴力をふるわれたとしても、かつては「夫婦げんか」と位置づけられ警察の介入が困難でした。それは、家庭内の出来事が「私的領域」に属するとして、公権力が介入できないと考えられていたからでした。しかし、DVを「私的領域」の出来事として放置してよいわけではありません。DVという言葉ができたこと自体が、問題の可視化を物語っています。

それでは、われわれは例えばDVの問題にどのようなスタンスで臨めばよいのでしょうか？それはこれまで政治を語るうえで前提とされてきた「公的領域-私的領域」の区別の問題を再検討することとつながります。この講義では、できるだけ身近な事例を取り上げて、皆さんと一緒に「公的領域-私的領域」分離の意義と課題について考えてみたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール**

I. 理論編

1. 「公的領域-私的領域」の分離の理論(1・2)
2. 公-私分離への挑戦(3・4)

II. 事例編(予定)

1. 政教分離(5・6)
2. 就職差別(7・8)
3. 幼児虐待(9・10)
4. DV(11・12)
5. フリーター、ニート(13・14)

まとめの討論(15)

事例編では、受講生による事例の紹介、意見の発表の機会を設けます。

**成績評価の方法**  
**教科書**

期末試験は行いません。出席、授業時間中の事例紹介、意見の発表などを総合的に評価します。教科書は使用しません。

履修コード	134301
科目名	政治学特殊講義（3）
担当者名	三船 <small>みふね えみ</small> 恵美

**講義のねらい** 本講義の目的は、現代中国の政治や外交の基本的な知識を学ぶとともに、専門知識と理解を深めることです。

日本やアジアのみならず、世界にとって、中国の重要性がさまざまな意味でますます大きくなっていきます。中国政治は複雑かつ極めて不透明なものです。それについて学び、分析し、理解することは難しいことですが、現在の中国の台頭を考えると、とても重要なことでもあります。中国と国際社会の関係について、感情論ではなく、しっかりとした根拠に基づき、理性的に議論することを本講義のねらいとしています。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. 中国の政治や外交について学ぶ上での留意点
2. 中国政治の主要アクター：「一枚岩」ではない中国政治の諸アクター
3. 中台関係と2008年台湾選挙
4. 米台中関係
5. 日米中関係
6. 日中関係：環境問題・遺棄化学兵器問題を中心に考える
7. 中国と国連
8. 中国とロシア・CIS・SCO・EurAsEC
9. 中国と朝鮮半島
10. 中国とインド
11. 中国とASEAN、ARF、APEC、EAS
12. 中国と中東
13. 中国とアフリカ・EU
14. 総括

毎回各テーマについて、一通りの講義をしてから、受講生にも報告・意見の発表の機会を設けます。また、時事的な話題も取り上げるつもりですので、受講期間中は、新聞に掲載された国際面の中国関連記事にざっと目を通して置いて下さい。

**履修上の留意点**

就職活動や部活で欠席した人を特別扱いません。配布物は、理由の如何に関わらず、教場で一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。詳細について第1回目の講義で説明するため、受講者は第1回目の講義から参加して下さい。

**成績評価の方法**

期末試験は実施しません。授業中の発表や議論への貢献（約50%）、教場レポート（約50%）を総合的に評価します。

**教科書**

教科書は使用しません。

政  
治

履修コード	134401
科目名	政治学特殊講義（4）
担当者名	大山 <small>おおやま れいこ</small> 礼子

**講義のねらい** 民主政治のかなめともいえる議会のあり方について考えます。国会の話が中心になりますが、国会を批判するためにも外国の議会の実態をきちんと理解しておく必要があるため、国際比較の観点も重視します。

**講義の内容・授業スケジュール**

ほぼ教科書の流れに沿って、議会の機能、議事の運営、法案審議、二院制等のテーマをとりあげます。必ず事前に教科書を入手し、目をおしておいてください。

**履修上の留意点**

履修者の人数にもよりますが、一方的な講義ではなく、あらかじめ各章ごとのレポートを提出してもらったうえで、みんなで議論しながら進めたいと考えています。したがって、受講生には予習、復習の徹底と積極的な参加が求められます。

特殊講義はいわば政治学の上級者コースです。基本的知識を身につけておくだけでなく、最近の国会に関するニュースや話題についてもある程度心得ておいてもらわないと、その先に進めませんので、毎日、新聞の政治欄を読む習慣をつけてください。

**成績評価の方法**

平常点（履修者の人数が多い場合は変更の可能性あり）

**教科書**

大山礼子『国会学入門・第2版』（三省堂）2003年



履修コード	130701・130702
科目名	外書講読I(英書) 外書講読II(英書)
担当者名	相田 敏彦

講義のねらい メディア、メディア研究関連の英文読解。  
 講義の内容・ 前期は比較的容易なもの、後期は上級をめざす。資料(McQuail's Mass Communication Theo-  
 授業スケジュール ry)はコピー配付する。  
 履修上の留意点 参加者の力量を配慮して、内容・進度を定めるが、英語が得意科目であることが望ましい。  
 成績評価の方法 平常点

履修コード	130601・130602
科目名	外書講読I(英書) 外書講読II(英書)
担当者名	清滝 仁志

講義のねらい この講義では、政治に関する英文に慣れ親しむことからはじまって、比較的視野で政治問題・国  
 際問題を学ぶ方法を身につけることを目的にします。「比較は頭脳を明晰にする」(フランスの政治  
 思想家トクヴィルの言葉)のであり、政治学科で学んだ知識をさまざまな分野に活用しようという場  
 合、比較的視点は不可欠です。

さらに新聞・雑誌を読みこなすことのできる基礎的な英文読解能力を身につけます。TOEIC、公  
 務員試験の各種試験における英文読解に対処できるだけの実力をつけることを期待しています。  
 さらに英文読解を通じて、日本語における論理的思考(ロジカルシンキング)、論文・レポートの  
 作成能力の向上にもつながるように配慮します。

講義の内容・ 英字新聞・雑誌等に掲載された政治関連の最新の記事を毎週、読んでいきながら、同時に記事に  
 授業スケジュール 関連した政治学の基礎知識を講義で説明します。

とくに後期では、日本の新聞とは違った視点で政治を分析している外国の文献をとりあげ、政治  
 に関する多角的な知識を身につけていただきます。

履修上の留意点 やさしく解説を加えた、たくさん英文を授業で読んでいくことによって、長文に慣れていきま  
 す。

辞書を何度も引きながら、ゆっくりと英文を読んでいくのではなく、説明をつけた英文をたくさん  
 読んでいきます。

1年間かけて授業で「たくさん読む」ことが目標です。

英文読解に加え、国際事情・時事問題について理解・関心を深めることを期待しています。

とくに国際問題において、日本のメディアを通してだけでは得られない情報をとりあげ、紹介し  
 ていきますので、それらを生かし、皆さんの政治を論じる能力を向上させてください。

成績評価の方法 授業の参加状況・課題の提出などで判断します。

評価では、講義を受けることでいかに力をつけたか、を重視します。

定期試験は実施せず、平常点で評価します。

\*欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。

教科書

解説を加えた資料を毎回配布します。英字新聞は朝の短い時間に一般人が読む媒体であり、日本  
 の高校生レベルの英語で書かれていますので、1年かけて慣れ親しむことによってかなり読みこな  
 すことができます。

参考書等

授業と並行して取り組むことをお勧めします。

「毎日1分!英字新聞」<http://www.ka-net.com/magazine.html>

英字新聞を読むための参考書として

伊藤サム『第一線の記者が教える英文記事の読み方』(ジャパントイムズ)

同じ著者の『伊藤サムのこれであなたも英文記者』(ジャパントイムズ)もお勧めします。

その他

授業を通じて、身の回りの情報に自発的・積極的に関心を抱く知的習慣が身につくことを期待し  
 ます。

授業の性格上、大学院受験等で英語を勉強される場合、別の担当者の授業をお勧めします。質  
 問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。

Yestudy (<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>) に授業ページを設置します。パスワードは授業  
 で連絡します。

履修コード	130501・130502
科目名	外書講読I(英書) 外書講読II(英書)
担当者名	三竹 直哉

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

英語で政治学を勉強します。また、興味がある内容を通じて英語力を高めることも目的とします。参加者の希望や人数によって、内容もやり方も変わってきます。内容は参加する人の関心や希望に応じて決めます。比較政治学に関連した内容が原則ですので、比較政治学の授業内容をよく確認してください。

履修上の留意点

2007年度は、日本語訳がある英語文献を毎週少しずつ各自で読み進め、授業でわからないところや重要なポイントを討論するかたちで授業を行いました。あくまでも政治学科の専門科目です。「英語の授業」ではありません。政治学科の3年次もしくは4年次生として、当然持っているべき知識は前提として授業を進めます。

成績評価の方法

授業に関連する新聞記事などを課題として指定することがあります。授業で扱った事柄について自ら調べたり勉強したりする課題も出る可能性があります。自分の将来のために真剣に勉強している人向けの授業です。

教科書  
参考書等

期末テストと小テストを行い、平常点を加味して採点します。一般に外書講読ではテストをやりますが、テストを行った方がみなさんの力がつくのは明らかですので、みなさんの力をつけるためにこの授業ではテストを行います。詳細は授業開始時に説明します。

英文の本を指定するかもしれませんが、その場合、授業中に案内します。辞書は中辞典以上の大きさのものを持参してください。電子辞書も可です。学習用英英辞典の“Cobuild English Dictionary”はおすすめです。電子辞書も、この辞書が入っているものをすすめます(必ず買わなければいけないわけではありません)。

政  
治

履修コード	120701・120702
科目名	外書講読I(独書) 外書講読II(独書)
担当者名	松村 格

講義のねらい

ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることが目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することにします。

履修上の留意点

そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。未定。第1回目の授業に配布します。未定。

履修コード	120801・120802
科目名	外書講読I(仏書) 外書講読II(仏書)
担当者名	中野 裕二

講義のねらい

比較的平易なフランス語で書かれた文献を読むことで、フランスの法律・政治に関する知識を深めることを目的とします。フランス語の授業ではありませんので、初級程度のフランス語ができることを前提に授業を進めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義は、法律学科・政治学科に同時に開講されているので、フランスの共和制の原則、統治機構、人権などに関する文献を読んでいきます。

履修上の留意点

まず、フランス語を正しい日本語に翻訳し、文法などを確認し、次にその内容について確認していきます。

成績評価の方法

受講生が初級程度のフランス語が理解できているかどうかを確かめるため、第1回目の授業では簡単なテスト(仏語検定4級程度)を行います。

教科書

初級程度のフランス語を理解していること。期末試験を実施します。期末試験を6割、出席状況、発表内容を4割の比率で成績評価とします。受講生の読解力によって教材を選びますので、現在は未定です。

履修コード	120901・120902
科目名	外書講読I(中国書) 外書講読II(中国書)
担当者名	江林 英基

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後数回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基き、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・  
授業スケジュール  
履修上の留意点

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。  
授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。  
コピーを配布する。  
江英居著『中国憲法』(大学書林)3,500円、『中華人民共和国法律匯編』(北京人民出版社)  
学生への要望:授業中私語禁止。

履修コード	101202
科目名	現代企業論
担当者名	猿山 義広

政  
治

講義のねらい

野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認していくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 経済情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターン
- 第4回 ポートフォリオ・マネジメント
- 第5回 企業とCSR
- 第6回 債券市場の役割と投資の基礎知識
- 第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識(1)
- 第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識(2)
- 第9回 投資信託の役割とその仕組み
- 第10回 日本の株式市場の歴史
- 第11回 経済成長と金融資本市場
- 第12回 資本市場における投資家心理
- 第13回 資産運用とライフ・プランニング
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

定期試験および追試験は実施しない。  
出席点とレポート点で評価する。  
毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。  
野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。  
氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。  
企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

履修コード	133651
科目名	時事英語講座
担当者名	横山 滋

**講義のねらい** 英語の新聞に親しみ、英語で書かれた時事問題の記述を読み解くための基礎的な知識と技能の習得を目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** 読売新聞社発行の英字新聞、The Daily Yomiuri に掲載された各種の記事を読みながら、新聞記事における見出し、リード、本文などの構造とそれらについての約束ごとなどを、具体的に学んでゆきます。

**履修上の留意点** 原則として、予め定められた記事について、翌週の授業で履修者の理解した内容を発表してもらい、それについて質疑を行ないながら勉強をしてゆくことにしますから、そのための予習が不可欠で、それがないと学習の効果は期待できません。真面目に努力する諸君の参加を期待します。

**成績評価の方法** 主として学期末に行う試験によりますが、日常の活動状況も考慮に入れます。

**教科書** 上記の The Daily Yomiuri 紙を用います。

履修コード	123601・123602
科目名	演習I 演習II
担当者名	藤本 茂

**講義のねらい** わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

**講義の内容・授業スケジュール** 本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。夏季には研究合宿を行ないます。

**履修上の留意点** 演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。

**成績評価の方法** ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。

**教科書** 講義科目として、労働法はもとよりのこと、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

**参考書等** 出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追試はありません。

開講時に話しをします。

必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探ることが勉強の第一歩と思っています。

履修コード	132201・132202
科目名	演習I 演習II
担当者名	相田 敏彦

**講義のねらい** 一言でいえば、マスコミ、広告・広報、情報化がゼミのテーマである。

マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。

テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。

パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。

メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。

合宿やふだんの授業で友人との親しきが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高め〈ゆったり・楽しく・着実に〉進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。

当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろきプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

**講義の内容・授業スケジュール** <基礎演習>に記載の内容を参照。それをいっそう高度化したい。

前期：レポートを書く力、口頭発表力を2年次以上のレベルにまで高める(3年生)。ゼミ論文のテーマを決める(4年生)。後期：ロール・プレイングにもウェイト(3年生)。ゼミ論文の書き方を学び、執筆・完成して1冊のゼミ論文集を作る(4年生)。

**成績評価の方法** 平常点。

履修コード	131901・131902
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	内海 麻利

**講義のねらい** 本演習は、社会情勢が変化し、その変革が求められる都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関連し、柔軟な発想から問題意識を持ち、実践的かつ創造的な新たな知見を自ら探求するとともに、その解決策を提起できる能力を引き出し伸ばすことを主な目的としている。

**講義の内容・授業スケジュール** 研究期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、考察とりまとめなど）を自ら作成し、問題意識に対する新たな知見や解決策を自主的に進める。主にゼミでは発表・報告、ディスカッションを中心に各研究内容を議論する。

**履修上の留意点** ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

**成績評価の方法** 出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

**参考書等** 個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

履修コード	124801・124802
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	王 志安

政治

**講義のねらい** 国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

**講義の内容・授業スケジュール** テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定を中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていききたい。また、夏休みでは、原文（英文）の国際判例を読み解くための合宿を行う。

**履修上の留意点** 出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。

**成績評価の方法** 演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。

**教科書その他** 『判例百選国際法』（有斐閣）2001年  
ゼミに関する情報などは、下記のホームページから入手できる。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

履修コード	133501・133502
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	大塚 桂

**講義のねらい** 政治学における基礎的理論的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

**講義の内容・授業スケジュール** I政治学の基本文献を輪読する。  
II共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。  
IIIゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

**履修上の留意点** 一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい！

**成績評価の方法** 平常点

**教科書** 教員が準備し提供します。

**参考書等** 参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）、同『明治国家と岩倉具視』（信山社）、同『明治維新の思想』（成文堂）、同『ヨーロッパ政治理念の展開』（信山社）、『大東亜戦争期の政治学』（成文堂）。

**その他** 4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

履修コード	132801・132802
科目名	演習I 演習II
担当者名	おおやま れいこ 大山 礼子

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としています。文献やインターネットを活用した調査の方法、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方などを学習します。

3年次演習Iの後期に各自のテーマで5千字程度の論文をまとめ、4年次の演習IIではそれを発展させて2万字程度のゼミ論文執筆に挑戦します。最後までやり遂げてください。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の前期は政治関係の基礎的文献を講読し、基礎知識を確認します。後期には学生が選択したテーマで報告を行ってもらい、4年次でのゼミ論文執筆につながるようにします。学生の希望によって、グループ研究や討論なども実施します。

4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定です。なお、個人研究のテーマは政治制度に限らず、広く政治に関わることであれば自由に選択可能です。

希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを行います。

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
その他

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。

ゼミのイベント時は原則として禁煙。

履修コード	124601・124602
科目名	演習I 演習II
担当者名	きたの かほる 北野 かほる

講義のねらい

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法

演習I（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。

演習II（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書

提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

参考書等

随時適宜紹介する。

その他

十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。

英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。

履修コード	133301
科目名	演習I
担当者名	清滝 仁志

講義のねらい

本演習では、現在の社会における変化を政治学の観点を通じて考えていくことを目的としています。皆さんの生きている現在は、かつてない規模と速さで社会が変化し、今までになく将来が見えない時代となっています。演習では、同時代の状況を理解し、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざしていきます。

演習を通じて、自分で未来を切り開くための基礎的知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

さらに、文章の表現能力を身につけるための練習や報告の仕方について、演習という特性を生かしながら具体的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 講義の内容

① テーマを設定しグループで討論

就職面接等を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得。

前期は、ボードを整理しながら、皆で意見を集約する集団討論(通称・ポストイット・ツリー)をおこないます。

後期は、実践的に相互評価をしながら、皆の前で討論し、的確な意見をその場で話す訓練(通称・金魚鉢)をおこないます。

② グループごとに順番にニュース解説

最近の事件をとりあげ、コメントを加えながら背景等の説明。

後期は、グループごとに就職面接のポイントを学びます。

(2) 講義の目的

① 政治・経済・社会の基本的問題について理解

② 自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を習得

③ さまざまな情報を自分で的確に判断できる知的能力を習得

さらに公務員試験、就職活動に対応できるように配慮します。

履修上の留意点

演習での課題は、次のとおりです。

① 資料等を毎回熟読

② 口頭発表

③ レポート、ゼミ論文集の作成

④ グループ討論(議論するだけでなく、司会・報告の技術を訓練)

演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度、出席状況

なお、欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。

成績評価の方法

資料を適宜配布します。

教科書その他

ゼミの行事…BBQ、コンパ、合宿(夏)、都内の諸施設見学(新聞社、日本銀行、皇居、東証等)

授業中に4年生の就職活動報告などを適宜おこないます。

質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。

Yestudy (<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>) に演習のページを設置します。パスワードは授業で連絡します。

また公務員試験関係のサブゼミを適宜、開催しています。

履修コード	133511
科目名	演習II
担当者名	清滝 <sup>きよたき</sup> 仁志 <sup>ひとし</sup>

講義のねらい

本演習では、現在の社会における変化を政治学の観点を通じて考えていくことを目的としています。皆さんの生きている現在は、かつてない規模と速さで社会が変化し、今までになく将来が見えない時代となっています。演習では、同時代の状況を理解し、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざしていきます。

演習を通じて、自分で未来を切り開くための基礎的知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

さらに、文章の表現能力を身につけるための練習や報告の仕方について、演習という特性を生かしながら具体的に指導します。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1) 講義の内容

① テーマを設定しグループで討論

就職面接等を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得。

前期は、ボードを整理しながら、皆で意見を集約する練習(通称・ポストイット・ツリー)をします。

後期は、実践的に相互評価をしながら皆の前での確かな意見をすぐに話す討論の練習(通称・金魚鉢)をします。

② グループごとに順番にニュース解説

最近の事件をとりあげ、コメントを加えながら背景等の説明。

後期は、グループごとに就活面接のポイントを学びます。

4年生には、集団討論の下級生への指導等もおこなってもらいます。

(2) 講義の目的

① 政治・経済・社会の基本的問題について理解

② 自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を習得

③ さまざまな情報を自分で的確に判断できる知的能力を習得

さらに公務員試験、就職活動に対応できるように配慮します。

履修上の留意点

演習での課題は、次のとおりです。

① 資料等を毎回熟読

② 口頭発表

③ レポート、ゼミ論文集の作成

④ グループ討論(議論するだけでなく、司会等の技術も学ぶ)

成績評価の方法

出席状況、演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度、ゼミ論文提出  
なお、欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。

教科書の  
その他の

資料を適宜配布します。

ゼミの行事…BBQ、コンパ、合宿(夏)、都内の諸施設見学(新聞社、日本銀行、皇居、東証)  
授業中に4年生の就職活動報告などを適宜おこないます。



履修コード	132101・132102
科目名	演習I 演習II
担当者名	小堀 <sup>こぼり</sup> 訓男 <sup>のりお</sup>

**講義のねらい** 国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなリアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないか、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

**講義の内容・授業スケジュール**

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

**履修上の留意点**

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

**成績評価の方法  
参考書等  
その他**

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

授業中に適宜紹介する。

ゼミ生は、テーマ別の研究班に分かれて研究会をおこないます。(例)アメリカ研究班、中東研究班、東南アジア研究班、EU研究班、理論研究班等。よって、積極的に参加する者の応募を望みます。

政  
治

履修コード	125001・125002
科目名	演習I 演習II
担当者名	佐藤 <sup>さとう</sup> 多美夫 <sup>たみお</sup>

**講義のねらい** 刑法を知るためには、犯罪について刑法総論及び各論で修得した基礎的知識を具体的に当てはめてみるのが有用である。しかし具体的事実を刑法の立場から眺めてみることは意外と難しいと思われるので、ひとつひとつ理解を得ながら進めることにする。

**講義の内容・授業スケジュール**

本演習の目標は結局のところ、具体的な事実を刑法を適用して解決することにある。この目標を達成するためには、事実に含まれている刑法上の論点を抽出してその論点について自己の立場から態度決定して結論を提示することが必要である。一般的に結論には多角的・多面的な見方があり得るので相手の立場・考え方にも耳を傾けそれに対して自己の見解を論理的に主張し説得力のある反批判ができることが必要である。これにより自らの結論の妥当性を検証することができる。

判例、事例を素材にして罪刑法定主義、因果関係、不作為犯、違法性、正当防衛、緊急避難、故意と事実の錯誤、過失犯、違法性の意識、責任能力、未遂、共犯、傷害罪、窃盗罪、強盗罪、詐欺罪などを扱う。

**履修上の留意点**

刑法に興味がある。

刑法がわかりたい。

刑法が知りたい。

刑法が使いたい。

**成績評価の方法  
教科書  
その他**

レポート、発言、出席等を総合評価

刑法の基本書・判例集等 演習時間に適宜紹介する。

「見えざる刑法」が見えてくれば幸いである。

履修コード	133101・133102
科目名	演習I 演習II
担当者名	塩入 <small>しおいらい みほも</small>

**講義のねらい** 行政法上の諸問題をとり上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 当演習は、学生諸君の主体性を重視し、基本的には、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていきます。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てます。

**履修上の留意点** 公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

**成績評価の方法** 平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。

**教科書** 未定

**参考書等** 初回授業の際に紹介します。

履修コード	124501・124502
科目名	演習I 演習II
担当者名	高橋 <small>たかはし ひろき</small> 洋城

**講義のねらい** この演習は、法律の解釈論や政策論の基礎となる原理的な議論に関心を持つ学生のために「法哲学演習」として開講するものである。「法学の学習の中で培った知見を応用する」と同時に、それを「哲学や社会科学その他を含む広い文脈のなかで捉えなおすこと」、この両方が本演習の目標であるが、さらに社会科学的文章の扱い方に慣れることや、報告や討論の中で問題を掘り下げる能力の養成も本演習の中で心がけたい。

**講義の内容・授業スケジュール** <基本方針> 1年間を通じて扱う統一テーマを設定して演習を進めていく。とりあげる内容は、現代の法的問題をいくつかえらんで検討していく場合と、古典的文献精読を中心に進める場合と、年度ごとに重点の置き方を変えていく。2008年度は前者の方針をとる予定である。

本年度の具体的なテーマは演習開始時に相談の上決定するので未定であるが、参考までに過去にとりあげた題材やテーマを紹介しておく。

テーマの一例：配分的正義と福祉国家 公正の概念 平等論 格差社会 所有権論  
民主主義 私法の意義

購読文献の一例：ミル『自由論』、ロック『統治論』、ドゥオーキン『権利論』  
ルソー『社会契約論』

<年間スケジュール> 前期は、選定した文献についての報告を軸にし、テーマに関する議論を参加者全員が共有することを目指す。後半は、そこから発展したテーマやさらに議論を深めるための文献を割り当て、より各参加者の関心に引きつけた報告を行なってもらう予定。

<運営方法> 毎回の演習は、報告・質疑・討論の形式で運営する。報告者の他、あらかじめコメントーターを指定する。

**履修上の留意点** 常に積極的に発言すること、おそれずに聞くこと、調べる手間を厭わないことを、演習参加者の姿勢として求める。

**成績評価の方法** 平常点（出席、報告および討論における発言を勘案して評価）と全日程終了後提出のレポートにより総合評価する。

**教科書** 特に指定しない。

履修コード	133201
科目名	演習II
担当者名	大塚 <small>おおつか かづら</small> 桂

**講義のねらい** 世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

**講義の内容・授業スケジュール** 各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

**履修上の留意点** ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

**成績評価の方法** 出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

**参考書等** 必要に応じて適宜紹介する。

**その他** 個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

履修コード	132501
科目名	演習I
担当者名	とみさき なかし 富崎 隆

**講義のねらい** 全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思ひます。演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思ひます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加して行く中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思ひます。

**講義の内容・授業スケジュール** 演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中で誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

第2に、具体的な、みなさんの毎週の研究会での中心活動は、当面ディベート（模擬討論）になると思ひます。毎週のディベートを通じて、政治学における基本問題に対する理解と問題発見をしてもらひます。研究会でのディベート実施の目的は、政治学の従来議論の意義と問題点を探ることにあります。しかし、同時にディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらひたいと思ひます。

第3に、研究会としてインターカレッジ・セミナーに参加していききたいと思ひます。他の参加ゼミとしては、明治大学・小西ゼミ、慶応義塾大学・河野ゼミ、拓殖大学・大谷ゼミなど（予定）があります。このセミナーでは、年1回の共同合宿や講演会、大学対抗のディベート大会などを行なっていく予定です。

**履修上の留意点** 積極的・主体的参加を期待します  
**成績評価の方法** 受講生と相談の上、総合的に評価します  
**教科書** 特に定めません  
**参考書等** 特に定めません

政  
治

履修コード	133051
科目名	演習II
担当者名	とみさき なかし 富崎 隆

**講義のねらい** 全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思ひます。演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思ひます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加して行く中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思ひます。

**講義の内容・授業スケジュール** 演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中で誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

第2に、具体的な、みなさんの毎週の研究会での中心活動は、当面ディベート（模擬討論）になると思ひます。毎週のディベートを通じて、政治学における基本問題に対する理解と問題発見をもらひます。研究会でのディベート実施の目的は、政治学の従来議論の意義と問題点を探ることにあります。しかし、同時にディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらひたいと思ひます。

第3に、研究会としてインターカレッジ・セミナーに参加していききたいと思ひます。他の参加ゼミとしては、明治大学・小西ゼミ、慶応義塾大学・河野ゼミ、拓殖大学・大谷ゼミなど（予定）があります。このセミナーでは、年1回の共同合宿や講演会、大学対抗のディベート大会などを行なっていく予定です。

**履修上の留意点** 積極的・主体的参加を期待します  
**成績評価の方法** 受講生と相談の上、総合的に評価します  
**教科書** 特に定めません  
**参考書等** 特に定めません

履修コード	132301・132302
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	中野 裕二 <small>なかの ゆうじ</small>

**講義のねらい** 自分で研究テーマを決め、年度末にゼミ論文として提出することを目標とします。研究テーマは、受講生の問題関心に即して決定します。「自分はどうしてこの事に関心を抱いているのか？」を自問することも大切なことだと考えます。

**講義の内容・授業スケジュール** 毎回の演習の時間は、ゼミ論文の中間報告、または、論文作成のために必要な文献の内容紹介にあてます。毎回1人または2人の報告を行い、内容の発表と質疑応答を通して、論文作成上の問題点を洗い直し、または自分の問題関心の再確認を行います。

**履修上の留意点  
成績評価の方法** 自発的に研究し、論文をまとめる意志のある学生のみ受講してください。  
出席、ゼミ論文の提出、報告内容・質疑応答の内容などを総合的に判断し、成績評価とします。

履修コード	125701・125702
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	西 修 <small>にし ちゅう</small>

**講義のねらい** 私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切に、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけたす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

(1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。  
(2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。  
(3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

**講義の内容・授業スケジュール** 前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1) 日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2) 憲法第9条をめぐる諸問題、(3) 世界の憲法トレンド、(4) 人権の現代的意味などを考えています。その他、年に1回は合宿を行います。

**履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書等  
その他** 「講義のねらい」で記述した方針でのぞみますので毎回出席すること。  
出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。  
開講時に指示する。  
適宜紹介する。  
合宿中に私の落語を聴かされることがあります。

履修コード	132701
科目名	演習I
担当者名	早川 <sup>はやかわ</sup> 純貴 <sup>よしか</sup>

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成20年度の前期・統一テーマは「なぜ問題は先送りされたのか」である。重大な社会問題（あるいは経済問題）がすべて政治問題化し、問題解決のための国の法律や地方自治体の条例などに帰着するわけではない。ある問題は全く政治課題にならず、そのまま放置され、あるいは社会の表面から消されてしまう。なぜその様なことが生じるのだろうか。事例研究を通じて、「問題先送り」や「立法の不作为」の背景（原因）やプロセスを探り、ある問題が政治課題にならずに放置されるメカニズムを考えてみたい。さらには、どうしたら政治家、政党、行政などを動かし、問題解決に彼らに向かわせることが可能になるのか、という政治課題形成の戦略も併せて考察したい。

政治

長期にわたって放置され、政治解決が遅れた具体的事例としては、薬害エイズ問題、女性の就職、昇進差別問題、北朝鮮との国交正常化問題、アスベスト問題、学校での「いじめ」問題、東京大気汚染訴訟問題、東京外郭環状道路建設問題など多数挙げられる。こうした問題のいくつかを取り上げてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法  
教科書

個人々の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

履修コード	133001
科目名	演習II
担当者名	早川 <sup>はやかわ</sup> 純貴 <sup>よしか</sup>

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成20年度の前期・統一テーマは「なぜ問題は先送りされたのか」である。重大な社会問題（あるいは経済問題）がすべて政治問題化し、問題解決のための国の法律や地方自治体の条例などに帰着するわけではない。ある問題は全く政治課題にならず、そのまま放置され、あるいは社会の表面から消されてしまう。なぜその様なことが生じるのだろうか。事例研究を通じて、「問題先送り」や「立法の不作为」の背景（原因）やプロセスを探り、ある問題が政治課題にならずに放置されるメカニズムを考えてみたい。さらには、どうしたら政治家、政党、行政などを動かし、問題解決に彼らに向かわせることが可能になるのか、という政治課題形成の戦略も併せて考察したい。長期にわたって放置され、政治解決が遅れた具体的事例としては、薬害エイズ問題、女性の就職、昇進差別問題、北朝鮮との国交正常化問題、アスベスト問題、学校での「いじめ」問題、東京大気汚染訴訟問題、東京外郭環状道路建設問題など多数挙げられる。こうした問題のいくつかを取り上げてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法  
教科書

個人々の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

履修コード	125401・125402
科目名	演習I 演習II
担当者名	日笠 <small>ひかさ</small> 完治 <small>かんじ</small>

**講義のねらい** 研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講者各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 担当者としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。  
第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。  
第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。  
第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。

**履修上の留意点** 積極的に責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Iと演習IIは続けて履修してもらいたい。

**成績評価の方法** 3年次は個別演習を繰り返して行い、基礎力を充実する。  
4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。

**教科書** 3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などに基づき評価する。  
4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。

**参考書等** 特に指定しない。前提としては、1年次学習した日笠完治『憲法がわかった』（法学書院）は、復習をしておいてほしい。

**その他** 近年利用したものとしては、  
①赤坂・大沢・井上・工藤『ファーストステップ憲法』（有斐閣）  
②大沢秀介『はじめての憲法』  
③小林孝輔『憲法演習自習セレクト50』（一粒社）  
④高橋・大石『憲法の争点』（有斐閣）  
⑤芦部信喜先生、佐藤幸治先生、樋口陽一先生など大家の教科書などがある。

ゼミの年間行事としては、  
①新入ゼミ生歓迎会（4月）  
②前期打ち上げ（7月）  
③夏合宿（9月）  
④バーベキュー大会（11月）  
⑤後期打ち上げ（1月）  
⑥ゼミ論集『自由と権利』発行（2月）  
⑦卒業論文集完成（2月）  
⑧春合宿・4年生の歓送会を兼ねる（2月か3月）などがある。

政治

履修コード	132401・132402
科目名	演習I 演習II
担当者名	三竹 <small>みたけ</small> 直哉 <small>なおや</small>

**講義のねらい** 比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。せっかく大学に来たのだから、中学校や高校の自由研究レベルのものではなく、自分の問題意識で本格的に卒業研究をやってみたいという人向けです。小学校以来受けてきた教育の集大成であり、自分の〈作品〉となる卒業論文を作成します。たくさん書き、本や論文にたくさん接し、いろいろな人に会い、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

**講義の内容・授業スケジュール** お互いに助け合いながら個人研究を行います。やり方や内容は年によって参加者によってかなり異なります。卒業してからどんな分野に進んでも役に立つよう、知的な仕事をする上での基本的な訓練、練習は三年次に必ず行います。簡潔で論理的な文章の書き方のトレーニング、ノートの取り方、自己分析、プレゼンテーションのしかた、スケジュール管理のしかた等々を、かなり細かくやります。原則として、研究テーマは、比較政治学やその他三竹担当の授業内容に関連したものを自分で設定することになります。

**履修上の留意点** 応募する前に必ずメールで相談してください。向いていないゼミに応募してしまうと、ゼミを履修するチャンスを失ってしまう可能性があります。  
4年次にも必ず履修登録し就職活動と両立させ、最後までゼミを続けることを条件のひとつにしています。その他にも条件がありますので、必ず事前に相談してください。法律学科から応募する方は特に注意してください。

**成績評価の方法** 自己評価を基本とします。  
**教科書** たくさんあります。その都度、指示します。（買わなければいけないものは多くありません。）  
**その他** mitake@komazawa-u.ac.jp

履修コード	133401・133402
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	三船 恵美

講義のねらい

現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲よし関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところ是对立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異質なものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

講義の内容・授業スケジュール

前期：各ゼミ生の関心によって選定する領域についての「2分間スピーチ」を全員が毎回行います。そのためには、日頃から関連文献や新聞の国際面をよく読むことを習慣にしましょう。また、各自が設定したテーマについて、個人研究報告を行い、それに対する質疑応答を行います。後期：グループ研究報告、ディベート、個人研究報告など。

履修上の留意点

欠席する場合は、必ず連絡して下さい（ゼミ生を通じての連絡でもかまいません）。無断欠席3回で単位を与えません。

成績評価の方法

報告・討論・レジュメの質、議論に対する貢献などの総合評価です。座っているだけの学生を出席とは認めません。講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう

教科書

なし

政治

履修コード	132601・132602
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	村井 良太

講義のねらい

この講義は、良書を輪読し、議論することを通じて政治への理解を深めることをねらいとしています。そこでは、「世界のなかの日本」という大きな視点に立って、学び、考えてほしいと思います。加えて、読む・書く・話すという基本的な技術を身につけてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、論文を用いたり、本を指定したり、学生とも話し合いながら決めていきます。テーマは日本政治史を軸に、おおむね政治・外交・国際関係などに関するものと考えています。始めは論文など簡単なものを使い、次第に内容の濃いものを読んでいきます。加えて、前期に合宿と課題レポート、後期に各自の報告とゼミ論文を予定しています。また、受講生の意欲によってディベートにも挑戦したいと考えています。

履修上の留意点

演習は、他の講義以上に、教員、学生と一緒に創りあげていくものです。積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、授業への出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。

教科書その他

テキストは話し合いながら決めていきます。授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつくって報告します。報告者以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。レポートも書き、時にはディベートも行います。まだ若いゼミですので、一緒にスタイルを創っていきましょう。

履修コード	125601・125602
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	山口 邦夫

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。  
第I期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。  
第II期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。  
第III期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。  
第IV期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジュメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

履修コード	132211・132212
科目名	演習I 演習II
担当者名	やまどき のぞみ 山崎 望

講義のねらい 本演習では、国民国家から成り立つ現代世界の変容を二つの観点－「帝国」と新自由主義的グローバル化－から分析します。その上で、世界秩序の変容が生み出す問題にどのように対応するのか、考えることが目的です。演習を通じて「あたり前」と思っている事が「あたり前」ではなく、テロ、戦争、格差といった「大きな問題」が「他人事」ではなく「自分の問題」である事について学んでもらう事が目的です。

講義の内容・授業スケジュール 概ね三つのテーマに分けてゼミを行います。  
 1. 新自由主義的なグローバル化がもたらす問題を、国内／国際的な格差の増大、貧困、不安定雇用、失業、社会の分断といった観点から取り上げる。  
 2. 「9. 11」同時多発テロに象徴される新しい時代の暴力について、「帝国」という観点から、アメリカの帝国化、「新しい戦争」、グローバル・テロリズム、宗教原理主義、ネオ・ナショナリズムに注目することで明らかにする。  
 3. 新自由主義や「帝国」がもたらす問題への対応を、グローバルな市民社会、新しい民主主義、多文化主義、ベーシックインカム論などの切り口から探る。

履修上の留意点 毎回、課題とされた文献をしっかりと読んでからゼミに臨んでください。討論においては積極的に発言してください。詳細はゼミの一回目に説明するので、履修希望者は必ず出席してください。

成績評価の方法 平常点（出席・報告・討論への貢献など総合的に評価）。  
 教科書等 杉田敦・川崎修編2006『現代政治理論』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12269-5  
 参考書等 他の文献については、ゼミの進行に応じて適宜指定します。  
 その他 ゼミ形式。毎回報告者を指名するので、報告者は課題文献を要約し、報告すること。その後参加者全員で議論します。希望があれば個人研究報告やディベートも行います。

政  
治

履修コード	131801
科目名	演習II
担当者名	どい ましのり 土井 美徳

講義の内容・授業スケジュール 各人が、政治学に関連したテーマを自由に設定し、調査・研究を進めていく。そのうえで、順に報告をしてもらい、それをもとに全員でディスカッションをおこなう。そのつど、必要に応じて研究指導をおこなっていく。

成績評価の方法 平常点を中心に評価をおこなう。



# Ⅲ 他学部履修科目

他学部  
履修科目

履修コード	007411
科目名	日本哲学史
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

講義のねらい

「哲学」は明治初めに西洋から導入されたが、その際当初から日本の伝統的思想との関連が認められた。儒教が近代化の障害として批判されたり、仏教が近代化の限界の克服の拠所と考えられもした。最近「グローバル化」と「文明の多元化」が語られる状況の中で、日本の哲学があらためて問い直されている。そこで近代日本の代表的な哲学の思想を紹介し、その流れを捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

西周、福澤諭吉、内村鑑三、西田幾太郎、鈴木大拙、九鬼周造、和辻哲郎、三木清、戸坂潤、丸山真男を取り上げ、彼らが日本の近代化にどのように関わり、西洋哲学との関連でどのように独自の思索を展開したか、またそれは今日どのような意味を持つかを考えることにする。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

講義を手掛かりに、自分でさらにテキストなどを読むことが望ましい。  
レポートと出席によって評価する。  
個々の哲学者の文章を資料として配布する。  
開講時に指示する。

履修コード	059701
科目名	産業・職業社会学
担当者名	山田 信行 <small>やまだ のぶゆき</small>

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2部から構成される。  
第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要分野について、主として日本の事例について紹介しながら概説する。

第2部（後記）では、「グローバル化」をポイントにして労使関係の比較歴史社会的な分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり（それぞれの項目について、1～3回程度の講義回数を予定している）。

- 第1部 現代日本の産業・労働・職業
- 1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題
- 2. 労使関係とはどんな関係なのか―労使関係論としての産業社会学
- 3. 賃金・雇用・労働者
- 4. 労働者の統制と参加
- 5. 労働組合と労働運動
- 6. 技術革新と技能の変化
- 7. 国家と労使関係
- 8. 変容する産業・労働・職業の世界
- 第2部 労使関係の比較歴史社会的分析
- 1. グローバル化と労使関係
- 2. 労使関係と社会変動―インダストリアルイズムと多元的資本主義発展
- 3. アメリカ合州国と不自由労働
- 4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
- 5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展
- 6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

必修科目ではないので、自覚的な学生の参加を希望する。  
主として、中間レポート（前期）および学年末試験（後期）による。  
山田信行『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房。

参考書等

本書を逐一なぞるかたちで講義を進めるわけではないものの、とりわけ第2部については本書に依拠した講義内容となるため、授業に際して携帯することが望ましい。  
適宜指示する。

他学部  
履修科目

履修コード	063901
科目名	社会福祉発達史
担当者名	堀 千鶴子

講義のねらい 我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール	1 社会福祉の歴史と人物史 1	13 人物史 4
	2 " " 2	14 " 4
	3 慈善・救済の時代	15 " 4
	4 人物史 1	16 社会事業・社会福祉の時代
	5 " 1	17 人物史 5
	6 " 1	18 " 5
	7 " 2	19 " 5
	8 " 2	20 " 6
	9 " 2	21 " 6
	10 " 3	22 " 6
	11 " 3	23 社会事業に生きた女性
	12 " 3	24 地域の歴史

履修上の留意点 出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法 出席 (40%)、レポート (60%)

教科書 室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6

他  
学  
部

履修コード	091101
科目名	日本経済論
担当者名	小林 正人

講義のねらい 日本経済の(第二次世界大)戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになった日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」ーとくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高ーをのりこえてきた。しかし長年の平成不況とグローバルゼーションの中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程  
(1~3) 戦後史の概要、(4~5) 景気の現状と雇用情勢、(6) 戦後改革、(7~10) 日本の高度経済成長の国内原因と海外要因、(11) 産業政策と経済成長、(12) 石油ショックの展開、(13~15) 円高、バブル経済、平成不況
- 日本の経済発展とイノベーション  
(16~17) イノベーションと産業構造、(18~19) 産業分類と製造業の現状、(20~22) 自動車産業の発展と生産システム、(23~25) 半導体産業の発展と国際的特質、(26~27) 鉄鋼、電機、工作機械等の産業の発展過程、(28) 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展と日本型経済システムの展望 (29~30)

履修上の留意点 講義資料をひんばんに配付する。一度しか配付しないので確実に収集し、授業に持参して保管し、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法 定期試験の成績と、講義の節目に出題する数回の小論文またはレポートの達成度とを総合して評価する。

教科書

参考書等

その他

なし  
適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語を調べるための辞典ないし事典の一つは常備してもらいたい(有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などが出版している)。

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です(有意義な回答のため)。

履修コード	092401
科目名	財務会計論
担当者名	寺坪 修

講義のねらい

財務会計は、企業活動の実態を投資者などの利害関係者へ報告するための「みせる会計」です。そのための開示手段の中心となるのが財務諸表ですが、その作成方法に関しては統一的な制度として、会社法や金融商品取引法などの法令および会計基準が制定されています。会計基準は、現在、グローバル化の進展に伴ないグローバル・スタンダード（世界標準）との調和が進められています。本講義では、日本における財務諸表制度の変遷と動向を踏まえて、会計上の主要なテーマについて具体的にみていきます。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね次の構成で進めていきます。  
 (1) オリエンテーション、(2～5) 財務会計の意義・会計の構造、(6～9) 財務諸表の仕組み・企業会計制度、(10～13) 企業会計原則、(14～26) 会計ビックパン・リース会計・退職給付会計・税効果会計・キャッシュフロー会計・連結財務諸表、(27～28) 会計の国際化、(29～30) 財務諸表の活用

履修上の留意点

会計は積み重ねの学習によって理解が深まりますので、休まずに受講してください。私語は厳禁とします。

成績評価の方法

学年末試験(60%)、出席率(25%)、宿題・レポート提出(15%)の総合評価。ただし、S・Aの評価はGPA評価ガイドラインによる調整を行うことがあります。

教科書  
参考書等

寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』2004年刊(創成社)3, 990円  
 寺坪修『英文会計論[基本編]第2版』2007年刊(五紘舎)1, 575円

履修コード	093301
科目名	日本経済史
担当者名	渡邊 恵一

他学部  
履修科目

講義のねらい

経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がつかなくなることを意味するので、くれぐれも注意されたい。

成績評価の方法

基本的には期末試験の成績で評価するが、小テストの成績、「リアクション・ペーパー」の記載内容などについても、平常点として加味したい。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会、2002年)。あらかじめ指示したページ範囲に目を通していただくことを前提に授業を行う。その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等  
その他の

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。日本史の知識不問(挫折者歓迎!)。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみてください。

履修コード	094701
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 修二

**講義のねらい** 前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール**

第1—3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。

第4週—10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週—15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年—）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週—25週：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26—30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

前期レポート、後期試験（30%、70%）。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ、2002年 周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

**履修上の留意点**  
**成績評価の方法**  
**教科書**  
**参考書等**

他学部  
履修科目

履修コード	094801
科目名	アメリカ経済論
担当者名	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

履修上の留意点

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向、◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

成績評価の方法

アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

教科書

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもいわれれば、瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社、2005年）  
グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』（青木書店、1994年）  
瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店、2003年）をおすすめします。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

履修コード	095001
科目名	EU統合論
担当者名	工藤 芽衣 <small>くどう めい</small>

講義のねらい

欧州連合（European Union）は、欧州統合という国民国家を超えた超国家的組織の下で、欧州の平和と繁栄の実現を目指す、第二次大戦後の歴史的・政治経済的試みの、一つの成果です。しかしながら現実を見ると、EUは域外地域の動きと無関係に展開しているのではなく、またEU内部では各国の利害が錯綜しているというのが現状です。本講義ではEUの生成と発展を、各加盟国の政治経済社会における諸政策、EU域外の動きとの関連から考察し、欧州統合の理念と現実について考えたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 欧州統合の軌跡
  1. 欧州の戦後復興と統合
  2. EEC、ECからEUへ
- II. 欧州統合と国民国家
  1. 主要国の欧州統合への姿勢
  2. EUの諸政策
- III. EU域外との関係
  1. 旧植民地諸国
  2. アメリカ
  3. 日本

成績評価の方法

出席、授業中に行う小テストで評価します。

履修コード	095101
科目名	現代西欧経済論
担当者名	工藤 芽衣

講義のねらい 本講義は、欧州通貨統合の経緯を、国際通貨体制およびドルの動き、加盟国とりわけ独仏の政策との関連で考察します。

講義の内容・授業スケジュール I. プレトンウッズ固定相場制とその崩壊  
II. スネークの発足と挫折  
III. 欧州通貨制度 (EMS) の展開  
IV. ユーロをめぐる諸問題

成績評価の方法 出席、授業中に行う小テストで評価します。

履修コード	097001
科目名	会計監査論
担当者名	森田 佳宏

講義のねらい 会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 会計監査の意義と概要 (2~5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6~10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11~15) ディスクローチャー制度 (金融商品取引法・会社法)、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16~20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21~25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26~30) 監査証拠、継続企業の前提、監査意見、監査報告書

履修上の留意点 本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法 原則としてレポートおよび期末試験により評価する。

教科書等 指定しない。必要に応じて資料を配付する。  
山浦久司『監査論テキスト(第2版)』(中央経済社)  
友杉芳正『新版スタンダード監査論(第2版)』(中央経済社)  
千代田邦夫『現代会計監査論』(税務経理協会)  
日本公認会計士協会編『監査小六法(平成19年版)』(中央経済社)  
日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック(平成20年版)』(中央経済社)

他学部履修科目

履修コード	097111
科目名	管理会計論 a
担当者名	石川 祐二

講義のねらい 本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス、(2~4) 管理会計論をとらえる視点、(5~8) 管理会計上の基礎概念、(9~12) 設備投資の意思決定、(13~15) 製品関連の意思決定

履修上の留意点 会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。  
また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法 前期末の試験により評価する。

教科書等 毎回配布するプリントが教科書代わりである。  
必要に応じて紹介する。

履修コード	097121
科目名	管理会計論b
担当者名	石川 祐二

講義のねらい

本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることにする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

(1)ガイダンス、(2~3) リスク・マネジメントと法律規定：リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4~5)ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6~7)企業内部のリスク・マネジメント・システム：会計報告との関連性、(8)リスク・マネジメントと状況報告書、(9)リスク・マネジメントと引当金、(10~11)リスク・マネジメントとバランス・スコアカード、(12~13)リスク・マネジメントと監査制度の展開、(14~15)リスク・マネジメントとチャンスの記載：リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

会計学基礎（総論）および簿記論を履修済みであることが好ましい。  
中間レポート（30%）および後期末の試験（70%）により評価する。  
石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』（森山書店）  
必要に応じて紹介する。

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	古沢 紘造

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易（4～5回）
  2. 水産物と貿易（1～2回）
  3. 林産物と貿易（1～2回）
  4. 鉱物資源と貿易（1～2回）
  5. エネルギーと貿易（1～2回）
  6. 工業製品と貿易（4～5回）
- 社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 自由貿易とその問題点（3～4回）
  2. 開発援助と貿易（1～2回）
  3. 軍事と貿易（1～2回）
  4. 環境と貿易（1～2回）
  5. WTOと貿易（2～3回）
  6. グローバリゼーションと貿易（3～4回）
  7. 持続可能な発展と貿易（1～2回）

成績評価の方法

本試験を基本とするが、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期のまとめ）などを総合して評価を行う。答案やまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。



履修コード	126601
科目名	国際政治学
担当者名	小堀 訓男

講義のねらい 国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール 前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。

後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。

授業スケジュールは、(1～5)政治学の基礎的知識の整理、(6～8)国家、権力、民族、階級、(9～11)近代国家の特質、(12～15)国際社会の特質、(16～17)国際政治と国内政治、(18～22)国際政治の本質、(23～26)国家の行動基準、(27～30)冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。

履修上の留意点 授業中に読むべき本を紹介するので本を読むことと、TV・新聞・雑誌の報道に日頃から留意すること。

成績評価の方法 1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書 使用しません  
参考書等 必要に応じて講義のなかで紹介します。

他  
履  
修  
科  
目  
部

履修コード	126701
科目名	ヨーロッパ政治史
担当者名	土井 美德

講義のねらい 近・現代ヨーロッパの政治史・国際関係史を概説する。今日の欧州統合という展開をふまえながら、ヨーロッパが近代において提示したものの、さらに20世紀末以降に、ヨーロッパが提起しているものとは何かを考察する。

- 講義の内容・授業スケジュール
- I 近代ヨーロッパの成立と展開
- ①西欧国家体系の誕生と展開
  - ②絶対主義国家の台頭と覇権闘争
  - ③国民国家の誕生
  - ④18世紀のヨーロッパの国際社会
  - ⑤19世紀ヨーロッパ協調とナショナリズム
  - ⑥自由主義社会の変容
  - ⑦両大戦間期のヨーロッパ
- II 現代ヨーロッパの形成と変容
- ①戦後ヨーロッパの形成
  - ②冷戦体制とヨーロッパ分断
  - ③ヨーロッパ統合の理想と現実
  - ④米欧関係の新展開
  - ⑤世界経済の多極化とヨーロッパ統合
  - ⑥米ソのデタントとヨーロッパのデタント
  - ⑦米ソ「新冷戦」とレーガンの対ソ政策
  - ⑧ソ連・東欧ブロック崩壊の始まり
  - ⑨冷戦の終焉とヨーロッパ新秩序の胎動
  - ⑩統一ドイツと欧州統合
  - ⑪ポスト冷戦期のヨーロッパの安全保障
  - ⑫EU条約とヨーロッパ統合の新展開
  - ⑬ヨーロッパ統合の東方拡大

成績評価の方法 ・定期試験の結果を中心に、出席状況を加味して総合的に判断する。

履修コード	128201
科目名	比較政治学
担当者名	三竹 直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

この文章は2007年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2007年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2008年度も2007年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。下記に2007年度のスケジュールを掲載してありますので、参考にしてください。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

前期

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 民主化を考える：ビルマ1
- 第3回 民主化を考える：ビルマ2
- 第4回 民主化を考える：ウクライナ1
- 第5回 民主化を考える：ウクライナ2と民主化支援
- 第6回 民主化を考える：サウジアラビア
- 第7回 民族対立を考える：ルワンダ
- 第8回 民族対立を考える：クルディスタン
- 第9回 移民政策を考える：アメリカとヨーロッパ
- 第10回 移民政策を考える：日本(1)
- 第11回 移民政策を考える：日本(2)
- 第12回 移民政策を考える：日本(3)
- 第13回 前期のまとめ

後期

- 第14回 先住民族政策を考える(1)：ハワイ
- 第15回 先住民族政策を考える(2)：アイヌ民族
- 第16回 先住民族政策を考える(3)：オーストラリアのアボリジニー
- 第17回 先住民族政策を考える(4)：グループ作業討論と全体討論
- 第18回 日本の難民政策を考える
- 第19・20回 『創造の方法学』
- 第21回 「比較政治学の方法論」：事例選択のバイアス
- 第22回 質的比較分析：ブル代数の練習
- 第23回 質的比較分析：西欧の民族言語運動
- 第24回 ブール代数による仮説の検証の練習
- 第25回 ブール代数による仮説の検証の練習(続き)
- 第26回 質的比較分析の実際

履修上の留意点

YeStudy の利用を前提とします。

ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。教室には必ず課題を読んでおくことが条件です。毎週こつこつやると興味深く感じるが増えていきます。

また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞(特に国際面)をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。

欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。(病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。)

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。

その都度紹介します。

この文章は2007年12月時点に書いています。変更もあり得ます。

他学部  
履修科目

履修コード	133801
科目名	現代国家論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

**講義のねらい** 本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造（前期）であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題（後期）をとりあげます。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 I 前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験  
 II 後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験

**成績評価の方法** 授業内における中間試験（50％）と期末試験（50％）により評価します。

**教科書** 大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3200円  
 大塚桂『政治文化論入門（仮題）』（勁草書房）未定 ※2008年夏に刊行予定

**参考書等** 上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

**その他** 私の研究室は、第二研究館八階（2835）です。電話は、3418-9377（直）です。

履修コード	140001
科目名	経営労務論
担当者名	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃

**講義のねらい** 現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義は1コマ1テーマの原則。各回毎に「日本は終身雇用なのか？」といったテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。スケジュールは大まかに次の予定。(1) ガイダンス、(2)～(4) 経営労務論と日本的経営論、(5)～(10) 正規、非正規の雇用管理、出向・転籍・早期退職など、(11)～(16) 賃金論入門、年功賃金の歴史、職能資格制度、人事考課、昇進・昇格など、(17)～(22) 労使関係の歴史、構造、労働組合など、(23)～(29) 各論（労働時間、福利厚生、賃金格差問題、教育訓練など）とまとめ、質問受付、(30) 試験。

**履修上の留意点** 詳細は最初の講義で説明。(1) 出席点は無し。(2) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるので厳禁。(3) 携帯電話は消音。ひどいときには退室させ、単位認定をしない。

**成績評価の方法** 評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数によって変更の場合もあり。

**教科書** 特になし。

**参考書等** 津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。他にも適宜講義中に紹介していく。

**その他** 図表やグラフを多用し、ただノートを取るだけでなく「頭をつかう」ようにする。WEBページでも授業に関する情報を提供。URL参照。http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/

履修コード	141301
科目名	経営分析論
担当者名	片桐 伸夫

講義のねらい 経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容もっています。

- 皆さんが将来を託そうとする会社は、
- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 経営分析について、(2-6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12) 収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、(13-15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、

後期レポート40%、後期小テスト10%、

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書  
参考書等

開講時、指示します。

随時、紹介します。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

履修コード	141901
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己

講義のねらい 今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。  
(1~2) 税務会計の制度的基礎、(3~5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6~8) 事業年度、同族会社、(9~12) 課税所得計算の基礎、(13~16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17~21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22~24) 税額の計算、申告、納付等、(25~28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29~30) 国際課税、不服申立・訴訟等

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。

教科書  
参考書等

開講時に指示する。

開講時に指示する。

履修コード	139501
科目名	経営学史
担当者名	なかがわ じゅんぺい 中川 淳平

**講義のねらい** この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法（制度学派など、1-7）
2. リストラクチャリングへの問題解決技法（経営戦略論など、8-15）
3. イノベーションへの問題解決技法（生産管理論など、16-21）
4. コミュニケーションへの問題解決技法（人間関係論など、21-23）
5. セクショナリズムへの問題解決技法（経営組織論など、24-30）

**履修上の留意点** 講義中の私語は慎んで下さい。

**成績評価の方法** 定期試験100%。但し講義中などで必要に応じレポートの提出を求めることがあり、内容いかんによってこれを評定に加えることがある。

**教科書** 中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。

**参考書等** 授業毎に配布するプリントに適宜指示する。

履修コード	139601
科目名	経営史
担当者名	まえだ かずとし 前田 和利

**講義のねらい** 経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

**講義の内容・授業スケジュール**

- I. 経営史の学び方（1回）
- II. 経営史研究の課題と方法（4回）  
伝統的経営史、企業者史、組織総合理論
- III. 企業経営発達史
  1. 企業経営の生成（4回）  
商人資本の経営、マニファクチュア経営
  2. 企業経営の確立（3回）  
産業革命、工場制度
  3. 確立期企業経営の諸様相（5回）  
企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
  4. 企業経営の発展（7回）  
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
  5. 企業経営の変容（4回）  
大企業体制の動揺と新動向（経営戦略と経営組織の変遷）

**履修上の留意点** 教科書は使用しないので、授業開始時に配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に4～5回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

**成績評価の方法** 学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。

**教科書** 使用しない。

**参考書等** 榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）。その他随時紹介する。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

履修コード	141701
科目名	国際経済論
担当者名	永田 智則 <small>ながた ともりのり</small>

**講義のねらい** 本講義の目的は、現実には生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定でいます。

分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずです。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) 国際経済学の異議、(2～7) 国際分業論、(8～12) 貿易政策、(13～15) 経済成長と貿易、(16～22) 国際マクロ経済学、(23～25) 外国為替と国際収支、(26～30) 資本の国際移動

**履修上の留意点** 現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。

**成績評価の方法** 原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。定期試験だけを受けて、要領よく単位をとりたいと考えている人は、受講を遠慮して下さい。

**教科書** 下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。

**参考書等** 仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円＋税、ISBN4-8115-6491-X  
随時必要に応じて紹介します。

履修コード	142351
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	石名坂 邦昭 <small>いしなざか くにあき</small>

**講義のねらい** 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

**講義の内容・授業スケジュール** リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。

①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30

**履修上の留意点** ノートをしっかりととること

**成績評価の方法** 定期試験の成績と平常点

**教科書** 特になし

**参考書等** リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房

**その他の** 授業にまじめに出席すること

他学部  
履修科目

履修コード	143231
科目名	消費者行動論
担当者名	菅野 佐織 <small>かんの さおり</small>

講義のねらい

この授業では、人の消費場面における心理的作用と、それらと企業のマーケティング活動の相互作用について考え、理解することを目的としています。今日の企業のマーケティング活動においては、消費者のインサイトを掴むことが欠かせません。この授業では、身近な事例や企業ケースを用いて、消費者の心理を学ぶだけでなく、企業のマーケティング活動と消費者行動分析のリンクについて考えていきたいと思ひます。また、企業の方をお招きしての講義も予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業計画の説明とイントロダクション
2. 消費者行動とは
- 3～5. 消費者行動研究の歴史
- 6～10. 消費者の購買意思決定過程
- 11～12. 消費者行動の影響要因
- 13～14. 消費者行動のケース分析
15. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
16. 前期授業の復習
- 17～20. 消費者行動分析の手法
- 21～28. 企業のマーケティング戦略と消費者行動のリンク（価格、ブランド、広告プロモーション、インターネット、デザインと消費者心理）
29. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
30. 講義のまとめ

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

授業中に学生の皆さんに意見を求めるので積極的に参加してください。  
出席点（数回）、レポート（数回）、定期試験によって評価します。

参考書等

授業時に資料を配布します。理解を深めるために下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。  
杉本徹雄編『消費者理解のための心理学』1997年（福村出版）2730円  
清水聡『新しい消費者行動』1999年（千倉書房）3360円

履修科目

履修コード	143241
科目名	マーケティング・コミュニケーション論
担当者名	中野 香織 <small>なかの かおり</small>

講義のねらい

近年は、マーケティングそのものがマーケティング・コミュニケーション（MC）だと認識され始めてきた。その背景には、マス広告が効かなくなってきたことに加え、様々な手段によって消費者との関係性を構築する必要がうまれてきたことなどがある。このような背景のもと、日常生活で接するもの全てをコミュニケーションのためのメディアと捉える統合マーケティング・コミュニケーション（IMC）が、今後重要になってくるだろう。そこで本講義ではIMCを包括的に理解してもらうことを目的とし、理論的な説明に加えて事例紹介やゲスト（実務担当者）による講義等、実践的な説明も行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は3段階に分けて行う。初めにマーケティング・コミュニケーション（MC）の全体構造を説明する。次にMCを構成する具体的な戦略を説明し、最後に各MC戦略がどのように統合されるのかを説明する。（1～5）マーケティング・コミュニケーション（MC）の全体構造、（6～9）広告戦略、（10～12）販売促進戦略、（13）ゲストスピーカー、（14）商品コミュニケーション戦略、（15～17）店頭MC戦略、（18～19）PR戦略、（20～21）パーソナル・コミュニケーション戦略、（22～23）ダイレクトマーケティング戦略、（24～25）インタラクティブマーケティング戦略、（26～27）IMC戦略、（28～30）ケース研究とまとめ

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

平常点10%、中間試験40%、学期末試験50%で評価する。  
教科書は使わず、レジメを配布する。  
亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊（日本経済新聞社）1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊（電通）2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊（有斐閣）2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊（電通）2,200円

履修コード	143251
科目名	マーケティング・チャネル論
担当者名	青木 <sup>あおき</sup> 茂樹 <sup>しげき</sup>

講義のねらい

我々が手にしている商品、とくにブランドとして認知されている商品は、ある一企業の戦略目的に基づき、他の流通パートナーをコントロールしながら成果を挙げていくために形成されたマーケティング・チャネルを経由してきている。

従来はメーカーがチャネル・リーダーとなって、これらが形成され、卸売業、小売業がこれによりコントロールされてきた。近年は従来、被支配的な立場とされてきた卸売業や小売業が、主体的にチャネル・リーダーとなって、自社のブランドを強めていく例も増えてきた。また新しいツールとしてインターネットにおいて、チャネル構築を試みる中小企業や農林水産業者も出てきている。

本稿では、これまでの中心であったメーカーの国内マーケティング・チャネル戦略から、情報化・国際化の中で形成されていく新たなマーケティング・チャネルまでを考察していく。将来、マーケティングや営業を志向する学生にとっては必須の科目となろう。

講義の内容・  
授業スケジュール

1) メーカーによる垂直的マーケティング・チャネル, 2) マーケティング・チャネル構築・管理の諸理論, 3) プライベート・ブランドに見られるマーケティング・チャネル戦略, 4) 国際マーケティングにおけるマーケティング・チャネル戦略, 5) 農林水産物におけるマーケティング戦略とチャネル管理, 6) インターネットにおけるマーケティング・チャネル管理, 7) 生産財マーケティングにおけるマーケティング・チャネル管理

履修上の留意点

流通システム論を既習していることが望ましい。講義形式ではあるが、机上に名札を置くなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポートの評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書  
参考書等

和田充夫、日本マーケティング協会編(2005)『マーケティング用語辞典』日本経済新聞社。  
日経MJ編(2007)『流通経済の手引<2008年版>』日本経済新聞社。  
Erin Anderson, Louis W. Stern, Adel I. El-Ansary, Anne T. Coughlan(2001) *Marketing Channels*, The Prentice Hall, 978-0130127723。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目



履修コード	432001
科目名	情報メディア産業論I
担当者名	福家 秀紀

- 講義のねらい** インターネットをはじめとした様々なネットワークの特性を理解するとともに、ブロードバンド・インターネットの急速な普及により大きく変化している、日本の情報メディア産業の現状と課題を理解することを目的とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1) 情報メディア産業とは、(2)～(3) 情報メディア産業を理解するためのキーワード、(4) 電気通信、(5) 放送、(6) 携帯電話、(7)～(8) インターネット、(9) 新聞、(10) 出版、(11) 広告、(12) 映像コンテンツ、(13) 音楽、(14)～(15) まとめ
- 履修上の留意点** 情報メディア産業の変化のスピードは極めて速いので、日頃から新聞、雑誌などの情報メディア関連の記事を読む習慣を身につけておいて下さい。また、レジュメは事前に授業支援システムに掲載しますので、予習をしてから受講してください。
- 成績評価の方法** 授業中に実施する小テスト、レポート、定期試験、および出席状況を総合的に評価します。
- 教科書** 特に指定しません。
- 参考書等** ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4  
 ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7  
 ・梅田望夫、『ウェブ進化論 本当の進化はこれから始まる』、筑摩書房、740円、4-480-06285-8  
 ・その他講義の中で適宜紹介します。
- その他** レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用します。

履修科目

履修コード	432401
科目名	比較メディア制度論
担当者名	西岡 洋子

- 講義のねらい** 放送の世界的な競争の歴史を理解するとともに、日本、米国、EU主要国、韓国などの放送制度とその変化の方向性について、特徴および制度形成の背景を理解する。また、適宜、日本との比較を行うことで、各国の制度が互いに影響し合っていることを理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1) 本講義のアプローチ  
 (2) 世界の放送の歴史  
 (3) 日本の放送制度  
     放送制度の概要と意義  
     通信と放送の融合に対応した制度改革  
 (4) 米国の放送制度  
 (5) EU主要国の放送制度  
 (6) 韓国の放送制度  
 (7) まとめ
- 履修上の留意点** メディア政策論または同様の講義を受講していることが望ましい。
- 成績評価の方法** テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。
- 教科書** 講義中に指示する。
- 参考書等** 講義中に指示する。

履修コード	432501
科目名	都市とメディア
担当者名	高 媛

講義のねらい

都市は、種々のメディアが実践する場であると同時に、メディアによって紡ぎ出されたイメージ群から構成される空間でもある。本講義は、都市とメディアに関する基本的な理論を提示した上で、映画、CM、ドラマ、流行歌などに登場する多様な都市像を具体的に検討しながら、都市とメディアとの関係性を読み解いていく。

講義の内容・  
授業スケジュール  
履修上の留意点

東京タワー、ディズニーランド、チャイナタウン、ファッションビルなどの事例を手がかりに、都市とメディアの関係を国家、権力、ジェンダーのさまざまな角度から読み解いていく。

講義中に取り上げたトピックについて、討論やグループ発表を行うことがあるので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、毎回講義の最後に提出してもらったコメントの内容、レポートによって総合的に評価する。出席重視（7割以上の出席率がC評価のための前提条件とする）

教科書  
参考書等

特に指定しない  
・吉見俊哉『都市のドラマトゥルギー——東京・盛り場の社会史』（弘文堂、1987年）、2,300円、ISBN：4335550294

・町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』（有斐閣、2000年）、2,300円、ISBN：4641121036

その他

講義形式

履修コード	432601
科目名	グローバルアート政策論
担当者名	川崎 賢一

講義のねらい

現代文化システムの特徴・機能・可能性、について、文化政策（cultural policies）特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・  
授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

〈スケジュール〉

1. イントロダクション
2. 文化政策とは何か？その期限と展開の概略
3. ファインアートカルチャーとポピュラーカルチャー
4. 文化階層と文化政策
5. 文化政策の3タイプ：アメリカ型
6. 文化政策の3タイプ：アジア型（シンガポールと中国（その1））
7. 文化政策の3タイプ：アジア型（シンガポールと中国（その2））
8. 文化政策の3タイプ：中間型（イギリス）
9. 文化政策の3タイプ：（中間型（フランスとイタリア））
10. 文化政策の3タイプ：中間型（他のヨーロッパ諸国）
11. 文化政策の3タイプ：中間型（日本）
12. 文化政策と国際文化交流
13. 文化政策と文化産業のシナジー
14. 文化政策の限界と可能性
15. まとめ

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。

学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。授業の中で指示する。

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年

佐々木・川崎・河島（共編）、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2007年

他  
修  
科  
目  
部

履修コード	432701
科目名	グローバル創造都市論
担当者名	川崎 賢一

講義のねらい

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市（Creative Cities）ないし創造産業（Creative Industries）である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例（ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など）を例にとって、紹介・説明する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

〈授業スケジュール〉

1. イントロダクション：予備的考察とキー概念
2. 何のためのグローバル創造都市か？なぜ、グローバル創造都市が生まれたのか？：グローバリゼーションとグローバルシティ、創造都市
3. 誰がグローバル創造都市を造るのか？：文化階層と文化資本
4. ロンドン
5. ニューヨーク
6. 東京
7. シンガポールと東南アジアの主要都市
8. 中国都市圏
9. 東京と京都
10. 日本のグローバル創造都市：金沢・横浜・大阪
11. ローカルとネイティブ
12. トランスナショナルの重要性：EUとASEAN
13. 新しいコスモポリタニズムと中間層
14. グローバル創造都市の限界と可能性
15. グローバル創造都市論：まとめ

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書等  
参考書等

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。  
学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。  
授業の中で指示する。  
川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年  
佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年  
J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

他  
履修  
科目  
目

履修コード	434301
科目名	情報保護と社会
担当者名	苗村 憲司 <small>なえむら けんじ</small>

**講義のねらい** 社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- ①情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- ②知的財産権の保護に関する政策と技術（1. 知的財産戦略）
- ③知的財産権の保護に関する政策と技術（2. 著作権制度）
- ④知的財産権の保護に関する政策と技術（3. 著作権保護技術）
- ⑤知的財産権の保護に関する政策と技術（4. 産業財産権の保護と課題）
- ⑥知的財産権の保護に関する政策と技術（5. 営業秘密の保護と課題）
- ⑦情報セキュリティに関する政策と技術（1. 個人情報保護政策）
- ⑧情報セキュリティに関する政策と技術（2. 情報セキュリティ政策）
- ⑨情報セキュリティに関する政策と技術（3. 情報セキュリティ・マネジメント）
- ⑩情報セキュリティに関する政策と技術（4. 暗号技術）
- ⑪情報セキュリティに関する政策と技術（5. 情報セキュリティ技術の高度化と応用）
- ⑫グローバル環境における情報保護の課題（1. 国際機関の果たす役割）
- ⑬グローバル環境における情報保護の課題（2. 有害情報からの児童の保護）
- ⑭グローバル環境における情報保護の課題（3. 情報保護の新たな展望）
- ⑮まとめ

**成績評価の方法**

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績（合計30点）
  2. 期末試験の成績（70点）

**教科書  
参考書等**

ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/naemura/ps/> 上に電子教材を提供する。  
 電子教材の中で参考書を紹介する。

他学部  
履修科目

履修コード	435001
科目名	映像コンテンツ論
担当者名	手塚 義治 <small>てづか よしはる</small>

**講義のねらい** 資本による文化の疎外を批判する進歩的言説— Culture Industry（文化産業、アドルノ／ホーケイマー、2007）—が、いかに経済の情報化／グローバル化にともない、市場メカニズムそのものを“創造的”とみなし文化の資本化を奨励する“Creative Industry（創造産業）”的言説へと変節していったかを、日本の映画産業史を例にとり説明します。現在の文化産業の状況を批判的に検証する教養を身につけることを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール**

アドルノ／ホーケイマーの文化産業論、ウォルター・ベンヤミンの複製芸術論等、メディア&カルチュラル・スタディーズにおける基本文献を紹介し、戦後から前世紀末までの日本映画産業史を情報化／グローバル化の文脈から分析します。

**履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書**

現代思想に興味があり、社会科学の基礎を履修していることが望ましい。  
 授業中の発言、レポート、口頭試問によって総合的に評価する。

**参考書等**

教科書としての指定はしないが、この講義は Du Gay, Paul (ed.) (1997) Production of Culture/Culture of Production, London: Sage Publications. を下敷きにしていく。  
 アドルノ／ホルクハイマー著、啓蒙の弁証法—哲学的断想（2007）、岩波文庫 青 692-1  
 グレアム・ターナー著、金智子他訳、カルチュラル・スタディーズ入門—理論と英国での発展（1999）、作品社  
 ポール・ドゥ・ゲイ他著、暮沢剛巳翻訳、実践カルチュラル・スタディーズ—ソニー・ウォークマンの戦略（2000）、大修館書店

履修コード	437101
科目名	メディアと知識論
担当者名	齋藤 信男 <small>さいとう のぶお</small>

**講義のねらい**      メディアは人間の知識の表現と言えるが、その作成、操作、管理などをより効率的、効果的に行う事を支援する知的な処理の基本的な考え方をまず理解する。知識処理の具体例としてセマンティックWEBを取り上げ、メタデータを利用したインテリジェントなWEBの操作を体験する。更に、メタデータの作成、その操作、基本的な辞書構築、自然言語処理機能の利用など知識表現やその処理に関連する課題について理解し考えていく。メタデータが、高度なコミュニケーション環境や社会システムの表現に寄与し、今後のWEB利用における種々のイノベーションに発展していく可能性を探る。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 以下の具体的な項目を学んでいく。
- 第一回～第四回    知識表現、知識獲得、知識管理など従来の手法の概括とその課題を考える。
  - 第五回～第九回    セマンティックWEBについて、その基本的機能、構造を学ぶ。メタデータ記述言語RDF (Resource Description Framework)、オントロジーとその記述言語OWL、RDFに対する検索言語SPARCLについて、その概要を学び、具体的な演習を行う。
  - 第十回～第十二回    セマンティックWEBの応用例をいくつか取り上げ、その効果、メタデータによる種々のWEBの統合化、RSSへの適用などを学ぶ。
  - 第十三回～第十五回    メタデータと自然言語処理の関係、知識管理の諸問題、将来に実現すると思われる知識社会への展望などを学び、講義全体のまとめとする。

**履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書等  
その他の**

実際のシステムをなるべく体験できるような演習を行う。  
いくつかの課題レポート、総合課題、および出席の総合評価により判定する。  
特に指定しない。  
講義の内容に応じて、その都度紹介する。  
WEBシステムについて、その基礎的理解をしておくことが望ましい。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

## IV 「日本語」・「日本事情」科目

履修コード	230511
科目名	日本語入門Ⅰa
担当者名	<small>うたしろ おいこ</small> 歌代 礼子

講義のねらい	日本語入門Ⅰaは、初めて日本語を学習する人から、日本語学習歴が150時間未満までの学習者を対象とし、日本語の基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	自己紹介（第1週）、学校生活について（第2週）、日常生活について（第3、4週）、友人を誘う（第5週）、自分の国と日本について（第6週）、過去の経験について話す（第7週）、買い物（第8週）、パーティー（第9、10週）、将来について話す（第11週）、旅行（第12週）、比較（第13週）、病院（第14週）、期末試験（第15週） *これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
履修上の留意点	日本語入門Ⅰaは、非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、もしくはほとんどない学生を対象としているため、日本語の学習経験を持っている学生、および漢字圏の学生は受講できない。 また、日本語入門Ⅱaと連続して講義を行うため、日本語入門Ⅰaと日本語入門Ⅱaは同時に受講するのが望ましい。
成績評価の方法	学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。
教科書	「はじめよう日本語初級① メインテキスト」スリーエーネットワーク（予定） 「はじめよう日本語初級① ドリルと文法」スリーエーネットワーク（予定）
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	230521
科目名	日本語入門Ⅰb
担当者名	<small>うたしろ おいこ</small> 歌代 礼子

講義のねらい	日本語入門Ⅰbは、日本語入門Ⅰaの続きとして講義を行う。日本語学習歴が150時間程度の学習者を対象とし、日本語の基本的な文法、語彙、および漢字の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	目上の人と話す（第1、2週）、面接を受ける（第3週）、食事について（第4週）、休日（第5週）、自分の国と日本の習慣（第6週）、引越し（第7、8週）、約束をする（第9週）、日本での生活（第10週）、困った出来事（第11、12週）、教育（第13、14週）、期末試験（第15週） *これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
履修上の留意点	日本語入門Ⅰbは、日本語入門ⅠaとⅡaを受講した学生を前提とするが、日本語入門Ⅰa、Ⅱaを受講しなかった学生でも、日本語のレベルが適当であれば（日本語学習歴150時間程度）、受講を認める。なお、非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 また、日本語入門Ⅱbと連続して講義を行うため、日本語入門Ⅰbと日本語入門Ⅱbは同時に受講することが望ましい。
成績評価の方法	学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。
教科書	「はじめよう日本語初級② メインテキスト」スリーエーネットワーク（予定） 「はじめよう日本語初級② ドリルと文法」スリーエーネットワーク（予定） 「BASIC KANJI BOOK Vol.1」凡人社（予定）
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	230531
科目名	日本語入門Ⅱa
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい	日本語入門Ⅱaは、初めて日本語を学習する人から、日本語学習歴が150時間未満までの学習者を対象とし、日本語入門Ⅰaで学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能の修得を目指す。特に「話す、聞く」に重点を置くが、会話では学生が日常生活の中で遭遇する場面を想定し、そこで日本語での会話が可能なことを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	自己紹介(第1週)、学校生活について(第2週)、日常生活について(第3、4週)、友人を誘う(第5週)、自分の国と日本について(第6週)、過去の経験について話す(第7週)、買い物(第8週)、パーティー(第9、10週)、将来について話す(第11週)、旅行(第12週)、比較(第13週)、病院(第14週)、期末試験(第15週) *これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
履修上の留意点	日本語入門Ⅱaは、非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、もしくはほとんどない学生を対象としているため、日本語の学習経験を持っている学生、および漢字圏の学生は受講できない。 また、日本語入門Ⅰaと連続して講義を行うため、日本語入門Ⅰaと日本語入門Ⅱaは同時に受講するのが望ましい。
成績評価の方法	学期末試験(40%)と平常点(30%)、および出席状況(30%)から評価する。
教科書	「はじめよう日本語初級① メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定) 「はじめよう日本語初級① ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定)
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	230541
科目名	日本語入門Ⅱb
担当者名	歌代 礼子

講義のねらい	日本語入門Ⅱbは、日本語入門Ⅱaの続きとして講義を行う。日本語学習歴が150時間程度の学習者を対象とし、日本語の基本的な「話す、聞く、書く、読む」の4技能の習得を目指す。日本語入門Ⅱbでは「読む、書く」にも力を入れて講義を進める。
講義の内容・授業スケジュール	目上の人と話す(第1、2週)、面接を受ける(第3週)、食事について(第4週)、休日(第5週)、自分の国と日本の習慣(第6週)、引越し(第7、8週)、約束をする(第9週)、日本での生活(第10週)、困った出来事(第11、12週)、教育(第13、14週)、期末試験(第15週) *これは、現時点での予定であり、受講する学生の日本語のレベル・ニーズなどを見て、変更する可能性がある。その場合、講義が開始してから、講義の内容・授業スケジュールを改めてプリントにて学生に配布する。
履修上の留意点	日本語入門Ⅱbは、日本語入門ⅠaとⅡaを受講した学生を前提とするが、日本語入門Ⅰa、Ⅱaを受講しなかった学生でも、日本語のレベルが適当であれば(日本語学習歴150時間程度)、受講を認める。なお、非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。 また、日本語入門Ⅰbと連続して講義を行うため、日本語入門Ⅰbと日本語入門Ⅱbは同時に受講することが望ましい。
成績評価の方法	学期末試験(40%)と平常点(30%)、および出席状況(30%)から評価する。
教科書	「はじめよう日本語初級② メインテキスト」スリーエーネットワーク(予定) 「はじめよう日本語初級② ドリルと文法」スリーエーネットワーク(予定) 「BASIC KANJI BOOK Vol.1」凡人社(予定)
参考書等	各自辞書を持参してください。

履修コード	230611
科目名	日本語Ⅰa
担当者名	佐野 典子

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。



履修コード	230621
科目名	日本語Ib
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。  
 講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特徴を探る。  
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。  
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230631
科目名	日本語Ia
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。  
 講義の内容・授業スケジュール 衣③・食④・住②・学生生活④⑤など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。  
 成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。  
 教科書 プリントを配布する。  
 辞書を持ってくること。

履修コード	230641
科目名	日本語Ib
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。  
 講義の内容・授業スケジュール 日本語Iaに続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め・より深く理解できるようにする。  
 成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。  
 教科書 プリントを配布する。  
 辞書を持ってくること。

履修コード	230711
科目名	日本語IIa
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。  
 講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。  
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。  
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230811
科目名	日本語IIb
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。  
 講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。  
 履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。  
 成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230721
科目名	日本語II a
担当者名	多田羅 哲子

**講義のねらい** 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

**講義の内容・授業スケジュール** 紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。  
 テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・読み方等の練習をする。

**履修上の留意点** 授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

**成績評価の方法** 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

**教科書** 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230821
科目名	日本語II b
担当者名	多田羅 哲子

**講義のねらい** 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。  
 話し言葉と書き言葉の違いを知る。

**講義の内容・授業スケジュール** 意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。  
 テープで、自分が話した日本語を聞く。

**履修上の留意点** 授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

**成績評価の方法** 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

**教科書** 必要に応じてプリントを配布する。

「日本語」  
 日本事情

履修コード	230911
科目名	日本語III a
担当者名	多田羅 哲子

**講義のねらい** 聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。  
 まず内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい言葉の使い方を知る。  
 次に話し言葉と書き言葉の違いを知り、レポートを書く練習の第一歩とする。

**講義の内容・授業スケジュール** ビデオでドラマ・映画などを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるようにする。聞き取った内容を文章にまとめる。

**成績評価の方法** 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

**教科書** ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。  
 辞書を持ってくること。

履修コード	231011
科目名	日本語III b
担当者名	多田羅 哲子

**講義のねらい** 聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。  
 ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

**講義の内容・授業スケジュール** ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。  
 聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などを文章にまとめながら、レポートの書き方の練習をする。

**成績評価の方法** 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。  
 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。  
 辞書を持ってくること。

履修コード	230921
科目名	日本語III a
担当者名	湯村 礼子

**講義のねらい** これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

**講義の内容・授業スケジュール** 新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。

**履修上の留意点** 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

**成績評価の方法** 小レポート、小テスト、授業活動50%  
期末試験50%

**教科書** 最初の授業時に指定する。

履修コード	231021
科目名	日本語III b
担当者名	湯村 礼子

**講義のねらい** これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

**講義の内容・授業スケジュール** 新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。

**履修上の留意点** 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

**成績評価の方法** 小レポート、小テスト、授業活動50%  
期末試験50%

**教科書** 最初の授業時に指定する。

「日本語事情」

履修コード	231111
科目名	日本語IV a
担当者名	歌代 礼子

**講義のねらい** 中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、特に「話す、書く」に重点を置く。グループワークを基本に講義を進め、専門の研究にも役立つアカデミックな日本語運用能力の養成を目指す。  
話し言葉・書き言葉の両方を学び、理論的に分かりやすい説明ができるようになることを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール** ・講義内容  
身近な話題から専門的な事柄まで、受講生の興味関心も考慮しながらトピックを設定し、そのトピックに関する意見を文章でまとめ、発表する。意見をまとめる際には、学生同士の活発な意見交換を望む。  
・授業スケジュール（予定）  
オリエンテーション（第1週）、少子化問題（第2、3週）、教育問題（第4、5週）、若者の感性（第6、7週）、仕事への意識（第8、9週）、日本にいる外国人（第10、11週）、電子メールとトラブル（第12、13週）、経済（第14週）、期末試験（第15週）

**履修上の留意点** 日本語入門IV aは、日本語能力試験2級程度の日本語能力を持っている学生を対象としているため、ある程度の日本語力を持った学生が受講することが望ましい。  
なお、日本語能力試験対策は行わない。

**成績評価の方法** 学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。

**教科書** 随時プリントを配布。

**参考書** 各自辞書を持参してください。

履修コード	231211
科目名	日本語IV b
担当者名	歌代 礼子

**講義のねらい** 中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、レポートや論文に必要な論理的な文章の書き方を学ぶことを目指す。「である体」というあらたまった文体を用いて、事柄の説明・論述を論理的な手法で行えるようになることを目標とする。

**講義の内容・授業スケジュール** オリエンテーション、レポートに使われる文体（第1週）、文の基本（第2週）、句読点の打ち方、各種記号の使い方（第3週）、引用の仕方（第4週）、段落（第5週）、仕組みの説明（第6週）、歴史的な経過の説明（第7週）、分類（第8週）、定義（第9週）、要約（第10週）、因果関係（第12週）、論述（第13週）、レポートの作成（第14週）、期末試験（第15週）

**履修上の留意点** 日本語入門IV aは、日本語能力試験2級程度の日本語能力を持っている学生を対象としているため、ある程度の日本語力を持った学生が受講することが望ましい。  
なお、日本語能力試験対策は行わない。

**成績評価の方法** 学期末試験（40%）と平常点（30%）、および出席状況（30%）から評価する。

**教科書** 「留学生のための論理的な文章の書き方」スリーエーネットワーク（予定）

**参考書** 各自辞書を持参してください。

履修コード	231121
科目名	日本語IV a
担当者名	湯村 礼子

**講義のねらい** 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。  
（1～5）文章の基本－文・段落・構成－（6～10）レポートの方法－主題・材料・アウトライン等－（11～15）レポートの形式－表紙・序論・本論・結論・参考文献－

**履修上の留意点** 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

**成績評価の方法** 提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50%  
期末テスト 50%

**教科書** 教科書は授業時に指定する。

「日本語  
事情」

履修コード	231221
科目名	日本語IV b
担当者名	湯村 礼子

**講義のねらい** 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。（1～7）レポートを書く  
（8～15）意見文の書き方、実践

**履修上の留意点** 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

**成績評価の方法** 作文（3～4回） 50%  
提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など） 50%

**教科書** 教科書は授業時に指定する。

履修コード	231311
科目名	日本語V a
担当者名	石川 守 <small>いしかわ まもる</small>

**講義のねらい** しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などを深くやっていきます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人にお勧めします。

**講義の内容・授業スケジュール** 日本語VIは、日本語VIと連携しています。日本語の基礎文法が復習ができるように構成されています。

**履修上の留意点** この日本語V→日本語VIの順に進みます。取り扱う内容は、日本語の基礎的な部分です。したがって、中上級的な表現や語彙をたくさん勉強したい人は他の授業を取ることをお勧めします。

**成績評価の方法** 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

**教科書等その他** 特になし。授業中にプリントを配ります。辞書を持ってきてください。受講態度を重視しています。

履修コード	231411
科目名	日本語V b
担当者名	石川 守 <small>いしかわ まもる</small>

**講義のねらい** 日本語 Va に続けて、日本語のしっかりした基礎を深く追究していきます。

**講義の内容・授業スケジュール** 日本語 Va の続きをやっていきます。

**履修上の留意点** 日本語 Va と同じです。

**成績評価の方法** 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

**教科書等その他** 特になし。授業中にプリントなどを配ります。辞書を持ってきて下さい。受講態度を重視しています。

「日本語  
日本事情」

履修コード	231321
科目名	日本語V a
担当者名	多田羅 哲子 <small>ただら あきこ</small>

**講義のねらい** 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。

**講義の内容・授業スケジュール** レポートを書くための基礎を学ぶ。各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。見出しから内容を推測したりわかる言葉から概要をつかむ練習をし、さらに自分で調べながら細部まで読み、内容について説明したり、意見発表を行う。

**成績評価の方法** それらを文章にまとめる。平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。

**教科書** プリント配布する。辞書を持ってくること。

履修コード	231421
科目名	日本語V b
担当者名	多田羅 哲子 <small>ただら あきこ</small>

**講義のねらい** 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

**講義の内容・授業スケジュール** 各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

**成績評価の方法** 平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。

**教科書** プリントを配布する。辞書を持ってくること。

履修コード	231511
科目名	日本語VI a
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。

講義の内容・授業スケジュール 日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっています。講義内容は日本語V→日本語VIの順番で構成されています。

履修上の留意点 日本語VIは、日本語Vと日本語VIで構成されています。したがって、両方を続けて取ることをお勧めします。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他 授業態度を重視しています。

履修コード	231611
科目名	日本語VI b
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語の VIa の続きを行い、日本語文法の基礎をもう一度深く追究します。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 VIa の残りの部分を行います。

履修上の留意点 この授業は、日本語 VIa の次の部分をやっています。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他 受講態度を重視しています。

「日本語」  
「日本事情」

履修コード	231521
科目名	日本語VI a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。

辞書を持ってくること。

履修コード	231621
科目名	日本語VI b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。

辞書を持ってくること。

履修コード	231701
科目名	日本事情Ⅰ〔地理〕
担当者名	須山 聡

講義のねらい 日本<sup>ニッポン</sup>の諸地域の特徴を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 自然・文化・歴史・都市・農村などのトピックにしたがって講義を進める。

成績評価の方法 出席状況とレポートで評価する。

参考書等 日本の地図を用意することをおすすめする。

履修コード	231801
科目名	日本事情Ⅱ〔自然〕
担当者名	清水 善和

講義のねらい 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約 3,000km の細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。

講義の内容・授業スケジュール 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震；8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回）

成績評価の方法 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。

教科書 講義内容を文章化した「web 版テキスト（日本語版）」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。

参考書等 講義と web 版テキストの中で適宜紹介する。

その他 講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web 版テキスト（English version）」を用意する。

「日本語」  
「日本事情」

履修コード	231901
科目名	日本事情Ⅲ〔歴史〕
担当者名	井上 桂子

講義のねらい 本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 19世紀-鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法 出席回数と課題レポートで評価します。

教科書 必要に応じてプリントを配布します。

参考書等 授業のなかで適宜紹介します。

その他 希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

履修コード	232001
科目名	日本事情IV〔思想〕
担当者名	佐藤 美奈子

**講義のねらい** 明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。この大きな転換期を、当時の思想家達はどのように受け止めたのでしょうか。本授業では、幕末から明治末期にかけて活躍した代表的思想家について学びます。彼らは、自分が生きた時代の中で何を問題だと考えていたのか。その問題をどのように解決しようとしていたのか。こういった問いを明らかにしていくことが本授業の目的です。この作業を行うことにより、学生の皆さんは近代日本（ひいては現代日本）がどのように成立したかを知る手がかりを得ることができるでしょう。なお、授業を理解する上では、常識レベルでの日本史の知識が必須です。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

**講義の内容・授業スケジュール** オリエンテーション（1）、儒教思想（2～3）、福沢諭吉（4～5）、明六社（6～7）、自由民権（8～9）、中江兆民（10～11）、徳富蘇峰（12～13）、社会主義（14～15）。

**履修上の留意点** 毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

**成績評価の方法** 出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

**教科書** 特に指定しません。

**参考書等** 授業時に適宜、紹介します。

**その他** 講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232101
科目名	日本事情V〔社会〕
担当者名	李 妍炎

**講義のねらい** この講義は、日本人の価値観や意識、国民性を中心に取り上げていく。

**講義の内容・授業スケジュール** 前半は、「数字や映像で見る日本と日本人」と題して、各種統計データやテレビの特集番組などを題材に、現代日本人の生き方や意識について探っていく。後半は、日本人の国民性について書かれた文献を題材に、日本人の国民性に関するさまざまな議論について学び、考えていく。具体的には、以下のスケジュールを予定している。ガイダンス(1)、日本人の平均値(2-5)、日本人の価値観の変化(6-7)、日本人が関心を持つ社会問題(8-11)、日本人の国民性(12-15)。

**履修上の留意点** 私語をしない。携帯電話を出さない。

**成績評価の方法** 期末レポートで評価するが、出席に対する要求を満たさなければならない。

**教科書** 特に指定しないが、毎回必要な資料をコピーして渡す。

**参考書等** 鳥羽賢, 2005, 『日本人の平均値』生活情報センター。  
 (株)電通総研, 2005, 『日本人の価値観変化』。  
 大越明彦, 2005, 『日本および日本人』鳥陰社。

**その他** 講義は日本語で行うが、個別の質問は中国語と英語でも受け付ける。

「日本語」  
「日本事情」



履修コード	232201
科目名	日本事情VI〔政治・法律〕
担当者名	三竹 <sup>みたけ</sup> 直哉 <sup>なほや</sup>

講義のねらい 日本政治について知り、みんなで意見交換します。  
 講義の内容・授業スケジュール 下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎日本のマイノリティ
- ◎日本の移民政策

履修上の留意点 日本政治について考える授業ですから、日本政治に関心がなかったり、政治について学ぼうがない学生は履修すべきではありません。  
 授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。

成績評価の方法 平常点と期末テストによります。2007年度までは期末テストを行っていませんでしたが、2008年度は行いますので注意すること。

教科書その他 指定する予定はありません。  
 I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

履修コード	232301
科目名	日本事情VII〔文学〕
担当者名	坂口 <sup>さかぐち</sup> 博規 <sup>ひろき</sup>

講義のねらい 本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、中世の文学とその美意識（3）
- 10、近世の文学とその美意識（1）
- 11、近世の文学とその美意識（2）
- 12、近世の文学とその美意識（3）
- 13、日本文学の特質（1）
- 14、日本文学の特質（2）
- 15、日本文学の特質（3）

履修上の留意点 第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法 レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

教科書等 必要に応じて適宜プリントを配布する。  
 参考書等 授業内で紹介する。

「日本語」  
「日本事情」

履修コード	232401
科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、特定の「日本文化」に注目し、明らかにするという方法を取りません。かわりに、食文化など我々の身近にあるものを例としてとりあげます。そして、その変容の過程を学びながら、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのか、を明らかにしていこうと思います。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

講義の内容・  
授業スケジュール  
履修上の留意点

オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2~4)、中世日本の文化(5~8)、近代日本の文化(9~14)、まとめ(15)。

毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法

出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書  
参考書等  
その他

特に指定しません。  
授業時に適宜、紹介します。  
講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232501
科目名	日本事情IX〔経済〕
担当者名	渡邊 恵一

講義のねらい

外国人留学生を対象に、日本の経済・社会への理解をいっそう深めてもらうことが到達目標である。本講義では日本における資本主義経済システムの定着期である明治期に始まり、二つの世界大戦、戦後の高度経済成長、そして「経済大国」と称されるようになるまでの日本経済の歴史をダイジェスト版でたどることで、この課題に接近していきたい。授業ではVTR、DVDなどの映像資料を積極的に活用し、受講生の理解を助けるつもりでいる。

講義の内容・  
授業スケジュール  
成績評価の方法

(1) 課題と方法、(2) 日本経済の長期的概観、(3)~(5) 明治期の日本経済、(6)~(9) 大正期の日本経済、(10)~(14) 昭和期以降の日本経済、(15) 総括と展望

出席状況(遅刻は出席と見なさない)、「リアクション・ペーパー」提出を通じた授業への理解度、積極的姿勢を平常点として重要視する。期末試験・レポートの実施については、受講者数などをみてから、後日決定したい。

教科書  
参考書等  
その他

使用しない。  
老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会、2002年)、三和良一『概説日本経済史 近現代(第2版)』(東京大学出版会、2002年)  
授業は日本語で行うが、留学生向けの授業であることを考慮し、無理のないペースでの進行を心がけたい。

履修コード	232601
科目名	日本事情X〔経営〕
担当者名	高井 徹雄

**講義のねらい**

本講義は留学生の方々を対象とした講義です。第一の趣旨は、皆さんの日本語コミュニケーション能力を本学で学ぶに十分なレベルに高めていただくことにあります。そのために、教員と受講生間のコミュニケーションを密に相互に協力しながら、今日の日本事情に関する理解を深めて行きます。この国を正しく理解するには、ここに至る歴史を知ることや政治・経済など専門家の意見を聞く必要があります。しかし、それ以前にまず「日本人の心」に触れていただきたいと思ひます。この国で生まれ・学び・働き・暮らしてきた、ごく普通の日本人の人々と本音のコミュニケーションがとれるようになっていただくことを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール**

留学生の方々が、本学における学修を円滑に進めていただくためには、一定の日本語能力のうえに、日本社会と日本人に関するよりベーシックな理解が不可欠です。そこで、講義の前半から中盤部分では、Q&A方式によって皆さんと十分なコミュニケーションをとりながら、皆さんの興味に沿った個別テーマを選んで解説して行くことにします。およそのスケジュールは以下のようになります。

- 第1週：イントロダクション…本講義の趣旨説明
- 第2週：教員・受講者自己紹介。日本に関する興味についてアンケート調査
- 第3～10週：Q&A方式による日本事情個別テーマの解説
- 第11～12週：今日の日本的経営システムについて
- 第13～14週：情報ネットワーク社会の日本的事情
- 第15週：日本語コミュニケーション能力確認テスト

**履修上の留意点**

留学生の皆さんが、今日まで受け継がれてきた日本の文化とその背景にある日本人の心、現代日本の社会・政治・経済など本当のところを知りたいとお望みであれば何なりと質問してください。是非、興味をもって能動的に授業に参加されることを期待いたします。

**成績評価の方法**

毎回出席を取ります。その上で、最終授業時に日本語コミュニケーション能力に関する筆記試験を実施して成績評価を行います。

**教科書  
参考書等**

特にありません。  
個別テーマによって、必要なものがあれば適宜紹介します。

「日本語  
日本事情」

# V 随 意 科 目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

**講義の内容・  
授業スケジュール**

この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

**成績評価の方法  
その他**

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

**講義の内容・  
授業スケジュール**

この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

**成績評価の方法  
その他**

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

**講義の内容・  
授業スケジュール**

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

**成績評価の方法  
その他**

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	233501
科目名	比較思想特講
担当者名	末木 恭彦

講義のねらい	<p>本科目は、宗教的視点の講義と哲学的視点の講義を隔年で開講している。今年度は、哲学的視点の講義である。</p> <p>東洋と西洋の思索を対比較しながら、考えるということ自体への認識を深める。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>比較思想は、近代の西欧に生まれた学問方法である。異なる文化圏の思想を比較対比して、「人が思う」ことの根源へ遡る。ところで、東洋にあっても、西洋の思想と自らの思想を対比して考えることは芽生えていた。その中から西田幾多郎『善の研究』を取り上げ、東洋における比較思想の可能性を探ってみる。</p> <p>(1) (2) 序 (3) ~ (4) 純粹経験 (5) ~ (14) 實在 (15) ~ (25) 善 (26) ~ (30) 宗教</p>
履修上の留意点	<p>テキストと向き合うことを重視する。しっかりとテキストを読み合せ、その上で議論に及ぶようにする。</p>
成績評価の方法	<p>平常点による。必要に応じてレポートを課す。追試は無い。</p>
教科書	<p>西田幾多郎（小坂国継注解）『善の研究』（講談社学術文庫）（注解の無い岩波文庫版でも可）</p>
参考書等	<p>その都度指示する。</p>
その他	<p>受講者の希望によっては、取り挙げるテキストの変更もあり得る。</p>

# 法律学科フレックスB

# I 全 学 共 通 科 目



# 1. 宗 教 教 育 科 目

履修コード	341601
科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>いけだ みらひろ</small> 池田 道浩

講義のねらい	人間と動物の違いの一つに宗教的思考の有無がある。動物は本能的に死を恐れるが、「死後」を恐れることはなく、自分自身を超越した神を求めることもない。宗教は日常から離れたどこか遠い場所にあるのではなく、我々の日々の生活に密接に関わるものなのである。
講義の内容・授業スケジュール	本講義は、仏教とその他の諸宗教の歴史と思想を概説しつつ、現代社会における宗教のあり方を提示するものである。民俗学的な視点や人類学の知識も使用し、今日の社会や文化における宗教的意識の理解を目的とする。 (1～2) 死後の世界：死んだらどうなるのか (3～4) 旧約聖書の世界 (5～7) キリスト教 (8～11) 現代のユダヤ教とキリスト教 (12～13) 死と葬送の宗教民俗 (14) シャーマニズム：脱魂と憑依 (15) お盆とは何か／五山送り火の密教的意味／靖国 (16) 古代エジプトの宗教 (17) イスラム教 (18～19) 中国の宗教 (20～22) インド仏教 (23) チベット仏教 (24～25) 日本の宗教 (26～28) 中国と日本の仏教 (29～30) 現代社会の宗教風景
履修上の留意点	なお、随時、宗教に関する社会的文化的事例を取り上げ、問題点を提示していく。 特定の教科書を使用しないため、欠席が重なると授業の流れが理解できないことになるので注意されたい。なお、欠席の多い者には評価を与えない。
成績評価の方法	出席と簡単な課題の提出、定期試験によって評価を行う。
教科書	特に使用しない。適宜プリントを配布する。
参考書	講義中に随時紹介する。

履修コード	341801
科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>まつもと しろう</small> 松本 史朗

講義のねらい	本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。
講義の内容・授業スケジュール	講義は、内容は、次の通り。(1～2) 仏教以前のインド思想、(3～10) 釈尊と原始仏教、(11～20) 大乘經典の思想、(21～28) チベット・中国・日本の仏教
成績評価の方法	年度末の試験によって、成績を評価する。
教科書	松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 1,400円

履修コード	341901
科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	四津谷 孝道

講義のねらい 受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：仏教が誕生するまで
- 第3回：開祖・仏陀の生涯
- 第4回：仏教の歴史概観
- 第5回：仏教とナショナリズム（1）
- 第6回：仏教とナショナリズム（2）
- 第7回：仏教と神道 / 神仏習合（1）
- 第8回：仏教と神道 / 神仏習合（2）
- 第9回：奈良仏教 / 国家仏教（1）
- 第10回：奈良仏教 / 国家仏教（2）
- 第11回：平安仏教 / 密教
- 第12回：平安仏教 / 最澄
- 第13回：平安仏教 / 空海
- 第14回：平安・鎌倉仏教 / 末法思想とは
- 第15回：鎌倉仏教 / 法然
- 第16回：鎌倉仏教 / 親鸞（1）
- 第17回：鎌倉仏教 / 親鸞（2）
- 第18回：鎌倉仏教 / 禅とは
- 第19回：鎌倉仏教 / 道元（1）
- 第20回：鎌倉仏教 / 道元（2）
- 第21回：鎌倉仏教 / 日蓮（1）
- 第22回：鎌倉仏教 / 日蓮（2）
- 第23回：仏教と科学
- 第24回：仏教と経済
- 第25回：仏教と自然（1）
- 第26回：仏教と自然（2）
- 第27回：仏教と自然（3）
- 第28回：仏教と生命問題
- 第29回：仏教と暴力
- 第30回：仏教と人間

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書等  
参考書等  
その他の

特になし。  
出席点と年度末の試験に基づいて評価する。  
授業において配布する。  
授業において適宜に言及する。  
特になし。

## 2. 教養教育科目

履修コード	342401
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	田中 <sup>たなか</sup> <sup>かのこ</sup> かのこ

**講義のねらい** 人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限りない可能性があるということ、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくし自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義担当者の生活体験をともしなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期（1～15）は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期（16～30）は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。

**履修上の留意点** 板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにはすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

**成績評価の方法** 出席状況、創意工夫や日本語の表現力を評価する課題レポート、学年末試験（追試なし）。

**教科書** 拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2007年、改版（第3刷発行）

**参考書等** 「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

履修コード	342501
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	池田 <sup>いけだ</sup> <sup>だいすけ</sup> 大輔

**講義のねらい** 土佐日記、蜻蛉日記といった平安時代に輩出した日記文学作品を扱います。それらの作品を通して作者たちの心情を感じ取ることを目的とすると同時に、作品の時代背景などを確認しながらそれぞれの日記の世界観、作者たちの置かれていた立場などについても学んでもらいたい。また、作品に見られる風土や儀礼・年中行事などに興味をもってもらいたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1) ガイダンス
  - 2) 平安時代の日記
  - 3) 蜻蛉日記
  - 4) 和泉式部日記
  - 5) 紫式部日記
  - 6) 更級日記
  - 7) 成尋阿闍梨母集
  - 8) 讃岐典侍日記

**履修上の留意点** 現代語訳のものでよいので、事前に作品を読んでおくと、より理解が深まります。学期末には試験（抜見可）を行いますので、ノートはきちんと取り、配布プリントも整理しておいて下さい。出席重視なので、可能な限り休まないで下さい。

**成績評価の方法** 出席状況（60％）と試験（40％）などにより評価します。

**教科書** 毎時間、プリントを配布します。

**参考書等** 宮崎荘平『王朝女流日記文学案内』（朝文社）

石原昭平、津本信博、西沢正史編『女流日記文学講座』第1巻～第4巻（勉誠社）

教養教育

履修コード	342601
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	中西 亮太

**講義のねらい** この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の短歌作品を読み、論じていきます。日ごろ短歌を読み慣れていない人にとって、短歌の内容を読み解くのは、なかなか難しいことです。しかも、短歌は内容を読み解くだけでなく、言葉の音楽性まで味わうべきものです。そこで先ず、受講生が短歌の読み解き方の基本を身に付けられるよう、訓練します。次いで、短歌の響きとリズムの味わい方について話を進めます。そして、その上で、受講生が近代歌人の表現世界に対する関心と理解を深めることを目指します。講義で取り上げる作品を一首紹介しておきます。「白い手紙がとどいて明日は春となるうすいがらすも磨いて待たう」（斎藤史『魚歌』）

**講義の内容・授業スケジュール**

原則として、毎回一人の歌人の作品を読んでいきます。取り上げる歌人は、与謝野晶子、石川啄木、北原白秋、斎藤茂吉、會津八一、前川佐美雄、土屋文明、斎藤史、塚本邦雄、中城ふみ子などです。前期が明治期と大正前半の歌人たち、後期が大正後半と昭和期の歌人たちです。なお、講義をより効果的なものにするために、前後期に一度ずつ、実習として歌会をします。また、ときに現代の専門歌人を教室に招くことも予定しています。

**履修上の留意点**

当然のことですが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

**成績評価の方法  
教科書  
参考書等**

学年末に試験を実施します。

なし。授業中、必要に応じて参考プリントを配布します。

(a) 高野公彦編『現代の短歌』講談社学術文庫、1、450円、ISBN4-06-158974-1。明治から昭和までの代表的な歌人の作品を収録しています。

履修コード	342701
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	伊藤 達氏

**講義のねらい** 本講義では、芭蕉の紀行文『奥の細道』を読む。『奥の細道』を読むことによって、芭蕉の表現の様相、その俳諧観に迫り、この作品への理解を深める。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1) 本講義のガイダンス
- 2～3) 近世期までの俳諧と近代以降の俳句との違いについて
- 4～5) 芭蕉以前の俳諧の様相
- 6～7) 『奥の細道』出立以前の芭蕉の動向
- 8) 『奥の細道』を読む。(『奥の細道』には最古の注釈書である『おくのほそ道鈔』、それに続く『奥の細道菅菰抄』以来、現在に至るまで多くの注釈があるが、それらを適宜参照しながら読み進めていく。なお蕉風俳論や同時代の歌論・詩論・思想についても言及する。)

**履修上の留意点**

指定したテキストを購入し、授業の前には該当箇所を読んでおくこと。欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問点があれば積極的に授業中、時間後に質問して下さい。

**成績評価の方法**

年度末の定期試験を主とする。出席状況・聴講態度も加味する。

**教科書**

萩原恭男校注『芭蕉おくのほそ道ち〜付會良旅日記 奥細道菅菰抄』(岩波文庫)、735円 (ISBN4-00-302062-6)

**参考書等**

授業中に適宜紹介する。プリントで配布する場合もある。

履修コード	342801
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	林 彰

**講義のねらい** 幕末のペリー来航後の通商条約により、世界資本主義体制の一環に組み込まれていく我が国は、明治維新期を経て確立する明治憲法体制・教育勅語体制により、ほぼ近代国民国家の成り立ちが整備される。この体制は、アジア太平洋戦争の敗戦により幕を閉じることになるが、講義では近代を通じて支配する体制側の動向と民衆側の歩みを中心にたどってみたい。そのさい、体制側の思想動向や体制側に抵抗しないしは同調しようとする民衆側の思想動向の把握、国内における衛生や病気などにより「隔離」される民衆の問題、アジア民衆への蔑視・差別の問題にも言及していくつもりでいる。

**講義の内容・授業スケジュール**

最初に、現在の日本に残存する過去の歴史の問題を取り上げ、その要因が日本の近代にあることを検討する。次に、近代史の概説を体制側と民衆の動向をふまえて、敗戦までたどる。次に時間に余裕があれば、個人の人物を取り上げて、近代史のなかで果たした役割をみていきたい。

**成績評価の方法**

前期はレポート提出。後期は定期試験。レポートを提出しない学生には単位はなし。定期試験は、追試験も実施する。

**教科書**

大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史(上)』、大月書店、2002年。1800円+税 ISBN4-272-52068-7C0021

履修コード	342901
科目名	歴史学〔中国史概観〕
担当者名	小林 惣八 <small>こばやし そうはち</small>

**講義のねらい** 中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

**成績評価の方法** 前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。  
詳細は追って指示する。

**教科書その他** 特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。  
出席を重視する。

履修コード	343001
科目名	歴史学〔アジア史概観〕
担当者名	山口 洋 <small>やまぐち ひろし</small>

**講義のねらい** アジア史の事例を通して、歴史学的なものを見方を知る。また日本とアジアとの関係を歴史上に考えることができるようになる。

**講義の内容・授業スケジュール** アジア史の中でも、古くから記録の残された中国史を基軸に、アジアと日本の歴史を考える。具体的には以下のスケジュールで講述する。  
●第1回：ガイダンス  
●【歴史学の基礎】第2回：アジアの風土、第3回：紀年法、第4回-第5回：歴史記録とは何か、第6回-第7回：紙と印刷の歴史  
●【中国史の基礎】第8回：伝説の古代、第9回-第11回：皇帝の登場、第12回-第13回：官僚制と科挙  
●【交通の歴史】第14回：中国人の世界観、第15回-第17回：中国と西域、第18回-第19回：駅伝制、第20回-第22回：遣隋使遣唐使、第23回-第24回：鄭和の遠征

**履修上の留意点** 出席不良者の単位修得は認めない

**成績評価の方法** 数回のレポートと平常点（出席など）、筆記試験の結果を総合して判定する

**教科書** 史料をプリントで配布する

**参考書等** 寺田隆信著『中国の歴史』（中公新書）  
他は、授業内で適宜紹介する

履修コード	343101
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>

**講義のねらい** 西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。  
ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないの、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。  
本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。適宜プリントで補足を行う。  
最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。おおまかな目安としては、前期にタレスからプラトンまで、後期にアリストテレスからペーコンまでを検討することになると思われる。

**履修上の留意点** 教科書を必ず入手しておくこと。

**成績評価の方法** 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

**教科書** 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

**参考書等** 授業中に適宜プリントを配布する予定。  
講義中に適宜指示する。

履修コード	343201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	伊古田 理

講義のねらい	現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「文科系と理科系」について検討する。現代のわれわれにとって、文科系と理科系との区分、およびそれと関連した「科学的思考」とそうでないものとの区別は、すっかり日常的になったが、しかしこれは近代以降の文化的産物なのである。この発想の特性と問題点を探ることが、本年度の課題である。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(3)プラトンと数学の問題 (4)～(6)アリストテレスと「実践知」 (7)～(9)ヨーロッパ中世におけるアリストテレス受容 (10)(11)F. ベーコンと「新しい知」 (12)～(14)デカルトの問題(1) (15)夏期中間試験 (16)～(18)パスカル・ヴィーコ・ヘルダー (19)～(23)カントにおける「知」の問題 (24)ドイツ・ロマン派における「知」 (25)～(27)ニーチェの思想 (28)～(30)歴史学をめぐって
履修上の留意点	本学で開講される「哲学」には内容の異なるいくつかの講義がある。履修に当たっては、講義内容をよく確認すること。
成績評価の方法	夏期中間試験と冬期定期試験の成績の平均点を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。
教科書	久保他編『原典による哲学の歴史』(公論社)

履修コード	343301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	鈴木 隼

講義のねらい	本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。
講義の内容・授業スケジュール	(1)プロローグ・(2・3)現実と幻・(4)確率の解釈・(5・6)記憶と知覚・(7・8)真実の多面性・(9・10)日常的描写と科学的描写・(11・12)論理の本質・(13・14)音と科学的描写と日常的描写・(15・16)知覚と思考・(17・18)他我問題・(19・20)同一性・(21・22)言語と行為・(23・24)本物と像・(25・26)感覚についての諸説・(27・28)時間論・(29・30)「心の中」はないということ。
履修上の留意点	欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習をして講義に出席すること。
成績評価の方法	成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。
教科書	開講時に指定する。

履修コード	343401
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	伊古田 理

講義のねらい	現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで(時間の許すかぎり)こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1)論理とはなにか (2)～(6)三段論法 (7)～(12)命題論理(1)－命題論理の意味論 (13)夏期中間試験 (14)～(19)命題論理の「証明」 (20)～(25)述語論理(1)－述語論理の記号表記 (26)～(30)述語論理(2)－述語論理の「推論」
成績評価の方法	年2回の試験(夏期中間試験+年度末定期試験)を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題(年間通して計3回)を出す。これらによって総合的に評価する。
教科書	野矢茂樹著『論理学』(東京大学出版会)



履修コード	343501
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	麻生 享志

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。

講義の内容・授業スケジュール

(1-7) 概説・文献・古代・ゼノン・歴史・推理小説・日常性 (8-13) 逆接・クイズ・数理・パズル・記号・真理函数 (14-22) 原理・充足理由・矛盾・排中・演繹・背理・推理・偽・逆 (23-30) 後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・まとめ

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料(60%)にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。追試験は本年度は行わない予定。

教科書  
参考書等  
その他

なし。  
多数。講義内にて詳細に説明します。  
講義と問題演習(ないし論述筆記)。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

履修コード	343601
科目名	倫理学〔現代と倫理〕
担当者名	古田 知章

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面で「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上で、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる(各項目ごとに、2~4回の講義を行う。また、Iを前期、II、IIIを後期に扱う)。

- I. 倫理的原理についての検討
  1. 倫理学における問題の所在 一倫理的であること一
  2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
  3. 中世における宗教的倫理観
  4. ルネサンスと宗教改革 一個としての人間一
- II. 倫理的原理についての検討(前期の続き)
 

近・現代における倫理思想 一主体性と自由の問題一
- III. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
  1. 生命の尊厳と人生の質
  2. 人間と環境との関係
  3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書  
参考書等

『原典による哲学の歴史』(公論社)  
講義の際にその都度紹介する。

教養教育

履修コード	343701
科目名	倫理学〔人生と倫理〕
担当者名	<small>すえきやまひこ</small> 末木恭彦

講義のねらい	倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学の基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎を取り上げ、その倫理学を紹介する。彼が「倫理学の意義と方法」を述べたとする『人間の学としての倫理学』をテキストとして、和辻の描く倫理学の見取図を描き出そうと考えている。日本の倫理学の可能性を考えてみたい。
履修上の留意点	(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答
成績評価の方法	ノートをしっかり取る。
教科書	各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。
参考書等	和辻哲郎『人間の学としての倫理学』(岩波文庫)(岩波全書版でも可)
その他	和辻哲郎『倫理学』(一)～(四)(岩波文庫) 湯浅泰雄『和辻哲郎――近代日本哲学の運命』(ちくま学芸文庫) 坂部恵『和辻哲郎――異文化共生の形』(岩波現代文庫) 苅部直『光の領国 和辻哲郎』(創文社)

履修コード	344201
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	阿部 真大

講義のねらい

人の「心」を研究する学問を「心理学」と言う。しかし、人はひとりで生きているわけではない。人の隣には別の人がある。人と人が合わさってできるものを「社会」と呼ぶ。その「社会」を研究する学問を「社会学」と言う。生活するなかで何か問題にぶちあたったとき、その原因を「心」に求める（「自分が悪いんだ」）のもいいけれど、たまには「社会」に求めてみる（「社会が悪いんだ」）のもいいかもしれない。それで気が楽になったり問題解決の道筋が見えたりすることがあるかもしれない。この講義のねらいは「社会学」を通じてみなさんの「生きる力」を養うことです。

講義の内容・授業スケジュール

(1) イントロダクション 社会学とは何か？ (2-6) 「バイク便ライダー」を手がかりに興味と仕事について考える (7-11) 「ユニットケア」を手がかりに高齢者福祉について考える (12-16) 「合コン」を手がかりに恋愛と結婚について考える (16-19) 自分の身の回りの問題について考える (20) まとめ 再び社会学とは何か？

履修上の留意点

日頃から社会のなかにおける自分の位置を把握するよう心がけてください。新聞や雑誌、インターネットなどを見る習慣をつけておいてください。

成績評価の方法  
教科書

学期末試験と授業内に提出を求める課題を基本に評価します。出席状況も考慮します。  
阿部真大『搾取される若者たち バイク便ライダーは見た！』2006年刊（集英社）672円  
阿部真大『働きすぎる若者たち 「自分探し」の果てに』2007年刊（NHK 出版）735円  
北村文・阿部真大『合コンの社会学』2007年刊（光文社）735円

履修コード	344301
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	橋爪 敏

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。前期(1)～(8)社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学(9)～(15)歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。後期は(16)～(20)フランスにおける現代社会学への歩み(21)～(25)ドイツにおける現代社会学への歩み(26)～(30)現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書  
参考書等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)  
高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)  
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)  
その他授業中に適宜指示したい。

履修コード	344401
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	川上 新二

講義のねらい

世界のさまざまな民族や社会を理解するために文化人類学が提出してきた基礎的な事項について紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容について紹介する予定です。  
(前期)文化人類学が提出してきた「文化」への接近方法を紹介しします。(1)文化人類学とは、(2)文化とは、(3～4)進化主義、(5～6)伝播論、文化圏説、(7)歴史主義、(8～9)機能主義、(10～11)文化とパーソナリティ、(12～13)構造主義、(14～15)象徴主義  
(後期)個別のテーマに焦点をあてて、文化人類学による「文化」の見方を紹介しします。(1～3)婚姻、(4～6)家族、親族、(7～8)祖先とのつながり、(9)呪術、(10～11)妖術、(12)邪術、(13～14)憑依、(15)脱魂

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

学期末試験、年3回(前期1回、夏休み、後期1回)のレポート課題、出席状況で評価します。使用しません。  
講義のなかで適宜紹介しします。

履修コード	344501
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	杉井 純一

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か、2. 文化人類学の歩み(1)、3. 文化人類学の歩み(2)、4. 文化とコミュニケーション、5. 環境と人間(1) 狩猟採集民、6. 環境と人間(2) 牧畜民、7. 環境と人間(3) 農耕民、8. ジェンダー、9. セクシュアリティ、10. 婚姻の形態、11. 家族の多様性、12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教、2. アニミズム、3. シャーマニズム、4. シンクレティズム、5. 儀礼の構造、6. コスモロジー、7. 神話、8. 政治組織、9. 民族とエスニシティ、10. 民族紛争と戦争、11. 開発と文化、12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円  
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円  
佐々木宏幹・村武精編『宗教人類学』(新曜社)2,200円  
できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

その他

履修コード	344801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	真下 英二

講義のねらい

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか?政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

春学期:政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

秋学期:より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。

成績評価の方法

また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

加藤秀治郎他『政治学の基礎』(一藝社)2002年  
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』(芦書房)1999年  
他は追って指示する。

履修コード	344901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山村 恒雄 <small>やまむら つねお</small>

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点  
成績評価の方法

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。  
夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書  
参考書等

特定の教科書は使用しない。  
授業中、随時指定。

履修コード	345001
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	沼田 郷 <small>ぬまた さとし</small>

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・授業スケジュール

・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODAとは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業

履修上の留意点

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。  
現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバリゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

成績評価の方法

学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、レポートの作成を求めます(年間で1、2回)。また、出席カードの提出にかえて、講義終了時に書いていただく講義内容についての小レポートも成績に反映させます。

教科書

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考文献、資料等に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

その他

授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

履修コード	345101
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	松本 正行

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。すなわち、社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手として、つねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように、人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、不連続な飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。その意味で、社会科学論は、政治学や経済学、法律学、社会学、宗教学、倫理学など個別社会科学全体を貫く普遍的で総合的な発展法則の解明を課題とするメタ社会科学であるといえる。

グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期にあるが、歴史科学であると同時に未来科学でもある社会科学論こそは、現代社会の変化・生成・発展法則の解明とリスクの回避に究極的な使命を担っている。それゆえ、現代人の歴史的課題とその根本的な解決としての未来社会論を必然的に内包する普遍的な発展法則の理解こそが講義の最終目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、(1～3) アリストテレスの形而上学、(4～6) ヘーゲル論理学、(7～11) マルクス経済学、(12～16) ヴェーバー社会学、(17～19) ドラッカー経営学などの方法に学びつつ、社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブで持続可能なアソシエーション社会への移行を展望する。

このような社会科学的視座の習得を基礎として、さらに、(20～24) これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材を取り入れておくこと。

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書、渡辺憲正『イデオロギー論の再構築』青木書店、など。

毎回、授業の冒頭で前回授業のカードによる学生諸君の質問・意見・要望に応え、授業に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

履修コード	345201
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 康慈

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の基本的な考え方を理解し、諸手法を修得することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1 統計学の概要 2-4 度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7 確率 8 演習Ⅰ 9-10 確率変数と確率分布 11 平均・分散と期待値 12 標準化 13 正規分布表 14 演習Ⅱ 15 まとめ・補足

後期

16 母集団と標本 17 統計量と標本分布 18-19 点推定と区間推定 20-21 仮説検定 22-24 その他の推定・検定 25 演習Ⅲ 26 散布図と相関係数 27-28 回帰分析 29 期末試験 30 まとめ・補足

履修上の留意点

統計学は積み重ねの学習が要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。

① 演習Ⅰ～Ⅲ：45%(各15%) + 期末試験55%

② 期末試験：100%

教科書  
参考書等

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN 4-489-00407-9

前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN 4-534-03036-3

永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN 4-8171-0266-7

東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN 4-13-042065-8

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。

履修コード	345301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	鈴木 順一

**講義のねらい**

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

**講義の内容・授業スケジュール**

**履修上の留意点**

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協同学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ること、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

**成績評価の方法**

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

**教科書**

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

**参考書等**

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）  
すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	345401
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	鈴木 順一

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは? 授業方針 [2]エンカウンター(出会いと人間関係づくり) [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の動き(精神分析的人格理論) [9]環境を知る働き(感覚・知覚・認知)

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協同学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』(福村出版)

その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

教養教育

履修コード	345501
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和

講義のねらい

地球上には170万種以上の生物種が存在する(生物多様性)。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連綿と続いた進化の産物である(進化)。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される(遺伝子)。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1章: 遺伝子と進化(1-3回)、2章: 40億年の生物進化(4-6回)、3章: 系統と分類(7,8回)、4章: 行動と進化(9,10回)、5章: 動物の人口論(11,12回)、6章: 共生と競争(13,14回)、7章: 人類の進化(15-17回)、8章: 進化論(18,19回)、9章: 生態系(20,21回)、10章: 物質の循環(22-24回)、11章: 植生遷移(25,26回)、12章: 生物多様性(27,28回)、13章: 人為と生物(29,30回)

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を文章化した「web版テキスト」(清水執筆)を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。

参考書等

上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。



履修コード	345601
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	<small>なかむら としえ</small> 中村 敏枝

**講義のねらい** 地球上の生物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然の掟に逆らい、自らの歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。

**講義の内容・授業スケジュール**  
 (前期) 生物の生活  
 (1-5) 地球の歴史と生命の起源  
 (6-13) 生態系のしくみ  
 (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とその後  
 (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染  
 (22-23) 水銀汚染と水俣病  
 (24-25) 人工放射性物質汚染

**履修上の留意点** 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

**成績評価の方法** 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

**教科書** 赤塚他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円  
**参考書等** 授業時間内に随時紹介します。  
**その他** 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	345701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	<small>さわぐち たかし</small> 澤口 隆

**講義のねらい** DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス(CG)を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ログマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作

**履修上の留意点** コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

**成績評価の方法** 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

**教科書** 使用しない。適宜資料を配付する。

**参考書等** 同上

**その他** 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	345801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	<small>たにもと りんた</small> 谷本 玲大

講義のねらい	課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。 前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス／履修許可／起動～ログオン～終了／画像処理 2 情報倫理概説／検索エンジンとWWW体験 3 電子メールのマナーと実習／添付ファイル 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習 5～8 Word 9～12 Excel 13～15 予備 ※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。 ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。
履修上の留意点	初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。 教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。 各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。
成績評価の方法	初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。
教科書	小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 (講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034
その他	本学の建学の理念は行学一如である。曹洞禪に於いて、行とは只管打坐にある。学もそれと一つの如く、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。 履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

履修コード	345901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	澤口 隆 <small>さわぐち たかし</small>

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ロゴマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

使用しない。適宜資料を配付する。

同上

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	346001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	谷本 玲大

講義のねらい 課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス／履修許可／起動～ログオン～終了／画像処理
- 2 情報倫理概説／検索エンジンとWWW体験
- 3 電子メールのマナーと実習／添付ファイル
- 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習
- 5～8 Word
- 9～12 Excel
- 13～15 予備

※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するので KOMANet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点 (40%)、課題・レポート (60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』

(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034

その他

本学の建学の理念は行学一如である。曹洞禅に於いて、行とは只管打坐にある。

学もそれと一つの如く、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。

履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

履修コード	346101
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

成績評価の方法

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

教科書

主に期末試験で評価されます。また前・後期に3回ぐらいつつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

参考書等

特に定めなし。適宜プリントを配布。  
『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	346201
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔 <small>かとう きよし</small>

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいつづ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書  
参考書等  
その他

特に定めなし。適宜プリントを配布。  
『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）  
プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	346301
科目名	自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕
担当者名	篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small>

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義する。個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1～10) 宇宙と地球環境：（自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成） (11～15) 地球環境の変動：（宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動） (16～25) 地球環境問題：（オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題） (26～30) 宇宙と地球の未来：（文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI：地球外文明探査）

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、試験の点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書  
参考書等  
その他

木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』（東京教学社）2,300円＋税  
講義の中で適宜紹介します。  
「宇宙」に関する映像を使うことがある。教科書外の事項については適宜プリント等を配布する。

履修コード	346401
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	山縣 毅 <small>やまがた たけし</small>

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

〔地球表層の環境〕  
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)、2. 気候の決定要因 (3～7回)、3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)  
〔人間活動による環境変化〕  
1. 公害問題の変遷 (9回)、2. 地球温暖化とその要因 (10～16回)、3. 大気汚染 (17回)、4. 酸性雨 (18回)、5. 光化学スモッグ (19回)、6. オゾン層の破壊 (20回)、7. 海洋汚染 (21, 22回)、8. 廃棄物問題 (23, 24回)、9. 資源とエネルギー (25～27回)

〔自然災害〕：  
1. 気候変動 (28回)、2. 地震とその災害 (29回)、3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書  
参考書等  
その他

特になし。  
講義中に紹介します。  
講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	346501
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>

講義のねらい	コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に着けることを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書に従って以下の項目を解説する。各節を2～3回かけて授業を行う。 第1章 集合と論理 §1 集合 §2 論理 第2章 関係と写像 §1 関係 §2 写像 第3章 代数系 §1 代数系 §2 半群と群 §3 環と体 第4章 順序集合と束 §1 順序 §2 束とブール代数 第5章 グラフ §1 グラフ §2 平面グラフ §3 有限オートマトン
履修上の留意点	毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の期末試験の結果で評価する。
教科書	石村園子著『やさしく学べる離散数学』共立出版 2,100円(税込) ISBN978-4-320-01846-4
参考書等 その他	適宜紹介する。 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

### 3. 外 国 語 科 目

履修コード	347001
科目名	英語IA
担当者名	吉川 直澄

**講義のねらい** 映画のストーリーを楽しみながら、発信型のアクティビティを重視して、総合的なコミュニケーション能力をバランス良く伸ばす土台を作ることを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期では量よりも性格さを目的として演習を行います。(1) ガイダンス (2~13) Unit1 からUnit12 までの演習 (14) 全体の復習と試験の説明 (15) 前期試験。後期では、プリントを使用し、徐々に量をこなすことへと移行する予定です。(1) ガイダンス (2~13) プリントによる演習 (14) 全体の復習と試験の説明 (15) 後期試験。

**履修上の留意点** 語学は復習が大事です。日ごろから一定量の英語に接して、出会った単語や表現を意欲的に使ってみようという姿勢を持つよう心掛けてください。

**成績評価の方法** 出席、授業参加、授業内提出課題、学期末試験を総合的に検討して評価します。

**教科書** 北山長貴・他『イン・アメリカ 三つの小さな願いごと』 2006年刊(英宝社) 1,995円

履修コード	347101
科目名	英語IA
担当者名	荻野 一成

**講義のねらい** 中学高校時代に英語で苦勞した人は多いが、まさしくそういう「辛酸をなめた」人に、英文の内容が分かった時の喜びを味わってもらうためのクラスである。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期は、パンフレットや広告など様々な媒体を材料に、いかに日本の日常生活を英語抜きで過ごせないかを実感してもらい、素早く必要な情報をつかむコツを習得する。後期は実践として短編ミステリーを読み通す。

**履修上の留意点** 予復習はもとより、関心を持って積極的に授業参加する姿勢が求められる。

**成績評価の方法** 平常授業時の出席を重視する。その上で小プレゼンテーションや前後期のレポート・試験等を総合的に評価する。

**教科書** 開講時に指示する。

**参考書等** 辞書必携(電子辞書含む)

**その他** 主に講義形式だが、小グループによる活動も多い。

履修コード	347201
科目名	英語IA
担当者名	照山 雄彦

**講義のねらい** 日本人と英米人の間には、概念の相違による思考、意志の表現に違いがあり、またそれぞれの生得の語感に異なった部分がある。本授業では英語を正しく理解するための基礎とその運用能力をめざす。

**講義の内容・授業スケジュール** (1) 講義の内容説明 (2~15) 主語、動詞、目的語、補語、句、節、基本文型と重要構文 (16~24) 注意すべき文型、It を含む文型、to - 不定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文

**履修上の留意点** 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること、疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること

**成績評価の方法** 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。

**教科書** 授業の第1日めに教場にて紹介する。

**参考書等** 授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	347211
科目名	英語IA
担当者名	今井 夏彦

**講義のねらい** 基礎的な文法・語彙、口頭でのコミュニケーションに必要な基本的な表現法を再確認します。

**講義の内容・授業スケジュール** 1回の授業で1章進むことを目標にします。

**履修上の留意点** 授業は予習をしてくること。

**成績評価の方法** 平常点を重視し、前・後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

**教科書** 『英会話のためのコミュニケーション英作文』松柏社 ¥1,500  
ISBN 4-88198-511-6



履修コード	346901
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	ひわたり 樋渡 俊光

講義のねらい 英語を通して、外国人と意志疎通が充分に出るように、基本的英語4技能の向上をはかる。

講義の内容・ スケジュール スケジュールは五期に配分される。

第1期 英語の五文型の確実な修得。  
発話の仕方等

Lesson 1-2

第2期 基本的法律英語Ⅰ(B)

Lesson 3-6

第3期 基本的法律英語Ⅱ

Lesson 7-10

第4期 基本的法律英語例文Ⅲ

Lesson 11-13

第5期 各分野の興味有る英文読解

Lesson 14-17

履修上の留意点 辞書必携、予習を原則とし、その確認調査有り。

成績評価の方法 予習点、前後期の試験結果にて判定するが、欠席回数は5回を越えてはならない。

教科書

- 1) ジム・クヌースン
- 2) SIMPLY America SIMPLY Japan
- 3) 南雲堂
- 4) ¥1470-
- 5) ISBN4-523-17308-7

履修コード	348101
科目名	英語ⅠB
担当者名	ささき たかし 佐々木 隆

講義のねらい 入学時の英語力をさらにアップさせるため、Listening Comprehension を中心に、大意を把握する能力を身に付けさせる。

講義の内容・ 1 オリエンテーション、2 補助教材+ Lesson 1、3 補助教材+ Lesson 1~2、4 補助教材+ Lesson 2~3、5 補助教材+ Lesson 3、6 補助教材+ Lesson 3~4、7 補助教材+ Lesson 4、8 補助教材+ Lesson 5、9 補助教材+ Lesson 5~6、10 補助教材+ Lesson 6、11 補助教材+ Lesson 6~7、12 補助教材+ Lesson 7、13 中間試験、14 補助教材+ Lesson 8、15 補助教材+ Lesson 8~9、16 補助教材+ Lesson 9、17 補助教材+ Lesson 10、18 補助教材+ Lesson 10~11、19 補助教材+ Lesson 11、20 補助教材+ Lesson 11~12、21 補助教材+ Lesson 12、22 まとめテスト、23 まとめテスト、24 補助教材、25 補助教材、26 補助教材、27 補助教材、28 補助教材、29 補助教材、30 補助教材

履修上の留意点 辞書等は必携

成績評価の方法 3分の2以上の出席(原則)と試験で平均60点以上を規準とする。出席は重視する。

教科書

ブルスミス『Active Communication』南雲堂、1300円+税、ISBN4-523-17424-5 C0082

外国語

履修コード	348201
科目名	英語ⅠB
担当者名	すぎもと まこと 杉本 誠

講義のねらい グローバル化および情報化の時代の中に置かれた私たちには、それに対応できるような英語の運用能力を保持することが求められている。授業では、このような状況において必要とされる英語力を身につけることを目的とする。

講義の内容・ 経済、環境、医療、福祉などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。授業は Lesson 1~6を前期でおこない、Lesson7~11を後期でおこなう。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法 前・後期試験、小テスト、日常の発表、出席率などを総合して評価する。

教科書

『World Events』(オセアニア出版) 1,500円  
ISBN4-87203-089-3 C1082

履修コード	348301
科目名	英語IB
担当者名	はやし たかのり 林 孝憲

講義のねらい 近年英字新聞で取り上げられる頻度が高いビジネスを中心とする時事的な内容を取り扱い、正確に構文を理解して読んでゆく。リスニングはプリントを配布して行う。  
特に精読を心掛けて進めてゆき、英字新聞を読む準備としたい。

講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書 単語の意味などの予習が必要になる。  
平常での発表・出席および前後期の試験結果を含め総合的に評価する。  
『サステナブルライフと経済』(南雲堂) 1900円+税 ISBN978-4-523-17573-5C0082

履修コード	348401
科目名	英語IB
担当者名	かのう こういち 狩野 晃一

講義のねらい 高校時の英語力を維持・発展させて、さらにレベルの高い文章を読み込む力を養う。  
はじめは語彙・フレーズ・文法等の確認をしながら基礎を固め、徐々にレベルの高い文章の精読に挑戦する。

講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書 必ず辞書を携帯すること。予習はもちろんであるが、復習に力を入れてほしい。  
全授業の3分の2以上が成績評価の対象となる。年2回の試験と授業態度で判断する。試験は60点以上が合格基準。  
未定。

履修コード	348001
科目名	英語IB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	すぎもと きんこ 杉本 誠

講義のねらい 日常生活の会話を題材としたテキストを使用して、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく。英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。  
グローバル化および情報化の時代の中で、できるだけ多くの記事を読み、大意を把握し、英語の運用能力を高めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 学生生活、ホームステイ、ドライブ、買い物など、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、内容把握、語法、リスニングなどの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけます。  
授業は、Unit 1～10を前期でおこない、Unit11～20を後期でおこなう。

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書 かならず毎時間の予習が必要である。  
前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。  
『TOEIC Test Basics Checkbook 1』(南雲堂) 1,300円 ISBN 4-523-17521-7

履修コード	354601・354602
科目名	英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕
担当者名	狩野 晃一

講義のねらい 最低限の英語を読み・書きが出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書 前後期を通して、基礎的な文法知識を応用しての文章理解に努める。また簡単なメールなどが書ける程度の作文力をつけたい。  
理由は様々あると思うが、諸君がなぜこのクラスを履修しなければならぬのかということは今一度考えていただきたい。授業には辞書を必ず持参すること。分からない箇所はその都度、必ず質問をすること。分からないことは恥ずかしいことではないのだから。最後まであきらめない姿勢が大切。  
全授業の3分の2以上の出席と各学期末に行う予定の試験で6割以上をとることが成績評価の最低条件。その他、提出物などにより評価を行う。追試・再試はなし。  
プリントを配布する。

外国語

履修コード	354701・354702
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	近藤 真彫

講義のねらい 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習  
【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習

履修上の留意点 必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書 第1回目の授業で指示します。

履修コード	354901・354902
科目名	英語ⅠA〔再クラス〕 英語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	町田 成男

講義のねらい 英文の読解を中心にして、表現能力も養成することが目的。そのために文法、語法、ニュアンスの違いなどを授業で説明する。また、カセットテープやビデオ教材も随時、使用する。

講義の内容・授業スケジュール 演習と講義

1 テキストと授業のガイダンスを中心に、2 Conclusions/Reasons、3 Analysis、4 Theory / Proof、5 Controversy、6 Comparison / Contrast、7 Classification、8 Instruction、9 Chronological order、10 Cause & Effect、11 Process、12 Explanation、13 Definition、14 Statistics、15 試験日、16 Going to a University、17 Rain、18 Making Plans、19 What Are You Doing、20 Using a Credit Card、21 Museums、22 The News、23 In the Park、24 Walking、25 At a Hairdresser's、26 Restaurants、27 Hotels、28 Telephones、29 Haddon Hall、30 試験日

成績評価の方法 出席＋発表＋期末試験の総合評価とする。

教科書 後日発表

履修コード	349201
科目名	英語ⅡA
担当者名	照山 雄彦

講義のねらい この授業で扱う英文は、文法を中心とした日常会話を中心として行う。初めに基本となる表現が文法的にどのようになっているのか解説をする。その英文一つ一つを実際の日常会話で役立つために暗記、応用して行く。

講義の内容・授業スケジュール (1) 授業の内容説明(2～15) 基本文型と重要構文、注意すべき文型、Itを含む文型、to-不定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文

履修上の留意点 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること、疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること

成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。

教科書 授業の第1日めに教場にて紹介する。

参考書等 授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	349301
科目名	英語ⅡA
担当者名	今井 夏彦

講義のねらい 留学・環境問題・マルチメディアなど様々なテーマを取り上げ、各々の場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーション能力を同時に養成します。

講義の内容・授業スケジュール 1回の授業で1章進むことを目標にします。

履修上の留意点 授業は予習をしてくることを。

成績評価の方法 平常点を重視し、前・後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書 『日常会話英作文』成美堂 ¥1,600、ISBN 4-7919-5035-6

履修コード	349401
科目名	英語IIA
担当者名	吉川 直澄

**講義のねらい** 映画のストーリーを楽しみながら、表現力育成を念頭に置いて、総合的な語学力と思考力を養うことを目的とします。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期では量よりも正確さを目的として演習を行いません。(1) ガイダンス (2~13) Unit1 から、Unit12 までの演習 (14) 全体の復習と試験の説明 (15) 前期試験。後期では、プリントを使用し、徐々に量をこなすことへと移行する予定です。(1) ガイダンス (2~13) プリントによる演習 (14) 試験の説明 (15) 後期試験。

**履修上の留意点** 語学は復習が大事です。日ごろから一定量の英語に接して、出合った単語や表現を意欲的に使ってみようという姿勢を持つよう心掛けましょう。

**成績評価の方法** 出席、授業参加、授業内提出課題、学期末試験を総合的に検討して評価します。

**教科書** 北山長貴・他『イン・アメリカ 三つの小さな願いごと』2006年刊(英宝社)1,995円

履修コード	349411
科目名	英語IIA
担当者名	芝田 興太郎

**講義のねらい** 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく

**講義の内容・授業スケジュール** a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課  
b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表

**履修上の留意点** 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること

**成績評価の方法** エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価

**教科書** Simply Grammar 南雲一範著 南雲堂 1890円

履修コード	350301
科目名	英語IIB
担当者名	林 孝憲

**講義のねらい** 速読の訓練を行うと同時に、正確に構文を理解して読んでゆく。パラグラフリーディングのスキルを身につけることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 初めにパラグラフごとに要約し、その後、必要に応じて精読も行う。内容は社会科学である。

**履修上の留意点** 単語の意味などの予習が必要となる。

**成績評価の方法** 平常での発表・出席及び前後期の試験の結果を含め、総合的に評価する。

**教科書** 『Outlook on Society』(南雲堂) 1700円+税 ISBN978-4-523-17560-5c0082

履修コード	350401
科目名	英語IIB
担当者名	杉本 誠

**講義のねらい** グローバル化および情報化の時代の中に置かれた私たちには、それに対応できるような英語の運用能力を保持することが求められる。授業では、このような状況において必要とされる英語力を身につけることを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 代替エネルギー、環境保護観光、時間などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。授業は Lesson 1~6を前期でおこない、Lesson7 ~12を後期でおこなう。

**履修上の留意点** かならず毎時間の予習が必要である。

**成績評価の方法** 前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

**教科書** 『Earth Day Volume 2』(オセアニア出版)1,400円 ISBN4-87203-083-4 C1082

履修コード	350501
科目名	英語II B
担当者名	<small>くまざわ かずあき</small> 熊沢 和明

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

映画の魅力を利用し、現在の生きた社会問題を考えながら、英語文化の理解を深める。  
現代英語映画を題材にした総合教科書を使い、映画化された社会問題を多読し、語彙力、読解能力を伸ばします。英語字幕を早読みする能力も身に付けます。

1. Unit 1 Volunteer
2. Unit 1 Volunteer
3. Unit 2 Child Abuse
4. Unit 2 Child Abuse
5. Unit 3 Internet Love
6. Unit 3 Internet Love
7. Unit 4 Women and Jobs
8. Unit 4 Women and Jobs
9. Unit 5 Barrier Free
10. Unit 5 Barrier Free
11. Unit 6 Racial Problems
12. Unit 6 Racial Problems
13. Unit 7 Computer and CG
14. Unit 8 Computer and CG
15. Unit 9 Drugs
16. Unit 9 Drugs
17. Unit 10 Modern Medical Treatment
18. Unit 10 Modern Medical Treatment
19. Unit 11 Mass Media
20. Unit 11 Mass Media

履修上の留意点  
成績評価の方法

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。  
出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書

PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。  
EVERY MOVIE TELLS A STORY 金星堂

履修コード	350511
科目名	英語II B
担当者名	<small>おちあい まゆ</small> 落合 真裕

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

英文読解に必要なスキルを習得しながら、様々なジャンルの英文を読む力を養っていきます。また、速読の練習も行うと同時に正確に構文を理解して読んでいく力を身につけていきます。  
600語程度の英文を通して、英文を正確に読めるようになるためのスキルを身につけ、必要な知識・情報を掴み取る読解力を鍛えていきます。

前期(第1回～第15回)

- Unit 1 Have I Found Ms. Right? - Scanning
- Unit 2 How Good Is Your Memory? - Skimming for the Main Idea(1)
- Unit 3 The History of Time-Keeping - Predicting
- Unit 4 Endangered Species - Identifying Meaning from Context(1)
- Unit 5 Travel Manners - Identifying Main Ideas within Paragraphs(1)
- Unit 6 What Does a Million Dollars Buy? - Identifying Cause and Effect
- Unit 7 Earth's Mysterious Places - Identifying Main and Supporting Ideas(1)

後期(第1回～第15回)

- Unit 8 Is an Only Child a Lonely Child? - Identifying Fact versus Opinion
- Unit 9 Homeschooling - a Better Way to Learn? - Arguing For and Against a Topic
- Unit 10 The Segway - a New Look at Travel - Inferring
- Unit 11 What Constitutes Art? - Logical and Chronological Sequencing
- Unit 12 Avoiding Cultural Taboos - Skimming for the Main Idea(2)
- Unit 13 Robotic Surgeons - Identifying Meaning from Context(2)
- Unit 14 The Challenges of Space Travel - Identifying Main and Supporting Ideas(2)
- Unit 15 Changing Roles: Stay-at-Home Dads  
- Identifying Main Ideas within Paragraphs(2)

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)  
前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基づき総合的に評価します。  
Advanced Skills for Reading (成美堂) 1,700円+税 ISBN4-7919-1034-6

履修コード	355201・355202
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい IA、IBを基礎として総合的な英語力の向上を目的とします。リーディングに関しては、英語を第二言語とする読者向けの英字新聞を教材として、比較的平易な英文を、大意の把握に努めつつ、より速く読む訓練を行っていきます。ライティングに関しては、記事の内容に関して英語で意見を書いたり、文中で用いられている構文や熟語等を応用し、英作文の練習などを行う予定です。

講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

(1)オリエンテーション (2～15) Unit1～11 (15～30) Unit12～22

毎時間必ず辞書を持ってくること。

出席、発表50%、授業中のレポートおよび小テスト50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

大月実『News for You2008/2009 Edition ーやさしいメディア英語』 成美堂 ￥1800(税別) I SBN978-4-7919-4631-0

履修コード	355301・355302
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい Back-to-Basics! ー基本に帰るーことをこのクラスの標語としたい。短い文章をよみながら、英語学習の Basics であるところの「5文型」を徹底してゆく。

講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

(1) Orientation (2～7) Chapter1～3 (8)《遊び時間》英語固有名詞について〈プリント配布〉(9～14) Chapter4～6 (15) 中間試験 (16～21) Chapter7～9 (22～23)《遊び時間》英語慣用句について〈プリント配布〉(24～29) Chapter10～12 (30) 最終試験

予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可とする。授業には英和辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。

中間試験、最終試験、出席状況を基本に評価する。

『叡智のかがやきー読んでおきたい12編』(朝日出版社) ￥1,700

履修コード	355401・355402
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	笹倉 貞夫

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

(1～5) AMAZING ANIMALS、(6～10) YOUR AMAZING BODY、(11～14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16～20) AMAZING FIRSTS、(21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26～29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト

予習・復習重視、辞書持参。

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

M.Vogel 『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ￥1,400

履修コード	355501・355502
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	<sup>ほんま としかず</sup> 本間 俊一

**講義の内容・授業スケジュール** 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

**履修上の留意点** 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

**成績評価の方法** 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

**教科書** 『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円 ISBN4-255-15154-7

履修コード	351401
科目名	ドイツ語IA
担当者名	<sup>しみず おさむ</sup> 清水 修

**講義のねらい** ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

**講義の内容・授業スケジュール** ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

**履修上の留意点** 必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

**成績評価の方法** 普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

**教科書** 早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

**参考書** ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

履修コード	351601
科目名	ドイツ語IB
担当者名	<sup>しのほら としあき</sup> 篠原 敏昭

**講義のねらい** 簡単なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

**講義の内容・授業スケジュール** 下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

**履修上の留意点** 欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

**教科書** 『モデル1 問題発見のドイツ語（改訂版）』（三修社）2,600円

**参考書** 辞書・参考書は授業の中で指示します。

**その他** ビデオを活用した授業をおこなう予定です。

履修コード	351801
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	<small>しみず おさむ</small> 清水 修

講義のねらい ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。テキストには日本のマンガのドイツ語訳やグリム童話、料理のレシピなどを使用する予定です。

履修上の留意点 ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。

成績評価の方法 受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

教科書等 主に平常点で評価します。

参考書等 プリントを用意します。

授業中に指示します。

履修コード	351901
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	<small>しのはら としあき</small> 篠原 敏昭

講義のねらい 1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、聞き取り、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用い、ビデオ教材を使って授業をおこないますが、ドイツ人の行動様式や考え方も学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験(4級)の受験も勧めています。後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点 課題を必ずこなしてくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法 毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書等 『CD付き モデル2』(三修社) 2,700円

参考書等 授業の中で指示します。

その他 ビデオを活用する授業をおこなう予定です。

履修コード	355601・355602
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕 ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>みなみ はるつ</small> 南 はるつ

講義のねらい 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 前期:発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞  
後期:命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書等 南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社)

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	355701・355702
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>もとほし うきやう</small> 本橋 右京

講義のねらい 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書等 山本淳『新々・じゃあ、またあした!』(同学社) 2006年刊 2500円+税  
ISBN8102-0723-4

外国語



履修コード	352001
科目名	フランス語IA
担当者名	高橋 明美

講義のねらい 初めにフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1)発音と読み方のルール(2)名詞の性・数(3)基本動詞(4)形容詞(5)否定文・疑問文(6)近接未来・近接過去(7)疑問詞  
後期：(1)比較級・最上級(2)さまざまな不規則動詞(3)命令法(4)非人称構文(5)複合過去(6)目的語人称代名詞(7)関係代名詞(8)代名動詞

成績評価の方法 期末に行う試験のほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書 小野ゆり子ほか著『マ・グラメール』 白水社 2300円

履修コード	352201
科目名	フランス語IB
担当者名	木下 雄介

講義のねらい フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。  
第1回 全般的な説明、辞書の紹介、発音。  
第2回以降 2回で1課のペースで授業を進める。

履修上の留意点 初めに学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、予習・復習を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。

成績評価の方法 期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。  
『サン・ファッソン』(クリスチャン・ボームルー、高橋信良、朝日出版、2635円、ISBN978-4-255-35180-3)

参考書等 仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は、初心者には向かないので使用しないこと。

- ・『ジュネス仏和辞典』(大修館)
- ・『新スタンダード仏和辞典』(大修館)
- ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)
- ・『ロワイヤル仏和中辞典』(旺文社)
- ・『クラウン仏和辞典』(三省堂)

履修コード	352401
科目名	フランス語IIA
担当者名	高橋 明美

講義のねらい 初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

講義の内容・授業スケジュール 出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。  
前期：1年次の文法の復習、代名動詞、不規則動詞の活用、中性代名詞、半過去、受動態、現在分詞とジェロンディフ、条件法  
後期：接続法、文章読解

成績評価の方法 出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書 清岡智比古 著『ル・フランセ・クレール』 白水社 2300円

履修コード	352501
科目名	フランス語II B
担当者名	<small>きのした ゆうすけ</small> 木下 雄介
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。 平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。 第1回 テキストの紹介・全般的な説明。 第2回以降 説明をまじえながら、テキストを読み進める。
履修上の留意点	予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。
成績評価の方法	平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。
教科書	最初の授業のときにプリントを配布します。

履修コード	355801・355802
科目名	フランス語IA〔再クラス〕 フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>はせがわ みつあき</small> 長谷川 光明
講義のねらい	ビデオ教材を用いて初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を習得することを目標とします。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1) 受講上の諸注意／アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 人称代名詞・基本動詞の活用・名詞の性・数詞／冠詞・形容詞／第一群規則動詞の活用・所有形容詞・否定文／指示代名詞／疑問代名詞・中性代名詞／部分冠詞・数量の表現／命令形・非人称構文／比較級／代名動詞／複合過去／未来形 * 毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
教科書	藤田裕二他『新・東京ーパリ、初飛行』(駿河台出版社) 2,310円

履修コード	355901・355902
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>はせがわ みつあき</small> 長谷川 光明
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。 (1) 受講上の諸注意／つづり字の読み方の復習 (2-30) 文法(複合過去・代名動詞／半過去・大過去／関係代名詞・命令形・補語人称代名詞／現在分詞・ジェロンディフ・疑問代名詞／受動態／強調構文・中性代名詞／条件法／接続法／間接話法・時制の一致 * 毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期と後期二回行います。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期、後期試験及び平常点。
教科書	藤田裕二『彼女は食いしん坊! 2』(朝日出版社) 2,625円

履修コード	352601・352801
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	塩旗 伸一郎・王 聡

講義のねらい	1. 中国語の音声的魅力を味わい、簡単な口語を運用できるようになること。 2. 中国語の特徴や、表現の背景にある文化、ものの考え方や世界観を知ること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がる。
講義の内容・授業スケジュール	「中国語IA」と「中国語IB」は連続しており、同一教科書で週2回学ぶ。IAで中国語のルールを理解し、IBで運用の練習を行なう。 発音(1~8)、1課~6課(9~26)、前期末試験(27)、7課~10課(28~39)、後期中間試験(40)、11課~13課(41~49)、補充プリント(50~53)後期末試験(54)
履修上の留意点	IAとIBは必ずセットで履修すること。 音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。 携帯メールは禁止。
成績評価の方法	定期試験(20×3) + 小テスト(20) + 平常点(20) - 欠席点。 「平常点」≠「出席点」。坐っているだけで評価されることはない。 欠席は年間3回を超えると10点ずつ減点。
教科書	尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』(白水社)2200円+税

履修コード	353001
科目名	中国語IIA
担当者名	秋元 翼

講義のねらい	一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。
教科書	石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

履修コード	353111
科目名	中国語IIB
担当者名	王 聡

講義のねらい	1年次に習得した内容を復習しながら、中国語の実用会話・基本文法を学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	前期 第1回 ガイダンス・復習 第2回~第13回 会話：中国人の姓・中国人の呼び方・中国人の金銭感覚・中国人同士の付き合い方・中国の地名・中華料理・中国人の時間感覚・中国人のお土産習慣・春節のいろいろ 文法：形容詞述語文・修飾語いろいろ・連動文・動詞の重ね形・助動詞「想」・所在文・方位詞・時刻と時間量・前置詞・副詞 第14回~第15回 復習と前期テスト 後期 第1回 復習・練習問題 第2回~第13回 会話：中国の一人っ子政策・中国の台所事情・中国の住宅事情・中国の交通事情・中国人の休暇の過ごし方・中国人昼寝の習慣・中国人の褒め方・中国の列車事情 文法：アスペクト助詞「了」・助動詞「会」「能」・語気助詞「了」・助動詞「可以」・結果補語・アスペクトの将然相と経験相・動作の進行・動量補語・様態補語・程度補語・方向補語・アスペクト助詞「着」 第14回~第15回 復習と後期テスト
履修上の留意点	辞書を用意し、予習・復習をちゃんとすること
成績評価の方法	前期テスト40%、後期テスト40%、平常点(出欠席状況・授業態度など)20%。
教科書	三瀬正道・楊光俊『たのしく話そう中国語』(CD付)(朝日出版社)2205円

履修コード	356001・356002
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男

講義のねらい 正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。  
 講義の内容・ 基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、  
 授業スケジュール ビデオを見たりする予定。  
 履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。  
 毎回予習、復習が必要。  
 成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。  
 教科書 本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）

履修コード	356101・356102
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。  
 講義の内容・ 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通  
 授業スケジュール じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。  
 履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。  
 成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。  
 教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2100円＋税  
 参考書等 開講時に説明する。  
 その他 中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

履修コード	356201・356202
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子

講義のねらい 一年次で行った会話的練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習  
 を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致し  
 ています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。  
 講義の内容・ 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回  
 授業スケジュール で4課ずつ進むことになります。  
 履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越え  
 た場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、  
 7点以内の者を成績評価の対象とします。  
 成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。  
 教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

履修コード	353401
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	大岩 功

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。  
 講義の内容・ 前期14回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。後期14回で目的語代名詞、不規則  
 授業スケジュール 活用の動詞、再帰動詞等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。  
 （上記スケジュールは場合により変動することがある）  
 履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常  
 点の減点対象となります。  
 成績評価の方法 前期末、後期末の試験（計2回）の得点＝70%、小テスト（5～6回程度）の得点＝20%、出席  
 率、授業参加への積極性等の平常点＝10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。  
 教科書 『Plaza Mayor I』青砥清一他著 朝日出版社  
 参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
 『やさしいスペイン語文法』大岩功著、三修社

外国語

履修コード	353601
科目名	スペイン語I B
担当者名	中山 <small>なかやま</small> 直次 <small>なおし</small>

- 講義のねらい** 初めに学ぶ受講生が対象なので、まずはスペイン語の世界に親しみ、楽しみながらスペイン語の総合力を身につけることを目指します。
- 講義の内容・授業スケジュール** 一通り発音・アクセント・イントネーションなどの練習（1～5）をしたあと、平易なスペイン語で書かれた童話を読みます（6～）。単に通読するのではなく、表現文の音読・暗唱、文法理解の確認作業、語句の置き換えなどによる応用演習を行います。
- 履修上の留意点** 初習の語学は、途中で抜けると続けにくくなります。なるべく欠席しないようにしてください。また、必ず予習をして授業に臨むように心がけてください。
- 成績評価の方法** 平常授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします（いわゆる学期末定期試験は行いません）。
- 教科書参考書等** 中山著『スペイン語が面白いほど身につく本』（中経出版）  
辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）  
特に上記の本でなくても構いませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書を一冊併用することをお勧めします。
- その他** 常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

履修コード	353701
科目名	スペイン語II A
担当者名	大岩 <small>おおいわ</small> 功 <small>いさお</small>

- 講義のねらい** スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。（上記スケジュールは場合により変動することがある）
- 履修上の留意点** 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
- 成績評価の方法** 前期末、後期末の試験（計2回）の得点=70%、小テスト（5～6回程度）の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
- 教科書参考書等** 『やさしいスペイン語文法』大岩功著（三修社）他に長文読解用のプリント教材を使用します。  
推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

履修コード	353801
科目名	スペイン語II B
担当者名	中山 <small>なかやま</small> 直次 <small>なおし</small>

- 講義のねらい** スペイン語文法の体系を、できる限り能率よく修得することをねらいとします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 毎回、場面別にまとめられた口語表現を使って音読や訳読の練習をします。次に、その会話文から取り出した文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用演習を行ったりします。文法（特に動詞）学習の項目の配分としては、前期に直説法現在・両過去を、後期に同未来・接続法・命令法を扱う予定です。
- 履修上の留意点** 外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。
- 成績評価の方法** 平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。（いわゆる学期末定期試験は行いません）。
- 教科書参考書等** 中山著『トーレス一家の人たちと』（芸林書房）  
辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。
- その他** 常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

履修コード	356401・356402
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	栗林 ゆき絵

講義のねらい	基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に活用できることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は文字と発音(1)、主語・名詞句(2)、現在形(3-15)、後期は過去形(1-12)、現在完了(13)、復習と会話表現(14-15)を中心に学習する予定。毎回時間の初めに小テスト(活用・単語・作文)を実施。
履修上の留意点	少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2～4問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。
成績評価の方法	平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書 参考書等	初回の授業の授業で指示(プリント教材配布予定)。初回は必ず出席のこと。 『ポケットプログレッシブ西和・和西語辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	356501・356502
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	栗林 ゆき絵

講義のねらい	現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。 活用・文法事項・重要表現の確認のあと、新聞記事など生のスペイン語教材を毎回1記事ずつ読んでいく(前後期1-15)。新聞記事は最初は見出しのみの読解、その後5文程度の記事、最後にはA4ページ程度の記事を読む予定。
履修上の留意点	最終授業時は和訳提出の課題を実施する。 最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。試験は行わないので、日々の授業で地道に力をつけていってほしい。
成績評価の方法	辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。 平常点90%、課題提出(前後期末各1回)10%。
教科書 参考書等	プリント配布予定(初回授業で指示します)。 <辞書>『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	353901
科目名	ロシア語IA
担当者名	廣田 英靖

講義のねらい	1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれまので恥かしくないことが大切。
成績評価の方法	4-9月はイントネーションや発音に力点をおき、10-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
教科書 参考書等	試験は行わず、平常点で評価します。 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円 『露和辞典』

履修コード	354001
科目名	ロシア語I B
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

**講義のねらい**

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

4-7月はイントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

試験は行わず、平常点で評価します。

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円  
『露和辞典』

**講義の内容・授業スケジュール**  
**成績評価の方法**  
**教科書**  
**参考書等**

履修コード	354101
科目名	ロシア語II A
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

**講義のねらい**

ロシア語IAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文(関係代名詞、形動詞、副動詞など)をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

4月、5月、6月、7月-パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、9月、10月、11月、12月-インターネットによるニュースなどから平易で、興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教場にてプリントを配布。  
『露和辞書』

**講義の内容・授業スケジュール**  
**成績評価の方法**  
**教科書**  
**参考書等**

履修コード	354201
科目名	ロシア語II B
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひでやす</small>

**講義のねらい**

ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット(小話)や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

4月、5月、6月、7月-パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、9月、10月、11月、12月-インターネットによるニュースなどから平易で、興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教場にてプリントを配布。  
『露和辞書』

**講義の内容・授業スケジュール**  
**成績評価の方法**  
**教科書**  
**参考書等**

外国語

履修コード	356601・356602
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉山 秀子

講義のねらい	<p>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。</p> <p>2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。</p> <p>3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。</p> <p>4) 基礎的な初等文法を学びます。</p> <p>5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。</p> <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。</p> <p>4-7月はイントネーションや発音に重点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	
成績評価の方法	試験は行わず、平常点で評価します。
教科書	『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
参考書等	『露和辞書』

履修コード	356701・356702
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉山 秀子

講義のねらい	<p>1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。</p> <p>ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。</p> <p>○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。</p> <p>○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。</p> <p>○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。</p> <p>○中等文法のエッセンスを勉強をします。</p> <p>○4-7月 基礎文法の復習</p> <p>○9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。</p>
成績評価の方法	出席と平常点を重視します。
教科書	既習の教科書と文法表。
参考書等	『露和辞書』
その他の他	プリント配布。教場にて指示します。



履修コード	351201
科目名	英会話I
担当者名	ロビン, G. F.

**講義のねらい** This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

**講義の内容・授業スケジュール** It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

**成績評価の方法** According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

**教科書** *Fifty-Fifty Student Book 1*, Warren Wilson Roger Barnard, ISBN-10 9620056655 10 digit

履修コード	354301
科目名	英会話II
担当者名	ロビン, G. F.

**講義のねらい** This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, and they will be graded.

**講義の内容・授業スケジュール** It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

**成績評価の方法** According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

**教科書** INSIDE ENGLISH HIGH BEGINNER MACMILLAN ISBN-4-84585489-2

履修コード	351301
科目名	英語L I
担当者名	<small>かわさき こうたろう</small> 川崎 浩太郎

**講義のねらい** 英語の母音、子音の発音、アクセント、イントネーション等を学習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目標とします。

具体的には、日常の様々な場面を再現したスキットをビデオで見ながらリスニング能力の向上をはかりつつ、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

(1)オリエンテーション (2~ 15) Unit1 ~10 (15~ 30) Unit11 ~20

**講義の内容・授業スケジュール**  
**履修上の留意点**  
**成績評価の方法**

恥ずかしがらずに大きな声で発音するよう努めて下さい。  
出席点、発表点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

**教科書**

村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』(マクミランランゲージハウス) ¥2000 (税別)  
ISBN4-89585-304-7

履修コード	354401
科目名	英語L LII
担当者名	林 明人

講義の内容・  
授業スケジュール

リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

1	ユニット1	(問題1, 2)	16	ユニット5	(問題5, 6)
2	ユニット1	(問題3, 4)	17	ユニット6	(問題1, 2)
3	ユニット1	(問題5, 6)	18	ユニット6	(問題3, 4)
4	ユニット2	(問題1, 2)	19	ユニット6	(問題5, 6)
5	ユニット2	(問題3, 4)	20	ユニット7	(問題1, 2)
6	ユニット2	(問題5, 6)	21	ユニット7	(問題3, 4)
7	ユニット3	(問題1, 2)	22	ユニット7	(問題5, 6)
8	ユニット3	(問題3, 4)	23	ユニット8	(問題1, 2)
9	ユニット3	(問題5, 6)	24	ユニット8	(問題3, 4)
10	ユニット4	(問題1, 2)	25	ユニット8	(問題5, 6)
11	ユニット4	(問題3, 4)	26	ユニット9	(問題5, 6)
12	ユニット4	(問題5, 6)	27	ユニット9	(問題1, 2)
13	ユニット5	(問題1, 2)	28	ユニット9	(問題3, 4)
14	ユニット5	(問題3, 4)	29	ユニット10	(問題1, 2)
15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点  
成績評価の方法

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。  
試験(40%)②発表(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書

4月に教場で指示します。

## 4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	341201
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	村松 誠

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：健康観の変遷
- 3時限目：現代の健康観
- 4時限目：健康の成立要因
- 5時限目：健康の成立条件
- 6時限目：病気の原因
- 7時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8時限目：現代の感染症
- 9時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ（テスト）

成績評価の方法  
教科書

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。  
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	341301
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい

健康の概念はあまりにも固定観念や独善的な考え方に支配されている。この講義ではそうした考え方にメスを入れてどうしたら本当の健康を手に入れることができるかを検証する。また日常生活で行うことができる「マイエクササイズ」を実技をしながら説明する。スポーツは現在話題になっているスポーツについて説明し、スポーツの持つ意義をどうしたら自分自身の人生に生かすことができるかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1限：講義のオリエンテーション<講義の進め方の説明>
- 2限：健康概念の変遷
- 3限：健康と固定観念 1
- 4限：# 2
- 5限：健康と生き方 1
- 6限：# 2
- 7限：日常生活での留意点 1
- 8限：# 2
- 9限：小テスト<健康>
- 10限：スポーツ概念の変遷
- 11限：オリンピック 1
- 12限：# 2
- 13限：ワールドカップ
- 14限：小テスト<スポーツ>
- 15限：総合テスト

履修上の留意点  
成績評価の方法

出席は毎時限とする。教科書などはないが、配布するプリントを中心に授業を進める。  
出席点と小テスト・総合テストを総合的に評価する。特に総合テストは必ず受けなければならない。

教科書  
参考書等

指定なし  
指定なし

履修コード	340301
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）
担当者名	秋田 浩一

- 講義のねらい**
- 1.補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
  - 2.バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
- また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
- (1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
  - (2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
  - 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
  - 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
  - 4時限目：反面での簡易ゲーム
  - 5時限目：＃
  - 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
  - 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
  - 8時限目：総合練習・ゲーム（シングルス）
  - 10時限目：＃
  - 11時限目：総合練習・ゲーム（ダブルス）
  - 15時限目：＃
- 履修上の留意点**
- 1.定員は約30名とする。
  - 2.実技は本校第1体育館で行なう。
  - 3.服装は身軽に動作できるものがよい。
  - 4.シューズは体育館専用のものを用意する。
  - 5.その他のものは用意しなくてもよい。
- 成績評価の方法**
- 出席率70%、総合評価30%で行なう。

履修コード	340301
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）
担当者名	大石 武士

- 講義のねらい**
- ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
  - 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
  - 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
  - 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
  - 10時限目～14時限目：ゲーム
  - 15時限目：まとめ
- 履修上の留意点**
- 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- 成績評価の方法**
- 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	<small>むらまつ まこと</small> 村松 誠

**講義のねらい** 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単と言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
  - 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
  - 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
  - 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
  - 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
  - 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
  - 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
  - 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
  - 9時限目：シングルスゲーム
  - 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
  - 11時限目：ダブルスゲーム
  - 12時限目：ダブルスゲーム
  - 13時限目：ダブルスゲーム
  - 14時限目：ダブルスゲーム
  - 15時限目：まとめ

**履修上の留意点** 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

**成績評価の方法** 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

**その他の** 他時限・他種目を含め、施設・用具の都合、授業効率のため、受講人数を30名程度に制限する。受講希望が多数の場合は、抽選にて受講者を決定する。したがって、1時限目に出席しないものは、受講できない可能性があるので注意すること。

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）
担当者名	<sup>みねさ はるみ</sup> 三幣 晴三

**講義のねらい** バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校教育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。＜BR＞本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習  
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術  
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 3 時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術  
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明 正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

**履修上の留意点**

服装：一般的な運動服装＜BR＞ シューズ：運動靴（体育館用として中履きのシューズを使用すること）

**成績評価の方法  
教科書**

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。  
出席を主体とし、それに技術 ルール マナーなどの理解度を加える。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目  
法 律 学 科 フ レ ッ ク ス B



履修コード	323031・323032
科目名	法学概論 法学概論A
担当者名	北野 <sup>きたの</sup> かほる

**講義のねらい** 法学部に入っはじめて法学を学ぶひとに、法学科履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はどこまでいってもかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 法のイメージと法学部の講義科目
    - (1) 法とは何か
    - (2) 法学部ではどう学ぶか
  2. 法の一般的分類
    - (1) 法の分類
    - (2) 法令の種類
  3. 近代日本法とその社会
    - (1) 国家と社会
    - (2) 近代日本が受け継いだ法
    - (3) 近代法の変容
  4. 立法の角度からの法
    - (1) 制定法主義とその法源
    - (2) 法の体系性
  5. 司法の角度からの法
    - (1) 紛争解決の仕組みと機構
    - (2) 紛争の種類と解決の種類
  6. 法令の解釈
    - (1) 事実の法的再構成
    - (2) 事実への法令のあてはめ

**履修上の留意点** 半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

**成績評価の方法** 前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。  
**教科書** 伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣双書52）有斐閣  
 竹下・福井編『はじめての法学』成文堂  
**参考書等** その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

履修コード	323011・323012
科目名	公法入門 法学概論B
担当者名	佐藤 <sup>さとう</sup> たみお 多美夫・金子 <sup>かねこ</sup> しゅうへい 昇平

**講義のねらい** 平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 前半（刑法入門）
1. 刑法とはどのような法律か（国家法体系の中での位置づけ）
  2. 刑罰について（国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判）
  3. 犯罪が成立するための要件（なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利）
  4. いわゆる罪刑法定主義について（事後法の禁止と法の適正手続）
  5. まとめと質疑応答
  6. 試験
- 後半（行政法入門）
1. 行政法とは何か
  2. 行政法の法源
  3. 行政法の領域
  4. 法治行政
  5. 行政作用と法
  6. 試験

**履修上の留意点** 前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さなければ試験の成績にひびくことになる。

**成績評価の方法** 成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする（計2回）。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

**教科書** 前半・後半ともに教科書は使用しない。  
**参考書等** 参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

履修コード	323021・323022
科目名	私法入門 法学概論 B
担当者名	<small>たけなみ ちか</small> 竹中 智香

**講義のねらい**

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味が持てるように講義を進めます。

**講義の内容・授業スケジュール**

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
  - (1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原理
  - (1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
  - (1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条理
4. 私法の効力
  - (1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
  - (1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
  - (1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

**履修上の留意点  
成績評価の方法**

初めて学ぶ学問領域ですから、予習・復習を必ずするように心がけてください。  
半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になります。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

**教科書  
参考書等**

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。  
講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

履修コード	323101
科目名	憲法
担当者名	<small>たけら しゅうきく</small> 武市 周作

**講義のねらい**

憲法は、国家のあり方・国家と国民の関係の基本を定めた最高法規であり、人権を保障し、人権を保障するための国家の組織を定めている。性質上、憲法に拘束されるのは国家である。本講義では、このような憲法について、基本判例の検討や制度の理解を踏まえながら、憲法を考察する基本的な力を養うことを目的とする。他の科目の知識も関連づけ、法学の体系性と、憲法が持つ法体系の中の最高法規性を味わってほしい。

**講義の内容・授業スケジュール**

①憲法とは何か(1)、②基本的人権と違憲審査制(2～3)、③精神的自由権(4～8)、④経済的自由権(9～11)、⑤社会権(12～13)、⑥幸福追求権(14)、⑦法の下での平等(15)、⑧人権総論(16)、⑨国会(17～18)、⑩内閣(19～20)、⑪裁判所(21～22)、⑫憲法の保障(23～25)、⑬財政・地方自治(26)、⑭国民主権(27～28)、⑮平和主義(29)、⑯憲法改正(30)

**履修上の留意点**

教科書に基づいて授業を進めるので用意すること。毎回数回授業で扱う教科書のページ数を指示するのでその項目を読んでおくこと。それだけで授業の理解は大幅に異なる。授業中の私語・携帯電話の使用(メールも含む)は厳禁であり、酷い場合には受講を認めないこともある。

**成績評価の方法**

年度末試験によって評価する。また年度途中で小テストを実施し、それを評価に加えることも予定している。講義に関連する質問を加点していくことも考える。

**教科書**

工藤達朗編『よくわかる憲法』ミネルヴァ書房、2,500円+税、ISBN:978-4623044320  
最新の小型学習用六法は必ず用意すること。

**参考書等**

必要に応じてプリント等で補足する。  
『憲法判例百選Ⅰ〔第5版〕』有斐閣、2,200円(税込)、ISBN:978-4641114869  
『憲法判例百選Ⅱ〔第5版〕』有斐閣、2,200円(税込)、ISBN:978-4641114876

履修コード	323201
科目名	民法総則
担当者名	大宮 隆

講義のねらい

民法は、個人相互間の私的生活関係の基本法として、財産（物の所有や契約など）と家族（夫婦・親子や相続など）に関する事項を規律する法律である。日本の民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の配列で、五編より構成されているが、本講義の対象は、総則編である。総則には、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定が集められている。民法の学習にあたっては、条文数が多いことや、内容が複雑で技術的な構成をとっているため、親しみ難い面があるので、実際の社会生活から遊離することのないように、例示をできるだけ多くして説明することを心がけている。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 民法典の沿革・構成 (1回)
- (2) 権利の主体 (2回—10回)  
自然人・法人
- (3) 権利の客体 (11—12回)  
物
- (4) 権利の変動原因 (13回—)  
法律行為・意思表示・代理・無効及び取消・条件及び期限・時効

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書

教科書をしっかり読んで、出席してもらいたい。  
数回のテストを予定している。その結果と、学期末試験の成績を総合して、評価する。  
開講時に指示します。

履修コード	323301
科目名	刑法総論
担当者名	山口邦夫

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生としての自覚をもち、講義や読書を通じて、みずから積極的に学ぶ態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

次の2期に分けて講義をする。I期(9・10月)、II期(11・12月)。  
I期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。  
刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。  
II期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えながら講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。  
犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の争いを考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。  
質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果と、学年末試験の成績とを総合して評価し、単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、そのつど参考書を紹介します。

履修コード	323501
科目名	会社法
担当者名	荒木 正孝

講義のねらい

この講義では、会社法（株式会社、持分会社〈合名会社、合資会社、合同会社〉）の重要かつ基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、また実務の対応なども検討して、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成18年5月1日に「会社法」が施行された。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものである。今年も、新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。教場には、必ず最新の六法を持参する必要がある。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

成績は、年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書は、授業の初めに指示します。

江頭・岩原・神作・藤田 編 会社法判例百選（別冊ジュリスト No.180）（有斐閣）

履修コード	323601・323602
科目名	行政法総論 行政法
担当者名	塩入 <small>しおいり</small> みほも

**講義のねらい** 存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組と理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法/違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なきがたがあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1)～(2)行政法とは何か：行政法の成立、行政の定義、行政法の領域
- (3)～(5)行政法の基本構造：現代日本行政法の特徴、法治行政の原理
- (6)～(8)行政法の法源：成文法源、不文法源
- (9)～(11)行政作用の様々な分類論
- (12)行政立法
- (13)行政計画
- (14)行政指導
- (15)行政契約
- (16)～(20)行政行為論：特徴、成立と消滅、効力、行為類型論
- (21)～(22)行政裁量論
- (23)～(24)行政行為の瑕疵
- (25)～(26)職権取消しと撤回
- (27)～(29)行政上の強制制度
- (30)まとめ

**履修上の留意点**

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題はその都度指摘します。

**成績評価の方法**

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

**教科書**

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。最初の講義の際に紹介します。

**参考書等**

最初の講義の際に紹介します。

履修コード	323701
科目名	裁判法
担当者名	<small>いほたとしはる</small> 五百田俊治

**講義のねらい**

民事・刑事・行政裁判手続について、基本理念・概念を示しつつ、実務家の観点から、実際の手続の特色・流れを講義します。

民事・刑事・行政裁判手続の授業割合は、民事6割、刑事3割、行政1割を目安にしています。希望者に、講義中質問し、解答を求めることにより、講義にアクセントをつけることを実施する予定です。

**履修上の留意点**

講義中の私語や携帯電話の使用は厳禁します。講義開始時の遅刻も極力避けて下さい。

**成績評価の方法**

学年末試験のみで評価します。持ち込みは一切不可で、追試も行いません。

**教科書**

五百田俊治「裁判法」2007年刊、DTP出版 3300円

履修コード	323401
科目名	国際法
担当者名	王 <sup>おう</sup> 志安 <sup>しあん</sup>

講義のねらい  
講義の内容・  
授業スケジュール

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。  
国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

履修上の留意点

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

成績評価の方法

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

教科書  
参考書等

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

その他

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版 2006年）  
大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円  
市販されている国際条約集  
授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

履修コード	327031・327011・327021
科目名	新入生演習
担当者名	向田 正巳・西 修・佐藤 多美夫・北野 かほる・鶴井 俊吉・中田 英幸

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新入生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、原則として一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していった方が望まれています。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせ、全体としてこれらの基本的なスキルが身につけていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
  - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
  - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
  - ・六法全書の読み方と使い方
  - ・法学用語集や辞書の活用方法
  - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
  - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
  - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
  - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
  - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
  - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。国民の休日などの関係で、次回授業日がずれることがあります。毎回出席して、次回授業日を確認してください。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

指定教科書はありません。

参考書、課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

履修コード	325001
科目名	債権総論
担当者名	中田 英幸

**講義のねらい** 本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1)序論(1)
  - (①債権総論とは何か②債権とは何か)
- (2)債権の「目的」(2-3)
  - (①債権の「目的」の意味②債権の種類)
- (3)債権の効力(4-13)
  - (①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者遅滞)
- (4)債権債務の移転(14-18)
  - (①債権譲渡②債務引受)
- (5)債権の消滅(19-24)
  - (①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同)
- (6)多数当事者の債権関係(25-30)
  - (①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務)

**履修上の留意点**

最新の六法は必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

**成績評価の方法  
教科書  
参考書等**

期末試験により評価する。  
野村豊弘ほか著『民法III-債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）  
星野英一ほか編『民法判例百選II債権（第5版新法対応補正版）』（有斐閣、2005年）  
他の文献は講義中に指示する。

履修コード	324601
科目名	物権法
担当者名	今尾 真

**講義のねらい** 民法総則講義において、民法全般の仕組みと基本的概念や制度を一通り学習した学生を対象に、債権とともに二大財産権の一つである物権（担保物権を除く）について、人と物の関わり・各物権の特質・各制度の特徴・隣接諸制度等を、より深く、より詳細に理解することを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール**

物権の意義・性質・効力・物権変動のメカニズムといった物権法総論部分の学習をした上で、各種物権（占有権から用益物権まで）を個別的に細かく学習する。特に、物権取引の安全と公示・公信の要請という理念を反映する物権変動論につき、これらの理念をどこまで貫徹できるかの観点から、各種物権および他の諸制度との関連で検討する。

**履修上の留意点  
成績評価の方法**

民法総則は、履修済みまたは最低限同時履修の上、本講義に出席することが望ましい。講義の出席回数と前・後期各一回の定期試験の結果を総合判断して評価する。ちなみに、テスト形式は、択一式の問題（5択）を2～3問、論述式の問題を1問という出題形式で、2006年度は2回試験をした。

**教科書  
参考書等**

宮本健蔵編『マルシェ物権法・担保物権法〔改訂第2版〕』（嵯峨野書院）2005年  
星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I総則・物権〔第五版新法対応補正版〕』（有斐閣）別冊ジュリスト159号、2005年

**その他**

多人数を想定した講義科目であるが、授業中、随時受講生に質問しながら、大規模なゼミ形式を念頭において講義を行う予定である。積極的に発言することを希望する。



履修コード	324001
科目名	日本法制史
担当者名	しげのふみはる 茂野隆晴

講義のねらい

全ての学問には史学がある。法を学ぶものにとって、もっとも身近な史学が法制史である。われわれは来し方を回想するときのみならず、未来に進もうとするとき、何らかの形で、過去の知識(歴史)を知ろうとしよう。

現代の社会知識を知ろうとするとき、その手がかりを過去の社会生活に求めるのは自然であろう。そうした意味からも、日本法の歴史の本質的なものを身につけてほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 日本法制史とその時代区分
2. 上古(氏族法時代)Ⅰ
3. 上古(氏族法時代)Ⅱ
4. 中古(律令法時代)Ⅰ
5. 中古(律令法時代)Ⅱ
6. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代)Ⅰ
7. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代)Ⅱ
8. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅰ
9. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅱ
10. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)公法・刑事編Ⅲ
11. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)私法・民事編Ⅰ
12. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代)私法・民事編Ⅱ
13. 近代(含む幕末)Ⅰ
14. 近代(含む幕末)Ⅱ
15. 婚姻関係(ことわざと川柳等による)

上記は1. と15. を除き、それぞれの項目ごとに2週を割当ててを目安としています。

成績評価の方法  
教科書

学期末試験と出席状況を総合して評価す。

大久保治男・茂野隆晴『日本法制史史料60選－史資料へのいざない－』1998年(芦書房)2,300円

履修コード	324301
科目名	政治学原論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義のねらい I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階(2835)にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と説明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

- A 政治学の課題と対象、および方法(1)
- B 政治の原理的究明
  - (1) 政治的なるもの
    - ～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従
  - (2) 共同体的なるもの
    - ～国家、社会、主権、法
  - (3) イデオロギー的なるもの
    - ～イデオロギー、正義、自由、平等、人権(シティズンシップ)(2～15)
- C 政治の思想(史)的究明(15～18)
- D 政治の実体論的究明
  - (1) 制度論的究明
    - ～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制
  - (2) 機能論的究明
    - ～政党、圧力団体(19～30)

成績評価の方法

試験による単位認定

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。なお試験は通常の授業時間を利用して実施します。欠試者に対しては、レポートを課します。※追試験は実施しません。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂) 3,000円

大塚桂『政治哲学入門』(法律文化社) 2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

履修コード	324401
科目名	経済原論
担当者名	<small>ふじわらひろのり</small> 藤原碩宣

講義のねらい	経済学の基礎理論および概念の理解 現代日本経済の実状とその背景、および展望の理解
講義の内容・ 授業スケジュール	前期：主としてマクロ経済学を中心として行います。 経済学の規範、経済学の流れ－A. スミスとJ. M. ケインズ－、国民経済の循環過程、国民所得決定理論－消費と投資はどのように決まるのか、 後半では、経済政策の体系、目的、手段、主体の話を通じて、わが国の実状の理解を深めます。 後期：主としてミクロ経済学を中心として行います。 個別経済主体の行動理論－消費者選択、生産者行動、寡占経済理論－屈折需要曲線の理論、フルコスト原則、参入阻止価格論によって現代社会の実態を理解します。 後半では、財政・金融、社会保障といった日本の実状を理解する事を中心に応用経済学のお話をします。
履修上の留意点	授業に出席しノートをよくとって下さい。
成績評価の方法	定期試験による。前期、後期の範囲から各1問づつ出題、論述式。 レポート等の自助努力の成果物を提出した場合は、それも加点する。
教科書	藤原碩宣他著『経済と経済学』実教出版（授業では、テキストに従って説明するのではなく、より詳しく理解してもらうために使用する）
その他	参考資料等は適宜指示する。数回毎に質疑応答の時間を設ける。

履修コード	324501
科目名	行政学
担当者名	<small>こだま ひろあき</small> 児玉 博昭

講義のねらい	行政学は、現代における行政の諸現象を、社会管理と政治行政関係の両観点から、制度・組織・活動の各要素について考察する学問である。この講義は、行政学の全体像を把握し、基礎を理解することを目標とする。 この講義では、はじめに、行政学の対象である行政とは何か、現代の行政国家がどのように成立し、それを受けて行政学がどのように発展してきたかを見る。次いで、制度論として現在の政府体系、政治と行政の関係、中央政府と地方政府の関係を明らかにする。組織論では官僚制の理論と現代組織論をふまえ行政組織の特徴と公務員制度の仕組みを述べる。活動論からは政策の決定・執行・評価の過程、行政責任と民主的統制のあり方を考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	以下の項目を予定している。 1. 行政とは何か 2. 行政国家の成立 3. 行政学の発展 4. 行政改革 5. 現代の政府体系 6. 内閣制度と政官関係 7. 地方自治と分権改革 8. 官僚制の理論 9. 現代組織論 10. 日本の行政組織と行政改革 11. 公務員制度と人事システム 12. 行政活動と政策 13. 政策過程 14. 政策の執行と評価 15. 行政責任と参加
履修上の留意点	行政の現象は広範囲に及び、日常生活とも密接に関わる。行政学の学習にあたっては社会生活全般に関心を持つことが大切である。
成績評価の方法	中間試験（30％）と期末試験（70％）によって相対的に評価する。
教科書	森田朗『現代の行政（改訂版）』（放送大学教育振興会）2,000円
参考書等	授業内に適宜指示するか、印刷して配布する。

履修コード	325501
科目名	商法総則・商行為法
担当者名	川口 幸美

講義のねらい	民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	①-⑥は商法総則、⑦-⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。 ①商法総則（商法の意義） ②商法の適用（商行為概念・商人概念） ③営業譲渡（商号の保護） ④商号 ⑤商業使用人（支配人・その他） ⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力） ⑦商事売買取引（国際売買取引契約） ⑧運送契約 ⑨仲立人・取次人・商事代理 ⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ）
履修上の留意点	教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権法）を同時履修するか、既履修であることが望ましい。
成績評価の方法	試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。すなわち、就職活動・部活動および病欠等についても、特にこれらの者を優遇することはないので、ご理解いただきたい。
教科書 参考書等	開講時に指定する。 鴻常夫著「商法総則」(弘文堂) 江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」(弘文堂) 鴻常夫、竹内昭夫、江頭憲治郎／編 別冊ジュリスト 「商法総則・商行為法判例百選（第4版）」
その他の他	（当然のことだが）授業中の私語・携帯の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。

履修コード	324701
科目名	刑法各論
担当者名	佐藤 多美夫

講義のねらい	人は、犯罪を行うと刑罰に処せられます。本講義では刑法学の中の「刑法各論」の分野を扱います。刑法総論は殺人・詐欺といった全ての犯罪に共通する要素や原則を取り上げて検討するのに対し、刑法各論は、殺人罪や詐欺罪といった具体的内容を、その犯罪独特の成立要件や、近接する他の犯罪との関連を考察いたします。刑法各論は、刑法典の第2編であるが、本講義では、個人的法益に対する罪（所謂生命・身体・自由・財産等）を中心に扱います。個々の犯罪成立要件を適切に解釈し、刑法第何条を適用するのが妥当であるかを理論的に説明できるようになることが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	1 刑法各論の概説 2 生命・身体に対する罪 ①概説、②殺人の罪、③傷害の罪、④過失傷害の罪、⑤墮胎の罪、⑥遺棄の罪 3 自由に対する罪 ①概説、②逮捕及び監禁の罪、③脅迫の罪、④略取及び誘拐の罪、⑤強制わいせつ・強姦罪、⑥住居侵入罪、⑦秘密を侵す罪 4 名誉・信用に対する罪 ①名誉に対する罪、②信用及び業務に対する罪 5 財産に対する罪 ①概説、②窃盗罪、③強盗罪、④詐欺罪、⑤恐喝罪、⑥横領罪、⑦背任罪、⑧盗品等に関する罪、⑨毀棄隠匿の罪 6 公衆の安全に対する罪 7 偽造の罪 8 風俗秩序に対する罪 9 国家法益に対する罪
成績評価の方法	筆記試験とその他総合評価とする。
教科書 参考書等 その他	学内指定書店の指示を受けて下さい。 適宜紹介します。 予習復習をして下さい。

履修コード	323901
科目名	刑事政策
担当者名	かくしやう とよかぜ 覚正 豊和

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- | 回数   | 授業の内容   |
|------|---|
| 第1回  | 受講のガイダンス<br>刑事政策の意義と課題                                  |
| 第2回  | 刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。<br>犯罪学の歴史と展開<br>その起源から近代学説までを学ぶ。 |
| 第3回  | 現代犯罪学の課題<br>ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。          |
| 第4回  | 犯罪の理念<br>犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。           |
| 第5回  | 刑事政策と暗数<br>犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。              |
| 第6回  | 犯罪の原因(1)<br>身体的・生理的要因について学ぶ。                            |
| 第7回  | 犯罪の原因(2)<br>個人環境的要因について学ぶ。                              |
| 第8回  | 犯罪の原因(3)<br>社会環境的要因について学ぶ。                              |
| 第9回  | 刑罰の意義・機能・沿革<br>意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。   |
| 第10回 | 死刑<br>憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。                              |
| 第11回 | 自由刑<br>意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。                     |
| 第12回 | 財産刑<br>罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。                          |
| 第13回 | 保安処分<br>意義、種類、要件などについて学ぶ。                               |
| 第14回 | 少年保護手続<br>家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。                     |
| 第15回 | 定期試験(予定)  |
| 第16回 | 犯罪者の処遇<br>意義、原則、動向について学ぶ。                               |
| 第17回 | 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察<br>微罪処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。              |
| 第18回 | 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察<br>起訴猶予などについて学ぶ。                       |
| 第19回 | 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判<br>量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。       |
| 第20回 | 矯正の意義・目的<br>矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。              |
| 第21回 | 受刑者の処遇<br>法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。              |
| 第22回 | 犯罪の予防<br>意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。                     |
| 第23回 | 更生保護<br>意義、措置、概況などについて学ぶ。                               |
| 第24回 | 恩赦・資格制度<br>恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。                       |
| 第25回 | 被害者補償<br>意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。                        |
| 第26回 | 各犯罪と対策<br>少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。                            |
| 第27回 | 各種犯罪と対策<br>組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。                      |
| 第28回 | 各種犯罪と対策<br>薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。                          |
| 第29回 | まとめ<br>討論及び質疑   |
| 第30回 | 定期試験  |

履修上の留意点  
成績評価の方法

初回の授業において指示する。  
定期試験および平常点

教科書等 斎藤・覚正「刑事政策論（2007年）」（八千代出版）3,500円 ISBN978-4-8429-1421-3  
 参考書等 授業において指示する。

履修コード	324801
科目名	債権各論
担当者名	須賀 昭徳 <small>すが あきひろ</small>

講義のねらい 民法は財産法と家族法とに分類される。そして財産法は総則編・物権編・債権編よりなっている。家族法は親族編・相続編よりなっています。そして債権編は総論と各論に分かれている。本講義では債権各論と称される分野を講義するものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

ところで現代社会は契約を中心とする取引社会である。債権各論ではこの契約法を中心として講義するものである。そして事務管理不当利益・不法行為についても概略・説明したつもりである。

〈前期〉

①契約総論序説 ②契約自由の原則とその修正 ③契約の種類 ④契約の成立 ⑤同時履行の抗弁権 ⑥危険負担（1） ⑦危険負担（2） ⑧契約の解除（1） ⑨契約の解除（2） ⑩贈与 ⑪売買（1） ⑫売買（2） ⑬売買（3） ⑭交換・消費貸借 ⑮使用貸借

〈後期〉

①賃貸借（1） ②賃貸借（2） ③賃貸借（3） ④借地借家法 ⑤雇用 ⑥請負 ⑦委任 ⑧寄託 ⑨組合・和解 ⑩事務管理 ⑪不法原因給付 ⑫不当利得 ⑬不法行為（1） ⑭不法行為（2） ⑮不法行為（3）

履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書等  
参考書等

講義にはかならず六法を持参すること。

期末試験の成績により評価する。

甲斐道太郎・乾昭三・樺寿夫編『新民法概説（2）第3版』（有斐閣）2,000円

講義の中で指示する。

履修コード	324201
科目名	法思想史
担当者名	高橋 洋城

**講義のねらい** 法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な様式なのだというのを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

**第 I 部 古典的自然法論とその背景的世界像**

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

**第 II 部 近代自然法論の思想**

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

**第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流**

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

**履修上の留意点**

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

**成績評価の方法**

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

**教科書**

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

**参考書等**

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

専門教育

履修コード	327601・327602
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	<sup>あらか</sup> 荒木 <sup>まさたか</sup> 正孝

**講義のねらい** この数年、社会・経済情勢の急速な変化に対応するため、会社法を中心とした改正が頻繁に行われた。その結果、制度間の規制の不均衡が生じたため、これを是正するとともに各種制度の再検討をし、かつ現代語化をはかるため平成18年に新たな会社法典が施行された。新会社法は、会社法制全般にわたる大改正で実務にも大きな影響を与えることになる。今年は、この新会社法の内容や立法の理由などについて研究するつもりである。

**講義の内容・授業スケジュール** 新会社法の諸問題の中から重要なテーマを選び、それぞれゼミ生に担当してもらい、その報告を中心にしてみんなで議論するという方法でゼミを進めてゆきます。

**履修上の留意点** 履修者は、すでに会社法の授業を履修済みで定期試験に合格しており、会社法の基本的な知識を身につけている必要があります。

**成績評価の方法** 成績は、リポーターとしての報告の内容や程度、発言内容や回数、そして出席の回数などを総合的に評価してつけます。学年末におけるペーパーテストは行いません。

**参考書等** 教材や参考書については、最初のゼミの際に指示します。

履修コード	327901・327902
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	<sup>おおみや</sup> 大宮 <sup>たかし</sup> 隆

**講義のねらい** 家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

**履修上の留意点** 予習が必要である。

**成績評価の方法** 年間を通して、総合的に評価する。

**教科書** 泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

履修コード	327201・327202
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	<sup>かねこ</sup> 金子 <sup>しょうへい</sup> 昇平

**講義のねらい** 本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組みおよび複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

**講義の内容・授業スケジュール** ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究および、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくりたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

①環境の問題 東京大気汚染事件、熊本水俣病事件、田子の浦ヘドロ事件、大阪空港事件、名古屋新幹線事件、横田基地、厚木基地事件、国道43号線事件、武蔵野マンション事件、国立マンション事件。②教育の問題 学問の自由と学生の自活、ボロボロ事件、教育を受ける権利と教育権・私立大学における学生の思想、表現の自由、校則の問題、いじめ事件、学生処分と教育的裁量権・学校事故③公務員の問題 公務員関係の法的性質、公務員における不利益処分と救済、職員の措置要求権、職員の財産上の権利、安全配慮義務、公務傷病等に対する補償を受ける権利・服務・職務命令と服従義務、職務上の秘密の意義、公務員の労働基本権④地方自治の問題 地方公共団体の情報公開、直接請求、住民投票、青少年保護育成条例、公安条例、要綱による開発負担会、公営住宅の使用関係、議会と政務調査費、議員の研修旅行、教育委員会の公開原則、住民監査請求、住民訴訟、国民健康保険⑤租税の問題 租税法律主義の意義、サラリーマン税金訴訟、租税回避行為の否認、所得控除の意義、固定資産税訴訟、消費税、輸入禁止措置と検閲、租税訴訟における文書の提出の申し立て⑥医療の問題 診療記録閲覧請求、予防接種事件、ハンセン病事件、健康食品と医薬品の定義⑦高齢者の問題 高齢者虐待防止法、高齢者の在宅介護、特別養護老人ホーム、老人保健施設⑧福祉の問題 生有権と生活保護基準、福祉法にかかる問題

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。

年二回、公的施設の見学会を行う。

**履修上の留意点** ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体にアウトして、担当者と面会し、取材してもらいたい。

**成績評価の方法** 出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

**教科書その他** 適宜指示する。

発表者は、レジュメを作成し、論点および、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。



履修コード	327701・327702
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	北野 <small>きたの</small> かほる

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。  
ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。  
演習Ⅰ（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。  
演習Ⅱ（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。  
演習Ⅰ（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。  
演習Ⅱ（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。  
提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。  
随時適宜紹介する。  
十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。  
英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。

履修コード	326901・326902
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	中田 <small>なかつた ひでゆき</small> 英幸

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
参考書等

本演習の目的は、財産法(民法総則・物権・債権)に関する判例を素材として、民法の解釈を学習することにある。紛争が発生した経緯を理解し、望ましい結論(法的判断)を考えることにより、法の運用を学び、法的思考を養う。  
(3年生)前期は、財産法に関する基本判例を演習の素材とする。演習参加者は、初回到報告する判例を選び、報告前にレジュメの配布・参考文献の指定をすること。後期は、最近の判例を演習の素材として前期と同じく報告をする。演習の進め方は前期と同様である。なお、報告者は、演習での質疑応答を踏まえたレポートを作成する。  
前期・後期ともに、適宜基礎知識の確認を行う。  
(4年生)卒業レポートの作成を目標とする。自ら法的課題を見出し、検討を加え、結論を導く。演習において卒業レポートの中間報告を行う。  
以上の内容は、演習参加者の希望や参加人数によって変更することがある。  
民法に興味を持ち、勉強する意欲があることが大前提である。  
必ず毎回出席し、積極的に発言すること。  
報告内容、演習での発言、レポートにより評価する。発言は、結論よりも、結論に至るまでの理由づけや思考過程を重視する。  
演習にて適時指示する。

履修コード	327301・327302
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	西 <small>にし おさむ</small> 修

講義のねらい  
講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点  
成績評価の方法  
教科書  
参考書等  
その他

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切に、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずから磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけた場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。  
(1)ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。  
(2)とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。  
(3)ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。  
前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1)日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2)憲法第9条をめぐる諸問題、(3)世界の憲法トレンド、(4)人権の現代的意味などを考えています。その他、年に1回は合宿を行います。  
「講義のねらい」で記述した方針でのぞみますので、毎日出席すること。  
出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。  
開講時に指示する。  
適宜紹介する。  
合宿中に私の落語を聴かされることがあります。

履修コード	327101・327102
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂

講義のねらい

わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

講義の内容・授業スケジュール  
履修上の留意点

本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。

成績評価の方法

ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。講義科目として、労働法はもとよりのこと、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

教科書  
参考書等

出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追試はありません。開講時に話しをします。必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探すことが勉強の第一歩と思っています。

履修コード	327911・327912
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	むかいだ まさみ 向田 正巳

講義のねらい

本演習では、判例研究を通じて、民法を基礎から学びます。民法の基本判例を読みながら民法における基本的なものの考え方、法的思考の基本を学び、演習参加者が裁判実務、ビジネス法務実務、行政実務等それぞれの進路においてその知識を活かす術を学ぶことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず判例百選等でとりあげられるような基本判例を読みながら民法の基礎的な論点を学習し、それを通して判例の読み方、教科書のまとめ方、論文などの資料調査と研究報告の方法について学びます。次に10月くらいからになると思いますが、最高裁判所民事判例集等から最新の判例をゼミのグループ単位で選び、判例のなかから民法解釈上の論点を抽出し、従来の学説、判例に照らし合わせながら検討するという作業を行います。最後に時間があれば参加者が各自、関心のあるテーマにつき個別に報告、レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点

民法の基礎をしっかりと学び、民法の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

成績評価の方法

出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。

教科書  
その他

演習の始めに指示します。  
コンパ、合宿を予定しています。

履修コード	327501・327502
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	まつむら いなる 松村 格

講義のねらい

刑法総論の講義で学習したことを基礎にして、具体的な事例をどのように解決すれば、刑法の基本原則に反することなく刑法の使命（法益保護・人権保障・秩序維持）に合うかを考えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半に、刑法総論の基本的事項について総復習します。毎回全員に質問することによって、刑法総論の理解度を確認します。理解度が足りない学生は履修を断ります。前期の後半以降は、各人が最も関心のある問題点ないし争点を選び、それについて研究したことを発表し、各人の質疑応答によって研究を深めていきます。

履修上の留意点

刑法総論の単位を取得していなければ履修することはできません。毎週、基本書・参考書・判例解説書・六法全書・ノートを携帯して出席してください。参加することが不可欠ですから、理由なき欠席は許しません。毎回必ず何らかの意見を（その是非・妥当性は別として）主張することを義務とします。意見表明のない学生には、履修途中でも脱退してもらいます。

成績評価の方法

普段の授業における予習・復習の内容、質疑応答回数と内容、研究発表の内容によって評価します。試験はしません。

教科書

松村ほか『刑法総論』ミネルヴァ書房（3800円）  
別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ総論【第五版】』有斐閣  
参考書は予定しない。

参考書等

履修コード	326301
科目名	担保物権法
担当者名	熊谷 芝青

**講義のねらい** 企業等に就職した際に、取引先との決済としての手形、その手形債務を含めた、取引先の債務を担保するための担保物権、そしていよいよ取引先が危なくなったときの破産手続きという法的知識が特に求められます。これらの重要な法的知識の中で、担保物権に関する講義を行います。  
また債権法と物権法の両領域にまたがる法分野ですので、債権法と物権法の関連知識の復習にも心がけることにします。

**講義の内容・授業スケジュール** 1. 担保物権法概論, 2. 留置権, 3. 先取特権, 4. 質権, 5. 抵当権総論, 6. 抵当権の目的の範囲, 7. 抵当権の効力, 8. 法定地上権, 9. 抵当権の処分, 10. 共同抵当, 11. 根抵当, 12. 仮登記担保, 13. 譲渡担保, 14. 所有権留保, 15. 権利質, 16. 債権の譲渡担保

**履修上の留意点** 担保物権を学習するには、債権法と物権法の知識を必要とします。この両法を学習していることを期待します。ただし、債権法と物権法の必要な知識はその都度確認するつもりです。

**成績評価の方法** 学年末の筆記試験を中心に総合的に評価します。

**教科書** 近江幸治『民法講義III 担保物権(第2版)』(成文堂)

履修コード	326411
科目名	家族法
担当者名	竹中 智香

**講義のねらい** 民法典のうち、第四編「親族」と第五編「相続」の講義を行います。前期に取り上げる親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、戦前の家督相続が、第二次大戦の敗戦後、庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

**講義の内容・授業スケジュール** [前期]  
(1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴  
(2) 氏と戸籍、親族  
(3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件  
(5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制  
(7) 婚姻解消  
(8・9) 親子：実親子関係  
(10・11) 親子：養親子関係  
(12) 後見・保佐・補助、扶養  
[後期]  
(1) わが国の相続法の変遷とその背景  
(2) 相続人  
(3～5) 相続の効力：相続財産の範囲  
(6) 相続の効力：相続分  
(7) 相続の効力：遺産の共有  
(8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権  
(10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在  
(11・12) 遺言と遺留分

**履修上の留意点** 身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

**成績評価の方法** 学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

**教科書** 有斐閣双書『民法(8) 親族 [第4版増補補訂版]』(有斐閣) 1,600円  
有斐閣双書『民法(9) 相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

**参考書等** 六法  
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』(有斐閣) 2,200円  
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

専門教育

履修コード	324901
科目名	有価証券法
担当者名	<small>なかほま よしあき</small> 中濱 義章

**講義のねらい** 手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

**講義の内容・授業スケジュール** 講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡求
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

**履修上の留意点** 六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。

**成績評価の方法**  
教科書  
参考書等

民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。  
期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。  
濱田惟道『手形法小切手法』（文真堂）  
開講時に指示します。  
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）  
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第2版）』（有斐閣）

履修コード	326501
科目名	保険・海商法
担当者名	<small>いのうえ けんいち</small> 井上 健一

**講義のねらい** 商法のうち、保険取引および海商を含めた国際取引に関する法規整を概観する。この分野は、商法典の条文、もしくは判例の理解のみならず、約款や条約、あるいは商慣習なども含めた実務慣行に注意を払う必要がある。いわば実務との関係で「生きている法」を扱うという意味で、意欲を持って取り組みれば非常に面白い内容である。前期は保険法を、特に保険契約法を中心に扱い、後期は海商法およびそれに関連した国際取引に関する契約に対する法規整を扱う。保険会社や商社などの実務に興味がある者は是非参加してほしい。

**講義の内容・授業スケジュール**

- I 保険法
  1. 保険法総論・保険契約法総論
  2. 損害保険契約
  3. 生命保険契約
  4. 傷害保険
- II 海商法・国際取引法
  1. 海商法・国際取引法総論
  2. 海上企業者
  3. 海上運送契約・国際取引契約
  4. 海上危険
  5. 国際取引における紛争解決

**履修上の留意点**  
**成績評価の方法**

民法（総則・債権各論）および商法総則・商行為法を履修済み、履修中であることが望ましい。  
原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で対話式のケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

**教科書**  
**参考書等**  
**その他**

山下・竹濱・洲崎・山本「保険法」（第2版）（有斐閣）1900円 4-641-12233-4  
レジュメで随時紹介する  
授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

専門教育

履修コード	326601
科目名	民事訴訟法
担当者名	間瀬 清史

**講義のねらい** この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続のみならず、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民事訴訟の全体像と民事理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

**講義の内容・授業スケジュール**

(1～2) 民事紛争の解決制度、(3) 民事訴訟制度の現代的課題、(4) 訴え、(5) 裁判所、(6) 当事者、(7) 第三者による訴訟追行、(8～9) 本案と訴訟要件、(10～11) 当事者と裁判所の役割、(12) 口頭弁論の諸原則、(13) 口頭弁論の準備、(14) 証明と証拠、(15) 証明責任、(16) 当事者の行為による訴訟の終了、(17～19) 終局判決とその効力、(20～21) 複数請求、(22～24) 共同訴訟、(25～26) 訴訟参加、(27) 当事者の変動、(28～29) 上訴・再審、(30) 簡略な手続

**履修上の留意点  
成績評価の方法**

民事実体法の基本事項について一応の理解を有することが履修の前提となります。

日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

**教科書**

名津井吉裕ほか著『民事訴訟法』(法学書院)2007年、3200円(税別)。

**参考書等**

小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』(悠々社)2001年。  
小林秀之編『法学講義 民事訴訟法』(悠々社)2006年。  
青山善充・伊藤真編『民事訴訟法の争点 [第3版]』(有斐閣)1998年。

履修コード	327001
科目名	刑事訴訟法
担当者名	松本 英俊

**講義のねらい** 我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期

- (1・2) 刑事手続の概観・基本原理
- (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒
- (5・6) 任意捜査と強制捜査
- (7・8) 証拠の収集
- (9・10) 逮捕・勾留
- (11・12) 被疑者取調べ
- (13) 被疑者の防御

後期

- (14・15) 公訴・検察官制度
- (16・17・18) 訴因を巡る諸問題
- (19・20) 公判手続
- (21) 証拠の基本原則
- (22) 排除法則
- (23) 自白法則
- (24・25) 伝聞法則
- (26) 上訴・再審

**履修上の留意点**

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

**成績評価の方法**

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。追試験は実施しない。

**教科書**

参考書等を授業で紹介いたします。

**参考書等**

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選 (第八版)』(有斐閣)2,200円

**その他の**

授業は講義形式で行う。

履修コード	325101
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい	<p>今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。</p> <p>この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法や男女雇用平等などです。</p> <p>本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。</p> <p>授業では、下記事項について、行います。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 労働法の基礎的考え方</li> <li>(2) 日本型雇用システムの変化と労働法</li> <li>(3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合</li> <li>(4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴</li> <li>(5) 雇用における男女平等</li> <li>(6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約</li> <li>(7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間</li> <li>(8) 人事異動－配転、出向、転籍</li> <li>(9) 賃金、賞与、退職金</li> <li>(10) 労働時間、時間外・休日労働</li> <li>(11) 休憩、休日、休暇</li> <li>(12) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇</li> <li>(13) 労働災害など</li> </ol>
履修上の留意点	<p>出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No、そして無断で席を立つことは No。いわゆる授業のマナーは守ってください。</p> <p>憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。</p>
成績評価の方法	<p>成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価はつきません。ミニテスト、前期試験、レポートや出席を含めて、総合的に評価します。</p> <p>追試験は実施します。</p>
教科書	<p>参考までに挙げますと、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）や金子征史ほか著『入門労働法』（有斐閣双書）です。受講者は必ず1冊は用意してください。</p>
参考書等	<p>なお、今、教科書(共著)を作成しています(準備中)。</p> <p>第1回目の授業で、プリントで紹介します。</p> <p>六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、これも1回目の授業で話します。</p>
その他	<p>皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。</p>

履修コード	325301
科目名	社会保障法
担当者名	<small>わきの こうたろう</small> 脇野 幸太郎

講義のねらい

現在、社会保障に対する国民的な関心が高まっています。それは、社会保障の諸制度が私たち国民の日常生活と深い関わりを有しているためであると思われます。ただし、その関心は、年金問題に典型的にみられるように、わが国の社会保障制度への不安や不信を伴ったものであることもまた事実です。

しかし、ただ不安に思っているだけでは問題は解決しません。社会保障とはどのようなものであり、なぜそれが必要なのかを理解することがまず重要です。本講義では、このような観点から、社会保障法を構成する個別制度の検討およびそれに基づく社会保障法の基礎理論の考察を通じて、社会保障の法的な理解を深めることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

第0章：オリエンテーション、第1章：社会保障法序論、第2章：医療保障制度（健康保険、国民健康保険等）、第3章：年金制度（国民年金、厚生年金等）、第4章：労働保険（労災保険制度、雇用保険制度）、第5章：介護保険制度、第6章：社会福祉の諸制度（児童福祉、障害者福祉等）、第7章：公的扶助（生活保護）制度、第8章：社会保障法総論（最後に改めて社会保障とは何かを考える）

履修上の留意点

本講義では、現行の社会保障法の諸制度の内容および社会保障法の基礎理論の理解に重点を置くこととし、社会保障の法政策論については、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱うこととします。従って、本講義の受講者は「社会政策」の講義もあわせて受講されることを強くお勧めします。

成績評価の方法

筆記試験の結果（80％）と出席（20％）により評価します。また、出席に代えて時折実施する小テストの結果も考慮します。

教科書

開講時に指定します。その他毎回レジュメを配布します。六法は『社会保障法令便覧』（労働調査会）を必ず用意すること。

参考書等  
その他の

講義中に随時紹介します。

授業の進め方等については、初回の講義で説明しますので、受講希望者は初回の講義には必ず出席してください。

履修コード	326911
科目名	行政救済法
担当者名	なかた たかひと 仲田 孝仁

講義のねらい

「行政救済法」とは、違法・不当な行政活動に対する事後的な権利利益の救済制度を指す。本講義では、行政救済制度の概要について説明し、次に行政自身に対して、行政活動の適否を判断してもらおう仕組みである、「行政不服申立て（行政不服審査法）」および行政による権利利益の侵害に対し、行政活動そのものに関する救済制度としての、「行政訴訟（行政事件訴訟）」、さらに金銭的解決の制度として民法上の損害賠償制度に対応する「国家賠償」ならびに国・公共団体の適法な活動によって生じた損失の填補である「損失補償」（以上、国家補償）といった法制度を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

<春学期>

- 第1回 行政救済法概説（行政救済とは、行政争訟法と国家補償法の違いについて。）
- 第2回 行政争訟法概説（1）－行政事件訴訟概説（行政事件訴訟法について。）
- 第3回 行政争訟法概説（2）－行政不服申立て概説（行政不服審査法について。）
- 第4回 国家補償法概説（1）－損失補償概説（損失補償とはいかなる仕組みか。憲法上の根拠は。）
- 第5回 国家補償法概説（2）－国家賠償概説（国家賠償法とはいかなる法律か。）
- 第6回 行政不服申立て（1）－行政不服審査法の基本構造
- 第7回 行政不服申立て（2）－不服審査の審理の仕組み
- 第8回 行政不服申立て（3）－具体例について学ぶ
- 第9回 行政不服申立て（4）－（1）から（3）のまとめ
- 第10回 行政審判
- 第11回 苦情処理
- 第12回 オンブズマン
- 第13回 授業のまとめ

<秋学期>

- 第1回 行政事件訴訟法概説（主観訴訟と客観訴訟の違い。抗告訴訟と当事者訴訟の違いなど。）
- 第2回 取消訴訟の基本構造（取消訴訟とはいかなる訴訟か。）
- 第3回 取消訴訟の対象・審理（取消訴訟の対象は。）
- 第4回 訴訟要件（1）－処分性
- 第5回 訴訟要件（2）－原告適格（取消訴訟は誰が提起することができるのか。）
- 第6回 取消訴訟における仮の救済－執行停止（取消判決が下される以前の行政処分の効力は。）
- 第7回 取消訴訟以外の抗告訴訟、客観訴訟（取消訴訟以外の訴訟類型について。）
- 第8回 国家賠償法概説（国家賠償とはいかなる仕組みか。）
- 第9回 1条責任－公権力責任（違法な公権力の行使を争う方法について。）
- 第10回 2条責任－営造物責任（道路に構造上の欠陥があり、被害を受けた場合どのように争えばよいか。）
- 第11回 損失補償法概説
- 第12回 国家賠償と損失補償の谷間－予防接種訴訟を例として
- 第13回 授業のまとめ

履修上の留意点

講義では、履修者諸君との対話を重視する。また、パワーポイントのスライド等を用いて、視覚に訴えることでより分かりやすい授業となるよう常に心がけたい。諸君には、問題発見・解決能力、さらにはリーガル・マインドを養っていただく。

履修上の留意点としては、行政法総論を履修中か、既習であることが望ましい。

本講義では、抽象的な理論や学説の説明に終始するのではなく、履修者諸君が実生活をおくる上で、生きた素材を与え、考えさせることを主眼とする。もちろん、これらの知識や考え方は、公務員試験対策や各種国家試験対策にも生かされることとなる。

成績評価の方法

学年末試験（7割）および平常点（3割）の合計により評価する。平常点には小テスト、授業中に課す問題演習、レポートが含まれる。出席は原則とらないが、授業中の発言については、平常点として加算する予定である。

教科書等

- 芝池義一『行政救済法講義 第3版』（有斐閣、2006年）
- 今村成和著・畠山武道補訂『行政法入門〔第8版補訂版〕』（有斐閣、2007年）
- 石川敏行他著『はじめての行政法』（有斐閣アルマ、2007年）
- 宇賀克也編『ブリッジブック行政法』（信山社、2007年）
- 塩野宏『行政法II〔第四版〕』（有斐閣、2005年）
- 宇賀克也『行政法概説II 行政救済法』（有斐閣、2006年）
- 宇賀克也『改正・行政事件訴訟法【補訂版】』（青林書院、2006年）

※いずれも、図書館で参照して下さい。

その他

本講義はつまみ食いの出席では理解することが困難である。しっかりと、出席できる学生諸君のみ履修されたい。



履修コード	325801
科目名	税法
担当者名	中江 博行 <small>なかせ ひろゆき</small>

講義のねらい	現代生活においては、我々は租税に無関心でいることはできない。なぜならば、日常生活では取引・契約は必ず発生し、そこには、通常、課税関係が生じる。 そこで、本講義では、租税の機能・役割から、租税法上の考え方を身につけてもらう。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 1. 租税の目的・意義 2. 租税法主義の原則と租税回避について 3. 所得概念と所得税の基本構造 4. 消費税法のしくみ (後期) 1. 相続税法の基本構造 2. 法人税の課税根拠と企業利益 3. 税務調査(質問検査権)
履修上の留意点	会計学、財政学、簿記学等の科目の履修が望ましい。また小テスト及びレポートの提出を随時求めるが、提出がない場合には期末試験の受験資格を失うこともあるので注意すること。
成績評価の方法	講義中に課す小テスト、レポート及び期末試験の結果を総合して評価する。(定期試験80%、レポート10%、講義の参加態度10%)
教科書 参考書等 その他	中江博行『法人税法講座三訂版』税務経理協会 六法(税法掲載のもの)、別冊ジュリスト『租税判例百選』第4版(有斐閣) 毎回の講義時の連絡事項及びレジュメは、本学サイト内“YeStudy”にアップしておくので講義開始時には、プリントアウトして持参すること。質問は、原則、講義終了時に行うが、E-mail(p5@p-five.com)でも受け付ける。 教員プロフィール 中江博行 税理士、富士大学客員教授、関東学院大学講師 研究分野 法人税法・組織再編税制

履修コード	326001
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄 <small>とみい のさお</small>

講義のねらい	日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。
成績評価の方法	前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。
教科書 参考書等 その他	富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定(内外出版) 『地方自治判例百選(第3版)』(別冊ジュリスト)。 講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履修コード	326201
科目名	国際紛争解決法
担当者名	おう しあん 王 志安

講義のねらい 国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール 国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点 参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

成績評価の方法 <http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>  
年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書等その他 大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円  
市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。  
授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のもまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

履修コード	325901
科目名	国際私法
担当者名	ささき さい 彩

講義のねらい 法律関係の構成要素に外国に関連する要素が一つでも含まれる場合を、一般に渉外的法律関係と呼ぶ。そして、渉外的法律関係に適用すべき法律を指定する規定を定めているのが国際私法である。国際私法は、渉外的法律関係によって生じる紛争を円滑に解決に導く手段のみならず、予めどの国の法律を適用することとなるのか等の予測可能性を高めてくれることにも役立つ。わが国では「法の適用に関する通則法」という法律を中心に国際私法が形成されている。国際私法は、民法や商法のような実質法のように私法問題の判断基準となる法律とは規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範等と呼ばれることがある。このような他の分野と異なる国際私法的センスを習得できるように講義を進めたいと考えている。国際私法は時として難解な科目であると捉えられがちであるが、国際結婚・離婚、国際養子縁組、国際契約等に関する身近な問題を具体例として取り上げ、できる限り分かり易いものとなるように工夫を試みたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の内容及びスケジュールについては、以下のように予定している。  
ガイダンス（1）総説（2～3）国際私法の構造（4～5）準拠法の指定（6～7）準拠法の適用（8～9）総論まとめ（10）婚姻の成立（11～12）婚姻の効果（13）離婚（14～15）親子関係の成立（16～17）親子間の法律関係（18～19）後見及び補佐（20）扶養（21）氏名（22）相続（23～24）遺言（25）不法行為（26）物権（27）国際裁判管轄権（28～29）1年間のまとめ（30）

履修上の留意点 基礎となる他の科目（特に家族法）について基礎知識を有することが望ましい。  
原則として学年末の筆記試験による。  
笠原俊宏著『国際私法要説』文真堂  
いずれかの六法を常に携帯すること。  
授業は講義によって進行するが、随時、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

履修コード	325601
科目名	環境法
担当者名	<small>なかた たかひと</small> 仲田 孝仁

講義のねらい	本講義の目的は、受講者に広く環境問題に関心を持たせることは言うまでもなく、「環境法」の法的枠組みを理解させ、「法」という道具を用いることで、各人が環境問題への具体的解決策を導くための糸口を与えることにある。履修者諸君には、本講義の履修後に、環境問題を一步踏み込んで解釈・分析する視点を持つことが期待される。
講義の内容・授業スケジュール	環境法に係る共通的な法理論・原則を概説した後に、個別的な実定環境法へと講義内容を展開する。1. オリエンテーション、2. 環境法の歴史、3. 環境法の諸原則、4. 環境基本法について、5～8. 廃棄物・リサイクルと法、9～10. 化学物質管理と法、11～13. 大気・水質・土壌環境保全と法、14. 外来生物と法、15. 自然環境保全・種の保存と法、16～17. 環境影響評価と法、18～20. 環境紛争と民事的・行政的解決、21. 道路公害訴訟について、22. 国・自治体におけるディーゼル車規制、23～24. 地球温暖化対策と法、25. 環境リスク管理と予防原則、26. 最終講一環境法の現在・過去・未来
履修上の留意点	学生諸君との対話を重視した双方向型の授業とする。よって諸君には頻繁に発言やメモの提出を求める。講義自体はパワーポイントやビデオ等を用い、視覚に訴えることで分かりやすさを心がけたい。講義内容は基礎的な事項を中心に進めるが、最新判例や理論の動向も加味していく。また、具体的な事例を取り上げ、それらの問題の所存や解決策を諸君とともに模索していく。
成績評価の方法	期末試験の成績（70%）及び平常点（出席点・発言点、レポート、30%）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。
教科書 参考書等	使用しない。インターネット上や新聞、ニュース等が生きた教材となる。 別冊ジュリスト『環境法判例百選』（有斐閣）2004年等。 その他は授業時に指示する。
その他	講義においては、レジュメを配布する。また、必要な範囲で環境法令も配布する。

履修コード	325201
科目名	経済法
担当者名	<small>あらい としお</small> 荒井 登志夫

講義のねらい	規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。
講義の内容・授業スケジュール	1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法・下請法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ
履修上の留意点	講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。
成績評価の方法	成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。
教科書 参考書等	「経済法」（第5版・岸井大太郎・向田直範）ほか・有斐閣アルマ 「独占禁止法（第2版）」（金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂） 根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社） 根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣） 丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社） 「経済法」（鈴木満・深雪・尚学社）
その他	レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

履修コード	325701
科目名	知的財産権法
担当者名	もりおか かずお 盛岡 一夫

講義のねらい 知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるようになることを目的とし、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール 特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

成績評価の方法 知的財産権法概説（1～3）、特許法（4～12）、実用新案法、意匠法（13～15）、商標法（16～19）、不正競争防止法（20～23）、著作権法（24～30）

教科書 前期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

参考書等 盛岡一夫『知的財産法概説〔第4版〕』（法学書院）2600円＋税

中山・相沢・大淵編『特許判例百選〔第3版〕』（有斐閣）、斉藤・半田編『著作権判例百選〔第3版〕』（有斐閣）

履修コード	326701
科目名	民事執行・保全法
担当者名	ふくなが きよたか 福永 清貴

講義のねらい 本講義では、民事執行・民事保全の両手続のうち、とくに民事執行手続を中心に、その解釈上の重要問題と全体構造の理解を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期には、まず総論として、判決手続・執行手続・保全手続の概要や執行手続の種類・態様、民事執行手続の理念・基本構造等について説明する。その後、各論として、強制執行手続（債務名義・執行文・執行関係訴訟等）と担保権実行手続とを比較しながら講義する。後期後半には、民事保全手続（保全命令の発令手続・保全執行手続）について講義する予定である。

履修上の留意点 民法（特に債権法・担保物権法）および民事訴訟法を履修していることが望ましい。

成績評価の方法 後期の期末試験の成績によって評価する。受講生が少ない場合は、出席状況の評価に加えることもある。

教科書 『わかりやすい民事執行法・民事保全法』生熊長幸 著（成文堂）3,300円＋税  
ISBN4-7923-2500-5

参考書等 「民事執行法判例百選」。その他、適宜紹介する。

その他 授業方法は、講義形式である。但し、受講生が少数の場合は、ゼミ形式で行うこともある。適宜、プリントや資料を配布し、毎回具体的な事例を題材として講義する予定である。

履修コード	326801
科目名	倒産処理法
担当者名	すずき たかひろ 鈴木 貴博

講義のねらい 破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点 民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法 簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書 徳田和幸『プレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円

参考書等 山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円

伊藤真『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円

青山善充・伊藤真・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円

履修コード	333301
科目名	財政学
担当者名	はやみ のぼる 速水 昇

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成18年度末で国債の発行残高が約547兆円、地方公共団体の赤字が約205兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約774兆円になる。この数字は19年度わが国のGDP見込みの144.2%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法  
教科書

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）  
速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

履修コード	325401
科目名	国際関係論
担当者名	三船 <small>みふね</small> 恵美

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを講義の目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 国際関係論という学問
2. 国際関係論の4つの理論的視角
3. 国際関係のアクター
4. 国益とパワー
5. 勢力均衡とバンドワゴン
6. 同盟の力学
7. 覇権による安定
8. リベラリズムの考え方
9. ネオ・リベラリズムの考え方
10. ゲーム理論と国際関係
11. 南北問題と構造的暴力
12. コンストラクティヴィズム
13. 平和学の誕生と展開
14. 前期講義のクイズ (quiz = 小テスト)
15. クイズの解説
16. 安全保障の概念と類型
17. 人道的介入
18. 大量破壊兵器の拡散
19. 平和構築と国際機関・国際NGO
20. 日本の領域と日韓関係
21. 日本の領域と日中関係
22. 「人間の安全保障」と人権
23. 「人間の安全保障」と日本のODA外交
24. グローバル化と地域統合
25. 地球環境問題
26. 後期講義のクイズ
27. クイズの解説
28. 総括

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法  
教科書  
参考書等

試験（100%）。  
山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。  
授業中に紹介します。

履修コード	121411
科目名	実務演習I
担当者名	なかの たつひさ 中野 辰久

講義のねらい

本演習は、従前応用憲法演習として実施されていた経過を踏まえ、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえた、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とし、あわせて種々の国家試験や法科大学院への進学も念頭に置いていきたいと思ひます。また、法律実務に関する諸問題についても適宜ご紹介していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

憲法の中でも基本的人権論を中心に取上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。基本的には近年問題となった実際の事件・判決を題材にしていきたいと思ひます。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです（括弧内はこの数年において取り上げた事例です）。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論  
（死刑の合憲性をめぐる問題）
- 3 基本的人権の享有主体  
（外国人の公務就任権の可否）
- 4 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準  
表現の自由・検閲の禁止・事前抑制の原則的禁止の法理とプライバシー権（週刊文春事件）  
表現の自由・明確性の基準  
（青少年保護育成条例事件）  
報道の自由（「あるある大事典」事件）  
集会の自由・集団行動の自由  
信教の自由・政教分離原則  
（内閣総理大臣靖国神社公式参拝訴訟）
- 5 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準  
職業選択の自由・営業の自由  
（プロ野球のドラフト制度の是非）
- 6 社会権を巡る問題  
生存権（生活保護費貯蓄容認判決）  
教育を受ける権利・特別権力関係論・部分社会の法理（校則）
- 7 法の下での平等（議員定数不均衡事件判決、尊属殺重罰規定違憲判決）
- 8 その他

履修上の留意点

出席を成績評価の1要素としますので、出席を取ります。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思います。

成績評価の方法

出席とレポートで評価する予定です。レポートは講義中に課題をお知らせし、後期最終講義終了時に提出してもらう予定です。

教科書

芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第四版』（岩波書店）

参考書等

高橋和之・長谷部恭男・石川健治編『別冊ジュリスト 憲法判例百選I・II（第5版）』（有斐閣）  
演習の都度、レジュメを配布する予定です。

その他、参考となる書籍として下記の書籍を掲記します。

『立憲主義と日本国憲法』高橋和之著（有斐閣）

『憲法I第4版』『憲法II第4版』野中俊彦他共著（有斐閣）

その他

前記のとおり、弁護士の業務内容その他の法律実務の話や日々生起する憲法問題についての紹介等も適宜行っていきたいと思ひます。

履修コード	121511
科目名	実務演習II
担当者名	鶴井 俊吉・上野 雅祥・小林 寛・杉山 真一

講義のねらい	本演習は、民法の領域を中心に演習を行っていきます。その特徴は、①法科大学院への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、双方向授業を行うこと。②法曹になるための前提として、大学院試験等を念頭に入れ、単なる知識をつめこむという演習ではなく、柔軟な物の考え方のできる頭の訓練をすること、の2点である。
講義の内容・授業スケジュール	演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。
履修上の留意点	本演習の性質上、民法総則・物権・債権等を履修している学生を対象とする。なお、受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。
成績評価の方法	出席状況と平常点で総合評価する。
参考書等	演習の都度、適宜指示する。

履修コード	121521
科目名	実務演習III
担当者名	木村 美隆

講義のねらい	刑法の基本的な論点を含む判例を、事実関係から分析検討することを通じ、実務の現場における法適用の一端にふれることを、目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	判例を毎回1件ずつテーマに取り上げます。分野別に分類すると、おおむね次のとおりの予定です。 ①総論分野 a 構成要件該当性(4件)、b 違法性(3件)、c 責任(2件)、d 未遂(1件)、e 共犯(6件) ②各論分野 a 財産犯(3件)、b その他(2件)
履修上の留意点	判旨の結論をそのまま記憶しようというのではなく、常に批判的な視点で検討する姿勢を期待したいと思います。
成績評価の方法	学期末に提出するレポートの内容により、評価します。
教科書	教科書は特に指定しません。判例を学習するのにふさわしい学生向けの判例集を、学期はじめに紹介します。ただし、一度は判例の原典を読み込んでほしいと考えています。

履修コード	307901
科目名	簿記論
担当者名	鈴木 勝浩

講義のねらい	簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 簿記の歴史 (2) 簿記の意義 (3) 簿記の基本原則① (4) 簿記の基本原則② (5) 簿記の基本原則③ (6) 現金預金 (7) 商品売買① (8) 商品売買② (9) 債権債務① (10) 債権債務② (11) 手形① (12) 手形② (13) 有価証券 (14) 固定資産① (15) 固定資産② (16) 資本金と引出金 (17) 収益と費用① (18) 収益と費用 (19) 税金 (20) 補助簿① (21) 補助簿② (22) 伝票会計① (23) 伝票会計② (24) 決算手続① (25) 決算手続② (26) 決算手続③ (27) 決算手続④ (28) 財務諸表① (29) 財務諸表② (30) コンピュータと簿記
履修上の留意点	簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりで欲しい。
成績評価の方法	定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。
教科書	加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記講義3級商業簿記』(中央経済社)
参考書等	加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』(中央経済社)
その他	講義の際には、電卓を持参すること。

履修コード	307601
科目名	経営学総論
担当者名	<small>なとり しゆいち</small> 名取 修一

講義のねらい	企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って、経営者・管理者行動に視点を当てる。
講義の内容・授業スケジュール	前期の目標：前期では、企業経営活動を全般に渡って概観する中で、「企業とは何か」を中心に講義する。そこでは、単に企業そのものの定義や概念を理解するだけでなく、「活動体」であり「存続体」であるという視点から企業と環境の構造的、体系的関連の構図の把握を目指す。 後期の目標： 前期で理解した企業活動の構造的・体系的な理解の上で、体系的な理解を目指す。経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的な統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるような環境創りに努めたい。
履修上の留意点	受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。
成績評価の方法	受講態度（出席状況）・レポート・定期試験により評価する。
教科書等	百田義治編著『経営学 基礎』（中央経済社）
参考書等	鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）、名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』（同友館）
その他	講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。



# Ⅲ 他 学 部 履 修 科 目

履修コード	307501
科目名	商学総論
担当者名	大吹 勝男

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

- 前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円  
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）1,500円

履修コード	309301
科目名	商業政策
担当者名	番場 博之

**講義のねらい** 「クイズ番組の賞金はなぜ1,000万円までしかないのか?」。それは、そのように規定するルールがあるからである。このような流通や商業に関わるルール（公共政策）のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1) 流通・商業問題と流通・商業政策の考え方
- (2～5) 流通・商業の基礎知識
- (6～9) 流通・商業政策の枠組み
- (10～15) 競争政策
- (16～21) 振興政策と調整政策
- (22～27) まちづくり政策
- (28～30) 海外における商業に関わる政策

**履修上の留意点** 詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。  
**成績評価の方法** 定期試験によって評価する。ただし、履修者数によってはレポート等を課すこともある。  
**教科書** ①加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編 ②『現代流通入門』 ③有斐閣 ④2400円 ⑤978-4-641-18351-3

**参考書等** 番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房  
 岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店  
 日本流通学会編『現代流通事典』白桃書房  
 渡辺達朗『流通政策入門』中央経済社

**その他** 現在注目されている流通に関わる新しいトピックをテーマとした「テーマ講義」を何回かおこなう予定である。「テーマ講義」では、ゲストを講師にお願いすることも検討している。

履修コード	310001
科目名	アジア経済論
担当者名	鄭章淵 <small>ちやん ちやくん</small>

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期(冷戦期)に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」(典型的には新古典派開発経済学)のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」(植民地期や戦後1950年代までの時期)も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期]
1. 東アジア経済の全体像 (1～2回)
    - (1) アジアの「多様性」
    - (2) 「東アジア」の範疇
  2. 東アジア経済と経済理論 (3～5回)
    - (1) 従来の経済理論
    - (2) 今日の経済理論
  3. 東アジアの経済発展 (6～10回)
    - (1) 工業化の「前史」
    - (2) 東アジアの経済発展過程
    - (3) 経済発展の特徴
  4. アジアNIEsの経済発展 (11～15回)
    - (1) 用語説明
    - (2) 経済発展の特徴
    - (3) 韓国の開発独裁体制
- [後期]
5. 東南アジア諸国の経済 (16～19回)
    - (1) 主要各国の経済発展過程
    - (2) ASEANの歴史
  6. アジア社会主義諸国の経済 (20～22回)
    - (1) 中国の開放政策
    - (2) その他社会主義国の現状
  7. アジア通貨危機 (23～25回)
    - (1) 危機の背景・原因・特徴
    - (2) 危機への対応策
  8. アジアの地域経済協力 (26～28回)
    - (1) 地域経済協力の歴史と現状
    - (2) 東アジア経済圏の展望
  9. 東アジア経済と日本 (29～30回)
    - (1) 東アジアと日本の関係史
    - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。なお、定期試験とレポートの成績比重は、前者80%、後者20%とする。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。

参考書等

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』(有斐閣アルマ) 2, 000円(税別)  
参考文献については、講義中に随時紹介する。

履修コード	324201
科目名	法思想史
担当者名	高橋 洋城

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

講義の内容・授業スケジュール

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景的世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

履修コード	326801
科目名	倒産処理法
担当者名	鈴木 貴博

<p>講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール</p>	<p>破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。 倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 倒産法制の概観</td> <td>6. 財団再建・取戻権</td> </tr> <tr> <td>2. 破産原因・破産能力</td> <td>7. 破産手続の主体</td> </tr> <tr> <td>3. 破産申立てと破産宣告手続</td> <td>8. 否認権・配当</td> </tr> <tr> <td>4. 別除権・相殺権</td> <td>9. 免責・破産犯罪</td> </tr> <tr> <td>5. 破産財団をめぐる法律関係</td> <td></td> </tr> </table>	1. 倒産法制の概観	6. 財団再建・取戻権	2. 破産原因・破産能力	7. 破産手続の主体	3. 破産申立てと破産宣告手続	8. 否認権・配当	4. 別除権・相殺権	9. 免責・破産犯罪	5. 破産財団をめぐる法律関係	
1. 倒産法制の概観	6. 財団再建・取戻権										
2. 破産原因・破産能力	7. 破産手続の主体										
3. 破産申立てと破産宣告手続	8. 否認権・配当										
4. 別除権・相殺権	9. 免責・破産犯罪										
5. 破産財団をめぐる法律関係											
<p>履修上の留意点</p>	<p>民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。</p>										
<p>成績評価の方法 教科書 参考書等</p>	<p>簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。</p> <p>徳田和幸『ブレップ破産法』第3版（弘文堂）2005年 1,260円 山本和彦『倒産処理法入門』第2版（有斐閣）2005年 2,100円 伊藤眞『破産法』第4版（有斐閣）2005年 4,200円 青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版（有斐閣）2005年 2,730円</p>										

履修コード	331801
科目名	会計監査論
担当者名	阿部 一人

講義のねらい

「監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ」

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

1. 会計監査の意義と目的(総論) (1), (1) 監査の必要 (2) 監査の意義, (3) 監査の対象, 2. 会計監査の意義と目的 (2), (1) 監査の目的 (2) 監査思想の変遷, (3) 監査の効用, 3. 監査の機能, 4. 会計上の誤謬と不正, 5. 監査の種類, 6. 会計監査と財務諸表監査, 7. 我国の監査制度, (1) 証券取引法監査 (2) 商法監査, (3) その他の監査制度, 8. 監査基準 (1), (1) 必要性 (2) 生成と展開, 9. 監査基準 (2), (1) 意義 (2) 体系 (3) 一般基準, (4) 実施基準 (5) 報告基準, 10. 監査人, 11. 監査証拠, 12. 監査計画, 13. 内部統制, 14. 試査, 15. 監査技術と監査手続, 16. 監査調書, 17. 監査報告書, 18. 連結財務諸表の監査, 19. 中間財務諸表の監査, 20. システム監査, 21. 国際監査基準, 22. 現代監査論の動向, (1) 監査概念の拡大化, (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

評価の方法は、後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

開講後指示する。

田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円

高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円

鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円

三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円

山梶志忍・松田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円

脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点  
成績評価の方法

教科書  
参考書等

履修コード	332901
科目名	日本経済論
担当者名	羽鳥 茂

講義のねらい

現在、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム(日本の経済システムもその1つ)がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提出するゲーム理論およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。(1~3) 経済システムとは何か (4~6) ゲーム理論と比較制度分析 (7~10) 企業内コーディネーションとその類型 (11~14) 組織の情報効率性からみた日本企業 (15~17) 企業システムの生成と進化ゲーム・アプローチ (18~21) 進化ゲームの均衡としてのJ-企業システムとA-企業システム (22~25) 企業間の垂直的関係-競争と合併 (26~30) コーポレート・ガバナンスと日本の企業行動

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教科書  
参考書等

青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』東京大学出版会、3200円

講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

# IV 随 意 科 目



履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

**講義の内容・授業スケジュール** この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

**成績評価の方法その他** 現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

**講義の内容・授業スケジュール** この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

**成績評価の方法その他** 現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

**講義の内容・授業スケジュール** この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

**成績評価の方法その他** 現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。